令和７年度　仕様書

工事名称　　古谷地区公立保育所新築工事

工事場所　　川越市大字古谷上4009番地13ほか

【工事の大要】
古谷地区公立保育所を新築する工事である。

構造：鉄骨造
規模：地上２階建て　延べ面積　７５６．８５㎡

・建築工事　一式

・本工事は、「週休２日制適用工事（現場閉所型）」の対象工事である。

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
昇降機設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
昇降機設備工事	1	式		
計				

建築工事				
名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
1.直接仮設工事	1	式		
2.土工事	1	式		
3.地業工事	1	式		
4.コンクリート工事	1	式		
5.型枠工事	1	式		
6.鉄筋工事	1	式		
7.鉄骨工事	1	式		
8.防水工事	1	式		
9.タイル工事	1	式		
10.木工事	1	式		
11.屋根及びとい工事	1	式		
12.金属工事	1	式		
13.左官工事	1	式		
14.木製建具工事	1	式		
15.金属製建具工事	1	式		
16.硝子工事	1	式		
17.塗装工事	1	式		
18.外装工事	1	式		
19.内装工事	1	式		
20.雑工事	1	式		

建築工事				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
計				

昇降機設備工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
1.昇降機設備工事	1	式		
計				

≪週休２日制適用工事（現場閉所型）に係る特記仕様書≫

本工事は「週休２日制適用工事（現場閉所型）」の試行対象工事である。

本工事は、月単位の週休２日を採用している。週休２日が守れなかった場合は減額変更となります。

実施は、川越市週休２日制適用工事要領（建築工事）（令和６年１１月１日施行） によるものとする。

同要領は、川越市総務部技術管理課ホームページで確認のこと。

技術管理課ホームページで確認のこと。

川越市総務部技術管理課ホームページ

https://www.city.kawagoe.saitama.jp/sangyo/nyusatsu/1011724 /1011747.html

川越市

古谷地区公立保育所新築工事

図面リスト

意匠図

No		図面名称	SCALE(A2)	No		図面名称	SCALE(A2)	No		図面名称	SCALE(A2)
A-000		表紙・図面リスト	NS	A-325		機器詳細図（１）	図示	A-631	確-16	EV詳細図（１）	NS
A-001		特記仕様書（１）	NS	A-326		機器詳細図（２）	図示	A-632	確-17	EV詳細図（２）	1/20
A-002		特記仕様書（２）	NS	A-327		機器詳細図（３）	図示	A-633	確-18	EV詳細図（３）	1/20
A-003		特記仕様書（３）	NS	A-328		機器詳細図（４）	図示	A-634	確-19	EV詳細図（４）	1/20
A-004		特記仕様書（４）	NS	A-329		物干しスペース詳細図	1/50	A-635	確-20	EV詳細図（５）	1/50
A-005		特記仕様書（５）	NS					A-636	確-21	EV詳細図（６）	1/30
A-006		特記仕様書（６）	NS	A-401		展開図（１）	1/70	A-637	確-22	EV詳細図（７）	1/30
A-007		工事区分表	NS	A-402		展開図（２）	1/70	A-638	確-23	EV詳細図（８）	1/20
				A-403		展開図（３）	1/70				
A-101	確-01	設計概要・案内図	NS	A-404		展開図（４）	1/70	A-701	確-24	法規チェック図（１）	図示
A-102	確-02	敷地求積図	1/200	A-405		展開図（５）	1/70	A-702	確-25	法規チェック図（２）	図示
A-103	確-03	法床面積求積図・平均地盤算定図	1/200	A-406		展開図（６）	1/70				
A-104	確-04	各室面積求積図	1/200					A-801	確-28	浄化槽設備図	図示
				A-501		天井伏図	1/150	A-802	確-29	浄化槽配筋図	図示
A-201	確-05	外部仕上表・材料表	NS	A-502	確-12	建具キープラン	1/150	A-803	確-30	原水ポンプ図	図示
A-202	確-06	内部仕上表	NS	A-503	確-13	建具表（１）	NS				
A-203		現況図	1/200	A-504	確-14	建具表（２）	NS	A-901		サインキープラン	1/150
A-204	確-07	配置図	1/200	A-505	確-15	建具表（３）	NS	A-902		サイン詳細図（１）	図示
A-205	確-08	平面図	1/150					A-903		サイン詳細図（２）	図示
A-206	確-09	ピット図・屋根伏図	1/150	A-601		雑詳細図（１） 屋根１	図示				
A-207	確-10	立面図	1/150	A-602		雑詳細図（２） 屋根２	図示	参-001		【参考】仮設計画図	1/200
A-208	確-11	断面図	1/150	A-603		雑詳細図（３） 外壁・防水等	図示				
A-209		矩計図（１）	1/60	A-604		雑詳細図（４） 外部開口部１	図示				
A-210		矩計図（２）	1/60	A-605		雑詳細図（５） 外部開口部２	図示				
A-211		矩計図（３）	1/60	A-606		雑詳細図（６） 内部開口部１	図示				
				A-607		雑詳細図（７） 内部開口部２	図示				
A-301	確-31	内部階段詳細図（１）	図示	A-608		雑詳細図（８） 移動間仕切り	図示				
A-302	確-32	内部階段詳細図（２）	図示	A-609		雑詳細図（９） トイレブース	図示				
				A-610		雑詳細図（１０） 1階洗面台	図示				
A-310		屋外階段・避難滑り台詳細図（１）	図示	A-611		雑詳細図（１１） 2階洗面台・水廻り	図示				
A-311		屋外階段・避難滑り台詳細図（２）	図示	A-612		雑詳細図（１２） 廊下手洗い	図示				
A-312		屋外階段・避難滑り台詳細図（３）	図示	A-613		雑詳細図（１３） 雑部１	図示				
A-313		屋外階段・避難滑り台詳細図（４）	図示	A-614		雑詳細図（１４） 雑部２	図示				
A-314		屋外階段・避難滑り台詳細図（５）	図示	A-615		雑詳細図（１５） 雑部３	図示				
A-315		屋外階段・避難滑り台詳細図（６）	図示								
A-316		屋外階段・避難滑り台詳細図（７）	図示	A-621		家具キープラン	1/30				
				A-622		家具詳細図（１）	1/30				
A-321		1階平面詳細図	1/70	A-623		家具詳細図（２）	1/30				
A-322		2階平面詳細図	1/70	A-624		家具詳細図（３）	1/30				
A-323		調理室詳細図	1/50	A-625		家具詳細図（４）					
A-324		調理室機器表	NS								

構造図

No		図面名称	SCALE(A2)
S-001	確S-01	特記仕様書（構造関係・その１）	NS
S-002	確S-02	特記仕様書（構造関係・その２）	NS
S-003	確S-03	構造関係共通図（配筋標準図・その１）	NS
S-004	確S-04	構造関係共通図（配筋標準図・その２）	NS
S-005	確S-05	構造関係共通図（配筋標準図・その３）	NS
S-006	確S-06	構造関係共通図（配筋標準図・その４）	NS
S-007	確S-07	構造関係共通図（鉄骨標準図・その１）	NS
S-008	確S-08	構造関係共通図（鉄骨標準図・その２）	NS
S-009	確S-09	NCPアンカー工法標準図	NS
S-010	確S-10	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	NS
S-011	確S-11	ISベース柱脚工法設計・施工標準図（１）	NS
S-012	確S-12	ISベース柱脚工法設計・施工標準図（２）	NS
S-013	確S-13	ボーリング柱状図（１）	NS
S-014	確S-14	ボーリング柱状図（２）	1/150
S-015	確S-15	伏図（１）	1/150
S-016	確S-16	伏図（２）	1/150
S-017	確S-17	伏図（３）	1/150
S-018	確S-18	軸組図（１）	1/150
S-019	確S-19	軸組図（２）	1/150
S-020	確S-20	杭・基礎リスト	NS
S-021	確S-21	基礎梁リスト	1/50
S-022	確S-22	柱リスト	1/50
S-023	確S-23	大梁リスト	NS
S-024	確S-24	小梁・耐風梁・間柱・胴縁リスト	NS
S-025	確S-25	スラブリスト	NS
S-026	確S-26	架構詳細図（１）	1/50
S-027	確S-27	架構詳細図（２）	1/50
S-028	確S-28	各部詳細図（１）	図示
S-029	確S-29	各部詳細図（２）	図示
S-030	確S-30	ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書	NS

訂正 月 日 事項

universal 株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日
承認：

図面名称：図面リスト
部長 課長 担当 製図

縮尺：NS
設計No.

図面No.：A-000

工事名　古谷地区公立保育所新築工事

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　埼玉県川越市大字古谷上4009番地13、4009番地23、4021番地10、4022番地1、5692番地17
用途地域　指定なし

2．敷地面積　1,925.16　㎡

3．工事種目（建物概要）

2棟　　鉄骨造　2階建て（地下　0階・ＰＨ　0階）

建築面積	493.79　㎡
延べ面積	778.32　㎡
床面積	
計画建物1（保育所）	
1階	386.40　㎡
2階	370.45　㎡
計画建物2・3（駐輪場）	
1階	6.41　㎡
計画建物4（倉庫業を営まない倉庫）	
1階	3.95　㎡
計画建物5（倉庫業を営まない倉庫）	
1階	4.70　㎡

4．工事範囲

㊒「3．工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

② 仮設工事	※工事範囲全て
③ 土工事	※工事範囲全て
④ 地業工事	※工事範囲全て
⑤ 鉄筋工事	※工事範囲全て
⑥ コンクリート工事	※工事範囲全て
⑦ 鉄骨工事	※工事範囲全て
8 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ＡＬＣﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	
⑨ 防水工事	※工事範囲全て
１０ 石工事	
11 タイル工事	※工事範囲全て
12 木工事	※工事範囲全て
13 屋根及びとい工事	※工事範囲全て
14 金属工事	※工事範囲全て
15 左官工事	※工事範囲全て
16 建具工事	※工事範囲全て
１７ カーテンウォール工事	
18 塗装工事	※工事範囲全て
19 内装工事	※工事範囲全て
20 ユニット及びその他の工事	㊀外構工事範囲は別途工事
21 排水工事	㊀機械設備、外構工事範囲は別途工事
22 舗装工事	㊀外構工事範囲は別途工事
23 植栽及び屋上緑化工事	㊀外構工事範囲は別途工事

Ⅱ　建築工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（2）標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（3）特記仕様書の表記
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、㊀印の付いたものを適用する。㊀印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
㊀印と ㊒ 印の付いた場合は、共に適用する。㊀ 印と ※の場合は、㊀のみを適用する。
3）特記事項に記載の［　．　．］内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
4）特記事項に記載の（　．　．）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
6）本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年2月24日変更閣議決定）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。
なお、Ⓖ 印は設計図書で定めのある品目を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等 ※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書） ※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版） なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
	② 条件明示事項	保険の種類　{1. 1. 3} ※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの） ※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの） ※請負業者賠償責任保険等　・ 保険の期間　※工事完成期日後１４日を含む期間　・
	③ 工事実績情報ｼｽﾃﾑ コリンズへの登録	※行う（請負代金額500万円以上，10日以内に登録）　・行わない　(1. 1. 4) {1. 1. 8}
	④ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力　風速（Vo＝ 32m/s）　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　㊀Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪荷重　H12. 5. 31告示第1455号における区域　別表（　－　）
	⑤ 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。 (1. 1. 7) ・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。
	６ 施工に注意を要する区域等	本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。　(1. 1. 12、13) ・周知の埋蔵文化財包蔵地　・史跡名勝天然記念物 ・
	⑦ 工事の記録	埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。　(1. 2. 4) {1. 6. 5} 埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する(CD-R又はDVD-Rで１部提出)・適用しない
	８ 電気保安技術者	適用する　(1. 3. 3) {1. 3. 1}
	⑨ 施工条件	施工時間　(1. 3. 5) ※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ㊀以下の期間を除いた現場閉所日数の割合が28. 5%(8日/28日)以上であること 年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間（　　） 施工時間以外の施工条件 ・図示による　㊀川越市週休２日制適用工事要領（建築工事）による
	⑩ 施工中の安全確保	本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。(1. 3. 7)
	⑪ 施工中の環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。　(1. 3. 10)
	⑫ 発生材の処理等	引渡しを要するもの　(1. 3. 11) {1. 1. 13} ※無し（全て構外搬出適正処理）　・有り（※図示　・　　） 注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
	⑬ 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。　(1. 4. 2)
	⑭ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。　(1. 4. 1) {1. 4. 3} ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑮ 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。　(1. 4. 2) ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」(林野庁 H18. 2. 15)に準拠した証明書を監督員に提出する。
	16 技能士	(1. 5. 2) {1. 3. 3} 適用工事種別 ／ 技能検定作業 仮設工事 ／ ・とび作業 鉄筋工事 ／ ・鉄筋組立て作業 コンクリート工事 ／ ・型枠工事作業　・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業 鉄骨工事 ／ ・構造物鉄工作業　・とび作業 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ／ ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業 防水工事 ／ ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾃｨｺﾞ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ／ ・石張り作業 タイル工事 ／ ・タイル張り作業 木工事 ／ ・大工工事作業 屋根及びとい工事 ／ ・内外装板金作業 金属工事 ／ ・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業 左官工事 ／ ・左官作業 建具工事 ／ ・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　・ガラス工事作業　・自動ドア施工作業 ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事 ／ ・金属製カーテンウォール工事作業　・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業 ・ガラス工事作業 塗装工事 ／ ・建築塗装作業　・木工塗装作業 内装工事 ／ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業　・保温保冷工事作業 排水工事 ／ ・建築配管作業 舗装工事 ／ ・溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業 植栽工事 ／ ・造園工事作業 その他 ／ ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業
	17 化学物質の濃度測定	(1. 5. 9) 対象化学物質 ／ 判定基準 ／ 備考 ホルムアルデヒド ／ 100μg／m³（0. 08ppm）以下 ／ ※厚生労働省が定める指針値、量単位の換算は２５℃ トルエン ／ 260μg／m³（0. 07ppm）以下 キシレン ／ 200μg／m³（0. 05ppm）以下 エチルベンゼン ／ 3, 800μg／m³（0. 88ppm）以下 スチレン ／ 220μg／m³（0. 05ppm）以下 パラジクロロベンゼン ／ 240μg／m³（0. 04ppm）以下
② 仮設工事	① 足場その他	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、(2. 2. 4)同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30. 6. 22)による。 ・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。
	② 監督員事務所	規模　・既存建物内の一部を使用　(2. 3. 1) ・構内に新設　10㎡程度(現場事務所と同様可) ㊀設置しない（下記備品のみ用意する） 備品（　・名分相当） ・机　・椅子　・書棚　・黒板　・掛時計　・寒暖計　㊀長靴　㊀雨合羽 ㊀保護帽　・懐中電灯　・墜落制止用器具　㊀軍手　・衣類ロッカー ・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・掃除用具　・電話機 ・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター
	③ 現場表示板	※設置する（{1. 1. 12}による表示　※要　・不要）　・設置しない　(2. 3. 1) {1. 1. 12}
	④ 工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（別途施設調整を行うこと）
	⑥ 工事用搬入路	※図示　・
	⑦ 仮囲い	※設置位置等は監督員の指示による　・図示
	⑧ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所　※監督員の指示による　・図示
	９ 快適トイレ	仕様　※図示　・
③ 土工事	① 埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の種別　(3. 2. 3) ・Ａ種　適用場所（　　） ㊀Ｂ種　適用場所（　　） ・Ｃ種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　） ・Ｄ種　適用場所（　　） 品質　細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。 ・六価クロム溶出試験　・行う　・行わない
	② 建設発生土の処理	㊀場外搬出適切処理（搬出場所：木村建材工業(株)リサイクルセンター　）　(3. 2. 5) ・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し ・UCRの受け入れに必要な土質調査を実施する。また、この調査による資料は他工区の工事へも利用する。
	③ 山留めの撤去	鋼矢板等の抜き跡　※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる　(3. 3. 3)
④地業工事 ⑤鉄筋工事 ⑥コンクリート工事 ⑦鉄骨工事		特記仕様書（構造関係）による
⑧ コンクリートブロック・ＡＬＣパネル及び押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類　(8. 2. 2、3、5、7、8) 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ 適用箇所 ／ 備考 ※空洞ブロックC(16) ／ ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ／ ／ ・ ／ ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ／ ／ モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8. 2. 1による　・セメント(　　)：砂(　　) 各部の配筋　※図示　・ 目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による
	2 コンクリートブロック帳壁及び塀	ブロックの種類 断面形状及び圧縮強さによる区分 ／ 正味厚さ(mm) ／ ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ ／ 高さ ／ 化粧の有無 ／ (表8. 3. 1)以外の適用箇所 ／ 備考 ・空洞ブロックC(16) ／ ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ／ ／ ・型枠状ブロック 20 ／ ／ ／ ／ ・無　・有 ／ ／ ／ モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8. 2. 1による　・セメント(　　)：砂(　　) 塀に用いるブロックの正味厚さ　・ 壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※図示　・ 各部の配筋　※図示　・ 充填するブロックの範囲　・図示　・
	3 ＡＬＣパネル	ＡＬＣパネルの区分等 区分 ／ 単位荷重(N/㎡) 正味重 ／ 負荷重 ／ 厚さ(mm) ／ 幅及び長さ ／ 耐火性能(時間) ／ 構法の種別 ・外壁用 ／ ・一般・コーナー ／ ・平 ・意匠 ／ ・ ／ ・ ／ ・ ／ 図示による ／ ・なし ・1 ／ ・Ａ種・Ｂ種 ・間仕切・一般壁用 ／ ・コーナー ／ 平 ・意匠 ／ ― ／ ― ／ ・ ／ 図示による ／ ・なし ・1 ／ ・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種 ・屋根用 ／ ― ／ ― ／ ・ ／ ・ ／ ・ ／ 図示による ／ ・0. 5 ・1 ／ ※Ｆ種 ・床用 ／ ― ／ ― ／ ・ ／ ― ／ ・ ／ 図示による ／ ・1 ・2 ／ パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材　・ 外壁・屋根パネルの構法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（ ・1. 1・1. 15・1. 3）倍の耐風圧性能 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・ 目地幅 パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅パネル接合部、パネルと他部材との取合い部の目地幅（mm）　※10～20　・ 外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない
	4 押出成形セメント板（ＥＣＰ）	ECPの種類等 パネルの種類 ／ 形状 ／ 厚さ(mm) ／ 幅(mm) ／ 工法の種別 ／ 備考 ・外壁パネル ／ ・Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ） ／ ・50・60・ ／ ／ ／ ・Ａ種・Ｂ種 ／ ・Ｄ（ｴﾝﾎﾞｯｼﾞﾝｸﾞﾊﾟﾈﾙ） ／ ・50・60 ／ 600 ／ ・Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ） ／ 60 ／ ／ ・間仕切壁パネル ／ ・Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ） ／ ・50・60・ ／ ／ ／ ・Ｂ種・Ｃ種 ／ ・Ｄ（ｴﾝﾎﾞｯｼﾞﾝｸﾞﾊﾟﾈﾙ） ／ ・50・60 ／ 600 ／ ・Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ） ／ 60 ／ ／ 外壁パネルの工法における耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1. 15・1. 3）倍の耐風圧性能 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・ パネル相互の目地幅（mm）　・長辺（　）　・短辺（　） 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm）　※15程度　・ 耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※パネルの製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認の上、施工計画書を提出する。 孔あけ又は欠き込みの大きさ ／ 切断後のパネルの残り部分の幅 ﾊﾟﾈﾙに孔あけを設ける場合 短辺 ／ ﾊﾟﾈﾙ幅の1/2以下、かつ、300mm以下 ／ 150mm以上 長辺 ／ 500mm以下 ／ 300mm以上 ﾊﾟﾈﾙに欠き込みを設ける場合 短辺 ／ ﾊﾟﾈﾙ幅の1/2以下、かつ、300mm以下 ／ 300mm以上 長辺 ／ 500mm以下 ／ 300mm以上
⑨ 防水工事	1 アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種別 種別 ／ 施工箇所 ／ 断熱材 Ⓖ ／ 絶縁用シート ／ 立上り部の保護 ・Ａ－１ ／ ／ ／ ／ ・乾式保護材 ・Ａ－２ ／ ／ ／ ／ ・Ａ－３ ／ ／ ／ ／ ・Ｂ－１ ／ ／ ／ ／ ・Ｂ－２ ／ ／ ／ ／ ・ＡＩ－１ ／ ／ ／ ／ ・ＡＩ－２ ／ ／ ／ ／ ・ＡＩ－３ ／ ／ ／ ／ ・ＢＩ－１ ／ ／ ／ ／ ・ＢＩ－２ ／ ／ ／ ／ ※ｽﾀﾞﾘｽﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0. 15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 （材質）※JIS A 9521による押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き） （厚さ）・　mm　・ ※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・ ・乾式保護材 ・れんが押え（※JIS R 1250） ・ﾓﾙﾀﾙ押え（屋内） 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9. 2. 3及び表9. 2. 4による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分　・ 材料による区分　※Ｒ種 厚さ　※（　　）mm以上　・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9. 2. 5から標準仕様書表9. 2. 6による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分　※Ｒ種 厚さ　※（　　）mm以上　・ 立上り部への断熱材及び絶縁シート　※設置しない　・設置する 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ　※水下　80mm以上　・ 床タイル張り　※水下　60mm以上　・ 屋根露出防水 防水層の種別 種別 ／ 施工箇所 ／ 断熱材 Ⓖ ／ 仕上塗料 ・Ｄ－１ ／ ／ ／ 種類 ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様・ ・Ｄ－２ ／ ／ ／ 使用量 ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様・ ・ＤＩ－１ ／ ／ ※標準仕様書9. 2. 2(9)（種類）（厚さ）(mm) ／ ・ＤＩ－２ ／ ／ ／ 高日射反射率防水の適用Ⓖ　※適用する　・適用しない 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表9. 2. 8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分　・ 材料による区分　※Ｒ種 厚さ　※（　　）mm以上　・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書 表9. 2. 7及び表9. 2. 8による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分　・ 材料による区分　※Ｒ種 厚さ　※（　　）mm以上　・

訂正	月　日	事項		
	．　．		．　．	
	．　．		．　．	
	．　．		．　．	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

工事名称　古谷地区公立保育所新築工事
作成　2025 年 1 月 31 日　承認
図面名称　特記仕様書（1）
縮尺　NS
部長　課長　担当　製図　設計No.
図面No.　A-001

絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・種類（　　）　設置数量（　　）
屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・Ｅ－１		・Ｅ－２	

保護層　・設ける（※図示　・　　）　・設けない
E-1の工程3を行う部位　※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げの種別]のＢ種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示　・　　）　・適用しない
屋上排水溝　※図示　・

2 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水　(9.3.2、3)（表9.3.1～3）
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 Ⓖ	防湿用シート	仕上塗料
・ＡＳ－Ｔ１				種類 ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＡＳ－Ｔ２				
・ＡＳ－Ｔ３				
・ＡＳ－Ｔ４				
・ＡＳ－Ｊ１				使用量 ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＡＳＩ－Ｔ１		（材質） ※標準仕様書9.3.2(3)(ｳ)による ・ （厚さ） ・25mm　・50mm　・	・設ける（改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様による） ・設けない	
・ＡＳＩ－Ｊ１				

高日射反射率防水の適用Ⓖ　・適用する　・適用しない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書9.3.1から表9.3.3による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　Ｌ－30×15×2.0(mm)程度　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルト製造所の仕様による　・
・種類（　　）　設置数量（　　個）

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別　(9.4.2～4)（表9.4.1～3）

種別	施工箇所	可塑剤移行防止用ｼｰﾄの材質	仕上塗料
・Ｓ－Ｆ１	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	※発砲ｽﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・Ｓ－Ｆ２			
・Ｓ－Ｍ１			種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・Ｓ－Ｍ２			
・ＳＩ－Ｆ１	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	※発砲ｽﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＳＩ－Ｆ２			
・ＳＩ－Ｍ１			種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＳＩ－Ｍ２		※発砲ｽﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	

合成高分子系ルーフィングシート防水工法（断熱工法）における断熱材Ⓖ
（種類）SI-F1、SI-F2の場合　※標準仕様書9.4.2(3)(ｲ)(b)による　・
SI-M1、SI-M2の場合　※標準仕様書9.4.2(3)(ｲ)(a)による　・
（厚さ）・25mm　・50mm　・
高日射反射率防水の適用Ⓖ　・適用する　・適用しない
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様　※非歩行仕様　・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルムの設置
・設ける　・設けない
S-M2またはSI-M2の場合立上り部の工法
・接着工法
・機械的固定方法

屋内防水
防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		
		平場の保護モルタル塗り		立上り部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗り厚さ
		塗り厚さ	工法	
・S-C1		・　mm	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	※７mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割　※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度
目地の種類　※押し目地　　）・行わない
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・
固定金具の材質、寸法、形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・種類（　　）　設置数量（　　個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示　・　　）　・行わない
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別　S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示　・　　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・　　）倍の風圧力に対応した工法

④ 塗膜防水

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする　(9.5.3)（表9.5.1～2）
防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層
・Ｘ－１		種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様 ・	
○Ｘ－２	バルコニー、物干しスペース、2階室外機置場等	種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様 ・	
・Ｙ－１	※地下外壁防水 ・		
・Ｙ－２	※屋内防水 ・		・適用する ・適用しない

（Ｘ－１、Ｘ－２）高日射反射率防水の適用Ⓖ　・適用する　○適用しない

ウレタンゴム系塗膜防水Ｘ－１の脱気装置の種類及び設置数量
※主材料の製造所の仕様
・種類（　　）　設置数量（　　個）

⑤ ケイ酸質系塗布防水

防水層の下地　(9.6.4)（表9.6.1）
壁　※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　B種）
天井部　※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　B種）
下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ｹｲ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ﾓﾙﾀｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙを充填
・図示　・
型枠締付材にコーンが使用されている部位及びｹｲ酸質系塗布防水材の塗布面以外の下地処理
・図示　・

⑥ シーリング

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による　(9.7.2～5)（表9.7.1）
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
	図示

仕上を行わない施工箇所（○図示による　・　　）
シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)（ア）～（ウ）による
・図示　・
外部に面するシーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

注　繰り返ぜた２成分形シーリング材は、１組の作業班が１日に行った施工箇所を１ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

7 防水工事施工票

※設置する（　　ヶ所）　(2.1.2)
（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）

10 石工事

1 施工

石材の割付け　・図示　・　(10.1.3)

2 石材等

天然石　(10.2.1、3)（表10.2.1、2）

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		※正方形に近い矩形（石材1枚の面積が0.8㎡以下） ・			

ジェットバーナー仕上げの場合のバフ仕上げの有無
・あり　・なし

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			
	※大理石・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		
	※大理石・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		

その他の材料
取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、浸透性吸水防水材、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料
※専門工事業者の指定する製品　・
ドレンパイプの材質
・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き25～35φ

3 外壁湿式工法

受金物　(10.2.2、3)（10.3.2、3）
材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　L=150mm
・
アンカーの材質及び寸法
※SS400　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
ドレンパイプ　・設ける（設置位置：図示による）　・設けない
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
・流し筋工法
目地
一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
※シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）
伸縮調整目地
位置　・図示による
シーリング材の種類　※標準仕様書 表9.7.1による
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示による

4 内壁空積工法

受金物　(10.2.2、3)（10.4.2、3）
材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm又は150mm　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法

5 外壁乾式工法

一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
・シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）
伸縮調整目地
位置　・6mm程度
シーリング材の種類　※標準仕様書 表9.7.1による
目地寸法
金物の種類、形状、寸法等　(10.2.2、3)（10.5.2、3）（表10.2.4）
※標準仕様書表10.2.4による　・
取付け方式
・スライド方式　・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
だぼ用の穴の位置　※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による　・図示
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
建築基準法に基づく風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法
シーリング材　種類　※標準仕様書 表9.7.1による
目地幅及び深さ

6 床及び階段の石張り

透水性吸収防水剤　(10.6.2、3)
（床石張り）　・適用する　・適用しない
石裏面処理
（床石張り）　・適用する　・適用しない
（階段張り）　・適用する　・適用しない
裏打ち処理
（床石張り）　・適用する　・適用しない
一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
・シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書 表10.6.2(5)(a)による　・図示による
シーリング材の種類　※標準仕様書 表9.7.1による
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示による

7 笠木、甲板等の石張り

取付け工法　・湿式工法　・乾式工法　(10.2.2)（10.7.2）
特殊部位用金物　標準仕様書10.2.2(3)参照
材質　※ステンレス（SUS304）　・
寸法　引金物　・
だぼ　・
かすがい　・
受金物　・
ファスナーの形状　・スライド式　・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付代　※70mm程度　・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
・シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※標準仕様書 表11.1.1による　・図示　(11.1.3)（表11.1.1）
目地寸法　○図示

② 見本焼 試験施工

見本焼　・行う（施工箇所：　　）　○行わない　(11.1.4)
試験張り　・行う（範囲、仕様等は図示による）　○行わない

③ セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状・寸法等　(11.2.2、3、6)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性 Ⓖ		耐滑り性	備考
			Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	無ゆう	施ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
玄関床	磁器	300角	・	・	・	・	○	・	○	○	・	・	・	○	○	
玄関框	磁器	100×300	・	・	・	・	○	・	○	○	・	・	・	○	○	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）　・MCR工法　・
壁タイル張りの工法
内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

4 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状・寸法等　(11.3.2～5)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性 Ⓖ		耐滑り性	備考
			Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	無ゆう	施ゆう	有	無	標準	特注		有	無		
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）・MCR工法　・
目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地及びその他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
外装タイルの目地詰め
・行う　・行わない

12 木工事

① 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量　(12.2.1)
※F☆☆☆☆ 又は 標準仕様書 12.2.1(1)(ｳ)(b)による

② 製材 Ⓖ

○JAS 1083-5 製材-第5部に基づく　(12.2.1)（12.4.1）（12.5.1）（12.6.1）（12.7.1）
下地用製材　(表12.2.2)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
乾式二重床	図示	※2級 ・	※A種　・B種		・
		※2級 ・	※A種　・B種		・

○JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種		・
見え掛り面以外	図示	※小節以上 ・	※A種　・B種		・
			※A種　・B種		・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		（　　）造作材の場合（※A種・B種）	※A種・B種 ・	・適用する ・適用しない	・
		（　　）造作材の場合（※A種・B種）	※A種・B種 ・	・適用する ・適用しない	・

③ 造作用集成材 Ⓖ　(12.2.1)

○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
階段踏板		ナラ	1等	t30	※1等　・2等	・
					※1等　・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板：芯材：				※1等・2等	・
		化粧薄板：芯材：				※1等・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下　・	・
				※15%以下　・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板：芯材：				※15%以下・	・
	化粧薄板：芯材：				※15%以下・	・

4 造作用単板積層材Ⓖ　(12.2.1)

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質（化粧加工の有無）	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・有り（加工　・天然木加工・塗装加工） ・無し（等級　・１等　・２等　・３等）	・する ・しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（化粧加工の有無）	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・有り（加工　・天然木加工・塗装加工） ・無し（　　）	※14%以下・	・する ・しない	・
		・有り（加工　・天然木加工・塗装加工） ・無し（　　）	※14%以下・	・する ・しない	・

・JAS 3079に基づくＣＬＴ（直交集成板）Ⓖ

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

⑤ 合板等　(12.2.1)

○「合板の日本農林規格」による普通合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	備考	防虫処理の適用	間伐材等の適用
棚	※5.5 ○図示	※1類・2類	広葉樹 ※２等以上　・１等 針葉樹 ※C-D以上　・	ラワン	・する ○しない	・
	・図示	※1類・2類	広葉樹 ※２等以上　・１等 針葉樹 ※C-D以上　・		・する ・しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	強度等級	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※12 ・	※1類 ・特類	※2級以上 ・1級	※C-D以上 ・		・適用する（　　） ・適用しない	・する ・しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・1類　・特類	・する ・しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用
		・1類　・2類		・する ・しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 Ⓖ

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類　・2類			・する ・しない

訂正	月　日	事　項			
	・　・		・　・		
	・　・		・　・		
	・　・		・　・		

universal 株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	特記仕様書（２）	縮尺	NS	図面No.
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長　課長　担当　製図	設計No.		A-002

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺　(13.2.1～3)(13.2.2、3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
屋根	※JIS G 3322の屋根用 着色 ⊙有	⊙5種 (AZ150)	⊙0.4 ・0.5 ・	⊙ひかえ瓦棒葺 ・立て平葺・蟻掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料　・アスファルトルーフィング　940
　⊙改質アスファルトルーフィング下葺材
　（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
横葺きの場合のけらば納め
　・つかみ込み納め　・けらば包み納め
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　雪止め　⊙設置する（施工箇所　※図示　・　　）　・設置しない

2 折板葺　(13.2.2)(13.3.2、3)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	防火性能
		山高	山ピッチ					
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	図示	図示	(　)種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料
　鋼板の種類（※JIS G 3322の屋根用（着色　・有　・　　）
　塗膜の耐久性の種類、めっき付着量（・5種（AZ150）　・　　）
断熱材　・有り（種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
　・無し
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　耐雪性能に対応した工法の適用　・適用する　・適用しない
　折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・
　雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　　）　・設置しない

3 粘土瓦葺　(13.4.2、3)

施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分				
							・する ・しない
							・する ・しない

　桟瓦の防災瓦の使用　・適用する　・適用しない
　JIS A 5208 に基づく凍害試験等　※行わない　・行う（　　）
　瓦桟木　　材質　※杉　・ひのき　・
　　寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
　棟補強用心材　材質　※杉　・ひのき
　　寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・
　瓦緊結用釘又はねじ
　　種類（　　）　径（　　）　長さ（　　）
　棟補強等に使用する金物等
　　材質　・ステンレス製　・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
　　形状、寸法及び留付け方法　・図示　・
工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等　※図示による
　瓦桟木の留付け工法　※図示　・
　棟の工法　・７寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟
　面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
　・モルタル　・瓦葺き用しっくい

金属工事

④ とい

といその他の材種　(13.5.2、3)(表13.5.1、2、4)
　・配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン
　⊙ガルバリウム鋼板
とい受け金物
　材種　※標準仕様書表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　⊙ガルバリウム鋼板
　形状　※市販品（とい径100以下）　・25×4.5(mm)以上（とい径100超）
　取付け間隔　※標準仕様書表13.5.2による　・
足金物
　材種　※標準仕様書表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　⊙SUS304
　形状　※市販品　・
　取付け間隔　※標準仕様書表13.5.2による　・
多雪地域の場合の軒どいの取付間隔　※0.5m以下　・
防露材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き
　※標準仕様書表13.5.4による　・

ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び			施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100		
		・125	・150		
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80	・100		
		・125	・150		
・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50	・80	・100	
	・差し込み式	・50	・75	・100	
⊙バルコニー用	⊙ねじ込み式	・50	・80	⊙100	バルコニー
	・差し込み式	・50	・75	・100	

⑭ 1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

※表面処理は標準仕様書表14.2.1による　(14.2.1)(表14.2.1)

種別	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB－1種	
・AB－2種	
・AC－1種	
・AC－2種	
・BA－1種	
・BA－2種	
・BB－1種	
・BB－2種	
・BC－1種	
・BC－2種	
・C 種	

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色
色合等
　・シルバー
　・アンバー　・ブロンズ
　・ブラック系　・ステンカラー　・
　・特注色（　　）

② 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	・A種	
	⊙B種	屋外階段
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

③ 軽量鉄骨天井下地　(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
　屋外（※25形　・19形）　屋内（※19形　・25形）
屋外の形式及び寸法
　野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　⊙図示　・
　周辺部の端からの間隔　⊙図示　・
　野縁の間隔　⊙図示　・
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
　補強箇所　※図示　・
　補強方法　※図示　・
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

④ 軽量鉄骨壁下地　(14.5.3、4)(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類
　※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
　・図示　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
　※標準仕様書14.5.4(5)による　・

⑤ 金属成形板張り　(14.6.2、3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	
					種別	色合い等
・アルミニウム	・押出しロール ・プレス	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				
		パネル形				

取付け用下地　※標準仕様書14.4による　・図示　・
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　）　・設けない
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑥ アルミニウム製笠木

種類　・250形　・300形　・350形　⊙手摺一体型　(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)
表面処理　種別　（　　）種
　色合等　⊙標準色（　　）
　・特注色（　　）
笠木の固定金具の工法等
　建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑮ 左官工事

① モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料　(15.3.2、5)
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　）
　⊙設けない
床の目地　・設ける（目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・　）
　（種類　※押し目地　・　）
　⊙設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹付部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
　・適用する　⊙適用しない

② せっこうボード その他のボード下地

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ　(15.2.5)
　種類　⊙GB-R　GB-L　⊙GB-S　）　厚さ（　図示　）
木質系セメント板の種類及び厚さ
　種類（・　　）　厚さ（　　mm）

③ 仕上塗材仕上げ

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量　(15.6.2)
　※F☆☆☆☆　・

4 マスチック塗材塗り

種別　・A種　・B種　(15.7.2)

⑤ ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　(15.12.2、3)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
吹付け厚さ(mm)　⊙図示　・25　・

6 しっくい塗り

しっくい　(15.10.2～4)
　・既調合材料
　　色しっくい　・適用する　・適用しない
下地
　・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
　・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
既調合しっくいの調合
　・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1
　・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2
　・せっこうラスボード下地　※製造所の仕様による
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
　・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3
　・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様書表15.10.4
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
　・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

建具工事

① 防火戸　(16.1.3)

※建具表による　・

② 見本の製作等　(16.1.4)

建具見本の製作　・行う（建具符号：　）　⊙行わない
建具見本製作の目的等
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）　⊙行わない

③ 防犯建物部品　(16.1.6)

・適用する（※建具表による　・　）　⊙適用しない

④ アルミニウム製建具

性能値等（建具符号、枠の見込み寸法：建具表による）　(16.2.2～5)(表16.2.1、2)
　耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　※建具表による　・図示
　外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
⊙A種	S-4	A-3	W-4	⊙70	※図示による
・B種	S-5			・100	※図示による
・C種	S-6	A-4	W-5	・	※図示による
・D種	S-2	A-3	W-3	・	※図示による
・E種	S-3			・	※図示による

　⊙防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　T-1　）
　・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　　）
材料　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
　　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
　表面処理
　　外部に面する建具　種別　・BB-1種　⊙BB-2種　（標準仕様書表14.2.1）
　　着色　⊙標準色　・特注色
　　屋内の建具　種別　・BC-1種　⊙BC-2種　（標準仕様書表14.2.1）
　　着色　⊙標準色　・特注色
　結露水の処理方法　・水貯め式　⊙排水式
工法　水切り板、ぜん板　※図示　・
　木下地の場合の内付け建具　・適用しない・適用する

⑤ 網戸等　(16.2.3)

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具　(16.2.5)(16.3.2～5)(表16.3.1～3)

性能値等（建具符号、枠の見込み寸法：建具表による）
　耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　※建具表による　・図示
　外部に面する建具の種別

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-4	W-4	・	※図示による
・B種	S-5		W-5	・	※図示による
・C種	S-6			・	※図示による
・D種	S-2		W-3	・	※図示による
・E種	S-3			・	※図示による

仕上塗材の種類
　薄付け仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・外装薄塗材 Si	・	・砂壁状
・可とう形外装薄塗材 Si	・	・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り）
・外装薄塗材 E	・	・さざ波状
・可とう形外装薄塗材 E	・	・平たん状
・防水形外装薄塗材 E	・	・凹凸状（・吹付け　・こて塗り）
・外装薄塗材 S	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
・内装薄塗材 C	・	・砂壁状じゅらく
・内装薄塗材 L	・	・京壁状じゅらく
・内装薄塗材 Si	・	
・内装薄塗材 E	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
・内装薄塗材 W	・	

　厚付け仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・外装厚塗材 C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
・外装厚塗材 Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
・外装厚塗材 E	・	
・内装厚塗材 C	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
・内装厚塗材 L	・	上塗材　・適用する　・適用しない
・内装厚塗材 G	・	外装厚塗材 C の上塗材 ・ｾﾒﾝﾄﾌｨﾗｯｼｭ　・
・内装厚塗材 Si	・	
・内装厚塗材 E	・	

　複層仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・複層塗材 CE	・	⊙ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
・可とう形複層塗材 CE	・	
・複層塗材 Si	・	耐候性　※耐候形３種　・
⊙複層塗材 E	・	上塗材
・複層塗材 RE	・	溶　媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
・防水形複層塗材 CE	・	樹　脂　※アクリル系　・
・防水形複層塗材 E	・	外　観　※つやあり　・つやなし
・防水形複層塗材 RE	・	・メタリック

　軽量骨材仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・吹付用軽量塗材	・	
・こて塗用軽量塗材	・	

⑦ 鋼製建具

性能値等（建具符号：建具表による）
　・簡易気密型ドアセット　・適用する　⊙適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性
　・耐風圧性の等級（・　　）
　・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　　）
材料　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
　　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
　鋼板類の厚さ　※標準仕様書　表16.4.2による　・　使用箇所（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

⑧ 鋼製軽量建具

性能値等（建具符号：建具表による）
　・簡易気密型ドアセット　・適用する　・適用しない
　・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　　）
材料
　鋼板　・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
　鋼板類の厚さ　※標準仕様書　表16.4.2による　・　使用箇所（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

⑨ ステンレス製建具

性能値等（建具符号：建具表による）
　・簡易気密型ドアセット（建具符号：・建具表による　・　　）
　外部に面する建具の耐風圧性
　・耐風圧性の等級（・　　）
　・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　　）
材料　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ　表面仕上げ　※HL　・鏡面仕上げ　・
工法　ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⑩ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　※A種　・　(16.7.2～4)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・
⊙フラッシュ戸
　表面材のホルムアルデヒド放散量等
　※標準仕様書16.7.2(2)(イ)(a)による
　表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 Ⓖ	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹１号　・　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・天然木化粧合板 Ⓖ	樹種名（　　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・特殊加工化粧合板 Ⓖ	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・１類　・２類）	
⊙MDF Ⓖ	化粧シート貼	

　表面板の厚さ　※表16.7.6による　⊙メーカー仕様による
　引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用　・適用しない　・適用する
・かまち戸
　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
　見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
　張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
　上張り(押入等の裏板以外)　・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度
　縁仕上げ　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
　見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
　表面板の仕上　・建具表による
・戸ぶすま
　表面板の仕上　・建具表による
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
　見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
枠及びくつずりの材料　・建具表による　・

⑪ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等　(16.8.2、3)(表16.8.1)
　※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※標準仕様書表16.8.2による及び適用は詳細図による　・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※標準仕様書表16.8.3による及び適用は詳細図による　・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
　※標準仕様書表16.8.4による及び適用は詳細図による　・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
　※標準仕様書表16.8.5による及び適用は詳細図による　・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
　⊙建具表による　・

⑫ 鍵

マスターキー　⊙製作する（　　）　(16.8.4)
　・製作しない
鍵の製作本数　※各室３本１組（室名札付き）
鍵箱　※有り　・無し

13 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式　(16.9.2)
　・建具表による
引き戸用駆動装置
　※標準仕様書 表16.9.1による（防錆　・適用する　・適用しない）
　・種類・開閉方式（　　）・耐電圧（　　）
　・温度上昇（　　）・耐久性(サイクル)（　　）
　・防錆（　　）・電源（　　）
車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置（表16.9.2）
　※標準仕様書 表16.9.2による（防錆　・適用する　・適用しない）
　・耐電圧（　　）・温度上昇（　　）
　・耐久性(サイクル)（　　）・防錆（　　）
　・電源（　　）
引き戸用検出装置（表16.9.3）
　※標準仕様書 表16.9.3による（防錆　・適用する　・適用しない）
　・放射無線周波数電磁界耐性（　　）・耐電圧（　　）
　・防錆（　　）・防湿（　　）・電源（　　）
引き戸用検出装置の種類（表16.9.4）　・建具表による
　タッチスイッチの種類
　・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
　車椅子使用者用便房スイッチの種類
　・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置　・行う　・行わない

訂正 月 日 事項

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

工事名称　古谷地区公立保育所新築工事
図面名称　特記仕様書（３）
縮尺　NS
作成　2025 年 1 月 31 日
承認
部長　課長　担当　製図
設計No.
図面No.　A-003

⑭ 自閉式上吊り引戸装置

性能　※標準仕様書表16.10.1による　・　(16.10.3)(表16.10.1)
・手動開き力（　　）　・手動閉じ力（　　）
・閉じ速度の調整（　　）　・制動区間（　　）
・開閉繰返し（　　）　・耐衝撃性（　　）

15　重量シャッター

シャッターの種類　(16.11.2、3)
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　　）pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
急降下制御装置、急降下停止装置、障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
（設置箇所　・建具表による　・　　）
管理用シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ガイドレール、まぐさ、雨排りに用いる座板及び座板のカバー、雨排りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

16 軽量シャッター

開閉形式の種類　※手動式　・電動式（手動併用）　(16.12.2～4)
耐風圧強度　（　）pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　（※Z06又はF06　・　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　（※AZ90　・　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125（1250Pa） ・100（1000Pa） ・75（ 750Pa） ・50（ 500Pa）	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置（設置箇所　・建具表による　・　　）

⑱ ガラス

(16.14.2～4)(図16.14.1)
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さの組み合わせは建具表及び図面による。
フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類　※建具表による　・図示
型板ガラスの厚さによる種類　※建具表による　・図示
網入り板ガラス、線入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類　※建具表による　・図示

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合わせガラスの合計厚さ、特性による種類　※建具表による　・図示
形状　・平面合わせガラス　・曲面合わせガラス
落球衝撃性と離特性及びショットバック衝撃特性
・Ⅰ類　・Ⅱ－１類　・Ⅱ－２類　・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称、特性による種類
※建具表による　・図示
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類　・Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類
※建具表による　・図示
性能　・１種　・２種

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による　・図示
断熱性による区分　・Ｔ１　・Ｔ２　・Ｔ３　・Ｔ４　・Ｔ５　・Ｔ６
日射取得性及び日射遮蔽性による区分　・Ｇ　・Ｓ
乾燥気体の種類　・空気　・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　※建具表による　・図示
日射熱遮へい性による区分　・１種　・２種　・３種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が２種の場合）　・Ａ類　・Ｂ類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　※建具表による　・図示

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材 ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による

19 ガラスブロック積み

(16.14.5)

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材　・図示による
力骨　材質　※ステンレス鋼（SUS304）　・
寸法　※径5.5mm　・
形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　※図示　・
形状　※図示　・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔　・図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

17 カーテンウォール工事

1　取付方法、性能等

取付け形態による分類　(17.1.3)
・層間方式　・柱・梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式　・

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)
				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ・
4mを超える	・

性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

2　メタルカーテンウォール

金属系材料の種類　(17.2.2、3、5、6)
・アルミニウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による
ガラスの取付け材料
・シーリング　種類（・SR-2　・SR-1）
・構造ガスケット　形状、寸法等　・図示　・
断熱材 G
種類及び範囲　※図示による
形状及び仕上げ
製品の寸法許容差　※標準仕様書表17.2.1による　・
見え掛り部の仕上げ　・
（アルミニウム材の場合）
規格等　※標準仕様書16.2.3による
種別　・　（標準仕様書表14.2.1）
着色　・標準色　・特注色
（鋼材及びステンレス鋼材の場合）
ガラス溝の寸法、形状　※カーテンウォールの製造所の仕様　・
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向　※±10mm　・
水平方向　※±25mm　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅　※±3mm　・
目地の心の通り　※0～2mm　・
目地両側の段差　※0～2mm　・
各階の基準墨から各部材までの距離　※±3mm　・
耐火処理　適用部位、材料等　※図示による
ガラスの取付け材料
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法　※4辺支持　・

3　PCカーテンウォール

(17.3.2～6)(表17.3.1、2)
材料
コンクリート　種類　（・普通コンクリート　・軽量コンクリート1種　・　）
品質　設計基準強度(Fc)　※30N/mm²　・
スランプ　※12cm　・
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合　2.1t/m³を超え2.5t/m³以下
・軽量コンクリートの場合　1.8t/m³ ～ 2.1t/m³
・
単位水量の最大値　※185kg/m³　・
鉄筋　種類記号　※SD295
補強鉄線の径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法　・
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による
ガラスの取付け材料
・構造ガスケット　形状、寸法等　・図示　・
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
断熱材 G　種類（　　）
種類及び範囲　※図示による
先付けの材料
・表面仕上げ材　・セラミックタイル
・石材（・花こう岩　・大理石　・　　）
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品に見え掛り部の寸法許容差
辺長　※±3mm　・　ねじれ、そり　※0～5mm　・
対角線長の差　※0～5mm　・　曲がり　※0～3mm　・
版厚　※±2mm　・　面の凹凸　※0～3mm　・
開口部内法寸法　※±2mm　・　先付け金物の位置　※0～5mm　・
PCカーテンウォールの仕上げ　・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差
※図示による
製作
PC版の配筋　※図示による
取付け
躯体付け金物の取付位置のすき許容差
鉛直方向　※±10mm
水平方向　※±25mm
カーテンウォール部材の取付け位置のすき法許容差
目地の幅　※±5mm　・
目地の心の通り　※0～3mm　・
目地両側の段差　※0～4mm　・
各階の基準墨から各部材までの距離　※±5mm　・
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)
※F☆☆☆☆
・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・仕上表による

② 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗りの場合	・A種　※B種
鉄鋼面（DP以外）		・A種　・B種　※C種
鉄鋼面（DPのみ）		・A種　※B種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・A種　※B種
コンクリート面（ＤＰ以外）及びＡＬＣパネル面		・A種　※B種
押出成形セメント板面		・A種　※B種
コンクリート面（ＤＰのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	・A種　※B種

③ 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	・A種　※B種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：C種 上記以外：B種

④ 塗装

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	—
	木部屋内	・A種　※B種	
	鉄鋼面	・A種　※B種	
	亜鉛めっき鋼面	—	
・クリヤラッカー塗り（CL）		・A種　※B種	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		・A種　※B種	—
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級（　）級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級（　）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種　・C種	—
・つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	・A種　※B種	—
	屋内の木部、鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種	—
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		・A種　※B種	—
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		・A種　※B種	—
・ステイン塗り		・ﾋﾞｸﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り ・ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)	—
・木材保護塗料塗り(WP)		・A種　※B種	—

屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 G とする。
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない　・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する　・適用しない
オイルステン塗りの工程等　※製造所の仕様による

19 内装工事

① 接着剤

(19.2.2)
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ、ｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ用接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示　・

② 下地の工法

標準仕様書19.2.3(1)～(3)以外の下地の工法　・図示　・

③ ビニル床シート G

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・ ・	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理　※熱溶接工法　・

4 ビニル床タイル G

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・FOA(電敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ) ・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

⑤ 特殊機能床材

(19.2.2)

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	場所
・帯電防止床シート	(mm)		
・帯電防止床タイル	× (mm)		
・視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による	
・耐動荷重性床シート	(mm)		
・防滑性床シート	2.5(mm)		調理室・検収室
・防滑性床タイル	× (mm)		

⑥ ビニル幅木

(19.2.2)
材質　・軟質　・硬質　・床シート巻上げ（端部の処理は図示）
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

7 ゴム床タイル

(19.2.2)
色柄　（　　）
厚さ(mm)　（　　）
寸法(mm)　（　　）

8 カーペット敷き G

・織じゅうたん　(19.3.2、3)(表19.3.1)

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄、※模様のない無地
パイル糸の種類等　※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
帯電性　・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法	・適用する（　）	
・ループパイル	・4～6　・	・グリッパー工法	・適用しない	
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

・タイルカーペット

パイル形状	種　別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物　・材質、種類、形状等　※図示　・

⑨ 合成樹脂塗床

塗床材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床			※平滑仕上げ
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床(JIS K 5970) (防塵塗料塗り)	PS・EPS床	※製造所の指定による	工程 塗布量（kg/㎡） ※0.25kg/㎡以上 表面仕上げ ※平滑　・防滑 溶剤 ※水性　・溶剤系　・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色　・

⑩ フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書19.5.2(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆

単層フローリング
・フローリングボード1等
工法　・釘止め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・
厚さ、大きさ　※標準仕様書表19.5.1、3による　・
仕上塗装　・塗装品　・無塗装品
間伐材等の適用　・する　・しない
・フローリングブロック1等
工法　※接着工法　・
樹種　※なら　・
厚さ、大きさ　※標準仕様書 表19.5.1による
仕上塗装　・塗装品　・無塗装品
間伐材等の適用　・する　・しない
複合フローリング
・天然木化粧複合フローリング
工法　・釘止め工法（・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・　※桜　・
種別（標準仕様書表19.5.2、4、6）　・A種　・B種　・C種
仕上塗装　・塗装品　・無塗装品
間伐材等の適用　・する　・しない
接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ　※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

11 畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)
種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳　（畳表：・C1　・C2）

⑫ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表19.7.1)
ＭＤＦ、パーティクルボード及び接着剤の
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量　※標準仕様書 19.7.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか

木質系セメント板

種　類	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	・15　・20　・25　・

木片セメント板

種　類	厚さ（mm）、規格等
・硬質木片セメント板 G	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 G	・30　・

繊維強化セメント板

・けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　ﾀｲﾌﾟ2（無石綿）　・6　・8
・化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　ﾀｲﾌﾟ2（無石綿）　・6　・8 表面への化粧張り等の加工　・ｱｸﾘﾙ樹脂系焼付

火山性ガラス質複層板

・火山性ガラス質複層板	・図示による

繊維板

ハードボード(素地) スタンダードボード（無処理）	・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE) 厚さ　・2.5　・3.5　・5　・7
テンパードボード（処理）	・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(・未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE) 厚さ　・2.5　・3.5　・5　・7
・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）G	・3　・7　・9　・12　・
・インシュレーションボード G	A級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18

パーティクルボード

・単板張りパーティクルボード G	・無研磨板 VN　・研磨板 VS ・10　・12　・15　・18　・20
・化粧パーティクルボード G	・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ DV　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ DO ・塗装 DC ・10（難燃）　・12（難燃）　・

訂正	月　日	事　項		
	・		・	
	・		・	
	・		・	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
図面名称	特記仕様書（４）
縮尺	NS
作成	2025 年 1 月 31 日
承認	
部長　課長　担当　製図	
設計No.	A-004
図面No.	

吸音材料

・ロックウール化粧吸音板	・フラットタイプ（・9(不燃)　・12(不燃)　・　） ・凹凸タイプ（・12(不燃)　・15(不燃)　・　）
・ロックウール吸音ボード1号	・25　・
・グラスウール吸音ボード32K	・25（ガラスクロス包）　・

・せっこうボード製品

・せっこうボード(GB-R)	・12.5（不燃）　・9.5（不燃）　・21（不燃）
・不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用）　・化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード(GB-S)	12.5（※不燃　・準不燃）
・強化せっこうボード(GB-F)	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5
・化粧せっこうボード(GB-D)(木目)	12.5（不燃）　幅440mm程度　模様（・柾目　・板目）専用下地材有り
・化粧せっこうボード(GB-D)（トラバーチン模様）	9.5（準不燃）

合板

・普通合板 G	表板の材種　生地、透明塗料塗り（※ｳﾚﾀﾝ程度　・　） 不透明塗料塗り（※しな程度　・　） 板面の品質（　） 厚さ(mm)（　） 防虫処理　・行う　・行わない
・天然木化粧合板 G	化粧板の樹種名（　） 厚さ(mm)（　） 防虫処理　・行う　・行わない
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装） 表面性能（　）タイプ 厚さ(mm)（　） 防虫処理　・行う　・行わない

化粧板

・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による厚さ（※1.2　・　）
・ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合　※図示　・
合板類の張付け　・A種　・B種
せっこうボードの目地工法等　目地工法の種類　※仕上表による　・網目処理工法

突付け工法のエッジの種類	・ベベルエッジ　・スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

⑬ 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　(19.8.2、3)

施工箇所	壁紙の種類 紙	織物	塩化ﾋﾞﾆﾙﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
壁・天井	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別　・A種　※B種
コンクリート面の素地ごしらえの種別　・A種　※B種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別　・A種　※B種

⑭ 断熱材 G　(19.9.2～4)

ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材、保温剤又は接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

※断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)（・2種bA　・3種bA　・3種bC　・3種bD）	・25	・ビット
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・フェノールフォーム断熱材	・	・

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・A種1　・A種1H
吹付け厚さ(mm)
施工箇所　・図示　・

⑳ ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備考
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

フリーアクセスフロアスフロアの試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(d)による　・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(c)による　・
・以下による
パネルの長さの寸法精度（　）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度（　）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度（　）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧$1\times10^6\Omega$

2 可動間仕切　パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※F☆☆☆☆　・　(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 ｽﾀｯﾄﾞ	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
・スタッド式（内蔵） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式			・メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書 16章 8節 の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

③ 移動間仕切　(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	65	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・化粧鋼板	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け金重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

④ トイレブース　パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・　(20.2.5)

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の標準仕様 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ・Rタイプ

⑤ 手すり　(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理　※HL程度　・
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書 表14.2.2による種別（　種））
・アルミニウム 表面処理（※標準仕様書 表14.2.1による種別（　種））
色合等　・標準色（　）　・特注色（　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材(材種：　)	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ	・30程度・35程度・45程度		
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ	・	・30程度・35程度・45程度		
・樹脂被膜ｽﾁｰﾙ	・	・34φ	屋内階段	抗菌性、木調

⑥ 階段滑り止め　(20.2.7)

材種　・ステンレス製　・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材　・
形状　※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等）　・タイヤレス製
端部の形状　フラットエンド　・あり　・なし
寸法(幅)　・25mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法　・ビス留め

⑦ 黒板及びホワイトボード G　(20.2.9)

・黒板　区分　※焼き付け　・
種類　・ほうろう　・鋼製　・
色　※緑　・
・ホワイトボード（収納棚扉　）

⑧ 鏡　取付箇所（図示）　(20.2.10)
寸法(mm)　・図示　・
厚さ(mm)　※5　・図示

⑨ 表示　(20.2.11)
衝突防止表示
・設置場所　※図示による
・形状・寸法（・30φ　・図示　）
・材質　（・ステンレス製　・塩ビシート　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等（案内用図記号はJIS Z 8210による）
※図示による

⑩ タラップ　(20.2.12)
材質及び仕上げ
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表 14.2.2による種別（※C種　・　種））

11 煙突ライニング　適用安全使用温度　・　(20.2.13)
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)

12 ブラインド　(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ 取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	—				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	—				

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする

13 ロールスクリーン　操作方法　・スプリング式　・コード式　・電動式　(20.2.15)
幅、高さ、取付箇所　・図示　・
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製
品質等　・
その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による　・
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

14 カーテン　(20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾘｰﾂひだ		・図示 ・	
						(暗幕)

生地の仕様　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

⑮ カーテンレール　材料による区分　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材　・ステンレス製　(20.2.16)
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

⑯ ブラインドボックス及びカーテンボックス　溝幅×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　・図示
材種　・集成材（仕上げ：自然系塗料塗　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書14.2.1）　・BC-1種　・BC-2種
色合い　・標準色（　）　・特注色（　）
・鋼製（仕上げ：　）

⑰ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ
		・気密形			

⑱ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・防水、防臭型	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

19 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直 ・水平	・25 ・	※完全（全貫通型）	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かり部のみ） ・	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かり部のみ） ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも）
目地寸法(幅mm×深さmm)	・スリット幅×深さ10 ・	・スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による。

⑳ 止水板　形式　・差込式　・掘置式　・壁張り式
施工箇所　・図示　・

21 エキスパンション・ジョイント金物

材質	階区分	建築物間のｸﾘｱﾗﾝｽ(mm)	変位追従性(mm)	耐火性能	断熱性能	備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製	( )階～( )階 ( )階～( )階	・50 ・100 ・150 ・	(避難経路の床等) ・　以上 (その他) ・　以上	・有り( ) ・無し	・有り( ) ・無し	

外部は防水型とする。
エキスパンションジョイントカバーには、脱落防止措置を講ずる。

22 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉓ 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1500 ・900	・450 ・370	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能　外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状　※図示　・

24 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

25 旗竿受金物　材種　・ステンレス製（SUS304）　・

26 車止めさく

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式　・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・図示	・図示
・固定式鎖内蔵型　・標準品	・ステンレス製	・図示	・図示

㉗ フェンス　フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス　・アルミフェンス
高さ　・図示　・

28 プレキャストコンクリート　(20.3.2～4)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³ を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。　・図示
取付け方法
※図示　・

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	
・コンクリート間知ブロック	—		・A　・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示　・
伸縮調整目地　材種　・図示　・
厚さ　・図示　・

30 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種　・

31 屋内掲示板　枠の材質　※アルミニウム製　・
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

㉜ 洗面カウンター　材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　・人工大理石
奥行き(mm)　・約450　・図示

㉝ 防煙垂れ壁　・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※網入り磨板ガラス ・透明不燃シート		※500 ・	

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

34 屋外掲示板　照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し
製造所（　）

㉟ 収納家具　材質、形状、寸法　※図示　・
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

21 排水工事

① 屋外雨水排水　材料

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（1種）	・B形管 ・	※図示　・	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP		※図示　・	
	・VU		※図示　・	
	・RF-VP G		※図示　・	
	・RS-VU G		※図示　・	

基床の厚さ及び種類　・図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・ゴム輪
側塊の形状及び寸法　・図示　・
排水桝、ふたの種類　・図示　・
砂地業に用いる材料(標準仕様書4.6.2(2))
・シルト　・山砂　川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料(標準仕様書4.6.2(1))
・再生クラッシャラン G　・切込砂利　・切込砕石
現場打ちの場合のコンクリート材料
種類　※普通コンクリート
設計基準強度　※18N/mm²　・
スランプ(cm)　※15又は18
現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・
排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)
・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層の厚さ　・図示　・
凍上抑制層に用いる材料　・
（砂を用いる場合の粒度試験）・行う　・行わない

2 鋳鉄製ふた　鋳鉄製マンホールふた

種類	適用荷重	鍵	備考
・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・T－2用 ・T－6用 ・T－20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は、(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

③ グレーチング　・鋼製

形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・ ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ・	・細目 ・ ・普通目 ・細目	・（　） ・ ・（　） ・	・凹凸形 ・ ・平形 ・

・ステンレス製

形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用 ・ ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ・	・ ・10mm ・	・ ・ ・	・凹凸形 ・ ・平形 ・

④ 街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
・縁石	・図示　・
・L形側溝	・図示　・
・U形側溝	・図示　・
・U形側溝ふた	・図示　・
・街きょ	・図示　・

砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン G　・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ　※100(mm)　・図示
現場打ちの場合のコンクリート材料
種類　※普通コンクリート
設計基準強度　※18N/mm²　・
スランプ(cm)　※15又は18
現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・
凍上抑制層に用いる材料
（砂を用いる場合の粒度試験）・行う　・行わない

⑤ 埋戻し　・B種　(21.2.1)(表3.2.1)

22 舗装工事

① 路床　路床の材料　(22.2.2、3～5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書表21.2.2による） ・	・図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂、良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ・	・図示 ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ）・行う　・行わない

訂正	月　日	事項						工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	特記仕様書（5）	縮尺	NS	図面No.
								作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.	A-005

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

⊙路床安定処理
安定処理の方法　⊙安定処理工法　・置き換え工法
添加材料による安定処理
種類　⊙普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
添加量　⊙　80kg/m³（目標CBR　・3以上　・　　）

・不織布（ジオテキスタイル）
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　**・1.5×10⁻¹cm/sec以上**　・

試験
砂の粒度試験　⊙行う　・行わない
路床土の支持力比（CBR）試験　⊙行う（ 2 箇所）　・行わない
現場CBR試験　⊙行う（ 2 箇所）　・行わない
安定処理土のCBR試験　**・行う**　**⊙行わない**
路床締固め度の試験　**・行う**（　箇所）　**⊙行わない**
六価クロム溶出試験　**・行う**　**⊙行わない**

② 路盤

路盤及び厚さ　⊙図示　・　(22.3.2、3)(表22.3.1)
路盤材料（標準仕様書 表22.3.1による種別）

種別	
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	⊙再生クラッシャラン G
	・再生粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・　(22.4.2～4、6)(表22.4.1、4)
材料及び種類
アスファルト　⊙再生アスファルト G
（標準仕様書 表22.4.1による種類：⊙60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物等の種類
⊙密粒度アスファルト混合物（13）
・細粒度アスファルト混合物（13）
・密粒度アスファルト混合物（13F）
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　⊙行わない
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

④ コンクリート舗装

構成及び厚さ　(22.5.2～4)(表22.5.1～3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	**・図示**
	⊙歩行者用通路	※図示	**※70　⊙図示**

材料
コンクリート
※普通コンクリート　標準仕様書表22.5.1による　・
・以下による
コンクリートの種類　・
設計基準強度(N/mm²)　**・**
所定のスランプ(cm)　**※8　・**
粗骨材の最大寸法(mm)　**・**
早強ポルトランドセメント　・使用する　⊙使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
種類　※標準仕様書表22.5.3による　・
間隔　**※標準仕様書表22.5.3による　⊙　5m程度ごと**
構造　※標準仕様書図22.5.1による　⊙図示
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

5 カラー舗装

・加熱系カラー舗装　(22.6.2～4)
構成及び厚さ　※図示　・
加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　　%）
添加材
着色骨材（　　）
自然石（　　）
・常温系カラー舗装
工法　**・ニート工法（配合その他：　　）**
・塗布工法　（配合その他：　　）
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

6 透水性アスファルト舗装

透水性舗装の構成及び厚さ　※図示　・　(22.7.2、3、6)
材料
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
（標準仕様書 表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
・透水性コンクリート舗装　(22.5.2～4、6)
コンクリート舗装に対する基準値

項目	基準値
最大粒径　(mm)	13
空隙率　(%)	20以上
透水係数　(cm/s)	1×10⁻²以上
目地の間隔	版厚の20倍程度

構成、厚さはコンクリート舗装による
・不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置　※フィルター層と路床の間の敷設　・図示

・透水性コンクリート平板舗装　(22.8.2、3)
透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による

・透水性インターロッキングブロック舗装　(22.8.2、3)
透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による

7 半たわみ性舗装

区分	種類	厚さ(mm)
表層	**半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)**	40
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40

試験
半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

材料
浸透用セメントミルクの標準的な性状

項目	性状	試験方法
フロー値(P-ロート)秒	10～14	舗装調査・試験法便覧（C041）
圧縮強度(7日養生)　MPa	9.8～29.4	JIS R 5201
曲げ強度(7日養生)　MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧（C042）

配合
半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合

ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（%）
19.0　mm	100
13.2　mm	95～100
4.75　mm	10～35
2.36　mm	5～22
600　μm	**4～15**
300　μm	3～12
75　μm	1～6
アスファルト量（%）	3～4.5

半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値

項目	基準値
密度　(g/cm³)	1.9以上
安定度　(kN)	2.94以上
フロー値　(1/100cm)	20～40
空隙率　(%)	20～28
突固め回数（回）	50

施工
半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。
浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による。
(1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。
(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラ等により行う。
(3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、硅砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。
(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。

セメントミルクの種類	養生期間
普通タイプ	約 3 日
早強タイプ	約 1 日
超速硬タイプ	約 3 時間

(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。

締固め度　**標準仕様書22.4.2(2)による**
舗装厚さの許容差　※標準仕様書 22.4.2(3) による
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

8 弾性舗装

弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ　※図示　・

区分	種類	厚さ(mm)
表層	弾性舗装材	15～20
基層	再生密粒度アスファルト混合物（13）	30

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

9 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 G　(22.8.2、3)
※図示　・

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
敷砂層	・砂 ・空練りﾓﾙﾀﾙ			

クッション材　※砂　・空練りモルタル

普通平板はG（再生材料を用いた舗装用ブロック）、
透水平板はG（透水性コンクリート）とする。

仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・

⊙インターロッキングブロック舗装 G

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	横断面勾配	目地材	備考
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路、駐車場	・図示 ・	80	**※5.0**	2%	砂	色彩、表面加工 ⊙標準品 ・
※普通ブロック（N） ⊙透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	歩行者用通路	⊙図示 ・	60	**※3.0**	1.5～2%		

クッション材　※砂　・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは G（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは G（透水性コンクリート）とする。

仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする。
・

区分	部位	厚さ(mm)	種類
敷砂層	・車路、駐車場	**・20**	砂
	⊙歩行者用通路	**⊙30**	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量6%以下）

・不織布（ジオテキスタイル）
敷設位置　※図示
・敷砂層と路盤の間に敷設　・フィルター層と路床の間に敷設
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10⁻¹cm/sec以上　・
舗装の割付（車路、駐車場）
・ヘリンボンボンド(45°)　・ヘリンボンボンド(90°)
仕上り面の平たん性　※走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm 以内とする。
・

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石・図示 ・	・	・うろこ張り ・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版	※70　・
				・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	**※70**　・

クッション材　※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm 以内とする。
・

10 砂利敷き

種別　(22.9.2)(表22.9.1)
・A種（施工範囲：・図示　・通路　・　）
・B種（施工範囲：・図示　・建物周囲他　・　）

11 路面標示用塗料

路面標示用塗料は、JIS K 5665 による。

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・1種 G	常温	液状	⊙白	⊙150	⊙1.0
・2種 G	加熱		・	⊙100	・
※3種1号	溶融	粉体状			

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度（pH）試験　・行う　⊙行わない　(23.1.3)
電気伝導度（EC）の試験　・行う　⊙行わない

② 植栽基盤の整備

(23.2.2)

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
⊙樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 **⊙植栽帯部分** ・図示 ・	⊙適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	⊙植栽部分 ・図示 ・	⊙適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）　⊙設けない

③ 植込み用土

⊙現場発生土の良質土　・客土　・　(23.2.3)

④ 土壌改良材

(23.2.3)
種類及び指定量等
⊙パーク堆肥 G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（⊙50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

⑤ 樹木

樹種、寸法、株立数等　※図示　・　(23.3.2)

⑥ 支柱

支柱材　※丸太（間伐材）G　⊙真竹　・　(23.3.2、3)
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示　⊙竹布掛型

7 幹巻き用材料

材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも　・　(23.3.2)

8 芝

種類　※ロウライシバ　・ノシバ　・　(23.4.2、3)
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　**・目地張り**　**※べた張り法面**

⑨ 吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
⊙コウライシバ	・		

10 地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

11 新植、移植樹木、芝等の枯補償

(23.3.4、6)(23.4.7)(23.5.5)
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

12 屋上緑化 G

植栽基盤及び材料　(23.5.2～4)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成型品
植込み用土　※改良土　・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　**※図示　・**
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・
支柱　・設置する（形式　・図示　・　）
かん水装置　・設置する（種類　・　）
工法
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日　建設省告示第1458号）に基づく風圧力に対応した工法
・図示による

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	特記仕様書（6）	縮尺	NS	図面No.	A-006
作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長　課長　担当　製図		設計No.	

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G 別途工事	備考
躯体関係						
1. RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け		○	○		
	補強を要する型枠材及び取付け	○				
	補強を要しない型枠材及び取付け		○	○		
	貫通孔・開口部の墨出し		○	○		
	貫通孔・開口部の補強	○				
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○		
2. S・SRC造・梁貫通口	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強	○	○	○		
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○		
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○		
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○				
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○		
	室外・屋上の基礎	○				
	屋上の基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの（配管架台類）		○	○		
	機器取付け用アンカー・架台		○	○		建築設計図にあるものはA
	屋内受水タンク用の基礎					
	空調屋外機用ﾌｪﾝｽ工事					
	屋外機の据付架台					
4. 昇降機関連	昇降路・機械室の躯体	○				
	機械室の床開口	○				
	機械室の床配管ピット・蓋	○				
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○				
	巻上機周囲のチェッカープレート敷	○				
	昇降路内ピット防水・集水桝・点検用タラップ	○				
	各階出入口穴あけ・同補強	○				
	出入口扉・三方枠	○				
	三方枠取付け・枠廻り埋戻し・同補強	○				
	昇降機がRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式	○				
	機械室天井フック取付け	○				
	ホール押釦・インジケータ・銅索などの壁開口	○				
	機械室換気設備					
	昇降路がS造の時中層ビームブラケット受ピース					
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配線工事		○			
	ＥＶ機械室からインターホンまでの配管工事		○			
5. その他	トラフ・ピット類（蓋を含む）					
	湧水・汚水ピット・RC造各種水槽	○				
	同上用防水・マンホール・タラップ一式	○				
	避雷設備・同接地工事		○			
	ＡＬＣ板の壁開口・補強					
	厨房排水溝	○				
	厨房グリース阻集器			○		
	オイルサービスタンクの防油堤					

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G 別途工事	備考
仕上げ関係						
1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				
	補強を要しないボードの切り込み		○	○		
	開口部の墨出し		○	○		
2. 既製間仕切り	切り込み及び補強	○				
	位置ボックス	○				
3. 吊ボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○		
4. 外壁廻り	外壁ガラリ	○				
	ウェザーカバー・ベンドキャップ			○		
	換気扇			○		
5. 湯沸室廻り	流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台	○				
	フード（標準詳細図のもの）			○		
	流し台の排水トラップ			○		
6. 浴室廻り	ユニットバス・シャワーユニット					
	既製浴槽（蓋を含む）			○		
	浴室及び便所の床排水金物					
7. 便所廻り	洗面カウンター	○				
	鏡	○				
	身障用手すり			○		
	紙巻器			○		
8. 事務室廻り	ファンコイルカバー					
	家具組み込みの洗面器					
9. フリーアクセスフロア	コンセント		○			
	床パネルの切り込み加工		○			
10. その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋					
	機器搬入用フック・ビーム					
	チェンブロック					
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ	○				
	点検口（天井・床下）	○				
	排煙口等の天井仕上材の取付け					
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック，フロアヒンジ					
	消火器ＢＯＸ（壁埋込式）設置工事	○				消火器は別途
	自動扉・電動シャッターへの電源供給					
	自動扉・電動シャッターから付属のスイッチ・センサーへの配管工事					

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G 別途工事	備考
屋外排水設備・外構						
1. 雨水	屋外雨水排水設備（U字溝）				○	
	桝及び桝蓋			○	○	塩ビ桝は設備工事
	雨水再利用設備					
2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○		
	桝及び桝蓋			○		
	化粧マンホール上蓋の表面仕上げ				○	
3. 植栽	植栽及び客土				○	
4. ユニット形浄化槽の躯体	ピット形の躯体及び砂充てん	○				
	上記以外のユニット形浄化槽本体･配管及び据付等			○		
	ピット形以外					
5. その他	駐車場ガソリントラップ					
	グリストラップ			○		
設備関連						
1. 空調設備	空調室外機・室内機への電源接続		○			
	空調リモコン線の配管・配線				○	
	空調リモコンの取付け				○	
2. 換気設備	換気機器への電源接続		○			
	汎用手元スイッチの取付け				○	
	２４時間換気スイッチの支給		○			
	２４時間換気スイッチの取付け				○	
	３φ用ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ及びｺﾝﾄﾛｰﾙﾎﾞｯｸｽの支給		○			
	３φ用ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ及びｺﾝﾄﾛｰﾙﾎﾞｯｸｽの取付け		○			
	全熱交換器への電源接続		○			
	全熱交換器スイッチの配管・配線		○			
	全熱交換器スイッチの取付け				○	
	調理室関係３φ給気・排気ファンの電源接続		○			
	調理室関係３φ給気・排気ファンの発停制御・連動(動力盤面操作)		○			
3. ガス設備	ガス給湯器の電源（コンセント）		○			
	ガス給湯器リモコン線の配管・配線				○	
4. 衛生設備 消火設備	機械設備で設置する制御盤の一次側電源接続		○			
	上記制御盤の二次側配管・配線				○	
	消火水槽の電極取付けと配管・配線(消火ポンプ二次側)					
	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備、高架水槽の電極取付けと配管・配線（警報出力含む）					
5. 警報設備	機械設備で設置する制御盤の警報信号の端子台出力				○	
	機械設備で設置する制御盤から警報盤までの配線と警報盤本体				○	

項目		A	E 別途工事	M 別途工事	G 別途工事	備考
電気配線配管						
	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）		○			２次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○			１次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線					
	機器と付属操作スイッチの渡り配管配線		○	○		図面参照のこと
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線					
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線		○			
	注油口内アース端子よりのアース用配管配線					自家発用はE
	遠方操作制御用配管配線					
仮設工事関係						※任意仮設
	仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金		○	○	○	
	仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費用		○	○	○	
	上記以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用					別途
	上下水道・ガス・電気等の加入金，負担金					別途
	仮囲い、共通足場、安全対策	○				
	養生、整理清掃後片付け	○				
	請負者事務所，下小屋，材料置場等 監督職員事務所	○				備品等も含む
	残材場外処分					
	交通保安要員の手配	○				
	本設電力引込み		○			
	本設受電後引渡しまでの基本料金、使用料	○	○	○		
	本設上下水道引込み			○		
	本設後引渡しまでの上下水道料金	○	○	○		
	本設雨水排水引込み					
	本設ガス引込み			○		
	本設電話引込み工事		○			
	工事上の各種申請、届出費用	○	○	○		
	現場施工管理者との窓口及び総合調整の業務 近隣対策（お知らせ及び挨拶回り）					
	全体実施工程表及び全体仮設計画の作成 総合図の調整、手配	○	○	○	○	

訂正

月 日	事項

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号	
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日
承認：

図面名称：工事区分表
縮尺：NS
部長 課長 担当 製図
設計No.
図面No.：A-007

1. 工事名称

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	建築主 住所氏名	川越市長 川合　善明
建設地	（地名地番） 埼玉県川越市大字古谷上4009番地13、4009番地23、4021番地10、4022番地1、5692番地17		ＴＥＬ 049-224-8811
主要用途	保育所　　消防用途　(6)項ハ(3) 保育所等・児童発達支援センター等		〒３５０－８６０１
工事種別	[新築]・増築・別棟増築・改築・改修（大規模の修繕）・室内装飾 別途変更（大規模の模様替）・仮設建築・解体・移設・移転		埼玉県川越市元町1丁目3番地1

2. 敷地状況

敷地面積	公　簿　　㎡　（＝　　.　　坪）	建ぺい率 容積率	基準容積率　200.00 % 基準建ぺい率　70.00 %
	実　測　1,925.16 ㎡　（＝　　坪）		
用途地域	低層住居専用（第　種）・中高層住居専用（第　種）・住居地域（第1種・第2種） 準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用・[指定なし]	日影制限：有(高さが10mを超える建築物が対象) 平均地盤面からの高さ　4m 敷地境界線より5mを越え10m以内の範囲　3時間以上 敷地境界線より10mを越える範囲　5時間以上	
防火地域	防火・準防火・[指定なし]・特定行政庁の指定地域 ・ 法22条		
その他の地域地区	[都市計画区域内]・都市計画区域外・市街化区域・[市街化調整区域]・特別工業地区・特別用途地区・美観地区・再開事業区域・特定街区・改良地区 文教地区（　　）・風致地区（　　）・高度地区(第二・三種)・駐車場整備地区・電波伝搬障害防止地区・多雪地区・災害危険地区 緑地地区・土地区画整理事業地区・宅地造成工事規制区域・国立公園・国定公園・河川敷・その他：下水道処理区域内		

3. 構造・規模

構　造	ＳＲＣ造・ＲＣ造・ＰＣ造・[鉄骨造]・軽量鉄骨造・ＣＢ造・木造・その他	階　数	（Ｂ　－　）（Ｆ　2　）（Ｐ　－　）
構造形式	[ラーメン造]・壁・立体トラス・シェル・折版・その他	最高高さ	設計ＧＬ＋9.860m
基　礎	杭支持　（ＲＣ杭・[ＰＣ杭]・アースドリル・ベノト・深礎・その他（柱状改良）	最高軒高	設計ＧＬ＋8.010m
増築予定	無	その他	

4. 面　積

	計画建物1	計画建物2・3	計画建物4	計画建物5	合　計	建ぺい率・容積率
建築面積	478.48 ㎡ (=144.74) 坪	3.33 ㎡ (　=1.94) 坪	3.95 ㎡ (　=1.19) 坪	4.70 ㎡ (　=1.42) 坪	493.79 ㎡ (=150.88) 坪	25.64 %　許容　70.00 %
延床面積	756.85 ㎡ (=228.95) 坪	6.41 ㎡ (　=1.94) 坪	3.95 ㎡ (　=1.19) 坪	4.70 ㎡ (　=1.42) 坪	778.32 ㎡ (=235.09) 坪	対象面積　754.34㎡ 39.23 %　許容 200.00 %

5. 床面積

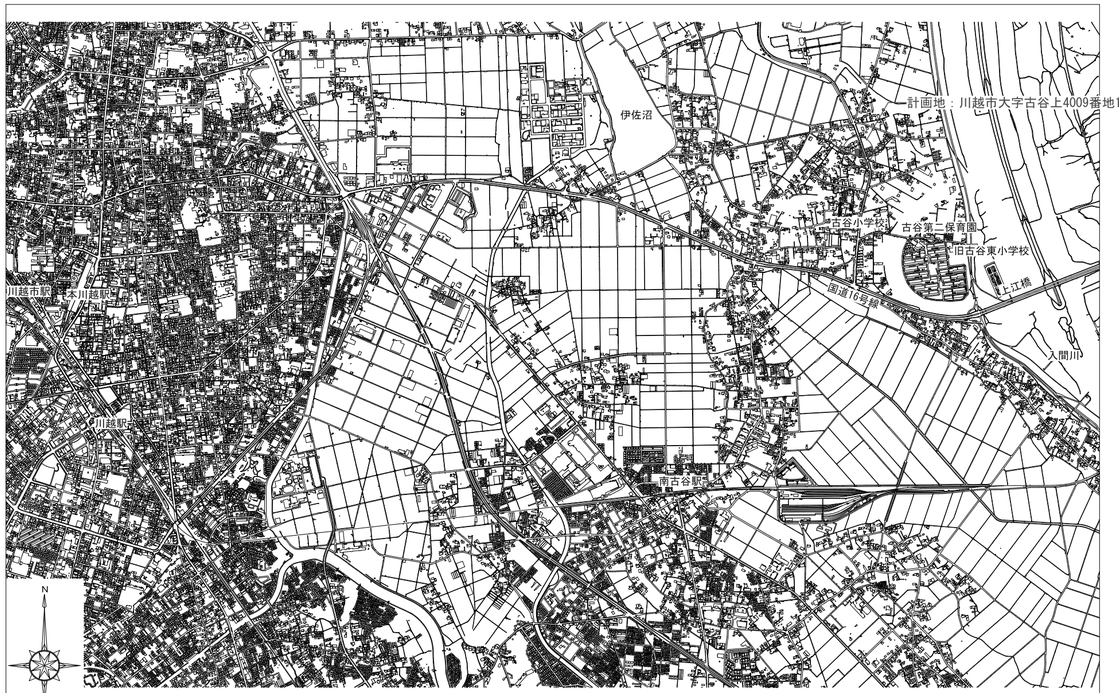
計画建物1				
階別	申請部分	申請以外の部分	階高	主要用途
1階	386.40 ㎡	㎡	m	保育所
2階	370.45 ㎡	㎡	m	保育所
	㎡	㎡	m	
	㎡	㎡	m	
	㎡	㎡	m	
	㎡	㎡	m	
小計	756.85 ㎡			

計画建物2				
1階	6.41 ㎡	㎡	m	駐輪場
小計	6.41 ㎡			

計画建物3				
1階	6.41 ㎡	㎡	m	駐輪場
小計	6.41 ㎡			

計画建物4				
階別	申請部分	申請以外の部分	階高	主要用途
1階	3.95 ㎡	㎡	m	倉庫業を営まない倉庫
小計	3.95 ㎡			

計画建物5				
1階	4.70 ㎡	㎡	m	倉庫業を営まない倉庫
小計	4.70 ㎡			
合計	778.32			



案内図　1/15000

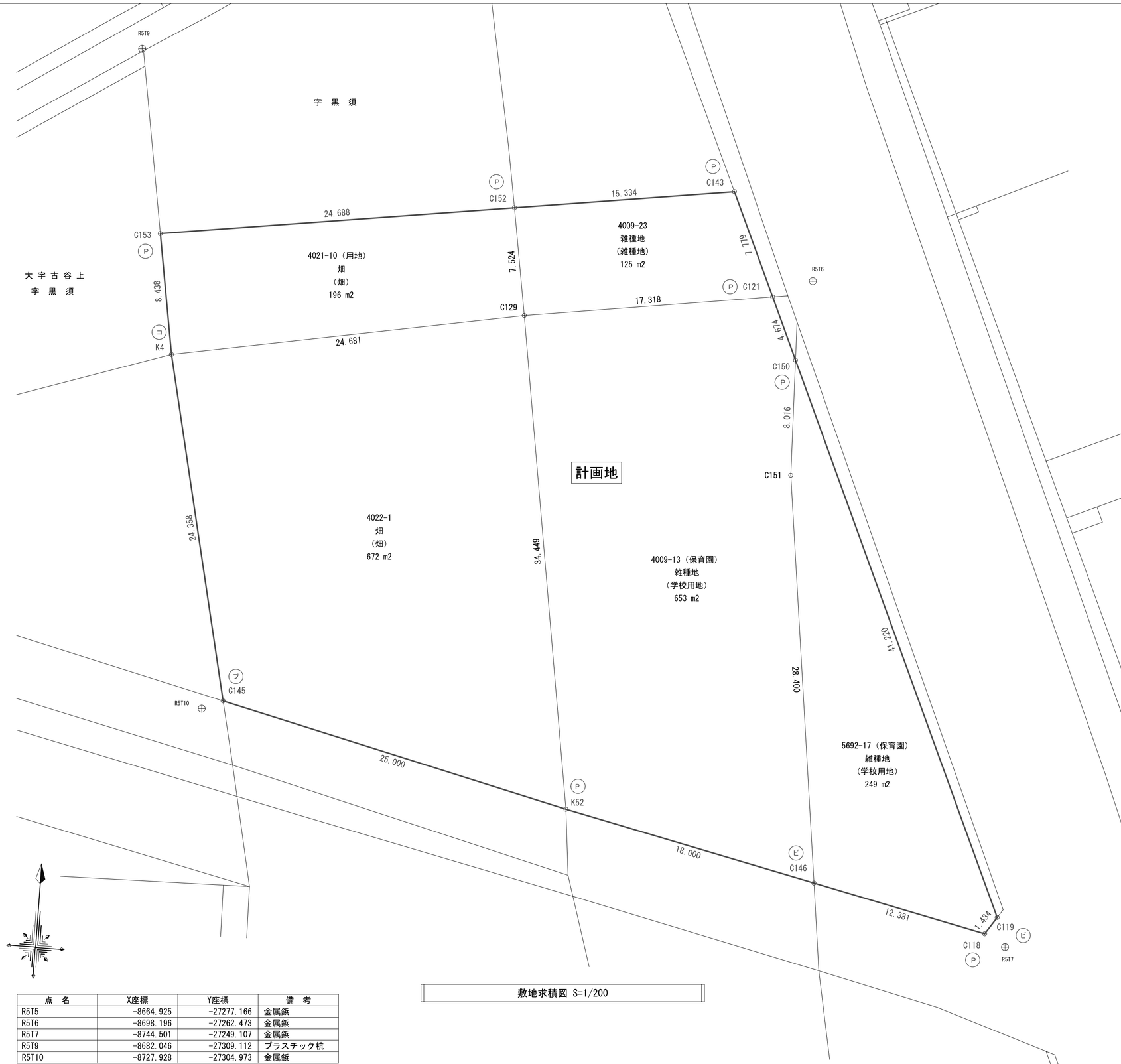
付近見取図　1/2000

訂正	月．日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	設計概要・案内図
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A－101
部長　課長　担当　製図		設計No.	確－01



敷地求積図 S=1/200

点　名	X座標	Y座標	備　考
R5T5	-8664.925	-27277.166	金属鋲
R5T6	-8698.196	-27262.473	金属鋲
R5T7	-8744.501	-27249.107	金属鋲
R5T9	-8682.046	-27309.112	プラスチック杭
R5T10	-8727.928	-27304.973	金属鋲

求積表

地　番	5692-17（保育園）	公簿地積	249 m2	公簿地目	雑種地
所有者	川越市			現況地目	学校用地

ＮＯ	Ｘｎ	Ｙｎ	距　離	Ｘｎ・（Ｙｎ+1-Ｙｎ-1）
C146	-8740.051	-27262.394	12.381	-117815.887480
C118	-8743.584	-27250.527	1.434	-111393.260160
C119	-8742.446	-27249.654	41.220	114998.134684
C150	-8703.686	-27263.681	8.016	124924.005158
C151	-8711.696	-27264.007	28.400	-11211.952752
			合　計	-498.960550
			1／2	249.480275
			地　積	249.48 m2

地　番	4009-13（保育園）	公簿地積	653 m2	公簿地目	雑種地
所有者	川越市			現況地目	学校用地

ＮＯ	Ｘｎ	Ｙｎ	距　離	Ｘｎ・（Ｙｎ+1-Ｙｎ-1）
K52	-8734.915	-27279.646	18.000	-175991.067420
C146	-8740.051	-27262.394	28.400	-136685.657589
C151	-8711.696	-27264.007	8.016	11211.952752
C150	-8703.686	-27263.681	4.674	11010.162790
C121	-8699.291	-27265.272	17.318	164077.327551
C129	-8700.587	-27282.542	34.449	125062.237538
			合　計	-1315.044378
			1／2	657.5221890
			地　積	657.52 m2

地　番	4009-23	公簿地積	125 m2	公簿地目	雑種地
所有者	川越市			現況地目	雑種地

ＮＯ	Ｘｎ	Ｙｎ	距　離	Ｘｎ・（Ｙｎ+1-Ｙｎ-1）
C152	-8693.094	-27283.225	7.524	127014.796434
C129	-8700.587	-27282.542	17.318	-156201.638411
C121	-8699.291	-27265.272	7.779	-127105.340801
C143	-8691.980	-27267.931	15.334	156047.116940
			合　計	-245.065838
			1／2	122.532919
			地　積	122.53 m2

地　番	4021-10	公簿地積	196 m2	公簿地目	畑
所有者	川越市			現況地目	畑

ＮＯ	Ｘｎ	Ｙｎ	距　離	Ｘｎ・（Ｙｎ+1-Ｙｎ-1）
C153	-8694.888	-27307.848	8.438	207373.078800
K4	-8703.291	-27307.075	24.681	-220245.482046
C129	-8700.587	-27282.542	7.524	-207508.999950
C152	-8693.094	-27283.225	24.688	219987.436764
			合　計	-393.966432
			1／2	196.983216
			地　積	196.98 m2

地　番	4022-1	公簿地積	672 m2	公簿地目	畑
所有者	川越市			現況地目	畑

ＮＯ	Ｘｎ	Ｙｎ	距　離	Ｘｎ・（Ｙｎ+1-Ｙｎ-1）
C145	-8727.384	-27303.485	25.000	-239383.415736
K52	-8734.915	-27279.646	34.449	-182935.324845
C129	-8700.587	-27282.542	24.681	238648.400823
K4	-8703.291	-27307.075	24.358	182273.023413
			合　計	-1397.316345
			1／2	698.6581725
			地　積	698.65 m2

地　番	地　積
5692-17（保育園）	249.48
4009-13（保育園）	657.52
4009-23	122.53
4021-10（用地）	196.98
4022-1	698.65
合　計	1,925.16 m2

凡　例	
コンクリート杭	コ
金　属　標	Ｐ
金　属　鋲	ビ
プラスチック杭	プ
計　算　点	計
ペイント	ペ

測量年月日	令和 5年 8月10日
測地系	世界測地系（測地成果2011）（パラメータ変換）
座標系	Ⅸ系

訂正	月　日	事　項		

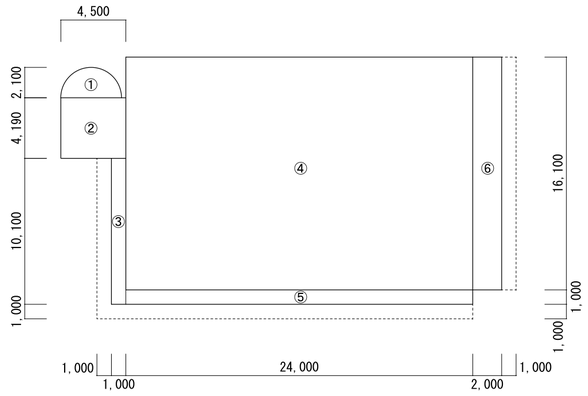
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録　東京本部一級建築士事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二　法適合確認結果等

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事		
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	

図面名称	敷地求積図	縮尺	A2:1/200 A3:1/280	図面No.
部長	課長	担当	製図	設計No.

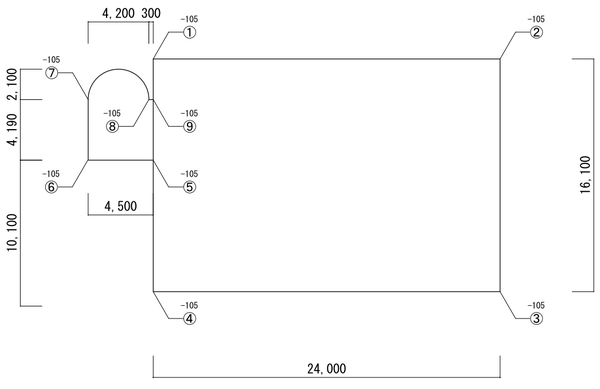
A－１０２
確－０２

計画建物1(保育所)



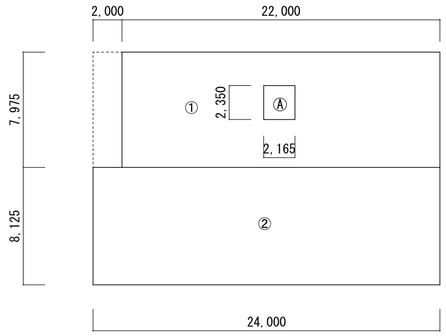
建築面積求積図

建築面積算定式			
番号	計算式		計
①	2.100 × 2.100 × π × 0.5		6.927212
②	4.190 × 4.500		18.855000
③	10.100 × 1.000		10.100000
④	24.000 × 16.100		386.400000
⑤	24.000 × 1.000		24.000000
⑥	2.000 × 16.100		32.200000
小 計			478.482212



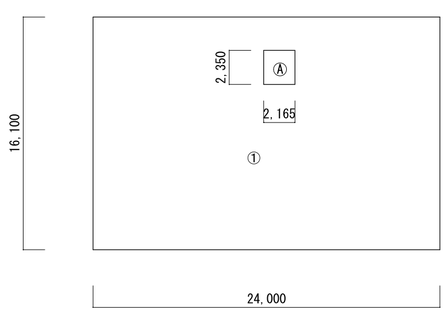
平均地盤算定図

■平均GL算定式			
番号	計算式		計
1～2	-0.210 × 24.000		-5.040000
2～3	-0.210 × 16.100		-3.381000
3～4	-0.210 × 24.000		-5.040000
4～5	-0.210 × 10.100		-2.121000
5～6	-0.210 × 4.500		-0.945000
6～7	-0.210 × 4.190		-0.879900
7～8	-0.210 × (4.200 × π × 0.500)		-1.385442
8～9	-0.210 × 0.300		-0.063000
9～1	-0.210 × 2.100		-0.441000
小 計	91.887…L		-19.296342…S
平均地盤面＝ S（㎡）/L（m）/2＝			-0.105
平均GL=KBM-0.105(設計GL±0)			



2階延べ床面積求積図

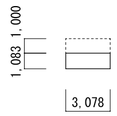
■2階床面積算定式						
延べ床面積			容積対象外面積			
番号	計算式	計	番号	計算式	計	
①	22.000 × 7.975	175.450000	Ⓐ	2.165 × 2.350	5.087750	
②	24.000 × 8.125	195.000000				
小 計		370.450000	小 計		5.087750	
■延べ面積						
					370.45㎡	
■容積対象外面積						
EVシャフト					5.08㎡	
■容積対象延べ床面積						
延べ床面積-容積対象外面積=					365.37㎡	



1階延べ床面積求積図

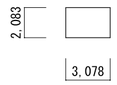
■1階床面積算定式						
延べ床面積			容積対象外面積			
番号	計算式	計	番号	計算式	計	
①	24.000 × 16.100	386.400000	Ⓐ	2.165 × 2.350	5.087750	
小 計		386.400000	小 計		5.087750	
■延べ面積						
					386.40㎡	
■容積対象外面積						
EVシャフト					5.08㎡	
■容積対象延べ床面積						
延べ床面積-容積対象外面積=					381.32㎡	

計画建物2・3(駐輪場)



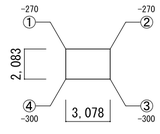
建築面積求積図

■建築面積算定式			
番号	計算式		計
①	3.078 × 1.083		3.333474
小 計			3.33㎡



延べ床面積求積図

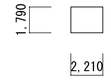
■延べ床面積算定式			
番号	計算式		計
①	3.078 × 2.083		6.411474
小 計			6.41㎡



平均地盤算定図

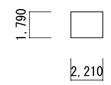
■平均GL算定式			
番号	計算式		計
1～2	-0.540 × 3.078		-1.662120
2～3	-0.570 × 2.083		-1.187310
3～4	-0.600 × 3.078		-1.846800
4～1	-0.570 × 2.083		-1.187310
小 計	9.766000…L		-5.883540…S
平均地盤面＝ S（㎡）/L（m）/2＝			-0.301
平均GL=KBM-0.301(設計GL-0.196)			

計画建物4(物置)



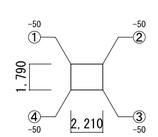
建築面積求積図

■建築面積算定式			
番号	計算式		計
①	2.210 × 1.790		3.955900
小 計			3.95㎡



延べ床面積求積図

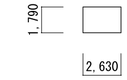
■延べ床面積算定式			
番号	計算式		計
①	2.210 × 1.790		3.955900
小 計			3.95㎡



平均地盤算定図

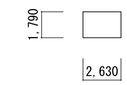
■平均GL算定式			
番号	計算式		計
1～2	-0.100 × 2.210		-0.221000
2～3	-0.100 × 1.790		-0.179000
3～4	-0.100 × 2.210		-0.221000
4～1	-0.100 × 1.790		-0.179000
小 計	8.000000…L		-0.800000…S
平均地盤面＝ S（㎡）/L（m）/2＝			-0.050
平均GL=KBM-0.050(設計GL-0.055)			

計画建物5(物置)



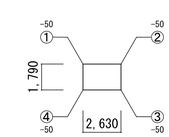
建築面積求積図

■建築面積算定式			
番号	計算式		計
①	2.630 × 1.790		4.707700
小 計			4.70㎡



延べ床面積求積図

■延べ床面積算定式			
番号	計算式		計
①	2.630 × 1.790		4.707700
小 計			4.70㎡



平均地盤算定図

■平均GL算定式			
番号	計算式		計
1～2	-0.100 × 2.630		-0.263000
2～3	-0.100 × 1.790		-0.179000
3～4	-0.100 × 2.630		-0.263000
4～1	-0.100 × 1.790		-0.179000
小 計	8.840000…L		-0.884000…S
平均地盤面＝ S（㎡）/L（m）/2＝			-0.050
平均GL=KBM-0.050(設計GL-0.055)			

面積集計表

敷地面積	1,925.16㎡	
建築面積	493.79㎡	建蔽率 建築面積/敷地面積×100=25.64% ≦70.00%
容積対象面積	754.34㎡	容積率 容積対象面積/敷地面積×100=39.23% ≦200.00%
延床面積	778.32㎡	

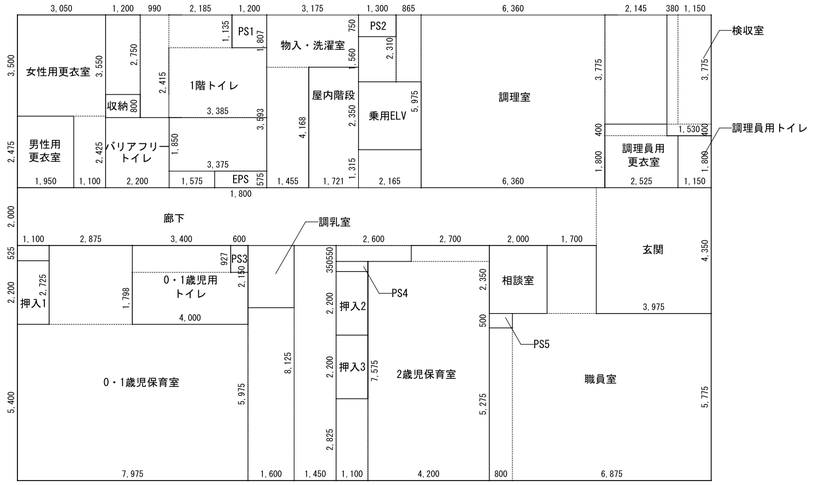
訂正	月 日	事 項		
訂	. .		.	
正	. .		.	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

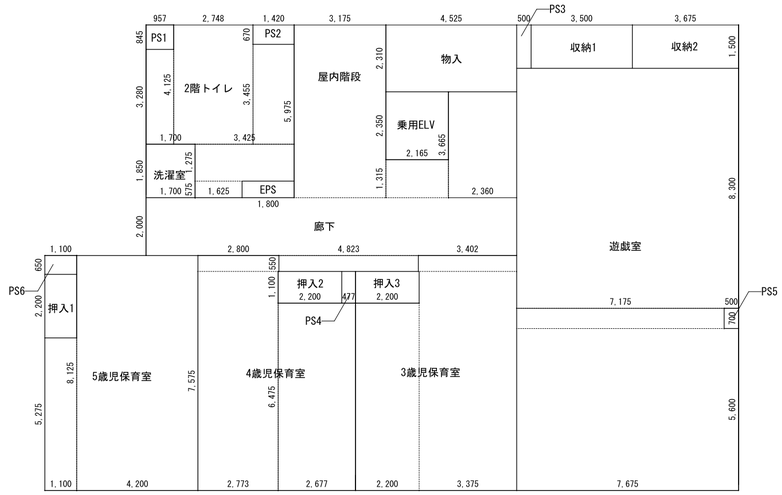
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事		図面名称	法定面積求積図・平均地盤算定図
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	縮尺	A2:1/300 A3:1/400
部長	課長	担当	製図	設計No.

図面No. A-103 確-03



1階各室求積図



2階各室求積図

部屋名	計算式			面積(㎡)	各室面積(㎡)	
玄関・ホール・廊下	1.721	× 4.168	=	7.171044	69.125	…①
	2.420	× 1.315	=	3.182300		…②
	2.600	× 0.550	=	1.430000		
	3.975	× 4.350	=	17.291250		
	20.025	× 2.000	=	40.050000		
0・1歳児保育室	2.875	× 2.725	=	7.834375	72.241	
	7.975	× 5.400	=	43.065000		
	1.600	× 5.975	=	9.560000		
	1.450	× 8.125	=	11.781250		
2歳児保育室	1.100	× 2.825	=	3.107500	36.408	
	4.200	× 7.575	=	31.815000		
	0.550	× 2.700	=	1.485000		
職員室	0.800	× 5.275	=	4.220000	47.918	
	6.875	× 5.775	=	39.703125		
	1.700	× 2.350	=	3.995000		
相談室	2.000	× 2.350	=	4.700000	4.700	
調乳室	1.600	× 2.150	=	3.440000	3.440	
検収室	0.380	× 3.775	=	1.434500	6.388	
	1.150	× 3.775	=	4.341250		
	1.530	× 0.400	=	0.612000		
調理室	1.300	× 1.560	=	2.028000	50.125	
	6.360	× 5.975	=	38.001000		
	0.865	× 2.310	=	1.998150		
	2.145	× 3.775	=	8.097375		
調理員用更衣室	2.145	× 0.400	=	0.858000	5.403	
	2.525	× 1.800	=	4.545000		
調理員用トイレ	1.150	× 1.800	=	2.070000	2.070	
0・1歳児用トイレ	3.400	× 0.927	=	3.151800	10.344	
	4.000	× 1.798	=	7.192000		
1階トイレ	0.990	× 3.550	=	3.514500	24.619	
	1.200	× 2.750	=	3.300000		
	2.185	× 1.135	=	2.479975		
	3.385	× 2.415	=	8.174775		
	3.375	× 1.850	=	6.243750		
	1.575	× 0.575	=	0.905625		
バリアフリートイレ	2.200	× 2.425	=	5.335000	5.335	
女性用更衣室	3.050	× 3.500	=	10.675000	13.398	
	1.100	× 2.475	=	2.722500		
男性用更衣室	1.950	× 2.475	=	4.826250	4.826	
物入・洗濯室	3.175	× 1.807	=	5.737225	11.800	
	1.455	× 4.168	=	6.062356		
乗用ELV	2.165	× 2.350	=	5.087750	5.088	
収納	1.200	× 0.800	=	0.960000	0.960	
押入1	1.100	× 2.200	=	2.420000	2.420	
押入2	1.100	× 2.200	=	2.420000	2.420	
押入3	1.100	× 2.200	=	2.420000	2.420	
EPS	1.800	× 0.575	=	1.035000	1.035	
PS1	1.200	× 1.135	=	1.362000	1.362	
PS2	1.300	× 0.750	=	0.975000	0.975	
PS3	0.927	× 0.600	=	0.556200	0.556	
PS4	1.100	× 0.350	=	0.385000	0.385	
PS5	0.800	× 0.500	=	0.400000	0.400	
デッドスペース	1.100	× 0.525	=	0.577500	0.578	
合計面積(㎡)					386.735	

部屋名	計算式			面積(㎡)	各室面積(㎡)
階段・廊下	4.823	× 0.550	=	2.652650	58.770
	3.175	× 5.975	=	18.970625	
	2.360	× 3.665	=	8.649400	
	2.165	× 1.315	=	2.846975	
	12.825	× 2.000	=	25.650000	
3歳児保育室	2.200	× 6.475	=	14.245000	41.682
	3.375	× 7.575	=	25.565625	
	3.402	× 0.550	=	1.871100	
4歳児保育室	2.800	× 0.550	=	1.540000	39.879
	2.773	× 7.575	=	21.005475	
	2.677	× 6.475	=	17.333575	
5歳児保育室	1.100	× 5.275	=	5.802500	39.928
	4.200	× 8.125	=	34.125000	
遊戯室	7.675	× 5.600	=	42.980000	111.705
	7.675	× 8.300	=	63.702500	
	7.175	× 0.700	=	5.022500	
2階トイレ	0.958	× 3.280	=	3.142240	24.685
	2.748	× 4.125	=	11.335500	
	1.420	× 3.455	=	4.906100	
	3.425	× 1.275	=	4.366875	
	1.625	× 0.575	=	0.934375	
洗濯室	1.700	× 1.850	=	3.145000	3.145
物入	4.525	× 2.310	=	10.452750	10.453
乗用ELV	2.165	× 2.350	=	5.087750	5.088
押入1	1.100	× 2.200	=	2.420000	2.420
押入2	2.200	× 1.100	=	2.420000	2.420
押入3	2.200	× 1.100	=	2.420000	2.420
収納1	3.500	× 1.500	=	5.250000	5.250
収納2	3.675	× 1.500	=	5.512500	5.513
EPS	1.800	× 0.575	=	1.035000	1.035
PS1	0.957	× 0.845	=	0.808665	0.809
PS2	1.420	× 0.670	=	0.951400	0.951
PS3	0.500	× 1.500	=	0.750000	0.750
PS4	0.477	× 1.100	=	0.524700	0.525
PS5	0.500	× 0.700	=	0.350000	0.350
PS6	1.100	× 0.650	=	0.715000	0.715
合計面積(㎡)					358.491

○排煙計算区画求積図

区画記号	部屋名	面積(㎡)	合計面積(㎡)
A	玄関・廊下 (①②屋内階段・EV前は別区画の為、除外)	58.771250	86.747
	収納	0.960000	
	1階EPS	1.035000	
	1階PS1	1.362000	
	1階トイレ	24.618625	
B	0・1歳児保育室	72.240625	77.66
	1階押入1	2.420000	
	1階押入2	2.420000	
	デッドスペース	0.577500	
C	2歳児保育室	36.407500	38.83
	1階押入3	2.420000	
D	職員室	47.918125	48.32
	1階PS5	0.400000	
E	1階屋内階段(①)	7.171044	99.75
	1階EV前(②)	3.182300	
	2階廊下	58.769650	
	2階トイレ	24.685090	
	洗濯室	3.145000	
	2階EPS	1.035000	
	2階PS1	0.809510	
	2階PS2	0.951400	
F	5歳児保育室	39.927500	43.06
	2階PS6	0.715000	
	2階押入1	2.420000	
G	4歳児保育室	39.879050	42.82
	2階PS4	0.524700	
	2階押入2	2.420000	
H	3歳児保育室	41.681725	44.10
	2階押入3	2.420000	
I	遊戯室	111.705000	123.57
	収納1	5.250000	
	収納2	5.512500	
	2階PS3	0.750000	
	2階PS5	0.350000	

※区画位置は法規チェック図参照

訂正	月 日	事項			

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称: 古谷地区公立保育所新築工事
作成: 2025 年 1 月 31 日
承認:
図面名称: 各室求積図
縮尺: A2:1/150 A3:1/210
部長 課長 担当 製図
設計No.
図面No.: A-104 確-04

一般共通事項

地　下

(1)配管ピット、トレンチ等は、床：RC直均し、壁・天井：RC(直仕上)とする。
(2)地盤面下の打継ぎ箇所には止水板（水膨張ゴム）を打ち込む。
(3)湧水ピットは、壁・天井ともコンクリート打ち放しC種とし、消火水槽、EVピット、雨水貯留槽、雑排水槽はB種とする。EVピットは床、壁をケイ酸質系塗布防水(1FLまで)とする。
(4)地中梁の人通口はφ600、通気管φ100、通水管φ150半割とし、人通口は硬質塩ビ管とする。
(5)床はコンクリート金ゴテ押エとする。

躯　体（仕上）

(1)RC打放し仕上げ面は、特記なき限り（外部 t =30,内部t=10,外部床t=10,
内部床 t =10）の打ち増しとする。
(2)RC打放し仕上げ面（内外部とも）の出隅部は、図面の表記に関わらず、
（・ピン角仕上げ▽面取り仕上げ）とする。（ボード下地、コーナーガードの表示のある部分を除く）
(3)RC打放し仕上げ面（内外部とも）の施工図は、型枠・セパレーター・誘発目地
・設備機器類等の割付を記入し、監督職員の承諾を受けるものとする。
(4)床スラブは、コテ仕上げの場合は特記なき限り t =10増打ちとする。
(5)コンクリート打放し（化粧打放シ）の施工に関する特記事項は下記とする。
※型枠の割付図及びコンクリート打設計画について監督員と十分に協議を行うこと。
A.合板型枠（ t =15）は、両面（小口共）ウレタン４回塗りを使用し、押さえ用
単管は角型を使用する事。
B.打放し面の出・入隅部の止水対策として、スポンジテープ押さえ等を考慮する事。
さらに、入隅部は型枠を45°カットし、型枠小口面が仕上げに現れない配慮をする事。
C.壁面のコンクリート打設は、縦目地@10m程度毎にラス金網で仕切りを設ける。
又、打継部の位置及び打設量は監督職員との協議の上決定する。
D.地上部の打放し作業に先立ち、２～３回程度の試打を行う。
E.施工後、充分な意匠上の結果が得られない（ジャンカ・コールドジョイント等）時は、
専用工法（吉田工法パーフェクトウェッシュ程度）にて補修するものとする。
F.仕上は、水性浸透性吸水防止材低汚染・超耐久型水性ふっ素樹脂カラークリヤー仕上。
エスケー化研㈱「セラミクリートＦ工法カラークリヤー仕上」同等品以上。
(6)かさ上げコンクリート,保護コンクリート：溶接金網6φ×100角入りとする。

内 外 装

(1)SUS巾木は特記なき限りt=1.5とする。
(2)外部に露出している鉄部は、特記なき限り全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
(3)屋上防水部分には、オーバーフローを必ず設ける。
(4)外部のモルタル塗りには防水モルタルを使用する。
(5)天井下地は特記なき限り、軽量鉄骨製とし、ロックウール工業会準拠の耐震グレードを
水平入力加速度1Gに考慮した吊ボルト振止め補強を行う。
(6)天井：ケイカル板は特記なき限り、Ｖカット突きだけとする。
(7)廻り縁は特記なき限り、塩ビ製とし、外部及びタイル・石使用部はアルミ製、和室は木製とする。
アルミ製は焼付塗装とする。
(8)室内仕上（壁紙及び塗装仕上）下地については、特記なき限り下記による。
A.床下地の略号RCはコンクリート直均し仕上を表す。
B.壁仕上のコンクリート打放しとは、B種打放しを示し、樹脂モルタルt=5薄塗り等にて補修とする。
コンクリート(直仕上)とは、C種打放し仕上を示す。コンクリート打放し面は、既製目地材にて
亀裂誘発目地を設け、縦目地はおよそ@３m以内及び建具きわ、横目地は階高ごととする。
C.硬質ウレタンフォーム吹付部分の面については、GB-R t=12.5　GL工法とする。
吹付部分にGL工法を施す場合は、プライマー塗布を施す。
(9)ビニル床シート、ビニル床タイルは特記なき限りノーワックス仕様とする。
(10)照明ボックスには、防虫網付熱抜き穴を適宜設ける。
(11)造作家具の扉が壁面等と取り合う箇所には、戸当り（衝撃防止ゴム）を設ける。
(12)特記なき限り、全種類のビニル床シートは溶接工法とする。
(13)仕上の異なるものどうしが取合う壁の部分には、全てシリコンシーリングを施す。(W5×D5)
(14)防火区画を形成する防火戸（扉下部分のみ）及びシャッターは上階スラブ
よりRC垂れ壁を設けて取付けとする。（設備配管用に適宜開口補強を行う）
(15)ホルムアルデヒド及び総揮発性有機化合物を含む接着剤、建材は原則として使用しない。
「ホルムアルデヒド規制値及びガイドライン値CECA」「VOCガイドライン値（WHO）」に則すること。
(16)OAフロア上のNC仕上は、絶縁シートを施すこと。
(17)天井EP-G仕上のGB-R下地は、全面寒冷紗パテ処理を行うこと。
(18)内装材の仕様は、特記なき限りF☆☆☆☆の製品を使用するものとする。
(19)フリーアクセス内部は、特記なき限りスラブ面へ防塵塗装を施す。
(20)PS、EPS等の床には、防塵塗装を施す。
(21)室内に設ける竪樋は、配管用鋼管グラスウールt=25防露巻きとする。
(22)室内グラスウールはt=25　見切縁は塩ビ製アングルL=25×25とする。
(23)鋼製床組は下地合板t=15 2枚貼とする。
(24)柱、壁の出隅部分には、床から天井までコーナービートを施す。

内 外 装

(26)壁面下地がRCとLGS等で下地剛性が異なるものが取合う箇所は、仕上見切りとして6mm以上の目地を設ける。
(27)床仕上材の異なる部分の見切りには、特記なき限りSUSフラットバー15×5HLとする。
(28)石こうボード張り　：特記なき限り、表面石こうボードはテーパーエッジとし、目地工法は
継目処理工法とする。
(29)けい酸カルシウム板張りは、特記なき限りすべて目透かし張りとする。
(30)化粧けい酸カルシウム板張りは、特記なき限りすべて目透かし張り、底目地タイプアルミ
ジョイナー工法とする。
(31)壁仕上が同じで下地が異なる見切り部分には、クラック防止処理をする。
フクピ㈱「樹脂製振動吸収性見切」同等品以上とする。
(32)ボード下地に手摺等を取り付ける場合は、荷重等に対し適切な下地補強を行う事とする。
(33)内壁の建具枠上部、壁面に#3000内外に差目地を設ける。

断　熱

(1)保護断熱防水を施す屋根を除き、屋根スラブには硬質ウレタンフォームt=40を吹付ける。
(2)ピットに接する床スラブの下面、ピロティ等の床スラブが下部が外部に面する
部分はポリスチレンフォーム3種b t=40を打ち込む。但し、駐車場、機械室を除く。
(3)硬質ウレタンフォーム吹付部分にGL工法を施す場合は、プライマー塗布を施す。
(4)外部に接するスラブのインサート、天井吊ボルト当ての部分はウレタン発泡材を吹き付ける。
また上部インサート、天井吊ボルトは全て結露防止型とする。
(5)外部に面するサッシ廻りは、現場発泡ウレタン断熱材（W25×D70程度）吹付け（四周）とする。
(6)外部に面する金属パネルは、全てグライト(断熱・防音) t=5を施す。

下　地

(1)床組下地、シナ合板下地の木材には、防腐処理を施す。
(2)乾式の壁下地は、特記なき限りLGSとする。
(3)壁仕上げの下地構成は特記なき限り、仕上表による。
床下地は、特記なき限りコンクリート直均しとする。
(4)天井下地は特記なき限りLGSとする。
（天井懐が1500mm以上の場合、標準仕様書の規定による。）
(5)フリーアクセスフロアのパネルは、全体の60%以上をコンセント取り出し穴加工済み蓋付とする。
(6)直均しＬＡ下地の場合で仕上の平坦さは3mに付き10mm以下とし、それを超える場合はセルフレリング材にて補修を行う事とする。

点　検

(1)天井点検口は、特記なき限りアルミ既製品（目地タイプ）（450×450）とし、
表面仕上げ材は天井と同様とする。　裏面には使用目的を記入する。
(2)化粧床点検口は、特記なき限りSUS製規格品（600×600）とし、表面仕上げ材は床と
同様とする。蓋下部にはタラップを設ける。
(3)床点検口は、特記なき限り錆鉄製防水防臭型マンホール（水槽名鋳出文字記入、施錠装置付）
とし、蓋下部にはタラップを設ける。

その他

※この工事は設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも、
法令・機能・納まり上、当然必要なものは監督員の指示に従い施工する。
(1)外装ルーバーについては、予想される風圧力、変形、外気温の変化などによる変形及び摩擦音等の
発生が構造耐力上、容易に起こらないように検討し、監督職員と協議の上指示に従うこと。
(2)外部に面するガラリは、防鳥ネット付きとし、ダクト受けアングル付きとする。
(3)外装窓廻りの取り合い（サッシュ・ガラス・シール）と躯体との取り合い形状について、及び目隠しルーバー等の風切り音が著しく発生する恐れのあるものについては、外装分科会を設けて
専門知識を持つ責任者を定め施工者の責任においてまとめること。
(4)EPS及び点検口付のPS・DSを構成する壁（四方）はスラブまで立ち上げるものとする。
(5)建具はシックハウス規制対象外材料または、F☆☆☆☆を使用する。
(6)造作家具はシックハウス規制対象外材料または、F☆☆☆☆を使用する。
(7)天井裏等はシックハウス規制対象外材料または、F☆☆☆☆を使用する。
(8)使用する建築材料については、クロルピリホス、石綿を一切添加していないものとする。
(9)洗面・手洗い・流し・SK前等の水廻り室に利用する石膏ボード(下地含む)はGB-Sとする。
(10)靴摺等で梁が断面欠損しないよう、特記なき梁天端はFL-30とする。フロアヒンジの場合はFL-100とする。
(11)横引きドレインを設置する梁天端はFL-50とする。
(12)使用する材料は建築基準法第37条に適合する。

略記号・防火材料認定番号リスト

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
床・壁・天井	RC( )	コンクリート( )内は打放し種別A・B・C	耐火:H12年告示第1399号各号 不燃:H12年告示第1400号1項1号
	M	モルタル	
	CB	コンクリートブロック積み	
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	
	ECP	押出成形セメント板	
	S	鉄骨	
	LGS	軽量鉄骨	
	W	木(木製)	
壁工法	JT工法	せっこうボード(テーパー付)の縦目処理工法	
	GL工法	せっこうボードのせっこう系直張り用接着材による直張り工法	
	UL工法	ULスタッド45×10　@455、303　UL工法	
	木胴縁	木胴縁　タテ45×40、ヨコ45×24　@450	
塗料	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	
	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	
	EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	
	AE	アクリル樹脂エナメル塗り	
	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	
	2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	
	2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り	
	2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	
	CL	クリヤラッカー塗り	
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	
	OS	オイルステイン塗り	
	AC	アクリル樹脂ワニス塗り(ｱｸﾘﾙ樹脂ｸﾘﾔｰ塗り)	
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	
	XE	2液型エポキシエナメル塗り	
	PU	ポリウレタン塗り	
	LE	ラッカーエナメル塗り	
	A(BE)	アクリルエナメル塗料(焼付)	
	X(BE)	エポキシ系塗料(焼付)	
	F(BE)	ふっ素樹脂塗料(焼付)	
	DP(A)	耐候性塗料A種 常温乾燥形ふっ素樹脂塗料(1級)	
	DP(B)	耐候性塗料B種 アクリルシリコン樹脂塗料(2級)	

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
壁・天井	GB-R	せっこうボード	t=9.5 QM-9828 t=12.5,15.0 NM-8612,NM-8619
	GB-R-H	普通硬質せっこうボード	NM-9645
	GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧無し・下地張り用)	NM-0441,NM-0296,NM-8613,NM-1864
	GB-NC(T)	化粧不燃積層せっこうボード(トラバーテン模様)	NM-0441
	GB-D	化粧せっこうボード	QM-9824, NM-1864
	GB-D(W)	化粧せっこうボード(木目)	NM-0127
	GB-S	シージングせっこうボード	t=9.5,12.5 QM-9826
	GB-FG	曲面施工用繊維混入石膏板	t=12.5 NM-9639,NM-2967,NM-3267
	GB-F	強化せっこうボード	NM-8615
	GB-F(W)	防水性強化せっこうボード	NM-1498
	GB-H	硬質せっこうボード	NM-9645
	GB-GR	ガラス繊維不織布入りせっこう板	NM-9354
	GB-P	角孔吸音用穴あきせっこうボード	NM-0879
	GB-L	せっこうラスボード	NM-8617
	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板	NM-2773
	FK-FJ	抗菌メラミン化粧板	NM-1699
	FK-D	化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	NM-0458
	FK-DK	抗菌性化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-DW	天然木練付化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-F	繊維強化無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-P	有孔無石綿セメントけい酸カルシウム板	NM-8578,NM-8064
	F(CB)	木毛セメント板	NM-0234、QM-9701
	FC	塩ビシート	
	FC(D)	塩化ビニル樹脂フィルム張り	金属板 NM-0095 金属板以外 NM-0131
	KC	クロス(製地)	NM-9750～9841(金属板を除く)
	VC	ビニルクロス	NM-9888～9954 (金属板、不燃せっこうﾎﾞｰﾄﾞを除く)
	GC	ペンキ下地用ガラスクロス	
	DR	ロックルール化粧吸音板(フラットタイプ)	NM-8599
	DR(凹凸)	ロックルール化粧吸音板(凹凸タイプ)	
	DR(軒天)	ロックルール化粧吸音板(軒天井用：ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	
	DR(軒天凹凸)	ロックルール化粧吸音板(軒天井用：凹凸ﾀｲﾌﾟ)	
	PF	押出法ポリスチレンフォーム保温板	
	RW-G	ロックウールガラスクロス張り	
	GW-G	グラスウールガラスクロス張り	
	GWボード	グラスウールボード(64kg/㎥)　t25	NM-8610
	GWマット	グラスウールマット(32kg/㎥)　t25	NM-8605

外部仕上表

部位		仕上
屋根	屋根	カラーガルバリウム鋼板 t0.4　立ハゼ葺き +発砲ポリスチレン板 t25 +改質アスファルトルーフィング +ビーズ発泡ポリスチレン板 t90 +木毛セメント板 t40 元旦工業「スフィンクスルーフ2型」同等品
	軒樋	プレス加工穴付落ち葉除け一体型軒樋、カラーガルバリウム鋼板 t0.5(両面塗装品)
	竪樋	ガルバリウム丸管 φ100、支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手 タニタハウジングウェア「ガルバリウム大型丸竪樋　タニマットブラウン」同等品
	軒裏	高圧岩綿複層板 t12
	庇	カラーガルバリウム鋼板 t0.4　立ハゼ葺き +アスファルトルーフィング下地 +木毛セメント板 t40 軒裏:高圧岩綿複層羽目板 t12
	小庇	アルミ押出成形材、端部樹脂成型 アルフィン「AD2」同等品
	物干しスペース	ウレタン塗膜防水(X-2)の上、防滑性ビニル床シート t5.0 設備基礎：ウレタン塗膜防水(X-2)
	バルコニー	ウレタン塗膜防水(X-2)の上、防滑性ビニル床シート t5.0 SUS製グレーチング(細目、ノンスリップ、ボルト固定式)
	手摺	笠木一体型アルミ製手摺 H1,000、H900
外壁	外壁	窯業系サイディング t18+GB-F t15+GB-F t15+GW 24K t50
	水切り	アルミ製
開口部	窓	アルミサッシュ 着色陽極酸化塗装複合被覆 複層ガラス(一部網入り又は耐熱強化ガラス)
	アルミ製建具	アルミ製フラッシュドア　着色陽極酸化塗装複合被覆
	玄関建具	アルミ製　着色陽極酸化塗装複合被覆　飛散防止フィルム
外部関部係金物	タラップ	SUS製　背籠付き
	屋外階段	鉄骨階段 溶解亜鉛めっき
	ベントキャップ	SUS製指定色(設備工事)

部位		仕上
外構	駐輪場（外構工事）	アルミ製、L3078×D2083、屋根：アルミ押出形材、雨樋用落ち葉ネット 2ヵ所、LED照明付 四国化成「VFC-(C)2131MR 600N/㎡仕様 オープンタイプ」同等品
	片引き戸（外構工事）	アルミ製手動片引き戸、木目調、凸レール　W4,000×H1,400 四国化成「スタックラインSR1M型 コンパクトタイプ」同等品
	門扉（外構工事）	アルミ製両開き(W2,000×H1,400)・片開き(W900×H1,400)、木目調、クローザーヒンジ付、柱仕様、四国化成「アレグリア門扉 T12型　MR」同等品
	北側スクリーンフェンス	化粧CB2段+アルミ製スクリーンフェンス 木目調 H1,600 四国化成「ハイパーテーションA1型 MB」同等品
	スクリーンフェンス（外構工事）	化粧CB2段+アルミ製スクリーンフェンス 木目調 H1,600、一部袖扉(H=1,600、レバーハンドル錠)付、四国化成「ハイパーテーションA1型 MB+ハイパーテーション袖門扉A1型 MR」同等品
	縦格子フェンス（外構工事）	アルミ製縦格子フェンス H1,500、一部袖扉(H=1,500、打掛錠)付 四国化成「EAF4型+門扉EAM4 MR」同等品
	RC塀（外構工事）	塀:コンクリート打放し補修の上、アクリル樹脂系装飾仕上塗材(コテ仕上) H1,600 エスケー化研「ベルアート」同等品
	園庭舗装（外構工事）	ブラウンコート舗装：表面安定剤1.0Kg/㎡(主成分：塩化マグネシウム) +粒度調整真砂土 t100+再生砕石(RC-40) t100
	駐車場（外構工事）	アスファルト舗装 車止め：コンクリート製(既製品)
	北側舗装（外構工事）	コンクリート舗装、伸縮目地@5,000
	エントランス舗装（外構工事）	透水性インターロッキング t60、100×100・100×200混合3色貼
	小園庭（外構工事）	コンクリート直均しの上、ゴムチップ舗装 アルミ製縦格子フェンス H1,000、四国化成「EAF4型+門扉EAM4 MR」同等品
	小園庭雨よけ	アルミ製パーゴラ、ポリカボネート(熱線カットタイプ)
	テラス	コンクリート直均しの上、防滑性ビニル床シート t5.0
	縁石（外構工事）	Pca既製品、インターロッキング舗装部はカラー縁石
	ライン引き（外構工事）	溶融ペイントW=100(車線) ※詳細は外構図参照
	雨水タンク（外構工事）	SUS製、リサイクルウッド、500リットル、点検蓋用鍵付、給水バルブ付、 転倒防止用鎖、カネソウ「AB500EW」同等品
	排水・側溝（外構工事）	VS側溝、WIN側溝 ※詳細は雨水計画図参照
	バリカー（外構工事）	SUS製、鎖内蔵型 サンポール「LA-8UC+LA-8KC+LA-8UC-E」同等品
	植栽（植栽工事）	植栽計画図による
	プール（外構工事）	据置式 FRP製　4,500×3,500 ヤマハ「ワイワイプール　3.5×4.5型」同等品
	手洗い・足洗い場（外構工事）	コンクリート　*1タラソミックス仕上 *1白セメント(3：1)コテ塗仕上(壁面のみ色ガラス破片混入)の上、タラソミックスコート

材料表

名称	材質・規格・寸法	製造者	商品名・品番	認定番号 告示番号	-
防滑性ビニル床シート (デッキ・バルコニー)	t5.0、耐候、遮熱、防滑、衝撃撃吸収	タキロンシーアイ	タキストロン プラスケアWJ 段鼻：コネクトステップJM		同等品
防滑性ビニル床シート (室外機置場)	t5.0、耐候、遮熱	タキロンシーアイ	タキストロンRA		同等品
ビニル床シート(A)	t2、ノンワックスタイプ				同等品
ビニル床シート(B)	t2、ノンワックスタイプ、防汚性、防滑性				同等品
ビニル床タイル	900×900×3、畳調	サンゲツ	たたみタイル GT-2002-T		同等品
腰壁	杉羽目板　自然系塗料塗、W100、t12、上小節、 難燃以上				同等品
複層フローリング	t15、WPC加工品、W=145、杉	DAIKEN	コミュニケーションタフ2 FW		同等品
防滑塗り床仕上	水性硬質ウレタン系塗り床材	ABC商会	タフコンクリートMH		同等品
特殊防滑ビニル床シート	t2.5	ABC商会	アルトロセーフティーフロア D-25		同等品
窯業系サイディング	t18、高耐久(40年品質)	ケイミュー	光セラ		同等品
防塵塗料	アクリル樹脂系	大同塗料	ポージンコートS		同等品
自然系塗料	ピグメントステイン塗、着色半透明	オスモ&エーデル	オスモカラー ワンコートオンリー	JASS18 M-306	同等品
高圧岩綿複層板(軒天材)	t12、910×1,820、化粧シート仕上	DAIKEN	ダイライト軒天30(化粧シート品)MG		同等品
高圧岩綿複層羽目板(庇軒天材)	t12、155.2×1,820、化粧シート仕上	DAIKEN	ダイライト軒天羽目板		同等品
高圧岩綿複層羽目板(天井材)	t6、156.2×2,730	DAIKEN	グラビオ羽目板V		同等品

訂正

月　日	事　項		
. .		. .	
. .		. .	
. .		. .	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録　東京本部一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二
法適合確認結果等

工事名称　古谷地区公立保育所新築工事
作成　2025 年 1 月 31 日
承認
部長　課長　担当　製図

図面名称　外部仕上表・材料表
縮尺　NS
設計No.
図面No.　A-201　確-05

内部仕上表

階	室名	床 FL/SL	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 高さ	壁 下地	壁 仕上	壁 腰壁	天井 下地	天井 仕上	天井高	C/B BOX (レール共)	廻縁	排煙 内装制限	備考	備品
地下	配管ピット	図示	コンクリート直均し	-	-	-	コンクリート打放し補修(B種)	-	-	-	押出法ポリスチレンフォーム t25（3種b）	-	-	-	-	外周部:止水板(水膨張系ゴム弾性シール材)	
		図示													-		
	ELVピット	図示	コンクリート直均し	ケイ酸質系塗布防水	-	-	ケイ酸質系塗布防水	-	-	-	-	-	-	-	-	外周部:止水板(水膨張系ゴム弾性シール材)	
		図示													-		
1	玄関・ホール	-160~±0	コンクリート直均し ホール：コンクリート直均しの上 乾式二重床	300角磁器質タイル ホール：複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 一部、高圧岩綿複層羽目板 t6	2,700	-	カラー塩ビ製	自然	靴箱	
		-160													準不燃		
	廊下	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス 手洗い前：化粧ケイカル板 t6	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 手洗い場：GRG t5.0の上、ビニルクロス	2,700	-	塩ビ製	自然	手洗い、吊戸棚、本棚	
		-300													準不燃		
	調乳室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填	ビニルクロス 手洗い前：化粧ケイカル板 t6	-	LGS	GB-D t9.5	2,500	-	塩ビ製	二	流し台 L1,500(吊戸棚付)	
		-300													-		
	0歳児保育室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,700	○	塩ビ製	自然	隠蔽式ワンタッチオペレーター、子供用ロッカー(6人用×1)、掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、天井埋込物干し金物 L=1,800	カーテン
		-300													難燃		
	1歳児保育室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,700	○	塩ビ製	自然	隠蔽式ワンタッチオペレーター、子供用ロッカー(6人用×2)、掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、天井埋込物干し金物 L=1,800	カーテン
		-300													難燃		
	2歳児保育室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,700	○	塩ビ製	自然	隠蔽式ワンタッチオペレーター、子供用ロッカー(6人用×1、8人用×1)、掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、天井埋込物干し金物 L=1,800	カーテン
		-300													難燃		
	職員室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス 流し台前：化粧ケイカル板 t6	-	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,700	○	塩ビ製	自然	流し台 L1,500(吊戸棚付)、隠蔽式ワンタッチオペレーター、食器棚×1、ホワイトボード付収納戸棚×1、収納戸棚×1、天吊りカーテンレール	片袖机×2、平デスク(W1800×2、W1400×2)、事務椅子×2、キャスター付椅子×10、ハイカウンター(W1200×1、W900×1)、職員用戸棚、引き違い書庫、ファイル引き出し、オープン書庫×2、カーテン、収納ベット、食器棚、トレー書庫
		-300													難燃		
	相談室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	-	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	五		会議机×1、折り畳み椅子×4
		-300													不燃		
	調理室	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	特殊防滑ビニル床シート t2.5 回転窯・食品棚下：防水モルタルの上、 防滑塗り床仕上	床材巻き上げ	100	LGS+GB-R t12.5 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	化粧ケイカル板 t6	-	LGS	GB-S t12.5+ 化粧ケイカル板 t6	2,500	-	塩ビ製	五	機器表参照	ペーパーホルダー(SUS製)
		-10													不燃		
	検収室	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	特殊防滑ビニル床シート t2.5	床材巻き上げ	100	LGS+GB-R t12.5 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	化粧ケイカル板 t6	-	LGS	GB-S t12.5+ 化粧ケイカル板 t6	2,500	-	塩ビ製	五	床下点検口 600角(防水・防臭タイプ)、機器表参照	ロッカー(6人用×1)、ペーパーホルダー(樹脂製)
		-10													不燃		
	調理員用 更衣室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	ビニル床タイル(畳調) t3 +パーティクルボード t10	塩ビ製	60	LGS+GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5	2,500	-	塩ビ製	二	天吊りカーテンレール	ロッカー(3人用×1)、カーテン、ロッカー(小分け6人用×1))、靴入
		-60													-		
	調理員用 トイレ	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	ビニル床シート(A) t2 +パーティクルボード t10	塩ビ製	60	LGS＋GB-S t12.5 GW t50 24K充填	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	二	ライニング天板:メラミンポストフォーム、 アーチ型化粧鏡450×600	ペーパーホルダー(樹脂製)
		-60													-		
	0・1歳児用 トイレ	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(B) t2	床材巻き上げ	100	LGS＋GB-S t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	化粧ケイカル板 t6 H1200	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	二	ライニング天板:メラミンポストフォーム、菱形 化粧鏡 350×350、幼児用手摺、洗面台、床下点検口 600角(防水・防臭タイプ)、吊戸棚	
		-10													-		
	1階トイレ	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(B) t2	床材巻き上げ	100	LGS＋GB-S t12.5 GW t50 24K充填	ビニルクロス	化粧ケイカル板 t6 H1200	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	自然	ライニング天板:メラミンポストフォーム、アーチ型化粧鏡 450×600、幼児用手摺、トイレブース、吊戸棚、幼児用汚垂石、モップ掛けパネル	
		-10													-		
	バリアフリートイレ	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(B) t2	床材巻き上げ	100	LGS＋GB-S t12.5 GW t50 24K充填	化粧ケイカル板 t6	-	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	二	フック×2、ベビーシート、化粧鏡 480×16×1100	
		-10													-		
	女性用更衣室	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(A) t2	塩ビ製	60	LGS+GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5	2,500	-	塩ビ製	二	床下点検口 600角(防水・防臭タイプ)	ロッカー(6人用×5)、ロッカー(小分け9人用×1)
		-10													-		
	男性用更衣室	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(A) t2	塩ビ製	60	LGS+GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5	2,500	-	塩ビ製	二		ロッカー(3人用×1)、ロッカー(2人用×1)
		-10													-		
	物入・洗濯室	-160	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(A) t2	塩ビ製	60	LGS＋GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-F t15 EP	2,500	-	塩ビ製	二	ライニング天板：メラミンポストフォーム、床下点検口 600角(防水・防臭タイプ)、棚 D450 ø400	
		-170													-		
	押入	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	雑巾摺	-	LGS＋GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5	-	-	塩ビ製	二	中棚 D950、天袋付	
		-300													-		
2	廊下	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス 手洗い前：化粧ケイカル板 t6	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 手洗い場：GRG t5.0の上、ビニルクロス GW t100 24K敷込	2,700	-	塩ビ製	自然	手洗い、吊戸棚	
		-150													準不燃		
	3歳児保育室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,700	○	塩ビ製	自然	隠蔽式ワンタッチオペレーター、子供用ロッカー(6人用×3)、掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、天井埋込物干し金物 L=1,800	カーテン
		-150													難燃		
	4歳児保育室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,700	○	塩ビ製	自然	隠蔽式ワンタッチオペレーター、子供用ロッカー(6人用×3)、掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、天井埋込物干し金物 L=1,800	カーテン
		-150													難燃		
	5歳児保育室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2,700	○	塩ビ製	自然	隠蔽式ワンタッチオペレーター、子供用ロッカー(6人用×3)、掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、天井埋込物干し金物 L=1,800	カーテン
		-150													難燃		
	遊戯室	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5 GW t50 24K充填 ※114条区画部の壁構成は法規チェック図参照	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込	2700~3850	○	アルミ製焼付塗装	自然	移動間仕切り、隠蔽式ワンタッチオペレーター、木製スクリーンボックス(スクリーン本体付)	
		-150													難燃		
	2階トイレ	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(B) t2	床材巻き上げ	100	LGS＋GB-S t12.5 GW t50 24K充填	ビニルクロス	化粧ケイカル板 t6 H1200	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	自然	ライニング天板:メラミンポストフォーム、菱形 化粧鏡 350×350、幼児用手摺、幼児用汚垂石、 トイレブース、モップ掛けパネル	
		-10													-		
	洗濯室	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(B) t2	塩ビ製	60	LGS＋GB-S t12.5 GW t50 24K充填	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	自然	ライニング天板：メラミンポストフォーム、吊戸棚、天井埋込物干し金物 L=1,400	
		-10													-		
	物入	±0	コンクリート直均しの上、 セルフレベリング材 t10	ビニル床シート(A) t2	塩ビ製	60	LGS+GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,500	-	塩ビ製	二		
		-10													-		
	収納	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	塩ビ製	60	LGS+GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	2,400	-	塩ビ製	二	可動棚 D450	
		-150													-		
	押入	±0	コンクリート直均しの上、 乾式二重床	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	雑巾摺	-	LGS+GB-R t12.5	ビニルクロス	-	LGS	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込	-	-	塩ビ製	二	中棚 D950、天袋付	
		-150													-		
各階共通	階段	±0	コンクリート直均し	複層フローリング t15 +パーティクルボード t20	木製 自然系塗料塗	60	LGS+GB-R t12.5	ビニルクロス	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗	LGS	GB-R t12.5+DR t9 階段裏：GB-F t15 EP	-	○	塩ビ製	自然		
		±0													準不燃		
	PS・EPS	±0	コンクリート直均し	防塵塗床	-	-	LGS	GB-R t12.5表し	-	-	-	-	-	-	二		
		±0													-		

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	内部仕上表
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	NS	図面No.	A-202 確-06
部長	課長	担当	製図
設計No.			

物置
棚
物置
C148
CB積(計画敷地外)
-9
-9
-10
-318
-225
-280
C153
C152
C143
バス停
24.688
▽隣地境界線
15.334
-9
-540
-545
-515
-380
-315
-445
1.779
バス停
-520
P31
CB積(計画敷地外)
8.438
-350
既存駐車場跡地
アスファルトカッター(別途工事)
アスファルト舗装撤去(別途工事)
R5T6
-5
-607
-580
-455
-370
-340
-445
-440
K4
-157
-80
+41
-70
-65
-205
-265
C121
4.624
6.200
(補装撤去範囲)
C155
-200
既存古谷保育園跡地
+30
-125
+115
+15
-245
アスファルトカッター(別途工事)
最終桝撤去
(設備工事)
下
24.358
+135
-115
-190
-250
-300
-350
-390
歩道
▽隣地境界線
計画地
※計画敷地内の既存建物やCB等は別途解体工事で撤去。
+135
-200
歩道
市道32号線 (幅員14.0m)
法42条1項1号
雨
K53
+20
-215
+75
-129
-245
-310
▽道路境界線
+160
-220
-80
-300
-370
消火水栓
K59
-50
-165
R5T10
C145
41.220
アスファルトカッター(別途工事)
アスファルト舗装撤去(別途工事)
既存樹木移設(別途工事)
消
+10
-215
C106
既存駐車場跡地
-45
-52
-61
25.000
-100
Φ25
-155
6.200
(補装撤去範囲)
マンホール
-89
-105
-370
-15
-290
-68
△道路境界線
C107
-35
K52
-105
14.000
2500
7000
4500
アスファルトカッター(別途工事)
市道3452号線 (幅員5.1m)
法42条1項1号
-135
+10
既存排水管撤去(別途工事)
18.000
-165
-25
マンホール
+95
既存街灯
KBM±0
K1
-5
-10
C146
NTT柱撤去(別途工事)
荒川支左1/24
P23
-330
+45
12.381
標
+60
C144
-315
+20
-295
-285
1.435
C119
R5T7
K14
NTT柱移設(別途工事)
荒川支左1割1/24
-265
K9
K15
-230
K22
-325
K16

【凡例】

———	給水管
———	排水経路
±0	KBMからの高さ

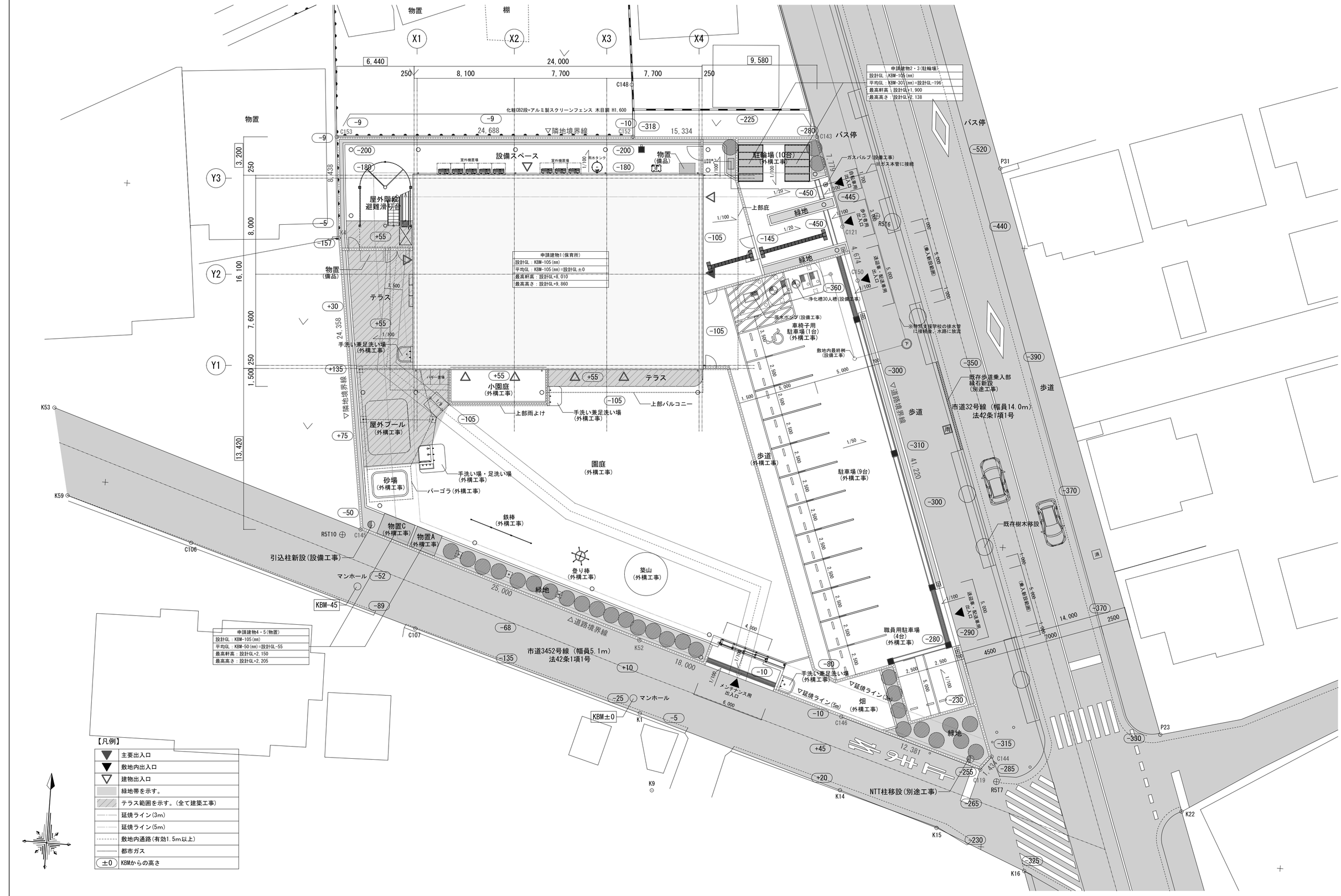
※別途解体工事で敷地周囲に設置した防護柵(単管柱+トラロープ程度)は全て撤去
※敷地内の雑草は着工前に除去を行うこと。

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

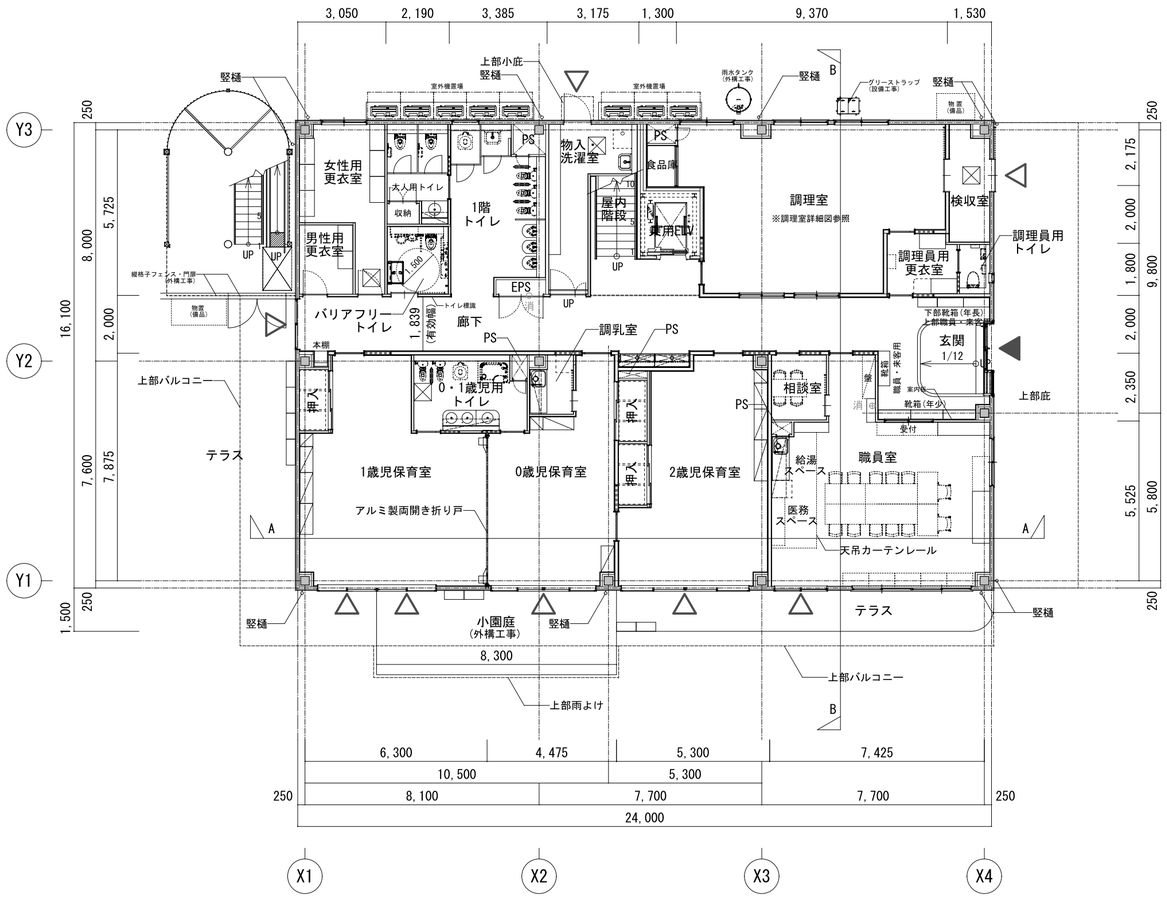
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日
				承認	

図面名称	現況図	縮尺	A2:1/200 A3:1/280	図面No.
部長	課長 担当 製図	設計No.		A-203

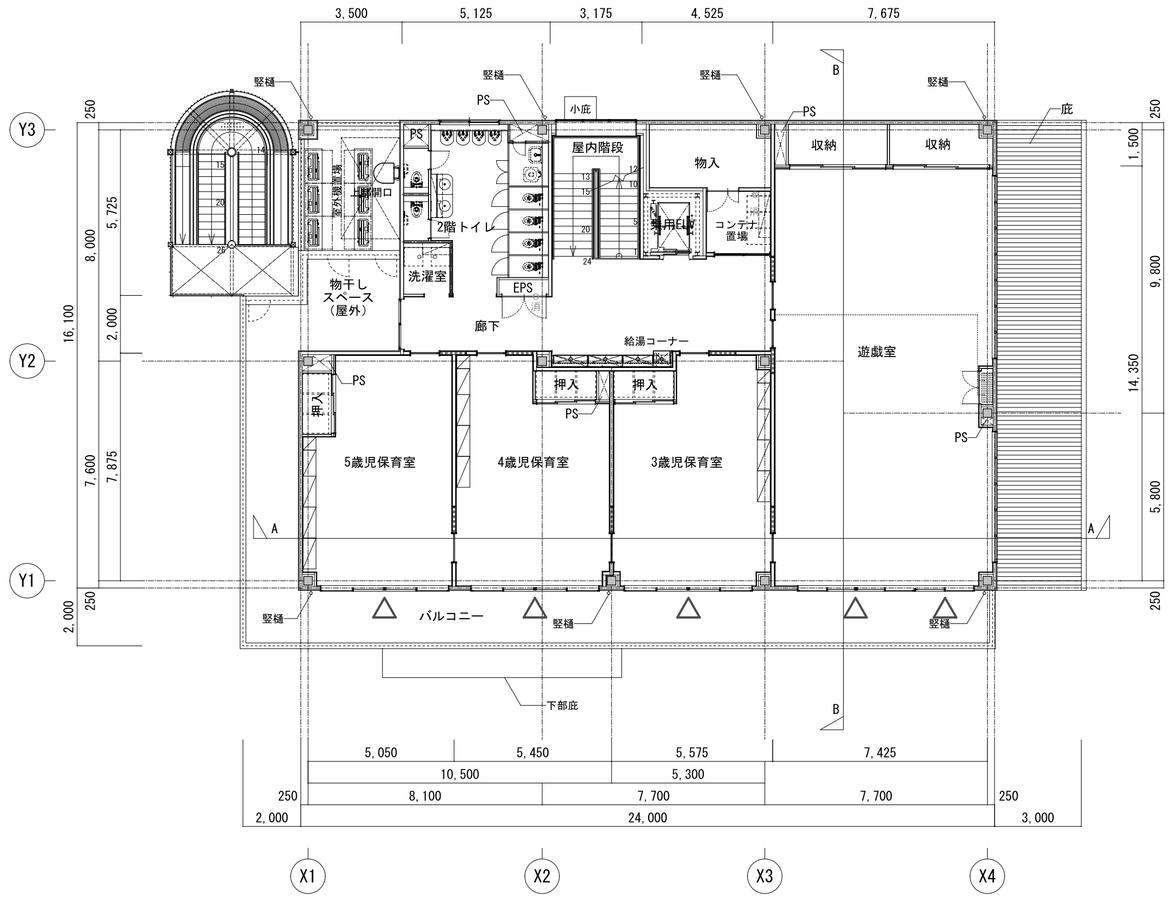

X1
X2
X3
X4
Y1
Y2
Y3
6,440
24,000
9,580
250
8,100
7,700
7,700
250
C148
化粧CB2段+アルミ製スクリーンフェンス 木目調 H1,600
物置
棚
物置
▽隣地境界線
24,688
15,334
C153
C152
C143
バス停
バス停
設備スペース
室外機置場
室外機置場
雨水タンク
物置
(備品)
駐輪場(10台)
(外構工事)
ガスバルブ(設備工事)
※ガス本管に接続
申請建物2・3(駐輪場)
設計GL：KBM-105(mm)
平均GL：KBM-30(mm)=設計GL-196
最高軒高：設計GL+1,900
最高高さ：設計GL+2,138
屋外階段
避難滑り台
申請建物1(保育所)
設計GL：KBM-105(mm)
平均GL：KBM-105(mm)=設計GL±0
最高軒高：設計GL+8,010
最高高さ：設計GL+9,860
物置
(備品)
テラス
手洗い兼足洗い場
(外構工事)
上部庇
緑地
緑地
浄化槽30人槽(設備工事)
吸水ポンプ(設備工事)
車椅子用
駐車場(1台)
(外構工事)
敷地内最終桝
(設備工事)
※特別支援学校の排水管
に接続後、水路に放流
小園庭
(外構工事)
テラス
上部雨よけ
手洗い兼足洗い場
(外構工事)
上部バルコニー
屋外プール
(外構工事)
園庭
(外構工事)
砂場
(外構工事)
手洗い場・足洗い場
(外構工事)
パーゴラ(外構工事)
鉄棒
(外構工事)
登り棒
(外構工事)
築山
(外構工事)
物置C
(外構工事)
物置A
(外構工事)
引込柱新設(設備工事)
マンホール
緑地
△道路境界線
25,000
18,000
K52
K53
K59
C106
C107
C145
R5T10
KBM-45
申請建物4・5(物置)
設計GL：KBM-105(mm)
平均GL：KBM-50(mm)=設計GL-55
最高軒高：設計GL+2,150
最高高さ：設計GL+2,205
市道3452号線（幅員5.1m）
法42条1項1号
メンテナンス用
出入口
6,000
4,000
K1
K9
K14
K15
K16
K22
K23
K24
K25
K26
K27
K28
K29
K30
K31
K32
K33
K34
K35
K36
K37
K38
K39
K40
K41
K42
K43
K44
K45
K46
K47
K48
K49
K50
K51
K54
K55
K56
K57
K58
K60
K61
K62
K63
K64
K65
K66
K67
K68
K69
K70
K71
K72
K73
K74
K75
K76
K77
K78
K79
K80
K81
K82
K83
K84
K85
K86
K87
K88
K89
K90
K91
K92
K93
K94
K95
K96
K97
K98
K99

【凡例】

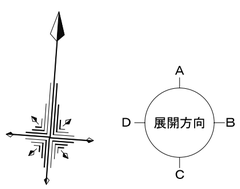
▼	主要出入口
▽	出入口
◎消	壁掛け式消火器ボックス
○消	扉埋込式消火器ボックス
⊕消	壁埋込式消火器ボックス
☒	床下点検口 600角



1階平面図 S=1/150



2階平面図 S=1/150



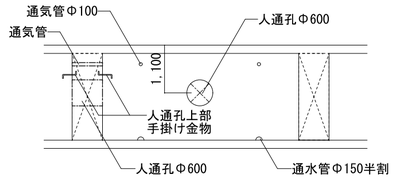
訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

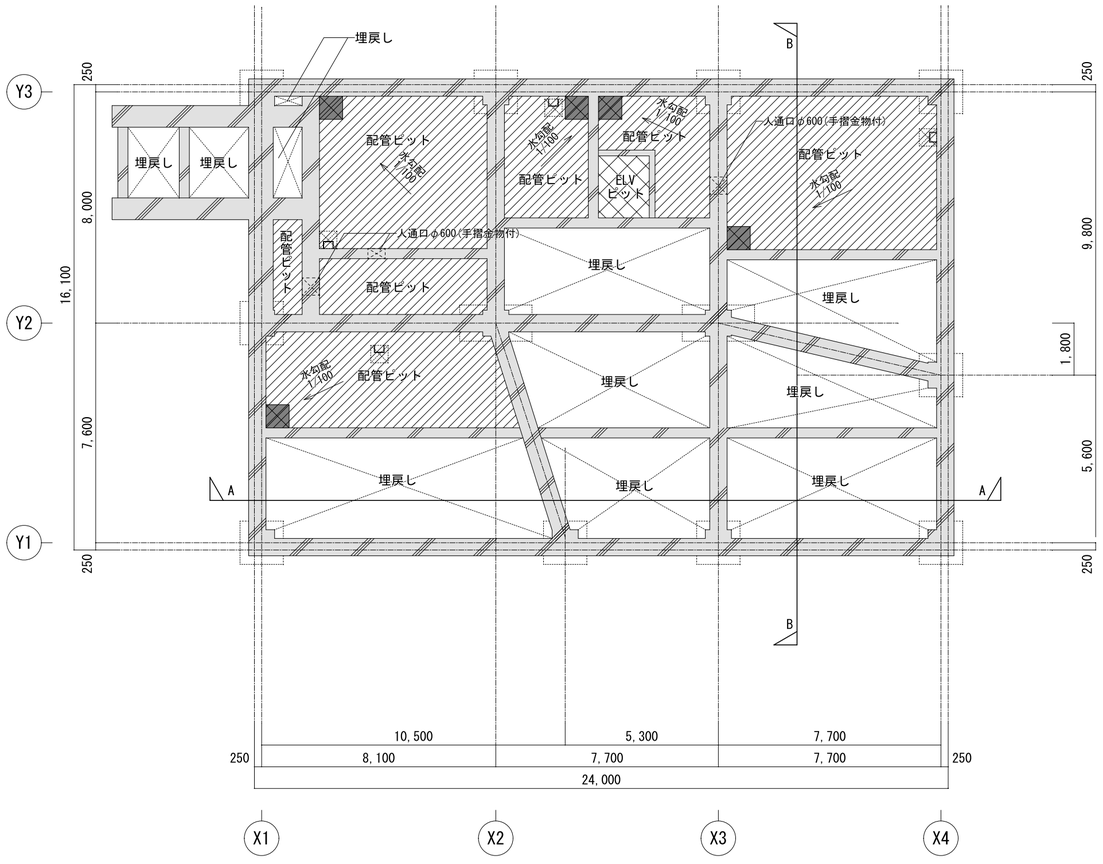
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	縮尺	A2:1/150 A3:1/210
図面名称	平面図	図面No.	A-205 確-08
作成 2025 年 1 月 31 日	承認	部長 課長 担当 製図	設計No.

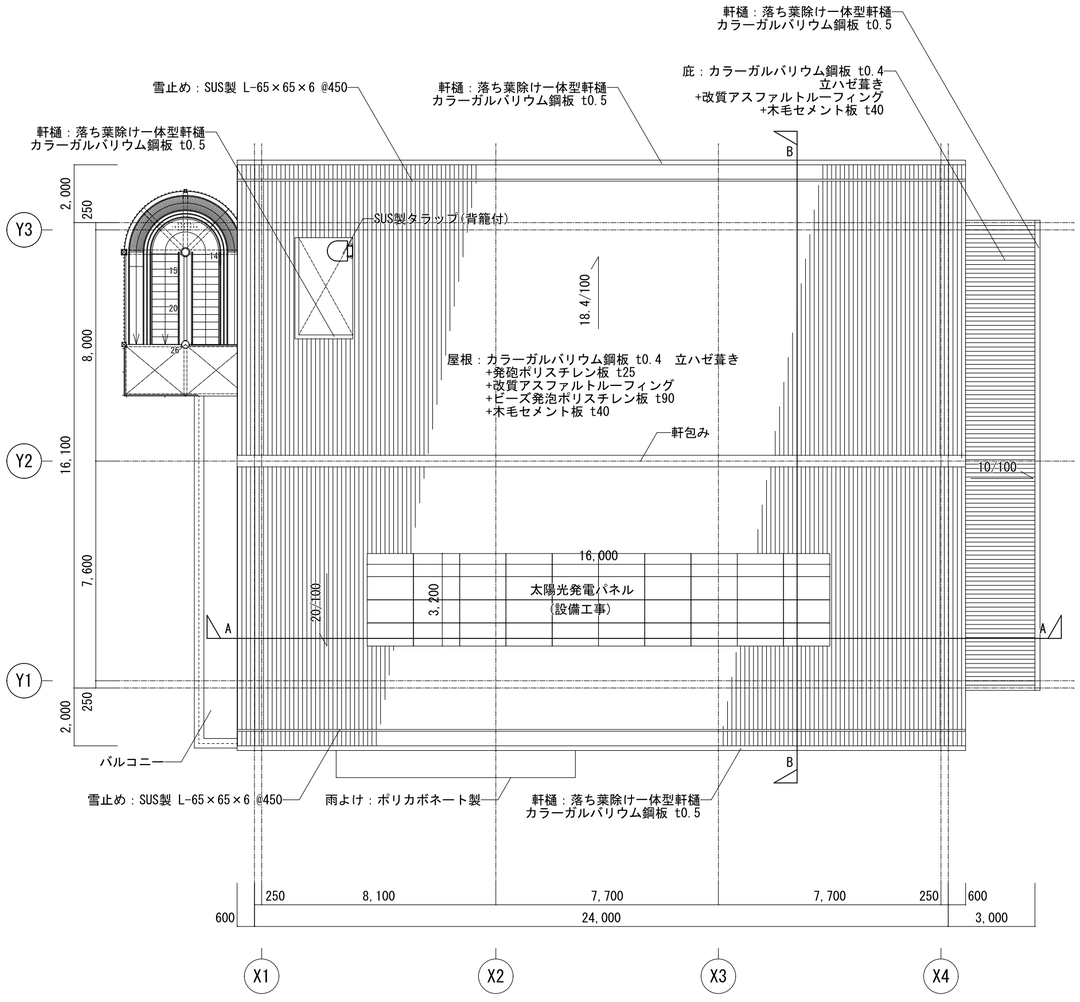
■人通口、通水管、通気管詳細図



※各スパン当り、通水管Φ150半割 VU管2か所、通気管Φ100 VU管を2か所を設置する。



ピット図 S=1/150



屋根伏図 S=1/150

【凡例】

	配管ピット　※ピット周囲は止水板(水膨張系ゴム弾性シール材)設置のこと
	ELVピット　※ピット周囲は止水板(水膨張系ゴム弾性シール材)設置のこと
	床下点検口(防水・防臭タイプ)600角 SUS製タラップ(φ19 W350×D250 @350内外)付
	釜場 800×800×600

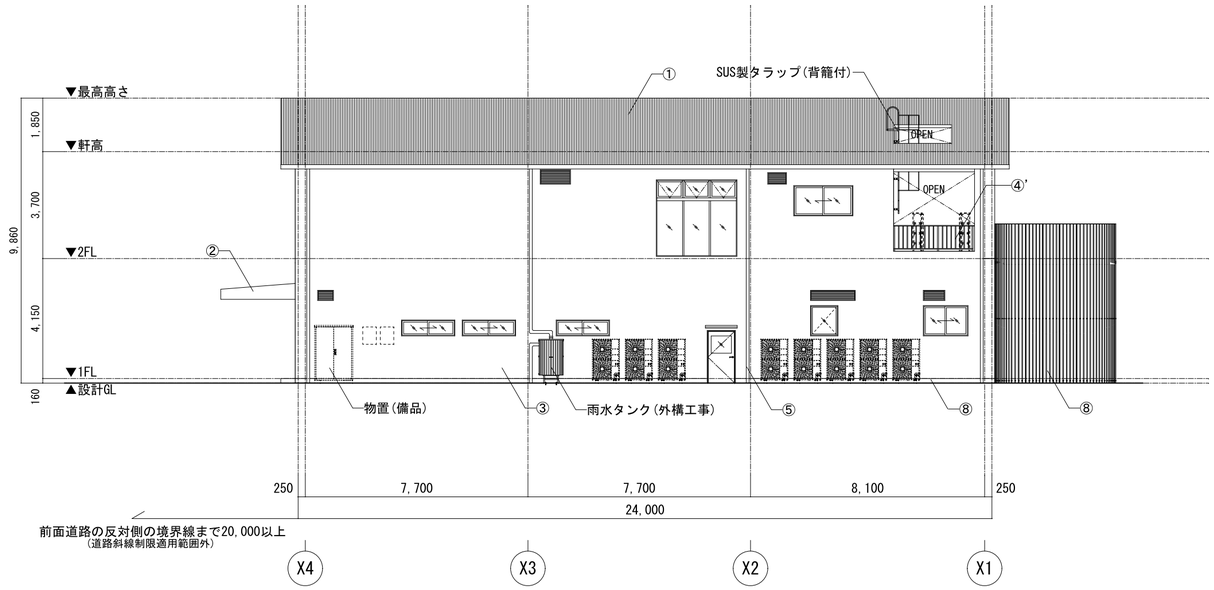
訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

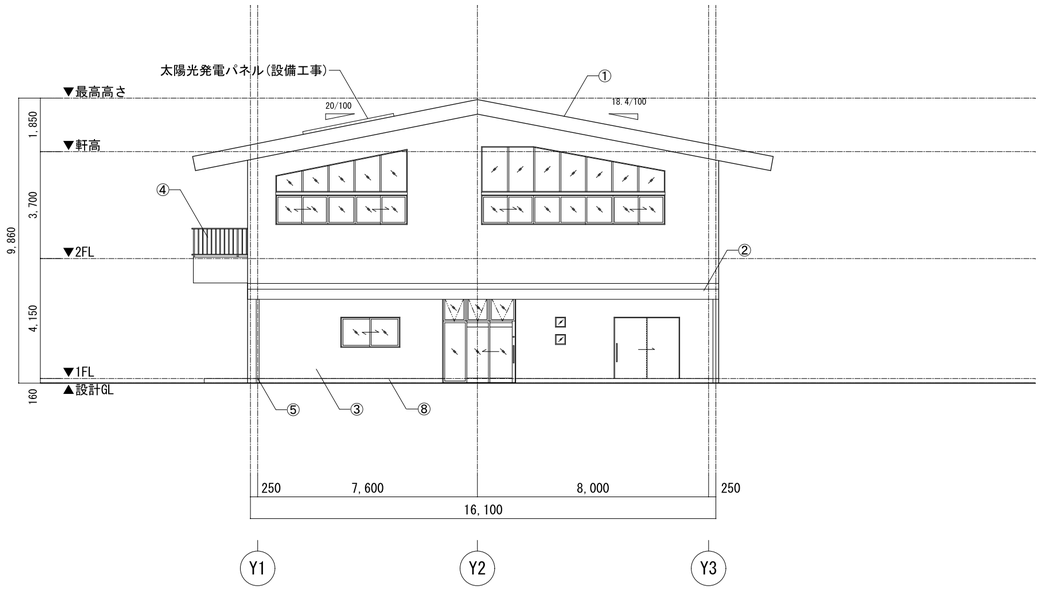
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	ピット図・屋根伏図
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.
設計No.		A-206 確-09

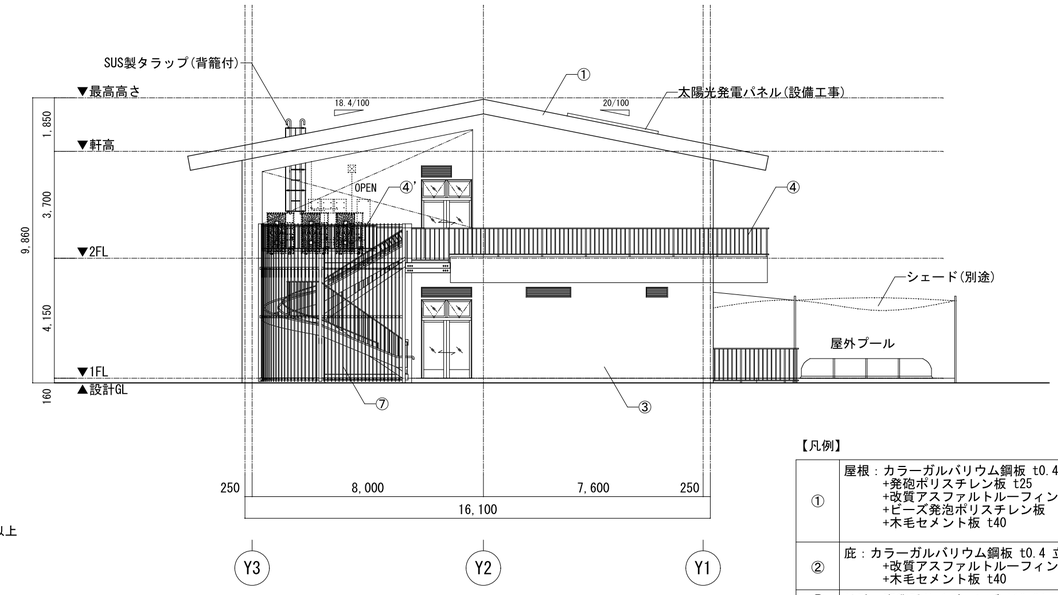


北立面図 S=1/150



東立面図 S=1/150

南立面図 S=1/150



西立面図 S=1/150

【凡例】

①	屋根：カラーガルバリウム鋼板 t0.4　立ハゼ葺き +発砲ポリスチレン板 t25 +改質アスファルトルーフィング +ビーズ発泡ポリスチレン板 +木毛セメント板 t40
②	庇：カラーガルバリウム鋼板 t0.4 立ハゼ葺き +改質アスファルトルーフィング +木毛セメント板 t40
③	外壁：窯業系サイディング t18+GB-F t15+ GB-F t15+GW 24K t50
④	外部手摺：アルミ製笠木一体型手摺 H1,000
④'	外部手摺：アルミ製笠木一体型手摺 H900
⑤	竪樋：ガルバリウム丸管 φ100 支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手
⑥	雨よけ：ポリカボネート製
⑦	鉄骨階段 溶解亜鉛めっき
⑧	コンクリート打放し補修の上、撥水材
無	消防無窓階算定対象開口部

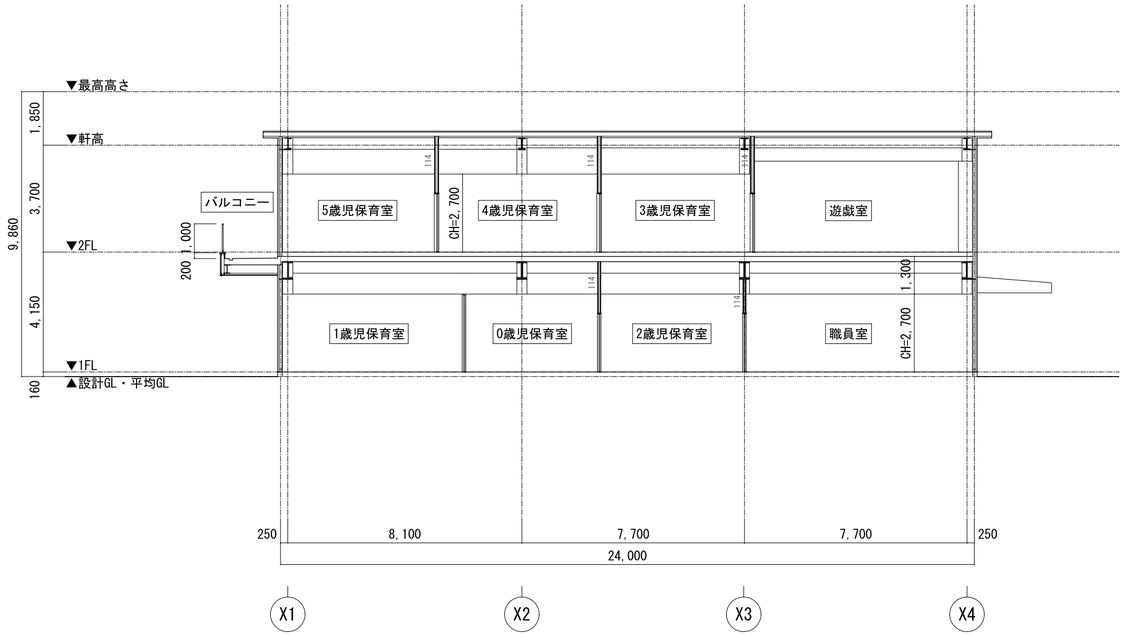
訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

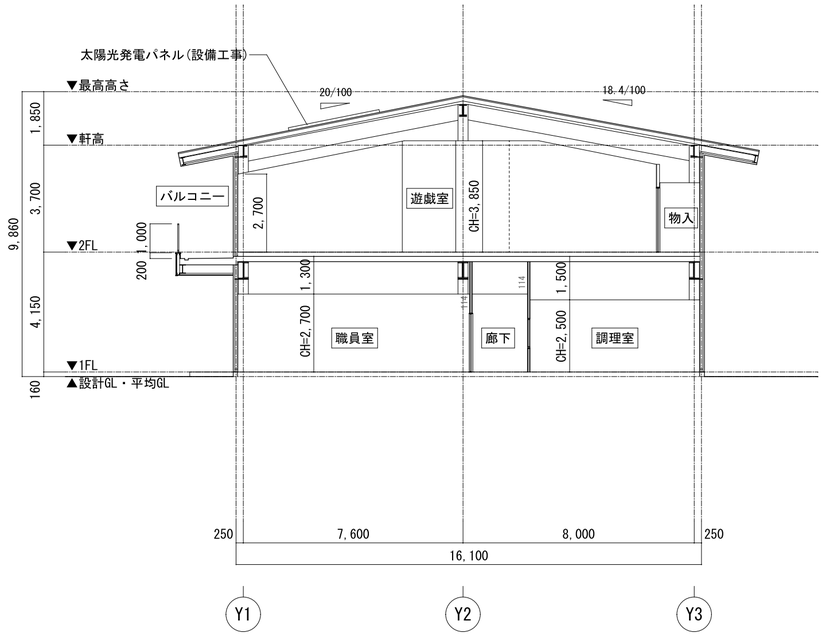
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日
承認：
部長　課長　担当　製図

図面名称：立面図
縮尺：A2:1/150 A3:1/210
設計No.
図面No.：A-207 確-10



A-A断面図 S=1/150



B-B断面図 S=1/150

【凡例】

114	114条区画壁を示す。(1時間耐火構造:FP060NP-0007)

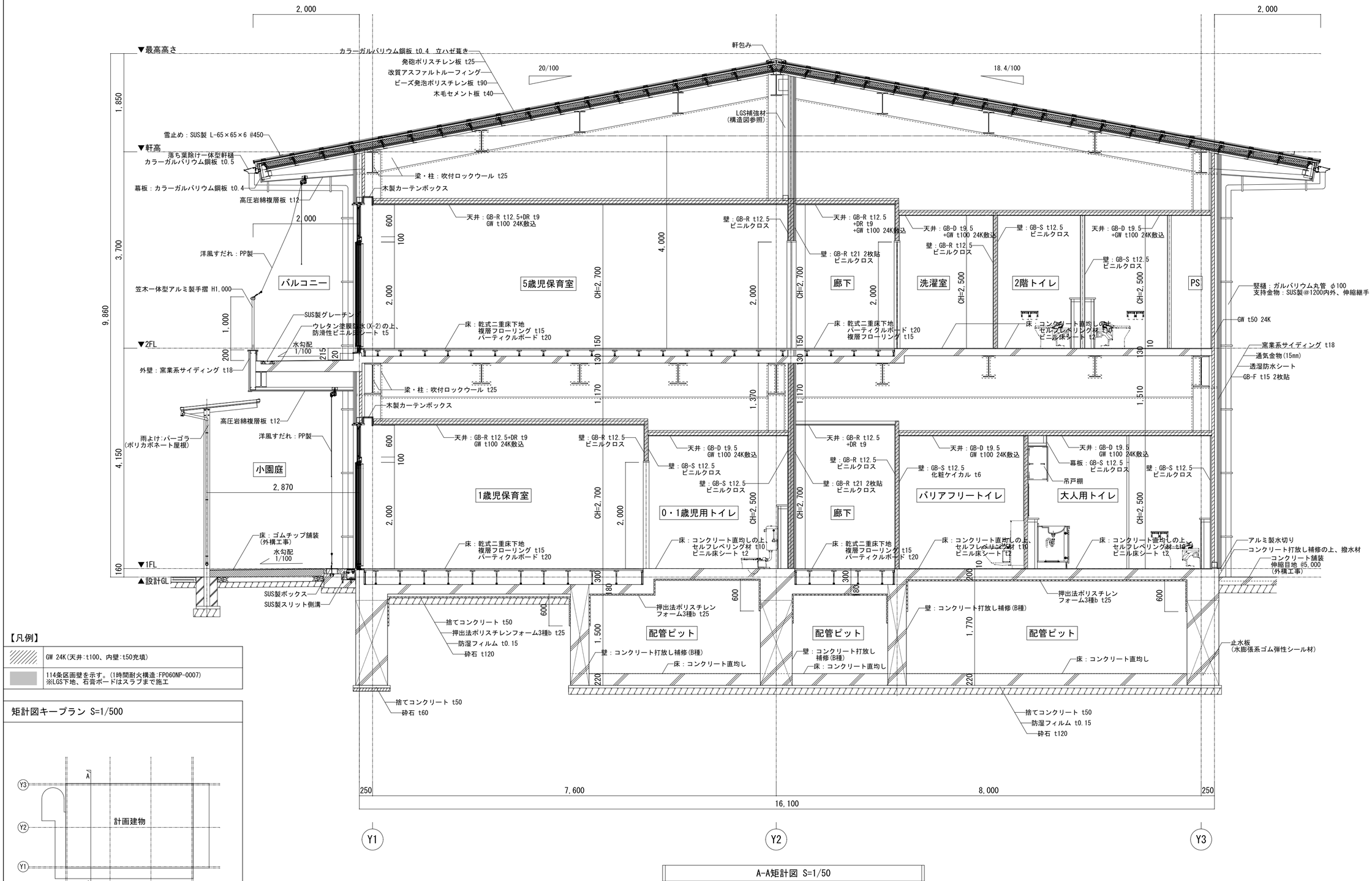
訂正	月 日	事項		
	. .		. .	
	. .		. .	
	. .		. .	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録: 東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者: 一級建築士 登録第362390号 星野 康二
法適合確認結果等:

工事名称: 古谷地区公立保育所新築工事
作成: 2025 年 1 月 31 日
承認:

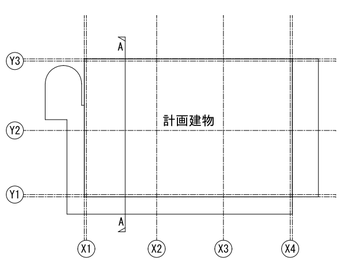
図面名称: 断面図
縮尺: A2:1/150 A3:1/210
部長 課長 担当 製図
設計No.
図面No. A-208 確-11



【凡例】

	GW 24K(天井:t100、内壁:t50充填)
	114条区画壁を示す。(1時間耐火構造:FP060NP-0007) ※LGS下地、石膏ボードはスラブまで施工

矩計図キープラン S=1/500



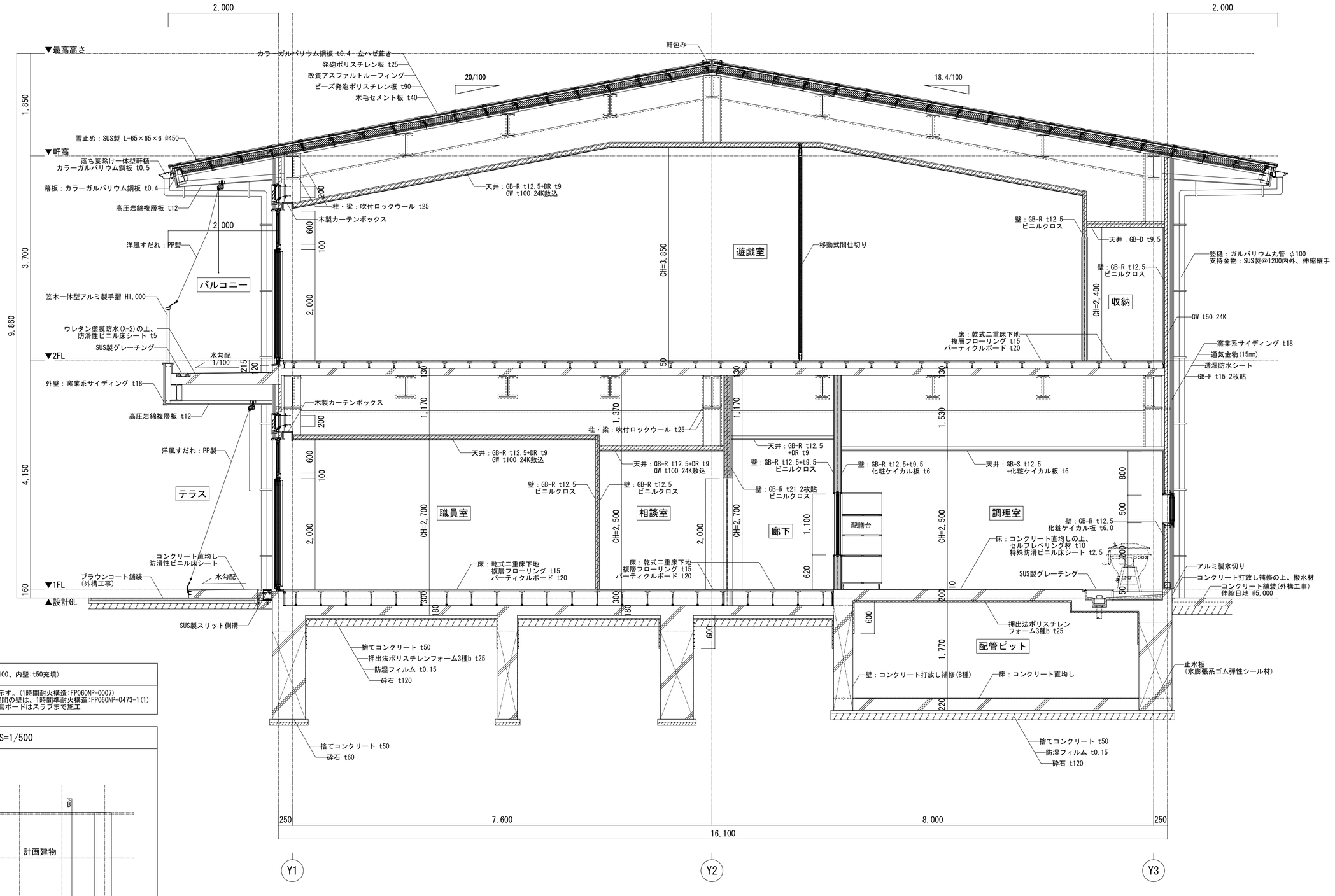
A-A矩計図 S=1/50

訂正	月 日	事項

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	矩計図（1）
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	A2:1/50 A3:1/70
承認		図面No.	A-209
部長	課長 担当 製図	設計No.	

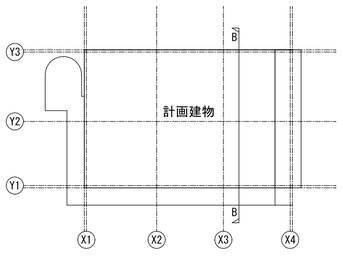


B-B矩計図 S=1/50

【凡例】

	GW 24K(天井:t100、内壁:t50充填)
	114条区画壁を示す。(1時間耐火構造:FP060NP-0007) ※廊下と調理室間の壁は、1時間準耐火構造:FP060NP-0473-1(1) ※LGS下地、石膏ボードはスラブまで施工

矩計図キープラン S=1/500

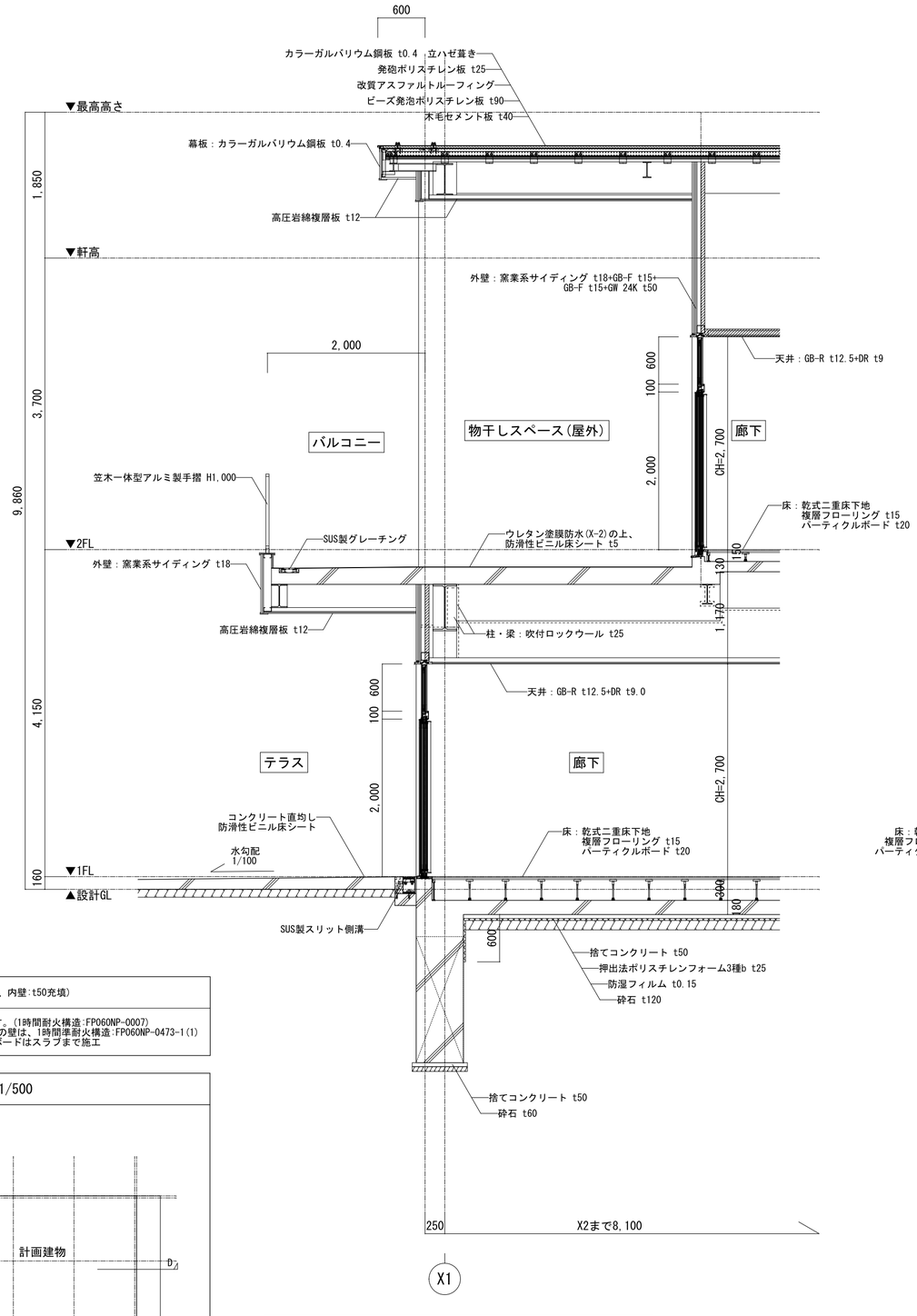


訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	矩計図（2）
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	A2:1/50 A3:1/70
承認		部長 課長 担当 製図	設計No.
		図面No.	A-210



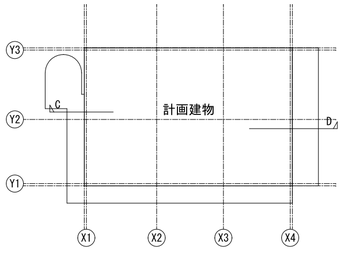
C-C矩計図 S=1/50

D-D矩計図 S=1/50

【凡例】

	GW 24K(天井:t100、内壁:t50充填)
	114条区画壁を示す。(1時間耐火構造:FP060NP-0007) ※廊下と調理室間の壁は、1時間準耐火構造:FP060NP-0473-1(1) ※LGS下地、石膏ボードはスラブまで施工

矩計図キープラン S=1/500

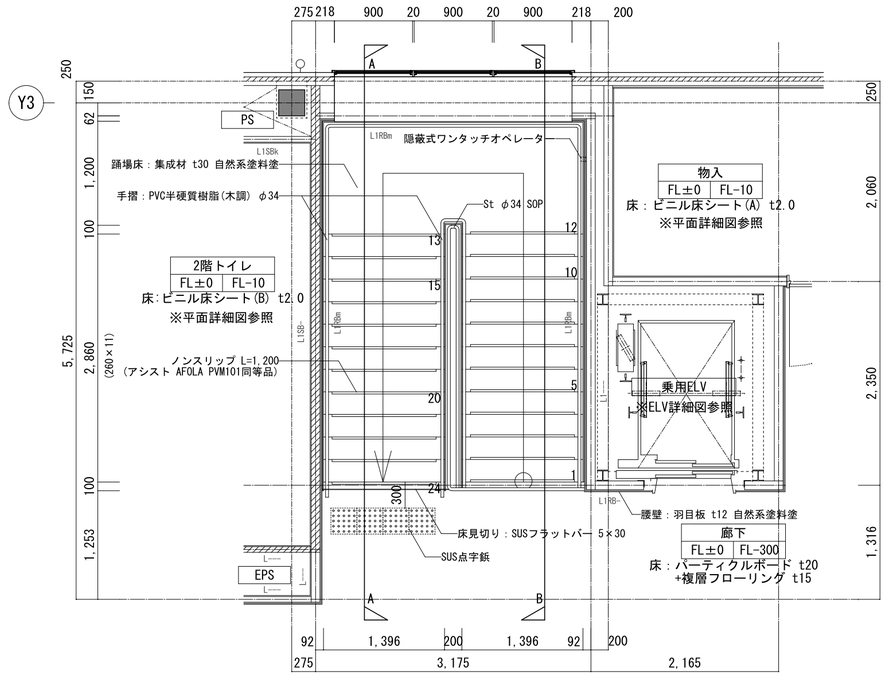


訂正	月 日	事 項		

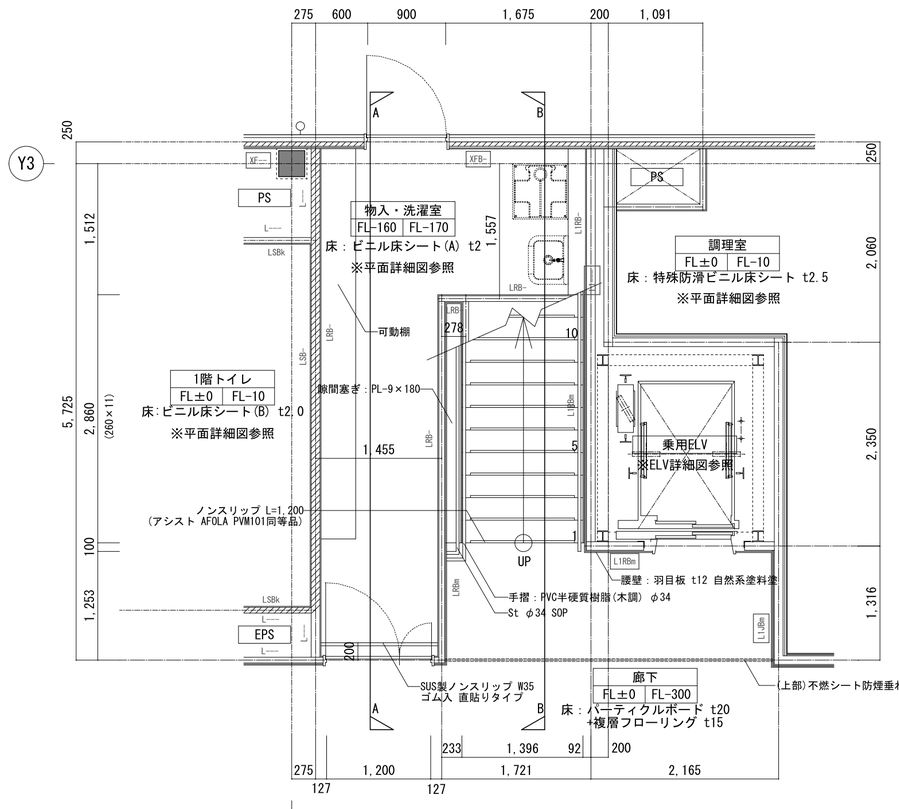
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

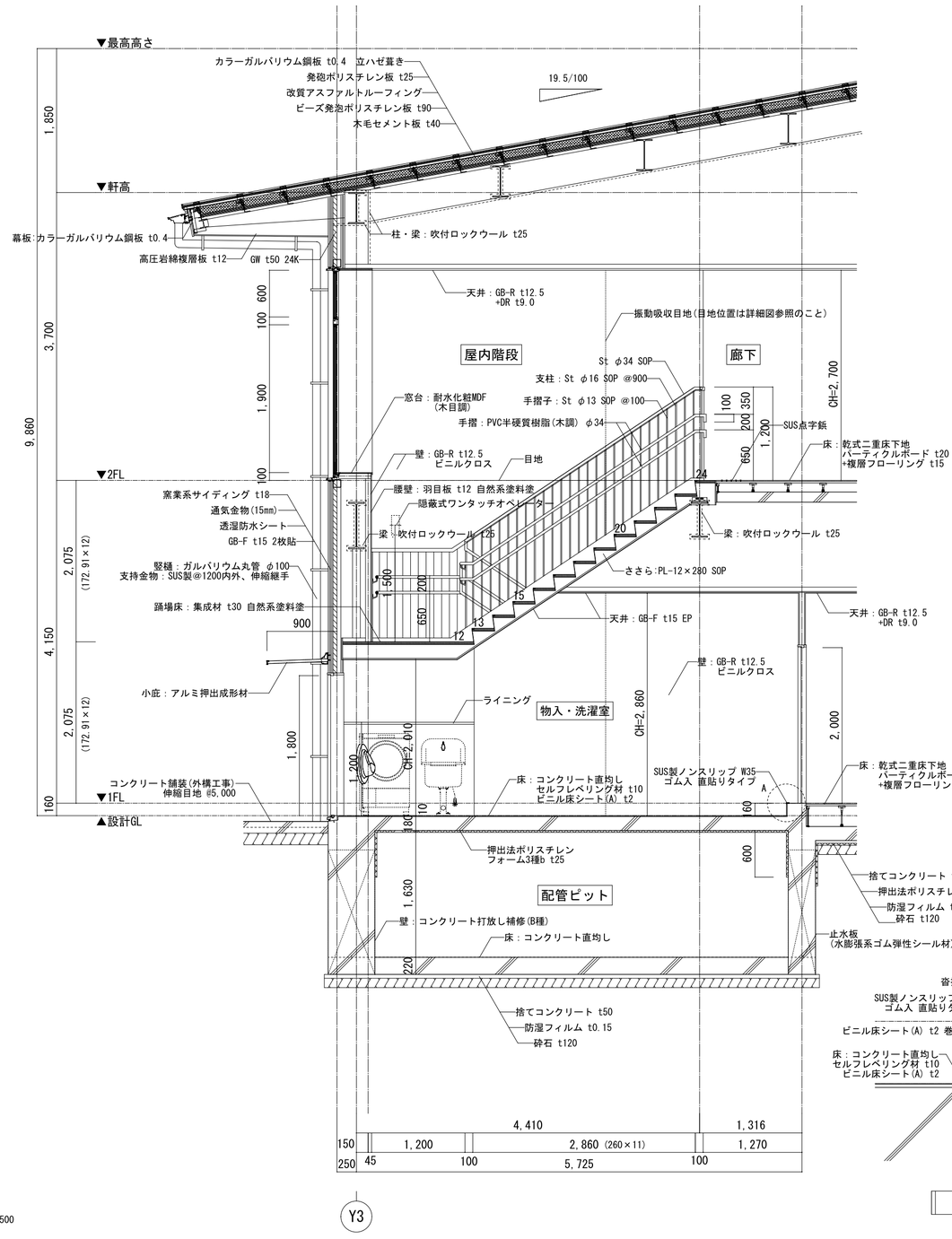
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	矩計図（3）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	A2:1/50 A3:1/70	図面No.	A-211
部長	課長	担当	製図
設計No.			



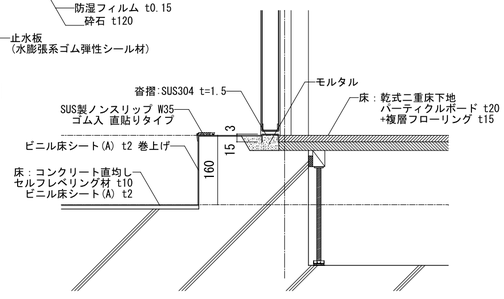
X2 2階階段平面詳細図 S=1/50



X2 1階階段平面詳細図 S=1/50



屋内階段A-A断面詳細図 S=1/50



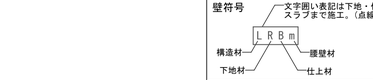
A部詳細図 S=1/10

凡 例

部屋名	
SL	FL
CH	

床仕上げ

壁符号



構造材

記号	構造	厚さ
L	LGS	65
L4	LGS	65+45
L1	LGS	100
X	Mバー19型 @455	

下地材

記号	構成	
R	GB-R t12.5	
J	GB-F t12.5	GB-R-H t9.5
S	GB-S t12.5	
T	GB-S t12.5	GB-S t9.5
F	GB-F t12.5	
K	GB-F t21	GB-F t21

仕上材

記号	構成
B	ビニルクロス
K	化粧ケイカル板 t6.0

腰壁材

記号	構成
m	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗
k	化粧ケイカル板 t6 H1200
////	GW 24K充填

法規チェック

	有効幅	蹴上	踏面	踊場	手摺
建築基準法	1,200以上	200以下	240以上	1,200以上	設置
屋内階段	1,396	172.91	260	1,200	両側手摺付

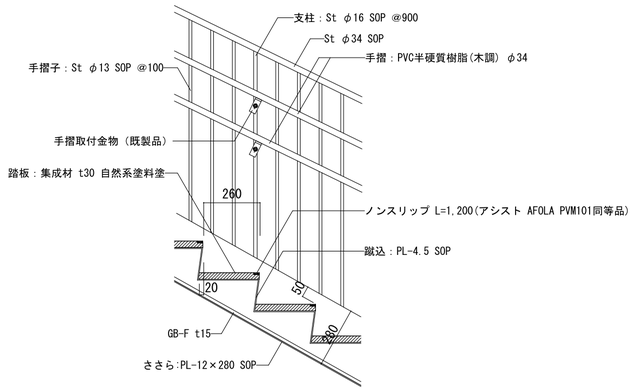
訂正	月日	事項

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

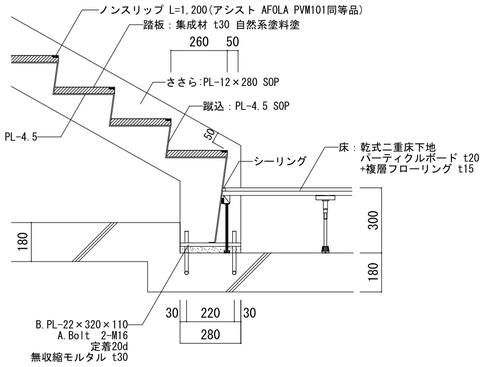
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	内部階段詳細図（1）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

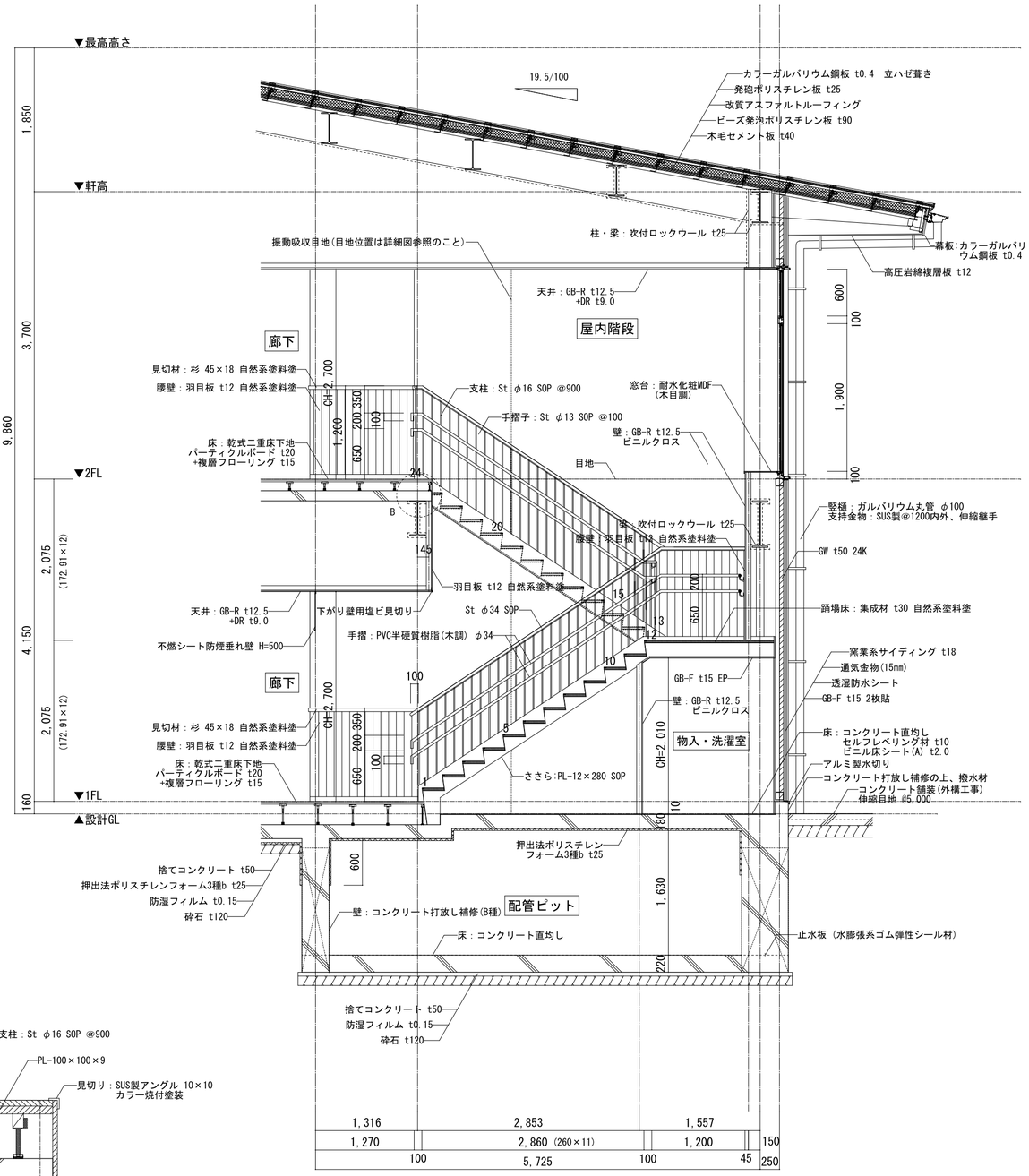
縮尺	図示	
設計No.		図面No. A-301 確-31



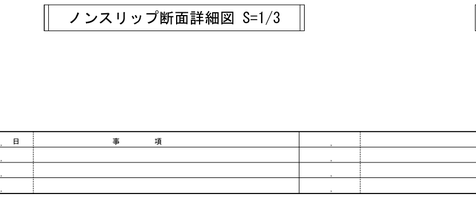
断面詳細図 S=1/20



昇り口断面詳細図 S=1/20

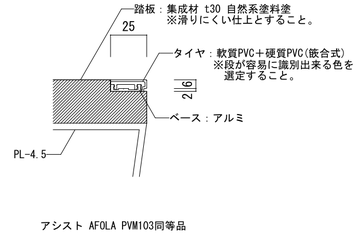


屋内階段B-B断面詳細図 S=1/50



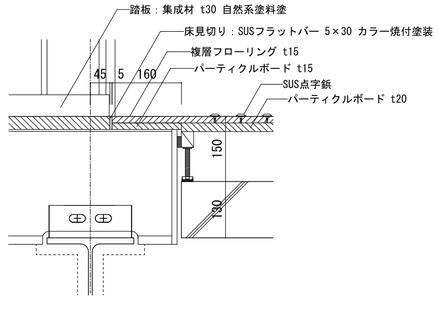
内部手摺詳細図 S=1/20

昇り口詳細図 S=1/20

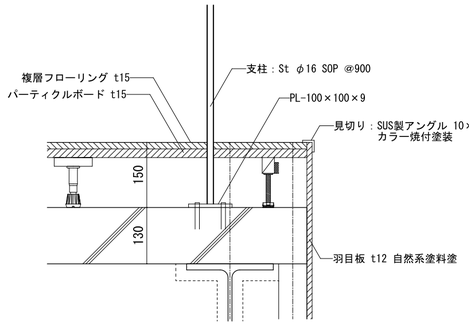


アシスト AFOLA PVM103同等品

ノンスリップ断面詳細図 S=1/3



下り口詳細図 S=1/10



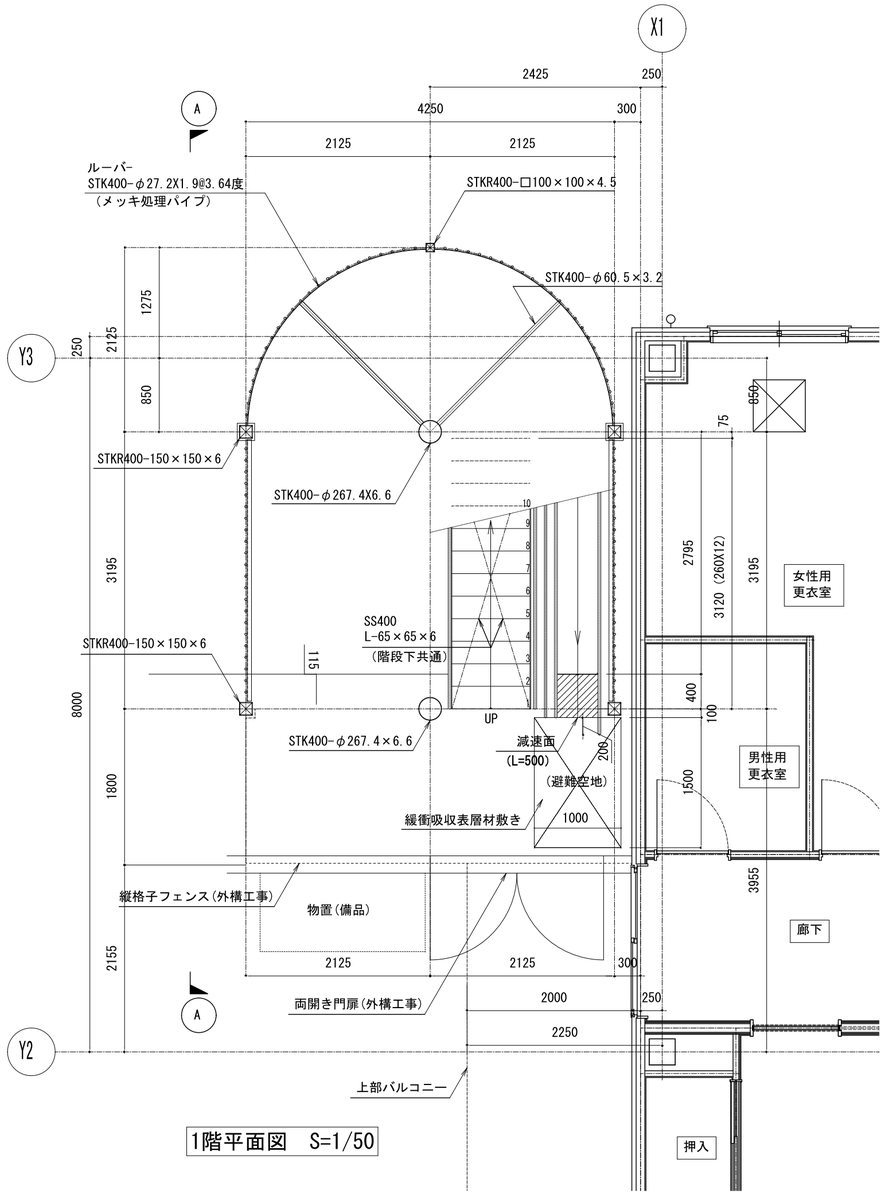
B部詳細図 S=1/10

訂正	月 日	事項											

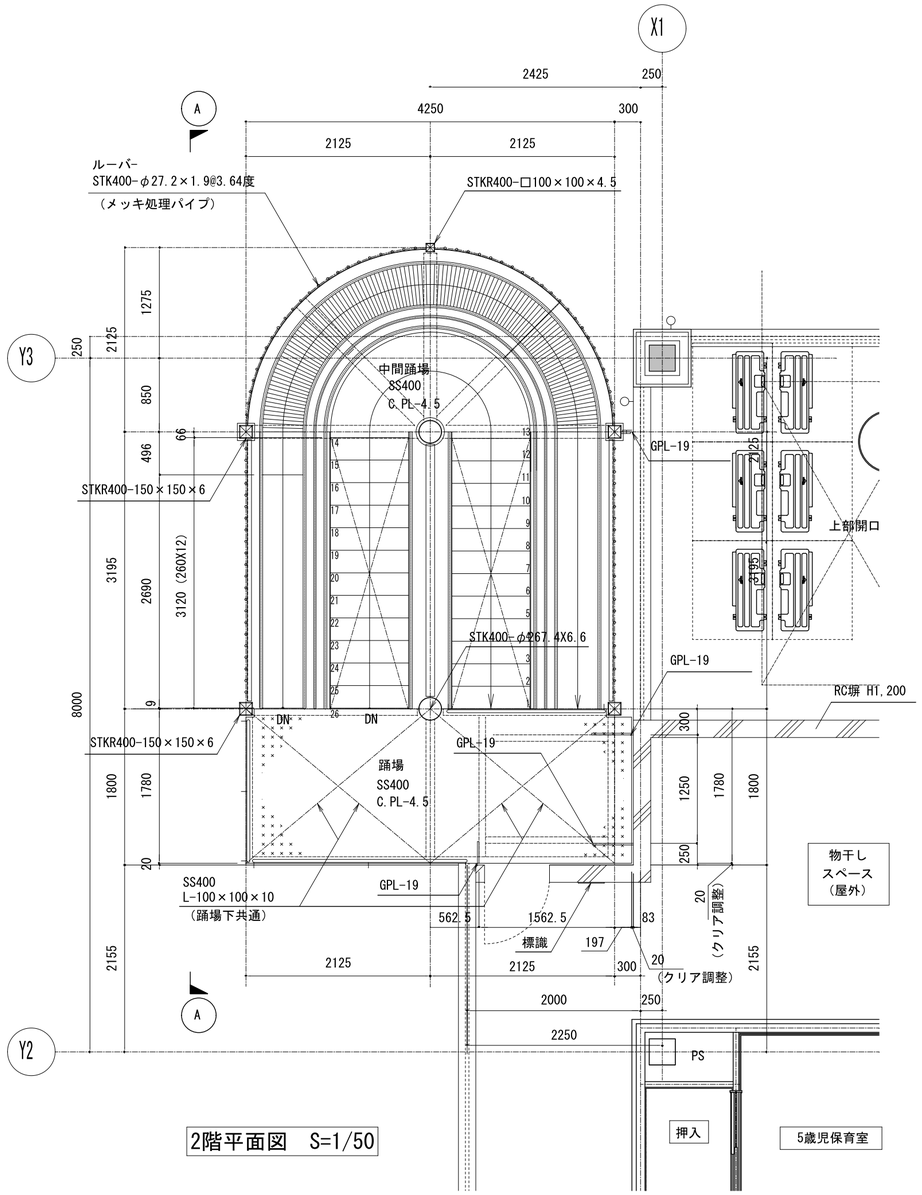
株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	内部階段詳細図（２）	縮尺	図示
	設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 3 月 26 日	承認		図面No.	A-302 確-32
								部長 課長 担当 製図	設計No.	

避難設備（すべり装置）	
（一財）日本消防設備安全センター評定品　スカイフロウ KUY-STR型（横付型）　評 H-060号	
使用材料	ステンレス材　SUS304
	一般鋼材　　SS400，STK400　　アルミ材（テーパーローラー）
仕上	ステンレス材　図記以外はHL（ヘアーライン）とする。
	一般鋼材　　溶融亜鉛メッキ仕上（アルミ材，メッキ処理パイプ，ステンレス材は除く） メッキ処理後，溶接部分はローバル補修とする。
地耐力	地耐力は50kN／m^2 以上，コンクリート強度FC-2.1kN／cm^2 以上とする。
構造計算書番号	240601KU02-1

※降下空間は滑り面から上方1m、滑り台の両端から0.2m以上確保
※避難空地はすべり台の下部先端から前方1.5m、すべり台の中心線から左右0.5m以上確保
※「避難すべり台」の標識(文字サイズ5cm以上)をすべり台上方に設置のこと
※踏面、踊場には適宜水抜き孔を設けること



1階平面図　S=1/50



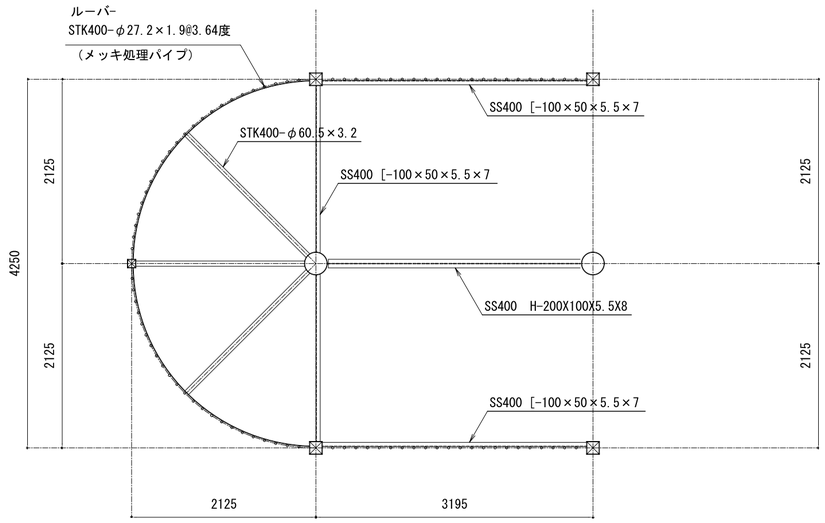
2階平面図　S=1/50

訂正	月．日	事　項		

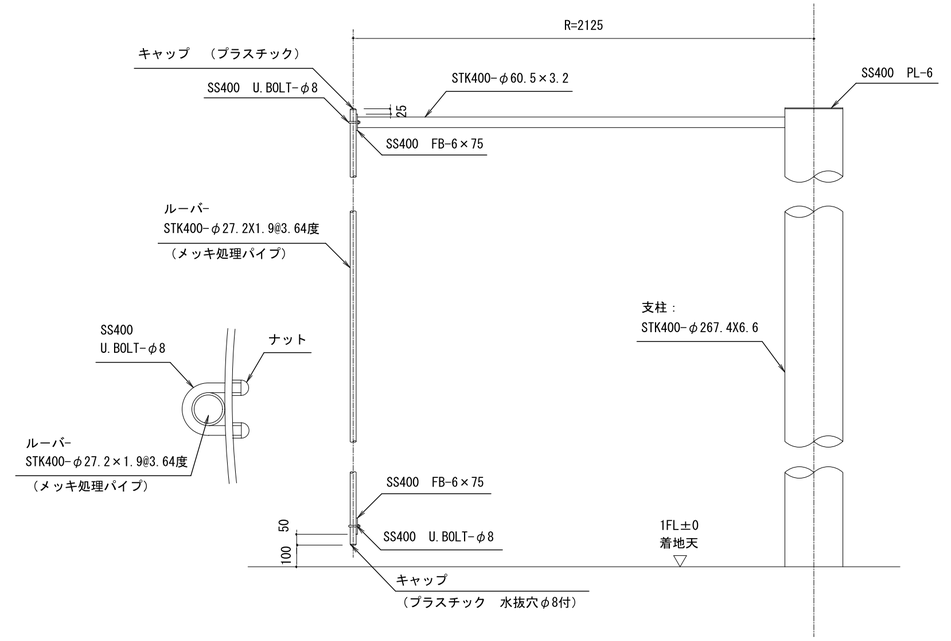
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	屋外階段・避難滑り台詳細図（1）	縮尺	図示	図面No.	A-310
作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長　課長　担当　製図		設計No.	

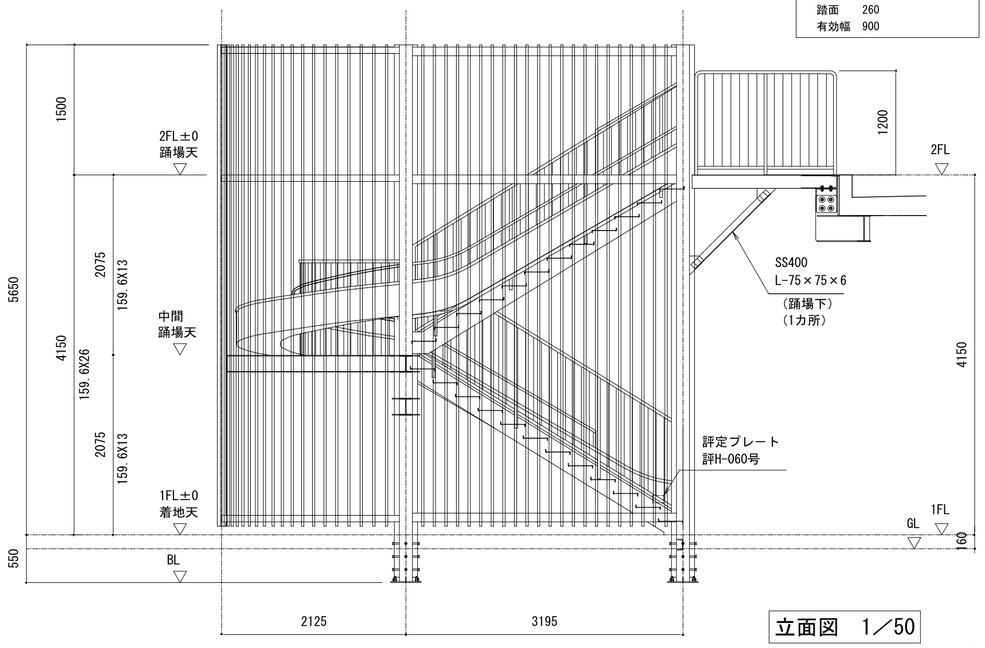


天リング平面図　1／50



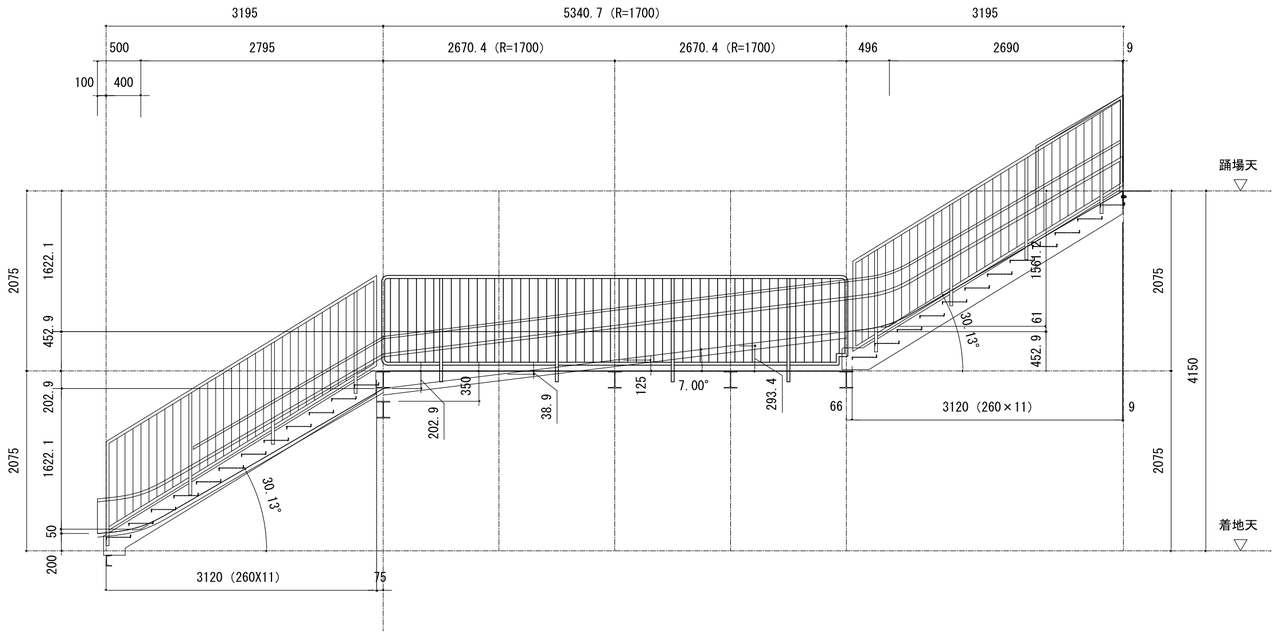
R部ルーバー固定要領図　1／20

避難すべり台
すべり面中心勾配 30度08′（直線部） 07度00′（ローラー部）
屋外階段
ケアゲ 159.6 踏面 260 有効幅 900



立面図　1／50

A-A矢視



すべり台・階段要領図　1／50

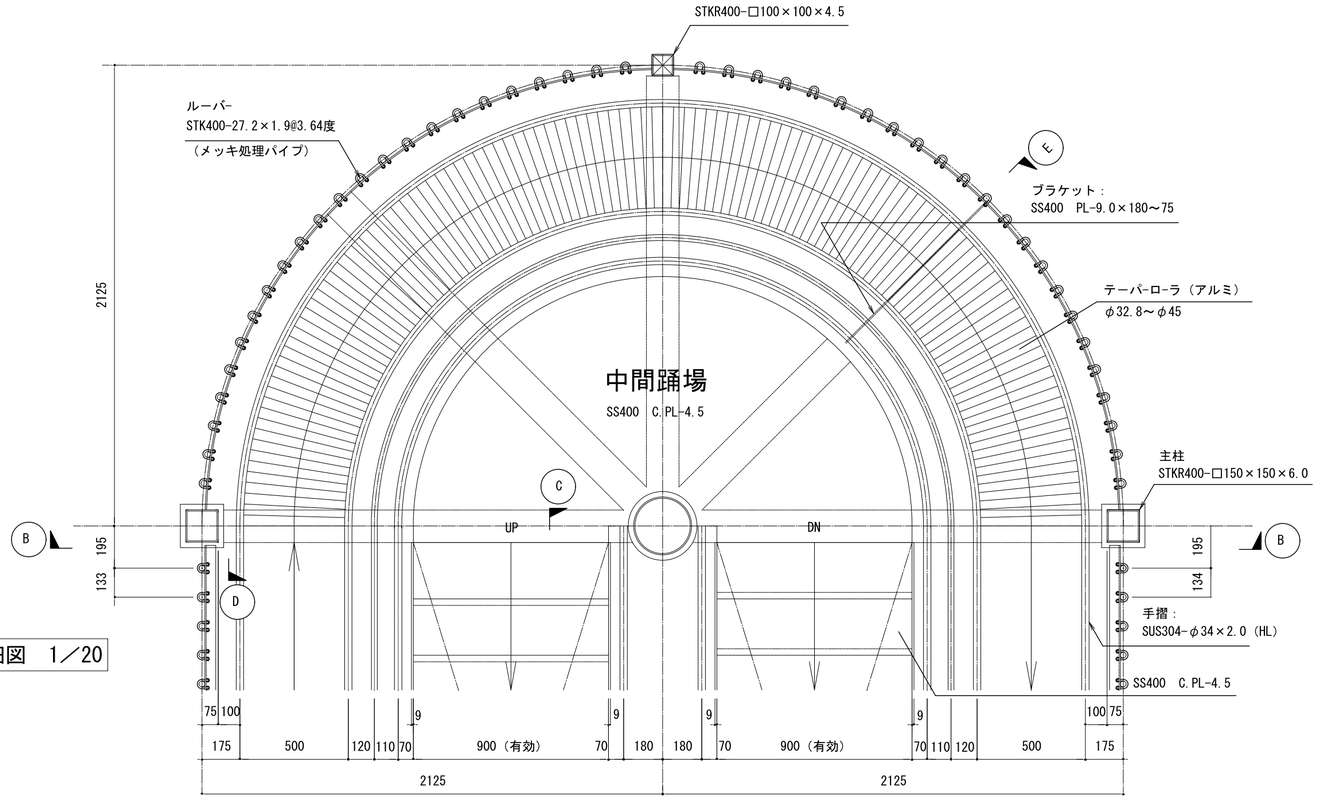
訂正	月 日	事 項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

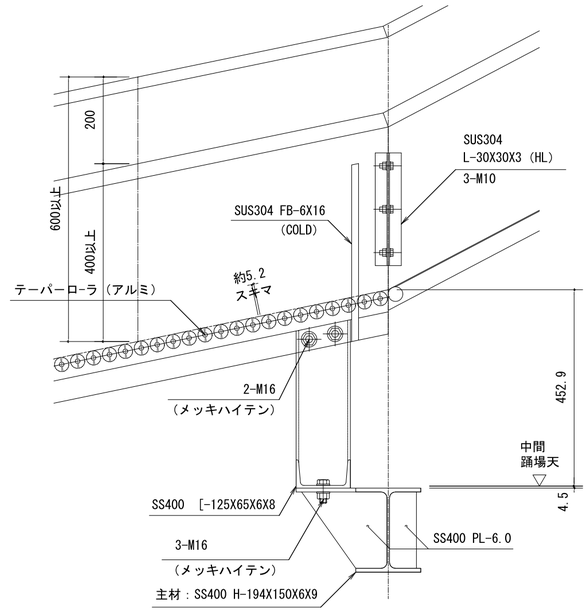
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	屋外階段・避難滑り台詳細図（2）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

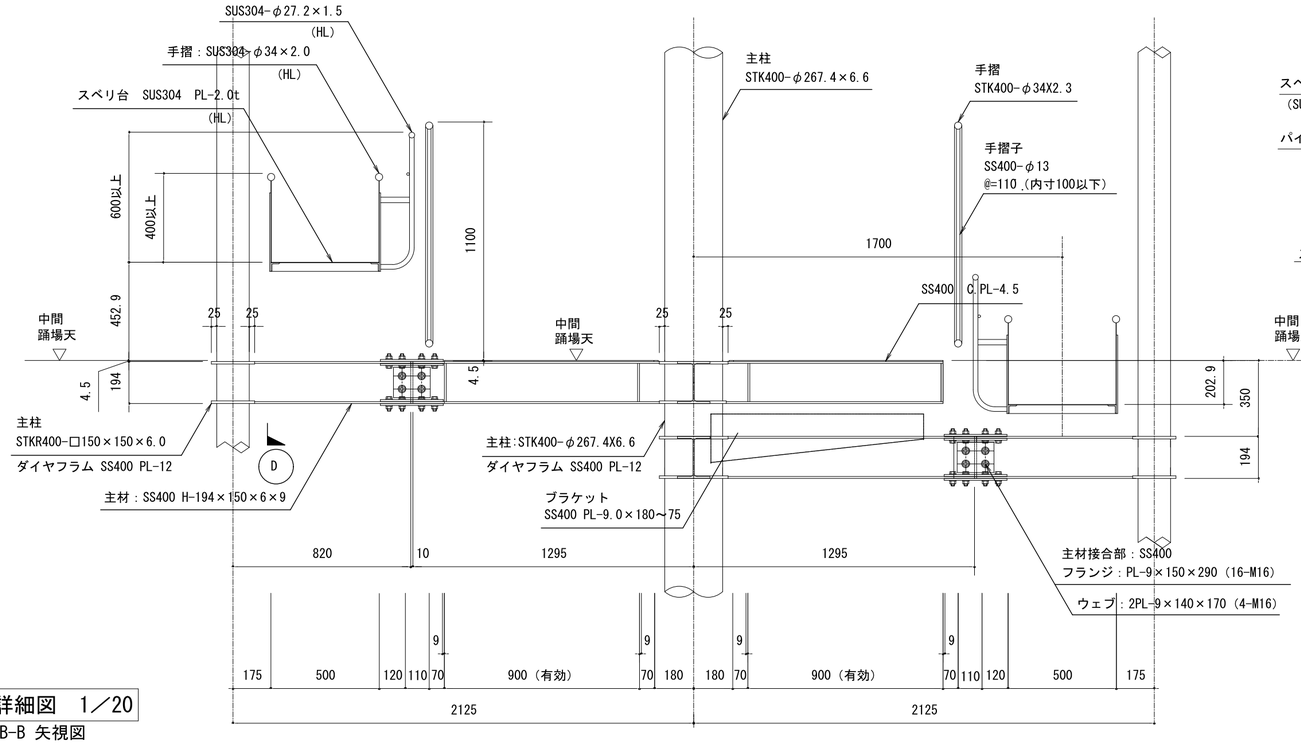
縮尺	図面No.
図示	A-310
設計No.	



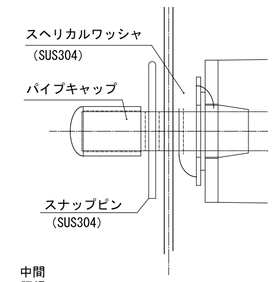
平面詳細図　1／20

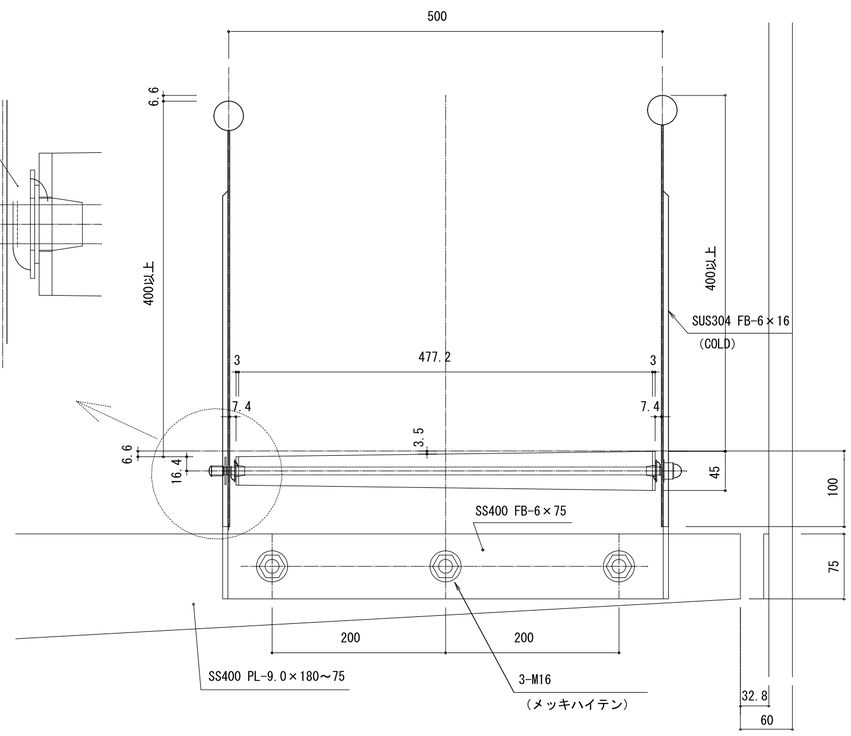


D-D 矢視図
共通



断面詳細図　1／20
B-B 矢視図





すべり台テーパ部断面図　1／10
E-E 矢視図

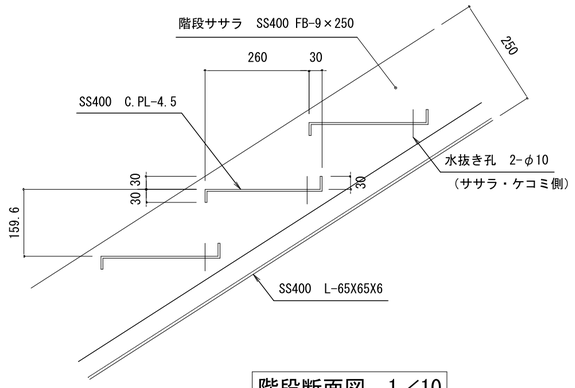
訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバーサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

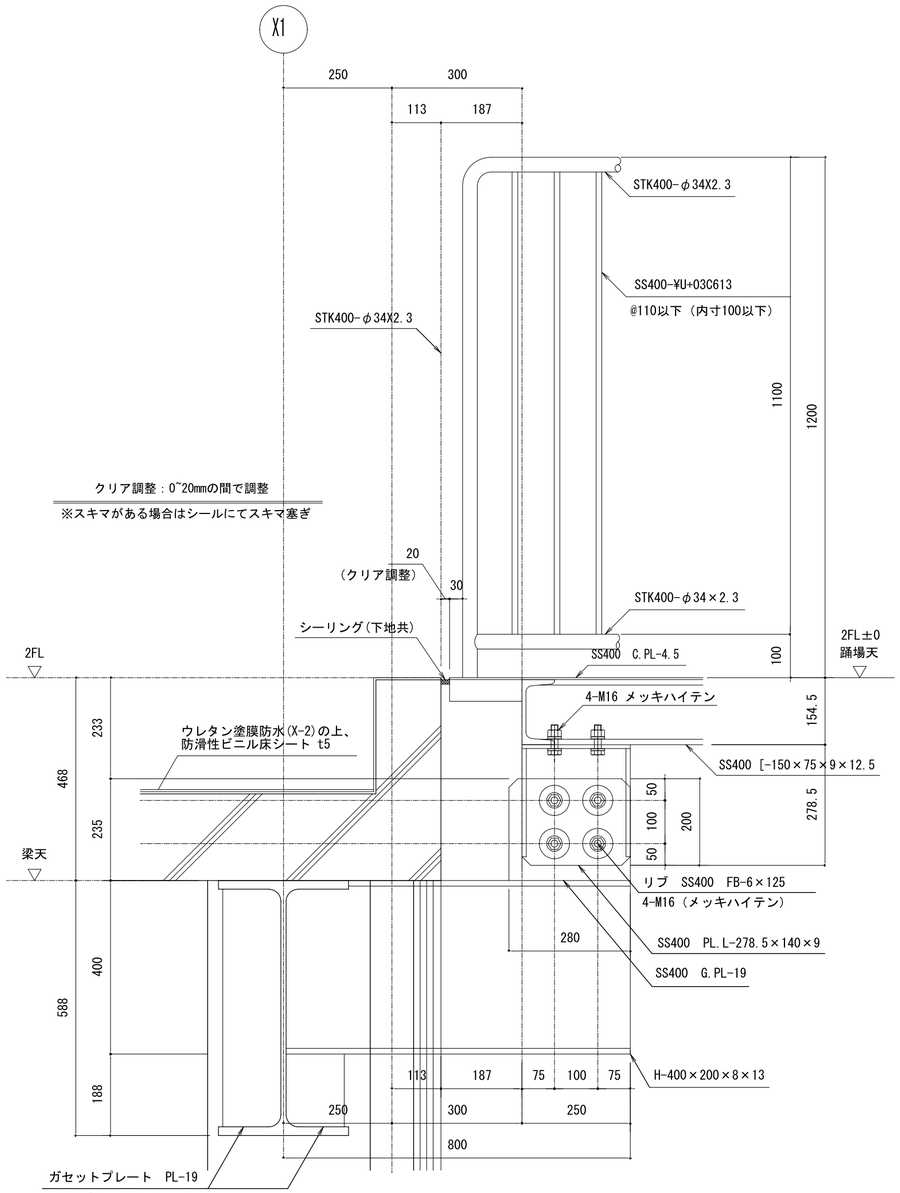
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	屋外階段・避難滑り台詳細図（３）	縮尺　図示
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長　課長　担当　製図	設計No.

図面No. A-312



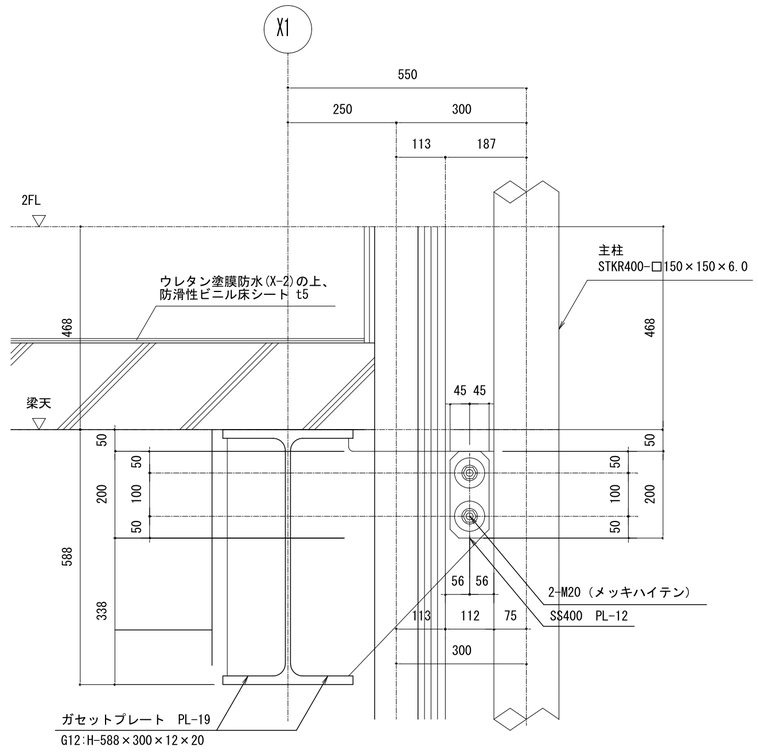
階段断面図　1／10

C-C 矢視図

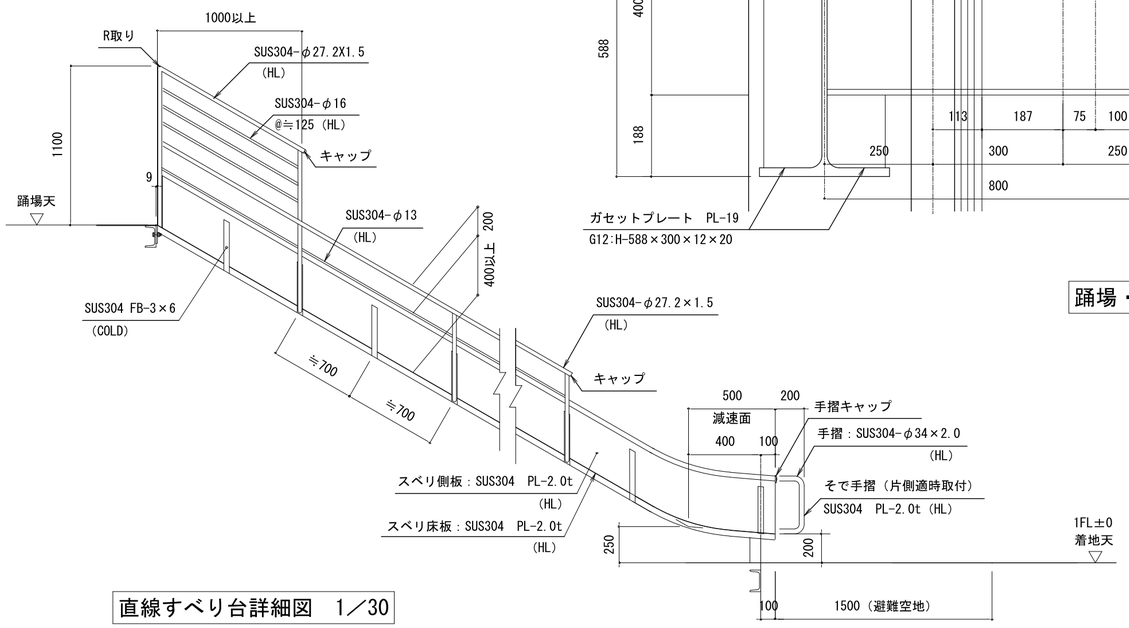


踊場・壁面取合図　1／10

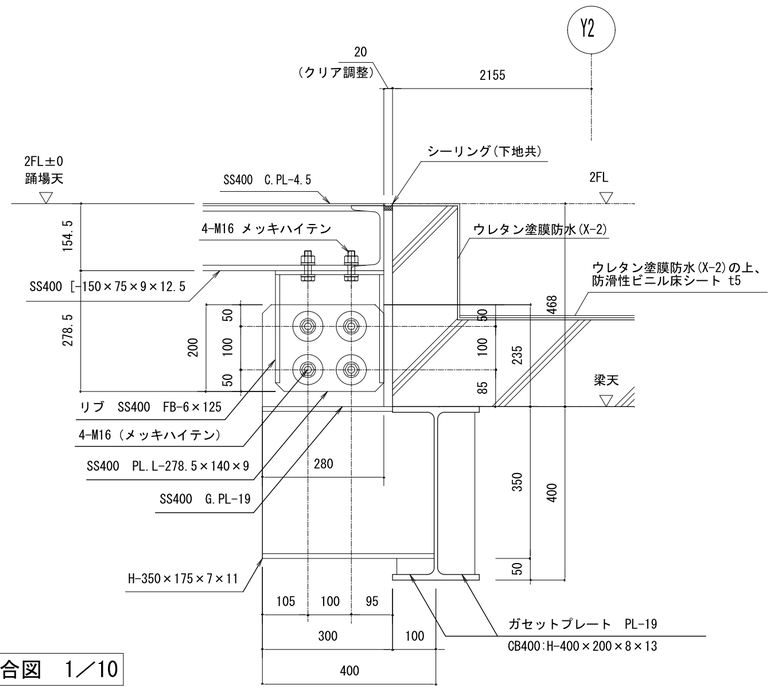
建物側



支柱　・壁面取合図　1／10



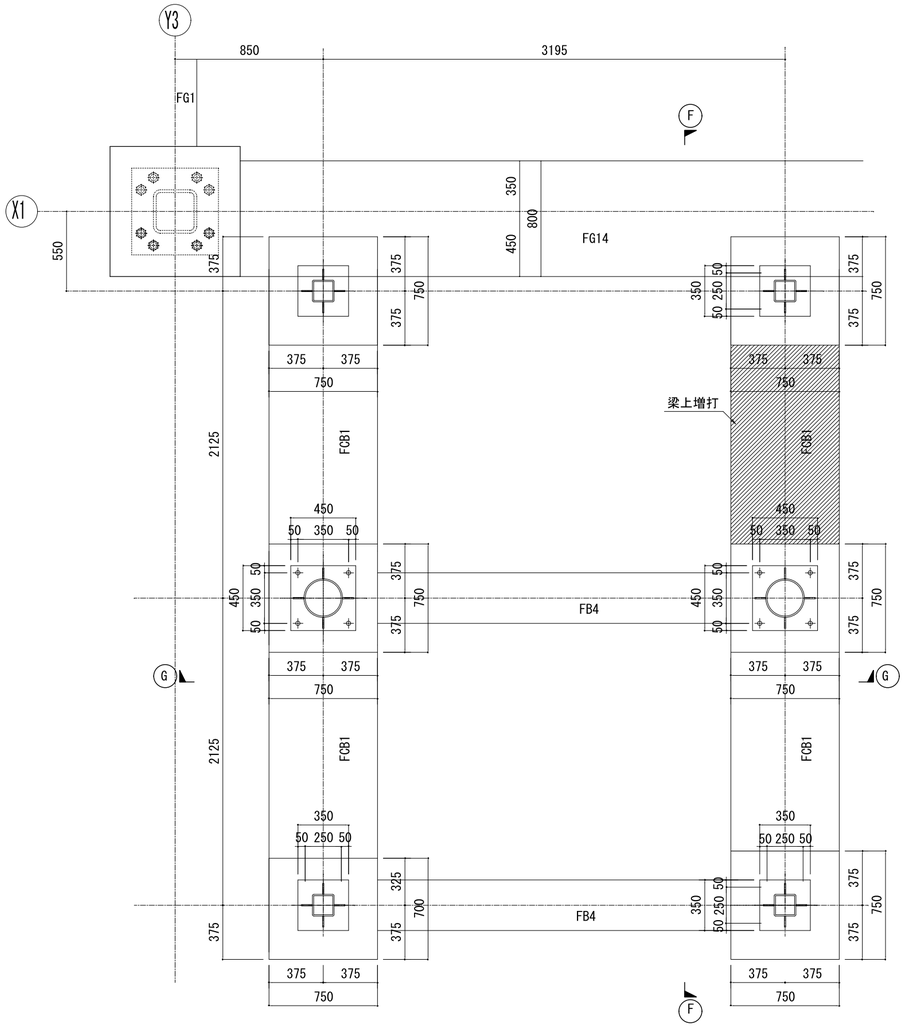
直線すべり台詳細図　1／30



踊場・壁面取合図　1／10

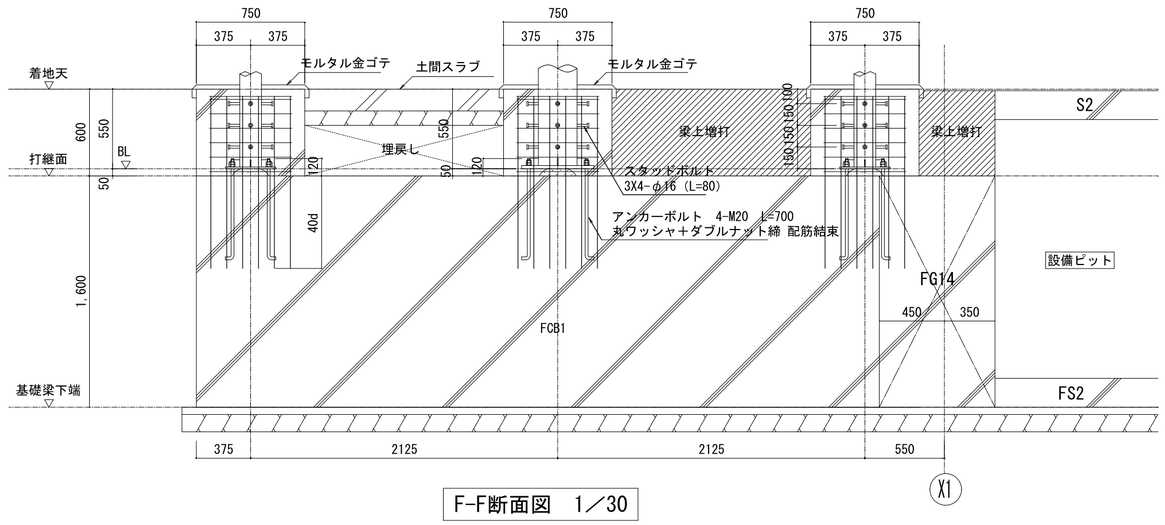
バルコニー側

訂正	月　日	事　項			株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	屋外階段・避難滑り台詳細図（4）	縮尺	図示	図面No.	A-313
						設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二		法適合確認結果等	作成 2025 年 1 月 31 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.	

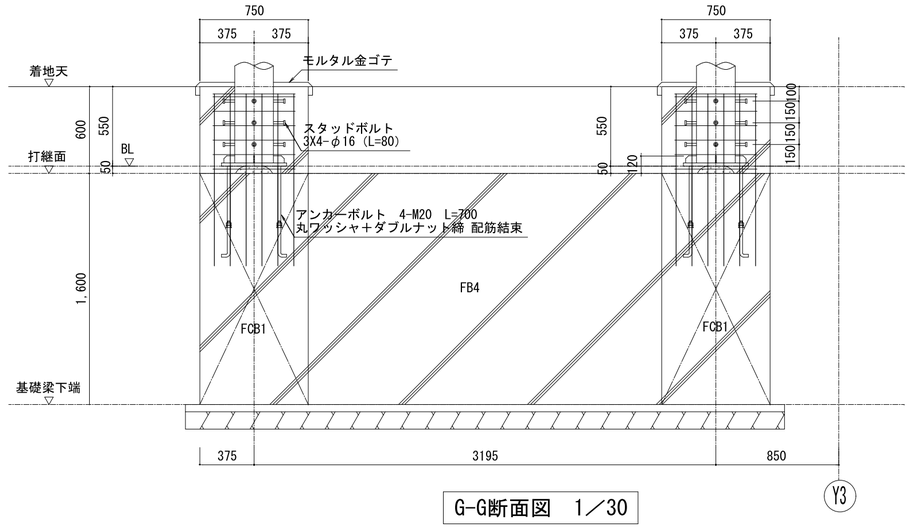


基礎伏図　1／30

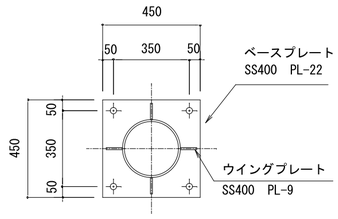
共通

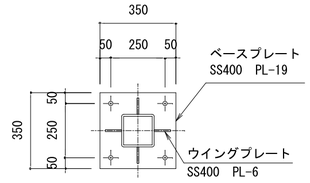


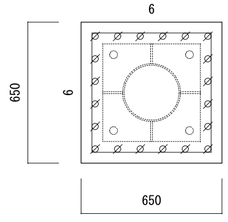
F-F断面図　1／30

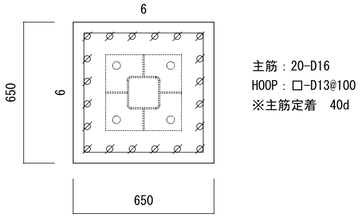


G-G断面図　1／30









柱脚詳細図　1／20

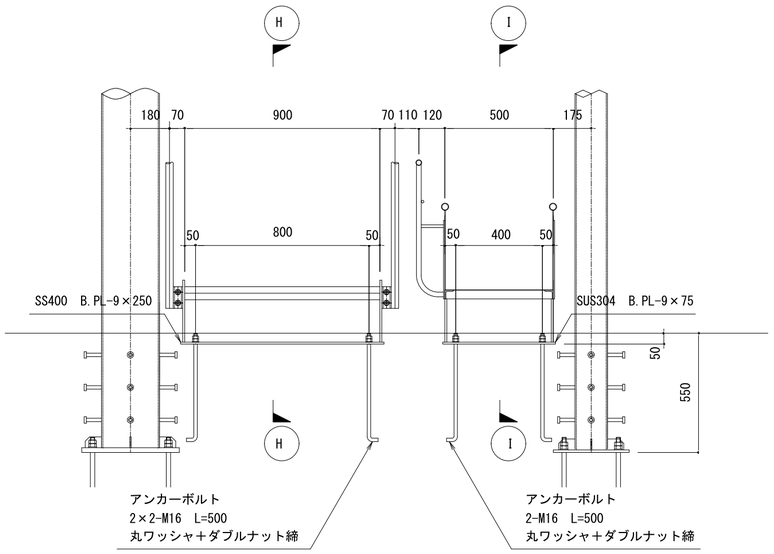
訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

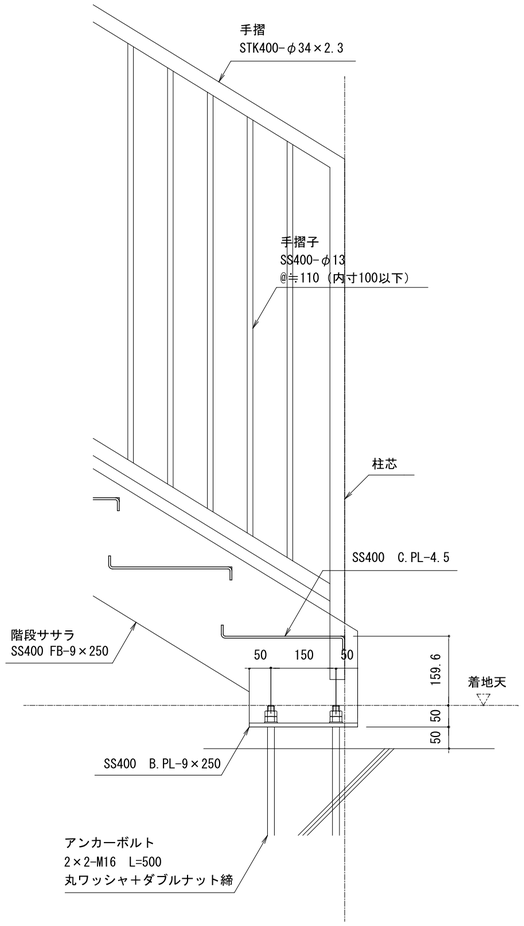
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	屋外階段・避難滑り台詳細図（５）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

縮尺	図示	図面No.	A－３１４
設計No.			

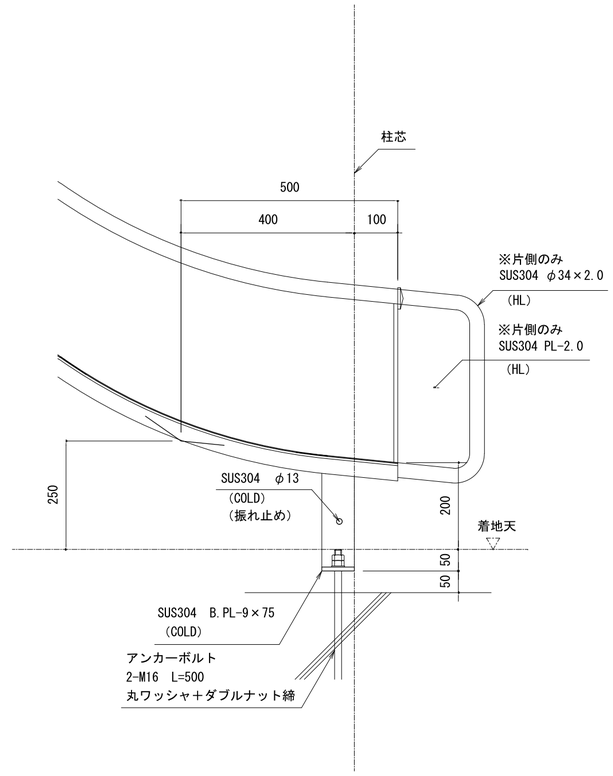


すべり台・階段着地部詳細図　1／20



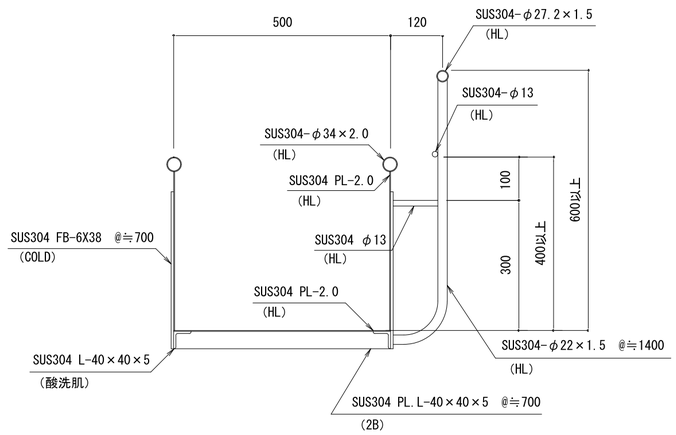
着地部階段断面詳細図　1／10

H-H断面



すべり台部階段断面詳細図　1／10

I-I断面



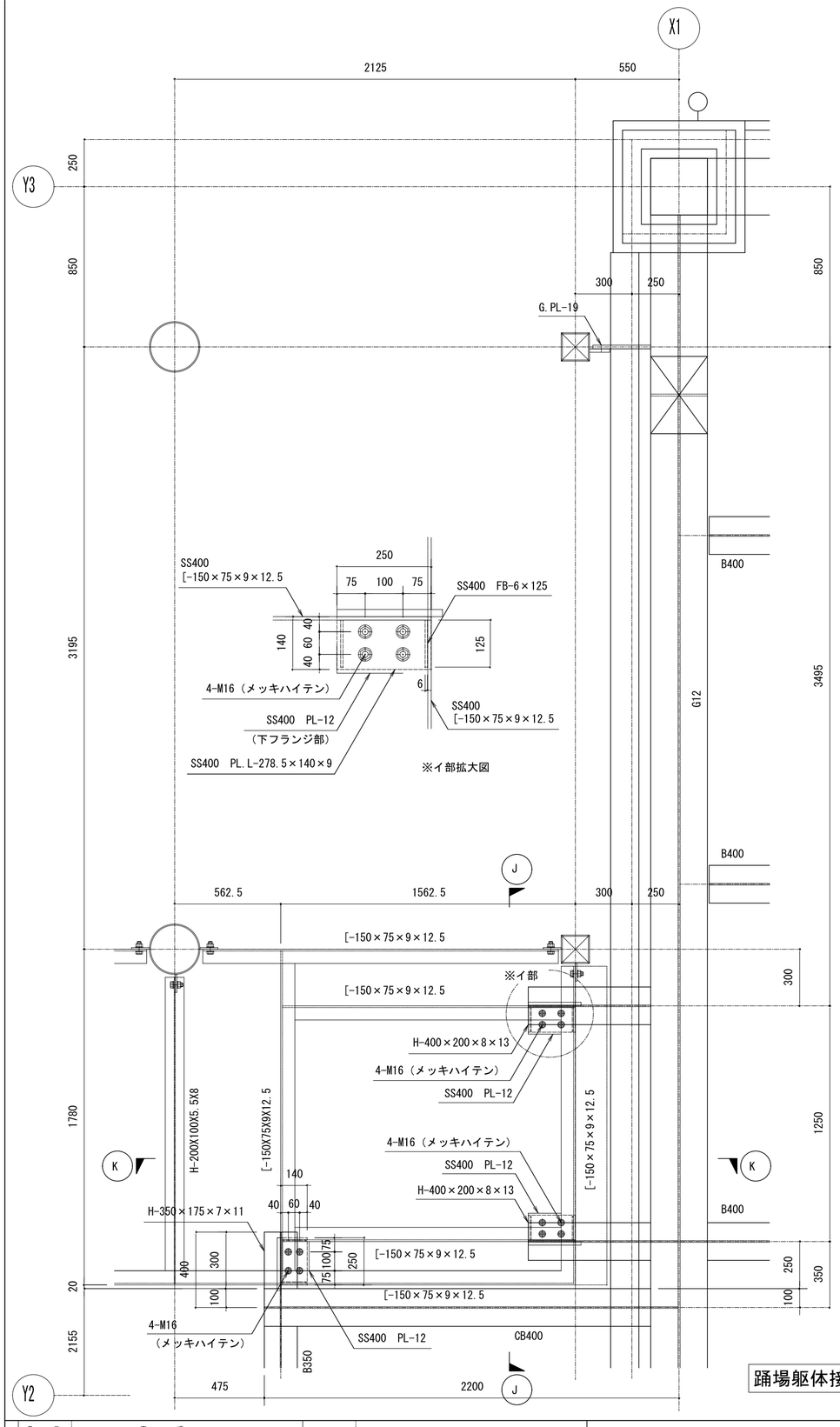
直線すべり台断面詳細図　1／10

訂正	月　日	事　項		

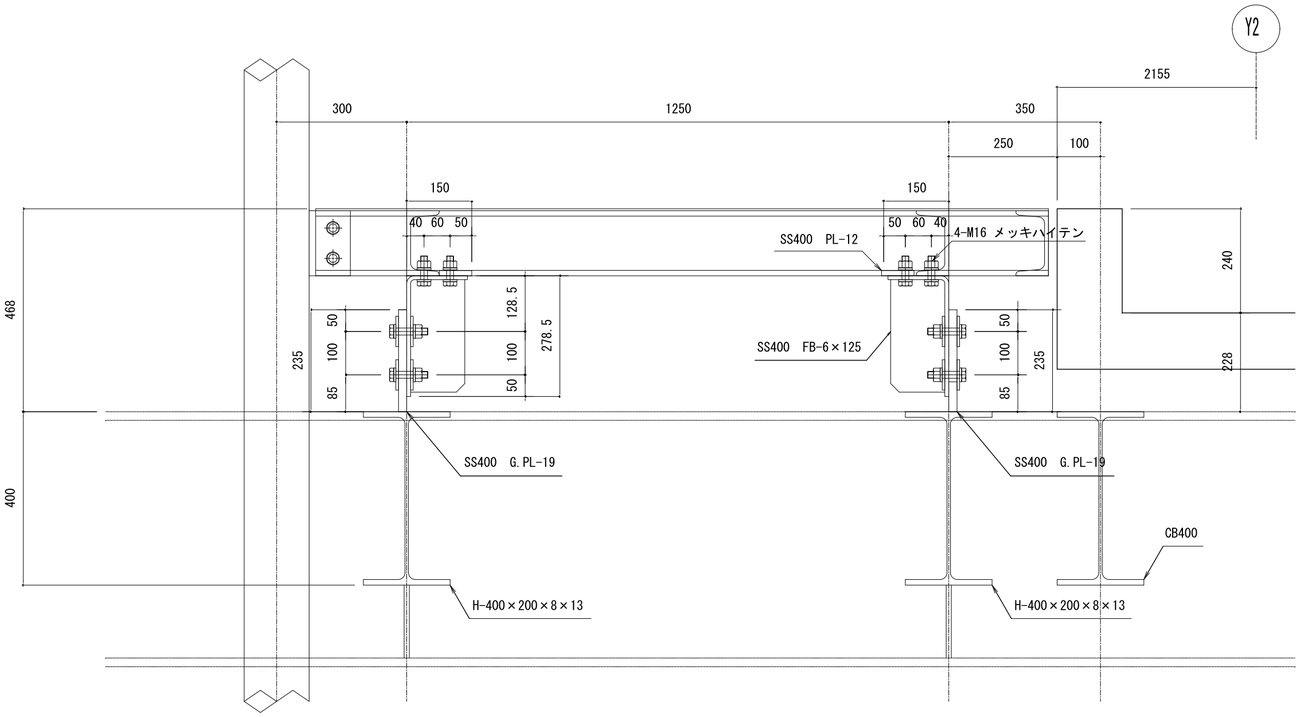
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等		

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	屋外階段・避難滑り台詳細図（６）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図
縮尺	図示	図面No.	A-３１５
設計No.			

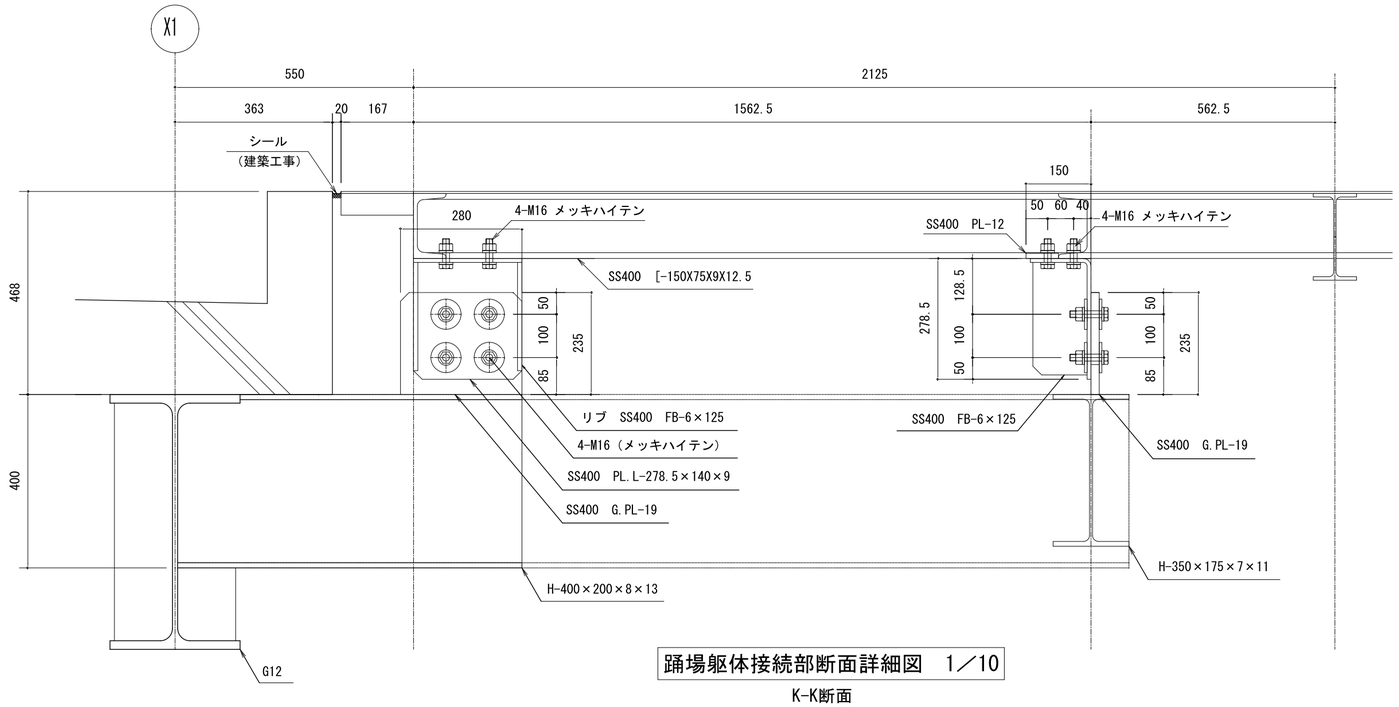


踊場躯体接続部平面詳細図　1／20



踊場躯体接続部断面詳細図　1／20

J-J断面



踊場躯体接続部断面詳細図　1／10

K-K断面

| 訂正 | 月 日 | 事項 | | |

竪樋：ガルバリウム丸管 φ100
支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手

1階トイレ
FL-10 | FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(B) t2

室外機置場(室外機・設備基礎は別途工事)

物入・洗濯室
FL-70 | FL-160
CH=2,500
床：ビニル床シート(A) t2

上部小庇

雨水タンク(外構工事)

グリーストラップ
(設備工事)

物置
(備品)

竪樋：ガルバリウム丸管 φ100
支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手

検収室
FL-10 | FL±0
CH=2,500
床：特殊防滑ビニル床シート t2.5
※調理室詳細図参照

屋外避難階段・避難滑り台
※屋外階段詳細図参照

女性用更衣室
FL-10 | FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(A) t2

男性用更衣室
FL-10 | FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(A) t2

縦格子フェンス・門扉
(外構工事)

屋内階段
※屋内階段詳細図参照

乗用ELV
※乗用ELV詳細図参照

調理室
FL-10 | FL±0
CH=2,500
床：特殊防滑ビニル床シート t2.5
※調理室詳細図参照

調理員用更衣室
FL-60 | FL±0
CH=2,500
床：ビニル床タイル t3
※調理室詳細図参照

廊下
FL-300 | FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20

調理員用トイレ
FL-60 | FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(B) t2

物置
(備品)

バリアフリートイレ
FL-10 | FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(B) t2

相談室
FL-300 | FL±0
CH=2,500
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20

玄関
床：300角磁器質タイル
框：磁器質タイル

テラス
床：コンクリート直均しの上、
防滑性ビニル床シート t5.0

0・1歳児用トイレ
FL-10 | FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(B) t2

調乳室
FL-300 | FL±0
CH=2,500
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20

2歳児用保育室
FL-300 | FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20

1歳児用保育室
FL-300 | FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20

0歳児用保育室
FL-300 | FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20

職員室
FL-300 | FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20

小園庭
(外構工事)

テラス
床：コンクリート直均しの上、
防滑性ビニル床シート t5.0

竪樋：ガルバリウム丸管 φ100
支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手

竪樋：ガルバリウム丸管 φ100
支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手

竪樋：ガルバリウム丸管 φ100
支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手

Y3 / Y2 / Y1
X1 / X2 / X3 / X4

凡 例

部屋名	
SL	FL
CH	

床仕上げ

壁符号
文字囲い表記は下地・仕上をスラブまで施工。(点線は下地のみ)
L R B m
構造材 / 下地材 / 腰壁材 / 仕上材

構 造 材

記 号	構 造	厚 さ
L	LGS	65
L4	LGS	65+45
L1	LGS	100
X	Mバー19型 @455	

下 地 材

記 号	構 成	
R	GB-R t12.5	
J	GB-F t12.5	GB-R-H t9.5
S	GB-S t12.5	
T	GB-S t12.5	GB-S t9.5
F	GB-F t12.5	
K	GB-F t21	GB-F t21

仕 上 材

記 号	構 成
B	ビニルクロス
K	化粧ケイカル板 t6.0

腰 壁 材

記 号	構 成
m	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗
k	化粧ケイカル板 t6 H1200
	GW 24K充填
◎消	壁掛け式消火器ボックス UNION「UFB-6F-2770H-PWH」同等品
○消	扉埋込式消火器ボックス
⊕消	壁埋込式消火器ボックス

※備品は全て本工事に含まない。

展開方向 A B C D

訂正	月 日	事 項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	1階平面詳細図
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長 課長 担当 製図
縮尺	A2:1/70 A3:1/98	図面No.	A-321
設計No.			

凡 例

部屋名	
SL	FL
CH	

床仕上げ

壁符号

構 造 材

記 号	構 造	厚 さ
L	LGS	65
L4	LGS	65+45
L1	LGS	100
X	Mバ-19型 @455	

下 地 材

記 号	構 成	
R	GB-R t12.5	
J	GB-F t12.5	GB-R-H t9.5
S	GB-S t12.5	
T	GB-S t12.5	GB-S t9.5
F	GB-F t12.5	
K	GB-F t21	GB-F t21

仕 上 材

記 号	構 成
B	ビニルクロス
K	化粧ケイカル板 t6.0

腰 壁 材

記 号	構 成
m	羽目板 t12 H1200 自然系塗料塗
k	化粧ケイカル板 t6 H1200

GW 24K充填

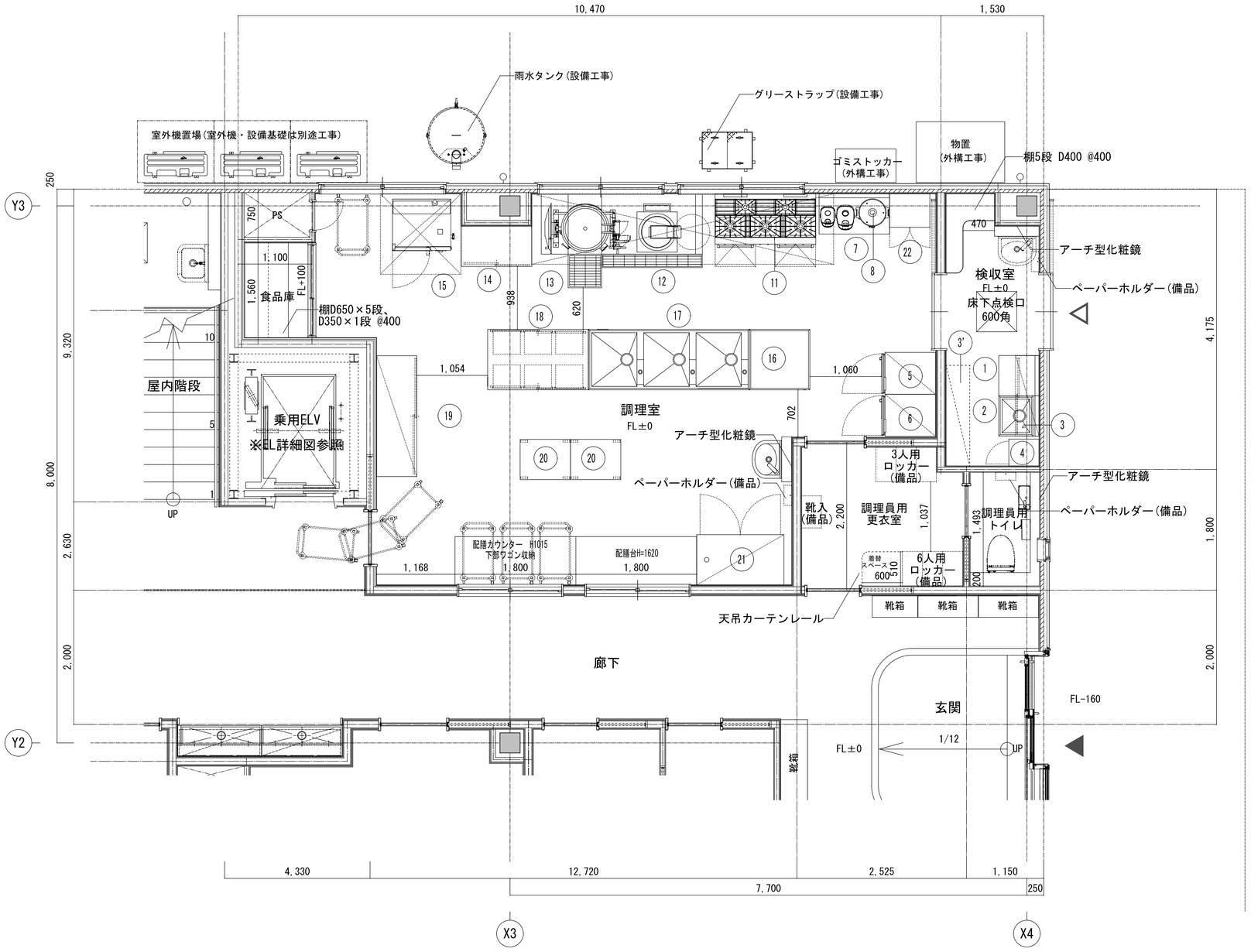
◎消 壁掛け式消火器ボックス UNION「UFB-6F-2770H-PWH」同等品

○消 扉埋込式消火器ボックス

⊕消 壁埋込式消火器ボックス

※備品は全て本工事に含まない。

Y3
Y2
Y1
X1
X2
X3
X4
2階トイレ
FL-10 FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(B) t2
竪樋：ガルバリウム丸管 φ100
支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手
SUS鋳鋼製よこ引きドレンφ100
笠木一体型アルミ製手摺 H900
幼児用汚垂石
SUS製タラップ(背筋付)
笠木一体型アルミ製手摺 H900
上部開口
室外機置場
床：屋外用ビニル床シート
屋外避難階段・避難滑り台
※屋外階段詳細図参照
男性用 大人
大人 女性用
子供用トイレ
上部吊戸棚(メラミン化粧板)
菱形化粧鏡×2
手洗い
洗濯室
FL-10 FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(B) t2
上部吊戸棚(木製)
洗濯機(備品)
洗濯機上部乾燥機(備品)
隠蔽式ワンタッチオペレーター
屋内階段
※屋内階段詳細図参照
モップ掛けパネル
物入
FL-10 FL±0
CH=2,500
床：ビニル床シート(A) t2
収納
可動棚
アルミ製点検口 □250
乗用ELV
※ELV詳細図参照
コンテナ置場
上部吊戸棚(木製)
廊下
FL-150 FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20
可動式パーティション
物干しスペース(屋外)
※物干しスペース詳細図参照
水勾配1/100
給湯コーナー
手洗い
上部吊戸棚(木製)
菱形化粧鏡×9
遊戯室
FL-150 FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20
押入
(上部天袋付)
中棚 D950 FL+850
アルミ製点検口 □250
SUS製グレーチング
排水溝：ウレタン塗膜防水(X-2)
笠木一体型アルミ製手摺 H1,000
5歳児用保育室
FL-150 FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20
4歳児用保育室
FL-150 FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20
3歳児用保育室
FL-150 FL±0
CH=2,700
床：複層フローリング t15
パーティクルボード t20
園用幼児ロッカー 子供用ロッカー(6人用)
隠蔽式ワンタッチオペレーター
バルコニー
床：ウレタン塗膜防水(X-2)の上、
屋外用ビニル床シート
緊縛：ガルバリウム丸管 φ100
支持金物：SUS製@1200内外、伸縮継手
SUS鋳鋼製たて引きドレンφ100
(デッキプレート打込み用)
下部雨よけ
庇：カラーガルバリウム鋼板 t0.4 立ハゼ葺き
*アスファルトルーフィング下地
*木毛セメント板 t40
PS
EPS
FL-215
XRBm
XSBm
L1RBm
L1KBm
L1JBm
L1JJ-
L1JB-
LRBm
LSBm
LSBK
L4RBm
L4BBm
L1BBm
L1TBm
L1SBk
L1SBm
L1TBk
L1TBm
L1SBm
L1SBk
L1TBm
L1SBk
L1TBm
L1SBk
L1T



※壁種類は平面詳細図を参照のこと。

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	調理室詳細図
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

縮尺 A2:1/50 A3:1/70
設計No.
図面No. A-323

品番	名称	規格仕様	外形寸法(m/m) 間口	奥行	高さ	数量	給排水 給水(A)	給湯(A)	排水(A)	ピット	ガス(都市ガス) 口径(A)	消費量(kW)	電気(kW) 単相100V	単相200V	三相200V	蒸気 給気(A)	排気(A)	消費量(kg/h)	フード	備考
1	作業台		600	600	850～900	1														川越市仕様(詳細は機器詳細図参照)
2	一槽シンク		600	600	850～900	1	15	15	50											川越市仕様(詳細は機器詳細図参照)
3	吊戸棚		1200	350	600	1														取付壁面に補強要
3'	吊戸棚		1500	350	600	1														取付壁面に補強要
4	掃除用具入れ		(400)	(450)	1800	1														仕様確認要
5	冷蔵庫	HR-63A-1	625	800	1910	1			40				0.272							定格内容積493L
6	冷凍庫	HF-63A-1	625	800	1910	1			40				0.370							定格内容積493L
7	作業台		1050	600	750～800	1														棚付、扉なし、 川越市仕様
8	ガス炊飯器	RR-300CF	492	423	426	1					φ13ゴム	5.52							○	内釜フッ素付 炊飯能力：2～6L
9	IH炊飯ジャー	NH-YG18	275	371	247	1			※備品(本工事に含まない。)				1.290							炊飯容量1升（1.8L）
10	IH炊飯ジャー	NP-GL05	230	300	190	1							0.115							※家庭用 3合炊き
11	ワイドオーブンガスレンジ	XY-1575A（特）	1500	750	850	1					25	81.40							G	オーブンサーモ付き H=850
12	丸型フライヤー	FGSHT-60-1	600	720	785	1	15（清掃用）	15（清掃用）	側溝		15	19.77							G	
13	ガス煮炊釜	KIG2D-10KH	1240	930	1500	1	20	20	ピット	要	20	18.00							G	満水量55リットル カラン付、内釜鋳鉄
14	調味料台		1050	600	850	1														下部戸棚付
15	スチームコンベクションオーブン	CSX-1E61-T	870	770	1411	1	15		40(耐熱鉄管)						10.100				G	ホテルパン1/1 6段 架台付
16	作業台		900	900	850～900	1														棚付、扉なし、 川越市仕様
17	三槽シンク		2400	900	850～900	1	15×3	15×3	50×3											ドライ仕様 川越市仕様 下部スノコ付
18	引出付台下戸棚		1500	900	850～900	1														両面、川越市仕様(詳細は機器詳細図参照)
19	戸棚		1800	600	1800	1														片面扉
20	移動台		750	600	850	2														
21	消毒保管機	MCWK-30-s75T	1300	750	1900	1									5.750					電気式 片面 奥行750mm仕様 食器篭別途（参考寸法：370×250×200）
22	包丁まな板殺菌庫	NK-113D	600	500	1080	1							0.545							収納数 包丁20本 まな板5枚
23	UTSカート	NUTS1-S	759	461	815	1			※備品(本工事に含まない。)											
23'	コンテナ	GKS配膳コンテナー	805	560	965	3														
	設備容量合計											124.69	2.722		15.850					

注）設備容量の数値は各1台当たりを示す。 注）付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

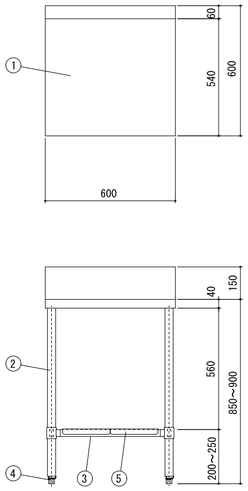
訂正 月日 事項

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録 東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者 一級建築士 登録第362390号 星野 康二

法適合確認結果等

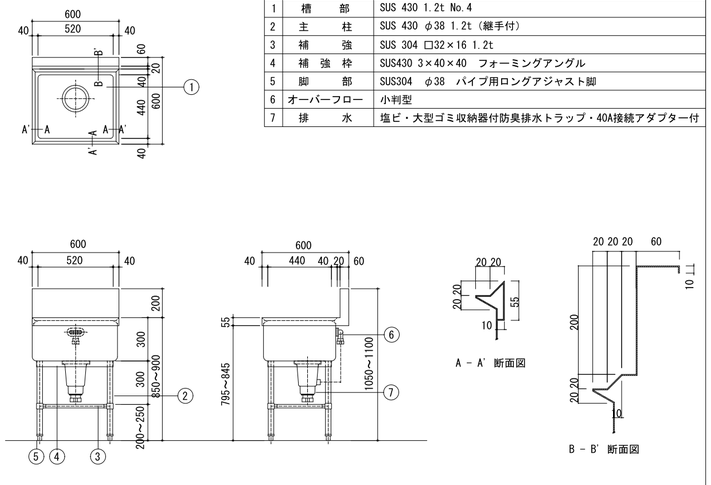
工事名称 古谷地区公立保育所新築工事
作成 2025年1月31日
承認
図面名称 調理室機器表
縮尺 NS
部長 課長 担当 製図 設計No.
図面No. A-324

1 作業台 A2:1/30



品番	名称	備考
1	甲板	SUS 430 1.2t No.4
2	パイプ脚	SUS 430 φ38 1.2t（継手付）
3	パイプ枠	SUS 304 □32×16 1.2t
4	アジャスト	SUS 304
5	取外式平板	SUS 430 1.0t No.4（分割式）

2 一槽シンク A2:1/30

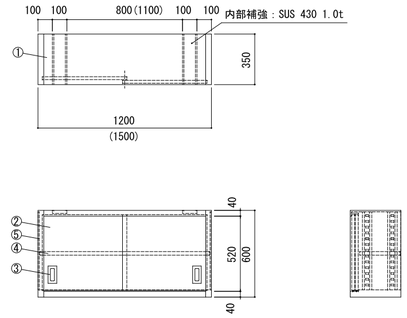


品番	名称	備考
1	槽部	SUS 430 1.2t No.4
2	主柱	SUS 430 φ38 1.2t（継手付）
3	補強	SUS 304 □32×16 1.2t
4	補強枠	SUS430 3×40×40 フォーミングアングル
5	脚部	SUS304 φ38 パイプ用ロングアジャスト脚
6	オーバーフロー	小判型
7	排水	塩ビ・大型ゴミ収納器付防臭排水トラップ・40A接続アダプター付

A－A' 断面図

B－B' 断面図

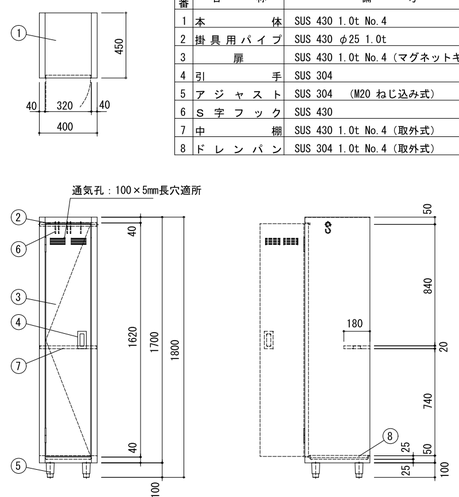
3 吊戸棚 A2:1/30



品番	名称	備考
1	本体	SUS 430 1.0t No.4
2	扉	SUS 430 1.0t No.4
3	引手	SUS 304
4	中棚	SUS 430 1.0t No.4（内部補強入、可動式）
5	棚柱	SUS 430

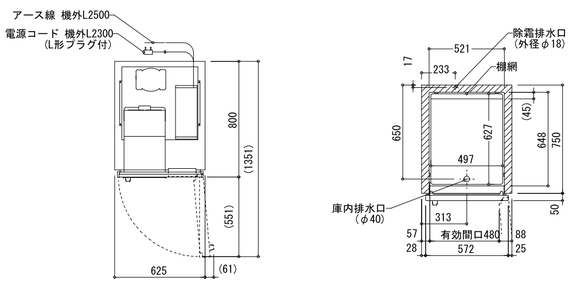
()内は3'の寸法を示す。
※ 取付箇所の壁面は充分に強度を得られる下地補強をすること

4 掃除用具入れ A2:1/30



品番	名称	備考
1	本体	SUS 430 1.0t No.4
2	掛具用パイプ	SUS 430 φ25 1.0t
3	扉	SUS 430 1.0t No.4（マグネットキャッチ付）
4	引手	SUS 304
5	アジャスト	SUS 304 （M20 ねじ込み式）
6	S字フック	SUS 430
7	中棚	SUS 430 1.0t No.4（取外式）
8	ドレンパン	SUS 304 1.0t No.4（取外式）

5 冷蔵庫 A2:1/30

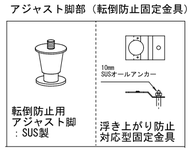


製品名	冷蔵庫
形名	HR-63A-I（特）
電源	単相 100V 50/60Hz 容量0.41kVA(4.1A)
電流	運転電流 2.0/2.1A 電動機定格電流 1.8/1.9A
消費電力	電動機定格消費電力 145/145W(力率80/76%) 電熱装置定格消費電力 272W 冷却時消費電力 164/164W 霜取時消費電力 272/272W
年間消費電力量	330kWh/年
放熱量	310/310W
電源コード	2.3m(L形プラグ付)
定格内容積	493L
外形寸法	幅625×奥行800×高さ1920(～1950)mm
内形寸法	幅521×奥行648×高さ1398mm
外装	ステンレス鋼板、亜鉛鋼板(後板、底板) 多層クリアコートステンレス鋼板(フロントパネル・扉)
内装	ステンレス鋼板、ABS樹脂
断熱材	硬質ポリウレタン一体発泡
冷却方式	強制対流式
除霜方式	ヒータ式、オフサイクル式自動選択
圧縮機	全密閉形 出力170W(インバータ)
凝縮器	フィン&チューブ形 強制空冷式
冷却器	フィン&チューブ形
冷媒	R134a
庫内温度制御	マイコン制御(デジタル温度表示)-6～12℃調節可能
除霜制御	マイコン制御
電気回路保護	漏電遮断器(過電流保護付)、アース線
冷媒回路保護	ケースサーモによる圧縮機停止(自動復帰)
脚	SUS304調製範囲100～130mm 固定金具付
棚網	棚網(3枚)+スノコ(1枚)
製品質量	84kg（梱包時 89kg）
梱包	簡易ダンボール梱包 幅695×奥行890×高さ1980mm
付属品	ドレンジョイント一式、ドレンホース2本
使用条件	周囲温度5～35℃ 電圧変動：定格電圧の±10%以内

※仕様・外観につきましては、改良のため予告なく変更することがあります。
1. 設置条件について
場所、給排水、電源等は取扱説明書・据付工事説明書に従って
正しく行ってください。
また、本体設置スペースは、設置条件により若干異なることが
ありますので、10mm程度余裕をとってください。
(給排気スペース・配管スペース等は本体設置スペースとは別に
確保が必要です。)
2. 放熱量は、周囲温度30℃における最終到達温度の時の値です。
3. 元ブレーカー容量は15A 125Vです。
必ず専用回路(過負荷・短絡保護あり)を使用してください。
4. 仕様欄記載の電流値及び消費電力等の仕様値は参考値です。
性能試験の結果により、仕様値を変更する場合があります。
5. 製品コード：R613

消費電力量について
・年間消費電力量は、JIS B8630(2009年版)で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
・消費電力量は、付加機能(オプション)のない標準品により表示しております。
付加機能(オプション)を追加した製品は消費電力量が増加する場合があります。

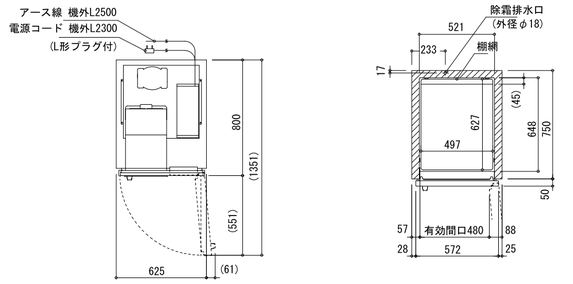
アジャスト脚部（転倒防止固定金具）



固定箇所は設置状況により決定します

L形プラグ形状

6 冷凍庫 A2:1/30

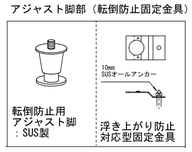


製品名	冷凍庫
形名	HF-63A-I（特）
電源	単相 100V 50/60Hz 容量0.50kVA(5.0A)
電流	運転電流 2.6/2.6A 電動機定格電流 2.1/2.1A
消費電力	電動機定格消費電力 165/165W(力率78/78%) 電熱装置定格消費電力 370W 冷却時消費電力 214/214W 霜取時消費電力 370/370W
年間消費電力量	1010kWh/年
放熱量	360/360W
電源コード	2.3m(L形プラグ付)
定格内容積	493L
外形寸法	幅625×奥行800×高さ1920(～1950)mm
内形寸法	幅521×奥行648×高さ1398mm
外装	ステンレス鋼板、亜鉛鋼板(後板、底板) 多層クリアコートステンレス鋼板(フロントパネル・扉)
内装	ステンレス鋼板、ABS樹脂
断熱材	硬質ポリウレタン一体発泡
冷却方式	強制対流式
除霜方式	ヒータ式
圧縮機	全密閉形 出力220W(インバータ)
凝縮器	フィン&チューブ形 強制空冷式
冷却器	フィン&チューブ形
冷媒	R134a
庫内温度制御	マイコン制御(デジタル温度表示)-25～-7℃調節可能
除霜制御	マイコン制御
電気回路保護	漏電遮断器(過電流保護付)、アース線
冷媒回路保護	ケースサーモによる圧縮機停止(自動復帰)
脚	SUS304調製範囲100～130mm 固定金具付
棚網	棚網(3枚)+スノコ(1枚)
製品質量	85kg（梱包時 90kg）
梱包	簡易ダンボール梱包 幅695×奥行890×高さ1980mm
付属品	ドレンホース
使用条件	周囲温度5～35℃ 電圧変動：定格電圧の±10%以内

※仕様・外観につきましては、改良のため予告なく変更することがあります。
1. 設置条件について
場所、給排水、電源等は取扱説明書・据付工事説明書に従って
正しく行ってください。
また、本体設置スペースは、設置条件により若干異なることが
ありますので、10mm程度余裕をとってください。
(給排気スペース・配管スペース等は本体設置スペースとは別に
確保が必要です。)
2. 放熱量は、周囲温度30℃における最終到達温度の時の値です。
3. 元ブレーカー容量は15A 125Vです。
必ず専用回路(過負荷・短絡保護あり)を使用してください。
4. 仕様欄記載の電流値及び消費電力等の仕様値は参考値です。
性能試験の結果により、仕様値を変更する場合があります。
5. 製品コード：R653

消費電力量について
・年間消費電力量は、JIS B8630(2009年版)で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
・消費電力量は、付加機能(オプション)のない標準品により表示しております。
付加機能(オプション)を追加した製品は消費電力量が増加する場合があります。

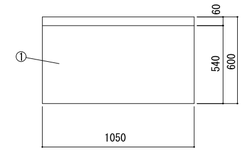
アジャスト脚部（転倒防止固定金具）



固定箇所は設置状況により決定します

L形プラグ形状

7 作業台



品番	名称	備考
1	甲板	SUS 430 1.2t No.4
2	パイプ脚	SUS 430 φ38 1.2t（継手付）
3	パイプ枠	SUS 304 □32×16 1.2t
4	アジャスト	SUS 304
5	取付式平板	SUS 430 1.0t No.4（分割式）

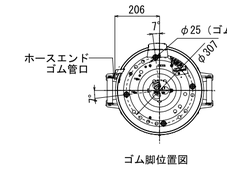
訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

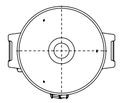
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

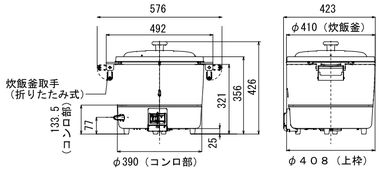
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	機器詳細図（1）
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A-325
部長	課長 担当	製図	設計No.

8 ガス炊飯器 A2:1/20



ゴム脚位置図





品　名		ガス炊飯器
型　式		RR-300CF
外形寸法(mm)	幅	492
	奥行	423
	高さ	426
重　量(kg)		13
接続(mm)	都市ガス	φ13ガス用ゴム管
	LPガス	φ9.5ガス用ゴム管
点　火　方　式		連続スパーク式
安　全　装　置		立消え安全装置
炊飯能力（リットル）		2～6
炊飯釜		フッ素付
使用ガス・使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量
都市ガス用	12A	5.17kW(4450kcal／H)
	13A	5.52kw(4750kcal／H)
LPガス用		5.54kw(0.396kg)

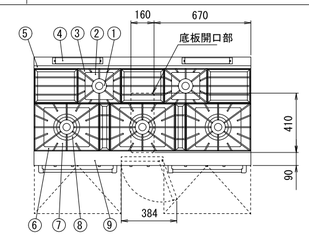
9

【欠番】

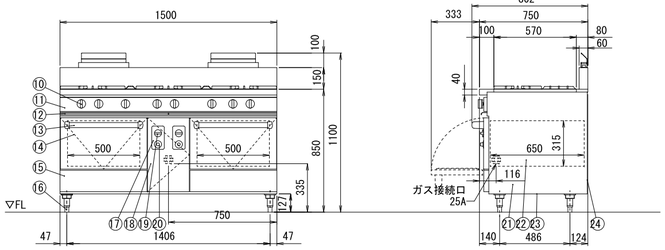
10

【欠番】

11 ワイドオーブンガスレンジ A2:1/30



特注：本体高さ＝850
バックガード付
（1500×60×150）

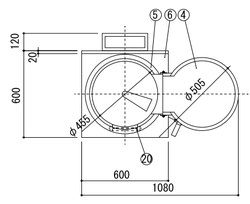


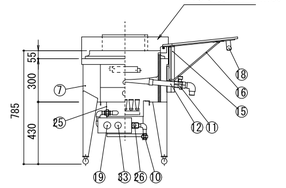
寸法(mm)		幅	奥行	高さ
	外形	1,500	750	850
	庫内有効	500	650	315
本体高さ調整幅		835～870mm		
接続	ガス	25A（めねじ）		
ガス消費量	13Aガス	81.4kW（70,000kcal/h）		
	LPガス	78.7kW（5.62kg/h）		
本体重量		255kg		
安全装置		オーブン部:立消え安全装置（熱電対式）		
庫内棚段数		2段　ピッチ103mm		
温度調節範囲		100～320℃		
点火方式		圧電点火方式		
付属品		テンパン548×398×40（2） オーブン金網488×650（2）		

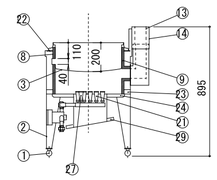
No	品　名	材　質	備　考
1	φ100一重バーナ	鋳鉄	6,000kcal/h（13Aガス）
2	しる受（小）	SUS410　t0.4	2B
3	ごとく（小）	鋳鉄	塗装　240×300
4	排気筒カバー	SUS430　t1.2	No.4
5	後トップ板	SUS430　t1.5	No.4
6	ごとく（大）	鋳鉄	塗装　330×450
7	しる受（大）	SUS410　t0.4	2B
8	φ180二重バーナ	鋳鉄	15,000kcal/h（13Aガス）
9	前トップ板	SUS430　t1.5	No.4
10	トップバーナコックツマミ	フェノール樹脂	
11	前化粧板	SUS430　t0.8	No.4
12	油　受	SUS430　t0.6	化粧SUS430 No.4
13	ドアハンドル	ICS楕円パイプ35×19	
14	ドア化粧板	SUS430　t0.8	No.4
15	下化粧板	SUS430　t0.8	No.4
16	調節脚	SUS304　他	
17	オーブン操作板	SUS430　t0.8	No.4
18	配管扉	SUS430　t0.8	No.4
19	オーブンコックツマミ		
20	オーブンサーモツマミ		
21	横　板	SUS430　t0.8	No.4
22	オーブン庫内壁	SUS430　t0.8	
23	底　板	SUS430　t1.2	
24	後　板 溶融アルミニウムめっき鋼板		t1.0

注）1.仕様及び外観を改良のため、予告なく変更することがあります。
2.ガス機器を設置する際は可燃構造壁から側面20cm以上、背面25cm以上、上面100cm以上の離隔距離を確保し、床は不燃構造として下さい。

12 丸形フライヤー A2:1/30







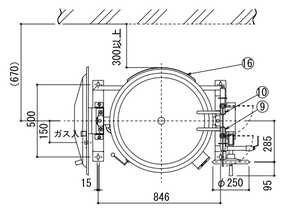
NO	品　名	摘　要
1	アジャストボール	SUS430
2	脚	SUS430 t1.5
3	鍋	SPCC　t2.3
4	蓋	SUS430 t1.0
5	フランジ	SUS430 t1.0
6	甲板	SUS430 t1.0
7	化粧板	SUS430 t0.8
8	本体円筒	ボンデ鋼板 t1.2
9	断熱材	ブランケット　スーパーウールマット
10	ガス入口	15A
11	排油ボールバルブ	25A
12	排油パイプ	SUS304
13	排気筒	SUS430
14	排気筒カバー	SUS430 t0.8
15	丸棒スライド	SUS430 t1.0
16	蓋支柱棒	SUS430　φ8
17		
18	蓋取手	ステン板　ベークライト
19	ガス燃焼安全制御ユニット	東洋ロバートショウ　90～220℃
20	サーモ・感度棒	
21	バーナー	SUS製　メッケルバーナー
22	鉄リング	ボンデ鋼板 t1.6
23	化粧板補強	L3×30×30
24	本体円筒受け	L3×30×30
25	バーナー箱	ボンデ鋼板 t1.6
26	ハイカット	250℃
27	パイロットバーナー	
28		
29	反射板	SUS430 t1.0
30		
31		
32		
33	点火ツマミ	

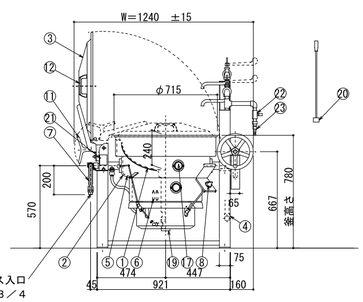
外形寸法：600×600×785（895）

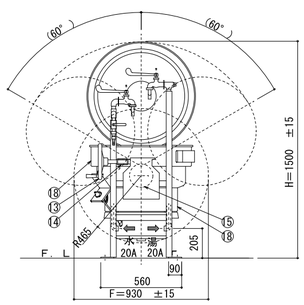
ガス消費量：（19.7KW）17,000kcal/h

自動点火、立ち消え安全装置、バックガード（H150）付き

13 ガス煮炊釜 A2:1/30







仕　様

ガス消費量（ＬＰＧ）		
18.0kw	1.28	kg／H

ツバ元水量	満水量	ガス消費量（13A）	
36リットル	55リットル	18.0kw	15,500kcal/H

標準仕様

品番	品　名	数量	材　質
1	内　釜	1	FC
2	外　釜（軸取付釜）	1	SUS304　t1.5
3	蓋	1	Al　t1.5
4	架台	1	SUS304
5	断熱材	1	グラスウール
6	バーナ	1	耐熱ステンレス
7	ガス接続口	1	フレキシブルチューブ20A
8	バーナ器具栓ツマミ	1	
9	自在水栓（給水）	1	20A
10	自在水栓（給湯）	1	20A
11	釜固定ハンドル	1	
12	取手	1	樹脂

品番	品　名	数量	材　質
13	ハンドル	1	FC　クロームメッキ
14	釜固定安全装置	1	FC　クロームメッキ
15	ウォームギヤー	1	FC　S45C
16	排気カバー	1	SUS430
17	ノゾキ窓	2	耐熱ガラス
18	ツバ・燃焼室	各1	SUS430
19	排水バルブ	1	BS40A
20	ドロー栓取出棒	1	マグネット
21	銘板	1	品名　煮炊釜
22	洗浄用バルブ	1	15A
23	カプラ	1	先端φ15(1/2" ホース用)

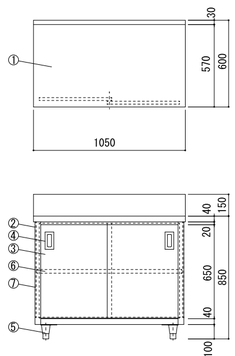
内釜の内側に、10,20,30（リットル）のメモリ付きです。（凹型メモリ）

立消安全装置・自動点火装置付
火力調整（95%）可

ガス煮炊釜　　KIG2D－10KH－NT 排水ドロー式

特記なき寸法公差は、±10mmとする。
予告なく変更の恐れがあります。
予め御了承下さい。

14 調味料台 A2:1/30



品番	名　称	備　考
1	甲　板	SUS 430 1.2t No.4
2	本　体	SUS 430 1.0t No.4
3	扉	SUS 430 1.0t No.4
4	引　手	SUS 304
5	アジャスト	SUS 304
6	中　棚	SUS 430 1.0t No.4（内部補強入、可動式）
7	棚　柱	SUS 430

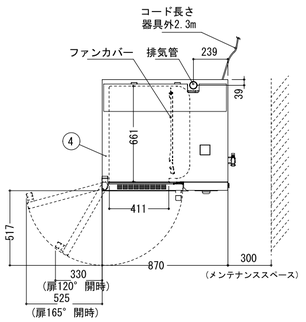
訂正	月　日	事　項		

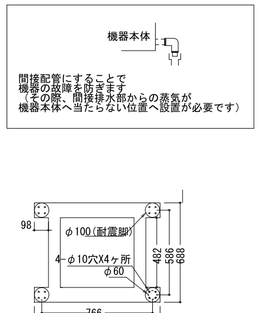
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

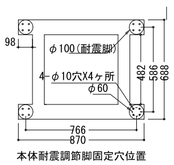
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	機器詳細図（2）	縮尺	図示	図面No.	A-326
作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長　課長　担当　製図		設計No.	

15 スチームコンベクションオーブン　A2:1/30





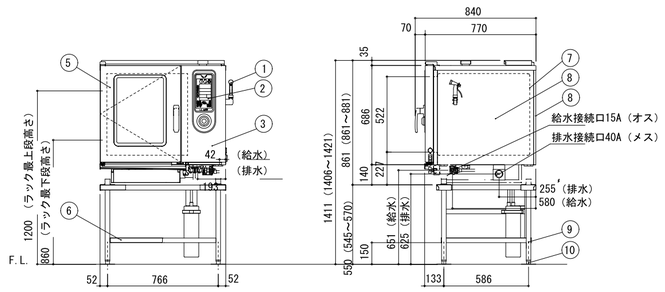


本体耐震調節脚固定穴位置

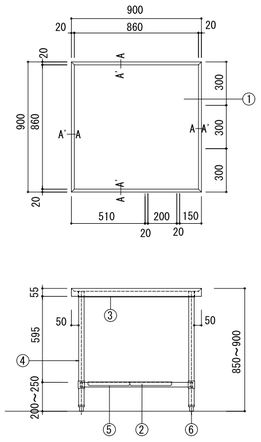
製品名		電気スチームコンベクションオーブン	
型式		CSX-1E61-T-NT	
寸法 (mm)	外形	870(W)	770(D)　1,411(H)
	庫内有効	411(W)	661(D)　522(H)
接続	給水	15A	適用水圧　0.2～0.75MPa
	排水	40A	100℃以上耐熱材
	電気	三相 200V　50/60Hz	4心5.5sq
			端子R5.5-6
		漏電ブレーカは本機専用で30A	
ヒータ容量	オーブン	9.6kW	
定格消費電力		10.1kW	
最大電流		28A	
温度調節範囲	ホット	30～300℃	
	スチーム	50～130℃	
	コンビ	30～250℃	
安全装置		庫内異常過熱防止装置（液膨張式）	
構造		庫内と熱交換部はファンカバーにて仕切りあり	
		庫内加熱方式：シーズ・ヒータによる間接加熱方式	
本体重量		140kg	
ホテルパン収納枚数		1/1GN　6枚(ピッチ68)	
ラックサポート総耐荷重		60kg（1段あたり最高30kgまで）	
芯温センサ		標準付属：3点感知	
標準付属品		専用軟水器（1）、耐熱手袋（1セット） 液体洗剤（1）、液体洗剤用スプレー（1） 排水部材セット（1）	
専用付属品		給水接続管（2）、軟水器固定板（1）	

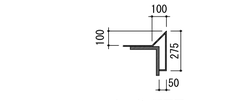
No	品名	材質	備考
1	洗浄ノズル		
2	コントロール操作及び表示部		
3	コントロール化粧板	SUS304 t1.0	No.4
4	外装（上）	SUS430 t1.0	No.4
5	扉化粧板	SUS304 t0.8	No.4
6	下棚スノコ	SUS430 t1.0	1枚
7	オーブン庫内壁	SUS304 t1.0	
8	外装（横、後）	SUS430 t0.8	No.4
9	脚パイプ	SUS304 t1.5	32角パイプ
10	耐震調節脚	SUS304他	4ヶ所

注）1. 仕様及び外観を改良のため、予告なく変更することがあります。
2. 設置条件について
場所、電源等は、取扱説明書・設置工事説明書に従って正しく行ってください。
3. 給水装置性能基準適合品です。



16 作業台　A2:1/30

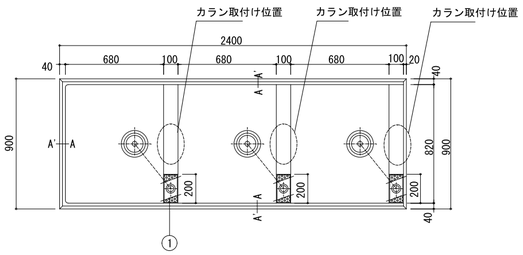


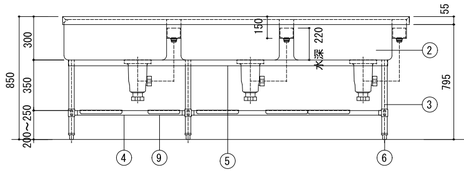


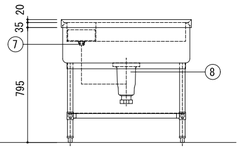
A－A' 断面図

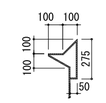
品番	名称	備考
1	甲板	SUS 430 1.2t No.4
2	取外式平板	SUS 430 1.0t No.4（分割式）
3	補強枠	SUS 430 L3×40×40
4	パイプ脚	SUS 430 φ38 1.2t（継手付）
5	パイプ枠	SUS 304 □32×16 1.2t
6	アジャスト	SUS 304　φ38 パイプ用ロングアジャスト脚

17 三槽シンク　A2:1/30





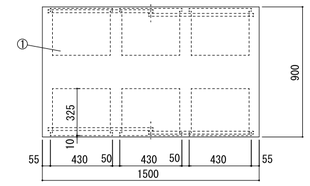


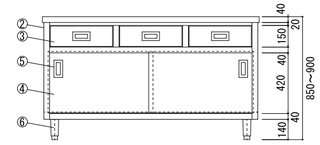


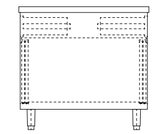
A－A' 断面図

品番	名称	備考
1	残菜籠	SUS304　t=1.0　φ3×P5　電解研磨加工
2	槽部	SUS430　t=1.5　No.4
3	主柱	SUS430　t=1.2　φ38　(継手付)
4	補強	SUS304　t=1.0　ロ32×16長角パイプ
5	補強枠	SUS430　L3×40×40　フォーミングアングル
6	脚部	SUS304　φ38　パイプ用ロングアジャスト脚
7	オーバーフロー	目皿栓　25A
8	排水	塩ビ・大型ゴミ収納器付防臭排水トラップ・50A接続アダプター付
9	取外式平板	SUS 430 1.0t No.4（分割式）

18 引出付台下戸棚　A2:1/30

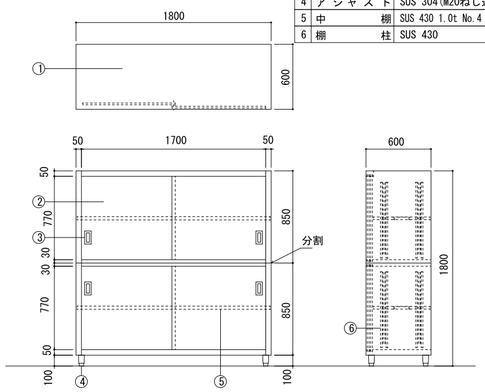






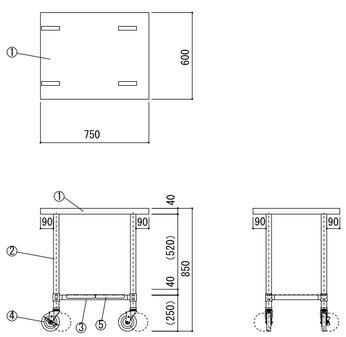
品番	名称	備考
1	甲板	SUS 430 1.2t No.4
2	本体	SUS 430 1.0t No.4
3	引出	SUS 430 1.0t No.4（スライドレール付）
4	扉	SUS 430 1.0t No.4
5	引手	SUS 304
6	アジャスト	SUS304 ねじ込み式 調製範囲140～190mm

19 戸棚　A2:1/40



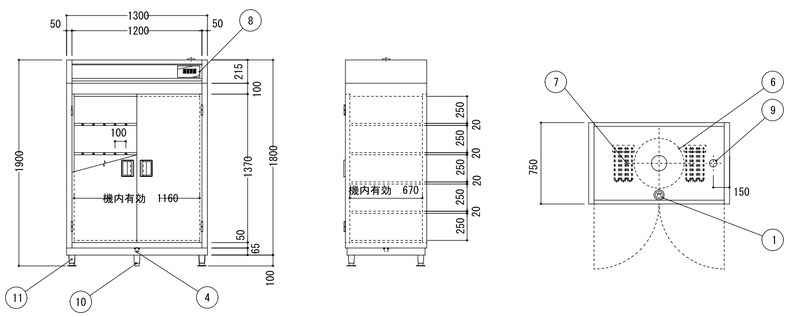
品番	名称	備考
1	本体	SUS 430 1.0t No.4
2	扉	SUS 430 1.0t No.4
3	引手	SUS 304
4	アジャスト	SUS 304(M20ねじ込み式)
5	中棚	SUS 430 1.0t No.4（内部補強入、可動式）
6	棚柱	SUS 430

20 移動台　A2:1/30



品番	名称	備考
1	甲板	SUS 430 1.2t No.4
2	パイプ脚	SUS 430 φ38 1.2t（継手付）
3	パイプ枠	SUS 304 □32×16 1.2t
4	キャスター	ウレタン製 ／ φ125自在×4（対角ストッパー付）
5	取外式平板	SUS 430 1.0t No.4（分割式）

21 消毒保管庫　A2:1/40



NO	名称	数量	規格
1	電源接続	1	3相200V　5．75kW
2	*	*	*
3	*	*	*
4	排水接続	1	25A
5	*	*	*
6	ブロワ	1	3相200V　0．75kW
7	ヒータ	2	3相200V　2．5kW
8	操作パネル	1	NSC－23
9	ダンパー	1	*
10	アジャスト	2	N－100
11	転倒防止アジャスト	4	N－100／460
仕様	収容能力		30ケ（収容かご寸法370×250×200）
	棚段		5段（1棚の耐荷重　90kg）
	*		*
	使用電力		3相200V　5．75kW
	本体フレーム		SUS430　t＝0．8
	外板・扉		SUS430　t＝0．8
	内板		SUS430　t＝0．8
	断熱材		グラスウール　t＝25
	重量		227kg
	*		*

特記事項
1、 奥行750
1、 転倒防止アジャスト固定金具付（4箇所）

製品の仕様及び外観は、品質改良のため予告なしに変更する場合があります。

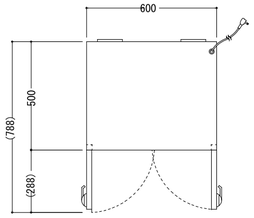
訂正	月日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

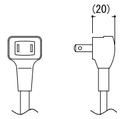
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

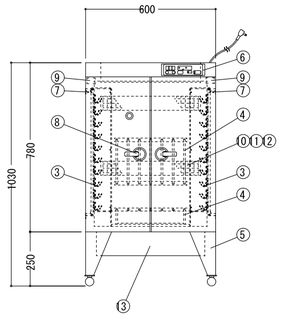
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	機器詳細図（3）	縮尺	図示	図面No.	A-327
作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.	

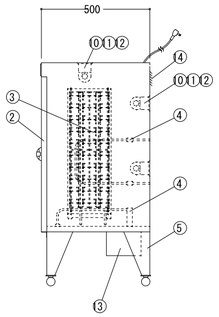
22 包丁まな板殺菌庫 A2:1/20



L型電源プラグ







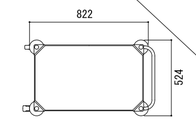
型式	NK-113D型		
乾燥機能	有		
定格電圧	単相100V 50/60Hz共用		
定格消費電力	500W		
殺菌灯の消費電力	15W×3		
電気ヒーターの消費電力	450W		
ファンモーターの消費電力	50W		
収納物	数量	最大寸法 mm	
包丁	20	刃 290 柄 155	
まな板	6	645×365×43	
しゃもじ			
プレート			

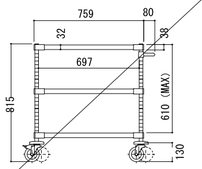
備考
- 乾燥時間設定 0～480分
- 殺菌時間設定 0～480分+連続
- 乾燥→殺菌自動運転、乾燥+殺菌同時運転 選択可
- 単独連続殺菌運転（点灯確認）ボタン付き
- 管理者ロック機能付き
- 製品重量 ： 約47Kg

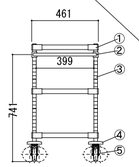
部品表

No	名称	規格及仕様	数量	備考
1	本体	SUS304 1.0t No.4	1	内部鏡面仕上
2	扉	SUS304 1.0t No.4	2	点灯確認窓付
3	包丁受具	SUS304	2	
4	まな板受具	SUS304 8φ	1	
5	脚	アジャストボール	4	
6	操作パネル	フラットパネル式	1	
7	リミットスイッチ	銀 ニッケル合金	2	
8	取手	ZDCサテライトクロム	2	
9	ヒンジ	SUS304	2	
10	ランプ器具	15W用	3	
11	殺菌ランプ	15W	3	ユニット式
12	ランプカバー	SUS格子目	3	
13	電気ヒーターボックス	ヒーター、ファン内蔵	1	
14	排気ガラリ	SUS φ75	2	

23 UTSカート A2:1/30







スーパーエレクター・カート＜仕様＞

① 棚：ソリッドエレクターシェルフ
SUS430製1.2mm厚のNo.4研磨材を使用し、4辺の側縁部には補強リブを設ける。コーナー部にはADC12アルミダイカスト製金具をボルト固定する。棚はABS製テーパースリーブを使用し、柱の任意の位置に固定可能。

② サイドハンドル
SUS304 φ20.0,肉厚1.0mm ステンレスパイプ使用。表面 #600バフ研磨仕上げ。アルミテーパースリーブ、Cリングを使用し、任意の位置に固定可能。

③ 柱：ポール(P)
外径φ25.4,肉厚1.2mmのSUS304パイプ使用。
表面は#600研磨(相当)を施し、棚位置決め用の溝を25.4mmピッチで設ける。

④ 回転バンパー KUG
ポリウレタン樹脂成形品。φ100×19mm。

⑤ キャスター
φ125：エラストマー車輪、ナイロンハウジング。
φ100：エラストマー車輪、スチール金具・三価クロメート仕上。
柱下端部に打込み固定。対角ストッパー付。

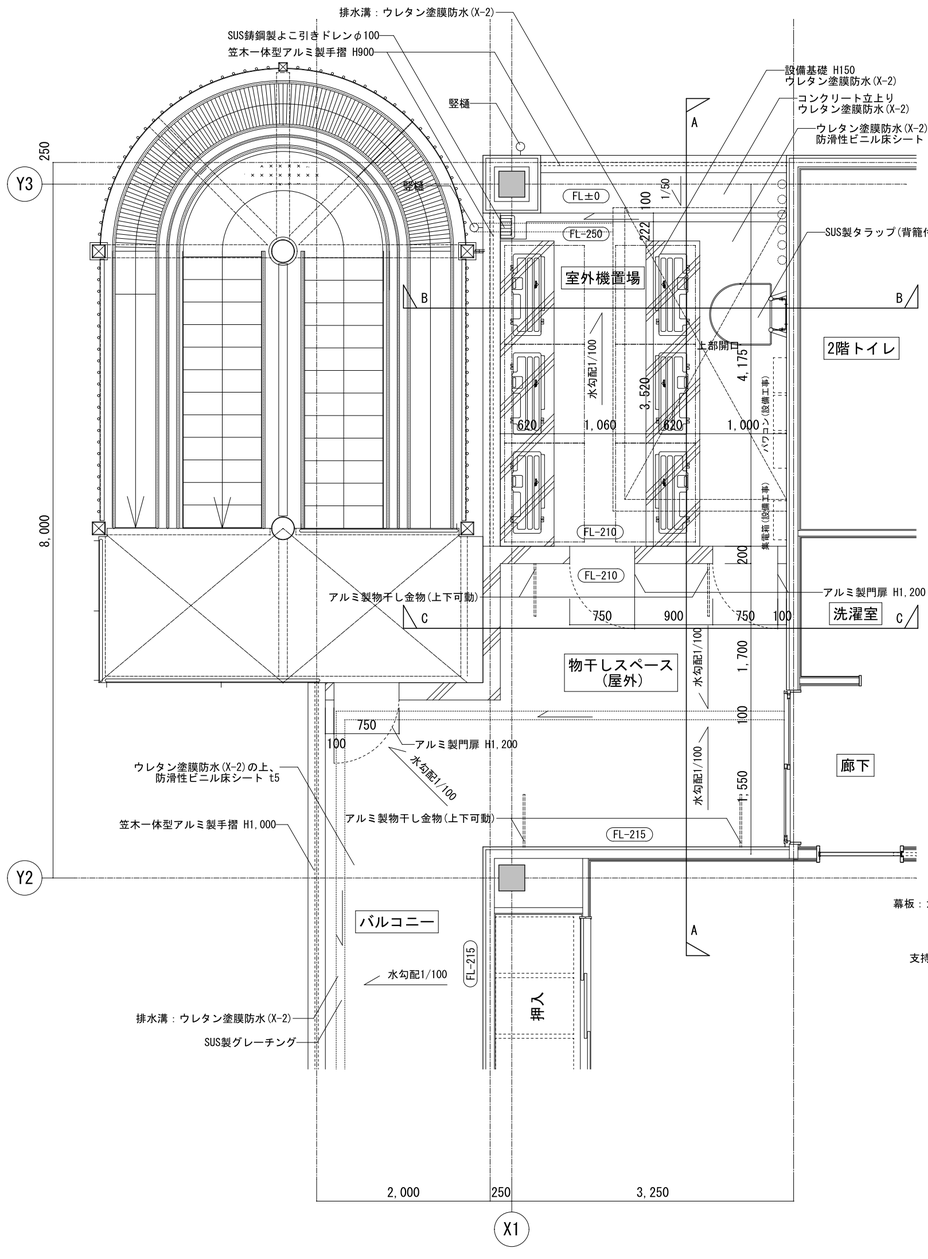
訂正

月 日	事項		
. .		. .	
. .		. .	
. .		. .	

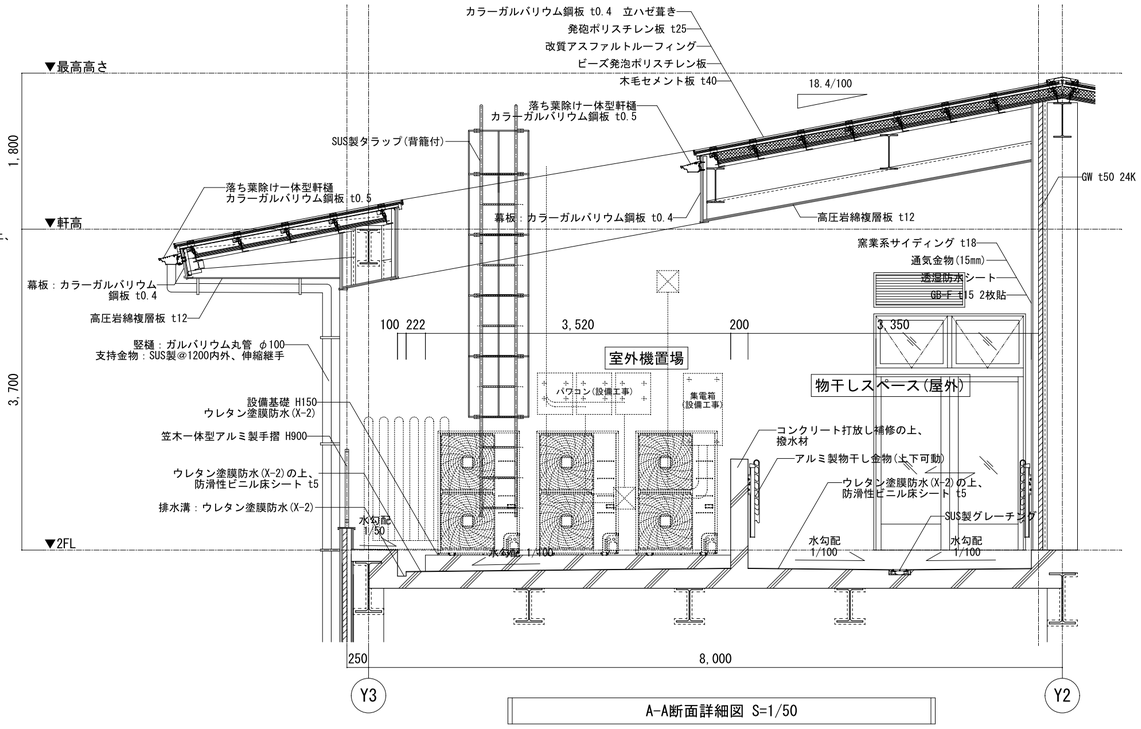
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

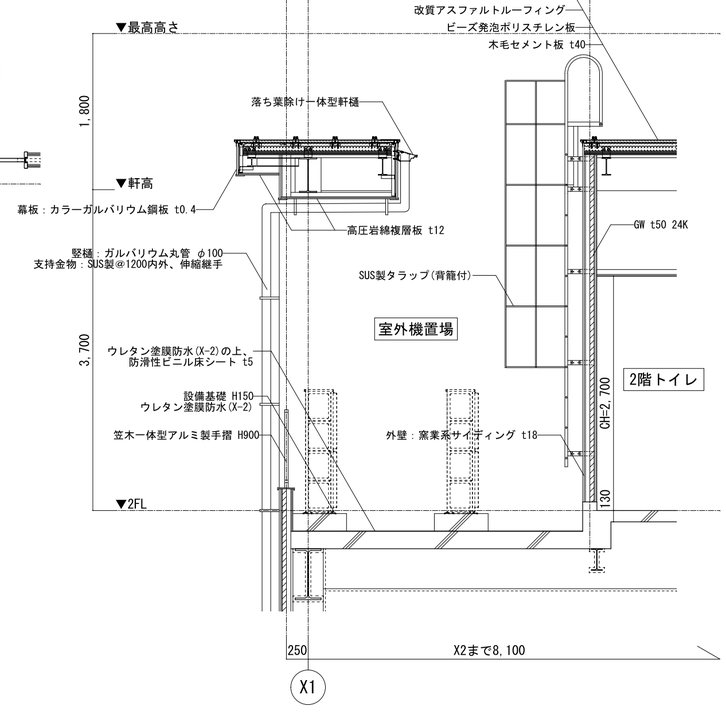
工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日
承認：
図面名称：機器詳細図（4）
部長 課長 担当 製図
縮尺：図示
設計No.
図面No.：A-328



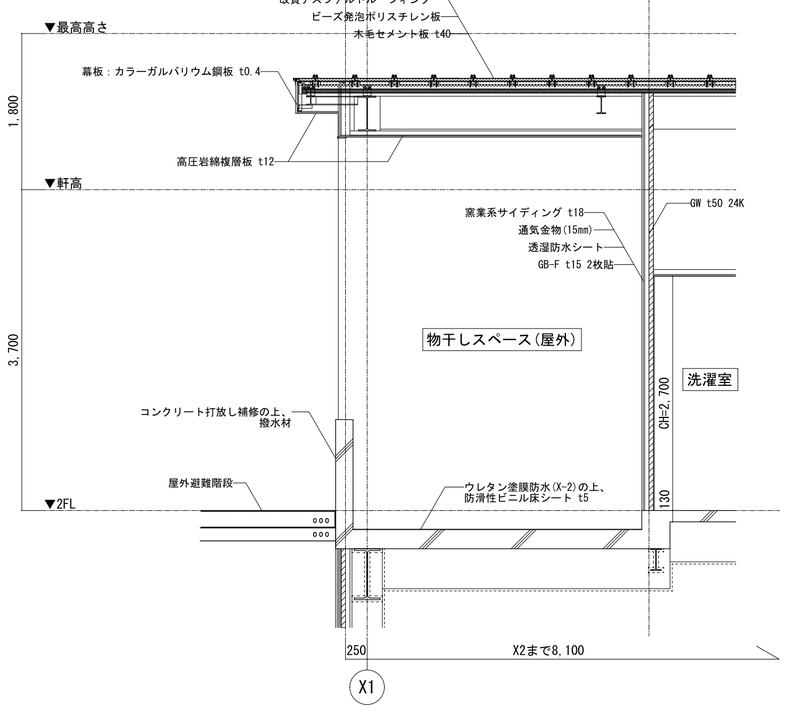
平面詳細図 S=1/50



A-A断面詳細図 S=1/50



B-B断面詳細図 S=1/50



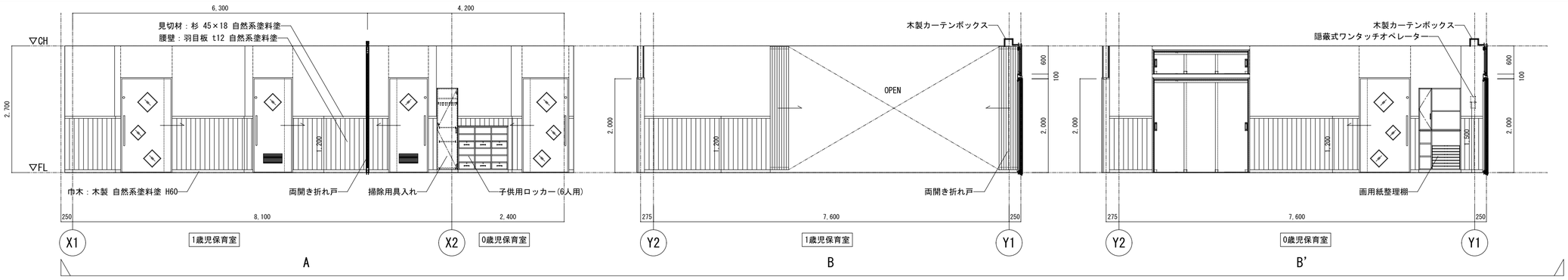
C-C断面詳細図 S=1/50

訂正	月 日	事項												

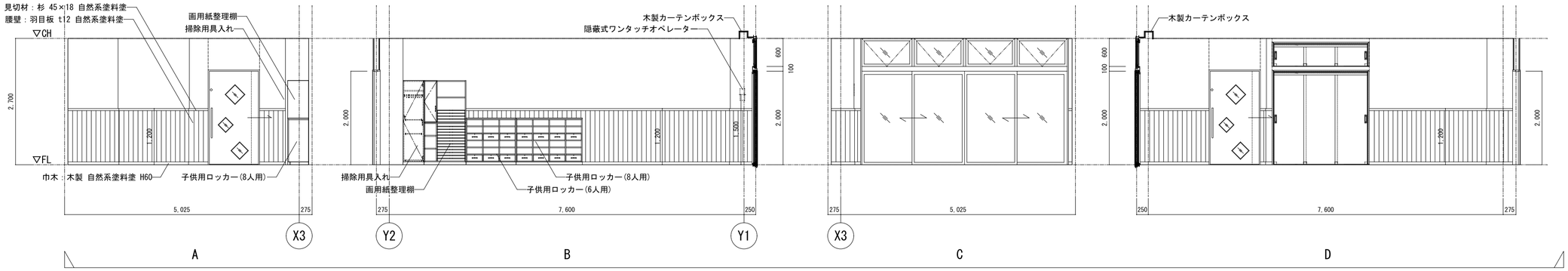
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	物干しスペース詳細図	縮尺	A2:1/50 A3:1/70	図面No.	A-329
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.	

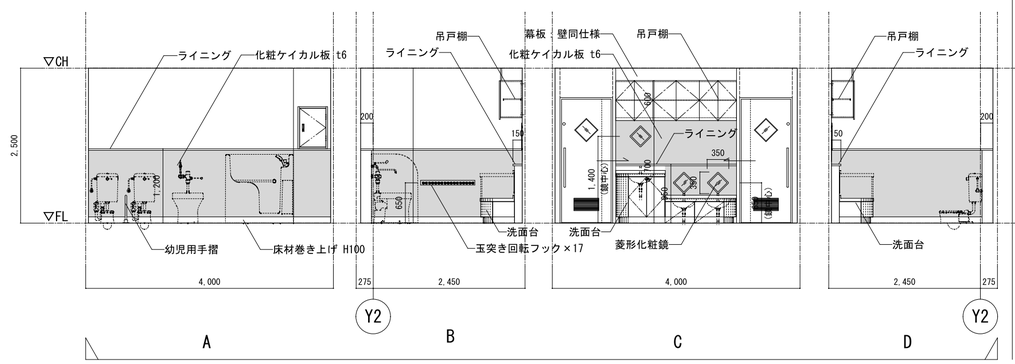
室名	0・1歳児保育室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗 H1200
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	隠蔽式ワンタッチオペレーター、 子供用ロッカー(6人用×3)、 掃除用具入れ×2、画用紙整理棚×2、 木製カーテンボックス、 天井埋込物干し金物 L=1,800



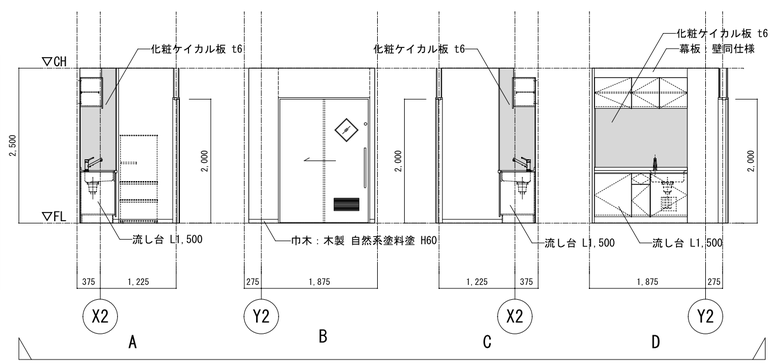
室名	2歳児保育室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗 H1200
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	隠蔽式ワンタッチオペレーター、 子供用ロッカー(6人用×1、8人用×1)、 掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、 木製カーテンボックス、 天井埋込物干し金物 L=1,800



室名	0・1歳児用トイレ
天井仕上	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	化粧ケイカル板 t6
巾木	床材巻き上げ H100
床仕上	ビニル床シート(B) t2
備考	ライニング天板:メラミンポストフォーム、 菱形化粧鏡 350×350、幼児用手摺、 洗面台、床下点検口 600角(防水・防臭タイプ)、吊戸棚



室名	調乳室
天井仕上	GB-D t9.5
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス 流し台前：化粧ケイカル板 t6
腰壁	-
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	パーティクルボード t20 複層フローリング t15
備考	流し台 L1,500(吊戸棚付)



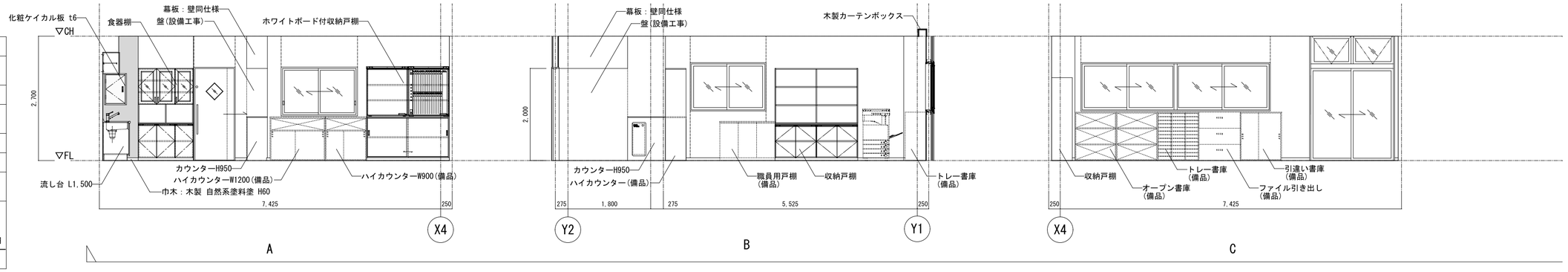
訂正	月 日	事項		

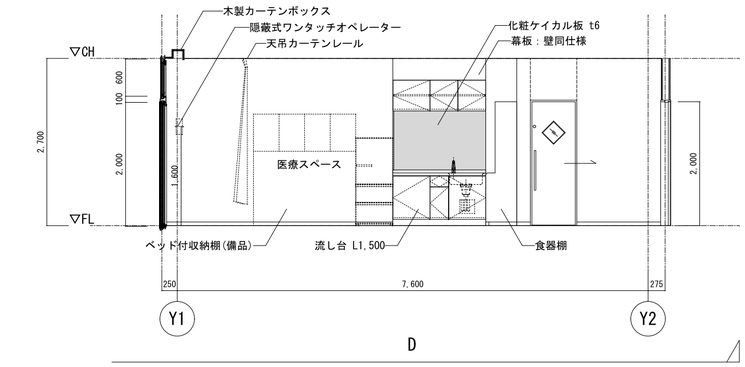
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

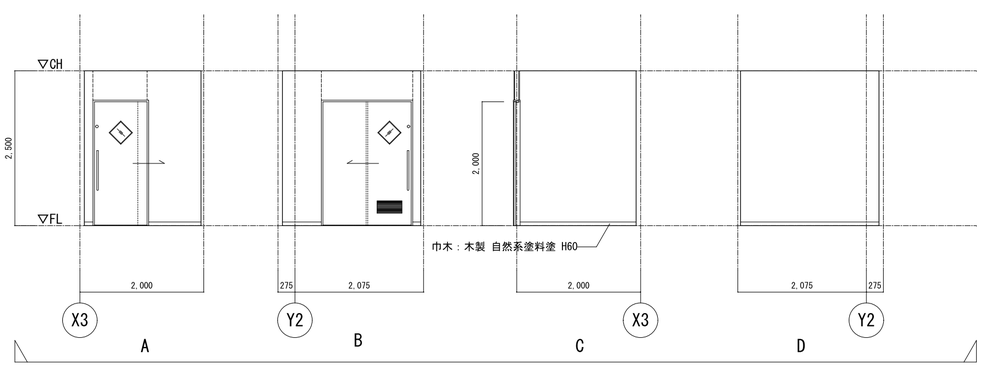
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	展開図（1）	縮尺	A2:1/70 A3:1/98	図面No.	A-401
作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長 課長 担当 製図		設計No.	

室名	職員室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス 流し台前：化粧ケイカル板 t6
腰壁	–
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	流し台 L1,500(吊戸棚付)、 木製カーテンボックス、 隠蔽式ワンタッチオペレーター 食器棚×1、ホワイトボード付収納戸棚×1、収納戸棚×1、天吊りカーテンレール

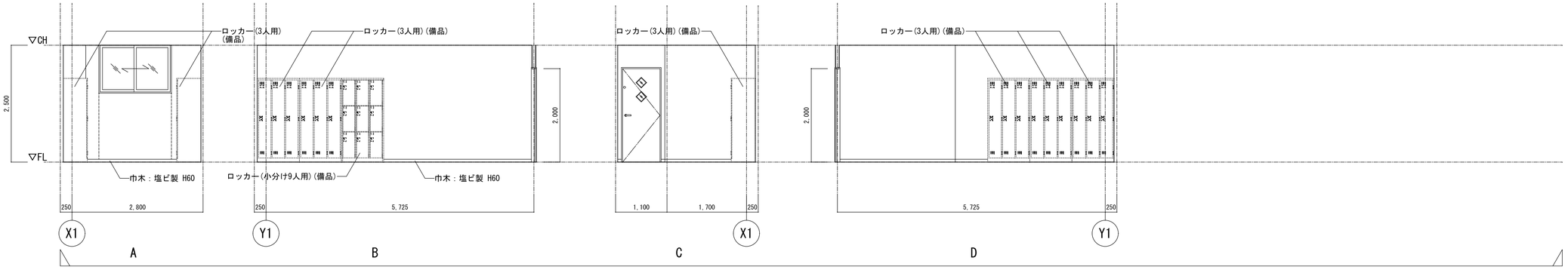




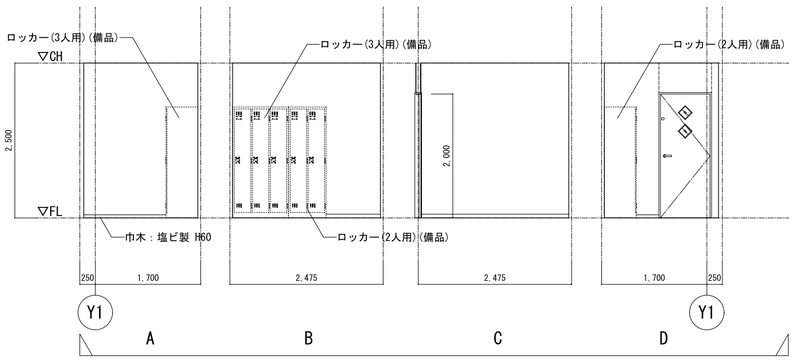
室名	相談室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	–
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	パーティクルボード t20 複層フローリング t15
備考	–



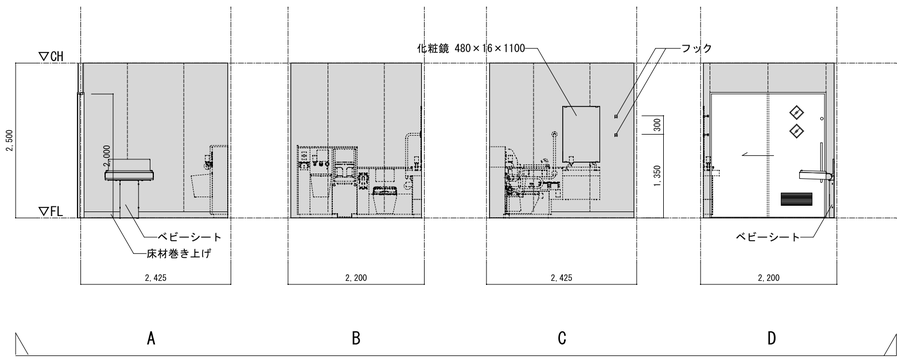
室名	女性用更衣室
天井仕上	GB-D t9.5
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	–
巾木	塩ビ製 H60
床仕上	ビニル床シート(A) t2
備考	床下点検口 600角(防水・防臭タイプ)



室名	男性用更衣室
天井仕上	GB-D t9.5
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	–
巾木	塩ビ製 H60
床仕上	ビニル床シート(A) t2
備考	–



室名	バリアフリートイレ
天井仕上	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	化粧ケイカル板 t6
腰壁	–
巾木	床材巻き上げ H100
床仕上	ビニル床シート(B) t2
備考	ベビーシート、フック×2、 化粧鏡 480×16×1100



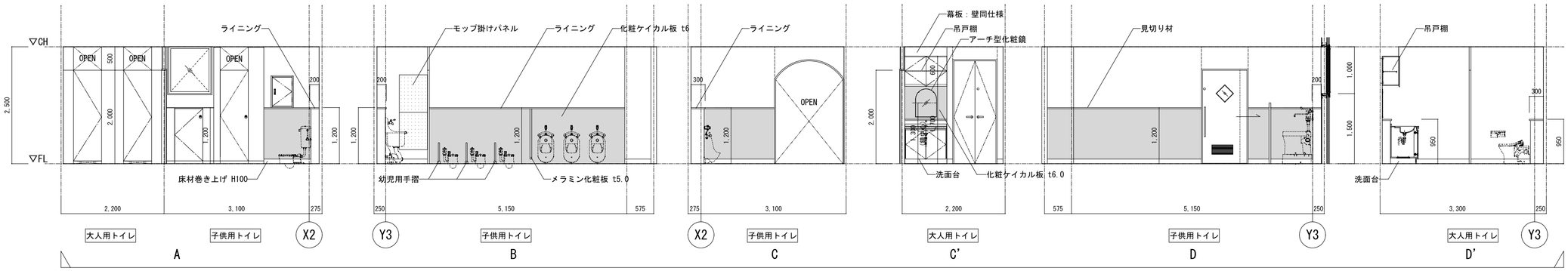
訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

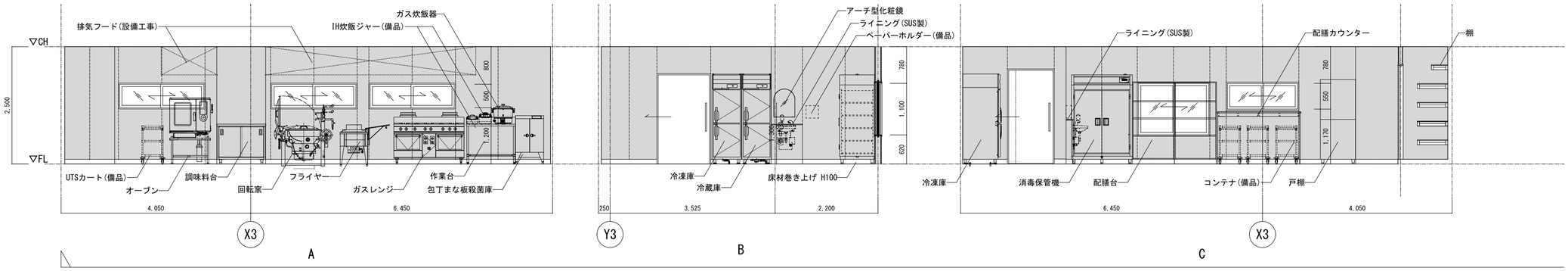
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

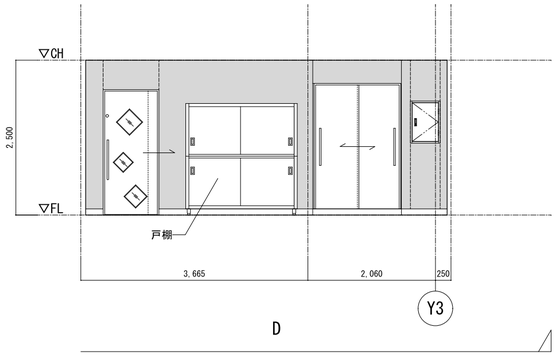
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	展開図（2）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	A2:1/70 A3:1/98	図面No.	A-402
部長	課長	担当	製図
設計No.			

室名	1階トイレ
天井仕上	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	化粧ケイカル板 t6 H1200
巾木	床材巻き上げ H100
床仕上	ビニル床シート(B) t2
備考	ライニング天板:メラミンポストフォーム、アーチ型化粧鏡 450×600、幼児用手摺、トイレブース、吊戸棚 幼児汚垂石、モップ掛けパネル

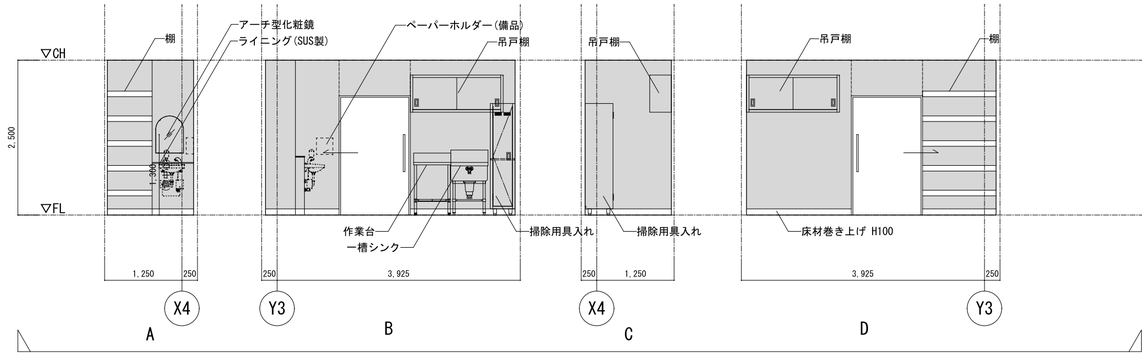


室名	調理室
天井仕上	GB-S t12.5+ 化粧ケイカル板 t6
廻縁	塩ビ製
壁仕上	化粧ケイカル板 t6
腰壁	–
巾木	床材巻き上げ H100
床仕上	特殊防滑ビニル床シート t2.5 回転窯・食品棚下：防水モルタルの上、防滑塗り床仕上
備考	機器表参照

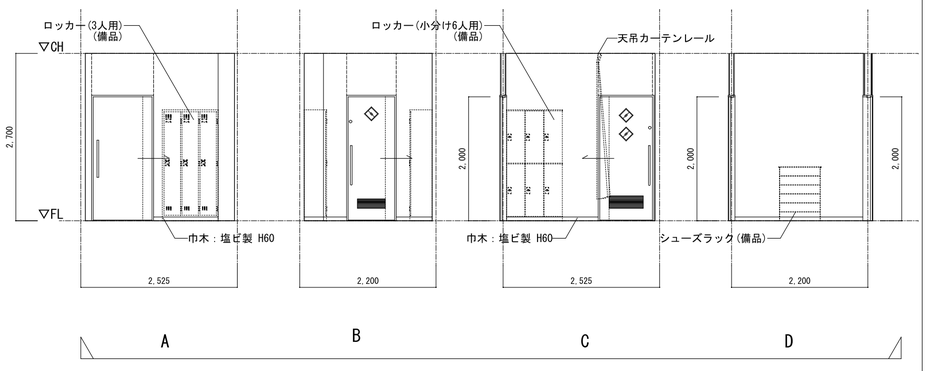




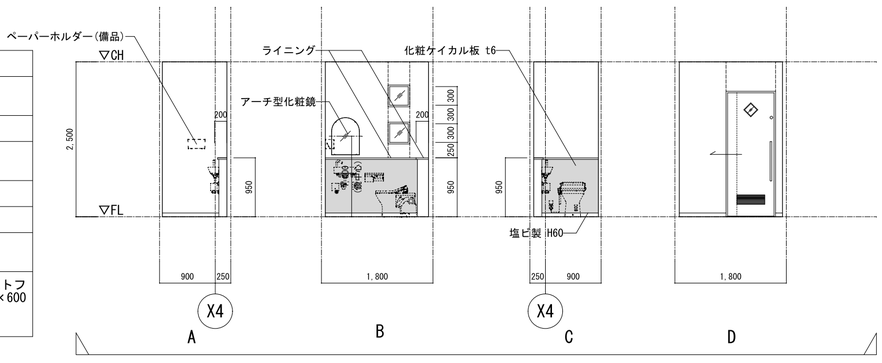
室名	検収室
天井仕上	GB-S t12.5+ 化粧ケイカル板 t6
廻縁	塩ビ製
壁仕上	化粧ケイカル板 t6
腰壁	–
巾木	床材巻き上げ H100
床仕上	特殊防滑ビニル床シート t2.5
備考	床下点検口 600角(防水・防臭タイプ)、機器表参照



室名	調理員用更衣室
天井仕上	GB-D t9.5
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	–
巾木	塩ビ製 H60
床仕上	ビニル床タイル(畳調) t3
備考	天吊りカーテンレール



室名	調理員用トイレ
天井仕上	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	–
巾木	塩ビ製 H60
床仕上	ビニル床シート(B) t2
備考	ライニング天板:メラミンポストフォーム、アーチ型化粧鏡 450×600



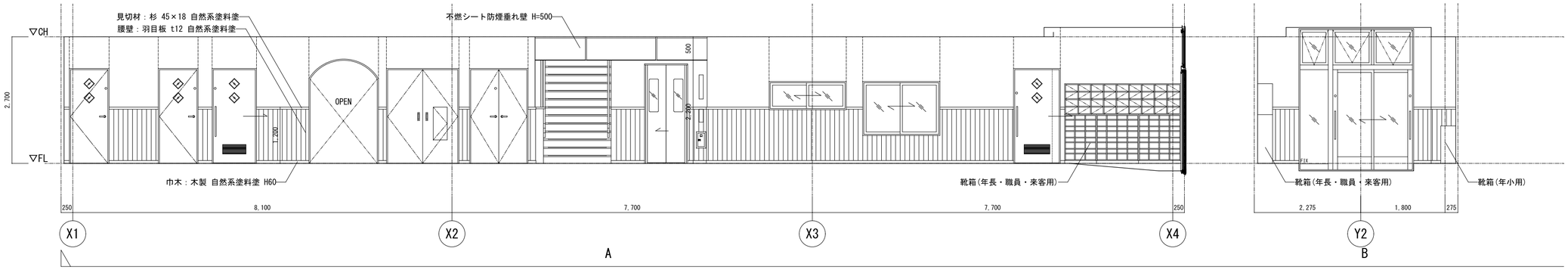
訂正	月 日	事項		

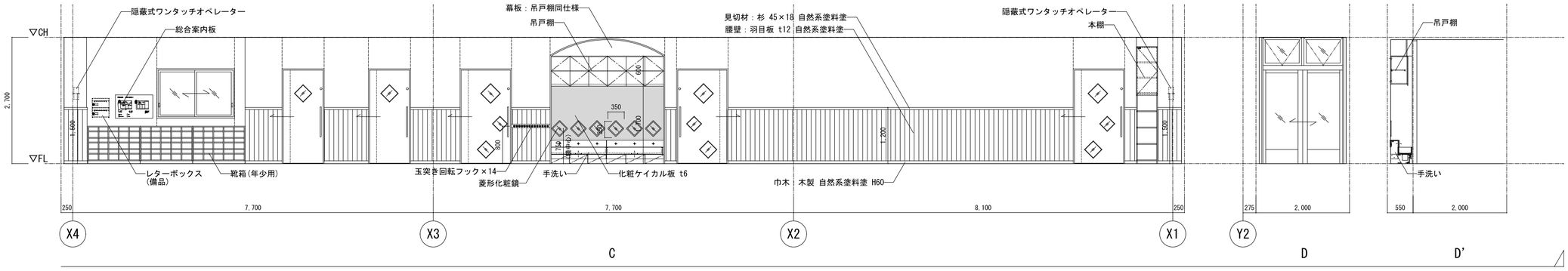
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

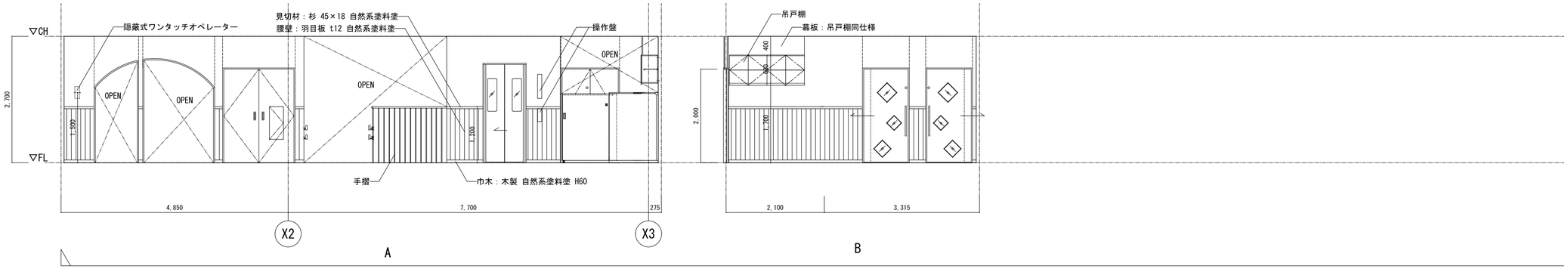
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	展開図（3）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	A2:1/70 A3:1/98	図面No.	A-403
部長	課長 担当	製図	設計No.

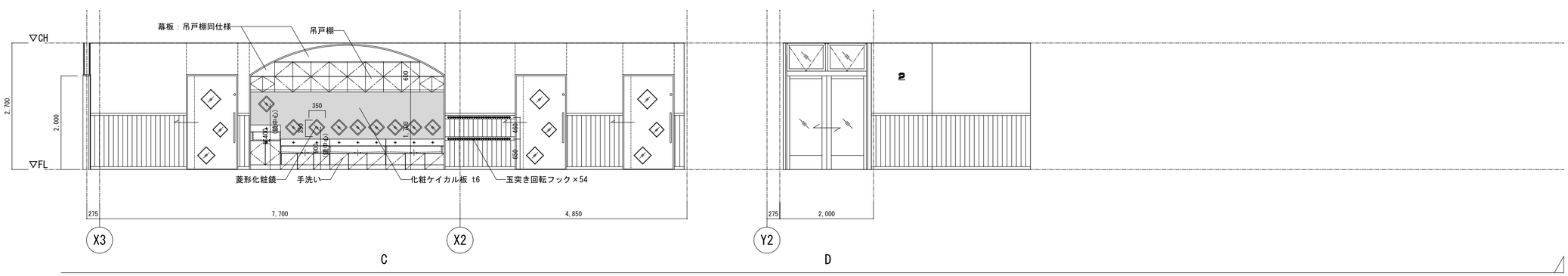
室名	玄関・1階廊下
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 手洗い部：GRG t5の上、 ビニルクロス
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス 手洗い場：化粧ケイカル板 t6
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗 H1200
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	パーティクルボード t20 複層フローリング t15 玄関：300角磁器質タイル
備考	靴箱、手洗い、吊戸棚、本棚





室名	2階廊下
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 手洗い部：GRG t5の上、 ビニルクロス
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス 手洗い場：化粧ケイカル板 t6
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗 H1200
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	パーティクルボード t20 複層フローリング t15
備考	手洗い、吊戸棚





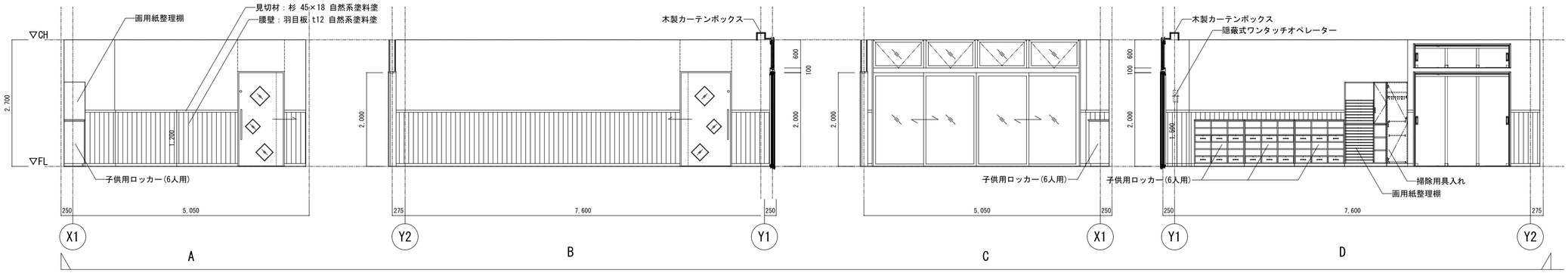
訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

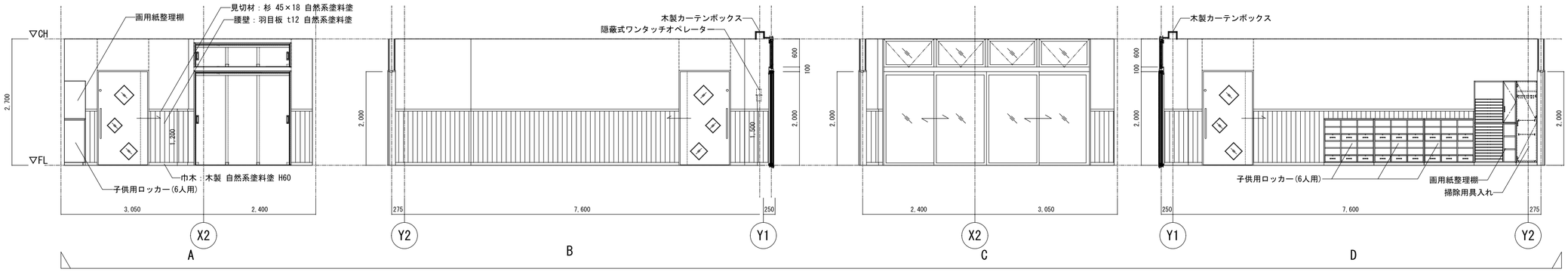
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日　承認
図面名称：展開図（４）
縮尺：A2:1/70 A3:1/98
部長　課長　担当　製図
設計No.
図面No.：A−４０４

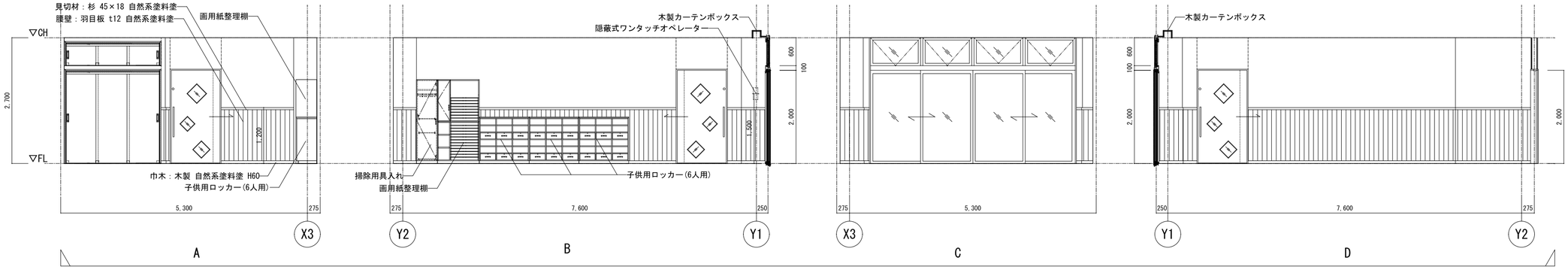
室名	5歳児保育室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	隠蔽式ワンタッチオペレーター、 木製カーテンボックス、 子供用ロッカー(6人用×3)、 掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、 天井埋込物干し金物 L=1,800



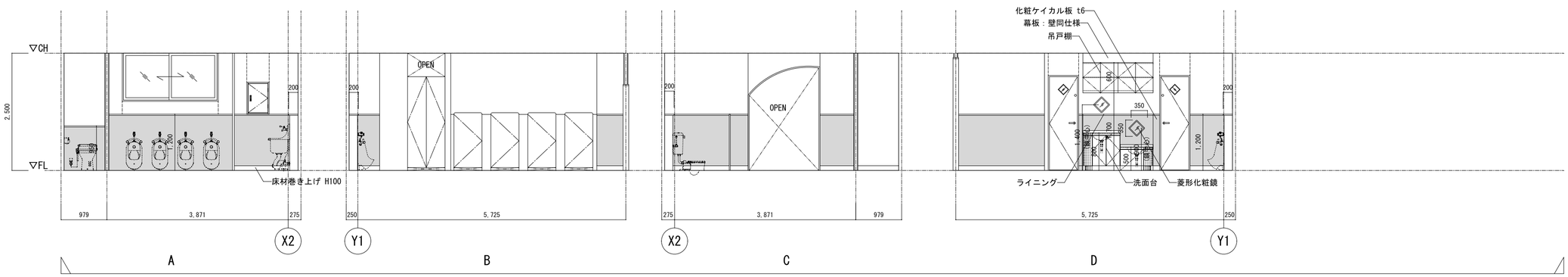
室名	4歳児保育室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	隠蔽式ワンタッチオペレーター、 木製カーテンボックス、 子供用ロッカー(6人用×3)、 掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、 天井埋込物干し金物 L=1,800



室名	3歳児保育室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	隠蔽式ワンタッチオペレーター、 木製カーテンボックス 子供用ロッカー(6人用×3)、 掃除用具入れ×1、画用紙整理棚×1、 天井埋込物干し金物 L=1,800



室名	2階トイレ
天井仕上	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	化粧ケイカル板 t6 H1200
巾木	床材巻き上げ H100
床仕上	ビニル床シート(B) t2
備考	ライニング天板:メラミンポストフォーム、菱形化粧鏡 350×350、 幼児用手摺、幼児用汚垂石、トイレブース、モップ掛けパネル



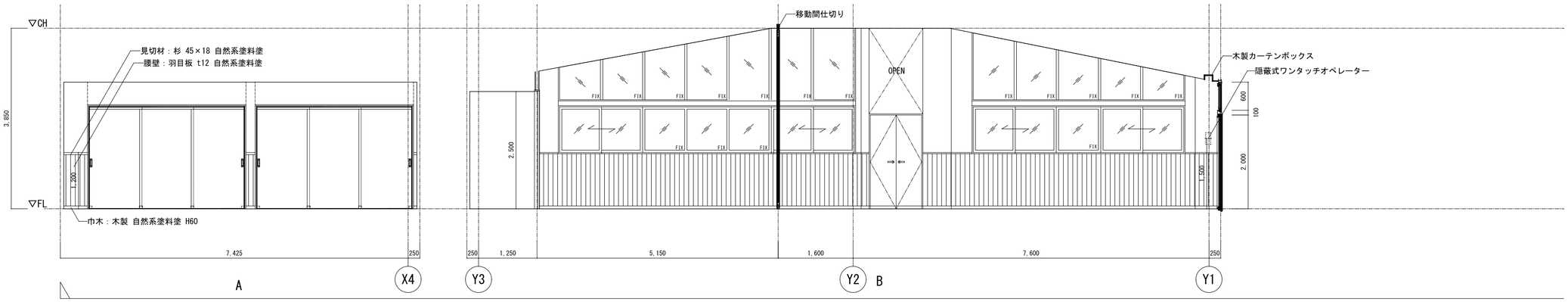
訂正	月 日	事項		

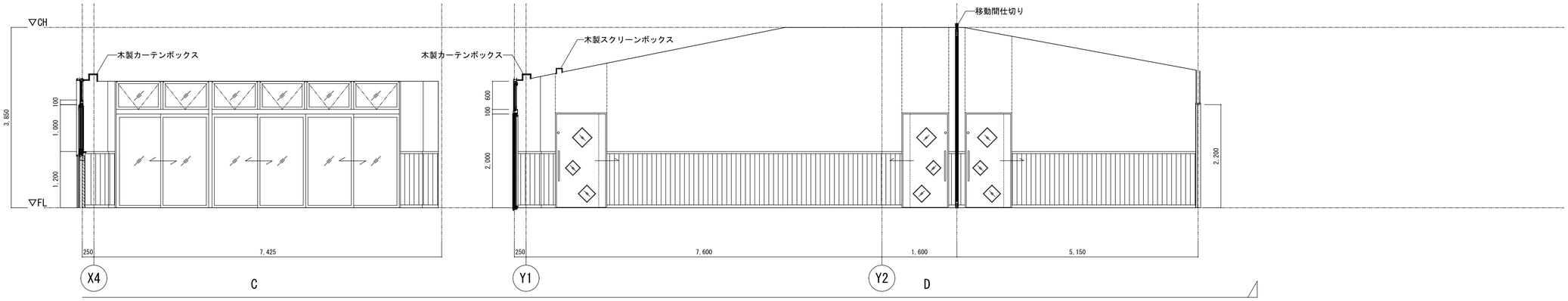
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

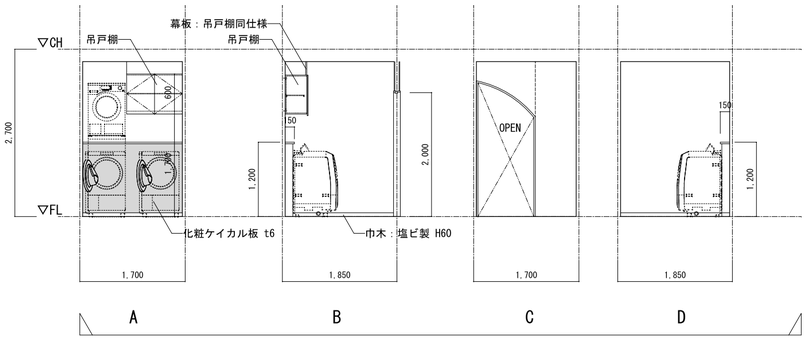
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	展開図（5）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	A2:1/70 A3:1/98	図面No.	A-405
部長	課長	担当	製図

室名	遊戯室
天井仕上	GB-R t12.5+DR t9 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	羽目板 t12 自然系塗料塗 H1200
巾木	木製 自然系塗料塗 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	移動間仕切り、 木製カーテンボックス、 隠蔽式ワンタッチオペレーター、 木製スクリーンボックス(スクリーン本体付)

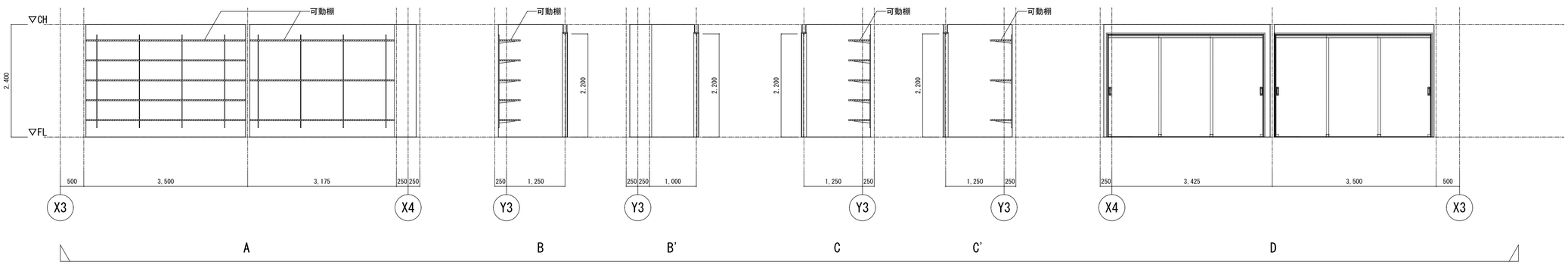




室名	洗濯室
天井仕上	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	–
巾木	塩ビ製 H60
床仕上	ビニル床シート(B) t2
備考	ライニング天板：メラミンポスト フォーム、吊戸棚、天井埋込物干し 金物 L=1,400



室名	収納
天井仕上	GB-D t9.5 GW t100 24K敷込
廻縁	塩ビ製
壁仕上	ビニルクロス
腰壁	–
巾木	塩ビ製 H60
床仕上	複層フローリング t15 パーティクルボード t20
備考	可動棚 D450



訂 正

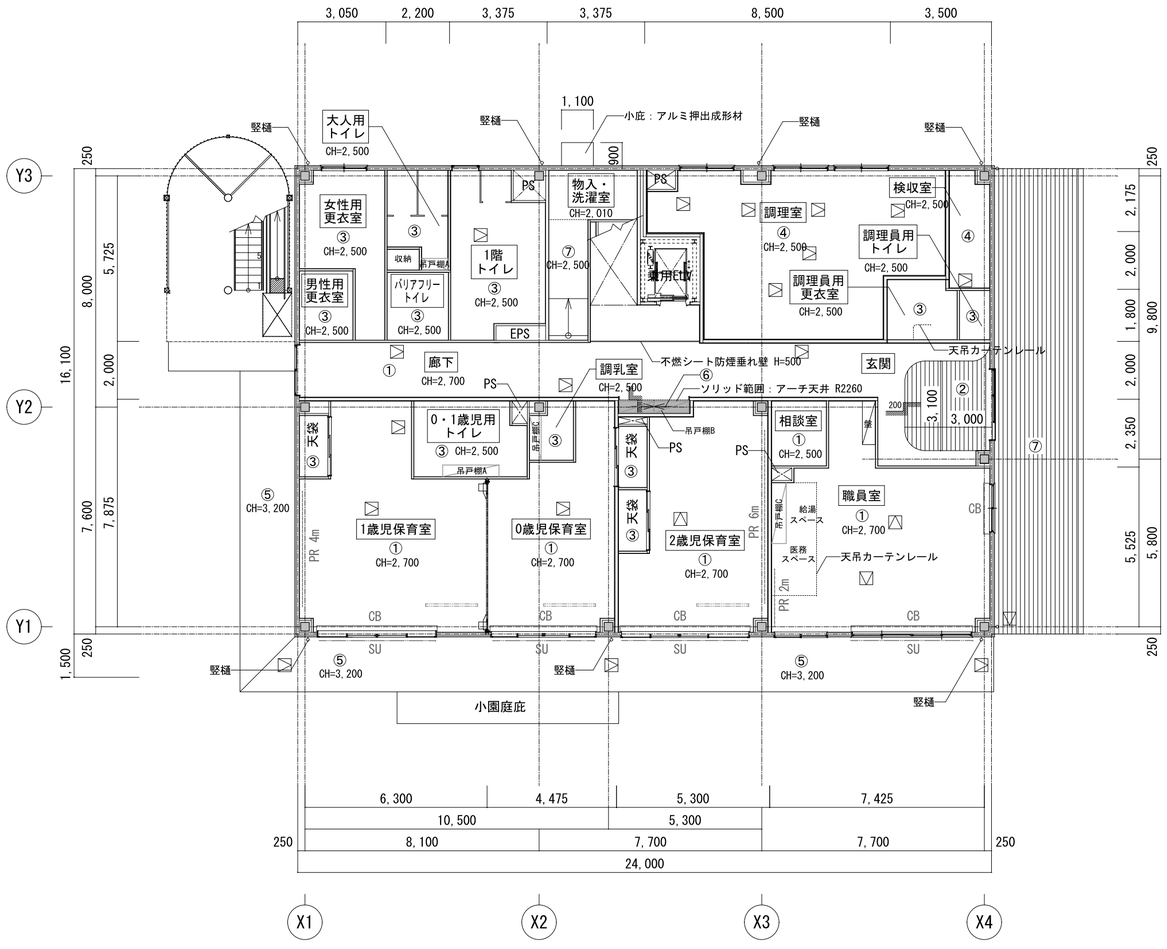
月 日	事 項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

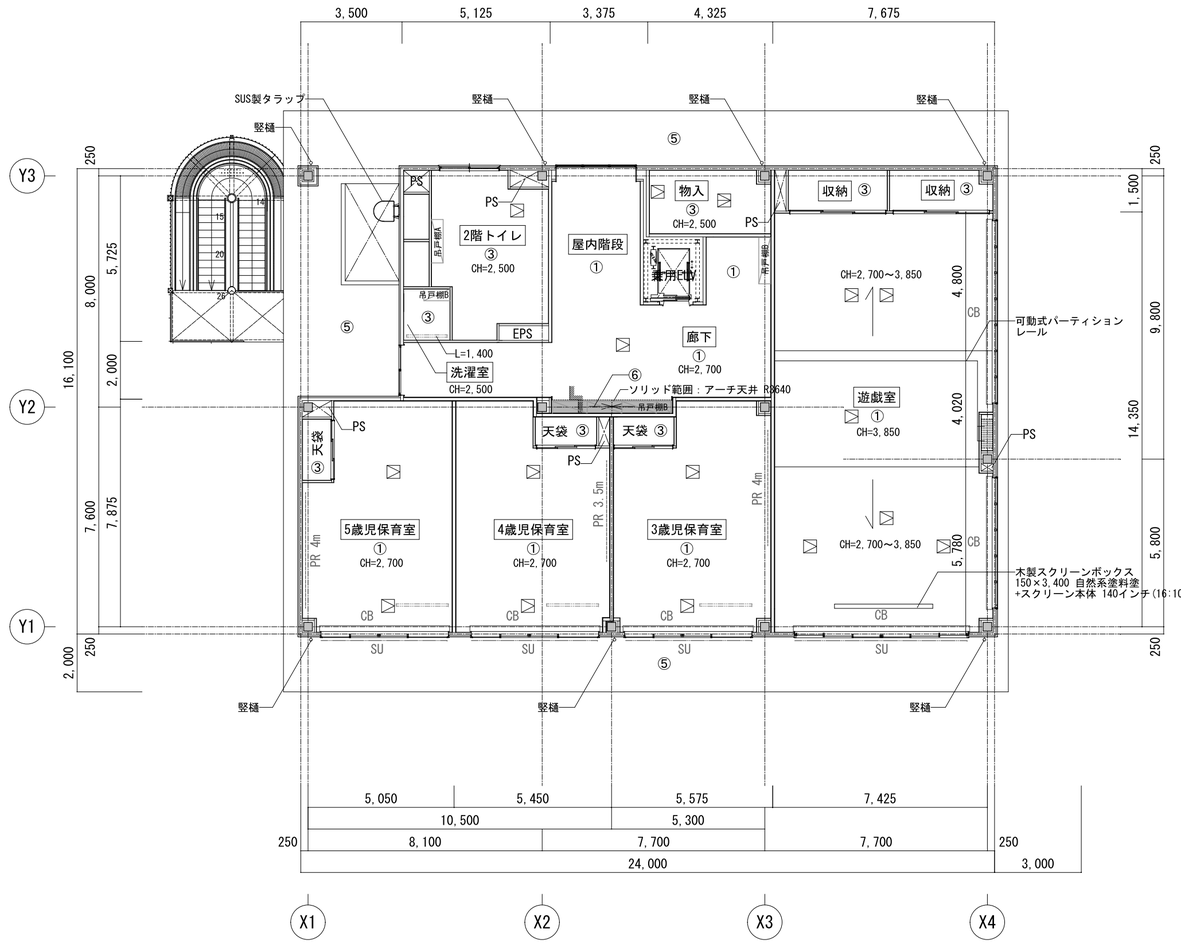
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	展開図（6）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長 課長 担当 製図
縮尺	A2:1/70 A3:1/98	図面No.	A-406
設計No.			

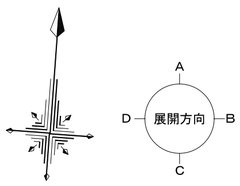
①	GB-R t12.5+DR t9.0		アルミ製天井点検口(額目地タイプ) 450×450　天井材同色仕上	天井開口補強(位置は電気図・機械図参照)		
②	高圧岩綿複層羽目板 t6			空調設備	1030×640	3箇所
③	GB-D t9.5	CB	木製カーテンボックス(カーテンレール(ダブル)共)		910×910	7箇所
④	GB-S t12.5+化粧ケイカル板 t6.0		吊戸棚 (A:アイカ工業「メラミン吊収納 YEK 6611N 1」同等品 B:家具詳細図参照、C:雑詳細図 (１１) 参照)		1245×640	1箇所
⑤	軒裏：高圧岩綿複層板 t12			換気設備	700×625	4箇所
⑥	GRG t5.0の上、ビニルクロス	PR	ピクチャーレール		610×560	4箇所
⑦	軒裏：高圧岩綿複層羽目板 t12		天井埋込物干し金物(杉田エース「室内用スカイクリーンUR型」同等品) ※特記なき限りL=1,800	照明	130×1250	12箇所
		SU	洋風すだれ：PP製			



1階平面図 S=1/150

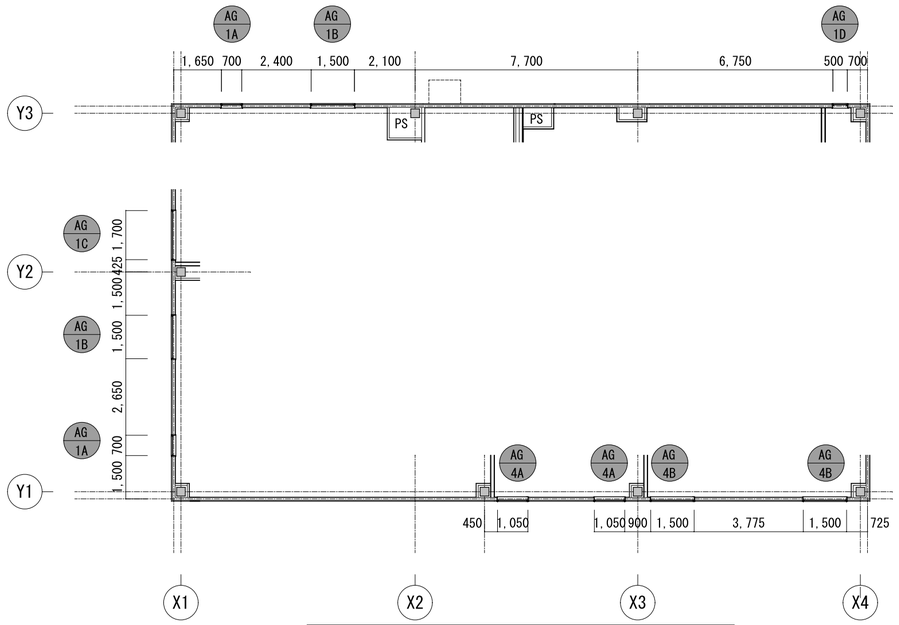


2階平面図 S=1/150

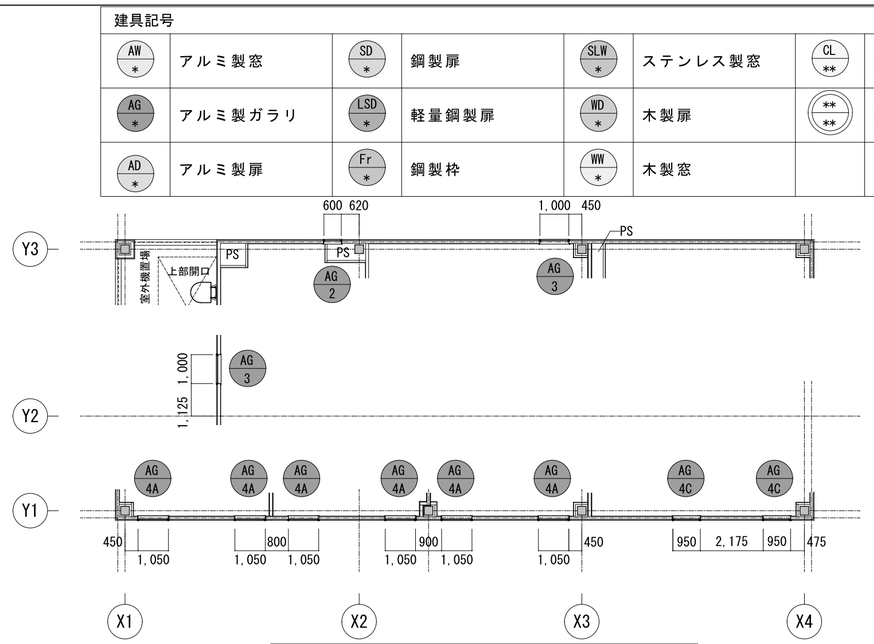


訂正	月　日	事　項												

universal 株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	天井伏図	縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.	A-501
	設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.	

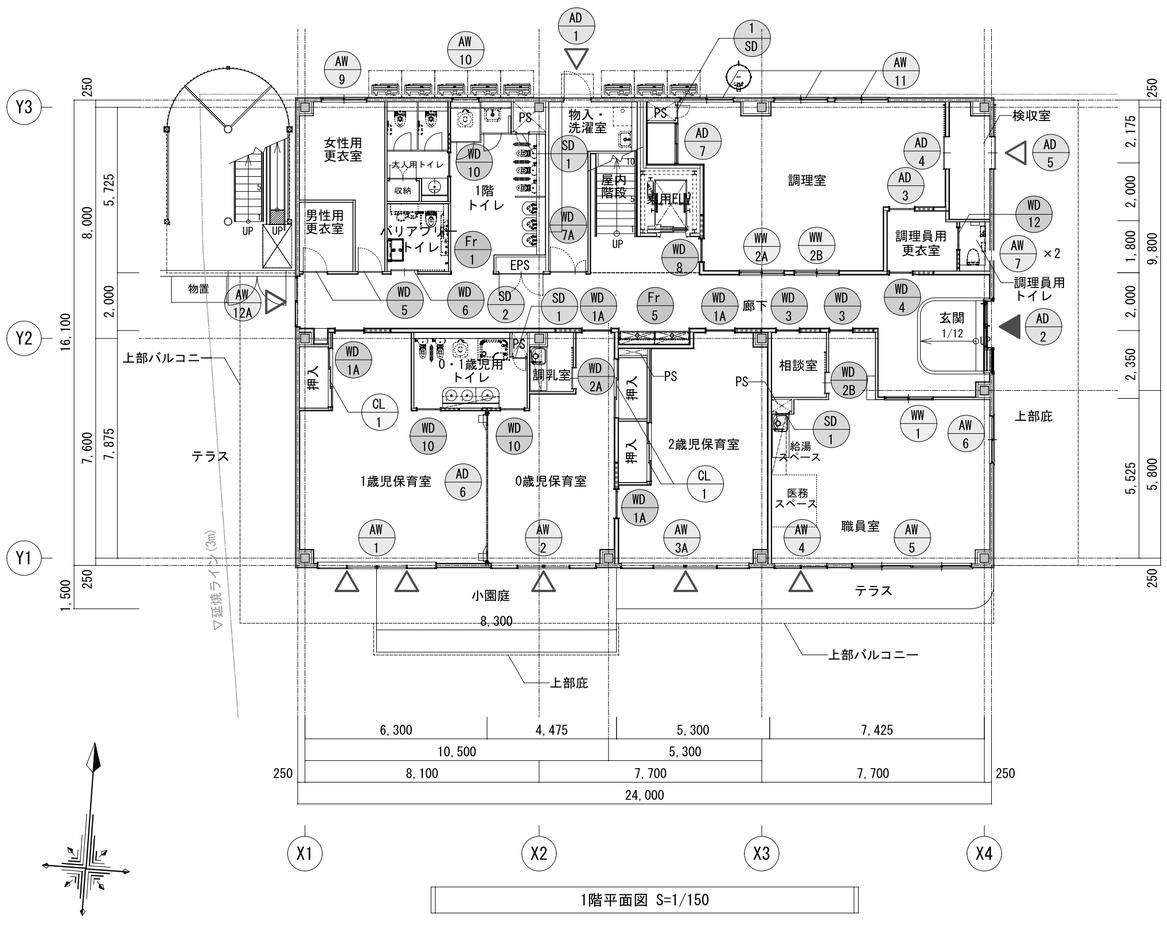


1階上部平面図 S=1/150

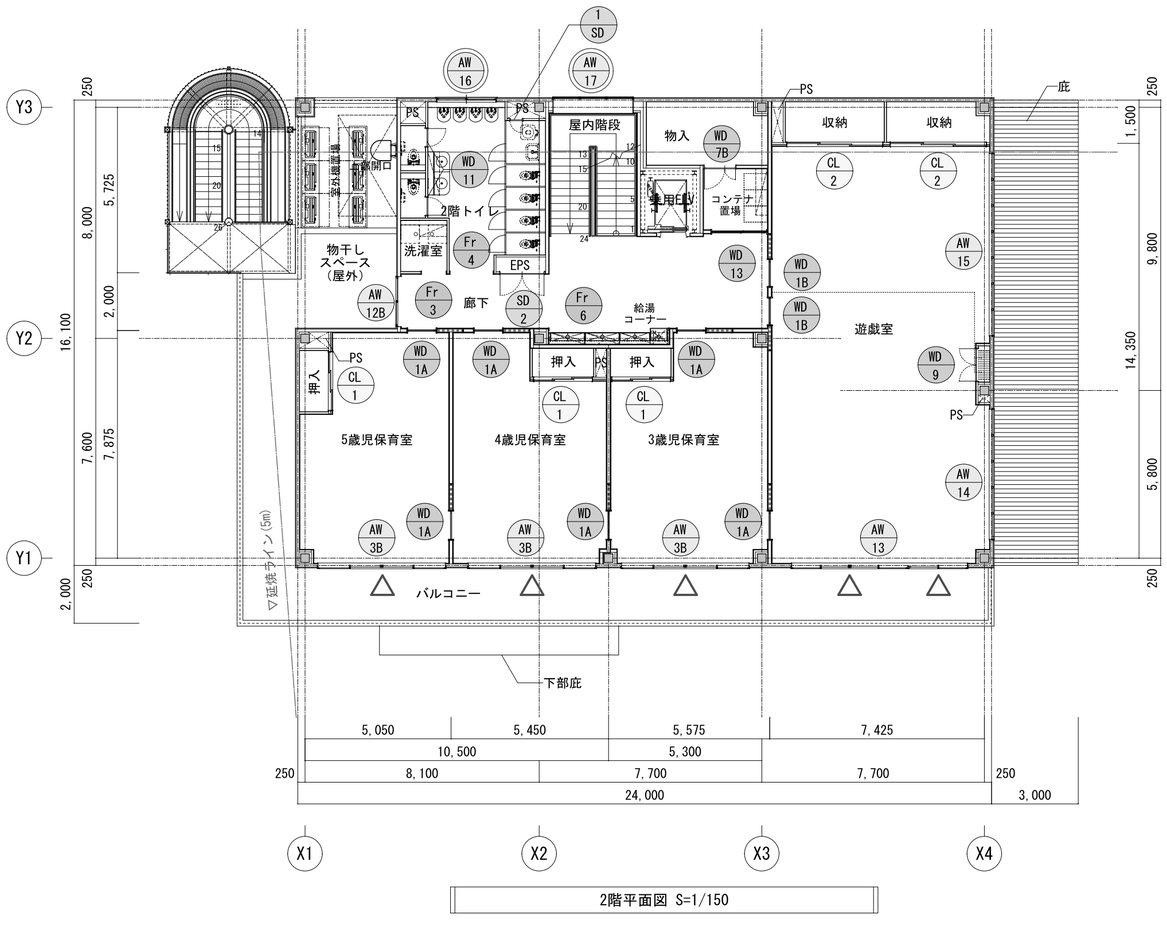


2階上部平面図 S=1/150

建具記号							
AW ＊	アルミ製窓	SD ＊	鋼製扉	SLW ＊	ステンレス製窓	CL **	木製クローゼット扉
AG ＊	アルミ製ガラリ	LSD ＊	軽量鋼製扉	WD ＊	木製扉	** **	防火設備 特定防火設備
AD ＊	アルミ製扉	Fr ＊	鋼製枠	WW ＊	木製窓		



1階平面図 S=1/150



2階平面図 S=1/150

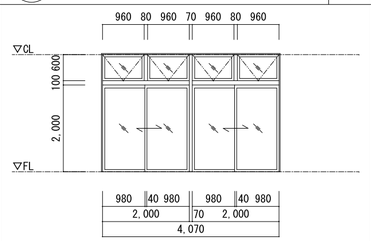
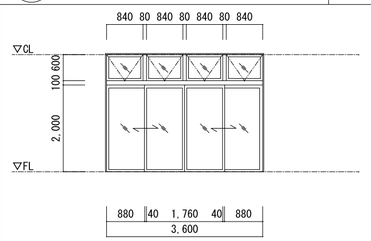
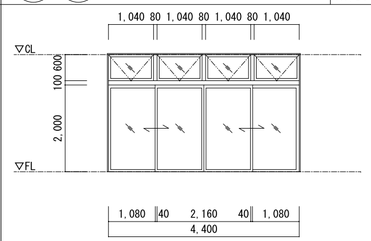
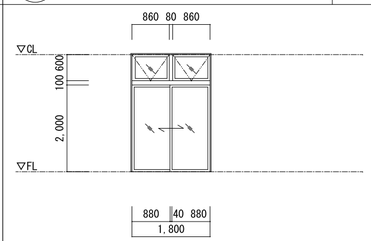
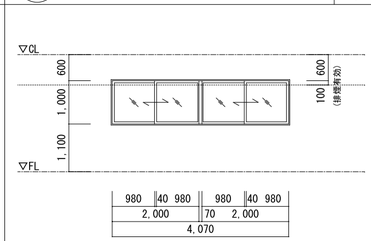
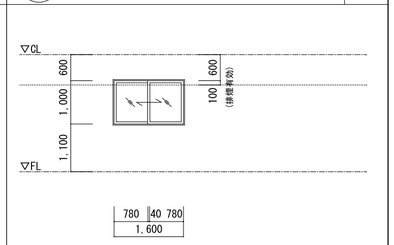
訂正	月 日	事項		

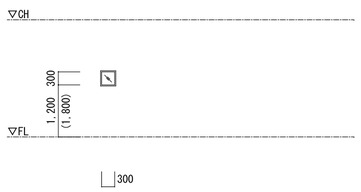
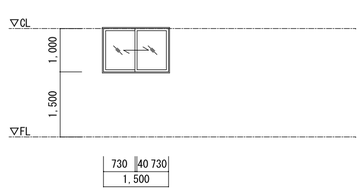
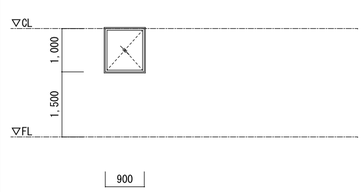
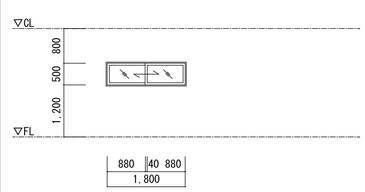
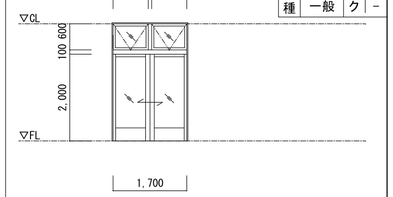
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

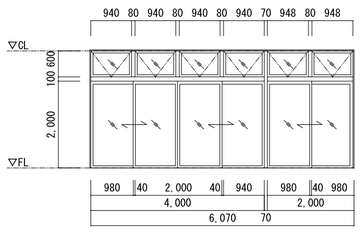
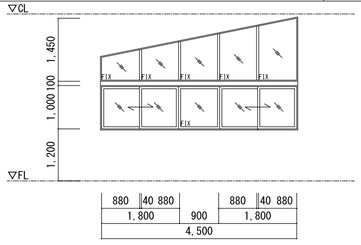
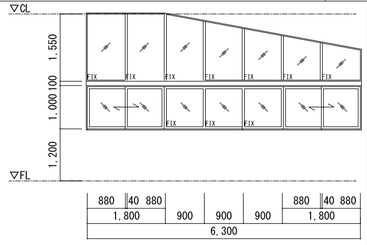
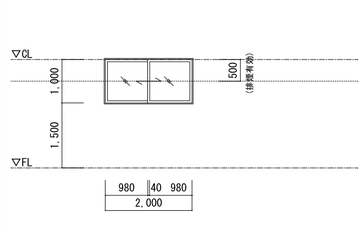
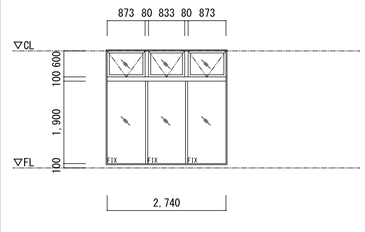
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	建具キープラン
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.	A-502 確-12
部長	課長	担当	製図
設計No.			

建具表

記号	AW 1 アルミ製引違い窓+外倒し排煙窓	数量 1	AW 2 アルミ製引違い窓+外倒し排煙窓	数量 1	AW 3A AW 3B アルミ製引違い窓+外倒し排煙窓	数量 A1, B3	AW 4 アルミ製引違い窓+外倒し排煙窓	数量 1	AW 5 アルミ製引違い窓	数量 1	AW 6 アルミ製引違い窓	数量 1
姿　図												
箇　所	1歳児保育室		0歳児保育室		2・3・4・5歳児保育室		職員室		職員室		職員室	
仕　上	B−２種		B−２種		B−２種		B−２種		B−２種		B−２種	
見　込	枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70	
硝　子	FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6	
金　物 その他	額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、方立、無目、 隠蔽式ワンタッチオペレーター、網戸(パンチングパネル付き パネル式網戸、欄間部は固定式)、緩衝ゴム付、 フラットレール、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、無目、 隠蔽式ワンタッチオペレーター、網戸(パンチングパネル付き パネル式網戸、欄間部は固定式)、緩衝ゴム付、 フラットレール、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、隠蔽式ワンタッチ オペレーター、網戸(パンチングパネル付きパネル式網戸、 欄間部は固定式)、緩衝ゴム付、無目、Aのみフラットレール、 付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、フラットレール、 隠蔽式ワンタッチオペレーター、網戸(パンチングパネル付き パネル式網戸、欄間部は固定式)、緩衝ゴム付、無目、 付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、アルミ水切り、 網戸、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、アルミ水切り、 網戸、付属金物一式	

記号	AW 7 アルミ製FIX窓	数量 2	AW 8	数量	AW 9 アルミ製引違い窓	数量 1	AW 10 アルミ製縦辷出し窓	数量 1	AW 11 アルミ製引違い窓	数量 3	AW 12A AW 12B アルミ製引違い窓+外倒し排煙窓	数量 A1, B1
姿　図			【欠番】									
箇　所	調理員用トイレ				女性用更衣室		1階トイレ		調理室		1・2階廊下	
仕　上	B−２種				B−２種		B−２種		B−２種		B−２種	
見　込	枠見込：70				枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70	
硝　子	F4+A12+F4				FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6	
金　物 その他	額縁(木製 自然系塗料塗)、アルミ水切り、付属金物一式				額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、アルミ水切り、 網戸、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、オペレーターハンドル、 アルミ水切り、横引きロール網戸、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、アルミ水切り、 網戸、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、隠蔽式ワンタッチ オペレーター、緩衝ゴム付、無目、Aのみフラットレール、 付属金物一式、衝突防止シート(詳細はサイン図参照)	

記号	AW 13 アルミ製引違い窓+外倒し排煙窓	数量 1	AW 14 アルミ製FIX窓+引違窓	数量 1	AW 15 アルミ製FIX窓+引違窓	数量 1	AW 16 アルミ製引違い窓	数量 1	AW 17 アルミ製連窓	数量 1	
姿　図										
箇　所	遊戯室		遊戯室		遊戯室		2階トイレ		屋内階段		
仕　上	B−２種		B−２種		B−２種		B−２種		B−２種		
見　込	枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70		枠見込：70		
硝　子	FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		FL6+A12+FL6		NF6.8+A12+Low-E 5		NF6.8+A12+Low-E 5		
金　物 その他	額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、方立、無目、 隠蔽式ワンタッチオペレーター、網戸(パンチングパネル付き パネル式網戸、欄間部は固定式)、緩衝ゴム付、 付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、アルミ水切り、 無目、網戸、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、アルミ水切り、 無目、網戸、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、クレセント錠、アルミ水切り、 網戸、付属金物一式		額縁(木製 自然系塗料塗)、隠蔽式ワンタッチオペレーター、 無目、アルミ水切り、網戸(欄間部：固定式)、 窓台：化粧耐水MDF、付属金物一式		

略号符号

WD	:木製扉	AW	:アルミニウム製窓
SD	:鋼製扉	PW	:樹脂製窓
SSD	:ステンレス製扉	SS	:鋼製シャッター
AD	:アルミニウム製扉	SSS	:ステンレス製シャッター
LSD	:軽量鋼製扉	LS	:鋼製軽量シャッター
WW	:木製窓	WG	:木製ガラリ
SW	:鋼製窓	SG	:鋼製ガラリ
SSW	:ステンレス製窓	AG	:アルミニウム製ガラリ
SSG	:ステンレス製ガラリ		
CL	:木製クローゼット扉		
Fr	:鋼製枠		
SSF	:ステンレス製枠		
F	:フスマ		
P	:障子		
AWC	:アルミニウム製カーテンウォール		
TB	:トイレブース		

ガラス

FL	:フロート板ガラス	TF	:型板強化ガラス
F	:型板ガラス	HAP	:熱線吸収フロート板ガラス
NF	:網入り型板ガラス	HANP	:熱線吸収網入りみがき板ガラス
WF	:線入り型板ガラス	HAWP	:熱線吸収線入りみがき板ガラス
NP	:網入りみがき板ガラス	IG	:複層ガラス
WP	:線入りみがき板ガラス	A	:空気層
L	:合わせガラス	耐熱	:耐熱強化ガラス
T	:強化ガラス	ST	:学校用強化ガラス

建具用金物

DC	:ドアクローザー
PH	:ピボットヒンジ
HC	:ヒンジクローザー
FH	:フロアヒンジ
AS	:アームストッパー
AH	:オートヒンジ

仕上

SOP	:合成樹脂調合ペイント塗り	A−１種	:無着色陽極酸化皮膜
RP	:塩化ゴム系エナメル塗り	A−２種	:着色陽極酸化皮膜
FE	:フタル酸樹脂エナメル塗り	B−１種	:無着色陽極酸化塗装複合皮膜
CL	:クリヤラッカー塗り	B−２種	:着色陽極酸化塗装複合皮膜
UC	:ウレタン樹脂ワニス塗り	C−１種	:無着色陽極酸化皮膜
OS	:オイルステイン塗り	C−２種	:着色陽極酸化皮膜
LE	:ラッカーエナメル塗り	D種	:化成皮膜の上に塗装
OF	:オイル塗りワックス拭き		

建具表示記号

	:引分け		:外出し
	:引違い		:すべり出し
	:片引き		:上げ下げ
	:開き	B	:バランス
FIX	:はめごろし		
	:縦すべり出し		
	:回転		
	:内倒し		

くつずり形状

種別	A	B	C	D	E
形状	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5
	(内部用)	(内部用)	(外部用)	(外部簡易気密)	(内部簡易気密)
詳細番号	4−３１−１	4−３１−４	4-41-1-2、4-42-1-2	4-43-1-2、4-44-1-2	4−４５−１・２

ガラリ形式

種別	A	B	C
形式	開口率 ３０～４０%	開口率 ３０～４０%	開口率 ４０～６０%
	FD：ファイヤーダンパー		

共通事項

1. 詳細番号は建築工事標準詳細図の分類番号を示す。
   材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。
2. 内部の鋼製建具，鋼製軽量建具，鋼製ガラリ及び重量シャッターの枠仕上げはＳＯＰとする。
3. 扉厚の寸法は鋼製・木製建具40，鋼製軽量建具35〜40とする。
4. 鋼製軽量建具の召合わせ，縦小口include板はステンレス鋼板とする。
5. 建具金物は「建築工事標準仕様書」の表１６．８．１〜表１６．８．５による。
   ただし既製建具は製造所指定の付属品でよい。
6. ガラリの必要面積は、計画風量及び設備設計者の指示する風速により算出して再確認すること。
7. 防火設備に取付けるＤＣ、ＦＨ、ＨＣはストップなしとする。
8. ＤＣはパラレル型とし、１８０°開きの場合は戸当たり、あおり止めはなしとする。
9. レバーハンドルは内外とも設置。
10. レバーハンドルはステンレス製(ｈｌＬ)とし、取付高さＦＬ+1000とする。
11. 建具ハンドルはステンレス製(ｈｌＬ)とし、取付高さＦＬ+1000以上とする。
12. 着色は複数のカラー選択を可能とし、監督員と協議の上、決定すること。
13. 防火設備は施工時期に合わせた防火認定品とする。
14. 網戸はステンレス製とする。
15. 記載なきアルミサッシ額縁は25×85とする。
16. 木製建具の三方枠は鋼製(SOP)とする。
17. 鍵種「サ」＝サムターン、「シ」＝シリンダー、「ク」クレセント錠とする。
18. 排煙窓のハンドルボックスはFL+1500とする。
19. サッシのクレセント・指挟み防止ストッパー位置はFL+1600以上とする。
20. パネル式網戸はYKK AP「可動網戸 WS10E型用パネルスクリーン」同等品とする。
21. 誘導灯設置開口部は内倒錠とすること。

凡例

- (**/*) 防火設備（建築基準法2条9号の2ロによる）
- (**/*) 非防火設備

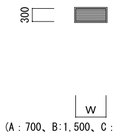
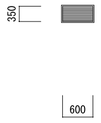
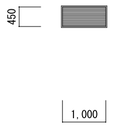
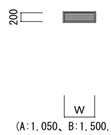
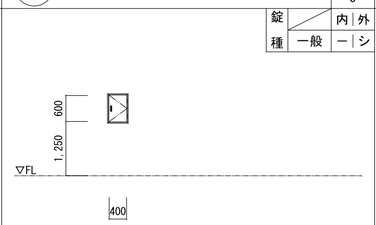
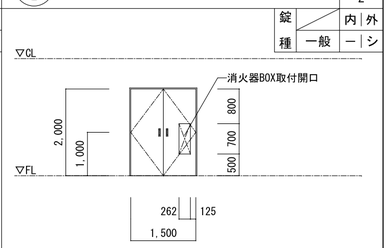
訂正	月　日	事　項		
訂				
正				

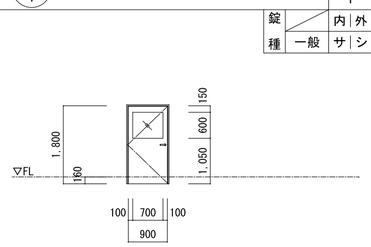
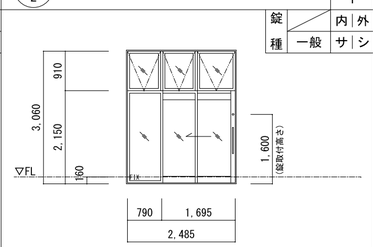
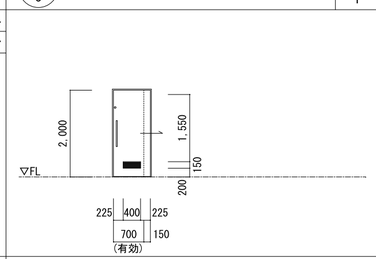
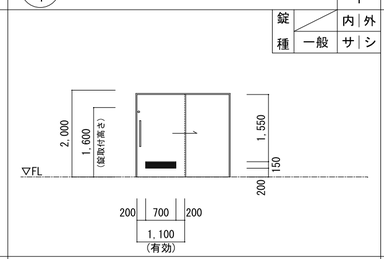
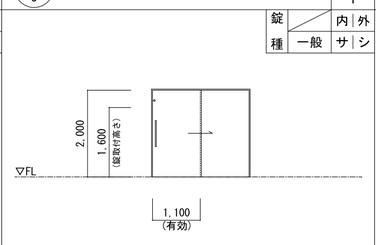
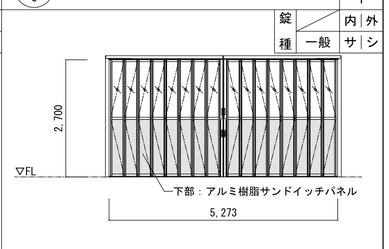
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

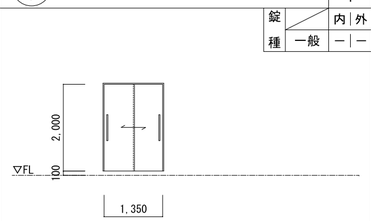
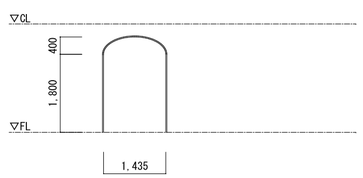
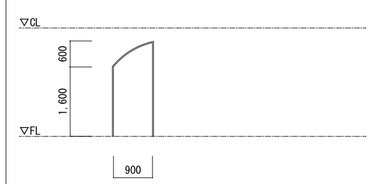
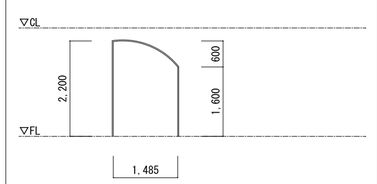
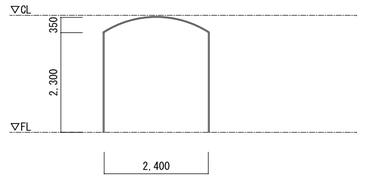
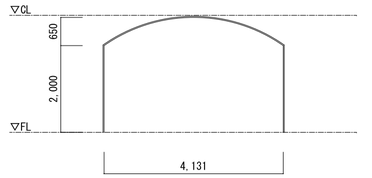
事務所登録　東京本部一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二
法適合確認結果等

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
図面名称	建具表（１）
縮尺	A2:1/100 A3:1/140
作成	2025 年 1 月 31 日
承認	
部長 / 課長 / 担当 / 製図	
設計No.	
図面No.	A−５０３ 確−１３

建具表

記号	AG 1A～D	AG 2	AG 3	AG 4A / AG 4B / AG 4C	SD 1	SD 2
	アルミ製ガラリ	アルミ製ガラリ	アルミ製ガラリ	アルミ製ガラリ	点検口	消火器ボックス付き両開き扉
数量	A2, B2, C1, D1	1	2	A8, B2, C2	5	2
姿図						
箇所	1階天井裏	2階天井裏	2階天井裏	1階・2階天井裏	PS	EPS
仕上	B-２種	B-２種	B-２種	B-２種	SOP	SOP
見込	枠見込：70	枠見込：70	枠見込：70	枠見込：70	枠見込：100	枠見込：110
硝子	-	-	-	-	-	-
金物 その他	開口率35%、SUS製防虫網、水切り板、付属金物一式	開口率35%、SUS製防虫網、水切り板、付属金物一式	開口率35%、SUS製防虫網、水切り板、付属金物一式	開口率35%、SUS製防虫網、水切り板、付属金物一式	丁番、平面ハンドル錠、付属金物一式、壁面色合わせ	隠し丁番、平面ハンドル錠、戸当たりゴム、フランス落とし、消火器ボックス(ユニオン「UFB-1F-2811N」同等品)、付属金物一式

記号	AD 1	AD 2	AD 3	AD 4	AD 5	AD 6
	アルミ製片開き戸	木製アルミ複合外倒し窓付き両引き戸	アルミ製片引き戸(引込)	アルミ製片引き戸	アルミ製片引き戸	アルミ製両開き折り戸
数量	1	1	1	1	1	1
姿図						
箇所	物入・洗濯室	玄関	職員用調理室	調理室	検収室	0・1歳児保育室
仕上	B-２種	B-２種(内部は桧集成材にウレタン塗装2回塗)	B-２種	B-２種	B-２種	B-２種
見込	枠見込：190	枠見込：310	枠見込：180	枠見込：110	枠見込：190	枠見込：100
硝子	ST4(型)	FL6+A12+FL6(排煙窓はFL3+A12+FL3)	-	-	-	ST4(透)
金物 その他	サムターン、シリンダー錠、レバーハンドル、沓摺C、ドアクローザー、丁番、戸当り、額縁(AL)、付属金物一式	サムターン、シリンダー錠、隠蔽式ワンタッチオペレーター網戸(欄間部：固定式)、指挟み防止ストッパー、額縁(AL) 引き棒L=700『株式会社ユニオン』G2759程度以上、 衝突防止シート(詳細はサイン図参照)	戸車、レール、引き棒L=600『株式会社ユニオン』G500-01-001程度以上、額縁(AL)、付属金物一式	戸車、レール、引き棒L=600『株式会社ユニオン』G500-01-001程度以上、額縁(AL)、付属金物一式	戸車、レール、引き棒L=600『株式会社ユニオン』G500-01-001程度以上、額縁(AL)、付属金物一式	抗菌対応握込み取手付、全開ストッパー、全面丁番、指挟み防止ゴム付、フラットレール、樹脂巻きインナーレール、付属金物一式、TOKO「ほっとスルー」同等品

記号	AD 7	Fr 1	Fr 3	Fr 4	Fr 5	Fr 6
	アルミ製引違戸	鋼製三方枠	鋼製三方枠	鋼製三方枠	鋼製三方枠	鋼製三方枠
数量	1	1	1	1	1	1
姿図						
箇所	調理室	1階トイレ	洗濯室	2階トイレ	1階廊下	2階廊下
仕上	B-２種	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP
見込	枠見込：110	枠見込：120	枠見込：120	枠見込：120	枠見込：100	枠見込：100
硝子	-	-	-	-	-	-
金物 その他	戸車、レール、引き棒L=600『株式会社ユニオン』G500-01-001程度以上、額縁(AL)、付属金物一式	見付15	見付15	見付15	見付15	見付15

略号

符号

WD：木製扉	AW：アルミニウム製窓	SSG:ステンレス製ガラリ	
SD：鋼製扉	PW：樹脂製窓	CL：木製クローゼット扉	
SSD:ステンレス製扉	SS：鋼製シャッター	Fr：鋼製枠	
AD：アルミニウム製扉	SSS:ステンレス製シャッター	SSF:ステンレス製枠	
LSD:軽量鋼製扉	LS：鋼製軽量シャッター	F：フスマ	
WW：木製窓	WG：木製ガラリ	P：障子	
SW：鋼製窓	SG：鋼製ガラリ	AWC:アルミニウム製カーテンウォール	
SSW:ステンレス製窓	AG：アルミニウム製ガラリ	TB：トイレブース	

ガラス

FL：フロート板ガラス	TF：型板強化ガラス	
F：型板ガラス	HAP：熱線吸収フロート板ガラス	
NF：網入り型板ガラス	HANP:熱線吸収網入りみがき板ガラス	
WF：線入り型板ガラス	HAWP:熱線吸収線入りみがき板ガラス	
NP：網入りみがき板ガラス	IG：複層ガラス	
WP：線入りみがき板ガラス	A：空気層	
L：合わせガラス	耐熱：耐熱強化ガラス	
T：強化ガラス	ST：学校用強化ガラス	

建具用金物

DC:ドアクローザー
PH:ピボットヒンジ
HC:ヒンジクローザー
FH:フロアヒンジ
AS:アームストッパー
AH:オートヒンジ

仕上

SOP:合成樹脂調合ペイント塗り	A-１種:無着色陽極酸化皮膜
RP：塩化ゴム系エナメル塗り	A-２種:着色陽極酸化皮膜
FE：フタル酸樹脂エナメル塗り	B-１種:無着色陽極酸化塗装複合皮膜
CL：クリヤラッカー塗り	B-２種:着色陽極酸化塗装複合皮膜
UC：ウレタン樹脂ワニス塗り	C-１種:無着色陽極酸化皮膜
OS：オイルステイン塗り	C-２種:着色陽極酸化皮膜
LE：ラッカーエナメル塗り	D種：化成皮膜の上に塗装
OF：オイル塗りワックス拭き	

建具表示記号

：引分け	：外出し
：引違い	：すべり出し
：片引き	：上げ下げ
：開き	：バランス
FIX：はめごろし	
：縦すべり出し	
：回転	
：内倒し	

くつずり

種別	A	B	C	D	E
形状	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5	ステンレス SUS304 t=1.5
	15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	15 3 15 3 15 3 15 3 15 3	15 3 15 3 15 3 15 3 15 3	15 3 15 3 15 3 15 3 15 3	15 3 15 3 15 3 15 3 15 3
	25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	25 25 25 25 25 25 25 25 25 25	25 25 25 25 25 25 25 25 25 25
	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10				
詳細番号	4-31-1	4-31-4	4-41-1-2、4-42-1-2	4-43-1-2、4-44-1-2	4-45-1-2

ガラリ

種別	A	B	C
形状	開口率 30～40%	開口率 30～40%	開口率 40～60%

FD：ファイヤーダンパー

共通事項

1. 詳細番号は建築工事標準詳細図の分類番号を示す。材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。
2. 内部の鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの枠仕上げはＳＯＰとする。
3. 扉厚の寸法は鋼製・木製建具40、鋼製軽量建具35～40とする。
4. 鋼製軽量建具の召合わせ、縦小口包み板はステンレス鋼板とする。
5. 建具金物は「建築工事標準仕様書」の表１６．８．１～表１６．８．５による。ただし既製建具は製造所指定の付属品でよい。
6. 外部のガラリは全てステンレス製防虫網付とする。
7. 防火設備に取付けるＤＣ、ＦＨ、ＨＣはストップなしとする。
8. ＤＣはパラレル型とし、１８０°開きの場合は戸当たり、あおり止めはなしとする。
9. レバーハンドルは内外とも設置。
10. レバーハンドルはステンレス製(ＨＬ)とし、取付高さＦＬ+1000とする。
11. 建具ハンドルはステンレス鋼板とする。
12. 着色は複数のカラー選択を可能とし、監督員と協議の上、決定すること。
13. 防火設備は施工時期に合わせた防火認定品とする。
14. 網戸はステンレス製とする。
15. 記載なきアルミサッシ額縁は25×85とする。
16. 木製建具の三方枠は鋼製(SOP)とする。
17. 鍵種「サ」＝サムターン、「シ」＝シリンダーとする。
18. 排煙窓のハンドルボックスはFL+1500とする。
19. サッシのクレセント・指挟み防止ストッパー位置はFL+1600以上とする。
20. 誘導灯設置開口部は内側錠とすること。

凡例

**/* 防火設備（建築基準法2条9号の2ロによる）

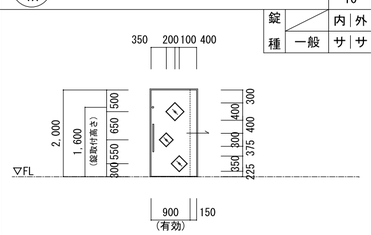
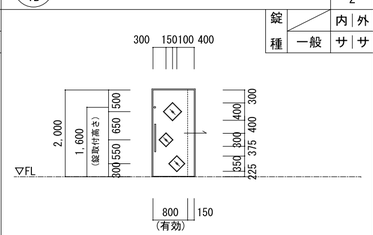
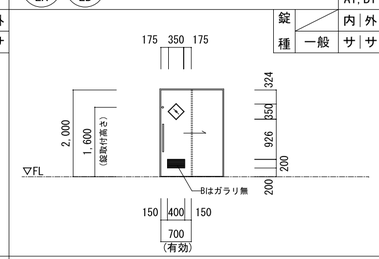
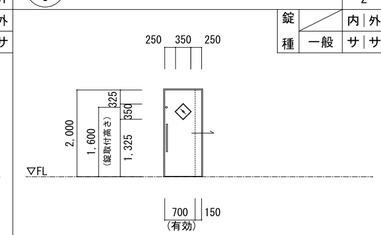
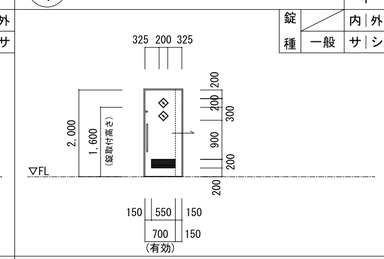
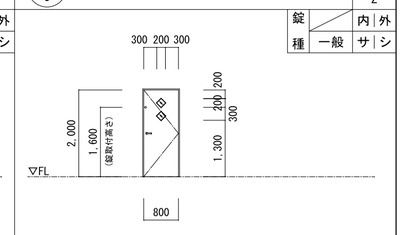
**/* 非防火設備

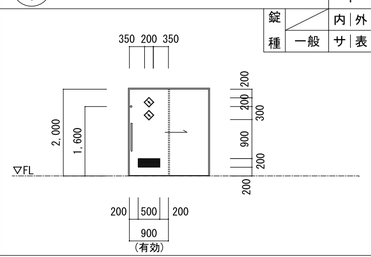
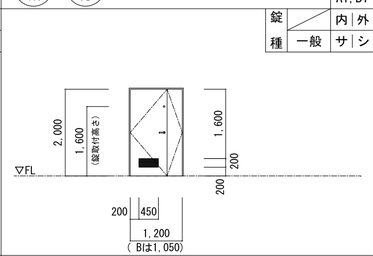
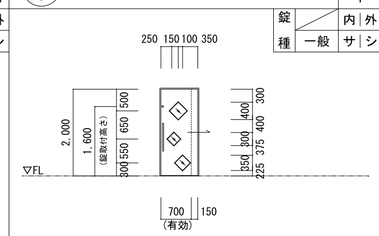
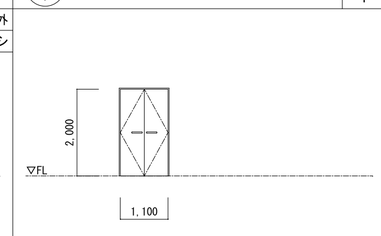
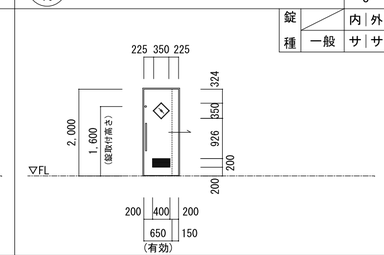
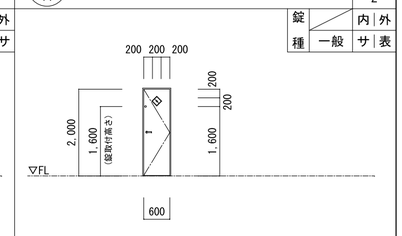
訂正	月 日	事項		
訂	. .		. .	
正	. .		. .	

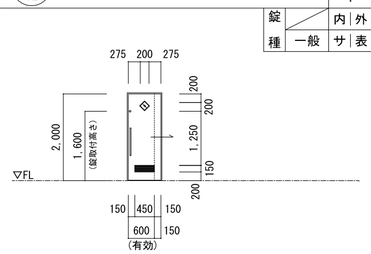
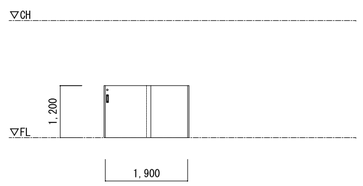
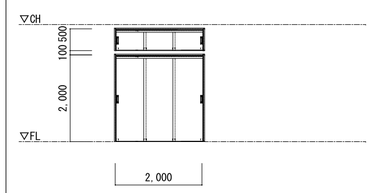
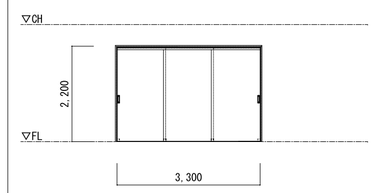
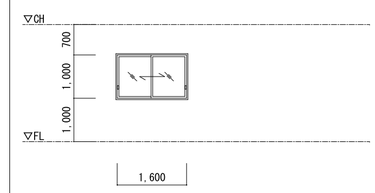
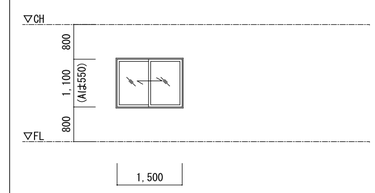
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録 東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者 一級建築士 登録第362390号 星野 康二
法適合確認結果等

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
図面名称	建具表（２）
縮尺	A2:1/100 A3:1/140
図面No.	A-５０４ 確-１４
作成	2025 年 1 月 31 日
承認	
部長 / 課長 / 担当 / 製図	
設計No.	

建具表

記号	WD 1A 木製片引き戸(引込) 数量 10	WD 1B 木製片引き戸(引込) 数量 2	WD 2A WD 2B 木製片引き戸 数量 A1,B1	WD 3 木製片引き戸(引込) 数量 2	WD 4 木製片引き戸(引込) 数量 1	WD 5 木製片開き戸 数量 2
姿図						
箇所	0・1・2・3・4・5歳児保育室	遊戯室	調乳室・相談室	職員室	調理員用更衣室	男性用・女性用更衣室
仕上	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)
見込	枠見込：190	枠見込：190	枠見込：130(Bは110)	枠見込：190	枠見込：170	枠見込：130
錠	ST4(透)	ST4(透)	ST4(透)	ST4(透)	ST4(型)	ST4(型)
金物 その他	サムターン、上吊りレール、指詰め防止戸先ゴム、 引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、 フラット窓、付属金物一式	サムターン、上吊りレール、指詰め防止戸先ゴム、 引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、 フラット窓、付属金物一式	サムターン、上吊りレール、指詰め防止戸先ゴム、 引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、 フラット窓、木製ガラリ、付属金物一式	サムターン、上吊りレール、指詰め防止戸先ゴム、 引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、 フラット窓、付属金物一式	サムターン、シリンダー錠、上吊りレール、指詰め防止戸先 ゴム、引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、フラット窓、木製ガラリ、付属金物一式	サムターン、表示錠、レバーハンドル、丁番、戸当り、 沓摺A、鋼製枠 SOP、フラット窓、付属金物一式

記号	WD 6 木製片引き戸(引込) 数量 1	WD 7A WD 7B 木製親子開き戸 数量 A1,B1	WD 8 木製片引き戸(引込) 数量 1	WD 9 木製両開き戸 数量 1	WD 10 木製片引き戸(引込) 数量 3	WD 11 木製片開き戸 数量 2
姿図						
箇所	バリアフリートイレ	物入	調理室	遊戯室	1階トイレ、0・1歳児トイレ	2階トイレ
仕上	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)	化粧シート(木目)
見込	枠見込：130	枠見込：130(Bは180)	枠見込：190	枠見込：130	枠見込：110	枠見込：110
錠	ST4(型)	-	ST4(透)	-	ST4(型)	ST4(型)
金物 その他	サムターン、表示錠、上吊りレール、指詰め防止戸先ゴム、 引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、 フラット窓、木製ガラリ、付属金物一式	サムターン、シリンダー錠、ドアクローザー(ストップ付)、 鋼製枠 SOP、レバーハンドル、丁番、戸当り、沓摺A、 木製ガラリ、付属金物一式	サムターン、シリンダー錠、上吊りレール、指詰め防止戸先 ゴム、引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、フラット窓、付属金物一式	ドアハンドルW=250、鋼製枠 SOP、丁番、戸当り、 沓摺A、付属金物一式	サムターン、上吊りレール、指詰め防止戸先ゴム、 引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、 フラット窓、木製ガラリ、付属金物一式	サムターン、表示錠、レバーハンドル、丁番、戸当り、 沓摺A、鋼製枠 SOP、フラット窓、付属金物一式

記号	WD 12 木製片引き戸(引込) 数量 1	WD 13 木製引き戸 数量 1	CL 1 木製3連引き戸 数量 6	CL 2 木製3連引き戸 数量 2	WW 1 木製引違い窓 数量 1	WW 2A WW 2B 木製引違い窓 数量 A1,B1
姿図						
箇所	調理員用トイレ	2階廊下	0・1・2・3・4・5歳児保育室	遊戯室	職員室	調理室
仕上	化粧シート(木目)	化粧シート(木目柄)	化粧シート(木目柄)	化粧シート(木目柄)	化粧シート(木目柄)	化粧シート(木目柄)
見込	枠見込：110	枠見込：180	枠見込：180	枠見込：150	枠見込：100	枠見込：100
錠	ST4(型)	-	-	-	FL5	FL5
金物 その他	サムターン、表示錠、上吊りレール、指詰め防止戸先ゴム、 引き棒L=450 木目調、ソフトクローズ金物、鋼製枠 SOP、 フラット窓、木製ガラリ、付属金物一式	把手、カマ錠、フラットレール、付属金物一式	把手、レール、付属金物一式	把手、レール、付属金物一式	額縁(鋼製 SOP)、引違い錠、引手、付属金物一式	額縁(鋼製 SOP)、引違い錠、引手、付属金物一式

略号

符号			
WD	木製扉	AW	アルミニウム製窓
SD	鋼製扉	PW	樹脂製窓
SSD	ステンレス製扉	SS	鋼製シャッター
AD	アルミニウム製扉	SSS	ステンレス製シャッター
LSD	軽量鋼製扉	LS	鋼製軽量シャッター
WW	木製窓	WG	木製ガラリ
SW	鋼製窓	SG	鋼製ガラリ
SSW	ステンレス製窓	AG	アルミニウム製ガラリ

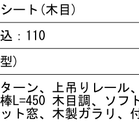
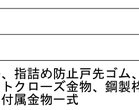
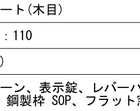
ガラス			
FL	フロート板ガラス	TF	型板強化ガラス
F	型板ガラス	HAP	熱線吸収フロート板ガラス
NF	網入り型板ガラス	HANP	熱線吸収網入りみがき板ガラス
WF	線入り型板ガラス	HAWP	熱線吸収線入りみがき板ガラス
NP	網入りみがき板ガラス	IG	複層ガラス
WP	線入りみがき板ガラス	A	空気層
L	合わせガラス	耐熱	耐熱強化ガラス
T	強化ガラス	ST	学校用強化ガラス

建具用金物	
DC	ドアクローザー
PH	ピボットヒンジ
HC	ヒンジクローザー
FH	フロアヒンジ
AS	アームストッパー
AH	オートヒンジ

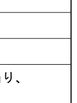
仕上			
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	A-1種	無着色陽極酸化皮膜
RP	塩化ゴム系エナメル塗り	A-2種	着色陽極酸化皮膜
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	B-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜
CL	クリヤラッカー塗り	B-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	C-1種	無着色陽極酸化皮膜
OS	オイルステイン塗り	C-2種	着色陽極酸化皮膜
LE	ラッカーエナメル塗り	D種	化成皮膜の上に塗装
OF	オイル塗りワックス拭き		

建具表示記号：引分け／引違い／片引き／開き／はめごろし／縦すべり出し／回転／内倒し／外出し／すべり出し／上げ下げ／バランス

くつずり

種別	A	B	C	D	E
形状					
詳細番号	4-31-1	4-31-4	4-41-1・2、4-42-1・2	4-43-1・2、4-44-1・2	4-45-1・2
	(内部用)	(内部用)	(外部用)	(外部簡易気密)	(内部簡易気密)

ガラリ

種別	A	B	C
形式			
	開口率 30～40%	開口率 30～40%	開口率 40～60%

FD：ファイヤーダンパー

共通事項

1. 詳細番号は建築工事標準詳細図の分類番号を示す。
   材種・寸法・取合いなどでそのまま適用できないものはこれを準用する。
2. 内部の鋼製建具、鋼製軽量建具、鋼製ガラリ及び重量シャッターの枠仕上げはＳＯＰとする。
3. 扉厚の寸法は鋼製・木製建具40、鋼製軽量建具35～40とする。
4. 鋼製軽量建具の召合わせ、縦小口包み板はステンレス鋼板とする。
5. 建具金物は「建築工事標準仕様書」の表１６．８．１～表１６．８．５による。
   ただし既製建具は製造所指定の付属品でよい。
6. 外部のガラリは全てステンレス製防虫網付とする。
8. 防火設備に取付けるＤＣ、ＦＨ、ＨＣはストップなしとする。
9. ＤＣはパラレル型とし、１８０°開きの場合は戸当たり、あおり止めはなしとする。
10. レバーハンドルは内外とも設置。
11. レバーハンドルはステンレス製(ＨＬ)とし、取付高さＦＬ+1000とする。
12. 着色は複数のカラー選択を可能とし、監督員と協議の上、決定すること。
13. 防火設備は施工時期に合わせた防火認定品とする。
14. 網戸はステンレス製とする。
15. 記載なきアルミサッシ額縁は25×85とする。
16. 木製建具の三方枠は鋼製(SOP)とする。
17. 鍵種「サ」＝サムターン、「シ」＝シリンダーとする。
18. 排煙窓のハンドルボックスはFL+1500とする。
19. サッシのクレセント・指挟み防止ストッパー位置はFL+1600以上とする。
20. 誘導灯設置開口部は内倒錠とすること。

凡例

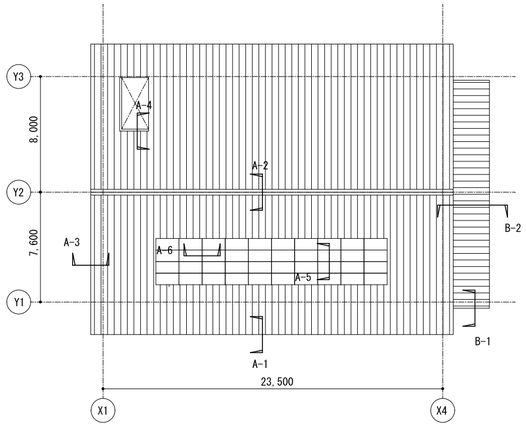
- ** / * 防火設備（建築基準法2条9号の2ロによる）
- ** / * 非防火設備

訂正	月	日	事項		
訂					
正					

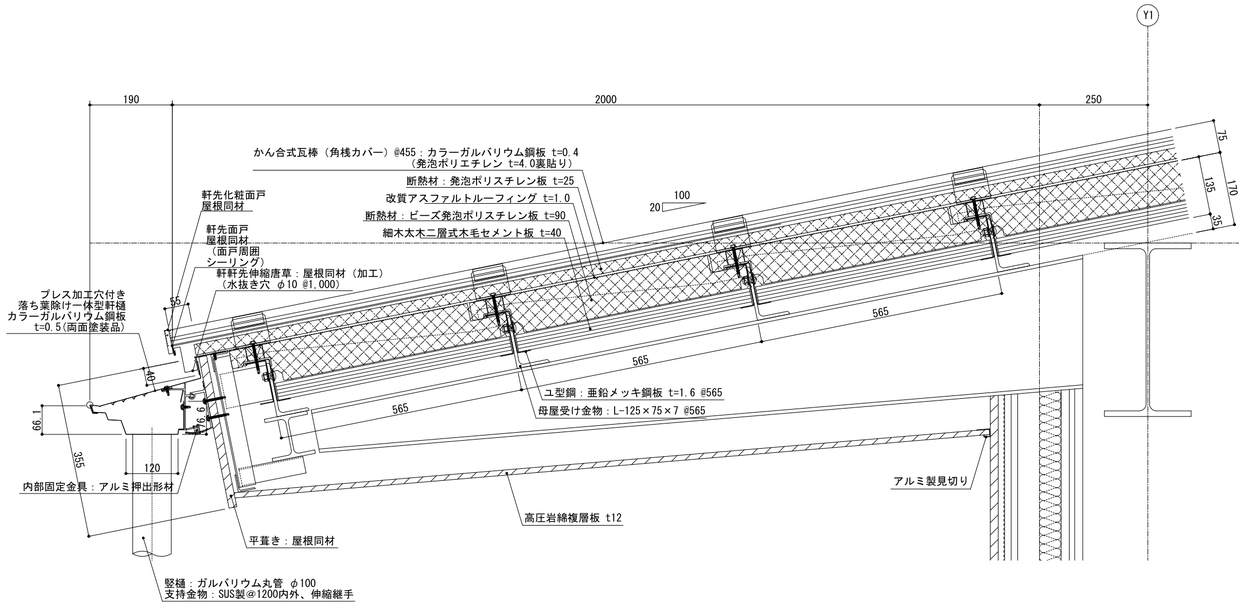
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録：東京本部一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者：一級建築士 登録第362390号 星野 康二
法適合確認結果等

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	建具表（３）	縮尺	A2:1/100 A3:1/140	図面No.
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長 課長 担当 製図	設計No.		A-505 確-15

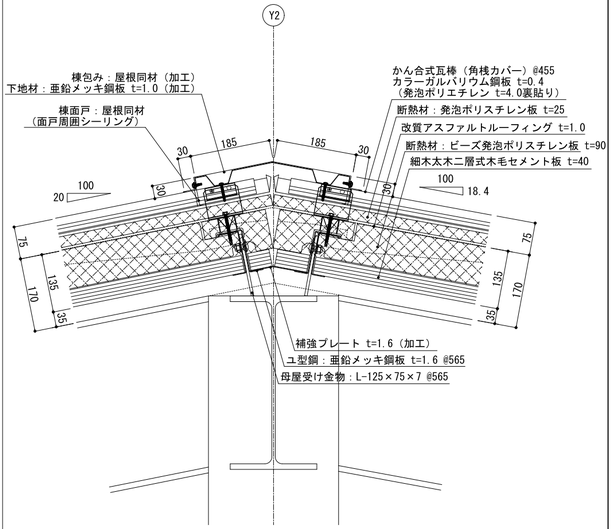
キープラン　A2:1/300



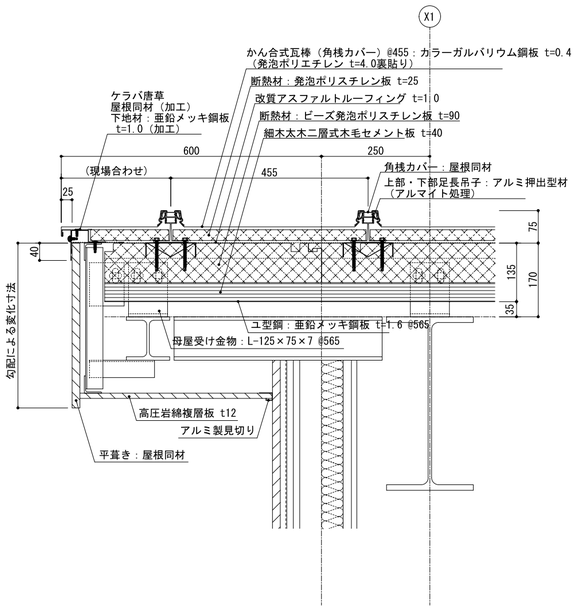
A-1：大屋根　軒先断面図　A2:1/10



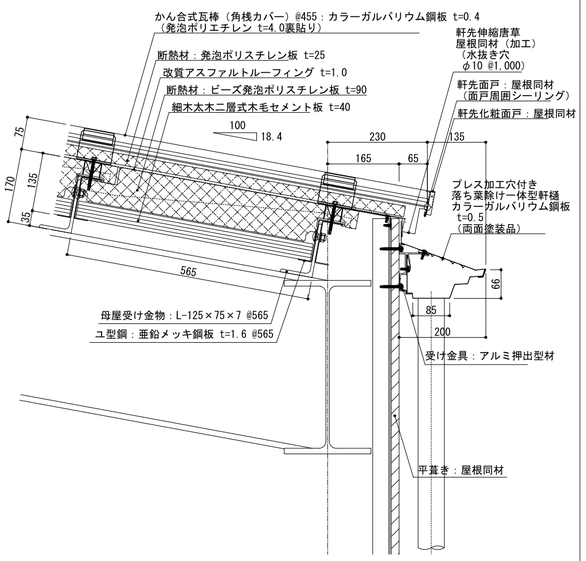
A-2：大屋根　棟断面図　A2:1/10



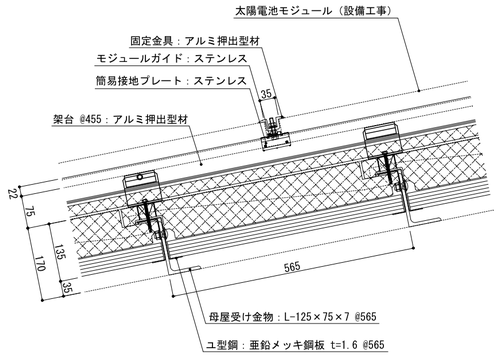
A-3：大屋根　ケラバ断面図　A2:1/10



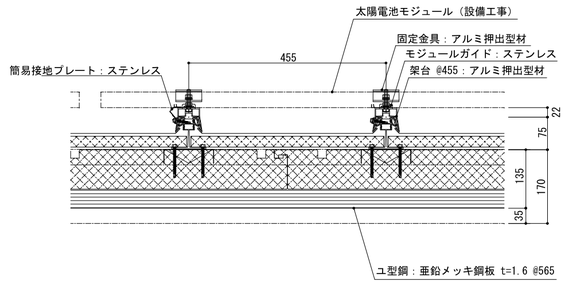
A-4：大屋根　開口部軒先断面図　A2:1/10



A-5：大屋根　太陽電池モジュール取り合い断面図（流れ方向）　A2:1/10



A-6：大屋根　太陽電池モジュール取り合い断面図（桁行方向）　A2:1/10



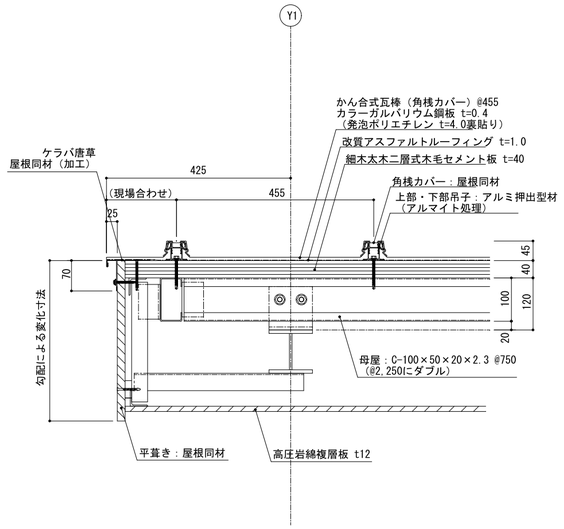
訂正	月　日	事　項			
	. .		.		
	. .		.		
	. .		.		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日
				承認	

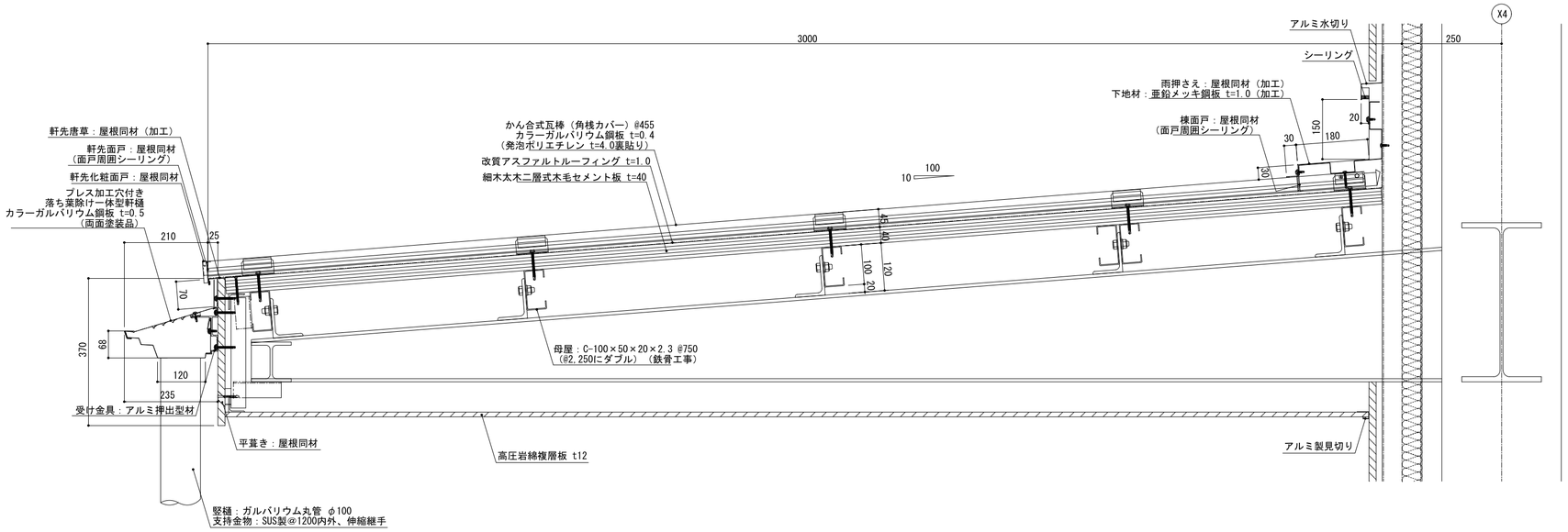
図面名称	雑詳細図（１）屋根1	縮尺	図示
部長　課長　担当　製図		設計No.	
		図面No.	A-601

B-1：庇　ケラバ断面図



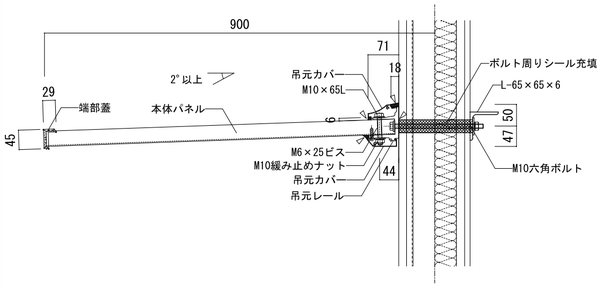
B-2：庇　軒先及び壁立上り断面図

A2:1/10



小庇詳細図

A2:1/10

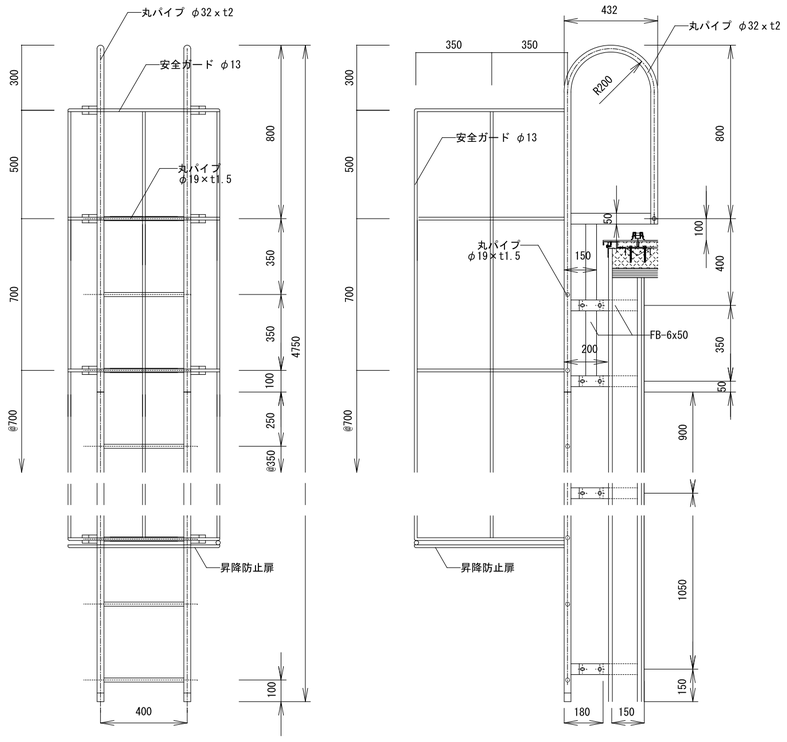


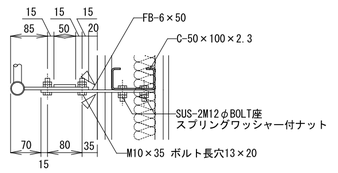
シーリングを示す。

アルフィン「AD2」同等品

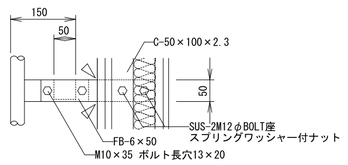
タラップ詳細図

A2:図示





取付部平面詳細図 S=1/10



取付部断面詳細図 S=1/10

タラップはSUS304 バフ研磨仕上とする。

シーリングを示す。

訂正	月　日	事　項		
	. .		. .	
	. .		. .	
	. .		. .	

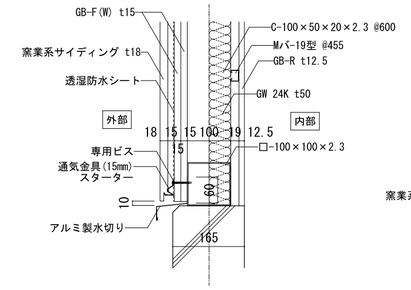
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日
				承認	

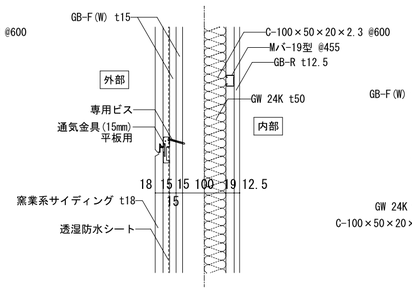
図面名称	雑詳細図（２）屋根2	縮尺	図示	図面No.	A-602
部長	課長	担当	製図	設計No.	

外壁詳細図

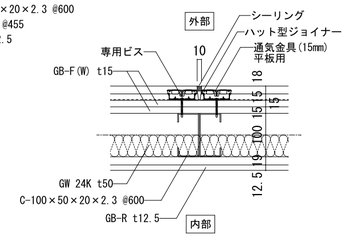
A2:1/10



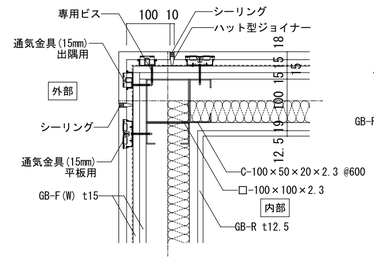
土台部断面図



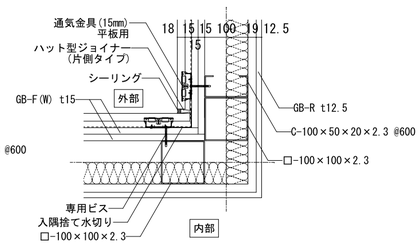
目地部断面図



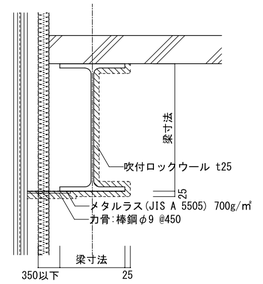
目地部平面図



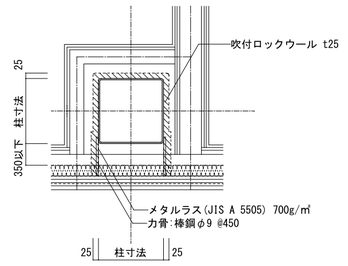
出隅部平面図



入隅部平面図



梁合成耐火

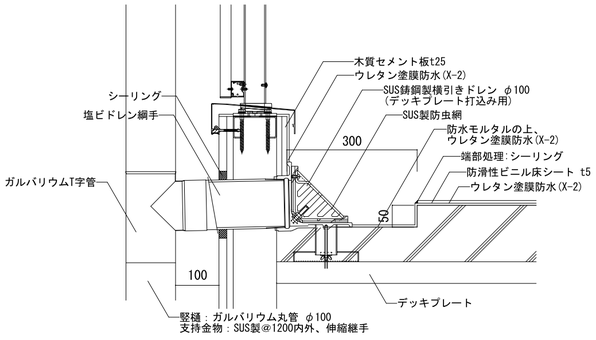


柱合成耐火

GB-F(W)は吉野石膏「タイガーボード・タイプZ-WR」同等品とする。

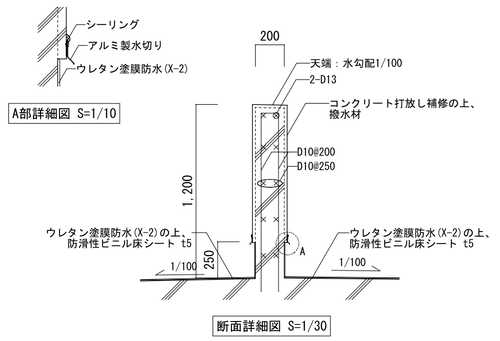
室外機置場ドレン詳細図

A2:1/10



室外機置場RC塀断面詳細図

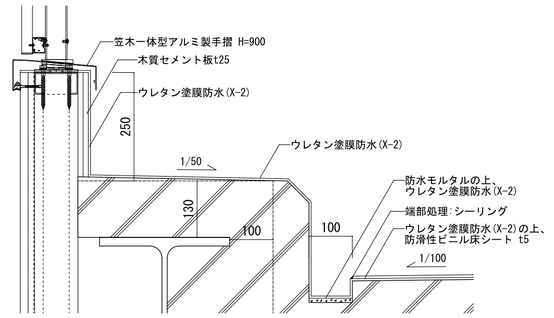
A2:図示



断面詳細図 S=1/30

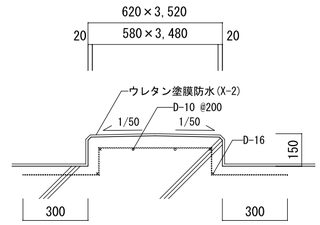
室外機置場北側詳細図

A2:1/10



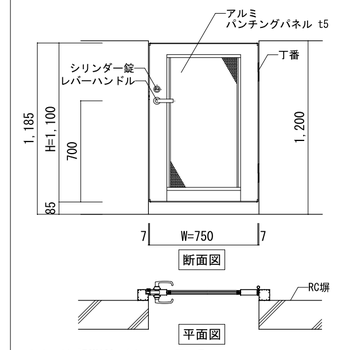
設備基礎詳細図

A2:1/20



アルミ製門扉詳細図

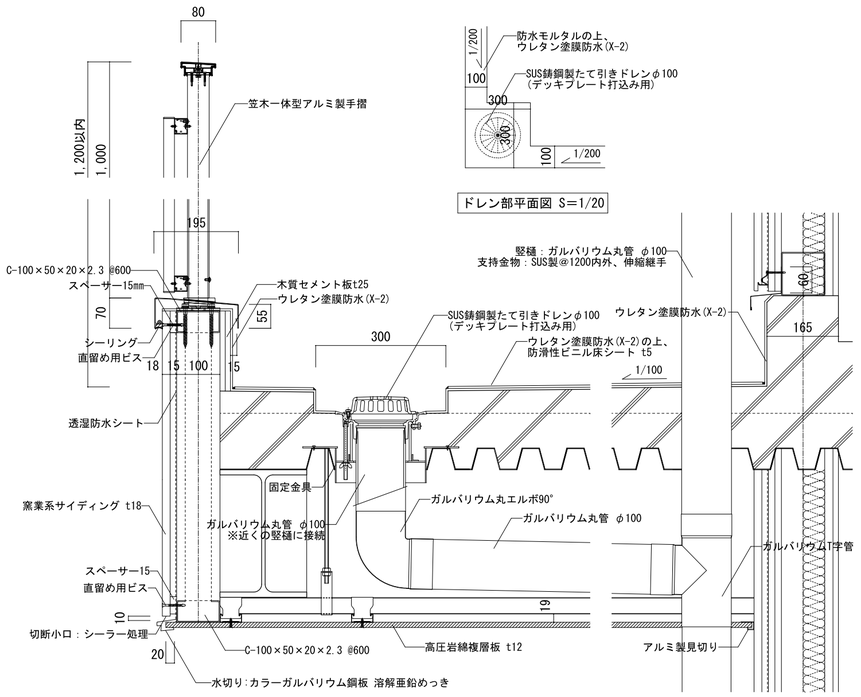
A2:1/30



久米工業「TGM120 パネル枠」同等品

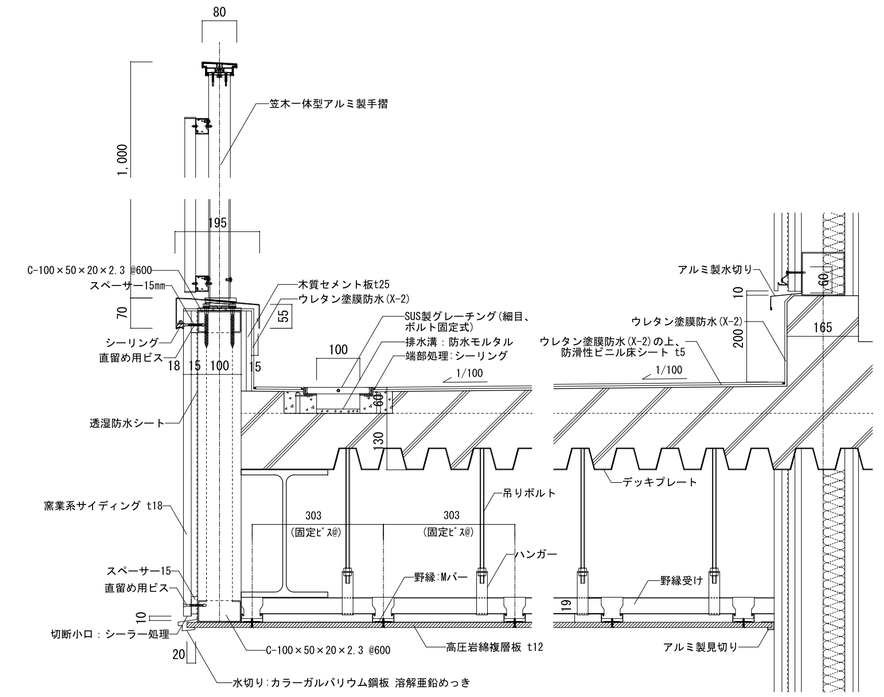
バルコニー手摺詳細図

A2:1/10



ドレン部部詳細図

ドレン部平面図 S=1/20

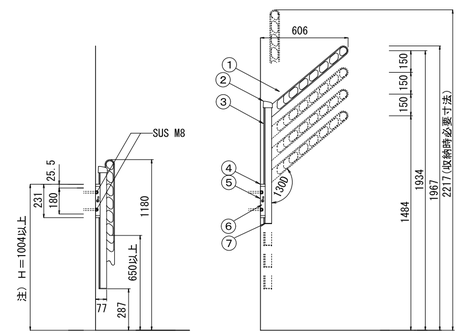


グレーチング部詳細図

水切り:カラーガルバリウム鋼板 溶解亜鉛めっき

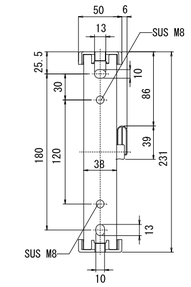
物干し金物詳細図

A2:図示



断面図 S=1/30

ナスタ「KS-DA706ASPN」同等品



1) アーム
材質:アルミダイカスト(ADC12) 仕上:アクリル焼付塗装
2) ボールキャップL
材質:アルミダイカスト(ADC12) 仕上:アクリル焼付塗装
3) ボール
材質:アルミニウム(A6063-T5) 仕上:アルマイト処理 クリア塗装
4) ブラケットキャップ
材質:AES
5) 作動つまみ
材質:AES
6) ブラケット
材質:アルミニウム(A6063-T5) 仕上:アルマイト処理 クリア塗装
7) ボールキャップF
材質:AES

取付穴ピッチ(ブラケット背面部) S=1/5

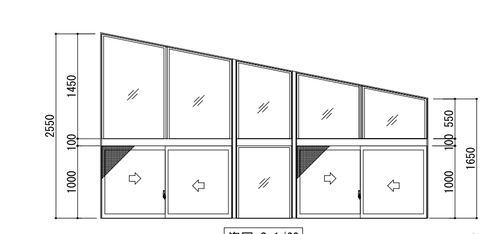
訂正	月 日	事項		
	. .		. .	
	. .		. .	

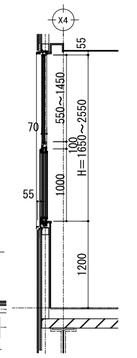
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図(3) 外壁・防水等
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A-603
部長	課長 担当 製図	設計No.	

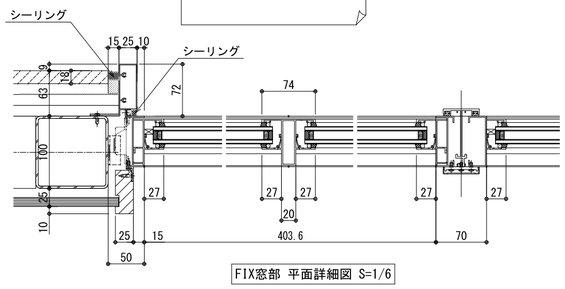
AW-14　引違窓・変形FIX窓詳細図　　A2:図示



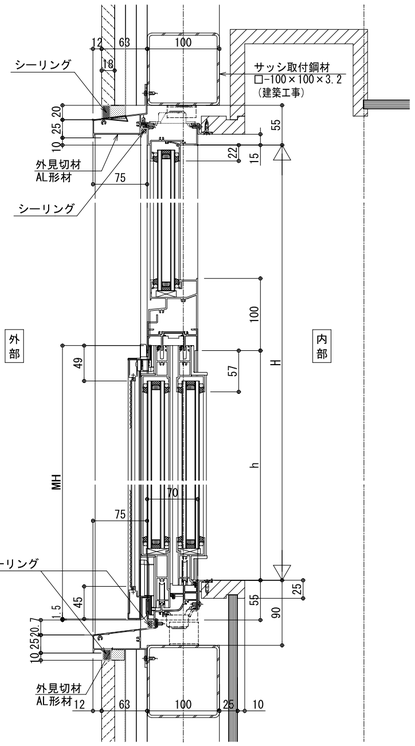


※YKK AP「EXIMA31」同等品
・性能値
・耐風圧　S-4（2000Ｐａ）
・気　密　A-4（2等級）
・水　密　500Ｐａ
・遮　音　T-1

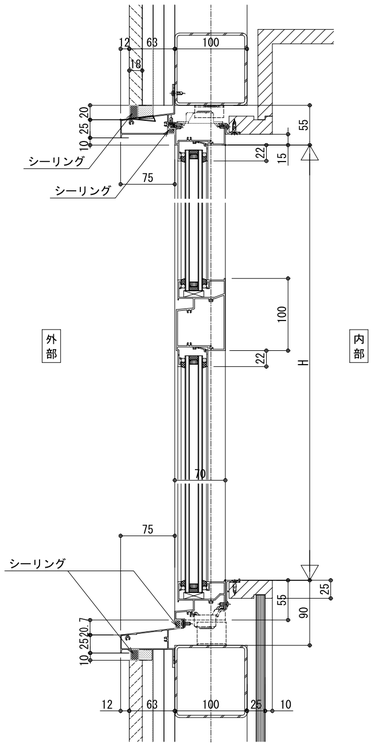
□付属部品
・空掛け防止クレセント
・指はさみ防止ストッパー
・補助ロック
・可動網戸



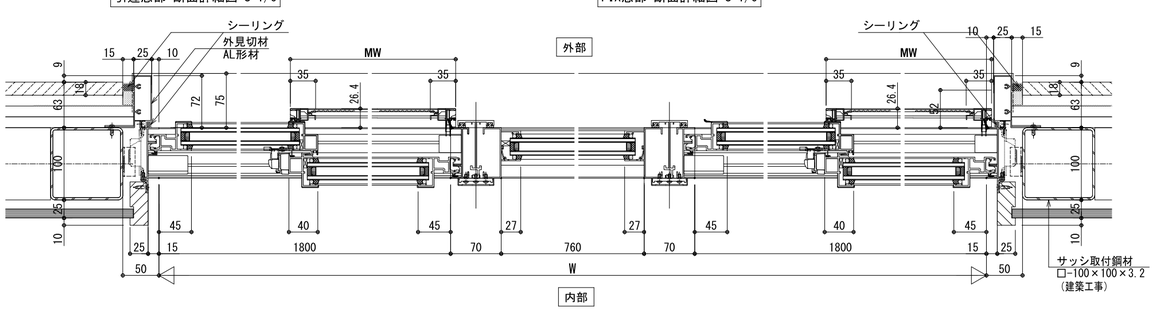
FIX窓部　平面詳細図 S=1/6



引違窓部　断面詳細図 S=1/6

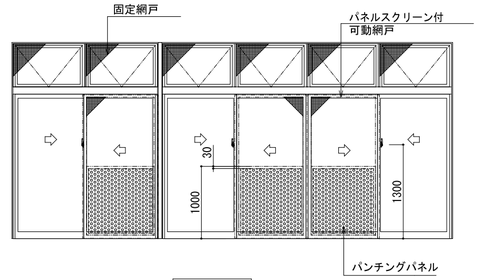


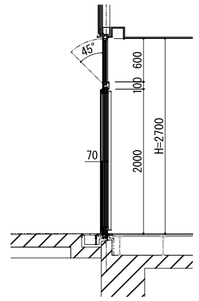
FIX窓部　断面詳細図 S=1/6



引違窓部　平面詳細図 S=1/6

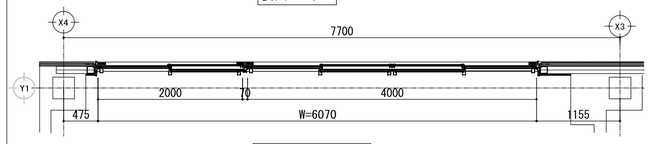
1階　連窓引違窓・外倒し窓詳細図　　A2:図示

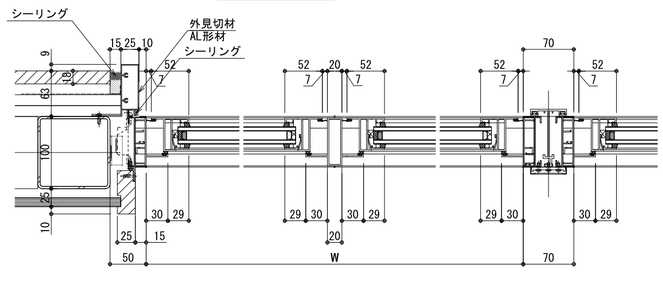




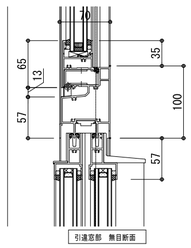
※YKK AP「EXIMA31」同等品
・性能値
・耐風圧　S-4（2000Ｐａ）
・気　密　A-4（2等級）
・水　密　500Ｐａ
・遮　音　T-1

□付属部品
・空掛け防止クレセント
・緩衝ゴム
・指はさみ防止ストッパー
・補助ロック
・パネル式網戸：YKK AP「可動網戸 WS10E型用パネルスクリーン」同等品

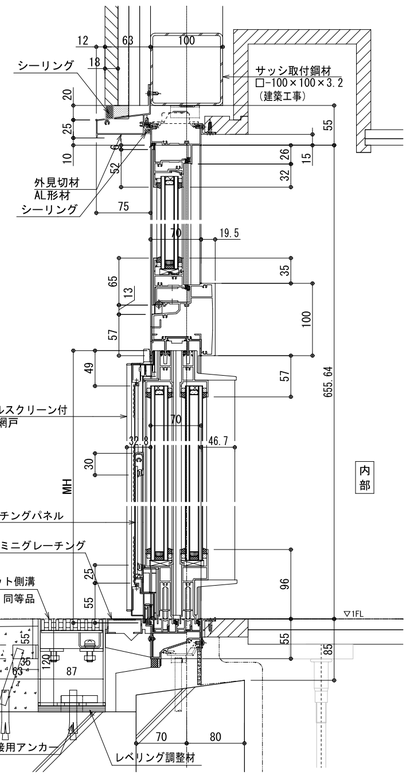




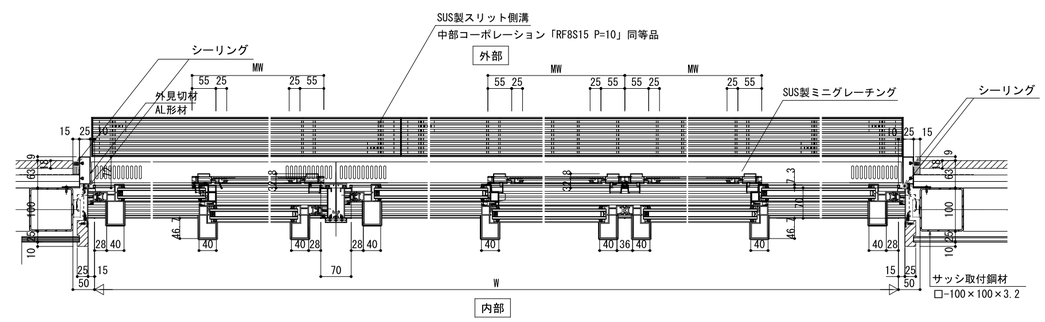
引違窓部　平面詳細図 S=1/6



無目断面詳細図 S=1/60



断面詳細図 S=1/6



平面詳細図 S=1/10

訂正	月　日	事　項		

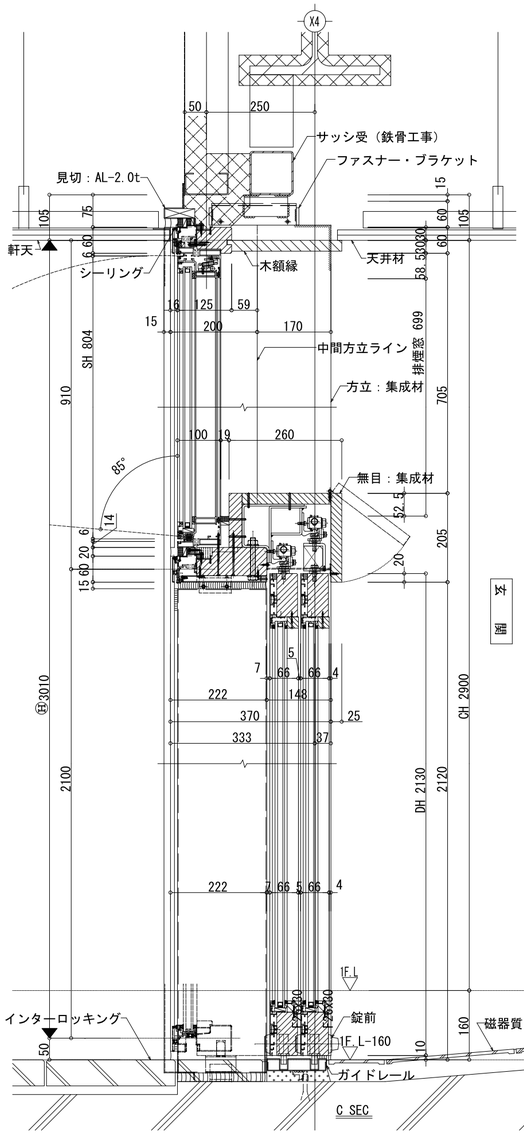
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

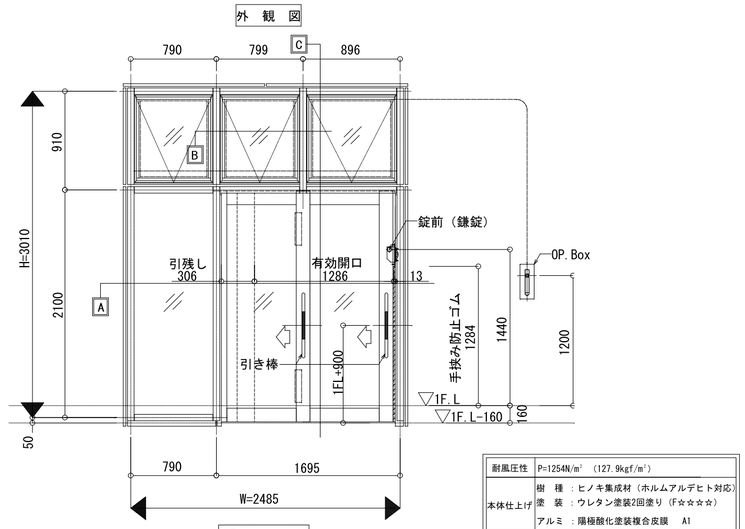
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（４）外部開口部1
作成	2024 年 12 月 20 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A-604
部長　課長　担当　製図		設計No.	

AD2 アルミ製排煙窓付引違戸詳細図

A2:図示

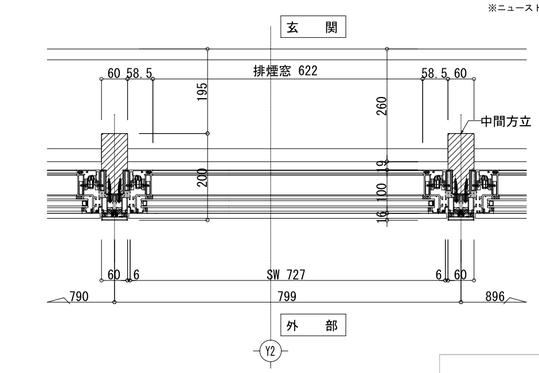




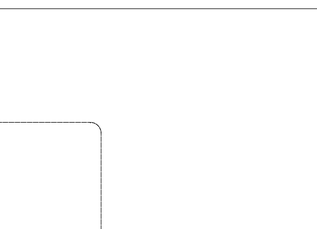
姿図 S=1/40

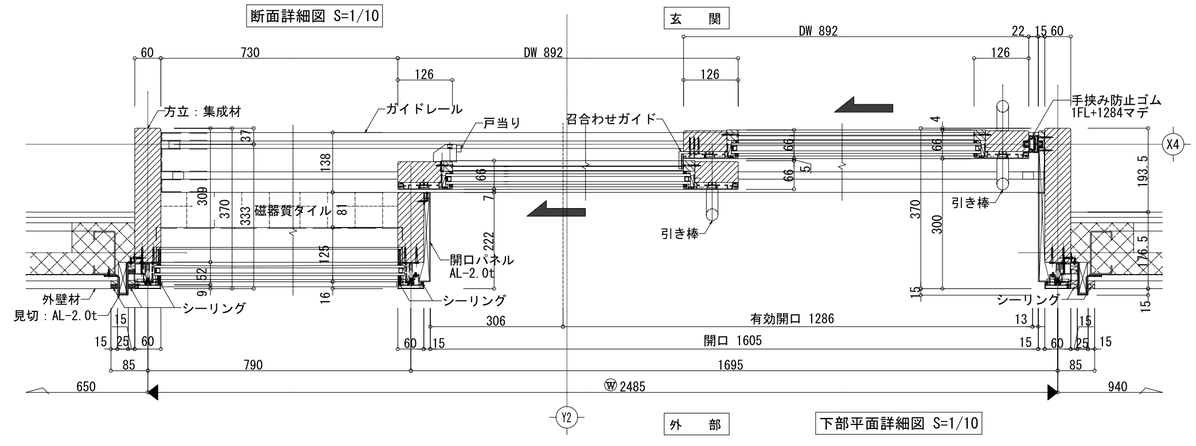
耐風圧性	P=1254N/m² （127.9kgf/m²）
本体仕上げ	樹 種 ：ヒノキ集成材（ホルムアルデヒト対応） 塗 装 ：ウレタン塗装2回塗り（F☆☆☆☆） アルミ ：陽極酸化塗装複合皮膜 A1
断熱材	ポリアミド樹脂（PA66GF25）嵌合加締め方式

※ニュースト 「木・アルミ複合断熱サッシ」同等品



上部排煙窓 平面詳細図 S=1/10

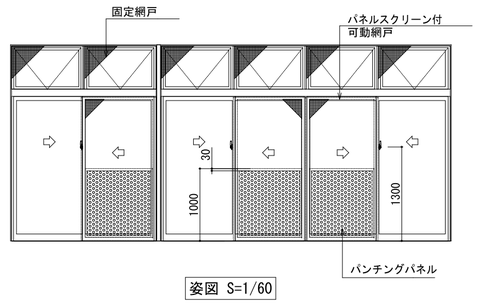




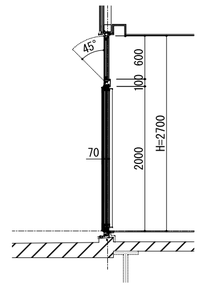
下部平面詳細図 S=1/10

2階 連窓引違窓・外倒し窓詳細図

A2:図示



姿図 S=1/60

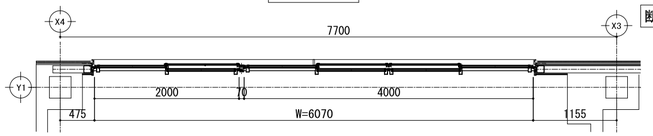


断面図 S=1/60

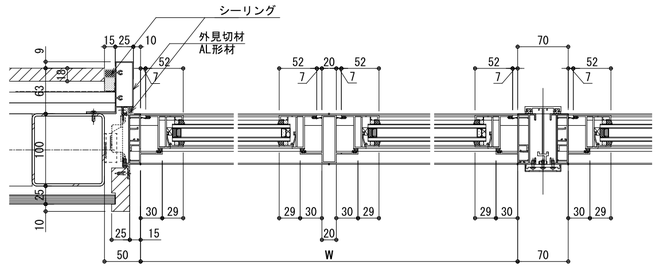
※YKK AP「EXIMA31」同等品

・性能値
- 耐風圧 S-4（2000Ｐａ）
- 気 密 A-4（2等級）
- 水 密 500Ｐａ
- 遮 音 T-1

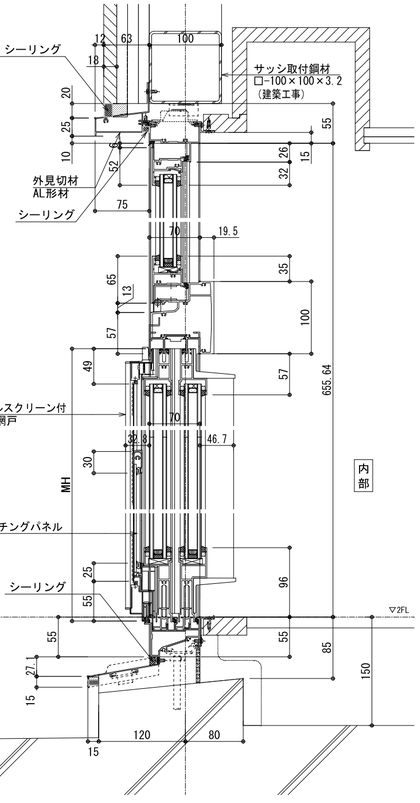
□付属部品
- 空掛け防止クレセント
- 緩衝ゴム
- 指はさみ防止ストッパー
- 補助ロック
- パネル式網戸：YKK AP「可動網戸 WS10E型用パネルスクリーン」同等品

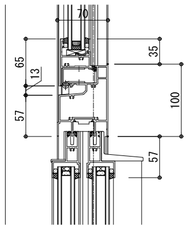


平面図 S=1/60



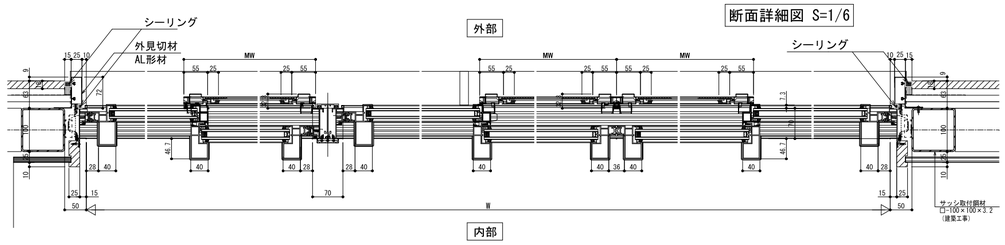
平面詳細図 S=1/6





無目断面詳細図 S=1/6

断面詳細図 S=1/6



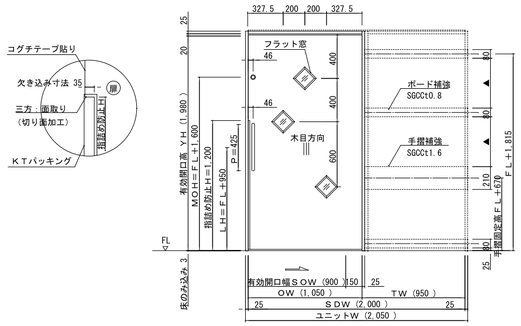
平面詳細図 S=1/100

訂正	月 日	事 項		株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号	工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
					設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	作成	2025 年 1 月 31 日
					法適合確認結果等		承認	

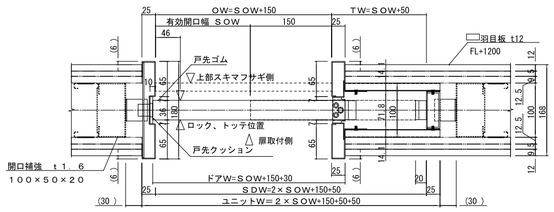
図面名称	雑詳細図（５）外部開口部2	縮尺	図示
部長	課長	担当	製図
設計No.		図面No.	A-605

WD1A・1B 引込戸詳細図

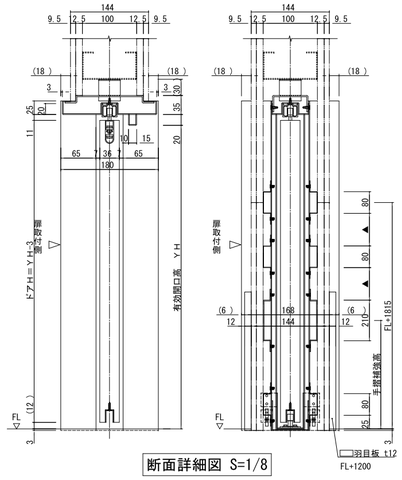
A2:図示



姿図 S=1/40



平面詳細図 S=1/8

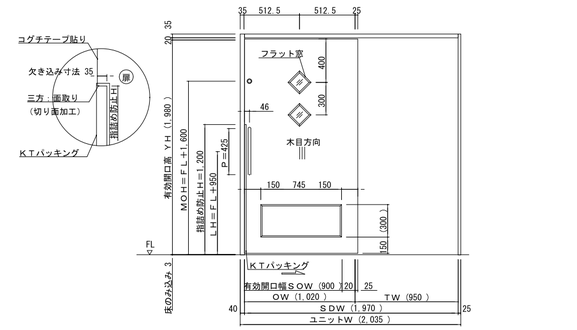


断面詳細図 S=1/8

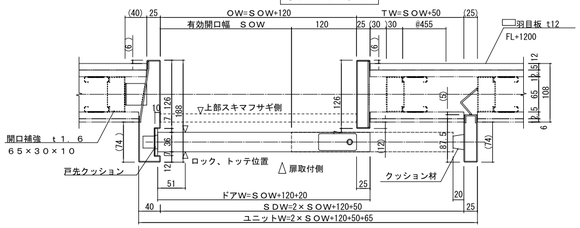
※コマニー「やさしいドア」同等品

WD6 引き戸詳細図

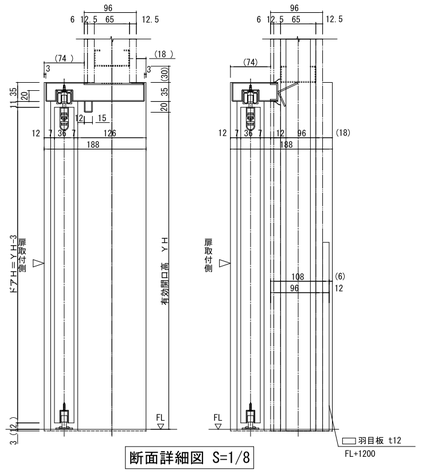
A2:図示



姿図 S=1/40



平面詳細図 S=1/8

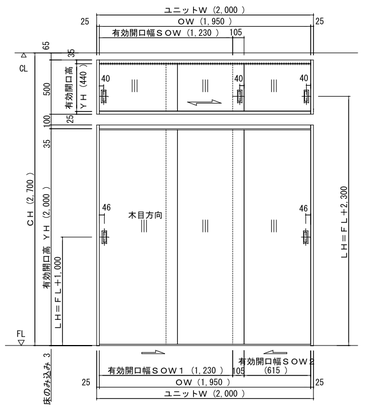


断面詳細図 S=1/8

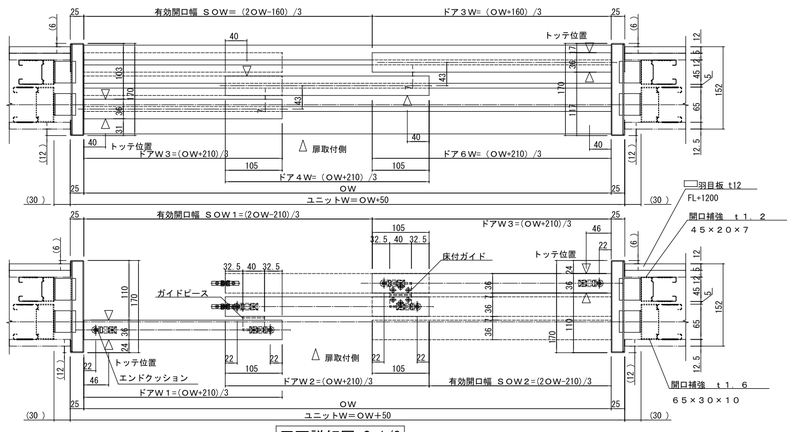
※コマニー「やさしいドア」同等品

CL1 押入扉詳細図

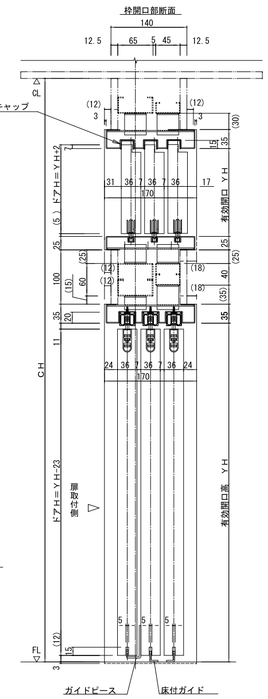
A2:図示



姿図 S=1/40



平面詳細図 S=1/8

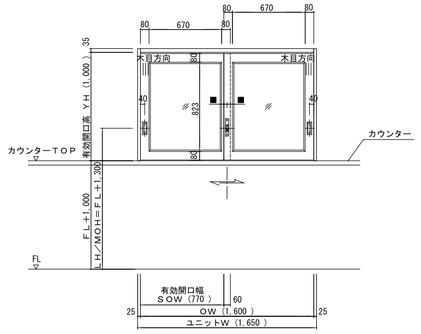


断面詳細図 S=1/8

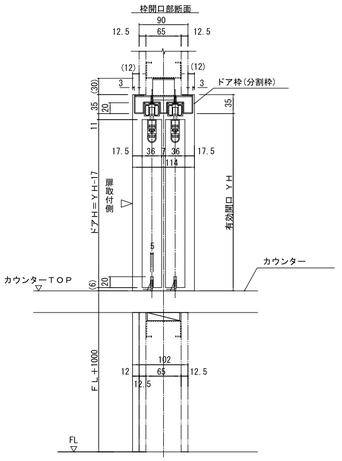
※コマニー「やさしいドア」同等品

WW1 引違窓詳細図

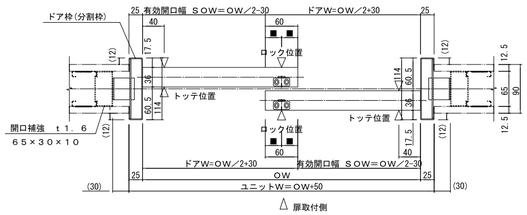
A2:図示



姿図 S=1/40



断面詳細図 S=1/8



平面詳細図 S=1/8

訂正	月 日	事項		

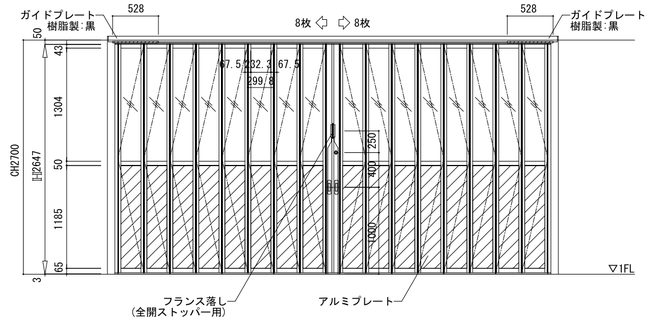
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

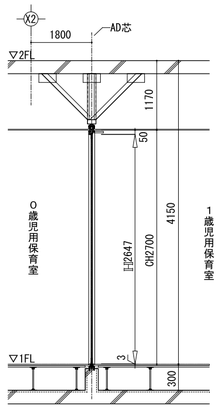
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（6）内部開口部1	縮尺	図示	図面No.
作成 2025 年 1 月 31 日	承認	部長 課長 担当 製図		設計No.		A-606

AD6 アルミ製両開き折り戸

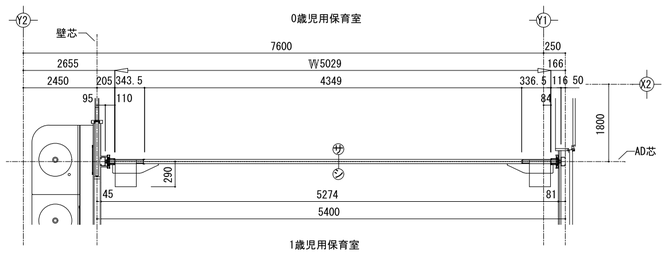
A2:図示



姿図 S=1/50



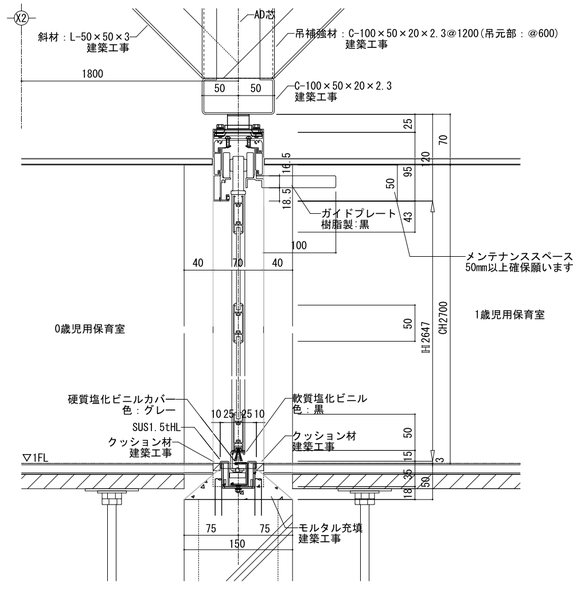
断面図 S=1/50



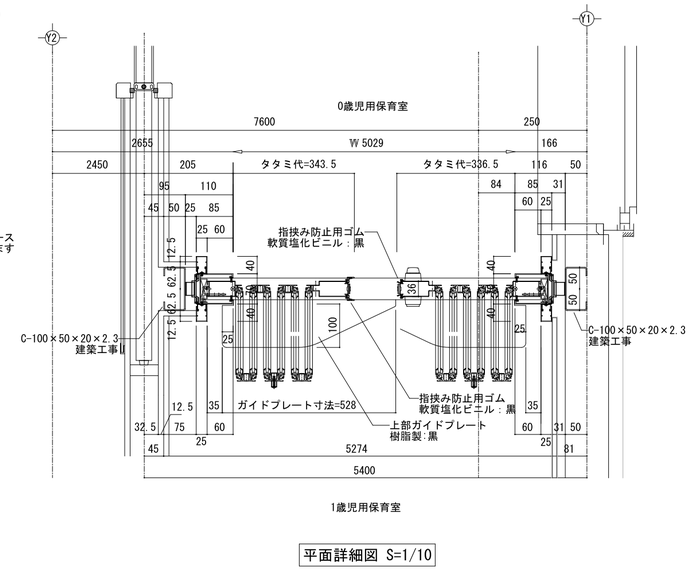
平面図 S=1/50

取付場所:1階 0歳児用保育室/1歳児用保育室

符号	AD 6	製品名 タイプ	TOKO「イスターカーテン ほっとスルー」同等品
色	アクリル焼付塗装 艶: 打合せ 部品色: 打合せ	数	1
下レール	35型 SUS1.5tHL	水抜き	無
嵌込材	4mmスクールテンパ (工場組込)	ガラス押え	グレチャン
	3mmアルミプレート アクリル焼付塗装 (工場組込)		
錠前	美和「FN-1」同等品		



断面詳細図 S=1/6

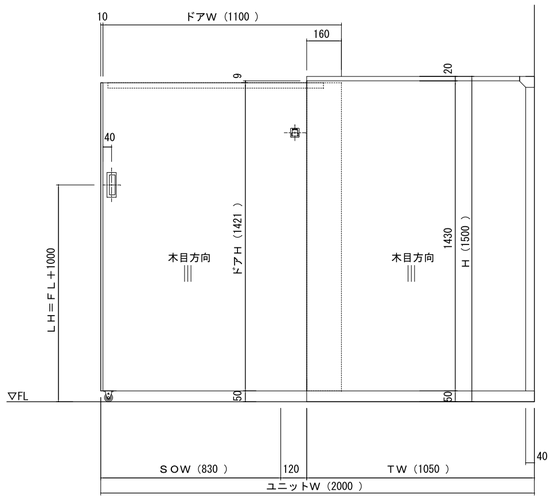


平面詳細図 S=1/10

約 170 kgの荷重が上枠にすべてかかります。
3mm下がると開閉不良が発生しますので、
荷重に耐えられる様補強願います。

WD13 片引き戸詳細図

A2:図示



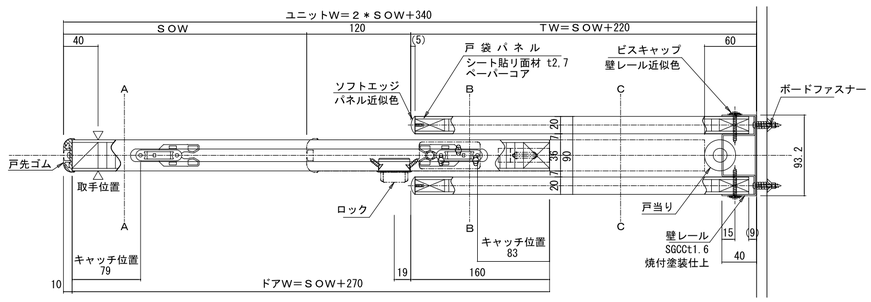
姿図 S=1/20

扉機能	手動式
扉仕様	非不燃
扉充填材	ペーパーコア

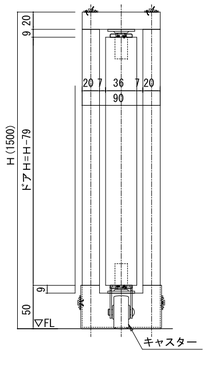
仕上	扉：(第一ドア)凸版印刷	色：未定（４尺）
	扉：(第二ドア)凸版印刷	色：未定（４尺）

品名	参考メーカー	品番・型式／材質	数量	備考
引手	アトム	長角戸引手 サイズ 120	2	表面部：ＳＵＳ３０４ 底部：底白
ロック	アトム	セーフティストッパー	1	色：WBメッキ
ガラス	－	なし	－	
マド縁	－	なし	－	
目地	－	なし	－	

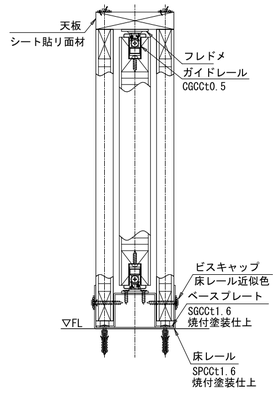
※コマニー「しなやか」同等品



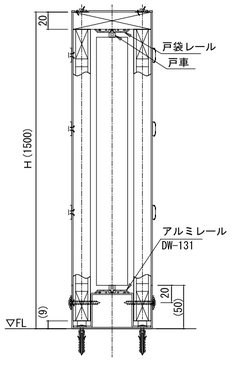
平面詳細図 S=1/5



A-A断面詳細図 S=1/5



B-B断面詳細図 S=1/5



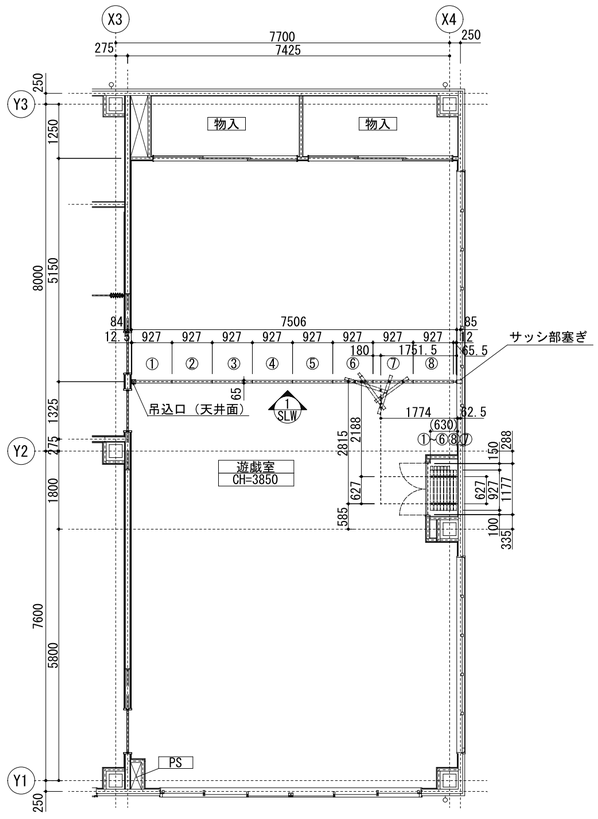
C-C断面詳細図 S=1/5

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

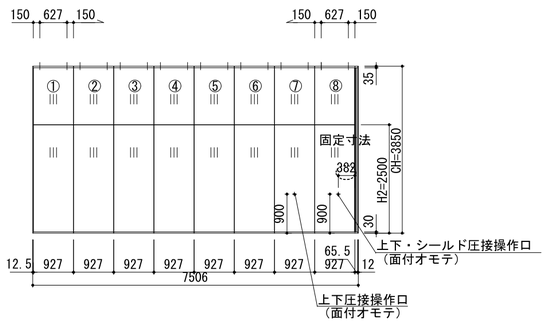
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（７）内部開口部１
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図
縮尺	図示	設計No.	
図面No.	A-607		

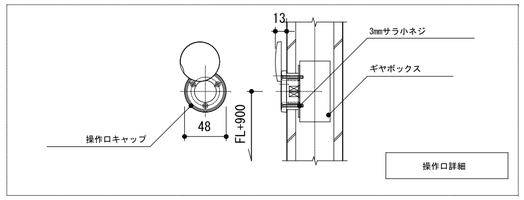


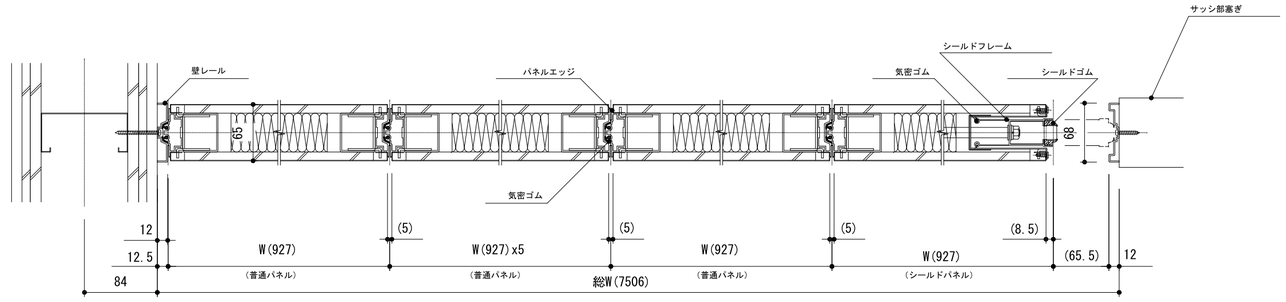
平面図 S1/100

普通パネル重量　117.8kg
シールドパネル重量　139.2kg

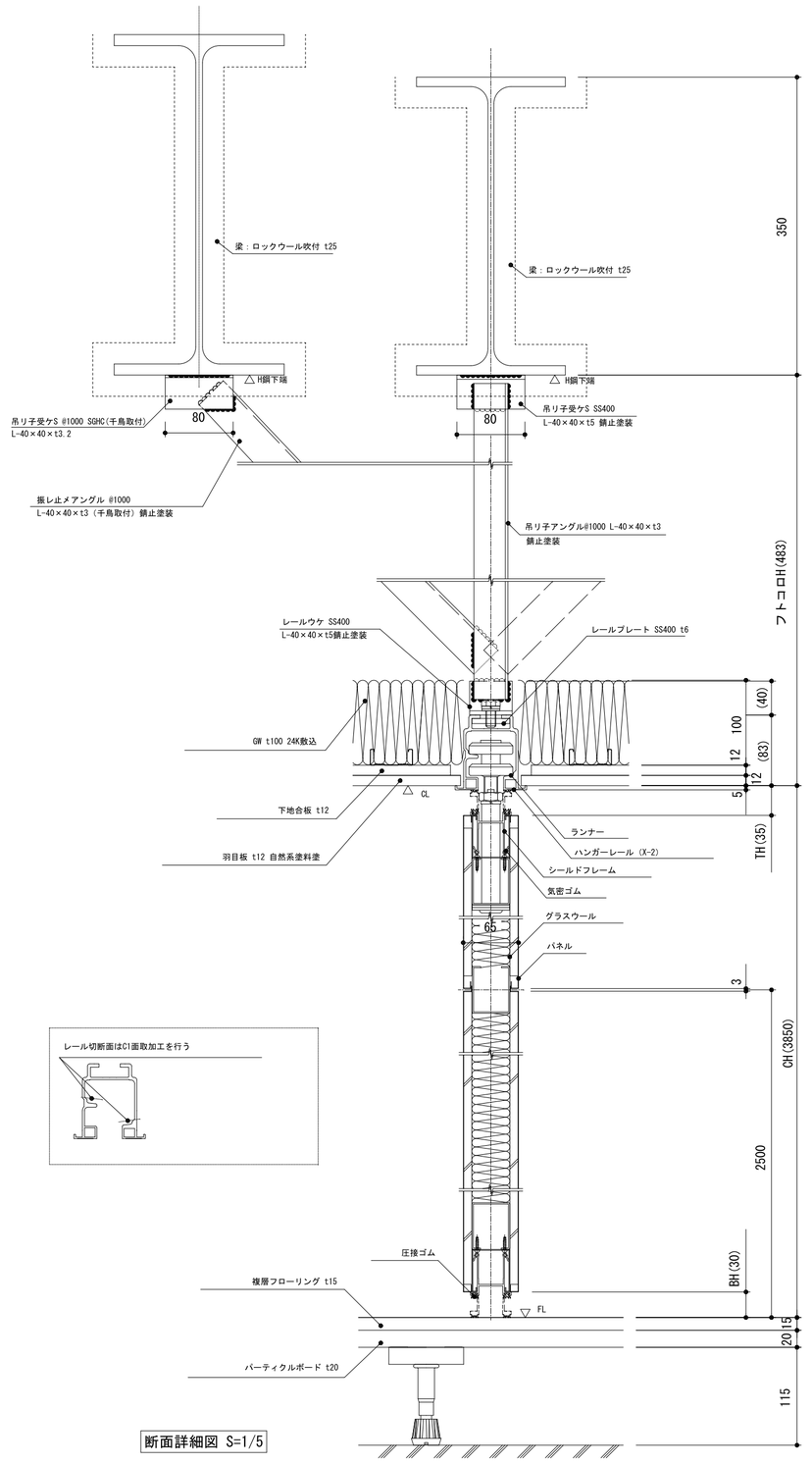


姿図 S=1/100





平面詳細図 S=1/5



断面詳細図 S=1/5

薄型遮音スライディングウォール

パネル	表面材	電気亜鉛めっき鋼板　プリント塗装化粧鋼板(エココート鋼板)
	裏打材	石膏ボード（不燃）t9.5mm
	枠　材	溶融亜鉛めっき鋼板（SGCC）t1.6mm
	充填材	グラスウール（32kg／m³）t40mm
シールドフレーム　パネルエッジ 壁レール		アルミニウム合金押出形材（A6063S-T5）
気密ゴム		合成ゴム（EPDM）　塩化ビニール（PVC）
圧接ゴム		オレフィン樹脂（TPE）
吊レール		アルミニウム合金押出形材（A6063S-T5）
ランナー		ポリアセタール樹脂（ラジアルベアリング内蔵）
金　物	天井 床シールド	ワンタッチ圧接装置
	サイドシールド	回転ハンドル式圧接装置
遮音性能	パネル性能：500Hz時 54.0dB減衰（パネル単体）	
備考	パネル現地組立方式　エッジレス仕様	
特記	コマニー（株）DP-60S同等品	

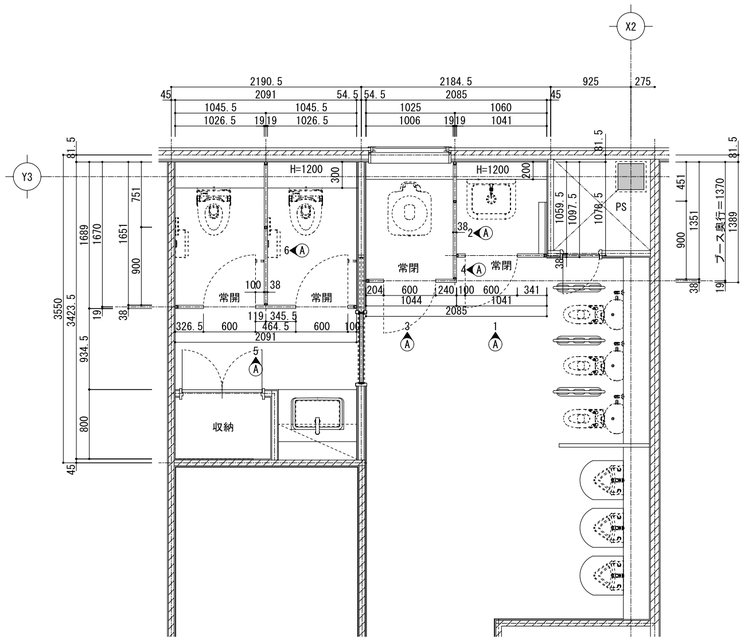
訂正	月 日	事　項		

universal 株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録　東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二
法適合確認結果等

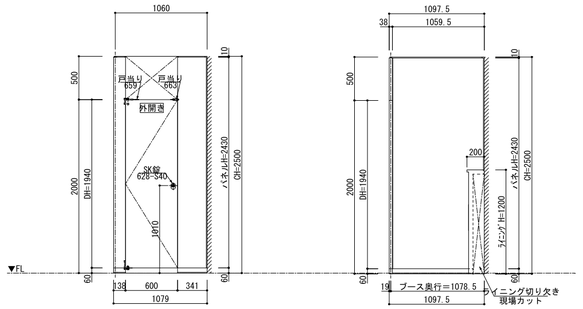
工事名称　古谷地区公立保育所新築工事
作成　2025 年 1 月 31 日　承認
図面名称　雑詳細図（８）移動間仕切り
縮尺　図示
部長　課長　担当　製図
設計No.
図面No.　A-608

1階トイレブース詳細図

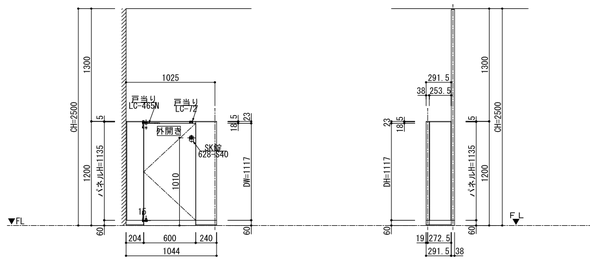
A2:1/50



平面詳細図



A1面展開図　A2面展開図



A3面展開図　A4面展開図　A5面展開図　A6面展開図

斜線部分～芯材補強

○構成部材一覧(メラフロント/セーフティ仕様/天井ライナー仕様)

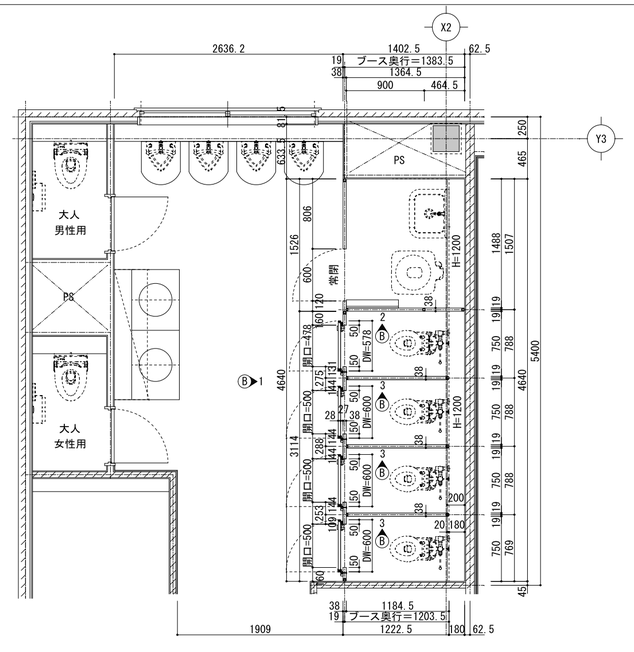
	部品名	仕様	数量	特注内容・品番
パネル	表面材	メラミン化粧板	一式	ﾊﾟﾈﾙ：柄未決定 扉：柄未決定
	エッジ	メラミン化粧板	一式	ﾊﾟﾈﾙ：柄未決定 扉：柄未決定
	アルミエッジ	アルミニウム	—	TAW-7100(ｼﾙﾊﾞｰ色)
	コア材	ＭＤＦ	一式	
	芯材	ペーパーコア	一式	
	枠材	ＬＶＬ	一式	
	パネル厚	38mm	一式	
部品	ヒンジ	グレビティヒンジ	3	1602NB
	ステンレス巾木	SUS304 H60mm	一式	
	ジョイント用目地棒	ランバー芯ﾒﾗﾐﾝ化粧板仕上	一式	
	ロック	内開き：ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ(戸当り兼用)	2	1623
		内・外開き：表示ボルト	—	618W
	戸当たり帽子掛け	真鍮	2	LC-66
	引手	シルバー色塗装 抗菌(16mmネジ)	—	618C
	ＳＫ錠	真鍮	1	628-S40
	戸当たり	SUS304（戸先用）	1	663
	笠木レス戸当たり	SUS304（吊元用）	1	659
	専用接着剤	変成シリコーン樹脂系 333ml	3	SE-1

○構成部材一覧(メラフロント/セーフティ仕様/アルミFB笠木仕様)

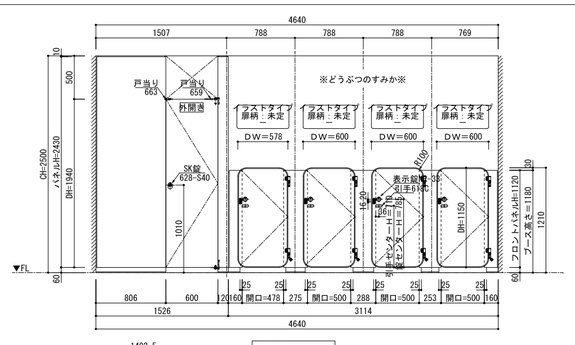
	部品名	仕様	数量	特注内容・品番
パネル	表面材	メラミン化粧板	一式	ﾊﾟﾈﾙ：柄未決定 扉：柄未決定
	エッジ	メラミン化粧板	一式	ﾊﾟﾈﾙ：柄未決定 扉：柄未決定
	アルミエッジ	アルミニウム	—	TAW-7100(ｼﾙﾊﾞｰ色)
	コア材	ＭＤＦ	一式	
	芯材	ペーパーコア	一式	
	枠材	ＬＶＬ	一式	
	パネル厚	38mm	一式	
部品	ヒンジ	グレビティヒンジ	1	1602NB
	ステンレス巾木	SUS304 H60mm	一式	
	フラットバー	アルミニウム	一式	シルバー色
	ジョイント用目地棒	ランバー芯ﾒﾗﾐﾝ化粧板仕上	一式	
	ＳＫ錠	真鍮	1	628-S40
	戸当たり	SUS304(戸先用) 笠木・ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ専用	1	LC-72
	戸当たり	SUS304・合成ｺﾞﾑ(吊元用) 笠木・ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ専用	1	LC-465N
	専用接着剤	変成シリコーン樹脂系333ml	1	SE-1

2階トイレブース詳細図

A2:図示



平面詳細図 S=1/50



B1面展開図　B2面展開図　B3面展開図　斜線部分～芯材補強　ア部詳細図 S=1/5

○構成部材一覧(まなブース セーフエッジ仕様/どうぶつのすみか)

	部品名	仕様	数量	特注内容・品番
パネル	表面材	メラミン化粧板	一式	—
	エッジ	壁パネル:樹脂エッジ	一式	白色
		ドアパネル:中空樹脂エッジ	一式	白色
	コア表面材	ＭＤＦ	一式	—
	芯材	ペーパーコア	一式	—
	枠材	ＬＶＬ	一式	—
	パネル厚	壁パネル:38mm	一式	K-6000KN
		ドアパネル:29mm	一式	柄:未定
部品	ヒンジ	グレビティヒンジ	4	HG-38-29(R・L)
	ステンレス巾木	SUS304 H60mm	一式	—
	ジョイント用目地棒	ランバー芯メラミン化粧板仕上	一式	—
	引手(OP)	シルバー色塗装 抗菌(16mmネジ)	4	618C
	表示錠付ラッチ錠(OP)	サテン仕上、非常解錠機能付	4	NR-33
	戸当たり	ゴム製(φ22×L25mm)	4	白色
	専用接着剤	変成シリコーン樹脂系333ml	4	SE-1

○構成部材一覧(メラフロント/セーフティ仕様/天井ライナー仕様)

	部品名	仕様	数量	特注内容・品番
パネル	表面材	メラミン化粧板	一式	ﾊﾟﾈﾙ：柄未決定 扉：柄未決定
	エッジ	メラミン化粧板	一式	ﾊﾟﾈﾙ：柄未決定 扉：柄未決定
	アルミエッジ	アルミニウム	—	TAW-7100(ｼﾙﾊﾞｰ色)
	コア材	ＭＤＦ	一式	
	芯材	ペーパーコア	一式	
	枠材	ＬＶＬ	一式	
	パネル厚	38mm	一式	
部品	ヒンジ	グレビティヒンジ	1	1602NB
	ステンレス巾木	SUS304 H60mm	一式	
	ジョイント用目地棒	ランバー芯ﾒﾗﾐﾝ化粧板仕上	一式	
	ロック	内開き：ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ(戸当り兼用)	—	1623
		内・外開き：表示ボルト	—	618W
	戸当たり帽子掛け	真鍮	—	LC-66
	引手	シルバー色塗装 抗菌(16mmネジ)	—	618C
	ＳＫ錠	真鍮	1	628-S40
	戸当たり	SUS304（戸先用）	1	663
	笠木レス戸当たり	SUS304（吊元用）	1	659
	専用接着剤	変成シリコーン樹脂系 333ml	1	SE-1

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

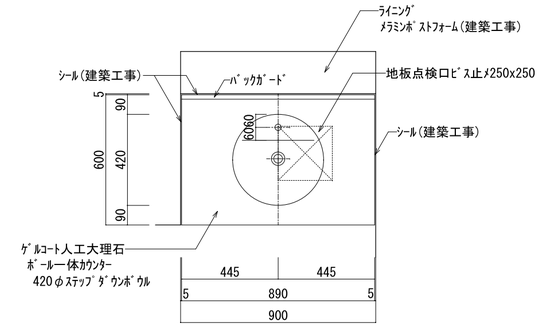
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（9）トイレブース	縮尺 図示
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長　課長　担当　製図	設計No.

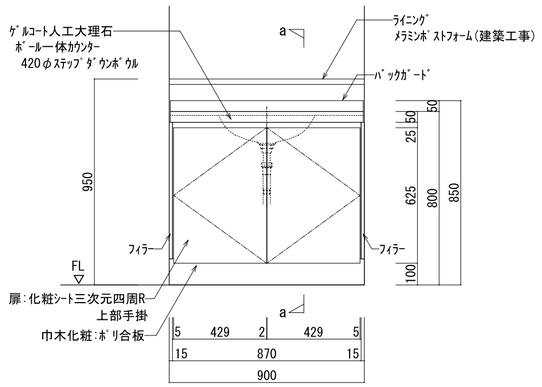
図面No. A-609

1階大人用トイレ洗面台詳細図

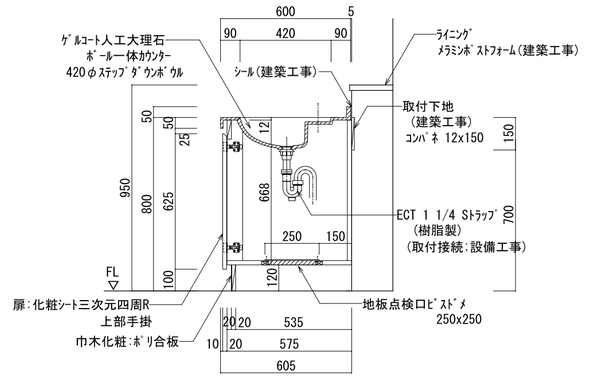
A2:1/20



平面図



立面図

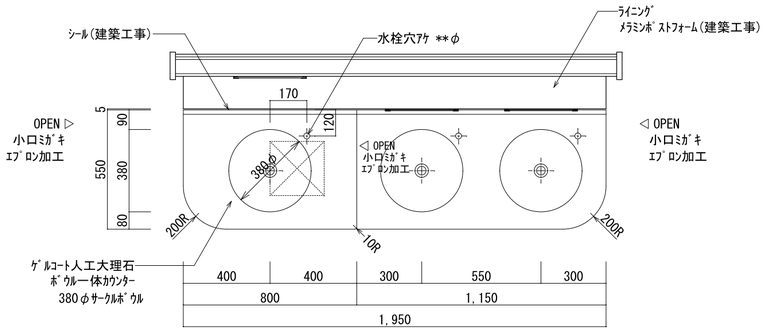


断面図

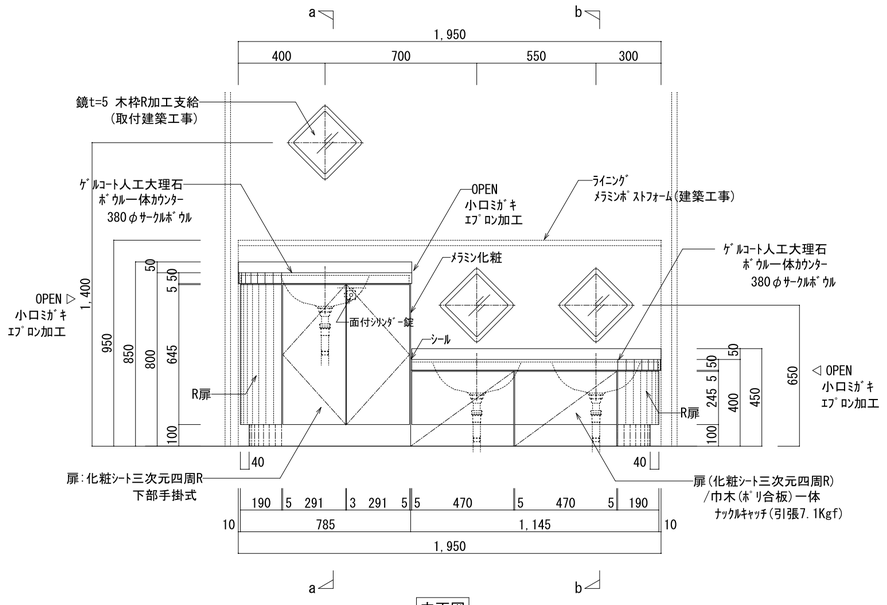
仕　様	
カウンター	ゲルコート人工大理石
ボウル	ゲルコート人工大理石　ESBC60R42
キャビネット　扉	化粧シート三次元四周R(共和ライフテクノ)
キャビネット本体/巾木	ポリ合板　5414色(白)

0・1歳児用トイレ洗面台詳細図

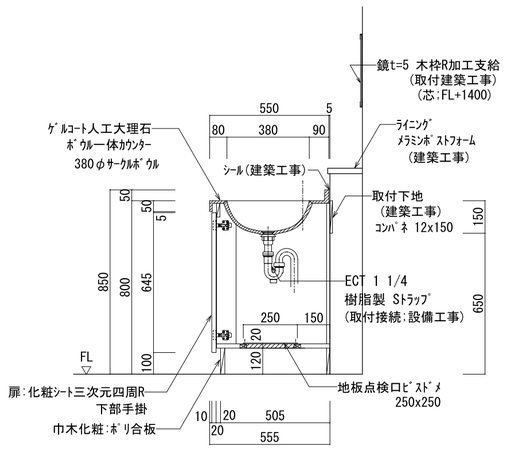
A2:1/20



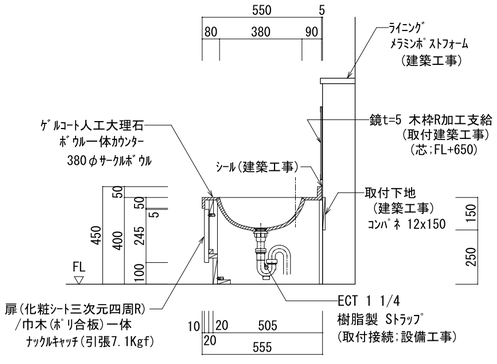
平面図



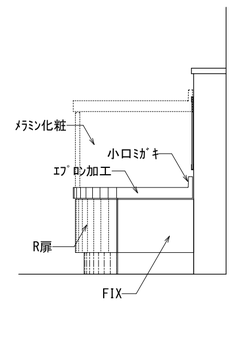
立面図



a-a断面図



b-b断面図



側面図

仕　様	
カウンター	ゲルコート人工大理石
ボウル	ゲルコート人工大理石　ESBC55R38
キャビネット　扉	化粧シート三次元四周R(共和ライフテクノ)
キャビネット本体/巾木	ポリ合板　5414色(白)

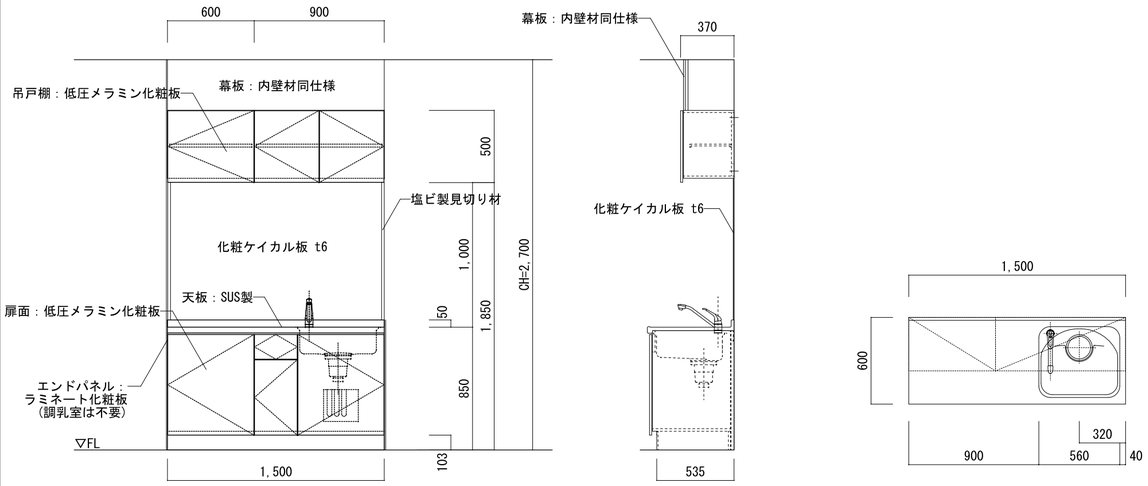
訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

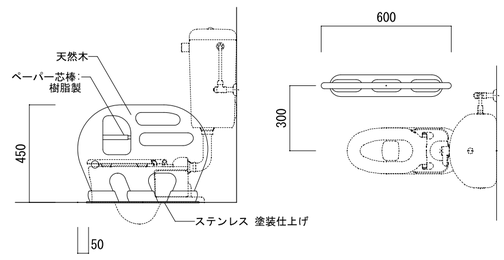
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（１０）1階洗面台
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A-610
部長　課長　担当　製図		設計No.	

流し台詳細図　A2:1/30



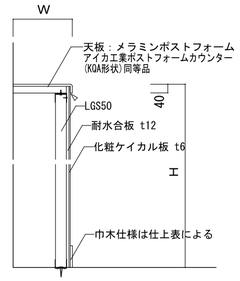
LIXIL ティオ ベーシックタイプ同等品

幼児用手摺詳細図　A2:1/20



TOTO「YYB10P2S」同等品

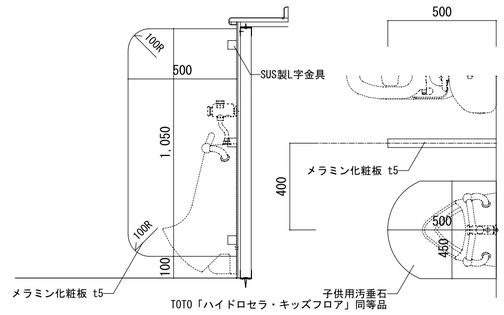
トイレ内ライニング詳細図　A2:1/20



※W寸法は平面詳細図による
※H寸法は展開図による

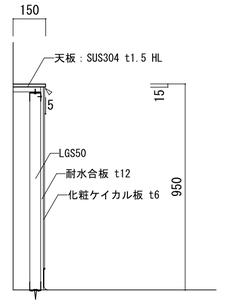
◁ シーリングを示す。

隔て板詳細図　A2:1/20



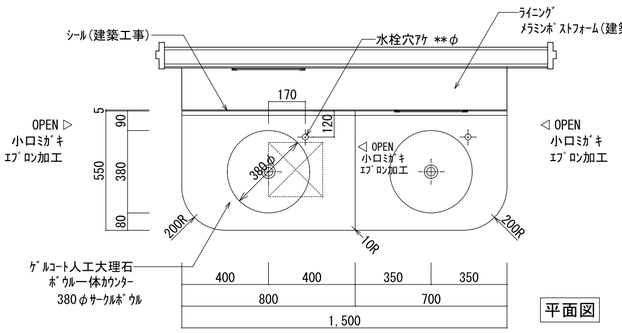
TOTO「ハイドロセラ・キッズフロア」同等品

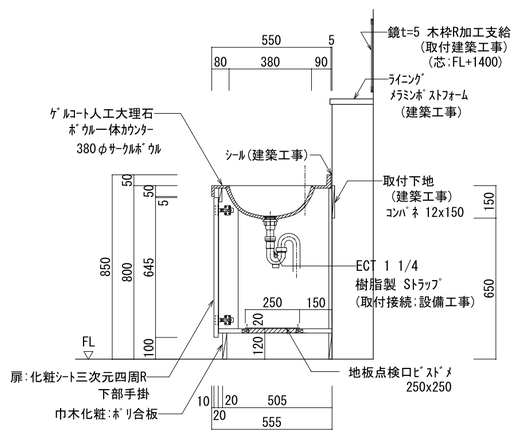
調理室ライニング詳細図　A2:1/20

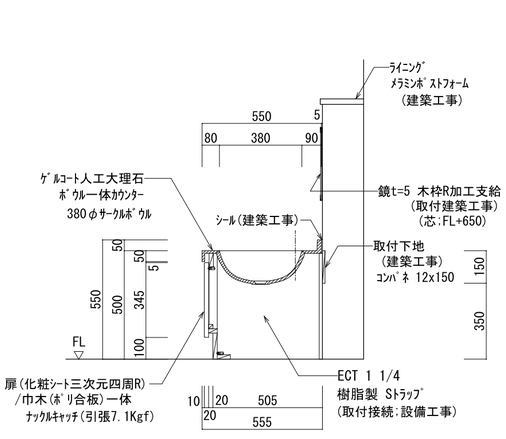


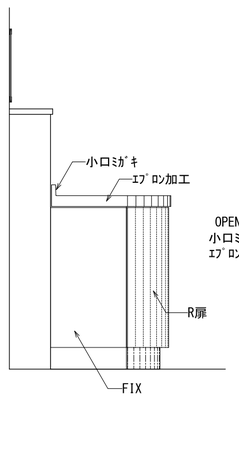
◁ シーリングを示す。

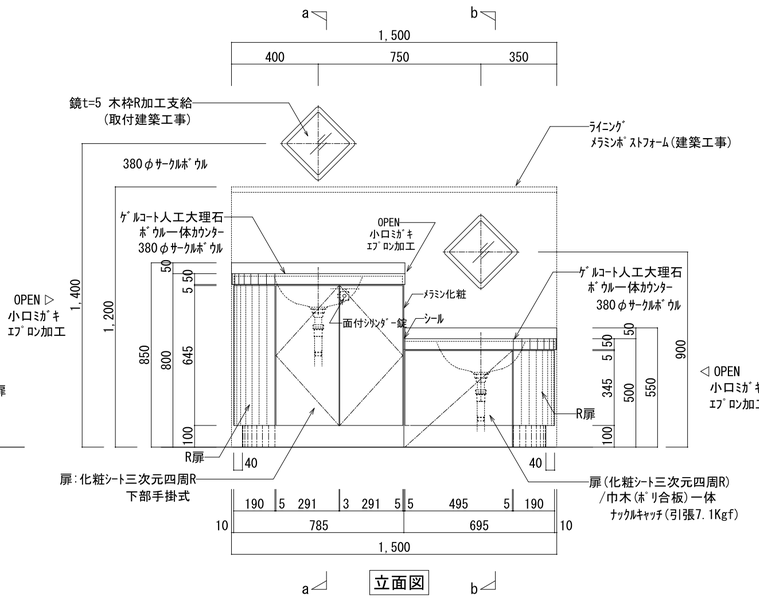
2階トイレ洗面台詳細図　A2:1/20

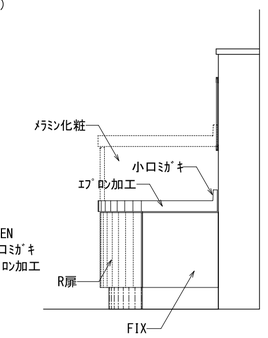












仕　様	
ｶｳﾝﾀｰ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石
ﾎﾞｳﾙ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石　ESBC55R38
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R(共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ)
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体/巾木	ﾎﾟﾘ合板　5414色(白)

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

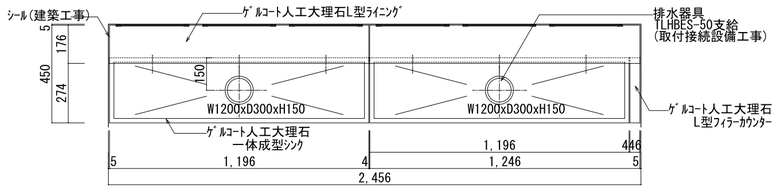
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（１１）2階洗面台・水廻り
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

縮尺	図示
図面No.	A-６１１
設計No.	

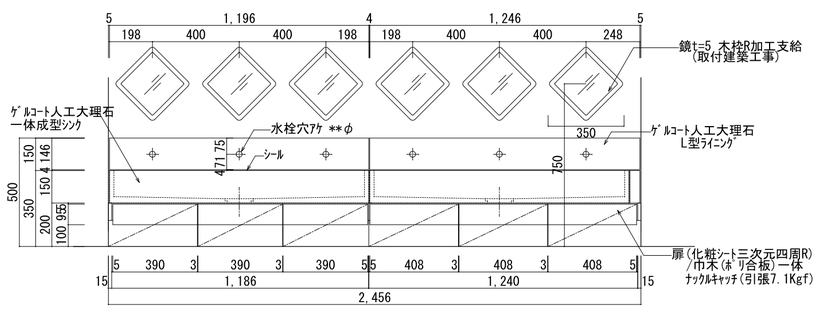
1階廊下手洗い詳細図

A2:1/20

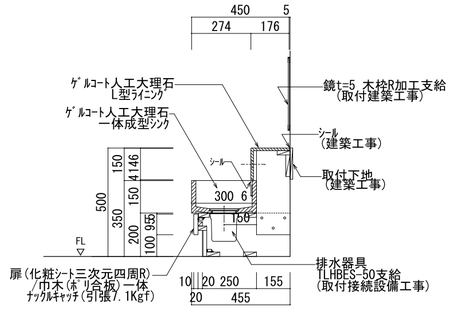
仕　様	
ﾗｲﾆﾝｸﾞ･ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石 ETC1203015　E**** (********)
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R(共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ)
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体/巾木	ﾎﾟﾘ合板　5414色(白)



平面図



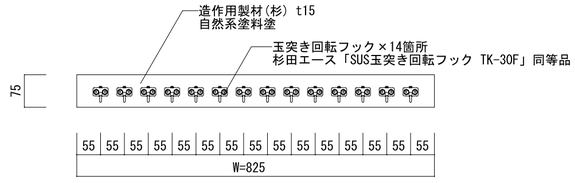
立面図



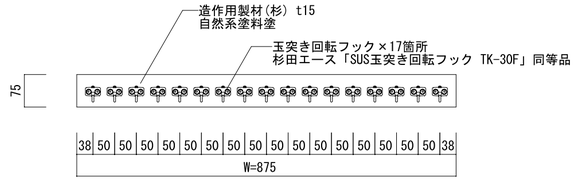
断面図

ハンカチ掛け詳細図

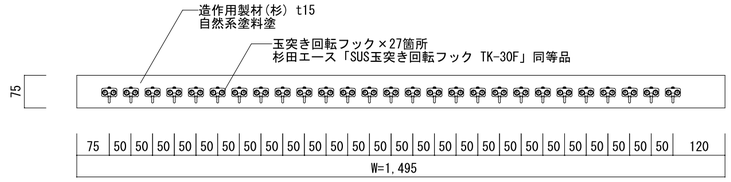
A2:1/10



1階廊下　1箇所



0・1歳児トイレ　1箇所



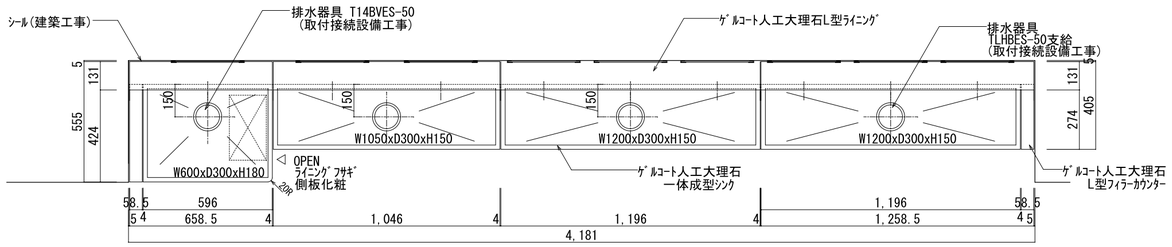
2階廊下　2箇所

※Wは現場状況に合わせて調整のこと。

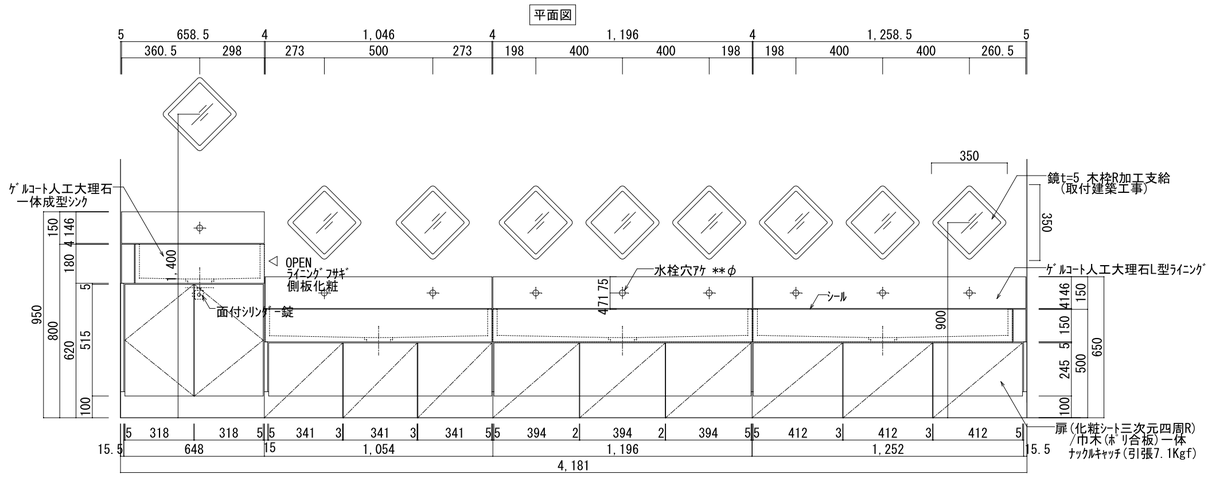
2階廊下手洗い詳細図

A2:1/20

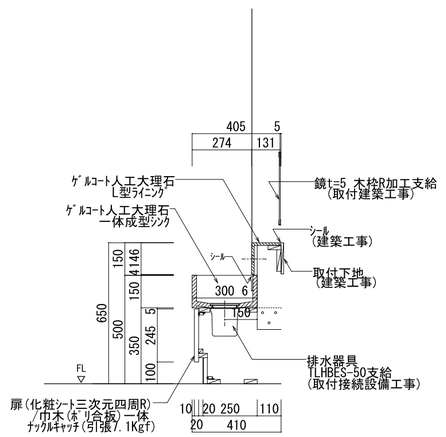
仕　様	
ﾗｲﾆﾝｸﾞ･ｼﾝｸ	ｹﾞﾙｺｰﾄ人工大理石 ETC603018　E***** (*********) ETC1053015　E***** (*********) ETC1203015　E***** (*********)
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ　扉	化粧ｼｰﾄ三次元四周R(共和ﾗｲﾌﾃｸﾉ)
ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ本体/巾木	ﾎﾟﾘ合板　5414色(白)



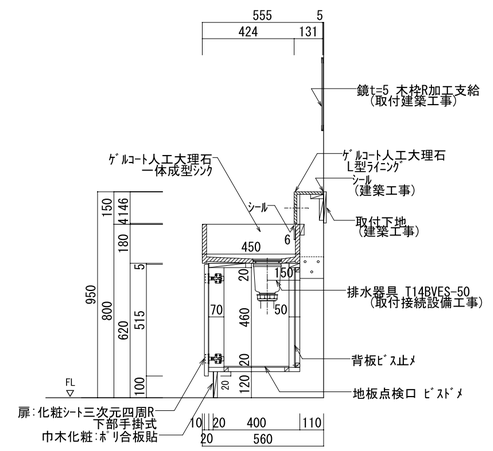
平面図



立面図



子供用手洗い断面図



大人用手洗い断面図

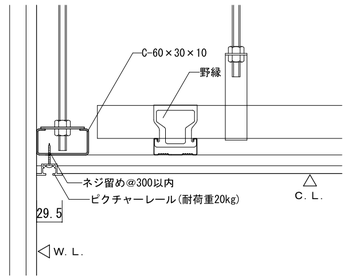
訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

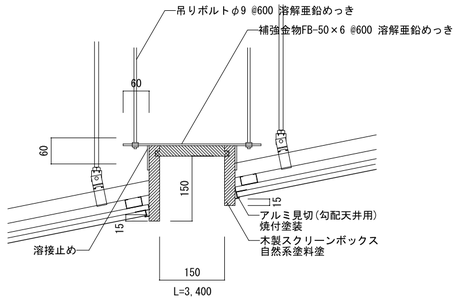
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（１２）廊下手洗い	縮尺　図示
作成 2025 年 1 月 31 日	承認	部長	課長	担当　製図
		設計No.		図面No. A-６１２

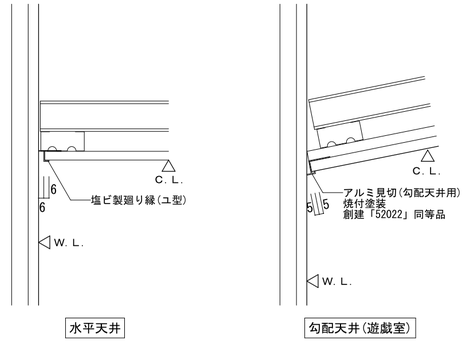
ピクチャーレール取付詳細図　A2:1/5



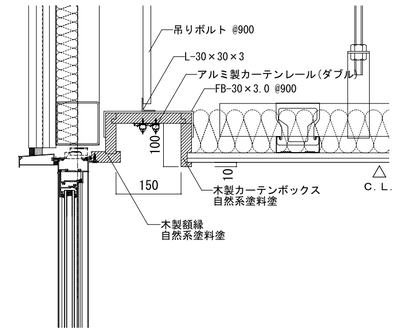
スクリーンボックス詳細図　A2:1/10



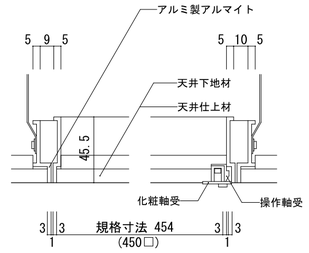
廻り縁詳細図　A2:1/5



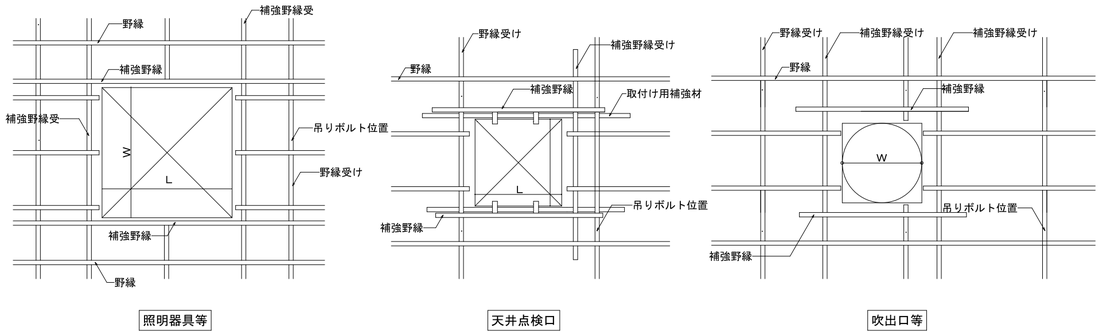
カーテンボックス詳細図　A2:1/10



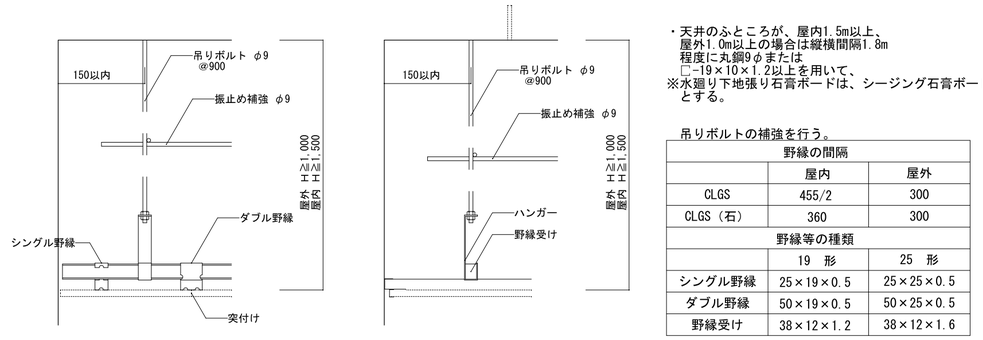
天井点検口詳細図　A2:1/3



天井開口補強詳細図　A2:1/30



天井詳細図　A2:1/10

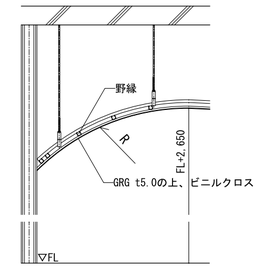


・天井のふところが、屋内1.5m以上、
屋外1.0m以上の場合は縦横間隔1.8m
程度に丸鋼9φまたは
□-19×10×1.2以上を用いて、
※水廻り下地張り石膏ボードは、シージング石膏ボード
とする。

吊りボルトの補強を行う。

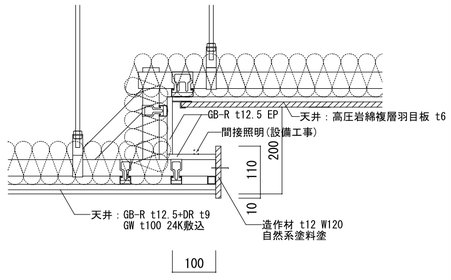
野縁の間隔		
	屋内	屋外
CLGS	455/2	300
CLGS（石）	360	300
野縁等の種類		
	19　形	25　形
シングル野縁	25×19×0.5	25×25×0.5
ダブル野縁	50×19×0.5	50×25×0.5
野縁受け	38×12×1.6	38×12×1.6

アーチ天井　A2:1/10

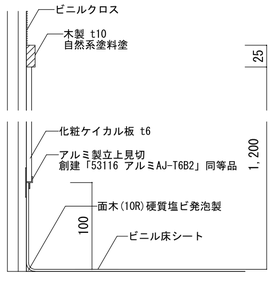


Rは天井伏図参照。

玄関上がり天井詳細図　A2:1/10

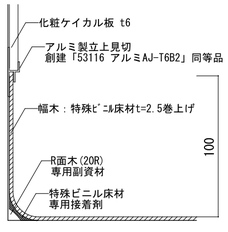


床材巻上詳細図　A2:1/5

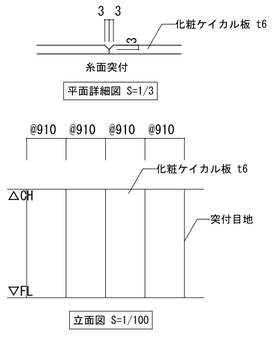


特殊防滑シート仕上詳細図　A2:1/3

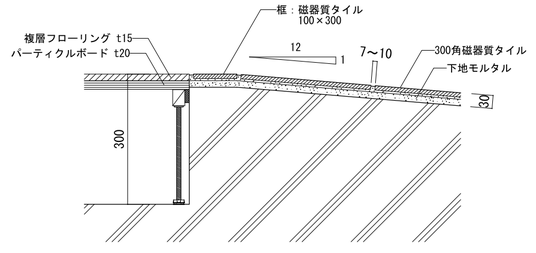
※ 設備配管立上部については、製品施工要領に準じ、
防水性に配慮した施工を行うこと



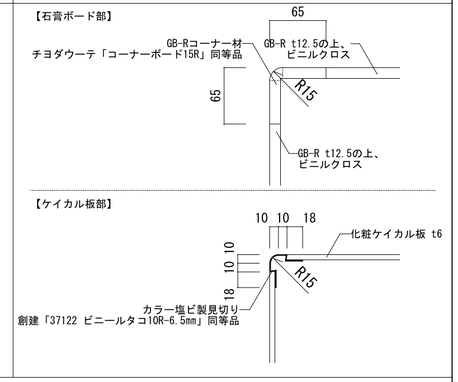
化粧ケイカル目地処理詳細図　A2:図示



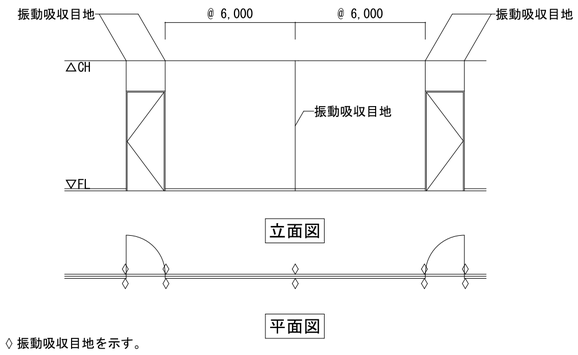
玄関框詳細図　A2:1/10



壁出隅詳細図　A2:1/5

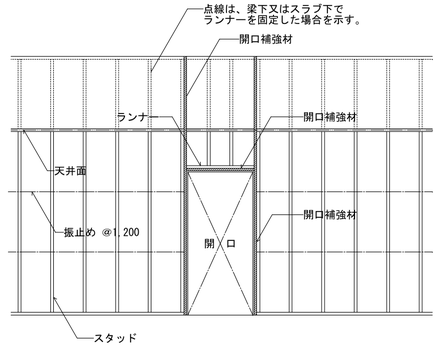


ボードひび割れ対策　A2:1/200

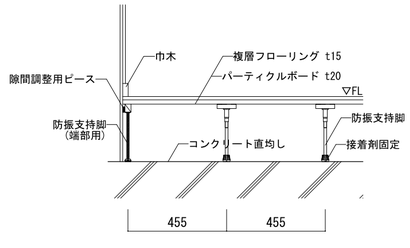


◊ 振動吸収目地を示す。

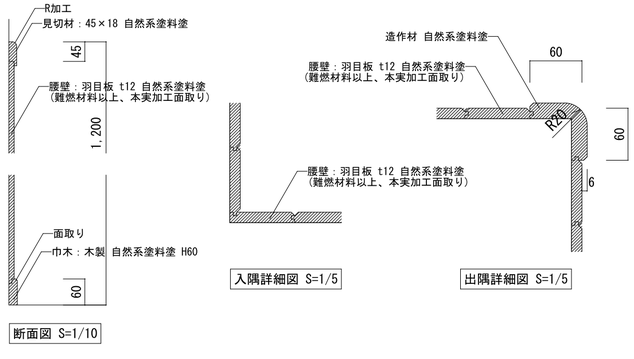
軽量鉄骨間仕切壁開口補強詳細図　A2:1/60



乾式二重床詳細図　A2:1/20



腰壁詳細図　A2:図示



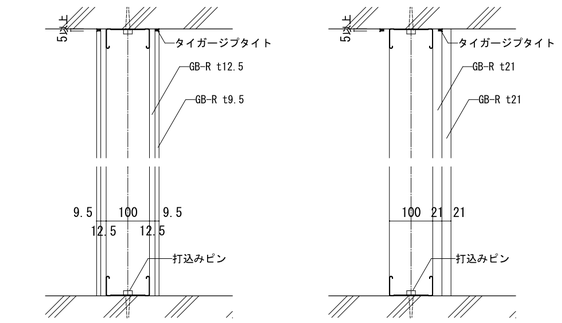
訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（１３）雑部１
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A-６１３
部長　課長　担当　製図		設計No.	

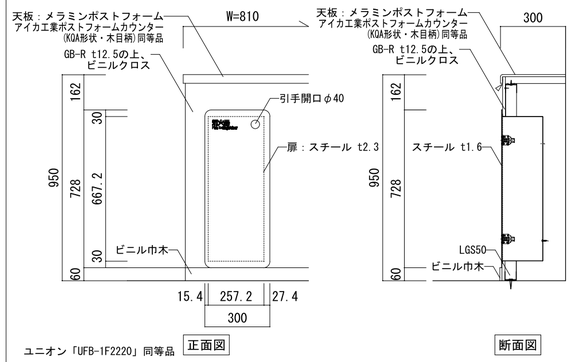
114条区画壁詳細図　A2:1/10



・H12建告1358号仕様
※LGS下地、GB-Rはスラブまで施工

・片面耐火1時間構造　認定番号「FP060NP-0007」
※LGS下地、GB-Rはスラブまで施工

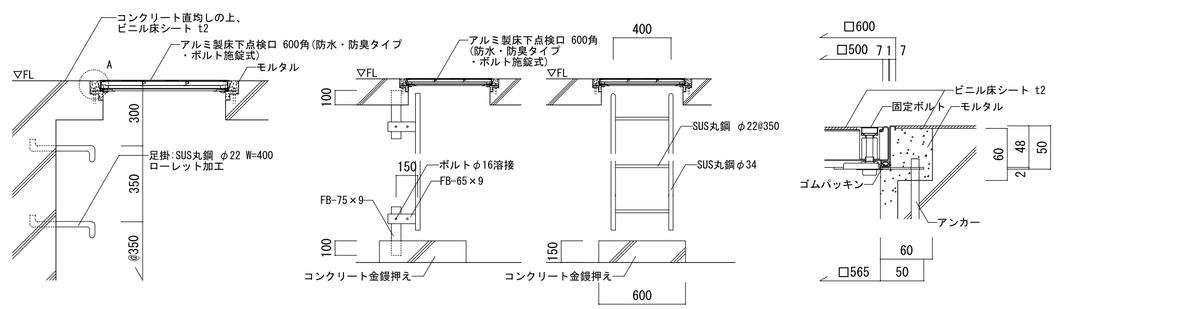
職員室カウンター詳細図　A2:1/20



ユニオン「UFB-1F2220」同等品

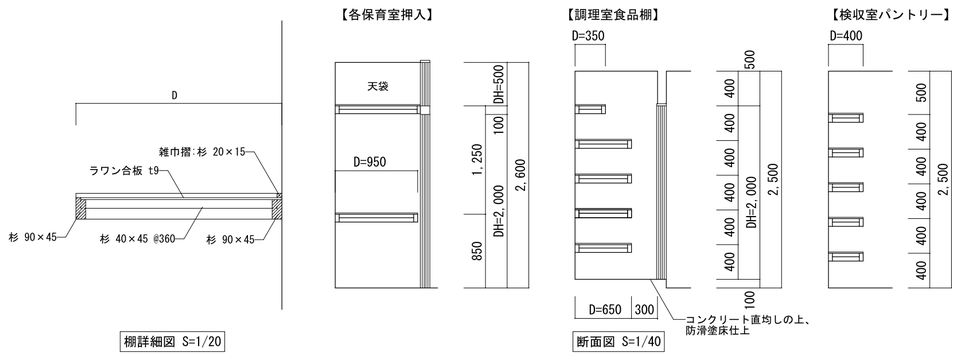
正面図　　断面図

床下点検口・タラップ詳細図　A2:図示



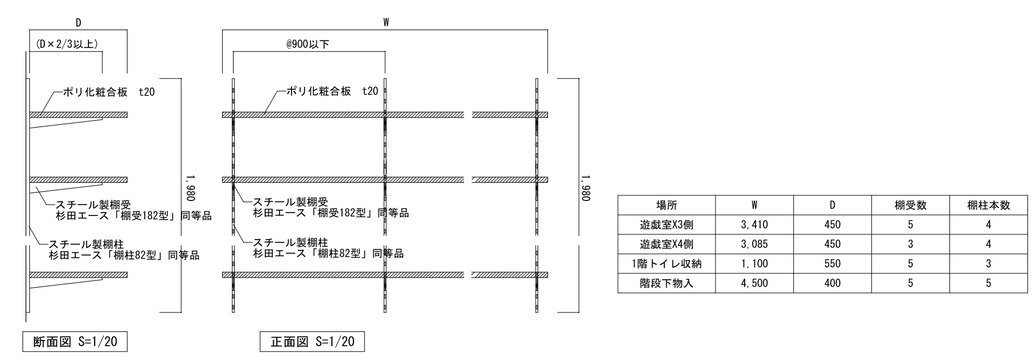
標準断面詳細図 S=1/20　　0・1歳児トイレ S=1/30　　A部詳細図 S=1/5

棚詳細図　A2:図示



棚詳細図 S=1/20　　断面図 S=1/40

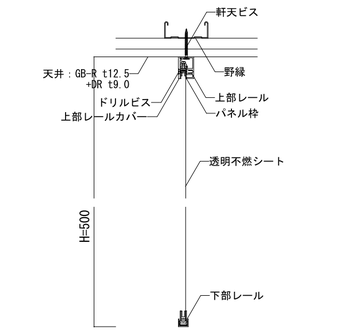
可動棚詳細図　A2:図示



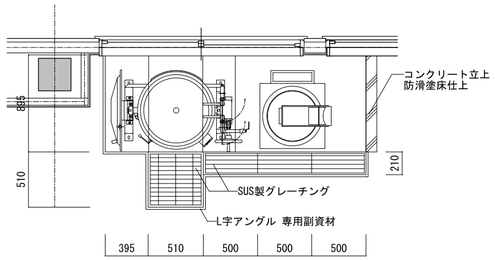
場所	W	D	棚受数	棚柱本数
遊戯室X3側	3,410	450	5	4
遊戯室X4側	3,085	450	3	4
1階トイレ収納	1,100	550	5	3
階段下物入	4,500	400	5	5

断面図 S=1/20　　正面図 S=1/20

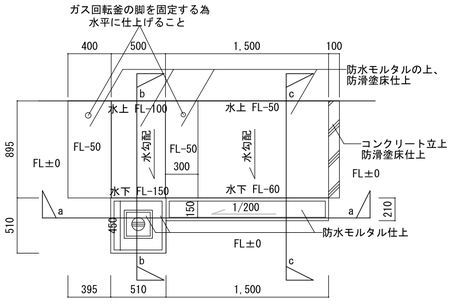
防煙垂れ壁詳細図　A2:1/5



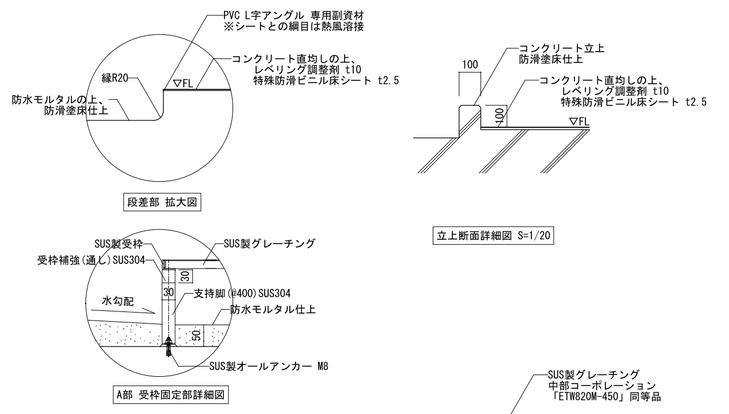
回転窯下詳細図　A2:図示

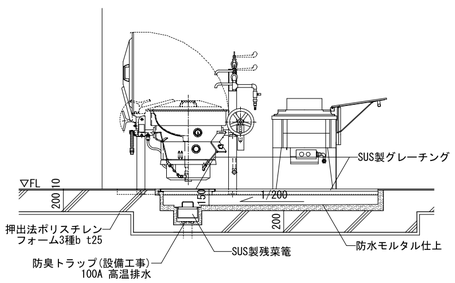


平面詳細図 S=1/40

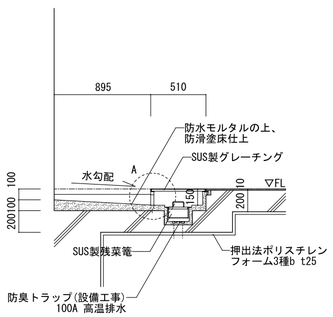


床高さ平面詳細図 S=1/40

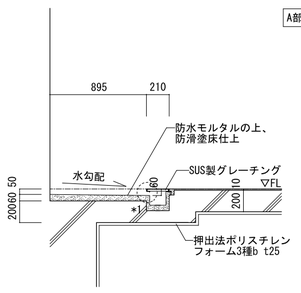




a-a断面図 S=1/40

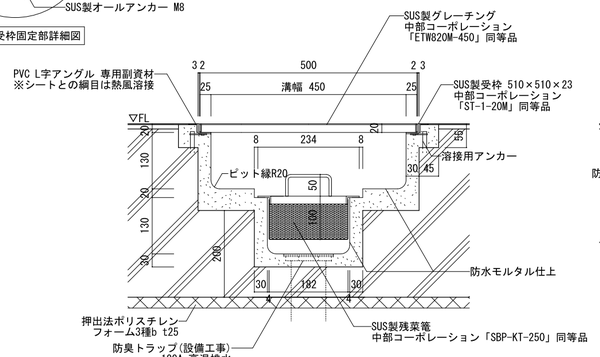


b-b断面図 S=1/40



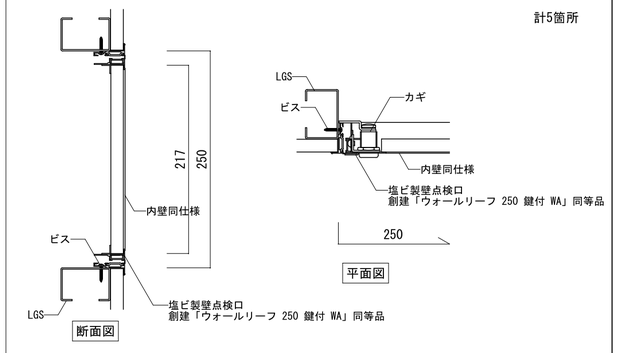
*1 水が流れるように受枠下は開放のこと。

c-c断面図 S=1/40

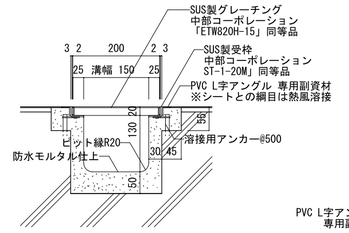


集水桝詳細図 S=1/10

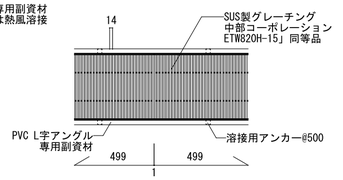
アルミ製壁点検口断面詳細図　A2:1/5



平面図　　断面図



側溝断面詳細図 S=1/10



側溝平面詳細図 S=1/20

訂	月　日	事　項															
正																	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

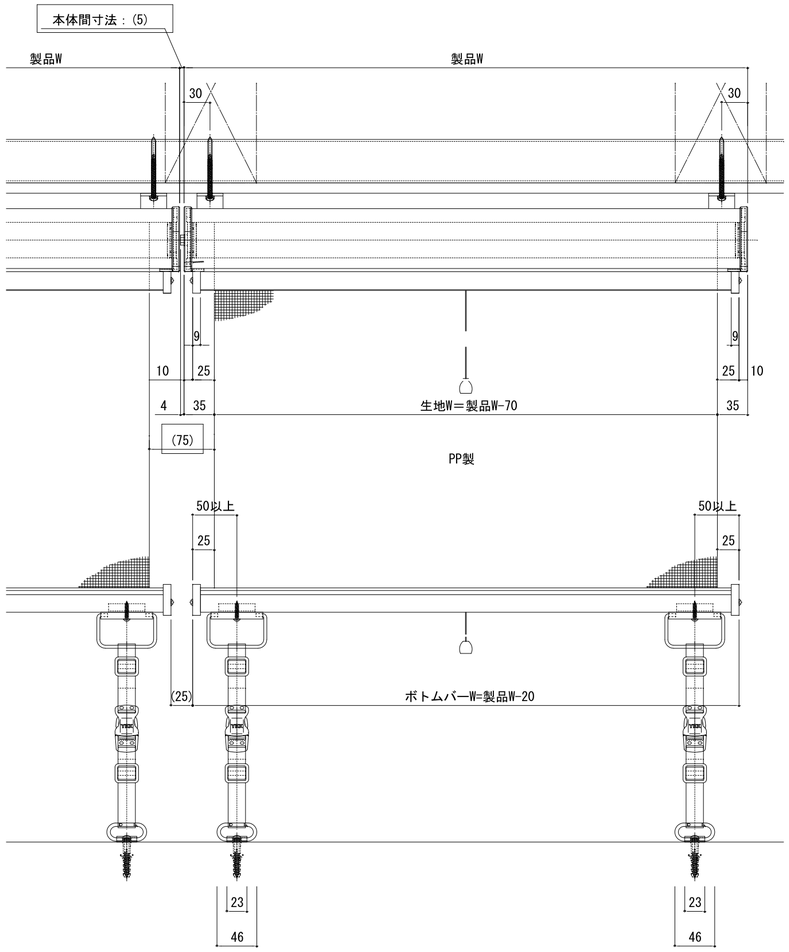
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日　承認
図面名称：雑詳細図(１４) 雑部2
部長　課長　担当　製図
縮尺：図示
設計No.
図面No.：A-６１４

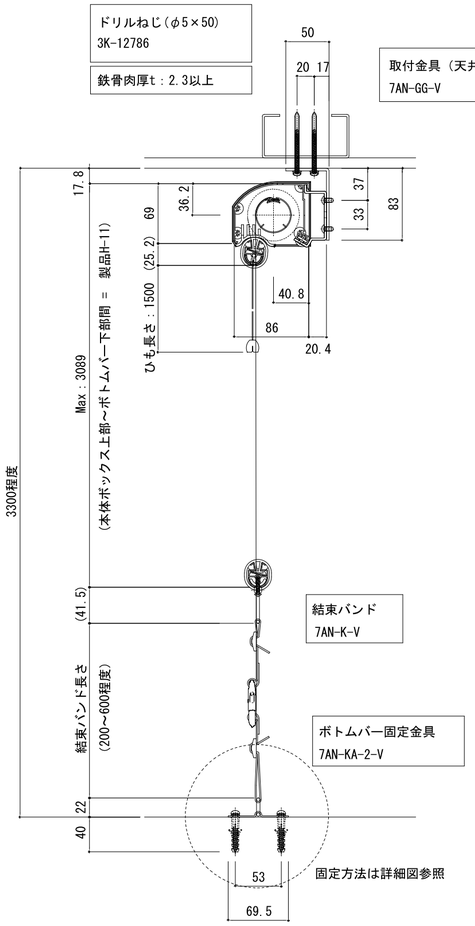
洋風すだれ参考図

図示

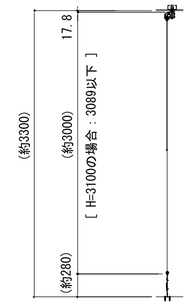
※YKK AP「アウターシェード(スタンダードタイプ)RN」同等品



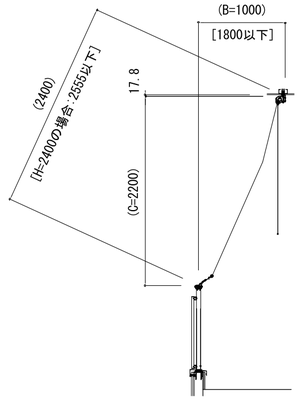
正面図 S=1/5



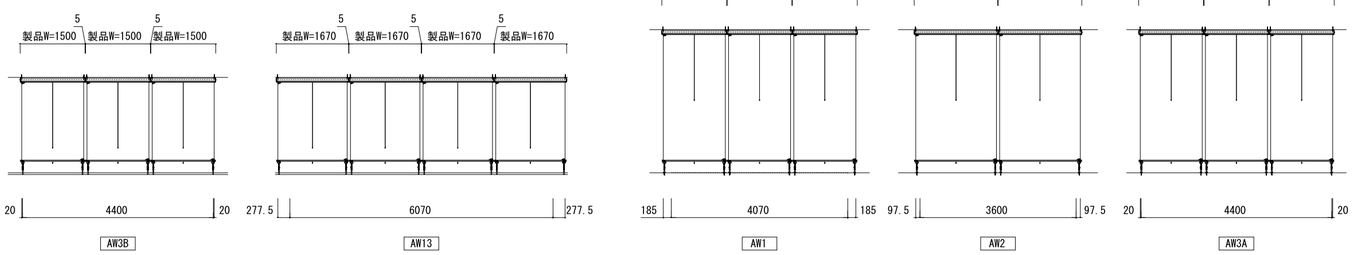
断面図 S=1/5



1階断面図 S=1/50



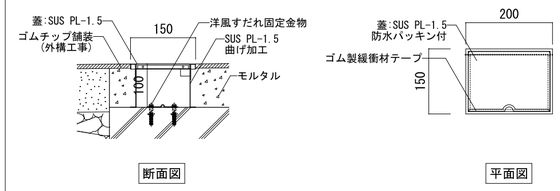
2階断面図 S=1/50



割付図 S=1/100

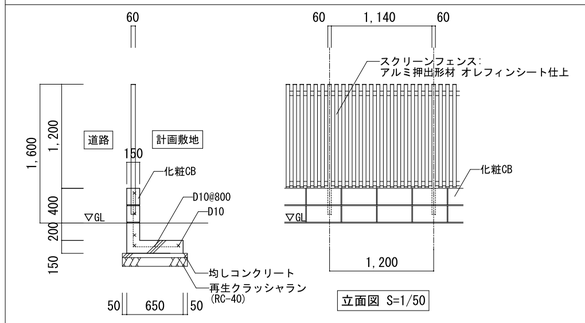
小園庭 洋風すだれ固定部 SUS製ボックス詳細図

A2:1/10



北側スクリーンフェンス詳細図

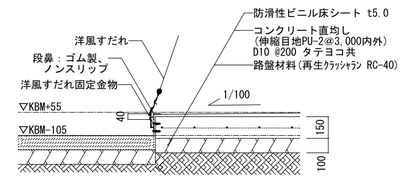
A2:1/50



四国化成「ハイパーテーションAI型 MB」同等品

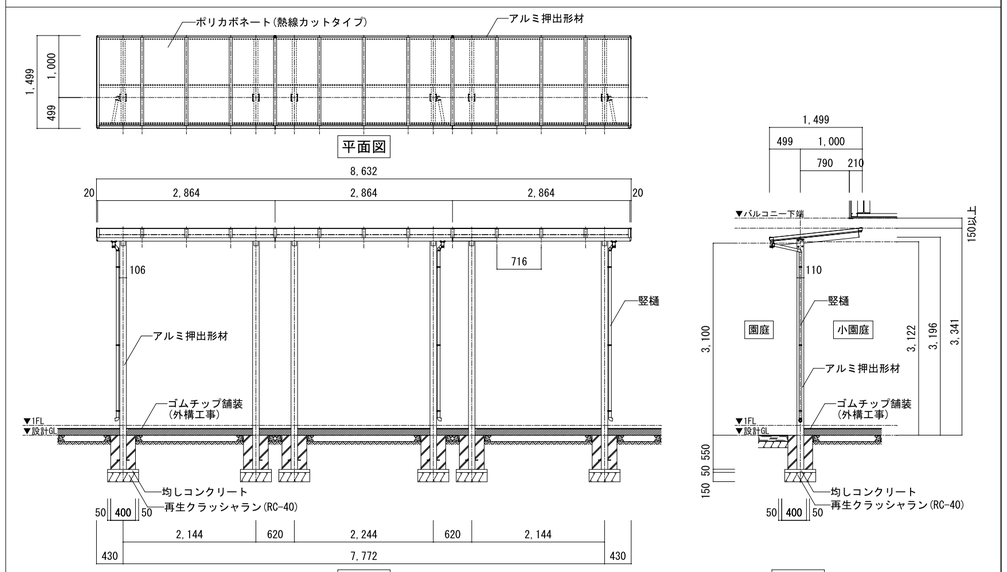
テラス断面詳細図

A2:1/30



小園庭雨よけ詳細図

A2:1/70



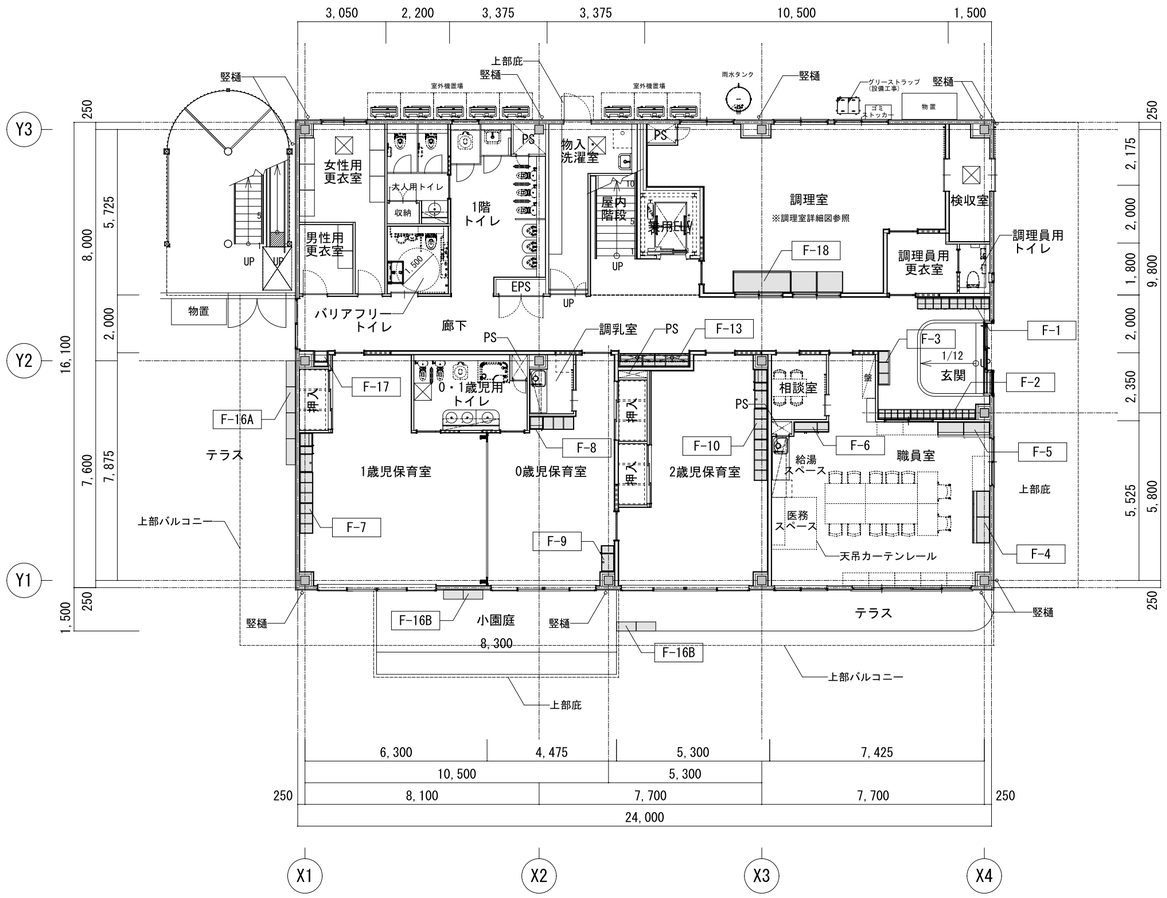
YKK AP「レセパ Tタイプ(ロング柱 3連結 1.5間＋1.5間＋1.5間 5尺 積雪20cm (600N/㎡))」同等品

訂	月 日	事 項		
正				

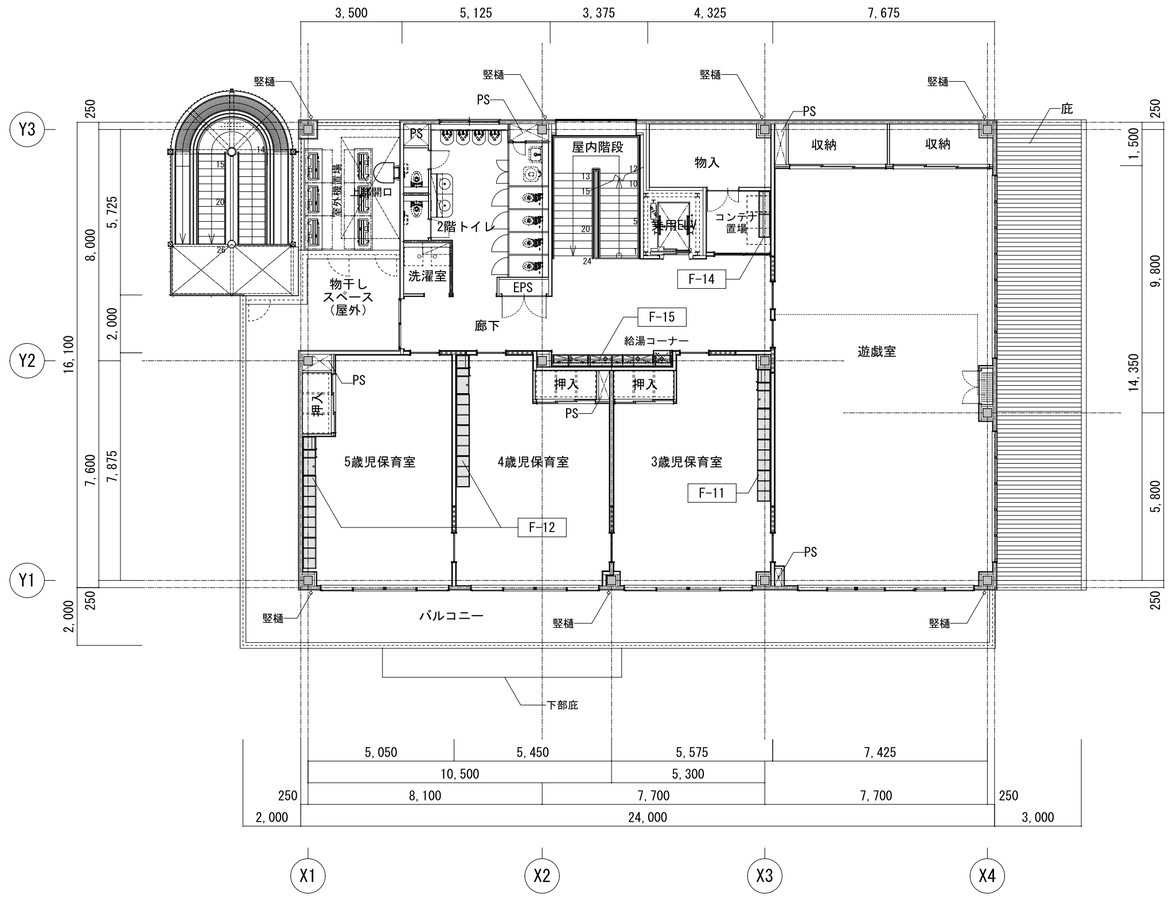
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

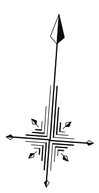
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	雑詳細図（１５）
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A-６１５
部長	課長 担当 製図	設計No.	



1階平面図 S=1/150



2階平面図 S=1/150



訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	家具キープラン
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.	A-621
設計No.			

木製家具標準仕様　『特記無き場合は下記の仕様とする』

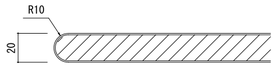
地球環境問題（リサイクル、温暖化等）に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの気中濃度を下げる事に主眼を置き、
各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為に以下の仕様とする。

樹脂コート化粧 パーティクルボード （ECOボードプラス）	ホルムアルデヒド放散量「0.04mg/l」以下とする。 マテリアルリサイクル可能品（メラミン樹脂含浸の低圧メラミン等は使用不可） 「JIS A 5908」適合品の国内生産品とする。 表面材：単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
樹脂コート化粧MDF （NEOボードプラス）	JIS-F☆☆☆☆適合品 MDFは国産木材の使用比率70%以上とし、「間伐材マーク」、「木づかいサイクルマーク」取得品とする 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 表面材：単色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高意匠ウレタンコート
ポリエステル 化粧合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
各種合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
接着剤	厚生労働省のＶＯＣ指定13物質を含んでいないものを使用する。　F☆☆☆☆適合品

本体	主材：樹脂コート化粧パーティクルボードｔ20（ECOボードプラス） 背板、地板取外し部：樹脂コート化粧MDF（NEOボードプラス）t4mm
木口	本体見掛り：非塩ビ化粧樹脂シートｔ1.0貼 本体見隠れ：非塩ビ化粧樹脂シートｔ0.45貼
天板	高圧メラミン化粧板貼　ポストフォーム加工 ※ポストフォーム天板に使用するメラミンの厚さはt0.8以上とする。
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボードｔ20（ECOボードプラス）、木口：非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 ワンタッチ脱着式スライド丁番（キャッチ機能付）　105°開き ガラス戸：透明強化ガラスｔ4mm、樹脂製セーフティーガラス押え
木製引違戸 （板戸）	樹脂コート化粧パーティクルボードｔ20（ECOボードプラス）、木口：非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 樹脂製戸車(立付け調整可能)、PP樹脂製空気孔付舟底引手、硬質樹脂製敷居・鴨居
引出	口板：樹脂コート化粧パーティクルボードｔ20（ECOボードプラス）、木口：非塩ビ化粧樹脂シートt0.45貼 底板、先板：樹脂コート化粧パーティクルボード 側板兼用鋼製スライドレール、口板取付けブラケット（調整機能付）、品名差付ラインハンドル
可動式棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ（NEOボードプラス） 棚板底面にずれ止めのダボジャクリを施すこと。 ※W600以上の棚板は強度を考慮し、パーティクルボードの使用は不可とする。 　また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。 棚受けダボ：φ9mmネジ込式（W1/4）　アルミ製ニッケルメッキ　P=60mm　3段
台輪	ポリエステル化粧合板貼　　下地：ランバーコア合板ｔ15（四方組） ※家具側板を床に接地させる前巾木のみは不可とする。 ※壁面固定の家具は不陸調整の上、台輪化粧材「後貼」とする。
共　通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産製品、及び監理製品とする。 ※施工承認時に製作家具のカタログを提出し、監理者へ商品説明をおこなうこと。 ※「西尾家具工芸社」製品、又は同等品以上とすること。 ※製作家具本体は国内生産品とする。

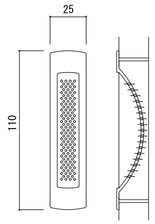
天板 詳細図

腰下天板

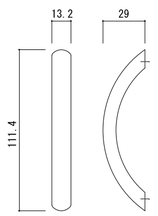


把手、引手 詳細図

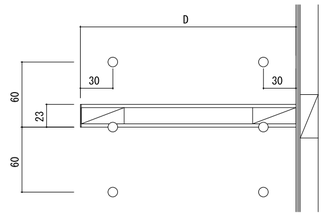
PP製空気孔付舟底引手



ABS製ハンドル

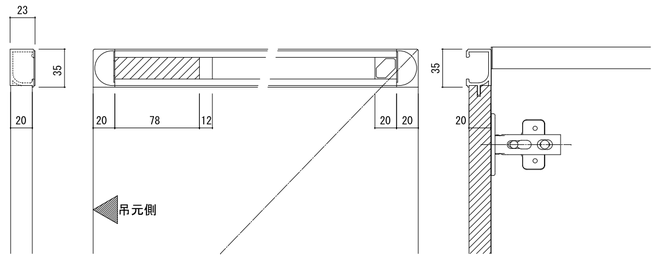


可動棚板 詳細図

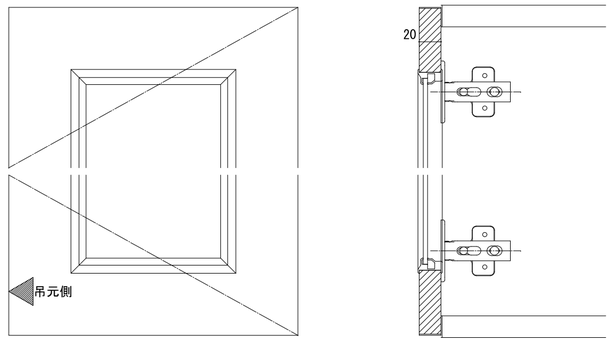


※W600以上の棚板は強度を考慮し、
　パーティクルボードの使用は不可とする。
　また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。

開戸 詳細図



開ガラス戸 詳細図

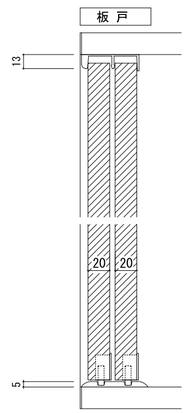


本体、棚板　木口仕上 詳細図

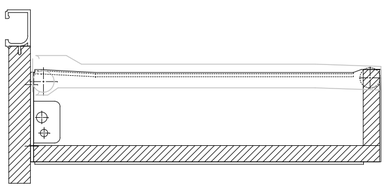
標準本体見え掛り

標準本体見隠れ

引違戸 詳細図

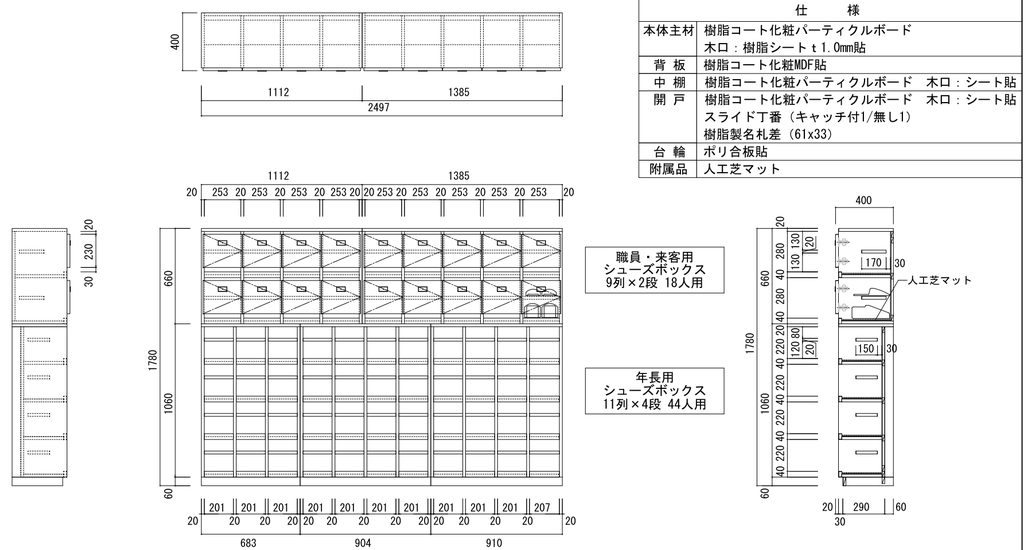


引出 詳細図（側板兼用鋼製スライドレール仕様）



F-1　1階　玄関　年長用・職員・来客用シューズボックス　1ヶ所

品名	年長用・職員・来客用シューズボックス
品番	YHSB-W2.A.B+GST-SD1.B.S.ZZ
仕　様	
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼
背　板	樹脂コート化粧MDF貼
中　棚	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼
開　戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番（キャッチ付1/無し1） 樹脂製名札差（61x33）
台　輪	ポリ合板貼
附属品	人工芝マット



月　日	事　項		
訂			
正			

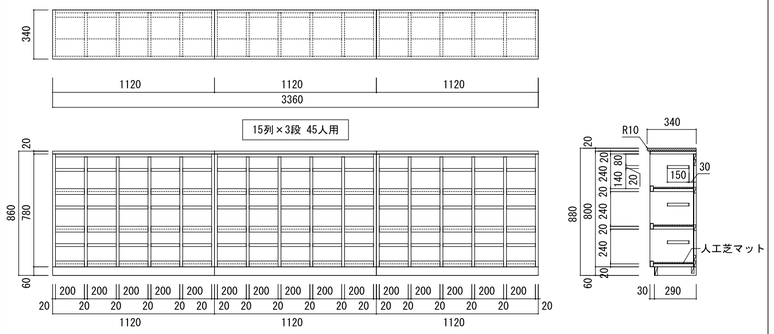
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

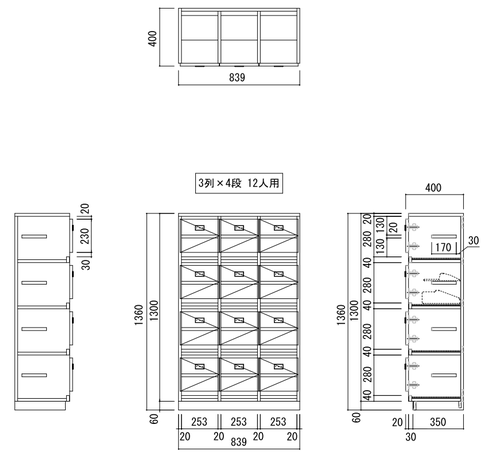
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	家具詳細図（１）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図
縮尺	A2:1/30 A3:1/42	図面No.	A-622
設計No.			

F-2　1階　玄関　年少用シューズボックス　1ヶ所

品名	年少用シューズボックス	品番	YHSB-W1.A.ZZ
仕様			
天板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工		
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
中棚	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼		
台輪	ポリ合板貼		
附属品	人工芝マット		



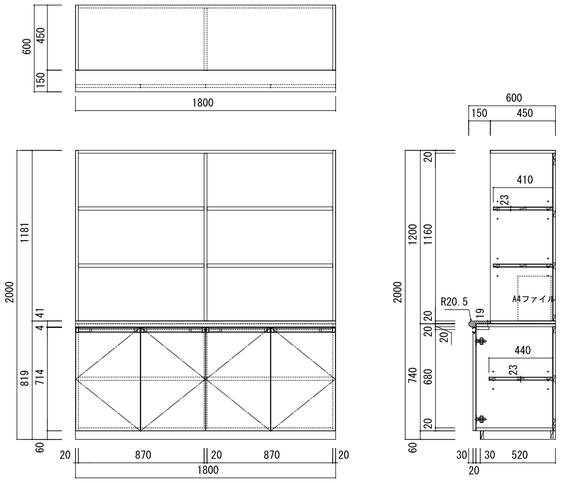
F-3　1階　玄関　職員・来客用シューズボックス　1ヶ所



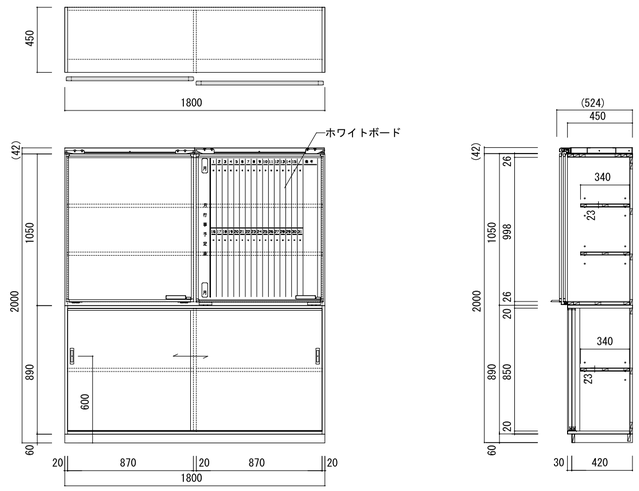
※仕様はF-1参照のこと

F-4　1階　職員室　収納戸棚　1ヶ所

品名	収納戸棚	品番	NKB-8.A
仕様			
中天	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工		
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、品名差付ラインハンドル		
棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		
台輪	ポリ合板貼		



F-5　1階　職員室　スライドボード付収納戸棚　1ヶ所



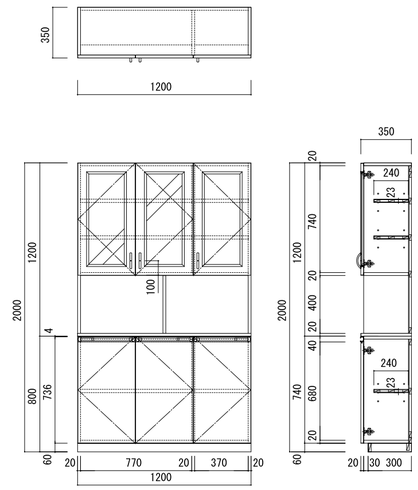
品名	スライドボード（無地）	品番	BSW-SB1.B.DB
仕様			
ボード	無地　暗線入り　（スチールホワイト色） 上吊金物		
備考	ダブル用後列		

品名	スライドボード（月予定）	品番	BSW-SB2.B.DF
仕様			
ボード	月予定　（スチールホワイト色） 上吊金物、チョーク受け		
備考	ダブル用前列		
附属品			
マーカー	黒×1、青×1、赤×1	3	
イレーザー		1	
カラーマグネット	赤×2、黄×2	4	

品名	レールセット	品番	BSW-RS.D
仕様			
本体	スチール製　メラミン焼付塗装（ペールグレー色）		
レール	アルミ押出成型品　アルマイト仕上		
備考	ダブル用		

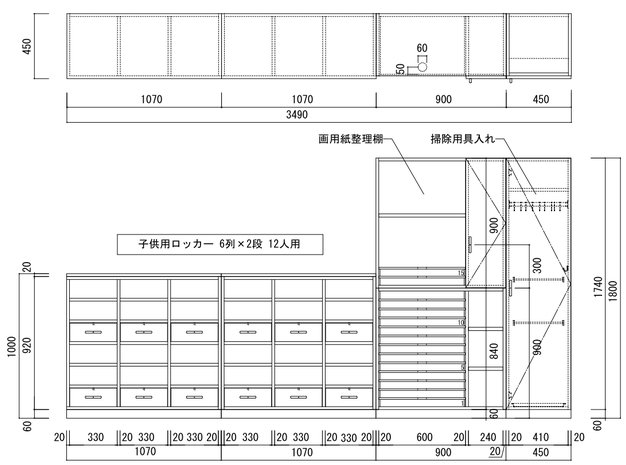
品名	スライドボード付収納戸棚	品番	BSW-WS
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 一部 樹脂コート化粧MDFフラッシュ 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
引違戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 樹脂成型レール、調整式戸車、樹脂製空気孔付舟底引手 引き残しストッパー		
棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：樹脂シートｔ1.0mm貼 棚ダボφ9（3段）		
台輪	ポリ合板貼		

F-6　1階　職員室　食器戸棚　1ヶ所

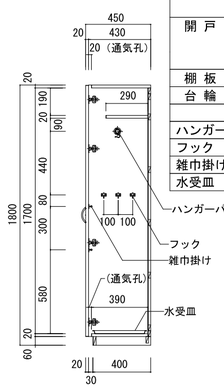


品名	食器戸棚	品番	BUW-KB1.A.ZZ
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
開戸（ガラス戸）	枠組：樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 ガラス：透明強化ガラスｔ4mm、樹脂製ガラス押え縁 スライド丁番(キャッチ付)、ABS樹脂製ハンドル(白)		
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、品名差付ラインハンドル		
棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		
台輪	ポリ合板貼		

F-7　1階　1歳児用保育室　掃除用具入れ、画用紙整理棚、子供用ロッカー　1ヶ所

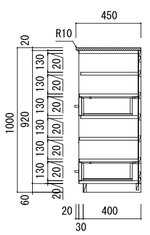


品名	掃除用具入れ	品番	NNB-3Y.D
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番、ABS樹脂製ハンドル(白) マグネットキャッチ		
棚板	樹脂コート化粧パーティクルボード		
台輪	ポリ合板貼		
附属品			
ハンガーパイプ	ステンレス巻パイプφ25(Sカン9ヶ付)	1	
フック	玉付回転フック(TK-30)	3	
雑巾掛け(戸裏)	ステンレス巻パイプφ9.5(L350)	2	
水受皿	ステンレス水受皿（373×373×23）	1	



品名	画用紙整理棚	品番	TCB-19.ZZ
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
棚板（取外し式）	樹脂コート化粧MDF貼　木口:テープ貼		
棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		
台輪	ポリ合板貼		

品名	子供用ロッカー	品番	YHR-W7.C.P
仕様			
天板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工		
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
引出	口板：樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 内部：樹脂コート化粧パーティクルボード 底板：樹脂コート化粧MDFｔ4mm ABS樹脂製ハンドル(白)		
台輪	ポリ合板貼		



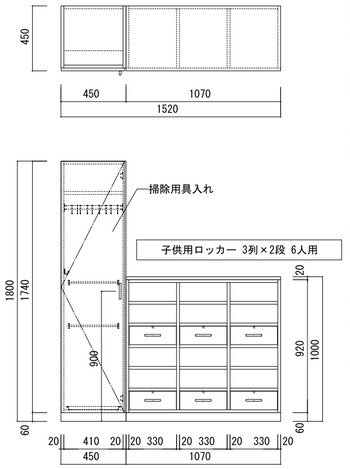
訂正	月　日	事　項		

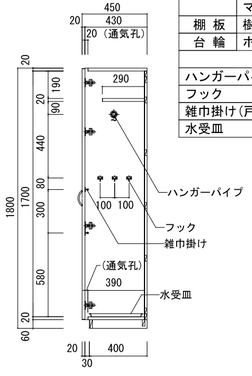
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	家具詳細図（２）	縮尺	A2:1/30 A3:1/42	図面No.	A-623
作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.

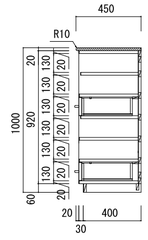
F-8　1階　0歳児用保育室　掃除用具入れ、子供用ロッカー　1ヶ所



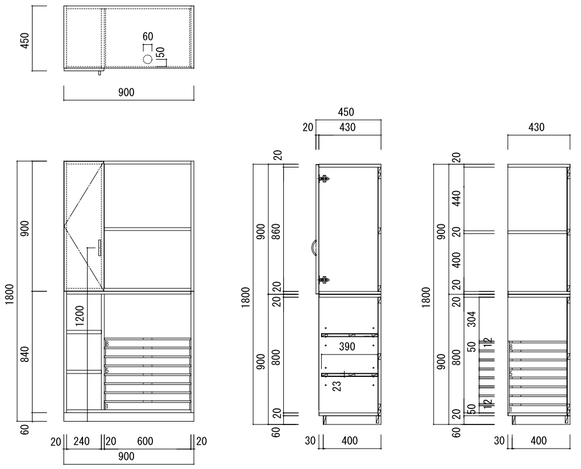


品名	掃除用具入れ	品番	NNB-3Y.D
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番、ABS樹脂製ハンドル(白) マグネットキャッチ		
棚板	樹脂コート化粧パーティクルボード		
台輪	ポリ合板貼		
附属品			
ハンガーパイプ	ステンレス巻パイプφ25(Sカン9ヶ付)		1
フック	玉付回転フック(TK-30)		3
雑巾掛け(戸裏)	ステンレス巻パイプφ9.5(L350)		2
水受皿	ステンレス水受皿（373×373×23）		1

品名	子供用ロッカー	品番	YHR-W7.C.P
仕様			
天板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工		
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
引出	口板：樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 内部：樹脂コート化粧パーティクルボード 底板：樹脂コート化粧MDF ｔ4mm ABS樹脂製ハンドル(白)		
台輪	ポリ合板貼		

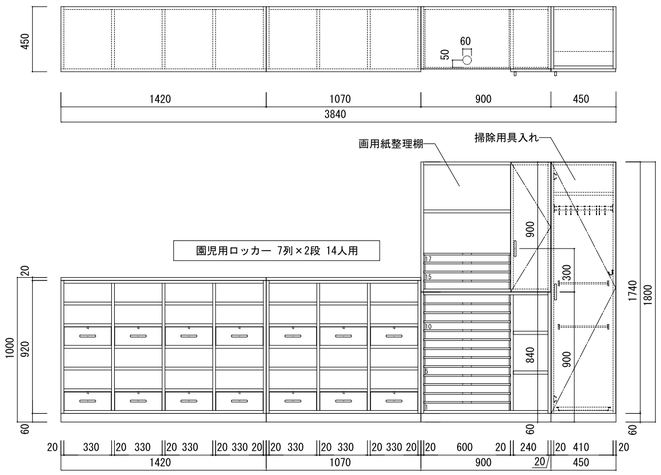


F-9　1階　0歳児用保育室　画用紙整理棚　1ヶ所

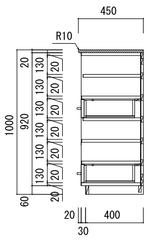


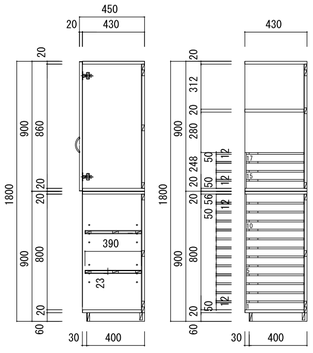
品名	画用紙整理棚	品番	TCB-19.ZZ
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
棚板 (取外し式)	樹脂コート化粧MDF貼　木口:テープ貼		
棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		
台輪	ポリ合板貼		

F-10　1階　2歳児用保育室　子供用ロッカー、画用紙整理棚、掃除用具入れ　1ヶ所

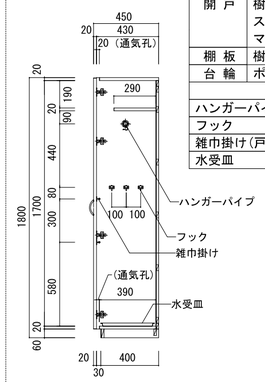


品名	子供用ロッカー	品番	YHR-W7.C.P
仕様			
天板	メラミン化粧板貼 ポストフォーム加工		
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
引出	口板：樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 内部：樹脂コート化粧パーティクルボード 底板：樹脂コート化粧MDF ｔ4mm ABS樹脂製ハンドル(白)		
台輪	ポリ合板貼		





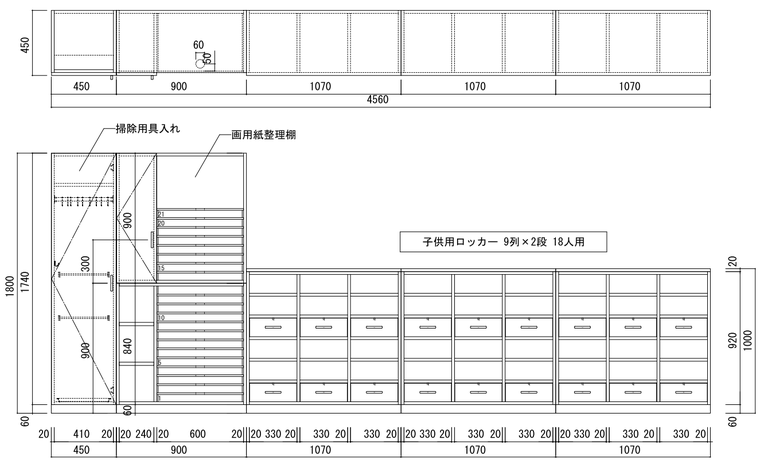
品名	画用紙整理棚	品番	TCB-19.ZZ
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背板	樹脂コート化粧MDF貼		
棚板 (取外し式)	樹脂コート化粧MDF貼　木口:テープ貼		
棚板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		
台輪	ポリ合板貼		



品名	掃除用具入れ	品番	NNB-3Y.D
仕様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
開戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番、ABS樹脂製ハンドル(白) マグネットキャッチ		
棚板	樹脂コート化粧パーティクルボード		
台輪	ポリ合板貼		
附属品			
ハンガーパイプ	ステンレス巻パイプφ25(Sカン9ヶ付)		1
フック	玉付回転フック(TK-30)		3
雑巾掛け(戸裏)	ステンレス巻パイプφ9.5(L350)		2
水受皿	ステンレス水受皿（373×373×23）		1

F-11　2階　3歳児用保育室　掃除用具入れ、画用紙整理棚、子供用ロッカー　1ヶ所

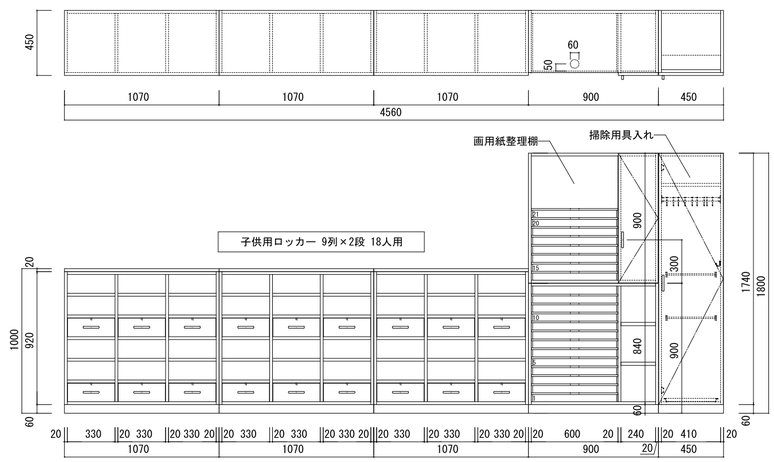
※仕様・断面図はF-10参照のこと



F-12　2階　4、5歳児用保育室　子供用ロッカー、画用紙整理棚、掃除用具入れ　2ヶ所

※仕様・断面図はF-10参照のこと

階	室名	数量
2階	4歳児用保育室	1ヶ所
2階	5歳児用保育室	1ヶ所



訂正　月　日　事　項

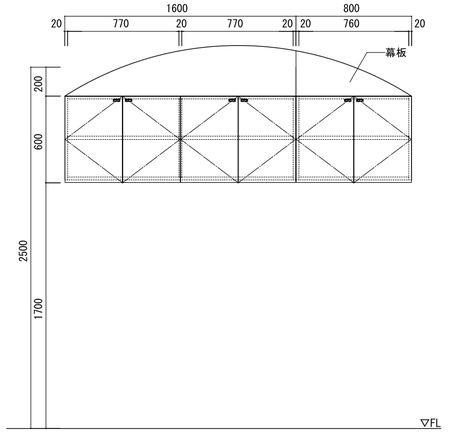
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

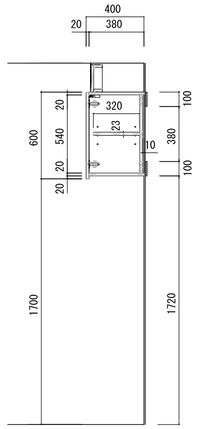
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日　承認

図面名称：家具詳細図（3）
縮尺：A2:1/30 A3:1/42
部長　課長　担当　製図
設計No.
図面No.：A-624

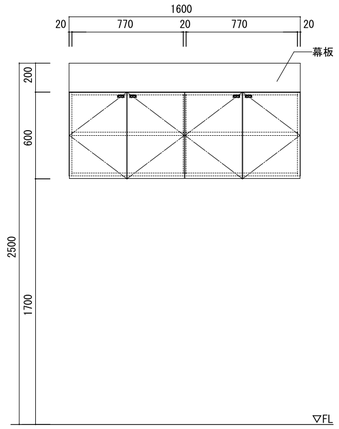
F-13　1階　廊下手洗い上　吊戸棚　1ヶ所

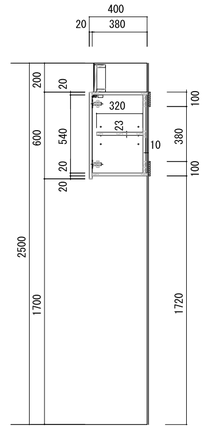




品名	吊戸棚	品番	NCB-1H.B
仕　様			
支　輪	ポリ合板貼		
本体主材	樹脂コート化粧MDFフラッシュ 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
開　戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、感知式耐震ラッチ		
棚　板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		

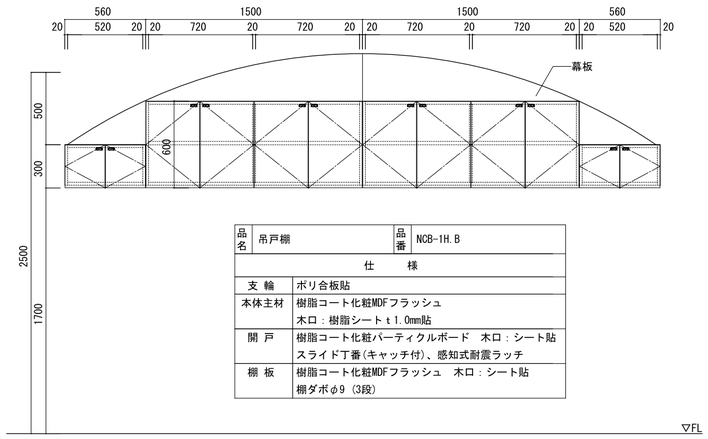
F-14　2階　コンテナ置場　吊戸棚　1ヶ所

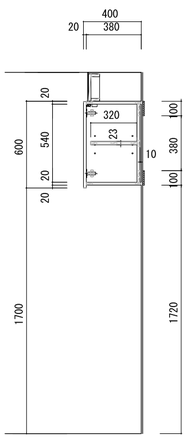


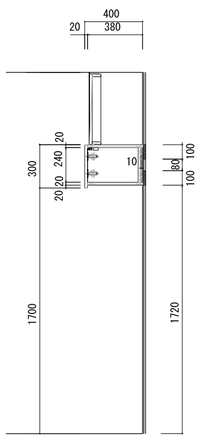


品名	吊戸棚	品番	NCB-1H.B
仕　様			
支　輪	ポリ合板貼		
本体主材	樹脂コート化粧MDFフラッシュ 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
開　戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、感知式耐震ラッチ		
棚　板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		

F-15　2階　廊下手洗い上　吊戸棚　1ヶ所



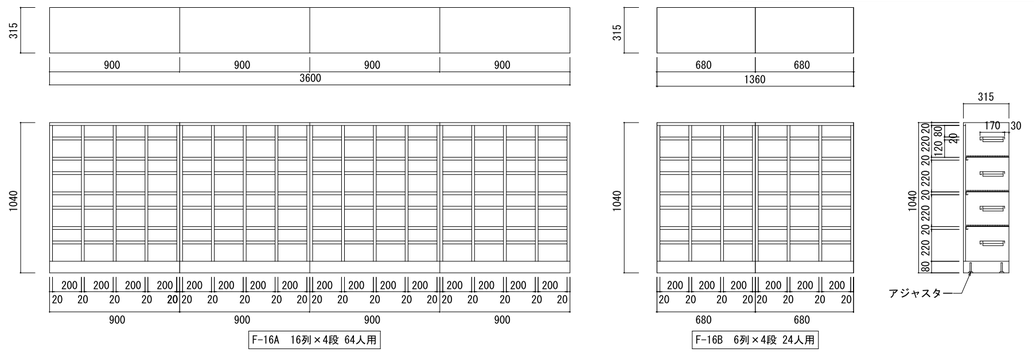




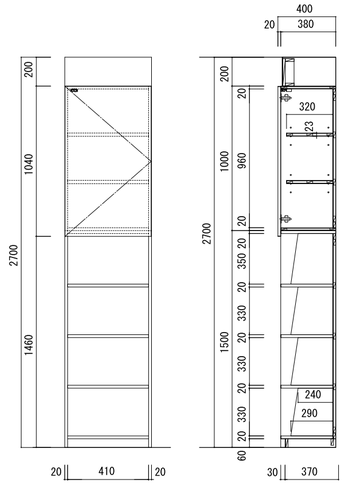
品名	吊戸棚	品番	NCB-1H.B
仕　様			
支　輪	ポリ合板貼		
本体主材	樹脂コート化粧MDFフラッシュ 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
開　戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、感知式耐震ラッチ		
棚　板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		

F-16A・B　屋外用シューズボックス　A:1ヶ所 B:2ヵ所

品名	シューズボックス(屋外用)	品番	YHSB-OW1G.ZZ
仕　様			
本体主材	ガルバリウム鋼板 粉体塗装		
中　棚	ガルバリウム鋼板 粉体塗装		
台　輪	ガルバリウム鋼板 粉体塗装		
附属品	人工芝マット		

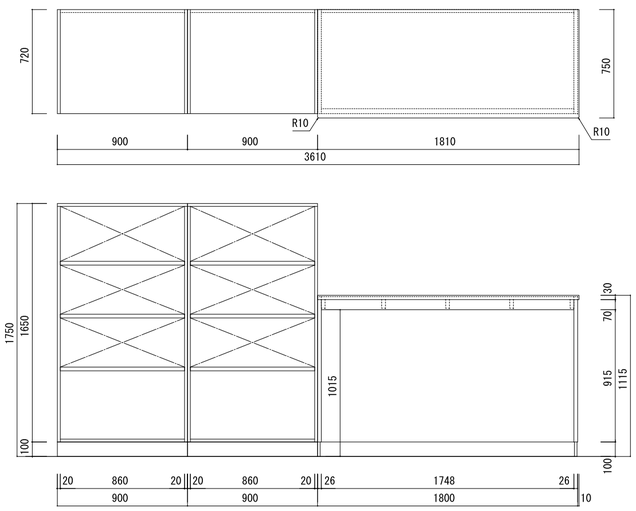


F-17　1階　廊下　絵本棚　1ヶ所

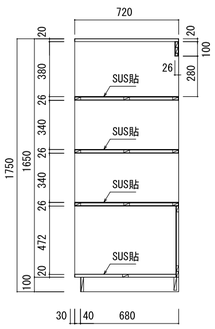


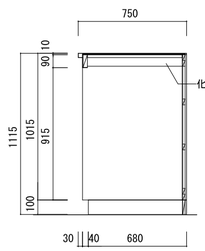
品名	絵本棚	品番	YHE-W1
仕　様			
支　輪	ポリ合板貼		
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背　板	樹脂コート化粧MDF貼		
開　戸	樹脂コート化粧パーティクルボード　木口：シート貼 スライド丁番(キャッチ付)、感知式耐震ラッチ		
棚　板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：シート貼 棚ダボφ9（3段）		
固定棚	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
台　輪	ポリ合板貼		

F-18　1階　調理室　配膳台、配膳カウンター　1ヶ所



品名	配膳台	品番	MCB-3
仕　様			
本体主材	樹脂コート化粧パーティクルボード 木口：樹脂シートｔ1.0mm貼		
背　板	樹脂コート化粧MDF貼		
棚　板	樹脂コート化粧MDFフラッシュ　木口：樹脂シートｔ1.0mm貼 ステンレス板貼 SUS304　t 1.0mm		
台　輪	ポリ合板貼		





品名	配膳カウンター	品番	MCB-1.A.ZZ
仕　様			
天　板	ステンレス SUS304　t 1.0mm 下地合板　t 9mm		
本体主材	樹脂コート化粧MDFフラッシュ 木口:樹脂シートt1.0mm貼		
背　板	樹脂コート化粧MDF貼		
台　輪	ポリ合板貼		

訂正	月　日	事　項		
	. .		. .	
	. .		. .	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	家具詳細図（４）	縮尺	A2:1/30 A3:1/42	図面No.
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長　課長　担当　製図	設計No.		A-625

エレベーター仕様要項

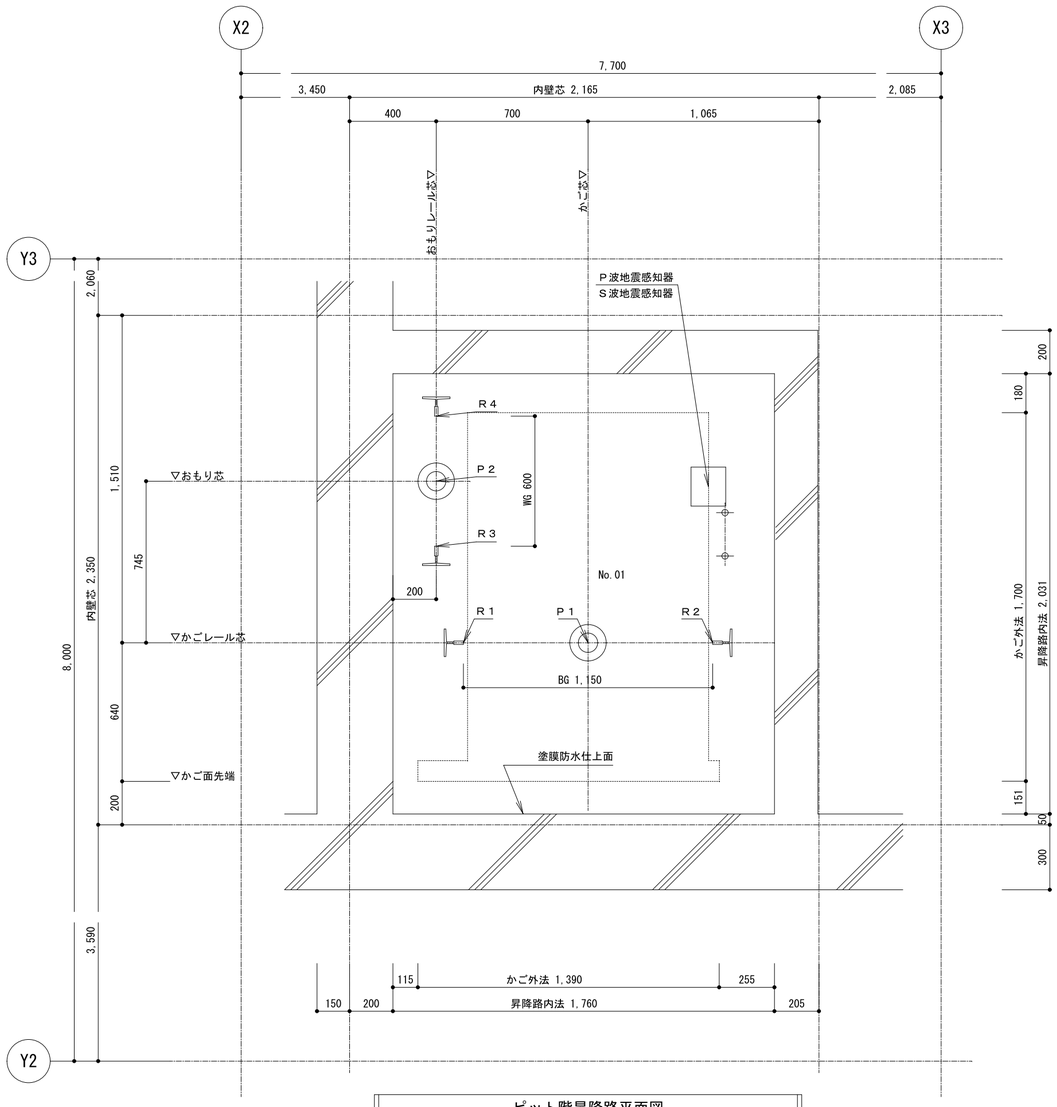
分類	仕様項目	
基本仕様	機種名称	規格型機械室レスエレベーター
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式
	積載量	６００ｋｇ
	定員	９名
	定格速度	４５ｍ／ｍｉｎ
	戸閉方式	２枚戸片引き
	出入口幅	８５０mm
	出入口高さ	２０００mm
	かご室サイズ（内法間口）	１０５０mm
	かご室サイズ（内法奥行）	１５２０mm
	かご室内法高さ	２３００mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	２停止（１－２階）
	動力用電源	ＡＣ３φ－２００Ｖ－５０Ｈｚ
	照明用電源	ＡＣ１φ－１００Ｖ－５０Ｈｚ
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスＡ１４
	公共建築工事標準仕様　適用年版	令和６年版
	敷居間隔	１０mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	Ｐ波＋Ｓ波センサ付３段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし　１３０mm～３５０mm　鋼板塗装（メーカー標準色）（１－２階）
	乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（１－２階）
	乗場戸窓	網入り合わせガラス（２００×７００mm）仕上面段差なしｔ１０．５６（１－２階）　窓付の場合は，特定防火設備に該当しません
	乗場敷居	アルミ製（１－２階）
	乗場インジケーター	一体セグメントＬＥＤ（橙色）　ステンレスヘアライン（１－２階）
	乗場インジ一体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート（１－２階）
	乗場インジ運行表示灯１	休止表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	専用ボタン単独取付　ステンレスヘアライン（１－２階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート（１－２階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込（１階）
かご室仕様	天井	フラット（白色）　天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	かご室戸窓	網入り合わせガラス（２００×７００mm）仕上面段差なしｔ１０．５６
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル２mm（標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製　２枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（１０．１インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
	車いす専用かご操作盤	両側面　ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	ドットＬＥＤ（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ３３・凸文字・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付きウイルス抑制装置＋ファン
	かご室手すり	丸形ステンレス　二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾５００）
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より３５０mm
	壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５mm）
	床保護マット	あり
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサー付き）
	自動戸閉促進・乗場前検知挟まれ防止	あり
	遮煙機能	大臣認定品　２枚戸両引き用（１－２階）
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	火報信号連動式
	冠水時管制運転	あり
	インターホン型式	６Ｖ１局（設置場所：１階ＥＶ乗場）
	乗場インターホンボックスタイプ	ステンレスヘアライン（埋め込み形）（１階）
	サービス切放し方式（一時解除付き）	開戸内スイッチ式（モード別設定）
	乗場呼び一時解除	ブロックサイン式（乗場）同時操作方式
	戸開延長ボタン	ステンレスクリックボタン（口３２・黄橙色ＬＥＤ）抗ウイルス・抗菌コート
	かご内アナウンス	かご内４ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室スピーカー	あり
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（２階）
	レールサイズアップ	あり
	煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付　【標準】
	仮設動力電源	１式

※エレベーターかご内のインターホンは，常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
（建築基準法施行令第１２９条の１０第３項第三号）

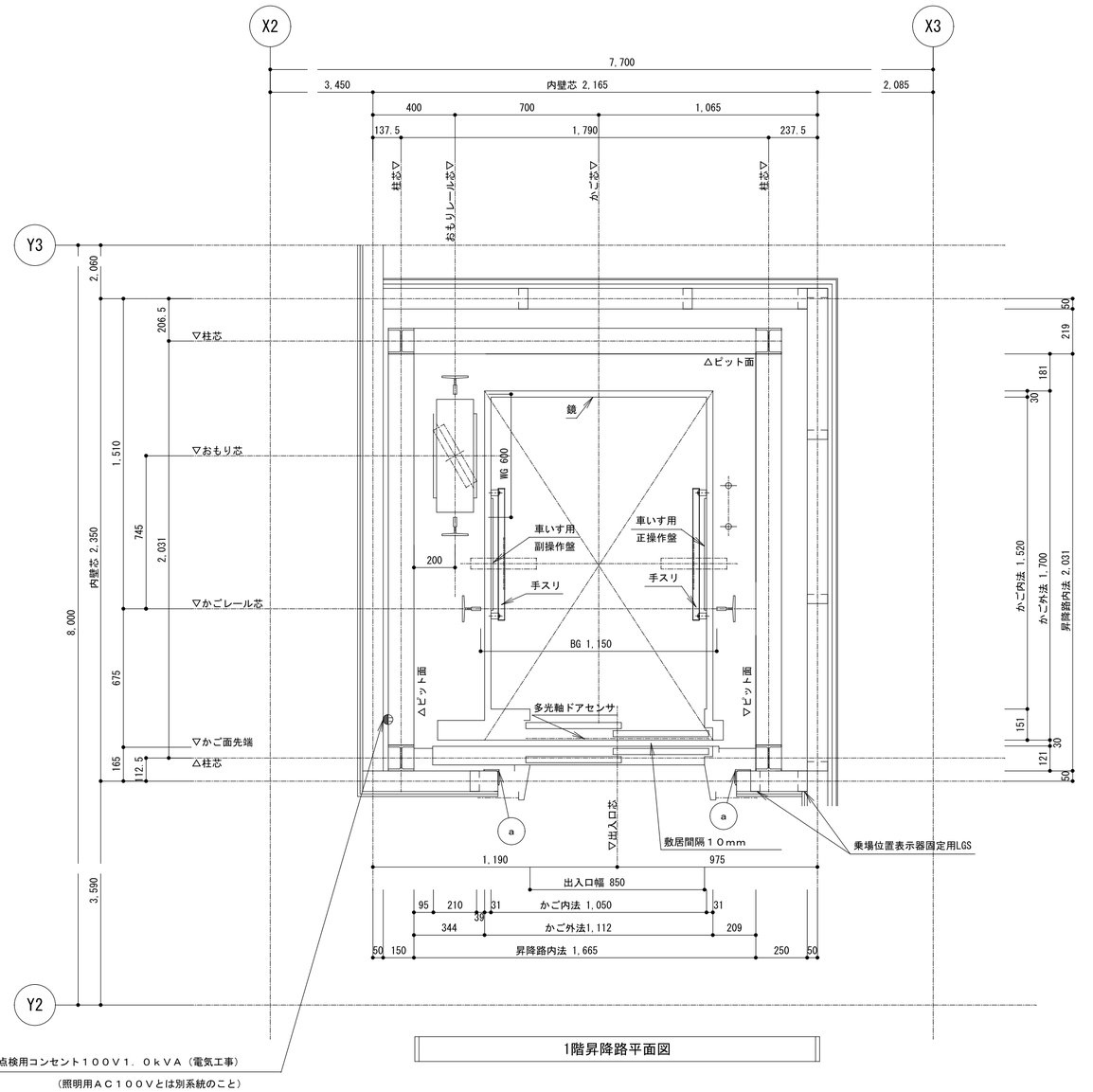
除外工事事項

設備工事関係

１．　動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事
（繋ぎ込み工事含む）
２．　インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
（０．９φ×１０本）／台
３．　火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
４．　遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
５．　エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
６．　建設設備連動に必要な接点供給工事
７．　ピット内点検用コンセント設備工事
（照明用ＡＣ１００Ｖとは別系統のこと）
８．　昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成２０年国土交通省告示第１４５４号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
９．　かご内ＴＶカメラがある場合、かご内ＴＶカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・５Ｃ－２Ｖ同軸ケーブル
１０．　かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事
（非常放送がある場合３線式とすること）
１１．　昇降路の換気設備工事（昇降路内温度４０℃および昇降路温度上昇７℃を超える場合、換気設備が必要になります）
発熱量　エレベーター駆動部（　７４０Ｗ／１台）
＋エアコン（　－　Ｗ／１台）
１２．　監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事



ピット階昇降路平面図



1階昇降路平面図

点検用コンセント１００Ｖ１．０ｋＶＡ（電気工事）
（照明用ＡＣ１００Ｖとは別系統のこと）

昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁（コンクリートの場合）に
あと施工アンカーにより取付

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階ＦＬ面まで立上

ピット荷重（短期荷重）	
Ｐ１（ｋＮ）	Ｐ２（ｋＮ）
６２．６	５３．７

レール下端部荷重（長期荷重）			
Ｒ１（ｋＮ）	Ｒ２（ｋＮ）	Ｒ３（ｋＮ）	Ｒ４（ｋＮ）
３．６	２０．２	３６．１	１７．２

部材記号	名　称	部　材
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６

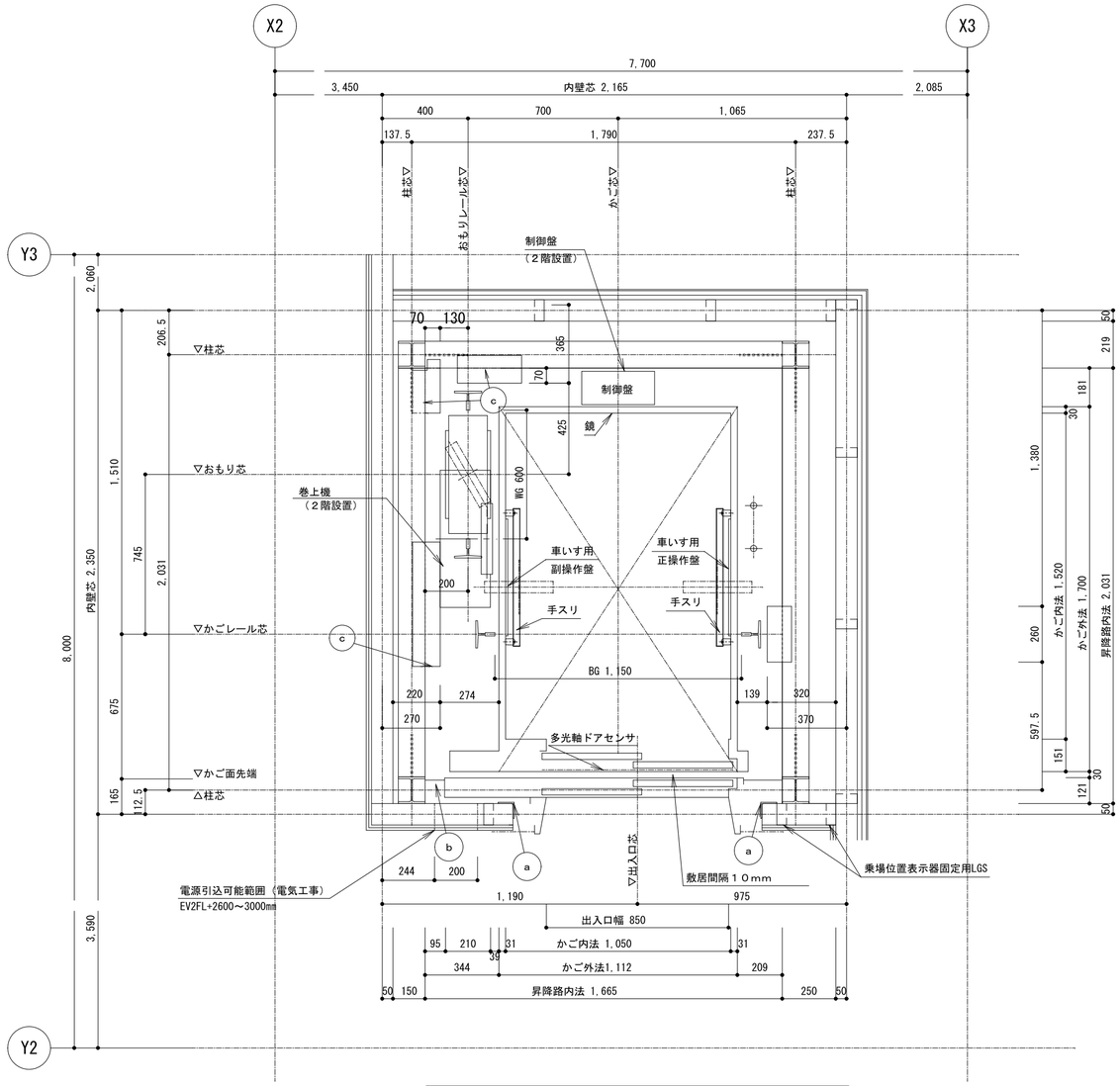
訂	月　日	事　項		
正				

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日
承認：

図面名称：EV詳細図（２）
縮尺：A2:1/20 A3:1/28
部長＿＿ 課長＿＿ 担当＿＿ 製図＿＿
設計No.：
図面No.：A-６３２ 確-１７



2階昇降路平面図

電線引込長さ（mm）	01
動力電線	10000
弱電線 （必要な場合）	10000

部材記号	名　称	部　材
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６
b	敷居取付材	［－１００×５０×５×７．５
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２

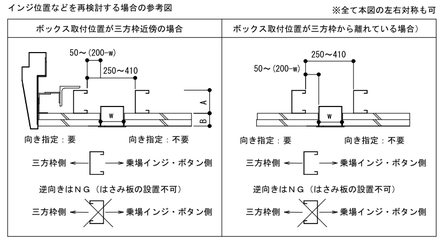
動力電源設備（ＣＶＴ電線使用時）　　（＊）電源側に漏電遮断器を設置する場合

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側ＮＦ容量	感度電流値（＊） 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
０１	ＡＣ３φ２００Ｖ ５０Ｈｚ	３．１ｋＷ	３ｋＶＡ	３０ＡＴ	１００ｍＡ以上 ０．２秒以上	９５ｍまで　８ｍｍ² １６５ｍまで　１４ｍｍ² ２５１ｍまで　２２ｍｍ²	２．０ｍｍ²

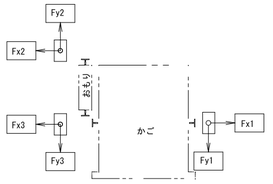
照明用電源ＡＣ１φ１００Ｖ　５０Ｈｚ（設備容量１ｋＶＡ／台　電源側ＮＦ容量２０ＡＴ／台）

ＬＧＳ設置位置の留意事項参考図

インジ位置などを再検討する場合の参考図　　※全て本図の左右対称も可



ＥＶレール支持用ブラケットに作用する地震時水平荷重



Ｆｘ１	Ｆｙ１	Ｆｘ２	Ｆｙ２	Ｆｘ３	Ｆｙ３
４．２１	３．８１	３．３２	６．６３	７．５２	８．７３

（単位：ｋＮ）

注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が５mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付けること。

高調波対策（高調波流出電流計算値）

高調波対策内容		機器名称	定格容量（kVA）	台数	合計容量Ｐｉ（kVA）	回路分類細分Ｎｏ．	６パルス換算係数（Ｋｉ）	６パルス等価容量［Ki×Pi］（kVA）	機器最大稼働率（%）	基本電流に対する高調波電流発生率Ｉｎ（%）							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ（標準）	０１号機 (600kg-45m/min)	3.9	1	3.9	31	3.4	13.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
	DCリアクトル追加（Ki=1.8相当）					~~33~~	~~1.8~~	~~7~~	~~25~~	~~30~~	~~13~~	~~8.4~~	~~5~~	~~4.7~~	~~3.2~~	~~3~~	~~2.2~~

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※　各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量（mA）＝ $\frac{\text{合計容量Ｐｉ（ｋＶＡ）}}{\text{受電電圧（ｋＶ）}\times\sqrt{3}} \times 10^{3} \times$ 各次数毎の発生率Ｉｎ（%）×機器最大稼働率ｋ（%）

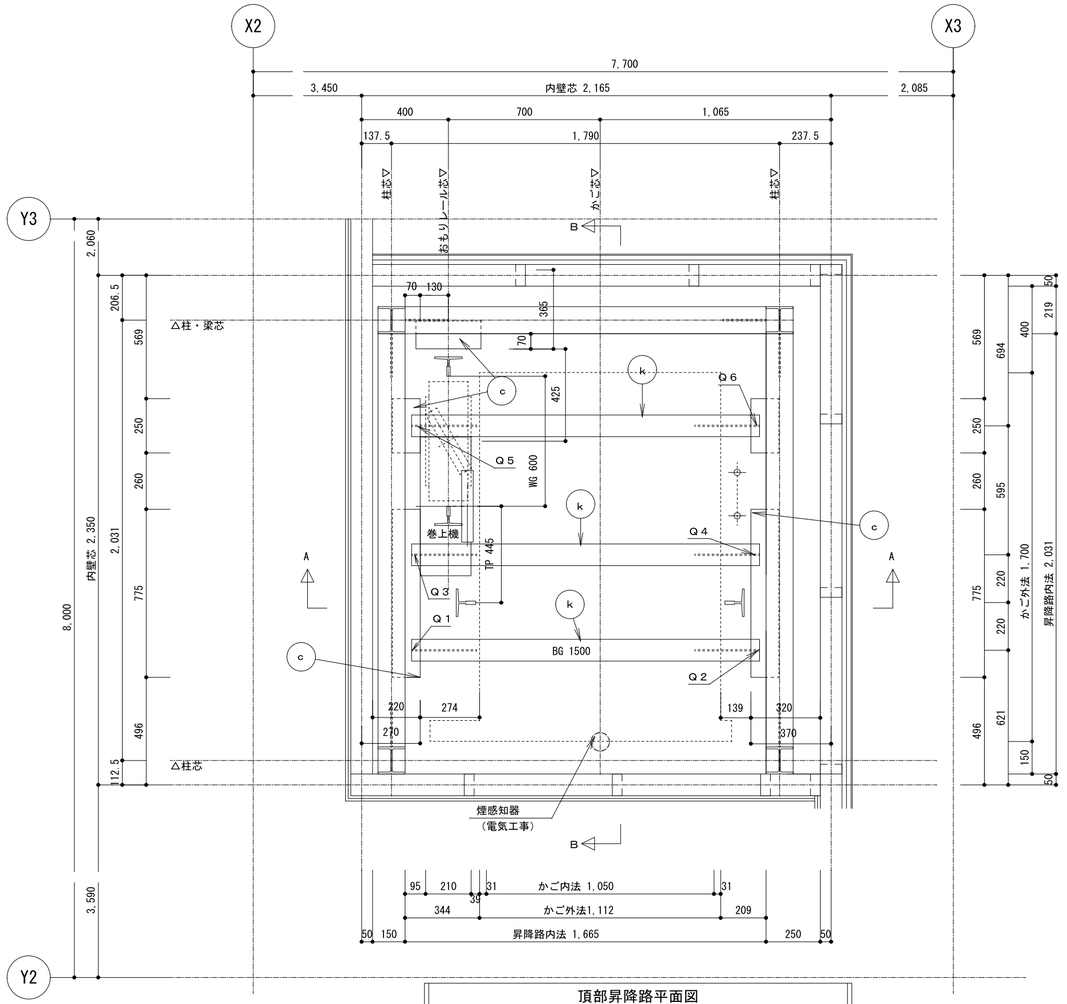
訂／正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

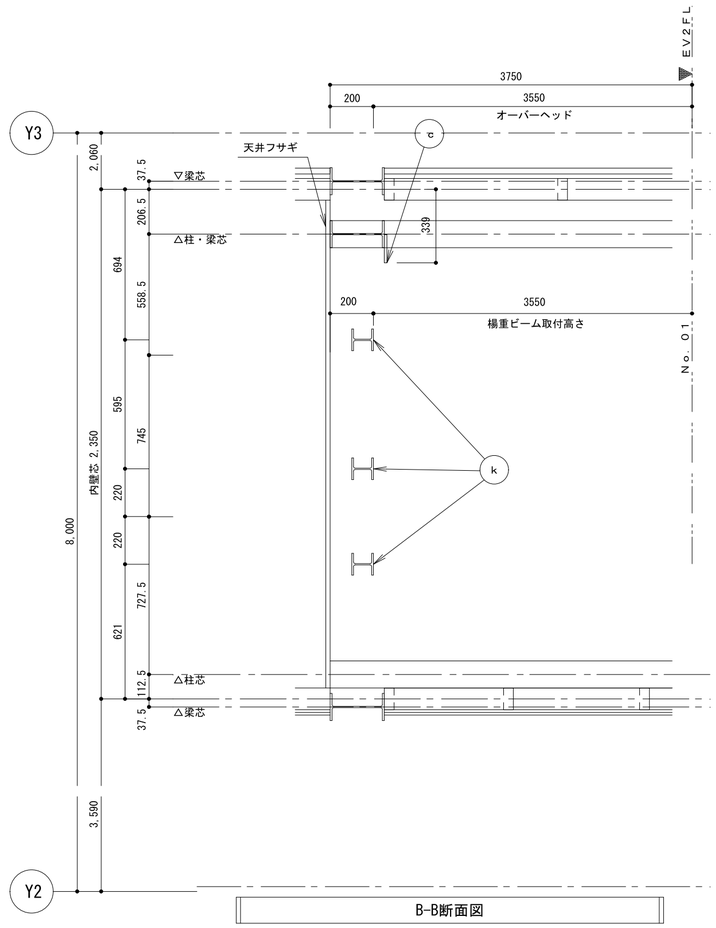
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
作成	2025 年 1 月 31 日
承認	

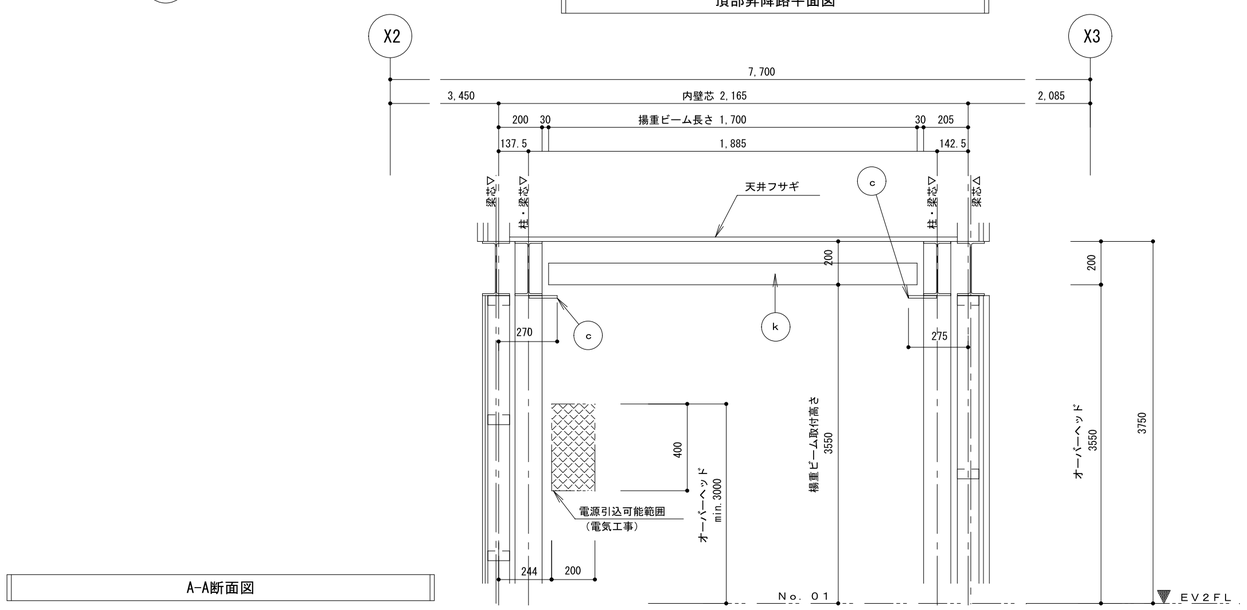
図面名称	EV詳細図（３）
縮尺	A2:1/20 A3:1/28
部長　課長　担当　製図	
設計No.	
図面No.	A-６３３ 確-１８



頂部昇降路平面図



B-B断面図



A-A断面図

部材記号	名　称	部　材
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８

揚重ビームに掛かる荷重　　Ｎｏ．０１

Ｑ１（ｋＮ）	Ｑ２（ｋＮ）	Ｑ３（ｋＮ）	Ｑ４（ｋＮ）	Ｑ５（ｋＮ）	Ｑ６（ｋＮ）
５．０	２．０	８．０	１０．０	１５．０	１１．０

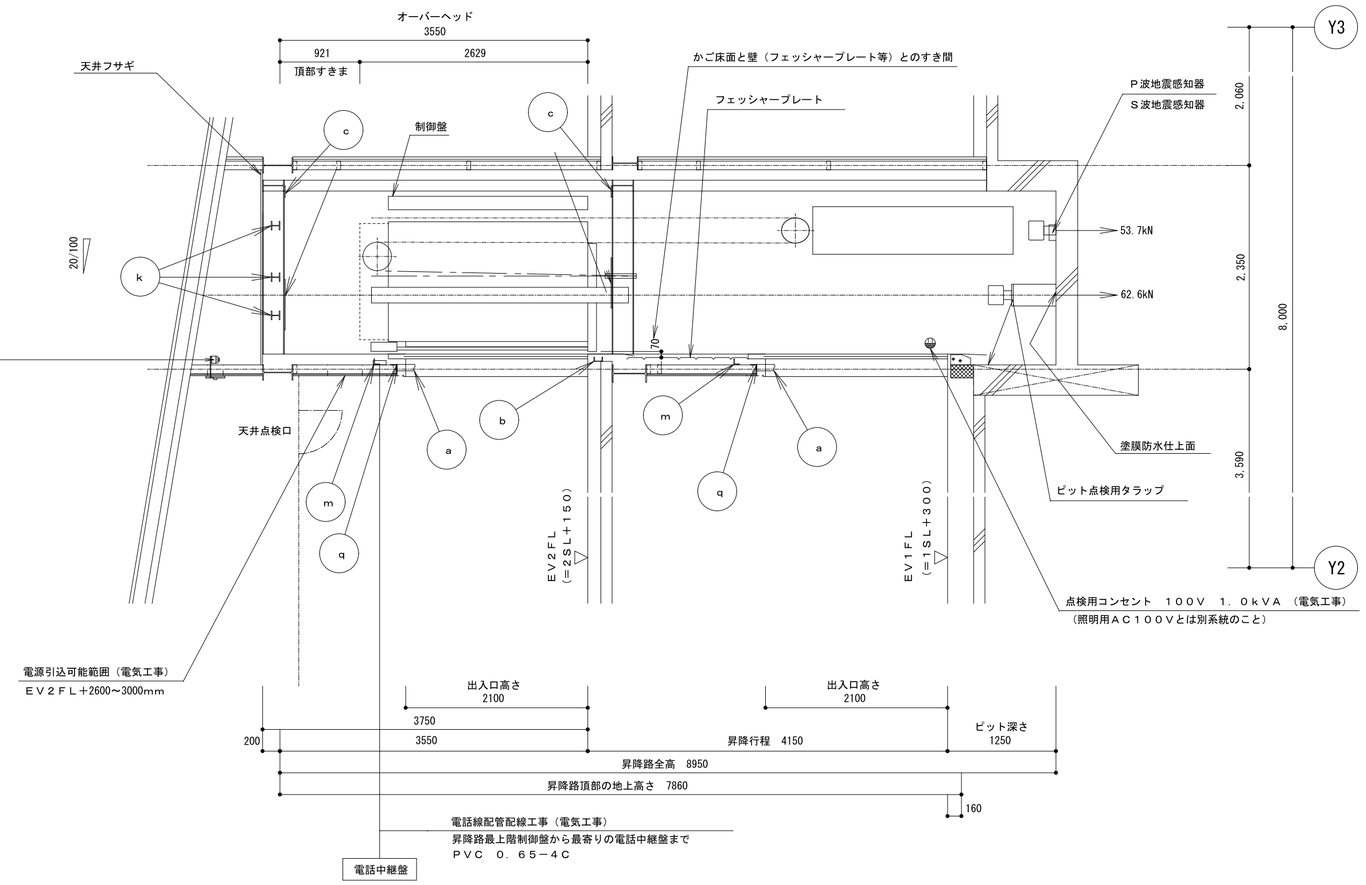
Ｑ１～Ｑ６はＥＶ据付時に作用する

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　廉二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	EV詳細図（４）
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	A2:1/20 A3:1/28
承認		図面No.	A-６３４ 確-１９
部長　課長　担当　製図		設計No.	



煙感知器（電気工事）

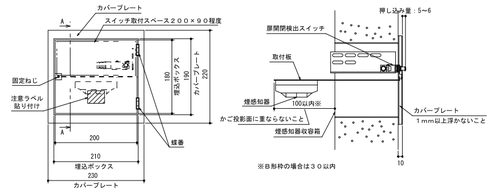
・外部より点検可能な構造として下さい
・雨水浸入が無い様配慮下さい
・ＥＶ連動スイッチ付（ＥＶ工事）
・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
・点検口は下記①または②として下さい

①ＥＶ昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（１）～（４）のいずれか

（１）ホーチキ　　ＫＵＳ－１Ｃ
（２）能美防災　　ＦＸＳＪ００１Ａ－ＨＵ
（３）ニッタン　　ＮＩＤ－Ｔ－Ｇ
（４）パナソニック　ＢＶ９５３５１（ＢＯＸ）＋ＢＶ９５３８１Ｈ（扉）

②以下２項目を満足する点検口　～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照

（１）スイッチ取付スペース２００×９０程度確保できる。
（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、１mm以上浮かないこと。



昇降路断面図

※昇降路内の温度は４０℃以下とする

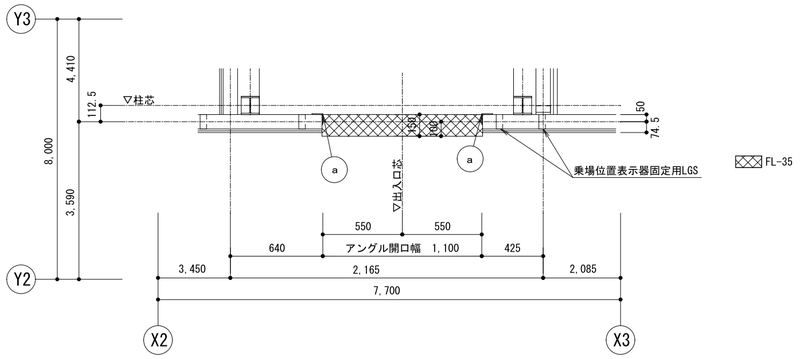
部材 記号	名　称	部　材
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６
b	敷居取付材	［－１００×５０×５×７．５
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２
k	揚重ビーム	Ｈ－１００×１００×６×８
m	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６
q	開口補強材	Ｌ－７５×７５×６

訂正	月　日	事　項		

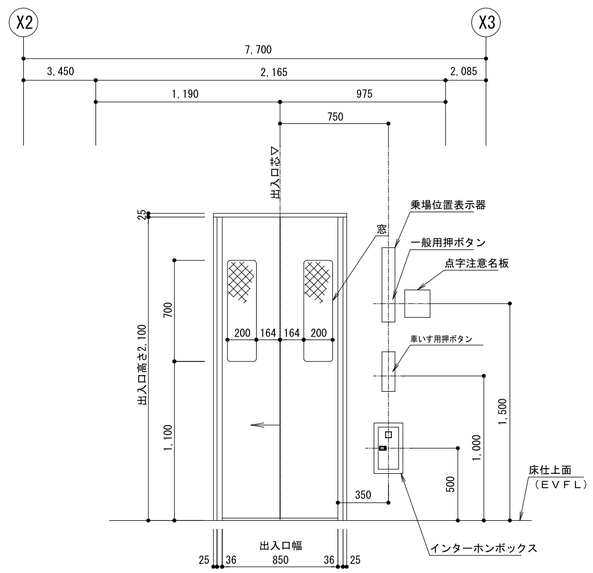
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日
				承認	

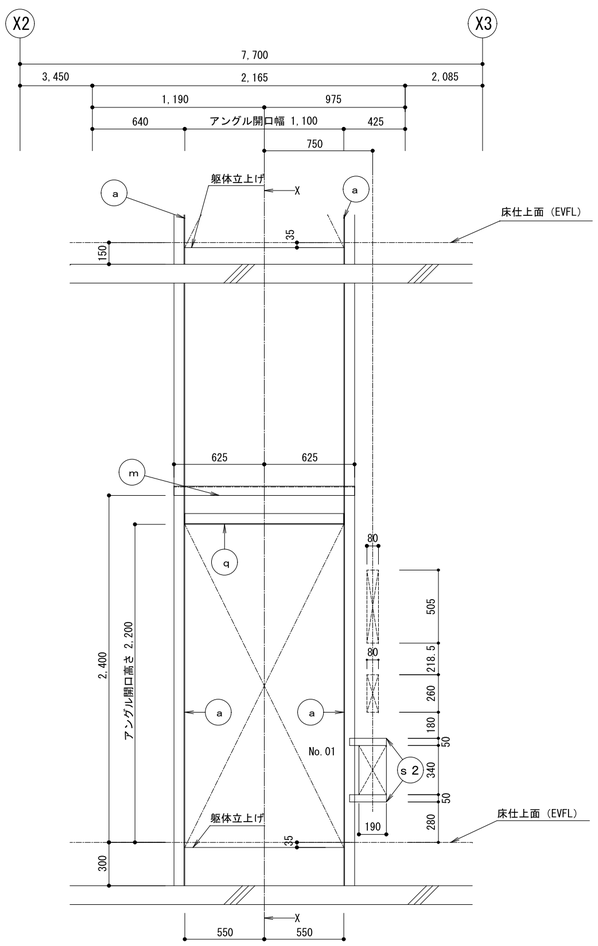
図面名称	EV詳細図（５）	縮尺	A2:1/50 A3:1/70
部長	課長	担当	製図
設計No.		図面No.	A-６３５ 確-２０



1階昇降路穴あけ図



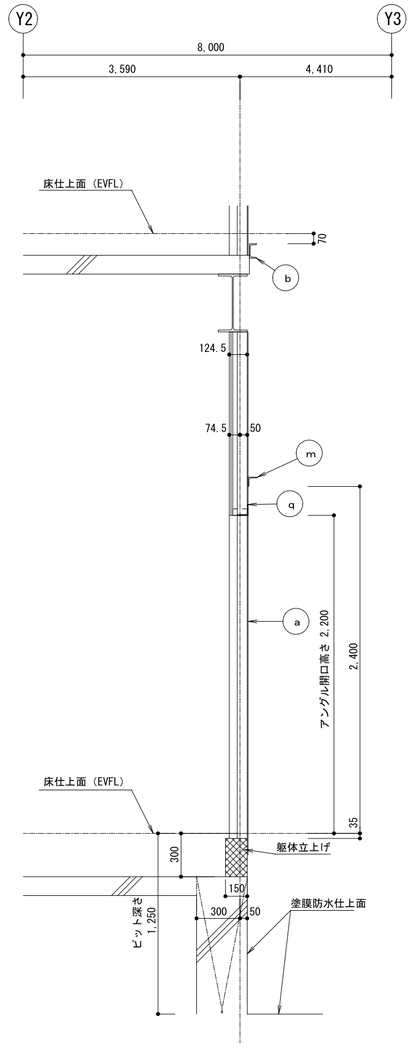
1階乗場正面図



1階乗場穴あけ図

注）・開口寸法は、壁厚１２４．５mm、壁仕上０mmの場合を示す
（異なる場合は確認のこと）
・壁仕上：石貼、タイル、直打の場合は別途打合せのこと

部材記号	名　称	部　材
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６
b	敷居取付材	[－１００×５０×５×７．５
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２
m	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６
q	開口補強材	Ｌ－７５×７５×６
s２	インターホンボックス取付材	ＰＬ－ｔ３．２



X-X断面図

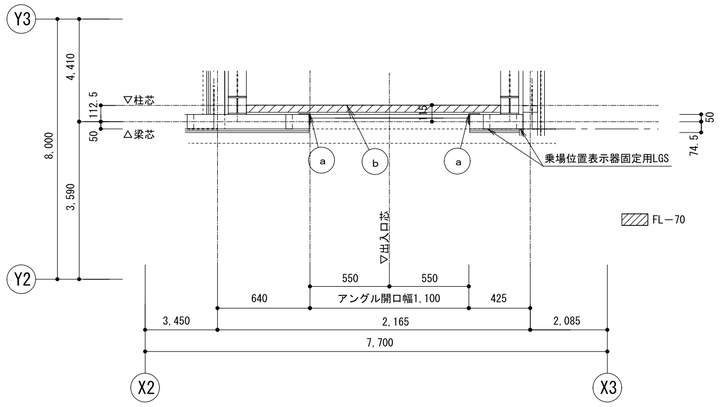
訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

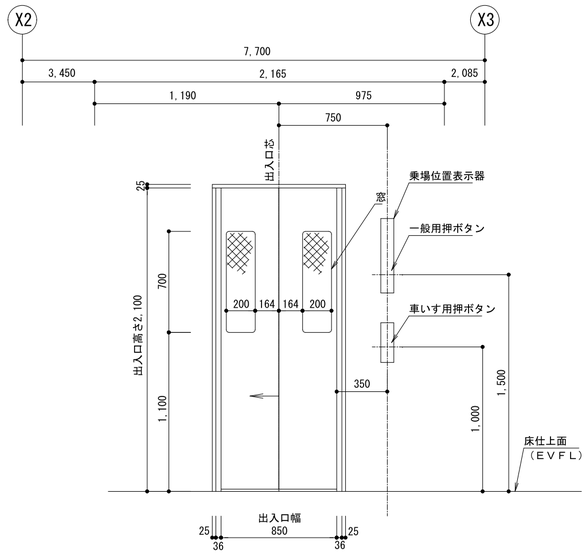
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称：古谷地区公立保育所新築工事
作成：2025 年 1 月 31 日
承認：
部長　課長　担当　製図　設計

図面名称：EV詳細図（６）
縮尺：A2:1/30 A3:1/42
図面Ｎｏ.：A-６３６ 確-２１

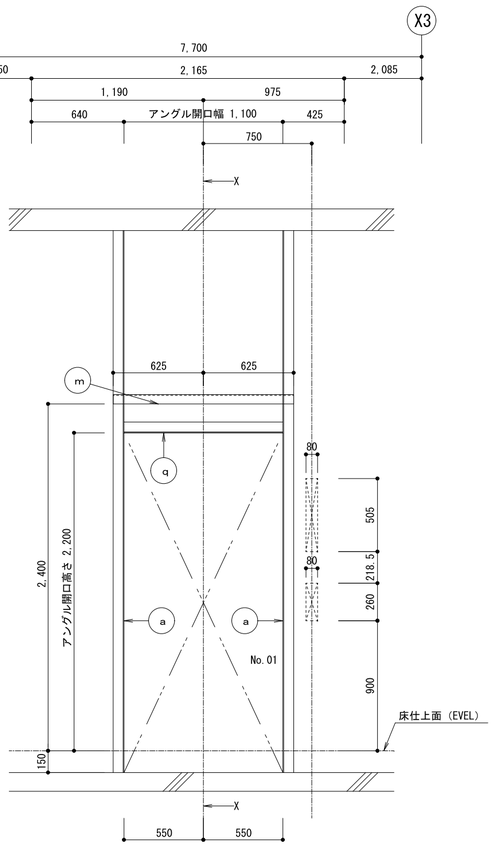


2階昇降路穴あけ図



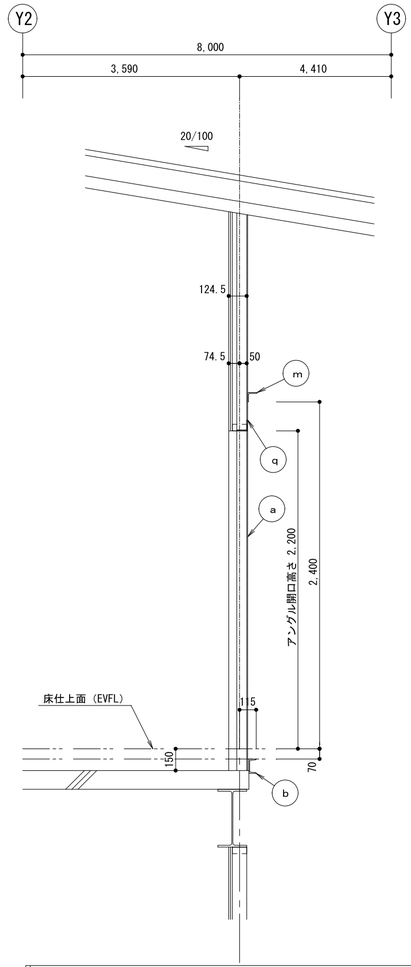
2階乗場正面図

※窓付の場合は，特定防火設備に該当しません



2階乗場穴あけ図

注）・開口寸法は、壁厚１２４．５mm、壁仕上０mmの場合を示す
（異なる場合は確認のこと）
・壁仕上：石貼、タイル、直打の場合は別途打合せのこと



X-X断面図

部材記号	名　称	部　材
a	三方枠取付鋼材	Ｌ－７５×７５×６
b	敷居取付材	[－１００×５０×５×７．５
c	レールブラケット取付用ファスナー	ＰＬ－ｔ１２
m	ハンガーケース取付材	Ｌ－６５×６５×６
q	開口補強材	Ｌ－７５×７５×６

訂/正	月　日	事　項		
訂	. .		. .	
正	. .		. .	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録　東京本部一級建築士事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二

法適合確認結果等

工事名称　古谷地区公立保育所新築工事

図面名称　EV詳細図（７）

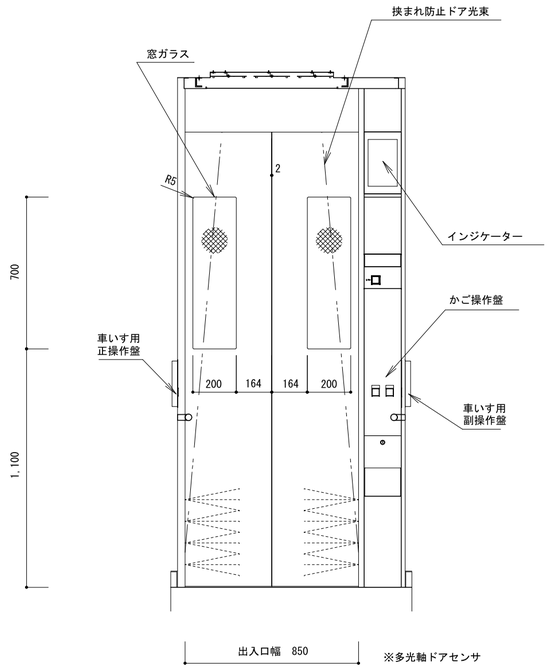
作成　2025 年 1 月 31 日　承認

縮尺　A2:1/30　A3:1/42

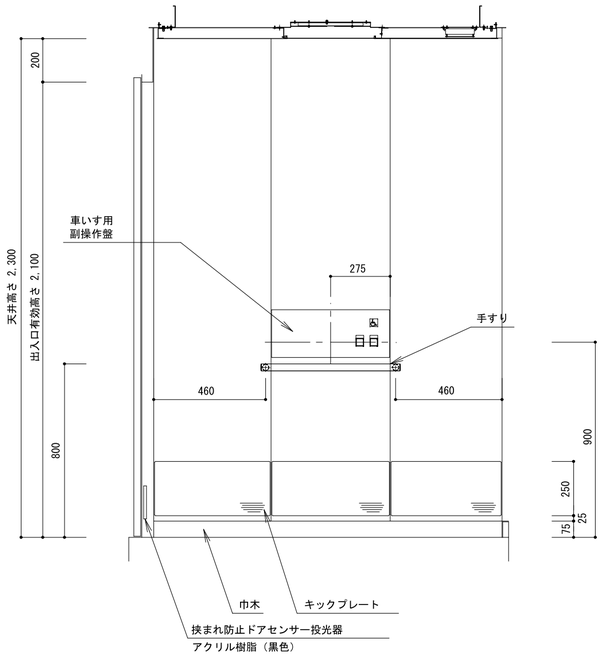
部長　課長　担当　製図

設計No.

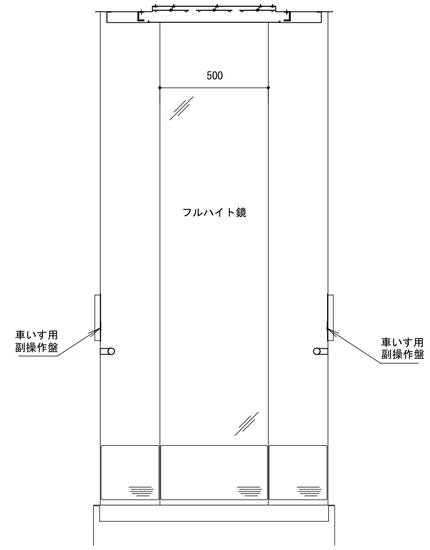
図面No.　A－６３７　確-２２



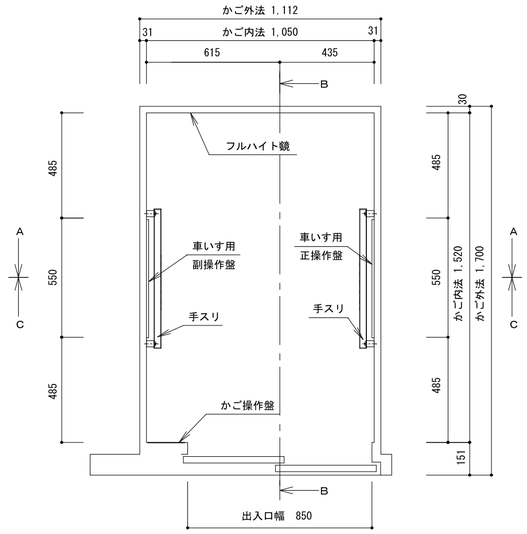
かご室正面図（矢視Ａ－Ａ）



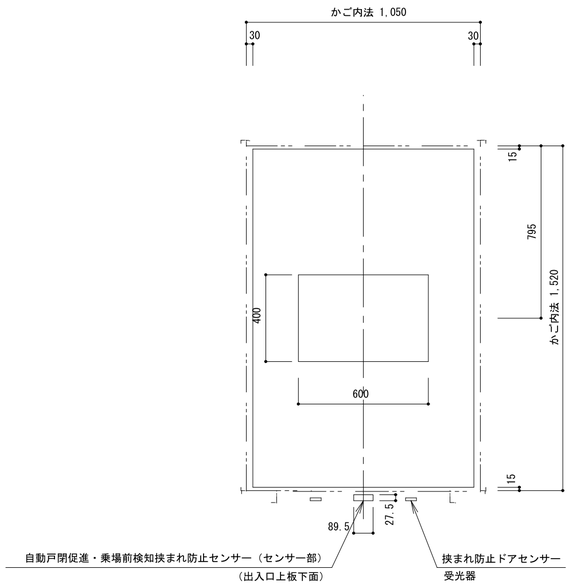
かご室側面図（矢視Ｂ－Ｂ）



かご室背面図（矢視Ｃ－Ｃ）



かご室平面図



天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	脱臭機能付きウイルス抑制装置＋ファン
照明	乳白色樹脂照明板 ＬＥＤ照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル　ｔ２
敷居	アルミ製
窓ガラス	網入り合わせガラス　ｔ１０．５６（段差：無）ＪＩＳ　Ｒ３２０５
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上　ｔ１．５
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ３２）　キャップ：樹脂（パールメッキ） ブラケット：アルミ　ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上：ビス無
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで１８９５mm）
床マット	あり

訂
正

月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	EV詳細図（８）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
部長	課長	担当	製図

縮尺 A2:1/20 A3:1/28
設計No.
図面No. A-６３８ 確-２３

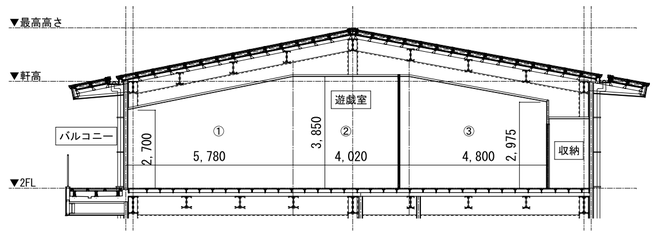
区画	～～～	防煙区画(区画記号 ＊)
	――	1時間耐火① 防火上主要な間仕切り壁(令第114条区画)(区画面積 **.**㎡) ※小屋裏若しくは天井裏まで達せしめること。
	― ―	1時間耐火② ※貫通箇所は認定工法にて貫通処理すること。
延焼	――	延焼ライン(3m)
	――	延焼ライン(5m)
	(防)	防火設備(法2条9号の2ロによる構造)
排煙設備		自然排煙
		自然排煙口
	②	告示第1436号第四号へ(二)による免除
	⑤	告示第1436号第四号へ(五)による免除
	⑩	施工令 第126条の2 第1項3号による免除

その他	**m/**m	避難経路の歩行距離/重複距離 50m以下(60m以下)/25m以下(30m以下) ※()内は主要構造部準耐火構造又は不燃材料
	○消	消火器(床面から1.5m以下に設置)
	**m	消火器までの歩行距離(20m以下)
	▼ ▽	屋外への出入口を示す。
	(無)	消防無窓階算定対象開口部 ※開口部の内外1m以内の範囲には物を置かないこと。

特記事項

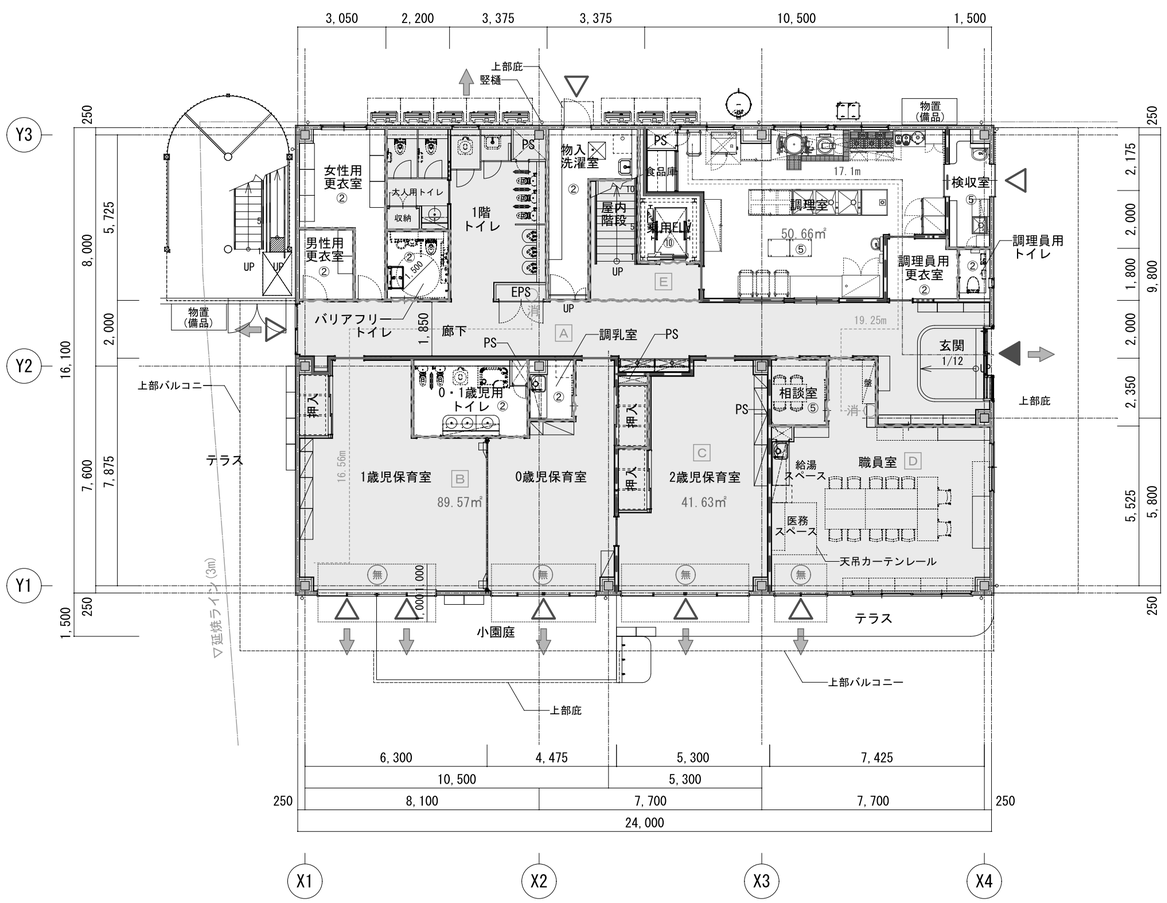
- 居室の出入口幅は800mm以上とする。
- 居室の壁(腰壁含む)、天井仕上は難燃材料以上とする。
- カーテンやじゅうたん等は、防炎品を使用する。
- 消火器は、ABC10型粉末消火器。赤下地白文字「消火器」の標識(8cm以上×24cm以上)を設置すること。
- 消防用設備については、着工前に消防と協議すること。
- 全体収容人員：従業者数 30名+1階園児 31名+2階園児 54名=115名
  1階収容人員：従業者数 30名(2階従業者含む)+1階園児 31名=61名
  2階収容人員：従業者数 10名+2階園児 54名=64名
- 職員室の給湯室には、コンロ(1H含む)を設置しないこと。

●遊戯室平均天井高さ算定図

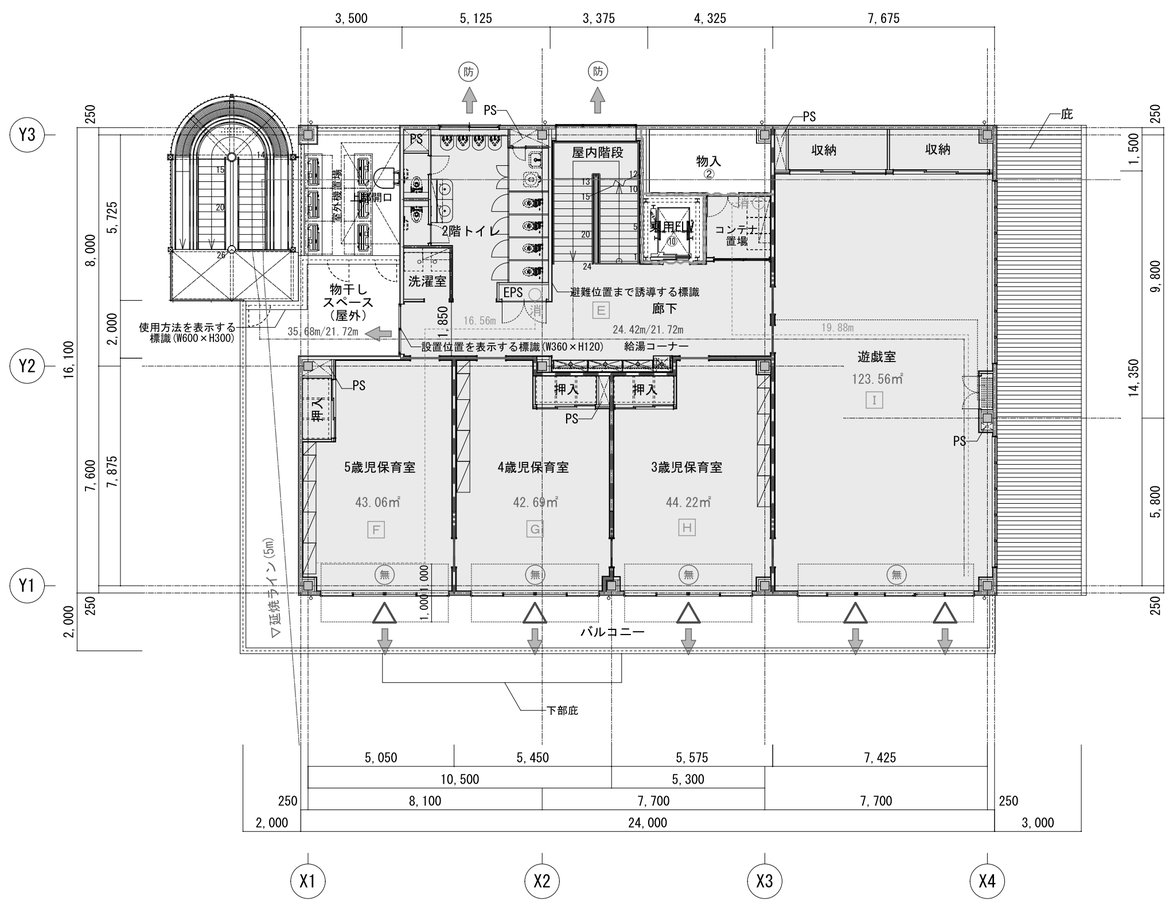


	計算式						容積(m3)
①	5.78	×	3.275	×	7.675	=	145.2839125
②	4.02	×	3.85	×	7.675	=	118.785975
③	4.8	×	3.4125	×	7.675	=	125.7165
合計容積(m3)							389.7863875…A
室の面積(㎡)=	14.6	×	7.675	=	112.0550…B		
平均天井高さ(m) =	A÷B	=	3.4785				

A-A断面図 S=1/150



1階平面図 S=1/150



2階平面図 S=1/150

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	法規チェック図（1）
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	A2:1/150 A3:1/210
承認		図面No.	A-701 確-24
部長 課長 担当 製図		設計No.	

●採光・換気計算表

階数	部屋名	床面積(A)㎡	居室判定	建具記号	採光計算（保育室：A/5,保育・訓練・日常生活に必要な便宜の供給等の目的に使用される部屋：A/7,談話・娯楽目的：A/10）									換気計算(A/20)						
					係数	必要面積㎡	有効幅m	有効高さm	補正係数(d×h)10-1	箇所	有効面積㎡	合計面積	判定	必要面積㎡	有効幅m	有効高さm	箇所	有効面積㎡	合計面積	判定
1	玄関・ホール・廊下	69.13	非居室	AD2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
				AW12	－	－	－	－	－	－	－			－	－	－	－	－		
	1階トイレ	24.64	非居室	AW10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	0・1歳児保育室	72.24	居室	AW1	0.20	14.448	4.000	2.600	3.000	1	31.200	59.280	OK	3.612	2.000	2.600	1	5.200	9.360	OK
				AW2	0.20	0	3.600	2.600	3.000	1	28.080			0.000	1.600	2.600	1	4.160		
	2歳児保育室	36.40	居室	AW3	0.20	7.280	4.400	2.600	3.000	1	34.320	34.320	OK	1.820	2.000	2.600	1	5.200	5.200	OK
	職員室	47.91	居室	AW4	0.20	9.582	1.800	2.600	3.000	1	14.040	30.840	OK	2.396	0.800	2.600	1	2.080	4.580	OK
				AW5	0.20	0	4.000	1.000	3.000	1	12.000			0.000	1.800	1.000	1	1.800		
				AW6	0.20	0	1.600	1.000	3.000	1	4.800			0.000	0.700	1.000	1	0.700		
	相談室	4.70	居室	－	非常用照明									機械換気						
	調乳室	3.44	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	検収室	6.38	居室	－	非常用照明									機械換気						
	調理室	50.12	居室	AW11	0.14	7.160	1.800	0.500	3.000	3	8.100	8.100	OK	機械換気						
	調理員用更衣室	5.40	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	調理員用トイレ	2.07	非居室	AW7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	0・1歳児用トイレ	10.34	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	バリアフリートイレ	5.33	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性用更衣室	13.34	非居室	AW9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男性用更衣室	4.82	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	物入・洗濯室	11.80	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2	階段・廊下	58.77	非居室	AW17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
				AW12	－	－	－	－	－	－	－			－	－	－	－	－		
	2階トイレ	24.68	非居室	AW16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	洗濯室	3.14	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	3歳児保育室	41.68	居室	AW3	0.20	8.336	4.400	2.600	3.000	1	34.320	34.320	OK	2.084	2.000	2.600	1	5.200	5.200	OK
	4歳児保育室	39.87	居室	AW3	0.20	7.974	4.400	2.600	3.000	1	34.320	34.320	OK	1.994	2.000	2.600	1	5.200	5.200	OK
	5歳児保育室	39.92	居室	AW3	0.20	7.984	4.400	2.600	3.000	1	34.320	34.320	OK	1.996	2.000	2.600	1	5.200	5.200	OK
	遊戯室	111.71	居室	AW13	0.20	22.341	6.000	2.600	3.000	1	46.800	55.425	OK	5.585	2.700	2.600	1	7.020	10.220	OK
				AW14	0.20	0	9.000		3.000	1	0.000			0.000	1.600	1.000	1	1.600		
				AW15	0.20	0	9.540		3.000	1	8.625			0.000	1.600	1.000	1	1.600		
	物入	10.45	非居室	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※換気計算における引違い窓は、引き残しを考慮して幅×1/2-0.1ｍを有効幅とする。

●排煙計算表

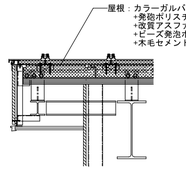
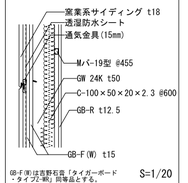
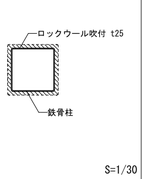
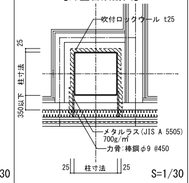
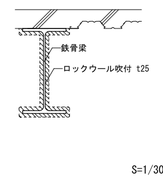
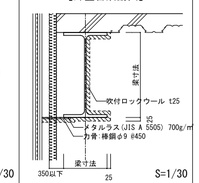
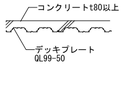
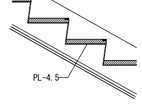
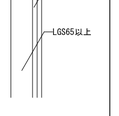
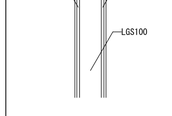
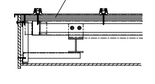
区画記号	床面積(A)㎡	建具記号	排煙計算(A/50)						
			必要面積㎡	有効幅m	有効高さm	箇所	有効面積㎡	合計面積	判定
A	86.75	AD2	1.735	2.485	0.500	1	1.243	2.543	OK
		AW12		1.700	0.500	1	0.850		
		AW10		0.900	0.500	1	0.450		
B	77.66	AW1	1.553	4.070	0.600	1	2.442	4.602	OK
		AW2		3.600	0.600	1	2.160		
C	38.83	AW3	0.777	4.400	0.600	1	2.640	2.640	OK
D	48.32	AW4	0.966	1.800	0.600	1	1.080	1.330	OK
		AW5		1.800	0.100	1	0.180		
		AW6		0.700	0.100	1	0.070		
E	99.75	AW17	1.995	2.700	0.600	1	1.620	3.090	OK
		AW12		1.700	0.600	1	1.020		
		AW16		0.900	0.500	1	0.450		
		－		0.000	0.000	1	0.000		
F	43.06	AW3	0.861	4.400	0.600	1	2.640	2.640	OK
G	42.82	AW3	0.856	4.400	0.600	1	2.640	2.640	OK
H	44.10	AW3	0.882	4.400	0.600	1	2.640	2.640	OK
I	123.57	AW13	2.471	6.000	0.600	1	3.600	3.600	OK
		AW14		0.000	0.000	1	0.000		
		AW15		0.000	0.000	1	0.000		

●消防無窓階の算定表

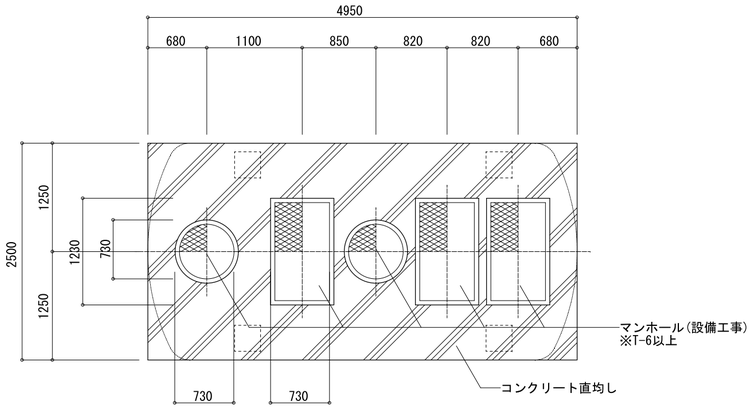
階	1						
各階床面積A(㎡)	386.40						
必要開口面積(㎡) A/30	12.88						
直径1ｍ以上の円が内接する開口部または、W≧750の上、H≧1,200	建具記号	建具種別	FL+	ガラス種別	有効幅W(m)	有効高さH(m)	箇所数	有効面積(㎡)
	AW1	引違い窓+外倒し排煙窓	0	複層ガラス(FL6＋A12＋FL6)	0.96×4= 3.84	2.00	1.00	7.68
	AW2	引違い窓+外倒し排煙窓	0	複層ガラス(FL6＋A12＋FL6)	0.84×4= 3.36	2.00	1.00	6.72
	AW3A	引違い窓+外倒し排煙窓	0	複層ガラス(FL6＋A12＋FL6)	1.04×4= 4.16	2.00	1.00	8.32
	AW4	引違い窓+外倒し排煙窓	0	複層ガラス(FL6＋A12＋FL6)	0.86×2= 1.72	2.00	1.00	3.44
開口部面積合計	26.16							
判定	OK							

階	2						
各階床面積A(㎡)	370.45						
必要開口面積(㎡) A/30	12.35						
直径1ｍ以上の円が内接する開口部または、W≧750の上、H≧1,200	建具記号	建具種別	FL+	ガラス種別	有効幅W(m)	有効高さH(m)	箇所数	有効面積(㎡)
	AW3B	引違い窓+外倒し排煙窓	0	複層ガラス(FL6＋A12＋FL6)	1.04×4= 4.16	2.00	3.00	24.96
	AW13	引違い窓+外倒し排煙窓	0	複層ガラス(FL6＋A12＋FL6)	0.94×4+0.948×2= 5.66	2.00	1.00	11.31
								0.00
								0.00
開口部面積合計	36.27							
判定	OK							

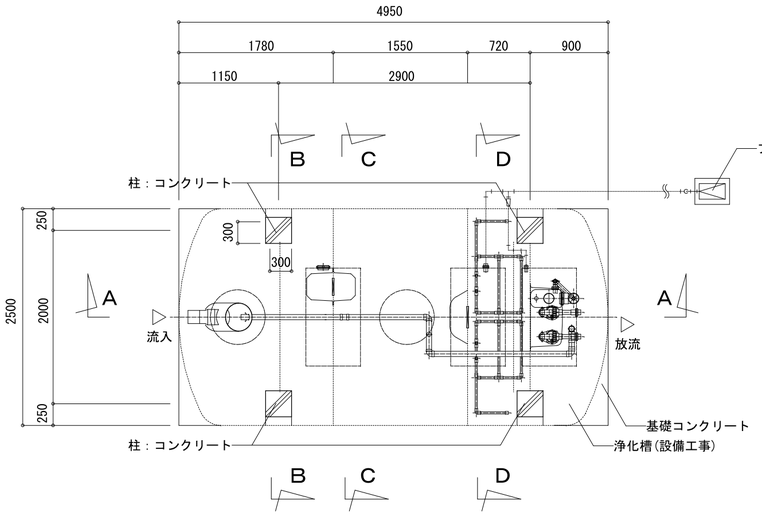
●耐火構造一覧

屋　根	外　壁	柱		梁	
30分耐火構造	1時間耐火構造	1時間耐火構造	1時間耐火構造	1時間耐火構造	1時間耐火構造
FP030RF-1497	FP060NE-0251-1(3)	FP060CN-9460	FP060CN-0819	FP060BM-9408	FP060BM-0573
 S=1/30	 GB-F(不燃性能認定品「タイガーボード・タイプZ-W」同等品とする。 S=1/20	 S=1/30	【外壁合成耐火】  S=1/30	 S=1/30	【外壁合成耐火】  S=1/30
床	**階　段**	**間仕切り壁(令114条2 防火上主要な間仕切)**		**軒裏**	**庇**
1時間耐火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造①	1時間耐火構造②	45分準耐火構造	30分耐火構造
FP060FL-0126	H12告示1399号第6	FP060NP-0007	FP060NP-0473-1(1)	－	FP030RF-1945(2)
 S=1/50	階段鉄骨造  S=1/30	 ※LGS下地、石膏ボードはスラブまで施工 S=1/20	 ※LGS下地、石膏ボードはスラブまで施工 S=1/20	告示第1358号第5項二号 かっこ書きより対象外	

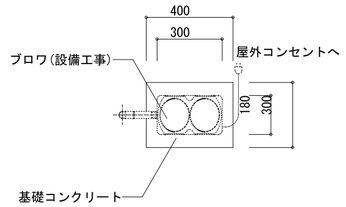
訂正 月 日	事項			株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	法規チェック図（２）	縮尺 A2:1/150 A3:1/210	図面No. A-702 確-25
					設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長 課長 担当 製図	設計No.	



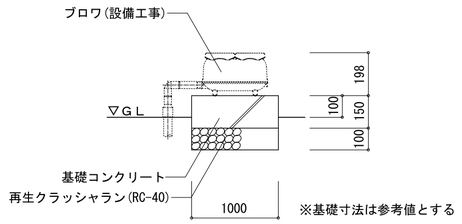
スラブ平面図　１／５０



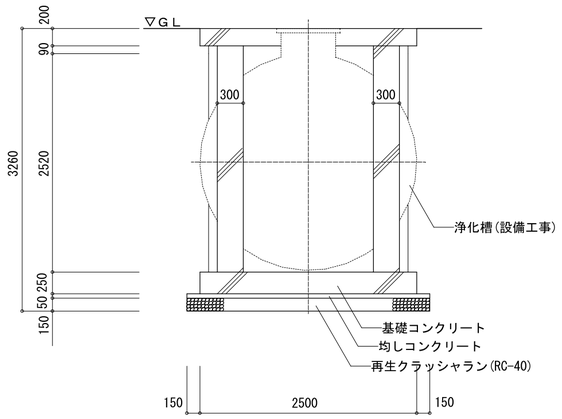
内部平面図　１／５０



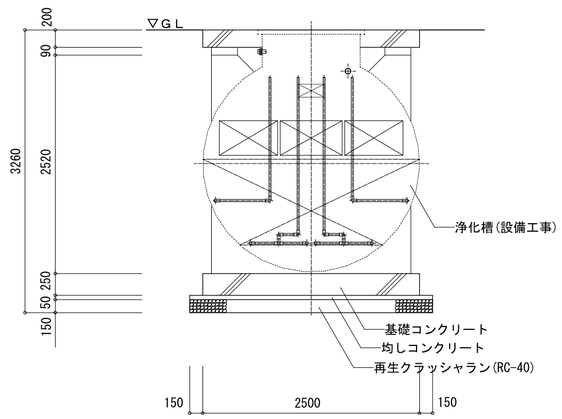
ブロワ基礎平面参考図　１／２０



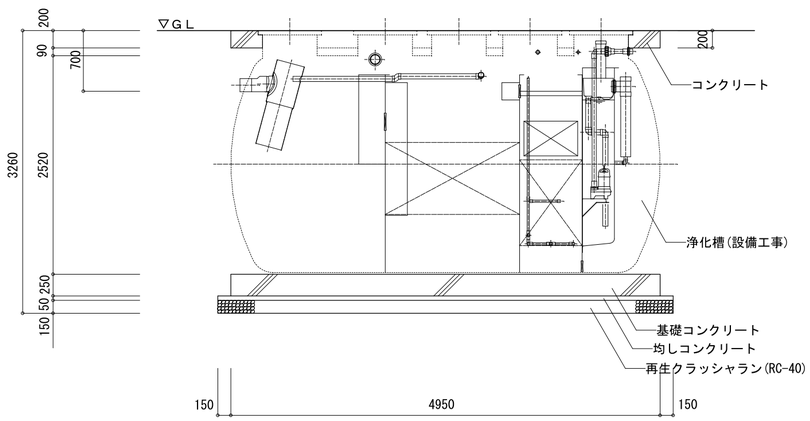
ブロワ基礎断面参考図　１／２０



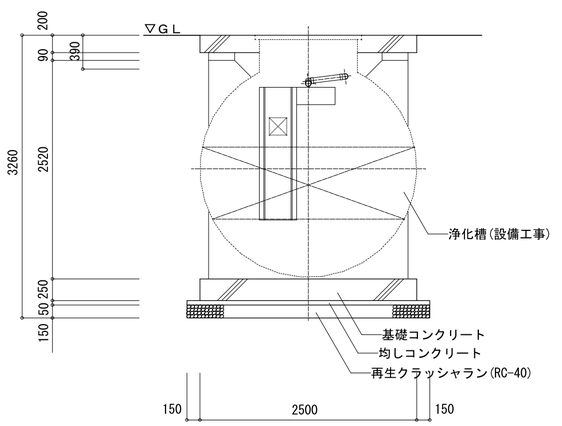
Ｂ－Ｂ断面図　１／５０



Ｄ－Ｄ断面図　１／５０



Ａ－Ａ断面図　１／５０



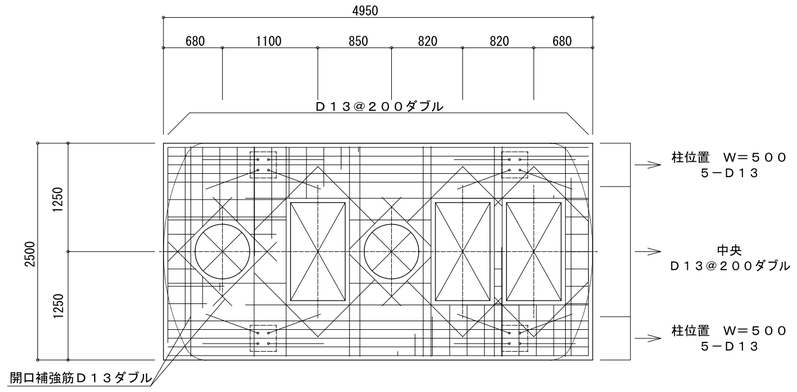
Ｃ－Ｃ断面図　１／５０

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

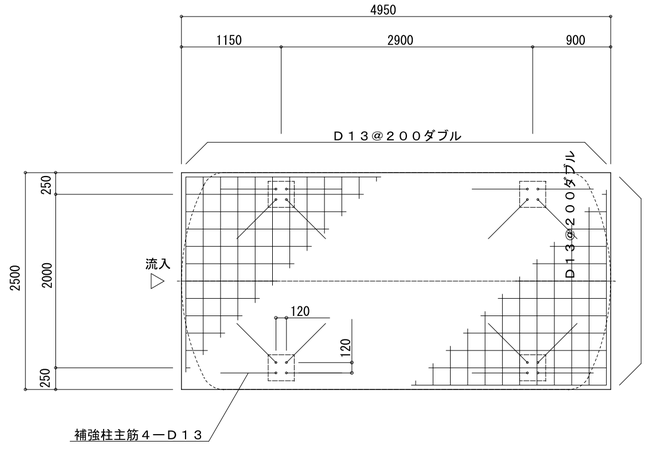
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	浄化槽設備図
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	図示	部長　課長　担当　製図	
図面No.	A-801	設計No.	確-28



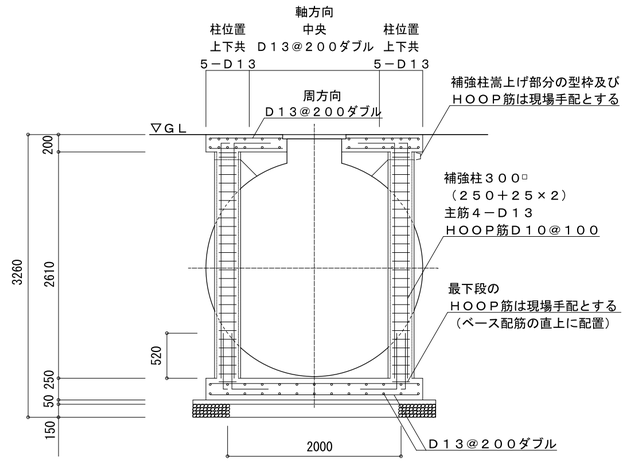
スラブ配筋図　１／５０

一　般　事　項	
コンクリート	Ｆｃ＝２１Ｎ／ｍｍ２
鉄　　筋	ＳＤ２９５Ａ
鉄筋かぶり	スラブ　４０
	ベース　６０
定着及継手	４０ｄ

注１）上部は乗用車荷重とする。
注２）図中の「Ｇ．Ｌ」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注３）地耐力は６０ＫＮ／ｍ２以上必要とする。（実際の工事業者が確認後施工の事）



ベース配筋図　１／５０



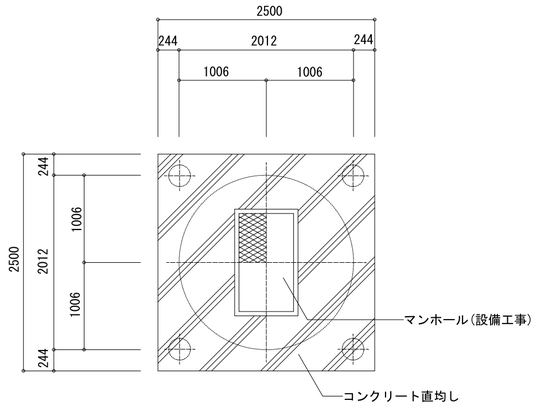
横型槽断面配筋図　　１／５０

訂正	月．日	事　項		
	．．		．．	
	．．		．．	
	．．		．．	

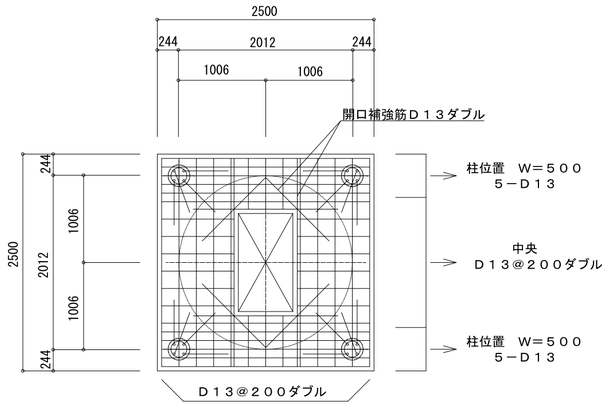
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	浄化槽配筋図
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	
縮尺	A2:1/50 A3:1/70	図面No.	A－８０２ 確－２９
部長	課長	担当	製図
設計No.			

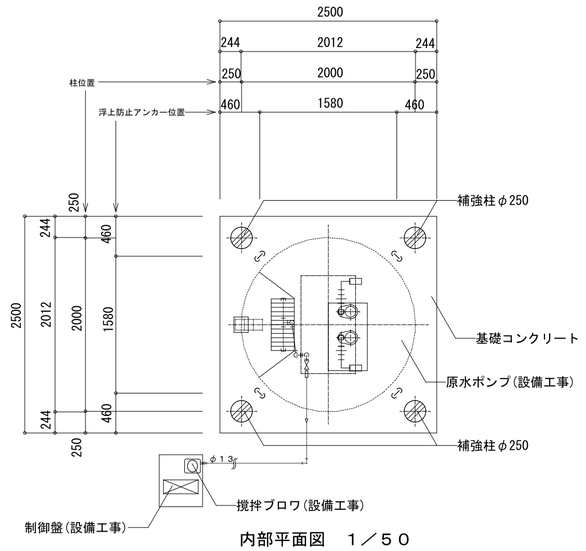


スラブ平面図　１／５０

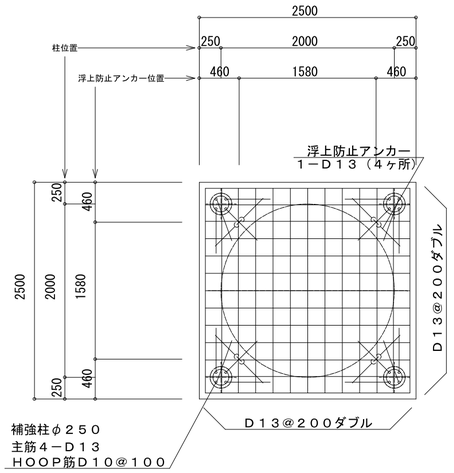


スラブ配筋図　１／５０

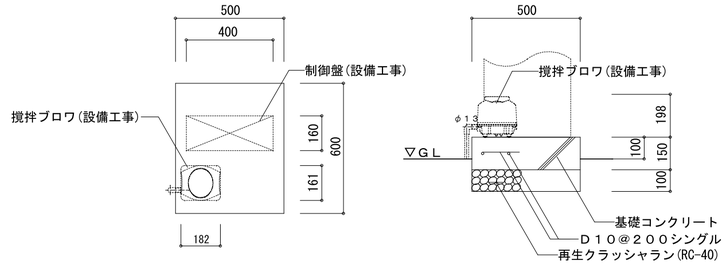
一　般　事　項	
コンクリート	Ｆｃ＝２１Ｎ／ｍｍ２
鉄　　筋	ＳＤ２９５Ａ
鉄筋かぶり	スラブ　４０
	ベース　６０
定着及継手	４０ｄ



内部平面図　１／５０

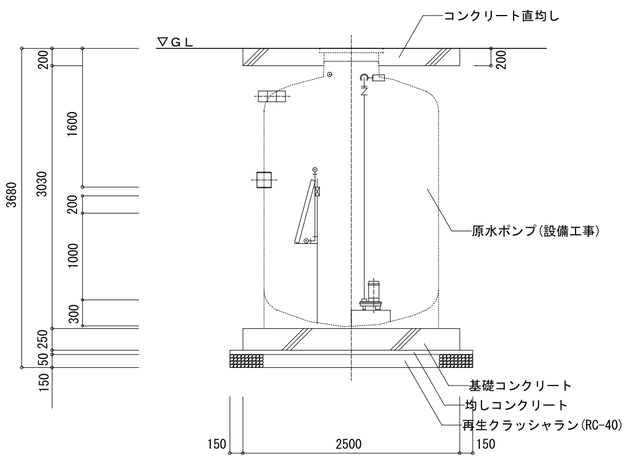


ベース配筋図　１／５０

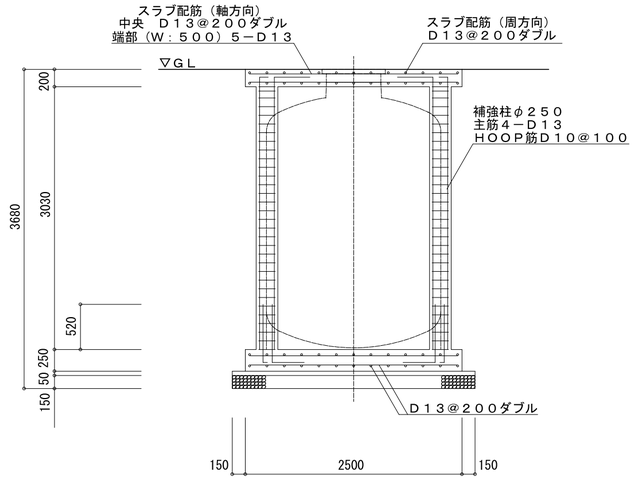


※基礎寸法は参考値とする

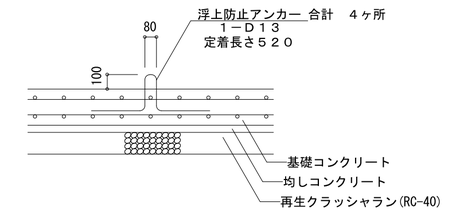
機械基礎平面参考図　１／２０　　機械基礎断面参考図　１／２０



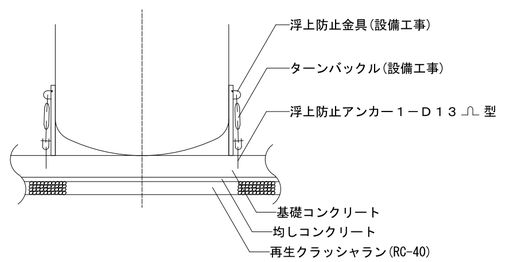
断面図　１／５０



断面配筋図　１／５０



浮上防止アンカー詳細図　　１／３０



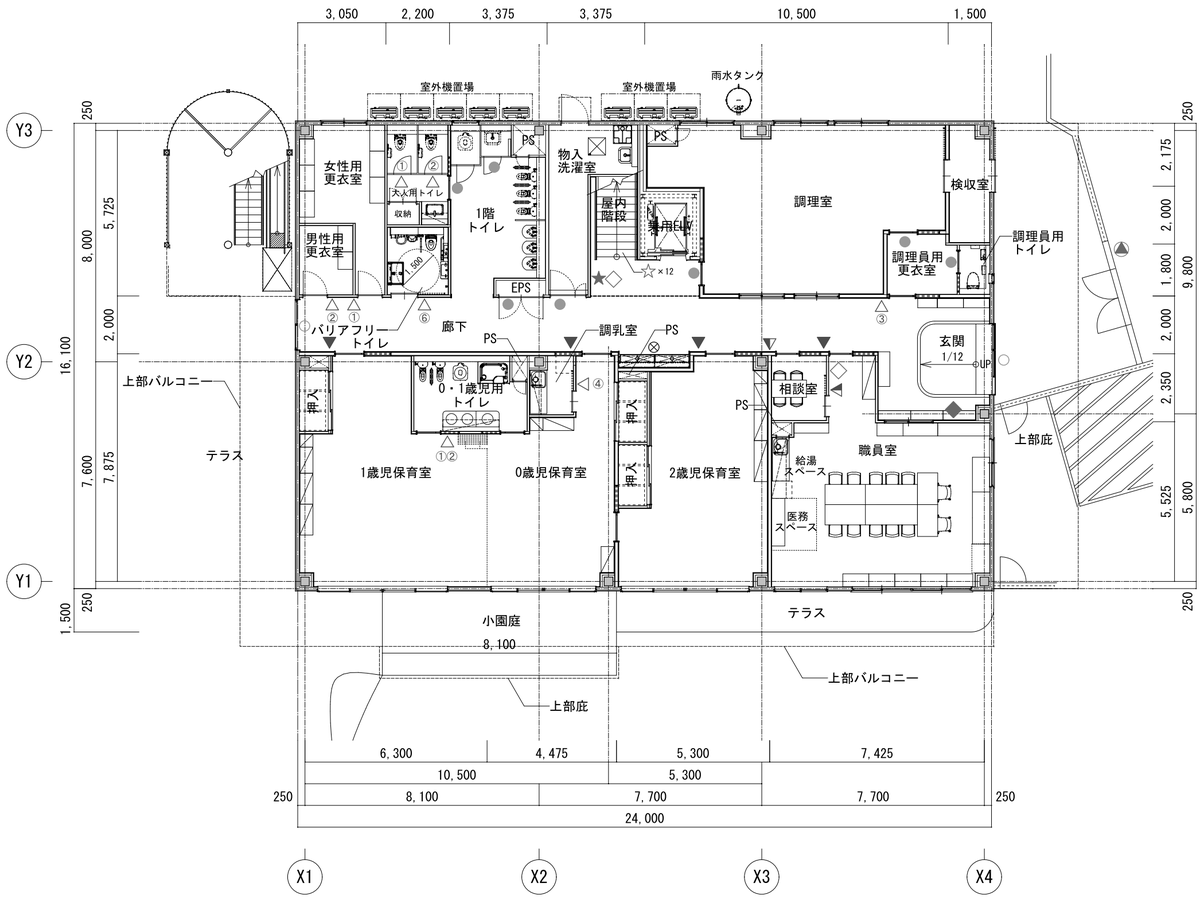
浮上防止アンカー図　１／５０

訂正	月　日	事　　項			事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	原水ポンプ図	縮尺	図示	図面No.	A－８０３ 確－３０
					設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.

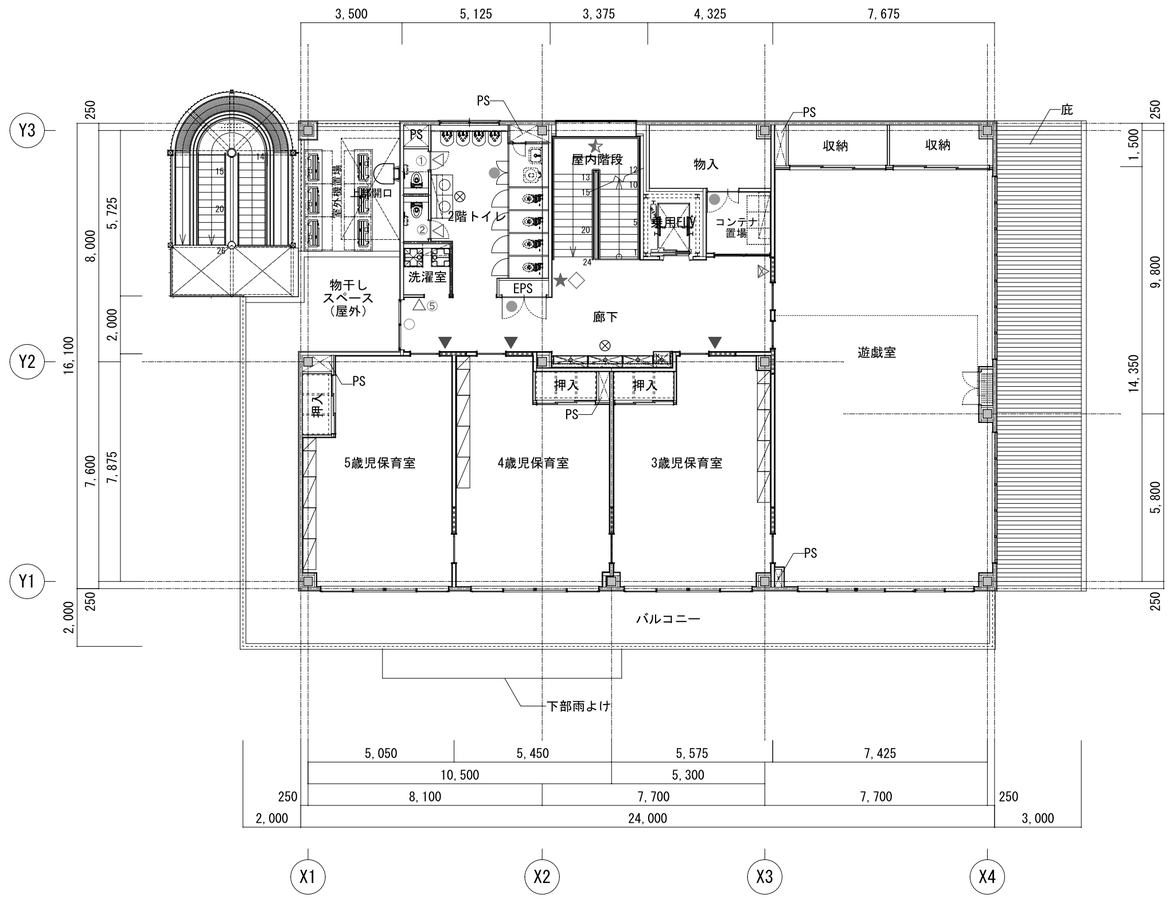
universal 株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

凡 例

A	▲	施設名称サイン	1A	▼	突出型室名サイン	5B	★	階数表示サイン
			1B	▽	平板型室名サイン	6	☆	階段手摺点字サイン
			2	▽	ピクトサイン	7	◆	総合案内板
			3	▼	在室表示付室名サイン	8	◇	避難経路図(避難位置まで誘導する標識)
			4	●	カッティングシート	9	○	衝突防止シート
			5A	★	階数表示サイン	10	⊗	手洗いサイン



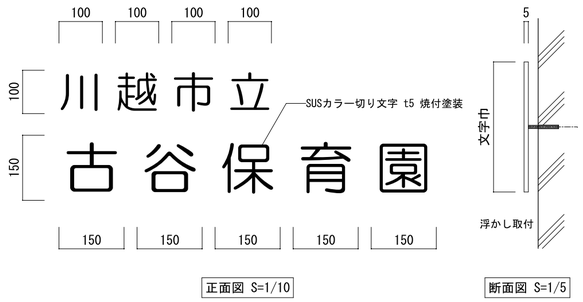
1階平面図 S=1/150



2階平面図 S=1/150

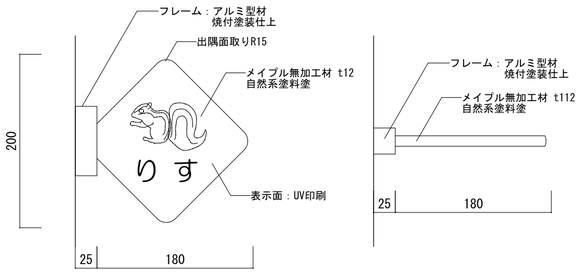
訂正	月 日	事項			株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	サインキープラン	縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.
						設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等		作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長 課長 担当 製図	設計No.		A-901

A 施設名称サイン　A2:図示　数量 1



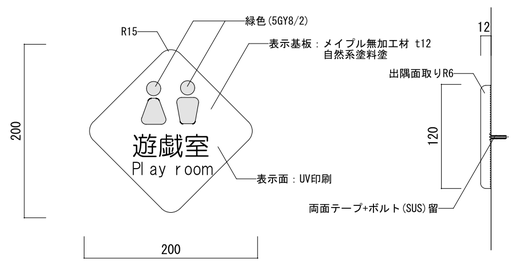
※施設名称は要相談の上、決定すること。

1A ▼ 突出型室名サイン　A2:1/30　数量 7



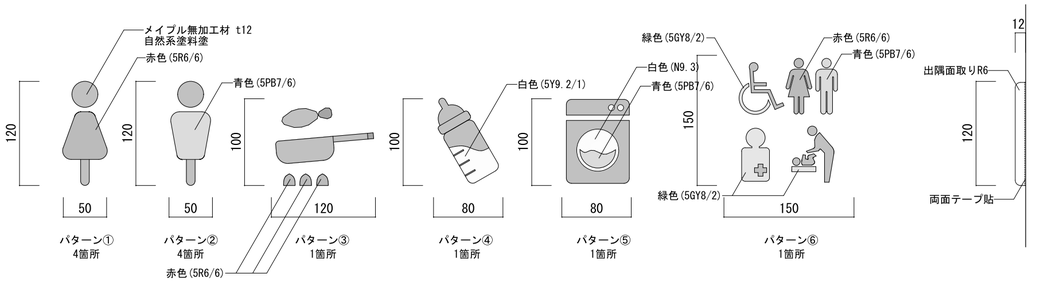
※表示内容は要相談の上、決定すること。

1B ▽ 平板型室名サイン　A2:1/3　数量 1

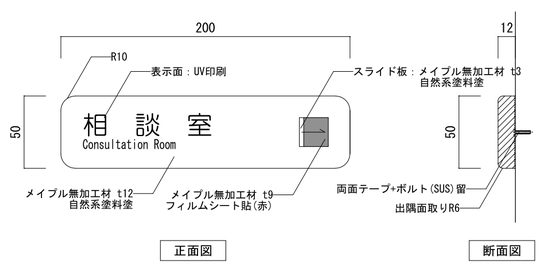


※表示内容は要相談の上、決定すること。

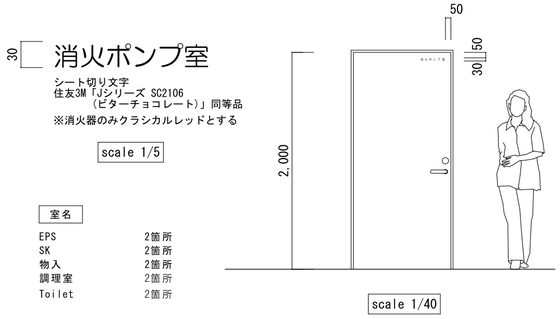
2 ▽ ピクトサイン　A2:1/3　数量 12



3 ▼ 在室表示付サイン　A2:1/5　数量 2

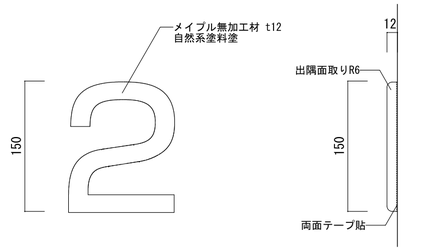


4 ● カッティングシート　A2:図示　数量 10

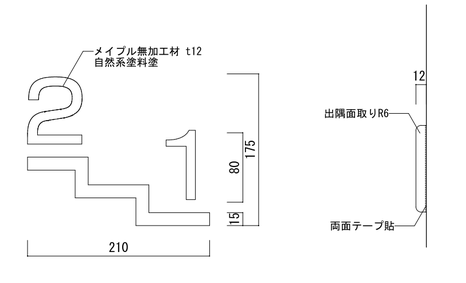


室名	
EPS	2箇所
SK	2箇所
物入	2箇所
調理室	2箇所
Toilet	2箇所

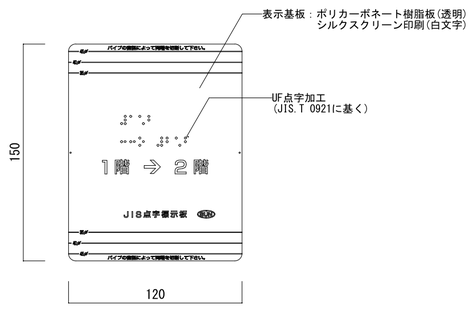
5A ★ 階数表示サイン　A2:1/5　数量 2



5B ☆ 階数表示サイン　A2:1/5　数量 1



6 ☆ 階段手摺表示サイン　A2:1/3　数量 12



表示基板：ポリカーボネート樹脂板(透明)

■サイン特記仕様

[1]使用材料
- a．木材　：ＶＯＣ商品（ホルムアルデヒド基準Ｆ☆☆☆☆対応）
- b．アルミ　：ＪＩＳ－Ｈ４１００　Ａ－６０６３　Ｓ－Ｔ５（アルミ押出型材）
- c．アクリル　：ＪＩＳ－Ｋ－６７１８－１（キャスト板），ＪＩＳ－Ｋ－６７１８－２（押出板）
- d．ステンレス　：ＪＩＳ－Ｇ４３０５　ＳＵＳ３０４、ＨＬ仕上

[2]ピクトグラム
- a．図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[3]ユニバーサルデザイン
- a．ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
- b．多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているＣＵＤ賛助会員による製作を推奨する。

[4]取付位置・方法
- a．取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
- b．取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
- c．障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

[5]フォント
- a．書体については、丸ゴシックとし、「スーラM」を基準とする。

[6]その他
- a．室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
  又、室名札脱着の際には　スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
  商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
- b．サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

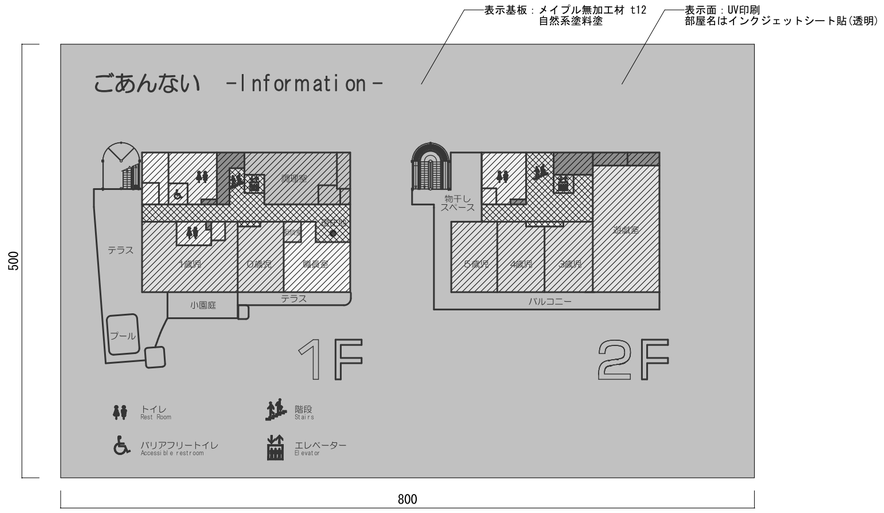
訂正	月	日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	サイン詳細図（１）
作成	2025 年 1 月 31 日	承認	部長　課長　担当　製図
縮尺	図示	図面No.	A-902
設計No.			

7 ◆ 総合案内板　A2:1/3　数量 1



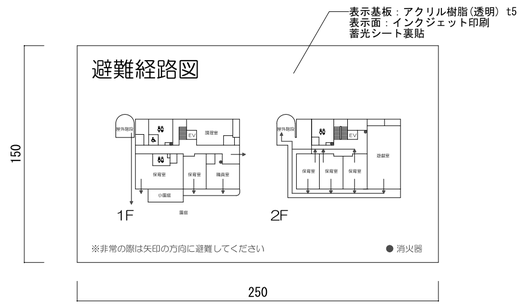
凡例

表示基盤の上、メイプル無加工材 t5 自然系塗料塗 接着剤貼

表示基盤の上、メイプル無加工材 t12 自然系塗料塗 接着剤貼

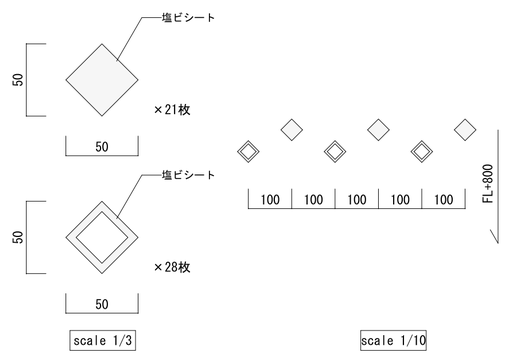
※平面図により表示内容は調整すること。
※各室の色分は係員と協議の上、決定すること。

8 ◇ 避難経路図(避難位置まで誘導する標識)　A2:1/3　数量 3



※平面図により表示内容は調整すること。

9 ○ 衝突防止シート　A2:図示　数量 49



10 ⊗ 手洗いサイン　A2:1/3　数量 18

各手洗いに6種類のサイン設置
※画像データは「ソコスト」より引用
https://soco-st.com/465

■サイン特記仕様

[1]使用材料
　a．木材　　：ＶＯＣ商品（ホルムアルデヒド基準Ｆ☆☆☆対応）
　b．アルミ　　：ＪＩＳ－Ｈ４１００　Ａ－６０６３　Ｓ－Ｔ５（アルミ押出型材）
　c．アクリル　　：ＪＩＳ－Ｋ－６７１８－１（キャスト板），ＪＩＳ－Ｋ－６７１８－２（押出板）
　d．ステンレス　：ＪＩＳ－Ｇ４３０５　ＳＵＳ３０４、ＨＬ仕上

[2]ピクトグラム
　a．図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[3]ユニバーサルデザイン
　a．ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
　b．多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているＣＵＤ賛助会員による製作を推奨する。

[4]取付位置・方法
　a．取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
　b．取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
　c．障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

[5]フォント
　a．書体については、丸ゴシックとし、「スーラM」を基準とする。

[6]その他
　a．室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
　　又、室名札脱着の際には　スライドロック機構、専用吸盤などを利用し
　　商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
　b．サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

訂正	月　日	事　項		

universal 株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	サイン詳細図（２）
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	図示
承認		図面No.	A-903
部長	課長	担当	製図
設計No.			

凡例［仮設計画］（詳細は現場打合せの上決定とする）

	枠組本足場［手摺先行方式］ 1800×900 防炎シートⅠ類 足場の高さは屋上又は屋根高＋1.8mとする。 足場板を設置すること。
	仮設鉄板敷（1,500×6,000×22）
	仮囲い（万能鋼板 H=2,000）
	仮門（キャスターゲート W=6,000）
	警備員配置
	山留(親杭横矢板工法) ①H-350×350×12×19 @1,200 ②③H-300×300×10×15 @1,200 鋼矢板 t40、根入れ 5,500

特記事項
・本仮設計画図は基本参考図とし、施工者が、その責任において別に施工計画を立案すること。
・構内には必要に応じて敷鉄板を設置すること。
・足場の高さについては建物高さに併せて適宜計画すること。

物置
棚
物置
X1
X2
X3
X4
24,000
250
8,100
7,700
7,700
250
C148
C153
24,688
▽隣地境界線
C152
15,334
C143
Y3
Y2
Y1
250
8,000
7,600
250
1,500
16,100
8,438
24,358
K4
①保育所周囲山留 72.25m
②浄化槽周囲山留
27.9m
オープンカット範囲 27m
▽隣地境界線
1,779
C121
4,674
C150
R5T6
P31
▽道路境界線 41,220
K53
K59
R5T10
C145
C106
マンホール
資材置き場
オープンカット範囲 70m(外構工事)
25,000
△道路境界線
C107
K52
市道3452号線（幅員5.1m）
法42条1項1号
18,000
③浸透トレンチ周囲山留 75.00m
（外構工事）
マンホール
K1
C146
K9
K14
12,381
C144
1,434
C119
R5T7
K15
K16
市道32号線（幅員14.0m）
法42条1項1号
14,000
2500
7000
4500
P23
K22

訂正	月 日	事項			

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	法適合確認結果等	

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	【参考】仮設計画図
作成	2025 年 1 月 31 日	縮尺	A2:1/200 A3:1/280
承認		部長 課長 担当 製図	
設計No.		図面No.	参-001

工事名	古谷地区公立保育所新築	工事

特記仕様書（構造関係）

Ⅰ　建物概要

1．主要用途　保育所

2．工事場所　埼玉県川越市大字古谷上4009番地13、4009番地23、4021番地10、4022番地1、5692番地17

3．棟名称及び構造･階数等

棟　鉄骨　造　2　階建て（地下　ー　階・ＰＨ　ー　階）

建築面積	498.79	㎡
延べ面積	781.99	㎡
床面積　2階	386.40	㎡
1階	375.28	㎡
階		㎡
階		㎡
階		㎡

建物高さ　9.860ｍ　軒高さ　8.010ｍ

工事種別　⊙新築　・増築　・改築　・移転

増築計画　・有り　⊙無し

構造種別　地上　鉄骨　造　地下　ー　造

架構型式　Ｘ方向　ラーメン　構造

Ｙ方向　ラーメン　構造

耐震構造方式　⊙耐震構造　・免震構造　・制振構造

耐震安全性の分類　・Ⅰ類(I=1.50)　・Ⅱ類(I=1.25)　⊙Ⅲ類(I=1.00)

4．構造計算条件

a　耐震設計条件

地震荷重	建物一次固有周期		（　0.262　）秒
	地盤種別		第　（　2　）　種地盤
	地域係数		Z=　1.0
計算ルート	Ｘ方向		※　許容応力度計算　（ルート　　）
			・　その他
			⊙　保有水平耐力計算　（ルート　3　）
	Ｙ方向		※　許容応力度計算　（ルート　　）
			・　その他
			⊙　保有水平耐力計算　（ルート　3　）
設計層間変形角	Ｘ方向	一次設計	1/200
		二次設計	1/100
	Ｙ方向	一次設計	1/200
		二次設計	1/100

b　耐風設計条件

基準風速　（Ｖ0）	（　32　）　m／秒
地表面粗度区分	・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ

c　耐積雪設計条件

建設地の標高	（　ー　）　m
多雪区域の指定	・有り　⊙無し
設計垂直積雪量	（　30　）　ｃｍ

5．地盤調査資料

調査内容	・サウンディング　(※)標準貫入試験　・　）
	⊙土質試験　⊙孔内水平載荷試験　・　平板載荷試験
	・
	・
調査位置 ボーリング柱状図	構造図　（S-013／確-13 図）　による
液状化対策の検討	・有り　⊙無し

Ⅱ　建築工事仕様

（1）質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」及び国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（2）標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（3）特記仕様書の表記
1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と(※)印の付いた場合は、共に適用する。⊙印と ※の場合は、○のみを適用する。
3）特記事項に記載の｛　．　．　｝内の表示番号は、埼玉県建築工事特別共通仕様書の当該項目、当該図表を示す。
4）特記事項に記載の（　．　．　）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
6）Ｇは「特定調達物品等」を表す。
7）注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項目	特記事項
4 地業工事	① 支持地盤等	・杭基礎　(4.2.1)(4.3.4、5)(4.5.5、6) 支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端の位置含む) ⊙図示による(S-013～014　)　・ ・直接基礎 支持地盤の位置及び種類(基礎底部の位置含む) ・図示による(　　)　・ 試験掘り(根切り底の状態の確認等)　(3.2.1) ・行う（位置等　・図示による（　　）・　　） 長期設計支持力度　・（　　）kN/㎡ ・地盤の載荷試験　（　　）箇所　(4.2.4) 載荷試験の方法 ・地盤工学会基準JGS 1521による　・ 試験の位置、載荷荷重 ※図示による（　　）　・ ・液状化対策 工法、施工範囲、仕様及び計測、試験等　※図示
	② 既製コンクリート杭地業	種類　(4.3.3) ⊙遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭） ⊙プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭） SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490 ・ 寸法、継手、性能等　（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）　(4.2.2)(4.3.3) 杭リストによる 杭先端部形状　(4.3.3) ⊙開放形　・半開放形　・閉そく形　・ 施工方法　※ 大臣認定工法：Hyper-ストレート工法 ・セメントミルク工法　(4.2.2)(4.3.1、4) 試験杭の位置　・図示による（　　）　・ 掘削深さ　・図示による（　　）　・ 杭の支持層への根入れ深さ ・図示による（　　）　・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ寸法　・杭径の1/4かつ100mm以下　・ 杭の傾斜　・1/100以内　・ 根固め液及び杭周固定液の管理試験 ※標準仕様書4.3.4(6)(3)による　・ ・特定埋込杭工法　(4.2.2)(4.3.1、5) ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式の内α、β、γが下記の値を採用できる工法 α=（　　）、β=（　　）、γ=（　　） 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀り拡大根固め工法 ・ 杭周固定液　⊙使用する　・使用しない 試験杭の位置　⊙図示による（　　）　・ 杭の支持層への根入れ深さ ⊙図示による（　　）　・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ寸法 ※※評定等の評価内容による　・杭径の1/4かつ100mm以下　・ 杭の傾斜 ※※評定等の評価内容による　・1/100以内　・ 杭の継手の工法　(4.3.3、6)(7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)、(2)による　・図示による（　　） ・ ⊙機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法　※※評定等を受けた工法　（トリプルプレートジョイント） 検査　※※評定等により定められた項目　・ 施工　※※評定等をされた施工管理基準による　・ 杭頭の処理　(4.3.8) ・処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・図示による(　　)　・ 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの(フーチング下端まで中詰め)
	3 鋼杭地業	材料、寸法、継手等　(4.4.2、3、5) 杭リストによる 特定埋込杭工法　(4.2.2)(4.3.1、5) ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式の内α、β、γが下記の値を採用できる工法 α=（　　）、β=（　　）、γ=（　　） 工法 ・中堀り拡大根固め工法 ・ 試験杭の位置　・図示による（　　）　・ 杭の精度 水平方向の位置ずれ寸法 ※※評定等の評価内容による　・杭径の1/4かつ100mm以下　・ 杭の傾斜 ※※評定等の評価内容による　・1/100以内　・ 杭の継手の工法　(4.4.3、5)(7.2.5) ・溶接継手 形状 ・JIS A 5525 による　・ 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)、(2)による　・図示による（　　） ・
	4 場所打ち コンクリート杭地業	・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法　※※評定等を受けた工法　・ 検査　※※評定等により定められた項目　・ 施工　※※評定等をされた施工管理基準による　・ 杭頭の処理　(4.3.8)(4.4.6) ・処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・図示による(　　)　・ 杭頭の中詰め材料　(4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調合のもの　・ 工法　(4.5.1、4～6) ・アースドリル工法　(安定液　・使用する　・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法　(孔内の水張り　・行う　・行わない) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料　・SKK400　・SKK490　・ 鋼管径・板厚・長さ　※図示による（　　）　・ 併用する工法 ・拡底杭工法（安定液　・使用する　・使用しない） 材料その他　(4.2.2)(4.5.4) 寸法等

	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(m)	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭						
本杭						

鉄筋の種類

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・SD295		
・SD345		
・		

帯筋
・図示による（構造関係共通図(配筋標準図)6.2帯筋(2)⑥(ロ)）
・
鉄筋の最小かぶり厚さ
・100mm　・
鉄筋かごの補強
・図示による（　　）　・
組み立てた鉄筋の節ごとの継手
※重ね継手（重ね継手の長さ：標準仕様書 表5.3.2による）
・図示による（　　）　・
主筋の基礎底盤への定着長さ　・
・図示による（　　）　・
セメントの種類
※高炉セメントB種 Ⓖ　・
コンクリートの設計基準強度　・（　　）N/mm　・
コンクリートの種別
・A種　・B種　・評定等の内容による
スランプ
・18cm　・21cm
構造体強度補正値
・3N/mm²　・評定等の内容による　・
試験杭の位置　・図示による（　　）　・
杭の支持層への根入れ深さ
・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ
・評定等の内容による　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜
・評定等の内容による　・1/100以内　・
孔壁の保持状況（孔壁測定）
測定箇所　・試験杭(　)箇所及び本杭(　)箇所　・
測定方法　・超音波測定器
・
⑤ 砂利地業　材料　⊙再生クラッシャラン Ⓖ　・切込砂利又は切込砕石　・　(4.6.2、3)
施工範囲　⊙基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・図示による(　　)　・
厚さ　※60mm　・
6 砂地業　材料　・シルト　(4.6.2、3)
・有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂
・
施工範囲　・図示による（　　）　・
厚さ　※60mm　・
⑦ 捨コンクリート地業　材料　※普通コンクリート　・　(4.6.4)(6.14.1～3)
設計基準強度　※18N/mm²　・
スランプ　※15cm又は18cm　・
施工範囲　⊙基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・図示による(　　)　・
厚さ　※50mm（※平たん仕上げ　・　　）　・
⑧ 床下防湿層　材料　(4.6.2、5)
⊙ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
施工範囲
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下
⊙土間床板、底板下
9 地盤改良工法　種類及び施工方法等　・図示による（　　）　・
六価クロム溶出試験　・行う

5 鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類　(5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
⊙SD295	※※ D16以下	
⊙SD345	※※ D19以上　⊙ D19～25	
⊙SD390	⊙ D29以上	
・		

② 溶接金網　形状等　(5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の経(mm)	使用部位
⊙溶接金網		6φ-100×100	小園庭部分
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手　鉄筋の継手方法等　(5.3.4)

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	⊙ガス圧接　・機械式継手　・溶接継手	※※ D19以上
耐力壁の鉄筋	⊙重ね継手　・	
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	⊙重ね継手　・ガス圧接	
その他の鉄筋(雑壁等　)	⊙重ね継手　・	

継手位置
⊙図示による（構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1）
基礎梁主筋の継手位置　・図5.2　⊙図5.3　・図5.4
・図示による（　　）　・
柱及び梁の重ね継手の長さ
・図示による（　　）　・
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(ｳ)）
・図示による（　　）　・
柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所に設ける部分の位置及び施工方法等
・図示による（　　）　・

	④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ ⊙図示による（S-003～006） 機械式定着工法 運用所 ・図示による（　　）　・ 種類 ・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定 ・鈑合グラウト固定　・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図（配筋標準図）による。これによらない箇所は図示による。
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）	最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） ※図示による（構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1） ・図示による（　　）　・ 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり　適用箇所(　　) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり　適用箇所(　　) ・最小かぶり厚さに加える厚さ　(　　)mm ・
	⑥ 各部配筋	※図示による
	⑦ ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 ※※行う（全ての圧接部） 抜取試験 ※※超音波探傷試験（試験方法　標準仕様書5.4.10(4)(a)による） ・引張試験 試験方法　※標準仕様書5.4.10(4)(b)による ・
	8 機械式継手	適用箇所 ・図示による（　　）　・ H12建告第1463号に適合する性能 ・A級　・ 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・ ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 ・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象　※全数 試験項目　・ ・評定等の評価内容による　・ 試験方法 ・評定等の評価内容による　・ ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする ・ 試験の箇所数 ・1ロットに対して（　　）箇所 ・全数 試験項目　※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による 不合格となった場合の措置 ・
	9 溶接継手	適用箇所 ・図示による（　　）　・ H12建告第1463号に適合する性能 ・A級　・ 溶接継手の工法 ・図示による（　　）　・ 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による（　　） 施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 試験対象　※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による　・ 試験方法 ・評定等の評価内容による　・ ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする ・ 試験の箇所数 ・1ロットに対して（　　）箇所 ・全数 試験項目　※内部欠陥の検出 試験方法 ※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による 不合格となった場合の措置 ・

訂正	月　日	事項		
	・		・	
	・		・	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録　東京本部一級建築士事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号

設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二

設計者　一級建築士　登録第339311号
構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
作成	2025 年 3 月 26 日
承認	
図面名称	特記仕様書(構造関係・その１)
縮尺	NO SCALE
部長 / 課長 / 担当 / 製図	
図面No.	S－００１
設計No.	確S-01

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類等

類別 (6.2.1)
・※Ⅰ類（JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308 に適合したコンクリート）

普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)

設計基準強度 (N/mm²)	気乾単位容積質量 (t/m³)	スランプ	適用箇所
○24	2.3程度	・15又は18 ○18	基礎、基礎梁、1階床
○21	2.3程度	○18	2階床
○21	2.3程度	○15	土間コンクリート
・		・	
・		・	

構造体強度補正値(S) (6.3.2)
※標準仕様書 表6.3.2による
補正値Ｓ＝３（２月18日～ 7月 3日、 9月15日～12月 5日）【参考】
Ｓ＝６（12月 6日～ 2月17日、 7月 4日～ 9月14日）【参考】
○配合計画書による

② セメント

種類 (6.3.1)
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又は
フライアッシュセメントＡ種
適用箇所（※下記以外全て ・ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352 J/g以下、かつ28日目で 402 J/g以下のものとする。
・高炉セメントＢ種 G
適用箇所（・1Fより下部（立上り部含む） ・ ）
・フライアッシュセメントＢ種 G
適用箇所（・ ）
・

③ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※Ａ ・Ｂ（コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m³ 以下）

④ 混和材料

○混和剤 (6.3.1)
混和剤の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・
○混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・

⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地

打継ぎの位置 (6.6.4)
梁及びスラブ
※スパンの中央又は端から1/4の付近
・図示による（ ） ・
柱及び壁
※スラブ、壁梁又は基礎の上端
・図示による（ ） ・

目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
○標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による ・
※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する
・図示による（ ） ・

ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)
・図示による（ ） ・

6 湿潤養生

湿潤養生の期間 (6.7.2)
・セメントの種類が普通エコセメントの場合 （ ）日

7 コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)

種別	適用箇所
・Ａ種	※図示による（ ）
○ Ｂ種	※図示による（ ）
・Ｃ種	※図示による（ ）

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適用箇所
・ａ種	※図示による（ ）
○ ｂ種	※図示による（ ）
・ｃ種	※図示による（ ）

⑧ 打増し厚さ（打放し仕上げ部）

打増し厚さ (6.8.1)
○打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20mm ・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm ・
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm ・
打増し範囲
・図示による( ) ・

⑨ 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
○合板（※12mm ・ ） G
コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。
・断熱材を兼用した型枠の使用
適用箇所 ・図示による（ ） ・
・ＭＣＲ工法用シートの使用
適用箇所 ・図示による（ ） ・
打増し厚さ ・20mm ・
打増し範囲 ・図示による（ ） ・
スリーブの材種・規格等 ・
○図示による（ ） ・

存置期間及び取外し (6.8.4)
※標準仕様書6.8.4による
・普通エコセメントの場合（※図示による（ ） ・ ）

10 軽量コンクリート

適用箇所 (6.10.1、2)
・図示による（ ） ・
種類
・1種 ・2種
気乾単位容積質量
・標準仕様書 表6.10.1による ・
スランプ
※21cm ・

⑪ 寒中コンクリート

適用期間（ 1月 1日～ 2月18日）【参考 S=6】 (6.11.1、2)
構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合
・図示による（ ）、Ｓ＝（ ）・

(6.12.2)
⑫ 暑中コンクリート
適用期間（ 7月 4日～ 9月14日）【参考】
構造体強度補正値(S)
※6N/mm² ・図示による（ ）、Ｓ＝（ ）・

13 マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1、2)
・図示による（ ） ・
セメントの種類
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉セメントＢ種 ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄＢ種 ・シリカセメント
混和材料の適用
・あり（・標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による ・標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による
・ ）
スランプ
※15cm ・
構造体強度補正値(S)
※標準仕様書表6.13.1による ・

⑭ 無筋コンクリート

コンクリートの種類 (6.14.1)
※普通コンクリート ・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種、シリカセメントＡ種又は
フライアッシュセメントＡ種
・高炉セメントＢ種 G
・フライアッシュセメントＢ種 G
設計基準強度 ※18 (N/mm²) ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
適用箇所
※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による（ ）

15 コンクリートの単位水量測定

実施要領
(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ｴｱﾒｰﾀ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構（旧(社)全国鉄構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場
評価の区分
※（ Ｍ ）グレード ・指定しない
・監督員の承諾する工場（標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る）

② 施工管理技術者

配置する (7.1.3、4)

③ 鋼材

種類等 (7.2.1)

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
BCR295	柱	○JIS規格による ・
SN400B	大梁, 片持梁	○JIS規格による ・
SN490C	ダイアフラム	○JIS規格による ・
SS400/STKR400	プレート, 小梁, 間柱, 鉄骨階段	○JIS規格による ・
SSC400	母屋, 胴縁	○JIS規格による ・

溶接亜鉛めっき工法の適用箇所
・
・

④ 高力ボルト

ボルトの種類 (7.2.2)
○トルシア形高力ボルト ○JIS形高力ボルト
○溶融亜鉛めっき高力ボルト
・
ボルトのねじの呼び ○図示による（ ） ・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
○図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

摩擦面の処理方法等 (7.4.2)(7.12.5)
溶融亜鉛めっき以外
※標準仕様書7.4.2(1)による ・
溶融亜鉛めっき面
○ブラスト処理（表面粗度50μm Rz以上）
・ブラスト処理以外の特別な処理方法
・図示による（ ） ・
すべり試験
・行う（※すべり係数試験 ・すべり耐力試験）
試験の方法等 ・図示による（ ） ・

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)(7.5.2)
○標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は JIS B 1180 とする。
(ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181 とする。ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。)
・
ボルトのねじの呼び ・図示による（ ） ・
座金 ※ JIS B 1256 による ・
戻り止め ※二重ナット ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
○図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

⑥ アンカーボルト

○構造用アンカーボルト（JIS B 1220） (7.2.4)(7.10.3)
種類 ○ABR400 ・ABR490 ・
・建方用アンカーボルト（JIS G 3101）
種類 ・SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による ・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
○図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔）
・

⑦ 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
○標準仕様書7.2.5(1)、(2)による
・標準仕様書7.2.5(1)、(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・図示による( ) ・

⑧ ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックル
※羽子板ボルト ・
建築用ターンバックル胴
※割枠式 ・
ねじの呼び
・図示による（ ） ・

⑨ 床構造用のデッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7)(7.7.8)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法	部材リストによる		

開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む）
・図示による（ ） ・

鉄骨部材への溶接方法
・図示による（ ） ・

耐火認定
・あり（耐火時間 ・図示による（ ） ・ ）

⑩ スタッド

頭付きスタッド（JIS B 1198）の種類等 (7.2.8)(7.7.6)

呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所
○16	100	大梁、小梁
・19		
・22		

スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。

⑪ 柱底均しモルタル

無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 (7.2.9)
※標準仕様書7.2.9(2)(ｱ)から(ｴ)による ・

⑫ 製作精度

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準に加えて、次による。 (7.3.3)
通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による ・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による ・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
○「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

13 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
・図示による（ ） ・

⑭ 溶接接合

開先の形状 (7.6.4)
○図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-2 溶接継手の種類別開先標準）
・

エンドタブの切除する部分 (7.6.7)
切断する場所 ・図示による（ ） ・
切断範囲
・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以上残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上げ
・標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による ・

完全溶込み溶接
板厚が異なる場合の突合せ継手
低応力高サイクル疲労を受ける部位
・図示による（ ） ・

スカラップの形状
○図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-4(4)改良型スカラップ）
・

⑮ 入熱、パス間温度の管理

適用箇所
・図示による（ ）
○柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

⑯ 溶接部の試験

H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12)
○「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②
・

JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する確認方法等
○JASS 6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
・

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
○工場溶接の場合
AQQL(%) ※4.0 ・2.5

節				
検査水準	第6水準			

・全数 ・
○工事現場溶接の場合
※全数 ・

⑰ 錆止め塗装

塗装の範囲 (7.8.2)
耐火被覆材の接着する面
・図示による（ ） ・
耐火被覆材の接着する面以外
※標準仕様書7.8.2(1)(ｱ)～(ｵ)以外の範囲
・図示による（ ） ・

塗料の種別 (7.8.4)
○鉄鋼面の錆止め塗料
屋外
○標準仕様書 表18.3.1 Ａ種 ・
屋内
○標準仕様書 表18.3.1（ ）種 ・
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
・標準仕様書 表18.3.2（ ）種 ・
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
・標準仕様書 表18.3.1 Ａ種 ・
・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料
・標準仕様書 表18.3.1（ ）種 ・標準仕様書 表18.3.2（ ）種
・

⑱ 耐火被覆

種類、材料、工法等 (7.9.2～8)

種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
○耐火材吹付け	・乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ		
	○湿式ロックウール		
	・半乾式吹付ﾛｯｸｳｰﾙ		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	―		
・耐火塗料			

材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする

⑲ 建方精度

※JASS6 付則6［鉄骨精度検査基準］付表5［工事現場］による (7.10.2)

⑳ アンカーボルト等の設置
(ISベース標準図による)

アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)
・図示による（ ） ・

構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による（ ） ・

建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法(標準仕様書 表7.10.1)
種別 ・Ａ種 ・Ｂ種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別(標準仕様書 表7.10.2)
厚さ ○図示による
種別 ※Ａ種 ・Ｂ種

㉑ 溶融亜鉛めっき（基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。）

種別等 (7.12.4)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材料	適用部位
・Ａ種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
・Ｂ種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
・Ｃ種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

外観検査 ※行う ・行わない

㉒ 梁貫通孔の補強

補強形式
○図示による（構造関係共通図(鉄骨標準図)1-6）
・
適用箇所
※図示による（ ） ・

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	特記仕様書(構造関係・その2)
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	設計者	一級建築士 登録第339311号 構造一級建築士 登録第 9542号 益子 拡	作成	2024 年 11 月 20 日	縮尺	NO SCALE
				承認		部長 課長 担当 製図	設計No.

図面No. S-002 確S-02

構造関係共通図（配筋標準図）

総則

1．適用範囲
（1）本構造関係共通図は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立の一般的な標準図とする。
（2）本構造関係共通図以外については、設計図及び監督員の指示による。

2．用語の定義
（1）設計図とは、建築構造図のうち特記仕様書（構造関係）、構造関係共通図以外の図面をいう。
（2）異形鉄筋の径（本文、図、表において「d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。
（3）長さ、厚さの単位は、特記なき限りmmとする。

3．優先順位
（1）設計図書の図面のうち配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1．特記仕様書（構造関係）
2．図面 ┬ 2-1 設計図
└ 2-2 構造関係共通図（配筋標準図）
3．国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」

4．記号
図面で使用する記号等は、表A～表Dを標準とする。

表A 異形鉄筋の断面表示記号

区分＼径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	◎

表B 各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
S※	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲
DO	土間コンクリート	⊠	スラブ開口
⊟	コンクリートブロック壁（CB壁）	⊛	ポーリング位置
▨	梁・スラブの上がり下がりの範囲	（±　）	FLからの上がり下がり
EW○○ EKW○○ ERW○○	耐力壁の種別 片持ちスラブ形階段を受け、かつ耐力壁の種別 土圧を受け、かつ耐力壁の種別	W○○ KW○○	一般壁の種別 片持ちスラブ形階段を受け、かつ一般壁の種別

表C 梁貫通孔記号

区分＼径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建　築	⊖	⊗	⊣	⊬	⊖	⊗	⊣	⊬	⊖	⊗	⊣	⊬	⊖	⊗	⊣

表D スリーブ材質の凡例

管　名	鋼　管	溶融亜鉛めっき鋼版	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図（余長）	折曲げ内法直径(D)		
		SD295A SD295B、SD345		SD390
		D16 以下	D19 ～ D38	D19 ～ D38
180°	4d 以上	3d 以上	4d 以上	5d 以上
135°	6d 以上			
90°	8d 以上			
135°及び90°（幅止め筋）	4d 以上 / 4d 以上			

1．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は 4d 以上とする。
2．90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

2 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
（1）柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

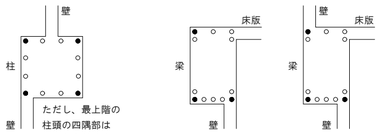


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（ ● 印）

（2）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
（3）杭基礎のベース筋
（4）帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3 継手及び定着

（1）鉄筋の重ね継手
（ア）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
（イ）柱及び梁主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	L_1（フックなし）	L_{1h}（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24，27	35d	25d
	30，33，36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24，27	40d	30d
	30，33，36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24，27	45d	35d
	30，33，36	40d	30d

（注）1．L_1，L_{1h}：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
2．フックありの場合のL_{1h}は、図3.1に示すようにフック部分 Q を含まない。
3．軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。

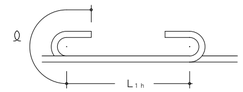


図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

（ウ）耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず
40d以上（軽量コンクリートの場合は 50d 以上）とする。ただし、表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。
（エ）隣り合う継手の位置は、表3.2による。
ただし、スラブ筋で D16 以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2 隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	L_{1h} / L_{1h} / a ＝0.5L_{1h} ／ L_{1h} / a ≧0.5L_{1h} / L_{1h}
	フックなしの場合	L_1 / L_1 / a ＝0.5L_1 ／ L_1 / a ≧0.5L_1 / L_1
溶接継手 ガス圧接継手	—	ガス圧接継手・溶接継手 / a / a ≧400mm
機械式継手	—	カップラー / b / a / a ≧400mm、かつ、a≧(b+40)mm

（2）鉄筋の定着
（ア）鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	直線定着の長さ L_1	直線定着の長さ L_2	直線定着の長さ L_3 小梁	直線定着の長さ L_3 スラブ	フック有り定着の長さ L_{1h}	フック有り定着の長さ L_{2h}	フック有り定着の長さ L_{3h} 小梁	フック有り定着の長さ L_{3h} スラブ
SD295	18	45d	40d	20d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	10d	—
	21	40d	35d			30d	25d		
	24，27	35d	30d			25d	20d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24，27	40d	35d			30d	25d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d	(25d以上)	(25d以上)	35d	30d		
	24，27	45d	40d			35d	30d		
	30，33，36	40d	35d			30d	25d		

（注）1．L_1，L_{1h}，L_2，L_{2h}：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフック有り定着の長さ。
2．L_3：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
なお、（　）は片持小梁及び片持スラブの場合を示す。
3．L_{3h}：小梁の下端筋のフック有り定着の長さ。
4．フック有り定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 Q を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
5．軽量コンクリートの場合は、表の値に 5d を加えたものとする。
6．鉄筋の種類が異なる場合は、細い鉄筋の径による。

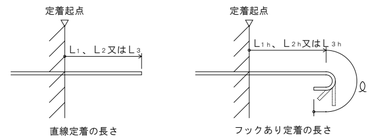


図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

（イ）梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(a)、(b)及び(c)をすべて満足するものとする。
（a） 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
（b） 余長は 8d 以上
（c） 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さL_a及びL_bは表3.4に示す長さとする。
ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

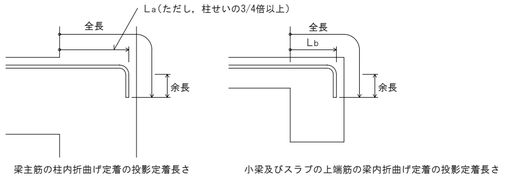


図3.3 折曲げ定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc（N/mm²）	L_a	L_b
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24，27	15d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24，27	20d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24，27	20d	20d
	30，33，36	20d	15d

（注）1．L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。
（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
2．L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。
（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
3．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

（ウ）溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
なお、L_1 は表3.1に、L_2 及びL_3 は表3.3による。

図3.4 溶接金網の継手及び定着

（4）スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

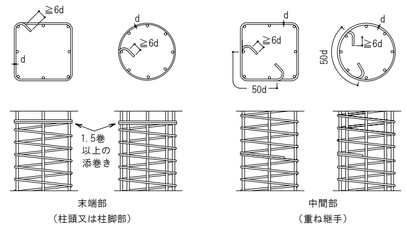


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4 鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

（1）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
ただし、柱及び梁の主筋に D29 以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種別				最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	スラブ，耐力壁以外の壁	仕上げあり		20
		仕上げなし		30
	柱，梁，耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁			※40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ			※60
煙突等高熱を受ける部分				60

（注）1．この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
2．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
3．スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4．杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。

（2）柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
（3）鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
（4）鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
（ア）粗骨材の最大寸法の1.25倍
（イ）25mm
（ウ）隣り合う鉄筋の径（呼び名の数値）の平均の1.5倍

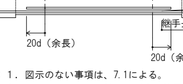


図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

（5）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、（4）による。
（6）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

（1）一般事項
（ア）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
（イ）梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(2)(ｲ)による。

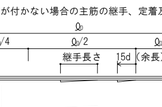
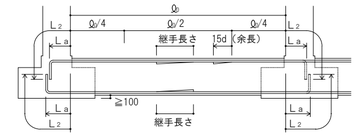


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

（b）独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



（注）1．図示のない事項は、7.1による。
2．＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
3．破線は、柱内定着の場合を示す。
4．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

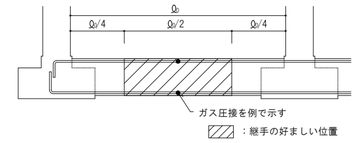
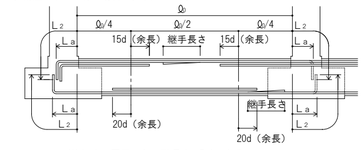


図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その１）

（3）独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
ただし、耐圧スラブが付く場合は、(4)による。



（注）1．図示のない事項は、7.1による。
2．＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
3．破線は、柱内定着の場合を示す。
4．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称 構造関係共通図(配筋標準図・その１) / 縮尺 NO SCALE A3:1/140 / 図面No. S-003 確S-03
	設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2024 年 11 月 21 日	承認 / 部長 / 課長 / 担当 / 製図 / 設計No.

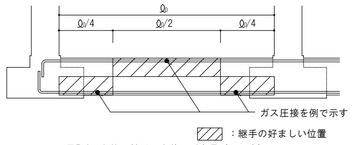
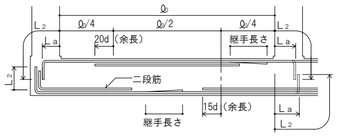


図5.3　主筋の継手、定着及び余長（その２）

（４）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。　（耐圧スラブがつく場合を含む）



（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＝＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

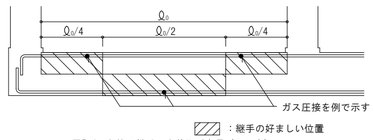


図5.4　主筋の継手、定着及び余長（その３）

5.2　基礎梁のあばら筋等

（１）一般事項
（ア）あばら筋の径および間隔は、設計図による。
（イ）あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(2)による。
また、副あばら筋組立の形及びフックの位置は7.2(3)による。
ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5による
ことができる。

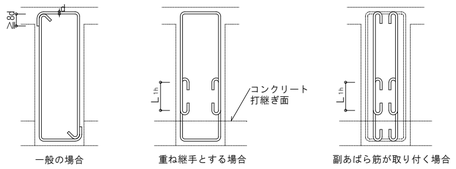
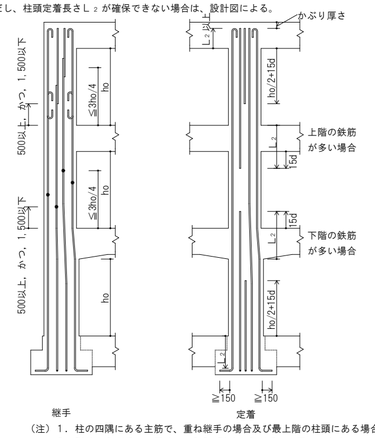


図5.5　あばら筋組立の形及びフックの位置

（２）腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は設計図による。
（３）あばら筋の割付けは、7.2(4)による。

6.1　柱

（１）一般事項
（ア）継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4（hoは柱の内法高さ）以下とする。
（イ）継手、定着及び余長は、図6.1による。
ただし、柱頭定着長さL_2が確保できない場合は、設計図による。



（注）１．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
２．隣り合う継手の位置は、表3.2［隣り合う継手の位置］による。
３．継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1　柱主筋の継手、定着及び余長

（２）柱打増し部
（ア）打増し部分に、壁、梁及びスラブ等がとりつく場合は、壁、梁及びスラブ筋等の定着長さには、
打増し部分を含まない。
（イ）土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

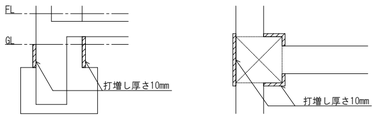


図6.2　柱打増し部

6.2　帯筋

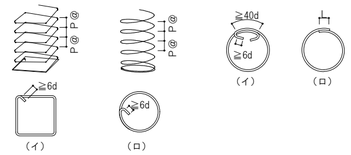
（１）帯筋の種類及び間隔は、設計図による。
（２）帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。構造図に記載がなければ次による。
（ア）形は、図6.3①とする。
ただし、Ｈ形の135°曲げのフックが困難な場合は、Ｗ－Ⅰ形とする。
（イ）溶接する場合の溶接長さＬは、両面重ねアーク溶接の場合は 5d 以上、片面重ねアーク溶接の場合は10d 以上とする。
（ウ）ＳＰ形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻き行う。

①Ｈ形

②Ｗ－Ⅰ形　③Ｗ－Ⅱ形　④Ｗ－Ⅲ形

注）溶接は、鉄筋の組立前に行う。

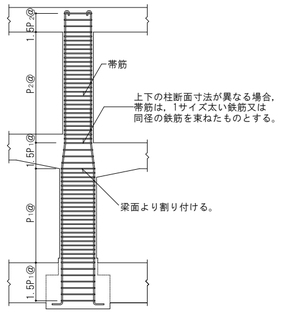
⑤ＳＰ形（スパイラル筋）　⑥丸形



（注）③Ｗ－Ⅱ形、④Ｗ－Ⅲ形は耐震改修工事のみ

図6.3　帯筋組立の形

（３）フック及び継手の位置は交互とする。
（４）帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は設計図による。



（注）１．柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P @または1.5P @と
する範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
２．図中のP_1@　、P_2@は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4　帯筋の割付け

7.1　大梁

（１）一般事項
（ア）梁の上がり下がりは FLを基準とした寸法値とする。
（イ）地中梁下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は設計図による。
（ウ）打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合は、スラブ、壁、梁筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。

（２）大梁主筋の継手及び定着の一般事項
（ア）継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 $Q_0/2$以内
下端筋：柱面より梁せい（Ｄ）以上離し、$Q_0/4$を加えた範囲以内
（イ）継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
（ウ）梁筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が、同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の
本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

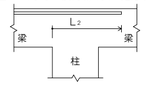


図7.1　梁主筋の梁内定着

（エ）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は3(2)(4)による。
上端筋：曲げ降ろす
下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。
（オ）梁にハンチをつける場合、その傾斜は設計図による。
（カ）段違い梁は、図7.2による。

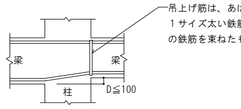
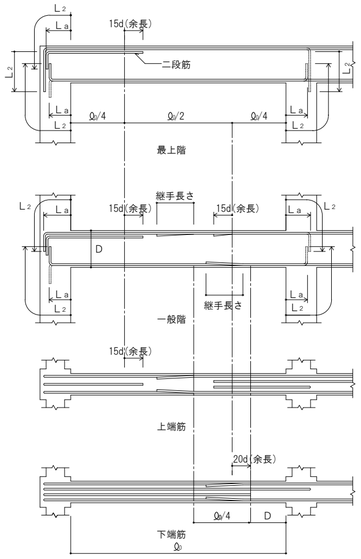


図7.2　段違い梁

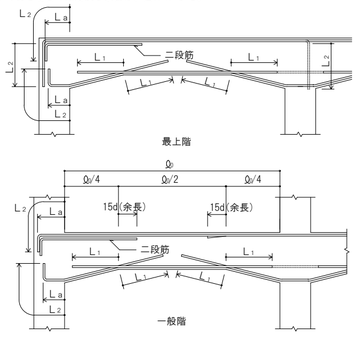
（３）ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



（注）１．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
２．＝＝＝＝ 印は、継手及び余長を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.3　大梁の重ね継手、定着及び余長

（４）ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。



（注）１．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
２．＝＝＝＝ 印は、継手及び余長を示す。
３．梁内定着の端部下端筋が接近するときは、＝＝＝＝ のように引き通すことができる。
４．破線は、柱内定着を示す。
５．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.4　ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2　あばら筋等

（１）あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項
（ア）あばら筋の種類、径及び間隔は、設計図による。
（イ）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。
ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは設計図による。
（ウ）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。

（２）あばら筋組立の形及びフックの位置
（ア）形は、図7.5.1 ① とする。
ただし、L形梁の場合は、② または ③、T形梁の場合は ② ～ ④ とすることができる。

（イ）フックの位置
（ａ）①の場合は交互とする。
（ｂ）②の場合　L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
（ｃ）③の場合は床版の付く側を 90° 折曲げとする。

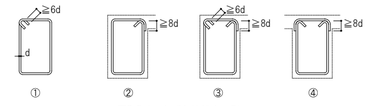


図7.5.1　あばら筋組立の形

（３）副あばら筋組立の形及びフックの位置
（ア）形は、図7.5.2 ⑤ または ⑥ とする。
ただし、L形梁またはT形梁の場合は ⑦ とすることができる。

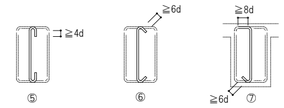
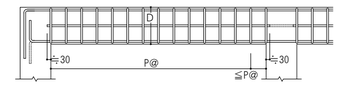


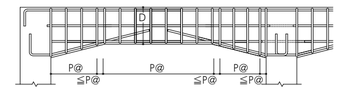
図7.5.2　副あばら筋組立の形

（４）あばら筋の割付け
（ア）間隔が一様でハンチのない場合は、図7.6による。



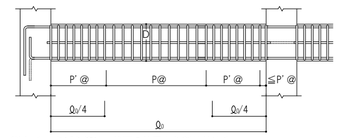
（注）１．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
２．図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
図7.6　あばら筋の割付け（その１）

（イ）間隔が一様でハンチのある場合は、図7.7による。



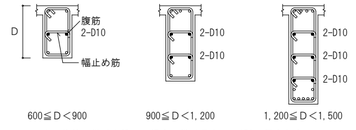
（注）１．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
２．図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
図7.7　あばら筋の割付け（その２）

（ウ）梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。



（注）１．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
２．図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。
図7.8　あばら筋の割付け（その３）

（５）腹筋及び幅止め筋
一般の梁は、図7.9による。

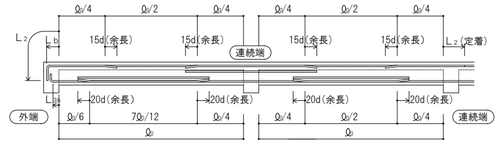


600≦Ｄ＜900　　900≦Ｄ＜1,200　　1,200≦Ｄ＜1,500

１．腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
２．幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000@程度とする。
図7.9　腹筋および幅止め筋

7.3　小梁

（１）小梁主筋の継手、定着及び余長
連続小梁の場合は、図7.10による。



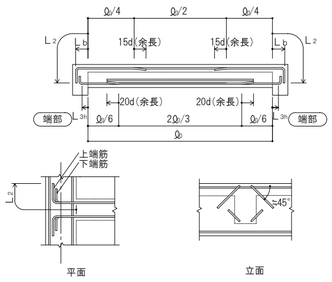
（注）１．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
２．＝＝＝＝ 印は、余長位置を示す。
図7.10　小梁主筋の継手、定着及び余長（その１）

IT	月　日	事　項		
正	.		.	
	.		.	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	構造関係共通図(配筋標準図・その２)	縮尺	NO SCALE	図面No.	S-004 確S-04
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2024 年 11 月 21 日	承認	部長　課長　担当　製図	設計No.			

（2）単独小梁の場合は、図7.11による。



直交する梁へ斜めに定着する場合

（注）1．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2．＝＝＝ 印は、余長位置を示す。

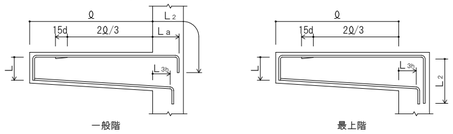
図7.11　小梁主筋の継手、定着及び余長（その２）

（3）あばら筋は、7.2による。

7.4　片持梁

（1）片持梁主筋の定着及び余長

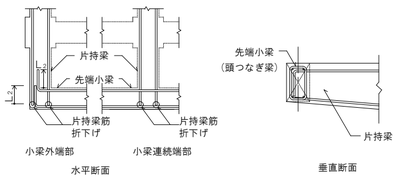
（ア）先端に小梁のない場合は、図7.12による。



（注）1．図示のない事項は、7.1による。
2．＝＝＝ 印は、余長位置を示す。
3．先端の折曲げの長さしは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12　片持梁主筋の定着及び余長

（イ）先端に小梁がある場合は、図7.13による。



（注）1．図示のない場合は、（ア）による。
2．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13　片持梁主筋の定着

（2）あばら筋は、7.2による。

8.1　壁

（1）一般事項

（ア）一般壁筋の重ね継手の長さはL_1とし、耐力壁筋の重ね継手長さは特記による。
また定着の長さはL_2とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。

（イ）幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。

（ウ）打増し部分に、壁及びスラブ等が取り付く場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し 部分は含まない。

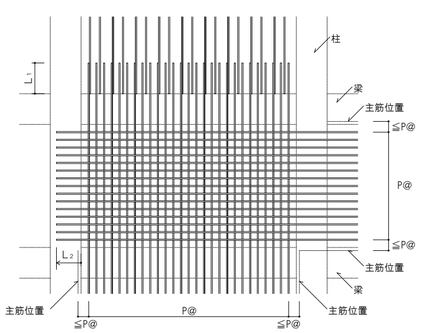


図8.1　壁の配筋

（注）図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。

（2）壁の配筋は表8.1により、種別は設計図による。

表8.1　壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図　(mm)
W12	D10-200#シングル	120
W15A	D10-150#シングル	150
W15B	D10-100#シングル	
W18A	D10-200#ダブル	180
W18B	D10-150#ダブル	
W20A	D10-200#ダブル	200
W20B	D10-150#ダブル	

（注）　壁筋の配筋順序は、規定しない。

（3）片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は設計図による。

表8.2　片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋		断面図　(mm)	階段の配筋種別(表10.1)
KW1	縦筋	D13-200#ダブル	180	KA1
	横筋	D10-200#ダブル		KA3
KW2	縦筋	D13-150#ダブル	200	KA2
	横筋	D10-200#ダブル		KA4

（注）　縦筋は、横筋の外側に配筋する。

（4）土圧を受ける壁の配筋は、設計図による。

（5）壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。

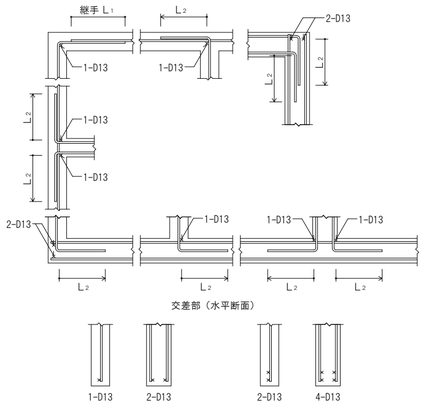


図8.2　壁の交差部及び端部の配筋

8.2　一般壁の補強

（1）壁開口部の補強

（ア）耐力壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、適用は構造図による。
なお、耐力壁の補強筋は、構造図による。

表8.3　壁開口部補強筋（A形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	1-D13	1-D13
W18，W20	2-D13	2-D13

表8.4　壁開口部補強筋（B形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	2-D13	1-D13
W18，W20	4-D13	2-D13

（イ）壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

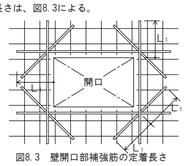


図8.3　壁開口部補強筋の定着長さ

（2）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、設計図による。

9.1　スラブ

（1）スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、FLを基準とした寸法値とする。
（2）土間スラブ下の砂利地業厚及び捨てコンクリート厚は設計図による。
（3）土間コンクリート補強筋（D0）の配筋及びコンクリート厚さは設計図による。
（4）スラブの配筋（S形配筋）は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、設計図による。

表9.1　S形配筋

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
S 1	D13-100#	D13-100#
S 2	同　上	D13-150#
S 3	同　上	D10, D13-150#
S 4	D13-150#	D13-150#
S 5	同　上	D10, D13-150#
S 6	同　上	D10-150#
S 7	D10, D13-150#	D10, D13-150#

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
S 8	D10, D13-150#	D10-150#
S 9	同　上	D10-200#
S10	D10, D13-200#	D10, D13-200#
S11	同　上	D10-200#
S12	同　上	D10-250#
S13	D10-200#	D10-200#
S14	同　上	D10-250#

（注）上端筋，下端筋とも同一配筋とする。

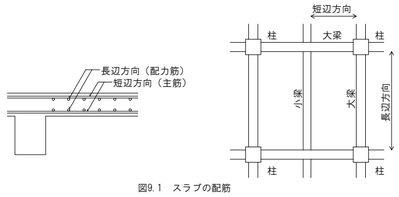


図9.1　スラブの配筋

（5）配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
（6）原則として引き通し、鉄筋の重ね継手長さはL_1とする。
（7）定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

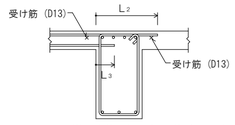


図9.2　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）

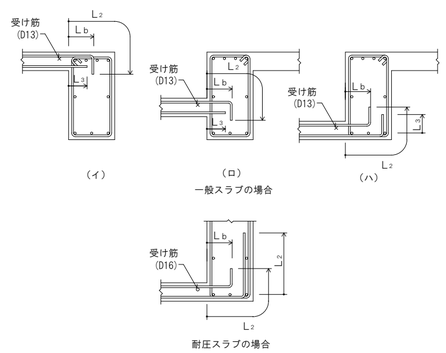


図9.3　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）

9.2　片持スラブ

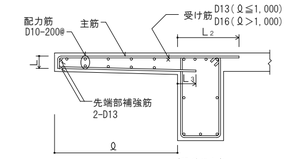
片持スラブは、プレキャストコンクリート部材又は現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は、設計図による。

片持スラブの配筋は、次による。
（1）片持スラブの配筋（CS形配筋）は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、設計図による。

表9.2　CS形配筋

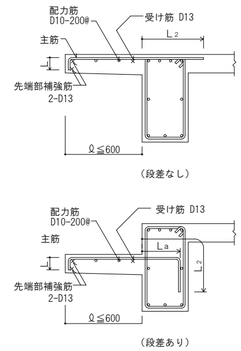
配筋種別		主筋
CS1	上	D13-100#
	下	D13-200#
CS2	上	D13-150#
	下	D13-300#
CS3	上	D10, D13-150#
	下	D10, D13-300#
CS4	上	D10, D13-200#
	下	D10-200#

配筋種別		主筋
CS5	上	D10-200#
	下	D10-400#
CS6	上	D10, D13-200#
	下	——
CS7	上	D10-200#
	下	——



（注）1．先端の折り曲げ長さしは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.4　片持スラブの配筋（ CS11 からCS15 ）



（注）1．先端の折り曲げ長さしは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5　片持スラブの配筋（CS16及びCS17）

（2）先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

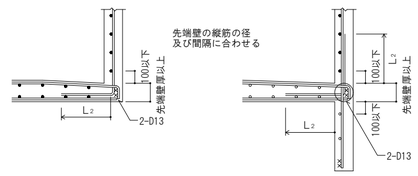


図9.6　先端に壁が付く場合の配筋

（3）出隅部

（ア）出隅部の補強筋は設計図により、配筋方法は、図9.7による。

（イ）出隅受け部分（図9.7の斜線部分）の補強筋は設計図による。

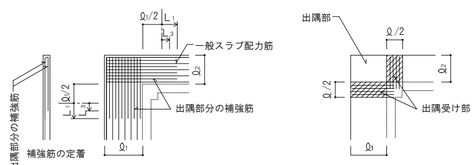


図9.7　片持ちスラブ出隅部の補強配筋

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡	作成	2025 年 1 月 29 日
承認				図面名称	構造関係共通図(配筋標準図・その3)
部長	課長	担当	製図	縮尺	NO SCALE
設計No.				図面No.	S-005 確S-05

9.3 スラブ等の補強

（1）スラブ開口部の補強

スラブ開口部の補強方法は、設計図による。設計図になければ、(ア)(イ)による。

（ア）スラブ開口の最大径が700㎜以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13（ $\ell_d = 2L_1$ ）シングルを上下筋の内側に配筋する。

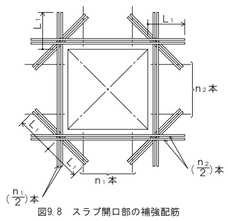
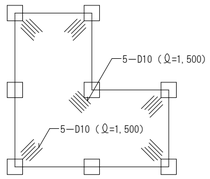


図9.8 スラブ開口部の補強配筋

（イ）スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

（2）屋根スラブの補強

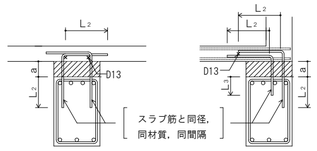
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



（3）土間スラブの打継ぎ補強

基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。

ただし、土間スラブとは、土に接するスラブで S形の配筋によるものをいう。

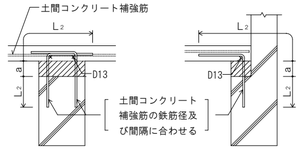


（注）a≦300の場合

図9.10 打継ぎ補強配筋

（4）土間コンクリートの補強

土間コンクリートの補強筋は、設計図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。



（注）a≦300の場合

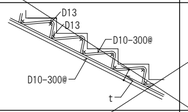
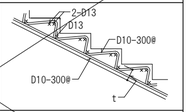
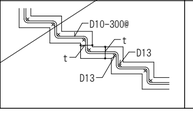
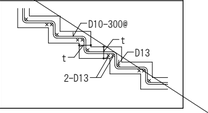
図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

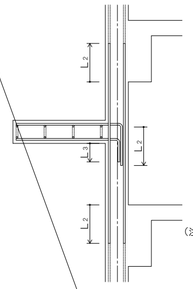
10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、設計図による。

表10.1 片持スラブ形階段の配筋

t：スラブ厚さ

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		



（注）1．壁配筋は、8.1(3)による。
2．階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
3．スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、表3.3［鉄筋の定着の長さ］の L3 とする。

図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

10.2 二辺固定スラブ形階段

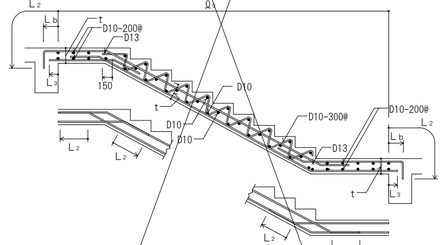
二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材又は現場打ちコンクリート部材とする。

プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は設計図による。

二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、設計図による。

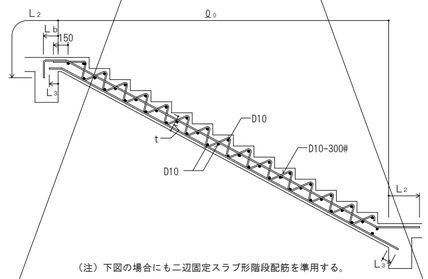
表10.2 二辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13, D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

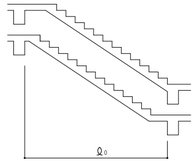


t：スラブ厚さ

図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋（その１）



（注）下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。



t：スラブ厚さ

図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋（その２）

11.1 梁貫通孔

（1）梁貫通孔は、次による。

（ア） 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。

（イ） 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。

（ウ） 孔の上下方向の位置は、梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3（ Dは梁せい）の範囲には設けてはならない。

（エ） 孔は、柱面から原則として、1.5D 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。

（オ） 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の 3倍以上とする。

（カ） 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。

（キ） 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。

（ク） 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150㎜未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、かつ、設計図に特記された場合において、補強を省略することができる。

（ケ） 溶接金網の余長は、1格子以上とし、突出しは10㎜以上とする。

（コ） 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に 4箇所以上溶接する。

（サ） 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

（シ） 他の開孔を設けない範囲は、図11.3による。

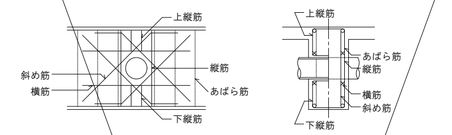


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

図11.2 補強筋の定着長さ

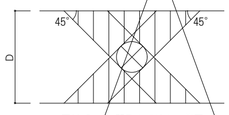
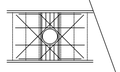


図11.3 他の開孔を設けない範囲

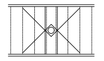
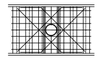
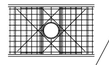
（2）梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.2により、配筋種別は設計図による。

表11.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

（注） ——— は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100#	
MH7	4-2-D19			

（注） ——— は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

（1）控壁は、次による。

（ア）控壁の配置は、設計図による。

（イ）配筋は、図11.4による。

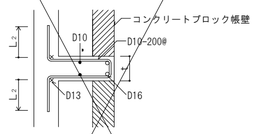


図11.4 控壁の配筋（水平、垂直とも）

（2）帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

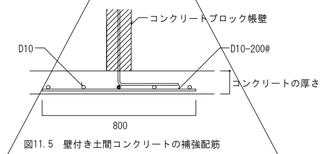


図11.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 パラペット

パラペットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

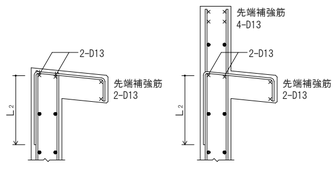


図11.6 パラペットの先端補強筋

12 擁壁

宅地造成等規制区域外での高さ2m以下の擁壁の鉄筋の定着長さは図12により、コンクリートの厚さ及び配筋は構造図による。

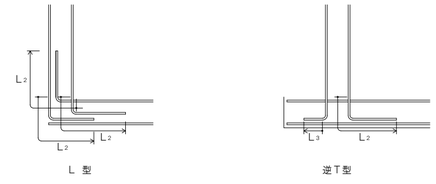


図12 擁壁の鉄筋の定着長さ

訂	月 日	事 項		
正				

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	設計者	一級建築士 登録第339311号 構造一級建築士 登録第 9542号 益子 拡	作成	2024 年 11 月 21 日
				承認	

図面名称	構造関係共通図(配筋標準図・その４)	縮尺	NO SCALE
部長	課長 担当 製図	設計No.	
図面No.	S-006 確S-06		

構造関係共通図（鉄骨標準図）

総則

1．適用範囲
（1）本構造関係共通図は鉄骨及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な基準とする。
（2）本構造関係共通図以外については、設計図及び監督員の指示による。

2．用語の定義
（1）設計図とは、建築構造図のうち特記仕様書（構造関係）、構造関係共通図以外の図面をいう。
（2）長さ、厚さの単位は、特記なき限りmmとする。

3．優先順位
（1）設計図書間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1．特記仕様書（構造関係）
2．図面 ― 2－1 設計図
　　└ 2－2 構造関係共通図（鉄骨標準図）
3．国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」

4．記号等
図面で使用する記号等は、表A～D、図Aを標準とする。

表A　高力ボルト径の記号

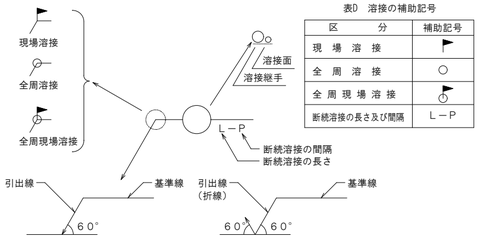
区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T、S10T）	●	●	●	●	●
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	／	｜	＋	✕	✳

表B　普通ボルト径の記号

区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト	○	⌀	⊕	※	※

表C　溶接継手及び溶接面の分類別記号

分類			記号
溶接継手	完全溶込み溶接	突合わせ継手	B
		T型継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接		F
	部分溶込み溶接		P
	重ねアーク溶接（フレア溶接）		FL
溶接面	片面溶接		1
	両面溶接		2



表D　溶接の補助記号

区分	補助記号
現場溶接	⚑
全周溶接	○
全周現場溶接	⚑○
断続溶接の長さ及び間隔	L－P

※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図A　溶接記号の記載例

1-1 縁端距離及びボルト間隔

（1）縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1　縁端距離及びボルト間隔　（単位mm）

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70

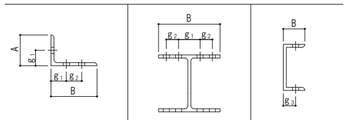
（2）千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2　千鳥のゲージ及びボルト間隔　（単位mm）

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔　Pt	
	ねじの呼び	
	M12, M16, M20, M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	－	40

（3）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位mm）



A又はB	g_1	g_2	最大軸径	B	g_1	g_2	最大軸径	B	g_3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40※1	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

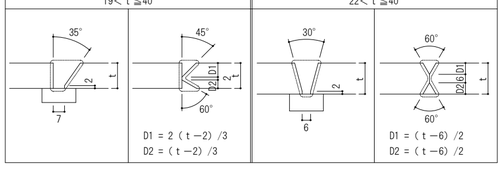
※1　千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手(B)の開先標準

（単位：mm）

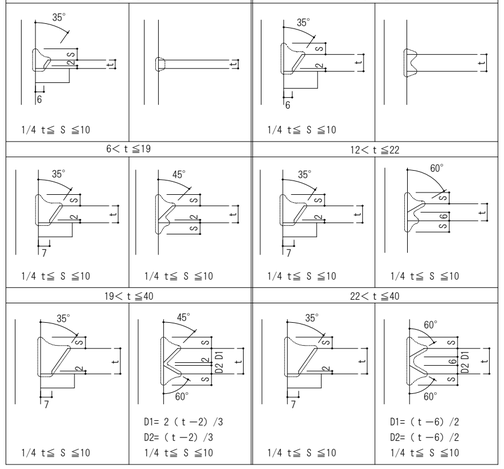
H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
G＝t		6	
6＜t≦19		12＜t≦22	
7		6	
19＜t≦40		22＜t≦40	
7		6	



T型継手(T)の開先標準

（単位：mm）

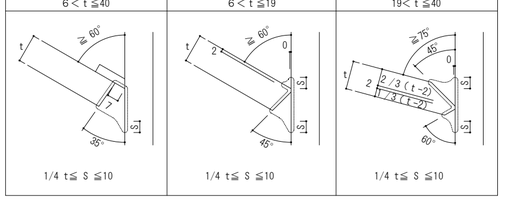
H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
1/4 t≦S≦10		1/4 t≦S≦10	
6＜t≦19		12＜t≦22	
1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10
19＜t≦40		22＜t≦40	
1/4 t≦S≦10		1/4 t≦S≦10	



部材が直交しない場合の開先標準

（単位：mm）

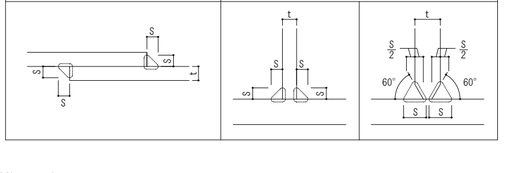
H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
t≦16	6＜t≦19	19＜t≦40
1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10	1/4 t≦S≦10



かど継手(L)の開先標準

（単位：mm）

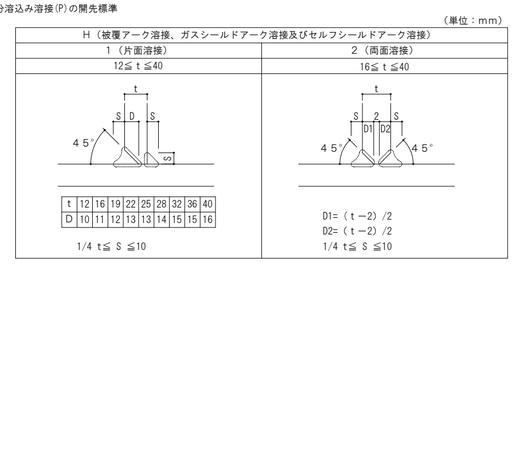
H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		A（サブマージアーク自動溶接）	
1（片面溶接）	2（両面溶接）	1（片面溶接）	2（両面溶接）
t≦6		t≦12	
S＝t		6	
6＜t≦19		12＜t≦19	
7	1/4 t≦S≦10	7	1/4 t≦S≦10
19＜t≦40		19＜t≦40	
7	D1＝2（t－2）/3 D2＝（t－2）/3 1/4 t≦S≦10	7	D1＝（t－6）/2 D2＝（t－6）/2 1/4 t≦S≦10



隅肉溶接(F)の開先標準

（単位：mm）

H（被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接）		
1（片面溶接）	2（両面溶接）	
t≦16	t≦16	16＜t≦40
S	S	S
S	S	S
S	S	S

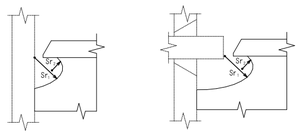

t
S
S
S

（4）スカラップ

改良型スカラップ

（ア）スカラップ半径Sr₁は35㎜とする。Sr₂は10㎜とする。

（イ）スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

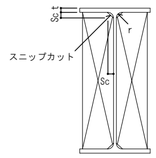


従来型スカラップ

スカラップ半径Srは35㎜とする。

（5）スニップカット

（ア）スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

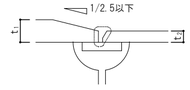


（イ）スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r＋2tにより求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

（6）溶接部分の段差

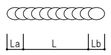
完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10㎜を超える場合、又は低応力高サイクル疲労を受ける場合



1-5 重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼に重ねアーク溶接（フレア溶接）を行う場合の溶接長さ（L）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

L：片面フレア溶接の場合　１０ｄ
　両面フレア溶接の場合　　５ｄ
La及びLbは１ｄ（軽量形鋼については１Ｓ）以上
　ｄ：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
　Ｓ：溶接のサイズ



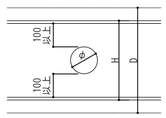
1-6 梁貫通孔補強

（1）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。

（ア）貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。

（イ）貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で 2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で 3倍以上確保する。

梁貫通孔の位置の限度（単位：㎜）



H ：鉄骨せい
D ：はりせい
φ：貫通孔内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

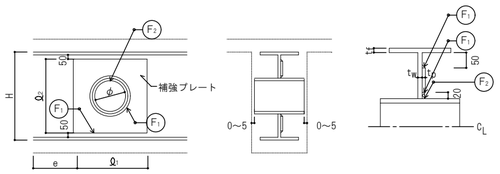
（2）貫通孔の補強方法は、構造図による。

補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法

（ア）補強プレートが16㎜以上となる場合は、必要な長さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。

（イ）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50㎜については施工性を考慮して小さくすることもできる。

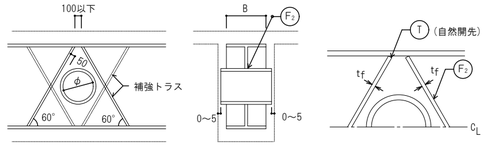


Ωrは３φまたは Ω₂のうち小さい方とする。（ｅ≧ Ｈ とする）

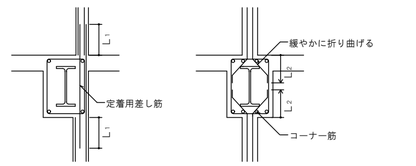
ｅ：材端と補強プレートの間隔

補強トラス法

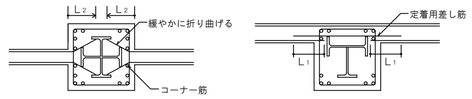
スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



1-7 壁筋の周辺部材への定着

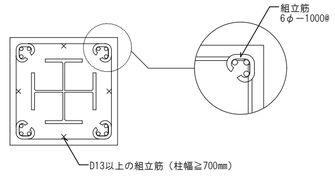


梁への定着方法



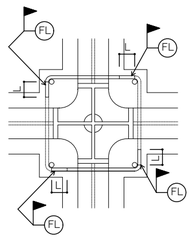
柱への定着方法

1-8 柱組立筋



1-9 仕口部内の帯筋の加工及び組立

片面溶接の溶接長さ（Ｌ）は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135°曲げフックとする。



1-10 鉄筋貫通孔の径及び位置

（a）鉄筋貫通孔の径

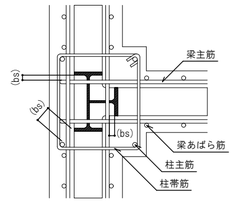
鉄筋の貫通孔径の最大値は、下表による。

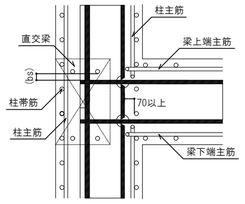
（単位：㎜）

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

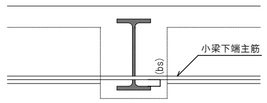
（b）鉄筋貫通孔の位置

鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

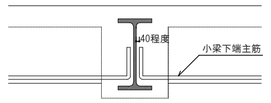




小梁下端主筋が貫通する場合



小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：㎜）



(bs)：主筋と平行する鉄骨とのあき

1-11 広幅平鋼の取り扱いについて

（a）BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは、PL表記であっても FB又はPLとする。

（b）BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートの適用幅及び厚さは下表による。

幅＼厚さ	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
300		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
350		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
400		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
450						○	○	○	○	○	○
500						○	○	○	○	○	○

1-12 普通ボルト接合

もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

1-13 その他

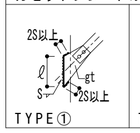
（a）フィラープレートの材質

フィラープレートを使用する場合、材質はSS400とする。

1-14 JISターンバックル筋交い

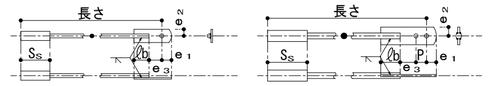
部材	ボルト	Ss	端部プレート 平鋼板：FB 切板製：PL	e1	e2	e3	ℓt	ガセットプレート gt	B	S	溶接長 ℓ（㎜） TYPE①	TYPE②	TYPE③
M-12	1-M12	100	FB-6 PL-6	35	19 22	47	40	6	60	6	60	42	54
M-14	1-M16	115	FB-6 PL-6	40	25 28	52	50	6	60	6	61	43	55
M-16	1-M16	125	FB-6 PL-6	45	25 28	59	55	9	70	8	80	56	72
M-18	1-M20	140	FB-9 PL-9	50	32.5 34	66	60	9	70	8	80	56	72
M-20	1-M20	150	FB-9 PL-9	50	32.5 34	66	75	9	80	8	97	65	81
M-22	1-M22	165	FB-9 PL-9	55	37.5 38	73	85	12	80	10	100	70	90
M-24	2-M20	175	FB-9 PL-9	50	37.5 38	70	85	12	90	10	112	76	96
M-27	2-M20	200	FB-9 PL-9	50	45 45	72	90	12	90	10	145	93	113
M-30	2-M22	200	FB-12 PL-12	55	45 45	83	95	12	100	10	177	109	129
M-33	2-M22	225	FB-12 PL-12	55	50 50	90	110	12	110	10	217	129	149

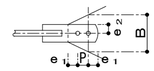
ガゼットプレートの種類



記号の説明
gt：ｶﾞｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ厚
S ：すみ肉溶接ｻｲｽﾞ
ℓ ：最小溶接長

・JISターンバックル筋交い接合要領図





訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	構造関係共通図(鉄骨標準図・その２)	縮尺 NO SCALE	図面No. S－００８
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2024 年 11 月 21 日	承認	部長　課長　担当　製図	設計No.	確S－０８

ノンカットパイル

機械式杭頭接合工法
ＮＣＰアンカー工法 標準図

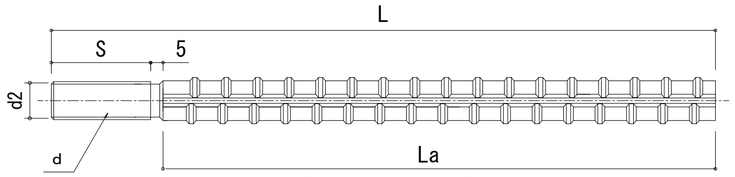
（財）日本建築センターによる技術審査証明
「BCJ－審査証明－3」（2021年6月1日）　岡部株式会社

Ver2021-1

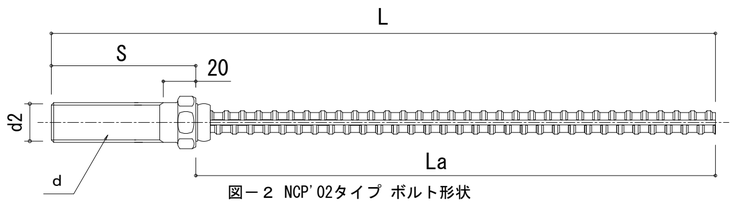
1. NCPアンカー工法概要

ＮＣＰアンカー工法は、既製コンクリート杭（PHC杭・PRC杭）の杭頭端板に設けられた雌ねじに、ＮＣＰボルトの雄ねじ部を螺合し、かつ、内面に非螺合部（ねじ無し部）を設けたＮＣＰカプラーを雄ねじ部に装着してトルクレンチにより締め付けることにより、杭と基礎フーチングを接合する機械式杭頭接合工法となる。

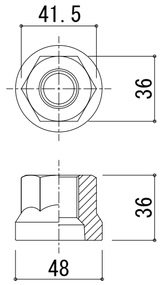
2. NCPアンカー部材形状及び構成



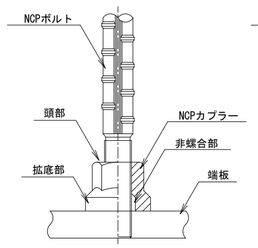
図－１ NCP標準タイプ ボルト形状



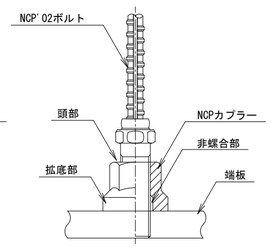
図－２ NCP'02タイプ ボルト形状



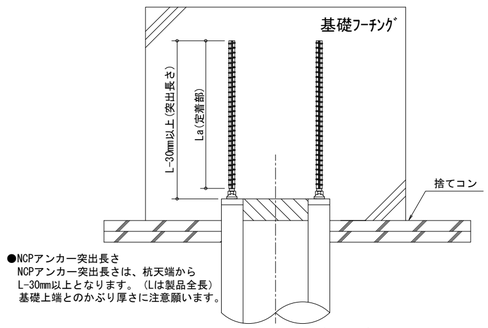
図－３ NCPカプラー形状



図－４ NCP標準タイプ構成図



図－５ NCP'02タイプ構成図



●NCPアンカー突出長さ
NCPアンカー突出長さは、杭天端から
L-30mm以上となります。（Lは製品全長）
基礎上端とのかぶり厚さに注意願います。

図－６ NCPアンカー工法の一般図

3. 杭頭接合仕様

杭　仕　様			ＮＣＰアンカー仕様			
杭径	杭　種	杭本数	鉄筋径	本/1杭	製品長さL	備　考
500φ	105CPRC Ⅱ	4	D22	10	630	ネジのタイプ　M22 トルク値　391 N·m
600φ	105PHC C	10	D16	6	720	ネジのタイプ　M22 トルク値　257 N·m

【注意事項】
1）NCPアンカーの鉄筋径は杭頭端板ねじ径により異なります。
2）杭頭端板ねじ径は、杭メーカー・杭径・杭種により異なります。
3）杭メーカー確定後、杭頭端板ねじ径を確認し上記表中の取付仕様にて接続可能か確認する。
4）杭頭端板ねじ径が異なる場合は、設計時に使用した杭頭部応力にて再検討をする。

4. NCPアンカーの種類及び寸法（SD345）

単位（mm）

NCP タイプ	NCPボルト	NCPカプラー	鉄筋径 D	ねじ外径 d	ねじ有効径 d2	ねじ部 S	ねじ無し部	定着部 La	製品全長 L	標準ﾄﾙｸ値	養生ｺﾞﾑ
NCP 標準	D19 － M18	NCP　18	D19	18	16.376	60	5	485	550	203（N·m）	φ20
	D19 － W3/4	NCP　3/4		19.050	17.424					238（N·m）	
	D22 － M20	NCP　20	D22	20	18.380			565	630	288（N·m）	φ22
	D22 － M22	NCP　22		22	20.376					391（N·m）	
	D22 － W7/8	NCP　7/8		22.225	20.418					385（N·m）	
	D25 － M24	NCP　24	D25	24	22.051	75		640	720	497（N·m）	φ24
	D25 － W1	NCP　1		25.4	23.367					577（N·m）	
	D29 － M27	NCP　27	D29	27	25.051			740	820	727（N·m）	φ27
	D29 － W1·1/8	NCP　1·1/8		28.575	26.252					818（N·m）	
NCP'02	D13－各ねじｻｲｽﾞ	各ねじｻｲｽﾞ	D13	各ねじサイズ	各ねじサイズ	80（ねじ無し部含む）	20	520	600	下表	各ねじサイズ
	D16－各ねじｻｲｽﾞ		D16					640	720	下表	

※D13·D16のねじ径は、M27,W1·1/8以外とする。

5. NCP'02標準 トルク値

鉄筋呼び名 ＼ ねじ呼び名	M18	W3/4	M20	M22	W7/8	M24	W1
D13	134（N·m）	142（N·m）	149（N·m）	164（N·m）	166（N·m）	179（N·m）	189（N·m）
D16	210（N·m）	222（N·m）	233（N·m）	257（N·m）	259（N·m）	280（N·m）	296（N·m）

※NCP標準,NCP'02共通：ﾄﾙｸﾚﾝﾁの仕様により目盛りが合わない場合は、1目盛り上の値に設定する。

6. NCPアンカー標準施工フロー

【元請作業範囲】

杭頭端板ねじ部の養生
※杭頭端板ねじ径の確認
↓
杭の打設
↓
根伐り及び杭頭端板の清掃
※杭回転金物の除去

【NCP取付工事範囲】

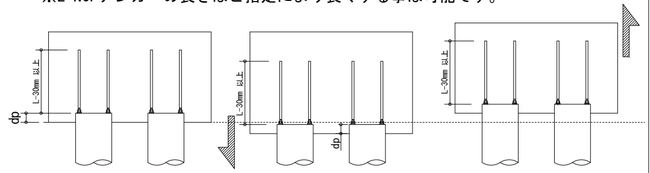
養生材の除去
↓
ねじ部の清掃
↓
ねじ深さの確認
↓
NCPアンカーの仮締取付
↓
NCPアンカーのら合長を確認
↓
仮締め位置のマーキング
↓
NCPアンカーのトルク締付け
↓
マーキングのズレを確認
↓
NCP取付完了·引渡し
↓
基礎部（ﾍﾞｰｽ筋等）の配筋

・NCP取付工事範囲以外は作業所（元請）の作業範囲とする。
・NCP取付工事は岡部㈱·ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社の施工指導を受けたものが実施する。
・NCPｱﾝｶｰの取付工事の詳細は、BCJ-審査証明-3「設計·施工マニュアル」及び施工要領書による。

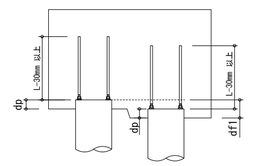
●参考-杭頭施工レベル

注意事項 ： 杭頭部の施工レベルについては参考とするため、詳細については設計者と協議の上、決定することとする。

※1 杭頭部の基礎への埋込み長さdpは（100mmかつ指定の長さ以上）とする。
※2 NCPアンカーの長さはご指定により長くする事は可能です。



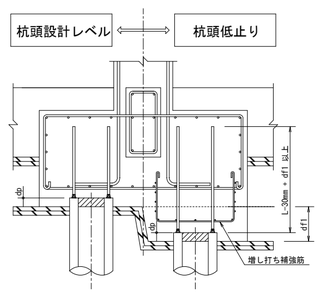
a）設計時（標準）　b）フーチング全体を下げる（杭施工管理値内）　c）フーチング全体を上げる（杭施工管理値内）



d）フーチングを部分的に下げる（杭施工管理値内）

1）低止り時の対応として

d）においてdf1が200mm以上低くなる場合は下記によることとし、設計者の指示に従い、適切な増し打ち補強筋を配置することとする。但し、df1は400mmを上限とし、これを超える低止まりについては、継杭などの詳細な検討の上、適切な処置を講ずる。



2）高止り時の対応として

杭頭が高止まりして、ベース筋、基礎梁下端筋等と干渉して配筋に支障を生じた場合は、設計者と協議の上、適切な処置を講ずる。

【参考】
杭頭部を所定の長さまで除去し、杭内部PC鋼線をはつり出した上、中詰め補強筋による補強を行う。
（中詰め補強筋の仕様は設計者の指示による）

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2024 年 11 月 20 日　承認
図面名称	NCPアンカー工法標準図	縮尺	NO SCALE	図面No.	S-009 確S-09
部長	課長	担当	製図	設計No.	

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様② JFE 建材 株式会社
耐火補強筋不要仕様 ［耐火認定FP060FL-0099,0100,0101,0102,0126,FP120FL-0127用］

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準 2018」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　　計

材料／デッキプレート　［ISO 9001認証取得］

デッキプレート種類		板厚(mm)	表　面　処　理
■ＱＬ99－50 □ＱＬ99－75	端部加工 ■エンボス有り □無し	□1.0	□亜鉛めっき　［□Z12　□Z27］ □JFEエコガル(高耐食溶融めっき鋼板)［□Y18　□Y27］ □その他(　　)
		■1.2 □1.6	□裏面防錆処理(一次塗装) ＱＬプライマー(P)*1*2 ■亜鉛めっき　［■Z12　□Z27］ □JFEエコガル(高耐食溶融めっき鋼板)［□Y18　□Y27］ □その他(　　)　□無し*2
材　質	ＪＩＳ Ｇ 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G		

*1 現場搬入までの一次防錆（ＪＩＳ Ｋ 5621 2種または3種相当）
*2 板厚1.2mm、1.6mmに限る

材料／コンクリート

種　　類	■普通コンクリート
設計基準強度	□18　■21　□24　□(　　)　N／mm²
厚さ(ＱＬデッキ山上)	□60　□70　■80　□85　□90　□95　□100　□(　　)mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

□溶接金網	ＪＩＳ Ｇ 3551	□φ6-75×75　□φ6-150×150 □φ6-100×100　□(　　)*3
■異形鉄筋	ＪＩＳ Ｇ 3112、3117	□D10-150×150 ■D10-200×200　□(　　)

*3 線形6mm以上を用いたもの

接　　合

梁との接合	■頭付きスタッド	ＪＩＳ Ｂ 1198 □φ13　■φ16　□φ19　□φ22 (各長さ・ピッチは特記による*4)
	□焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
	□打込み鋲	接合箇所は特記による
	□その他	

*4 最小長さはデッキ高さ＋30mm以上とする

耐　　火

ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	耐火区分	支持条件	ｺﾝｸﾘｰﾄ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床1時間	単純/連続	普通	不要	■FP060FL－0126
					□FP060FL－0100
					□FP060FL－0101
QL99-75					□FP060FL－0102
	床2時間				□FP060FL－0099
					□FP120FL－0127
その他	□指定なし　□(　　)				□(　　)

注）床2時間は床1時間耐火を含む

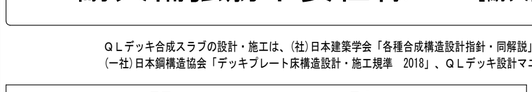
特　　記

支保工有無	その他：
□無　■有	

上欄内の採用項目に☑を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



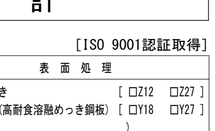
デッキプレートスパン方向

「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

$$Aw = \frac{1.5\,Qa}{Qb} \times 1000\text{mm}\ \text{かつ}\ 600\text{mm}\ \text{以下}$$

Aw：焼抜き栓溶接ピッチ
Qb：設計最大せん断力(N/m)
Qa：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力（N）

板厚	1.0	1.2	1.6
Qa (N)	4,000	4,900	7,350 (SPW) 6,860 (APW)



Aw＝(　　)mm　　(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要です。

■施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）　単位（m）

コンクリート厚(mm)		80			85			90			95			100		
板厚(mm)		1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6	1.0	1.2	1.6
QL50	単純	2.28	2.42 (2.42)	2.64 (2.64)	2.26	2.39 (2.39)	2.61 (2.61)	2.24	2.37 (2.37)	2.59 (2.59)	2.22	2.35 (2.35)	2.57 (2.57)	2.20	2.33 (2.33)	2.54 (2.54)
	2連続	3.06	3.24 (3.24)	3.54 (3.54)	3.03	3.21 (3.20)	3.51 (3.51)	3.01	3.19 (3.15)	3.44 (3.47)	2.98	3.15 (3.11)	3.44 (3.44)	2.95	3.12 (3.07)	3.41 (3.41)
	3連続	2.82	2.99 (2.99)	3.26 (3.26)	2.80	2.96 (2.96)	3.23 (3.23)	2.77	2.93 (2.93)	3.20 (3.20)	2.75	2.91 (2.91)	3.17 (3.17)	2.72	2.88 (2.88)	3.15 (3.15)
QL75	単純	3.01	3.18 (3.18)	3.48 (3.48)	2.98	3.15 (3.15)	3.45 (3.45)	2.96	3.13 (3.13)	3.42 (3.42)	2.93	3.10 (3.10)	3.39 (3.39)	2.91	3.07 (3.07)	3.37 (3.37)
	2連続	3.58	3.91 (3.67)	4.18 (4.18)	3.54	3.88 (3.62)	4.15 (4.15)	3.49	3.83 (3.58)	4.13 (4.13)	3.44	3.78 (3.53)	4.10 (4.10)	3.40	3.73 (3.49)	4.07 (4.07)
	3連続	3.50	3.68 (3.68)	3.93 (3.93)	3.47	3.65 (3.65)	3.91 (3.91)	3.44	3.63 (3.63)	3.88 (3.88)	3.41	3.60 (3.60)	3.86 (3.86)	3.38	3.58 (3.58)	3.83 (3.83)

支持条件

注1：普通コンクリート(単位重量24.0kN/m3)、表面処理が亜鉛めっきの場合
注2：()数値は表面処理が亜鉛めっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す。注3：上表を超える場合、別途実保工が必要です。

S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】　スパン

【連続支持】　スパン　スパン

耐　火　仕　様

○共通事項　支持梁：鉄骨梁、コンクリート：設計基準強度18～36 N/mm² の普通コンクリート
溶接金網[ＪＩＳ Ｇ 3551]又は異形鉄筋[ＪＩＳ Ｇ 3112，Ｇ 3117]　寸法は下表参照
耐火補強筋：不要

【ＱＬ９９－５０】

□認定番号[ＦＰ０６０ＦＬ－０１００（床１時間耐火）]

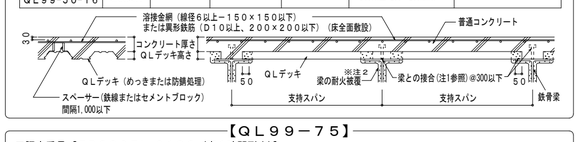
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－５０－１０ ＱＬ９９－５０－１２ ＱＬ９９－５０－１６	単純支持 連続支持	2,700mm 以下	80mm 以上	5,400N/m²以下	線径6mm以上－150×150mm以下 D10以上－200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鋲(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号[ＦＰ０６０ＦＬ－０１０１（床１時間耐火）]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－５０－１０ ＱＬ９９－５０－１２ ＱＬ９９－５０－１６	単純支持 連続支持	3,000mm 以下	80mm 以上	3,500N/m²以下	線径6mm以上－150×150mm以下 D10以上－200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 打込み鋲(φ4.5) 頭付きスタッド(φ13以上)

■認定番号[ＦＰ０６０ＦＬ－０１２６（床１時間耐火）]

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－５０－１０ ＱＬ９９－５０－１２ ＱＬ９９－５０－１６	単純支持 連続支持	2,700mm 以下	80mm 以上	7,000N/m²以下	線径6mm以上－150×150mm以下 D10以上－200×200mm以下	頭付きスタッド(φ16以上)



【ＱＬ９９－７５】

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－０１０２（床１時間耐火）］

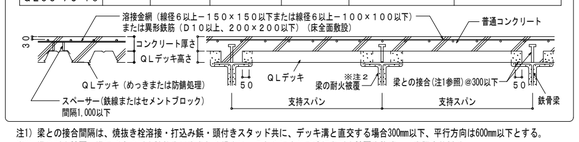
デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－７５－１０ ＱＬ９９－７５－１２ ＱＬ９９－７５－１６	単純支持 連続支持	3,000mm 以下	80mm 以上	5,400N/m²以下	線径6mm以上－150×150mm以下 D10以上－200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 頭付きスタッド(φ13以上)

□認定番号［ＦＰ０６０ＦＬ－００９９（床１時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－７５－１０ ＱＬ９９－７５－１２ ＱＬ９９－７５－１６	単純支持 連続支持	3,400mm 以下	80～100mm	3,500N/m²以下	線径6mm以上－150×150mm以下 D10以上－200×200mm以下	頭付きスタッド (φ16以上)

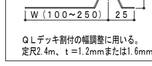
□認定番号［ＦＰ１２０ＦＬ－０１２７（床２時間耐火）］

デッキプレート品名	支持形式	支持スパン	コンクリート厚さ	許容積載荷重	溶接金網または異形鉄筋	梁との接合(径)
ＱＬ９９－７５－１０ ＱＬ９９－７５－１２ ＱＬ９９－７５－１６	単純支持 連続支持	2,500mm 以下	90mm 以上	6,000N/m²以下	線径6mm以上－100×100mm以下 D10以上－200×200mm以下	焼抜き栓溶接(φ18以上) 頭付きスタッド(φ13以上)



注1）梁との接合間隔は、焼抜き栓溶接・打込み鋲・頭付きスタッド共に、デッキ溝と直交する場合300mm以下、平行方向は600mm以下とする。
注2）梁の耐火被覆　梁に所定の耐火性能を要求される場合は、それらに応じて適切な耐火被覆を施す。（本認定仕様外）
注3）許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から床荷重(デッキプレート+コンクリート+鉄筋)を差し引いた値を示す。

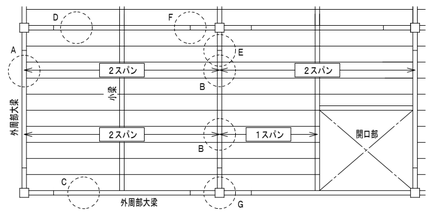
アクセサリー

フラッシング	クローサー		ハンガー金具
			
ＱＬデッキ剤付の幅調整に用いる。 定尺2.4m、t＝1.2mmまたは1.6mm	ＱＬデッキの小口ふさぎ用	梁の耐火被覆用面戸	天井インサート用金具 （ＱＬデッキ下溝を利用して取付）

標　　準　　納　　ま　　り

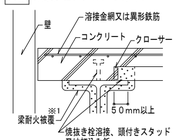
支持梁：鉄骨梁

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。
※2 溶接方法等は別途検討が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)

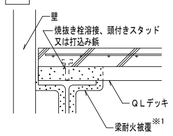


A：外周梁（デッキスパン方向）
B：内部梁（　〃　）
C：外周梁（デッキ幅方向）
D：内部梁（　〃　）
E：梁継手（デッキスパン方向）
F：　〃　（デッキ幅方向）
G：柱廻り

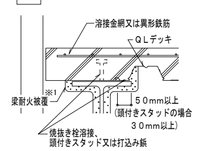
A部 外周梁 ＱＬデッキスパン方向１



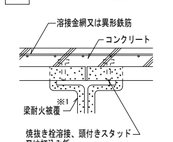
A部 外周梁 ＱＬデッキスパン方向２



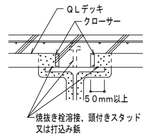
C部 外周梁 ＱＬデッキ幅方向



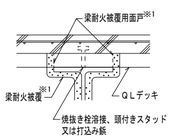
B部 ＱＬデッキを突き合わせた場合



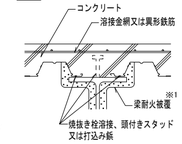
B部 ＱＬデッキを離した場合



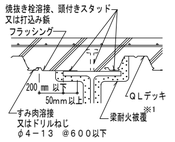
B部 ＱＬデッキを連続にした場合



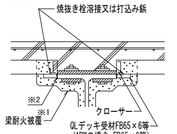
D部 ＱＬデッキを離した場合



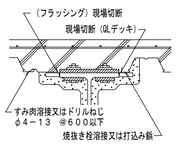
D部 梁との間に隙間がある場合



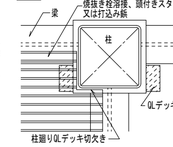
E部 梁継手部 ＱＬデッキスパン方向



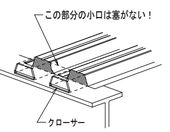
F部 梁継手部 ＱＬデッキ幅方向



G部 柱廻り



ＱＬデッキ端部 小口塞ぎ

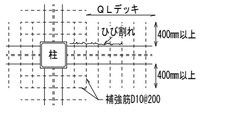


(参考) ひび割れ拡大防止のための留意事項

[1]設計上の留意点

1) 小梁の剛性を大きくする。
2) ひび割れ拡大防止のため補強筋を設ける。(右図補強例参照)
3) スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。
(コンクリート厚さをＱＬデッキ山上から 80～90mmと厚くする。)
4) デッキプレートは各溝で梁に接合すること。
頭付きスタッド使用の場合にも、デッキプレート各溝全てをアークスポット溶接するのが望ましい。

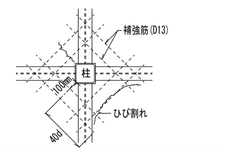
大梁上の補強例



[2]施工上の留意点

1) 水セメント比を小さくする。
［例］単位水量　175リットル/m³以下
ベースコンクリートスランプ　10cm　スランプ 15cm
高性能ＡＥ減水剤
2) 溶接金網の位置―かぶり厚さ30mmを確保する。(補強筋は溶接金網より下に配筋する)
3) コンクリート打込み後１週間は載荷作業を行わない。歩行程度は可。
4) 打込み後初期には散水や養生シート等で湿潤養生を行う。
直射日光が当たる屋上は、散水養生は必須。
5) 打込み後４～７日間はスラブに振動や荷重を加えないようにし、充分な養生期間を設ける。

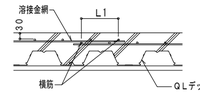
柱廻りの補強例



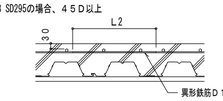
スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。

溶接金網の重ね代Ｌ1：１メッシュと５０mm以上、且つ１５０mm以上
（線径6－１５０×１５０場合２００mm以上、線径6－１００×１００の場合１５０mm以上）



異形鉄筋の重ね代Ｌ2：JASS 5による
例）Fc18 SD295の場合、４５Ｄ以上

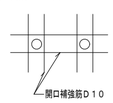


※配筋のスペーサーは鉄線またはセメントブロックとし、間隔は１．０m以下とする。

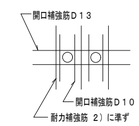
開口部補強案

１）開口がφ150mm程度の場合

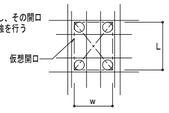
A) 開口間隔≧３×開口径



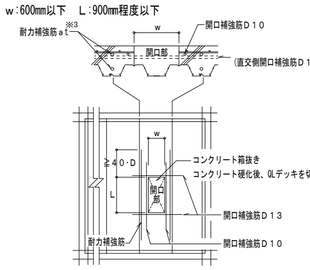
B) 開口間隔＜３×開口径

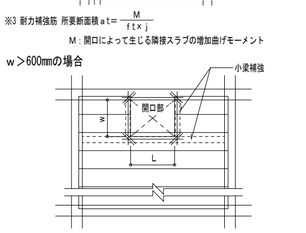


C) 開口が連続している場合
連続する開口の開口群(仮想開口)とみなし、その開口部の大きさにより、2)又は3)に準じて補強を行う



２）w：600mm以下　Ｌ：900mm程度以下

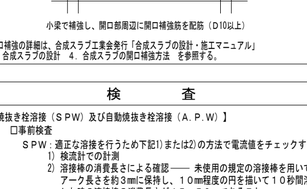




※3 耐力補強筋 所要断面積 $a1 = \frac{M}{t \times y}$

M：開口によって生じる隣接スラブの増加曲げモーメント

３）w＞600mmの場合



小梁で補強し、開口部周辺に開口補強筋を配筋（D10以上）

※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」（Ⅰ）合成スラブの設計　4．合成スラブの開口補強方法　を参照する。

施工

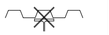
施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
1）頭付きスタッド
2）打込み鋲
3）焼抜き栓溶接
↓
ひび割れ防止筋敷込み
↓
検　査
↓
コンクリート打設

敷　込　み

鉄骨梁の場合

1)墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(５～１０枚)ごとに仮止めの溶接する。
2)各大梁上にデッキプレートの溝部が乗るように敷込む。



デッキプレート幅方向のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。
(頭付きスタッドの場合は３０mm以上)
3)デッキプレート長手方向の大梁のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1）頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2）打込み鋲
施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)

3）焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第６０６号(平成19年6月20日改正)の第２接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般鋼止め塗装）
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］ ― アーク手溶接 ―

（1）溶接機
交流アーク溶接機 AW２５０Ａ以上　エンジン溶接機 ２３０Ａ以上
（2）溶接棒
ＪＩＳ Ｚ 3211のＥ4316、E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒で棒径４mmφのもの
（3）標準溶接条件
梁フランジ板厚：６mm以上
溶 接 電 流　：１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)
（4）溶接工の資格
ＪＩＳ Ｚ 3801、JIS Z 3841 における基本級の有資格者
（5）手順・要領
右の１～４の順に行う。

	工　程	手　順　・　要　領
1	アーク発生	ＱＬデッキを梁になじませ(隙間２mm以下)溶接棒をＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2	ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm弱で"の"の字を描いてＱＬデッキを焼抜く。
3	押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ２～３回転しながら溶着。
4	整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接時間の目安：電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ．Ｐ．Ｗ］ ― ＣＯ２アークスポット溶接 ―

（1）一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
発電機の場合　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
（2）ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ１．２mm
（3）標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流（Ａ）	電圧（Ｖ）	アークタイム（秒）
１．２mm	６～９mm未満	３００～３２０	３３～３５	３．０～４．０×１度打ち
	９mm以上	３００～３２０	３３～３５	３．０～４．０×２度打ち
１．６mm	６～９mm未満	３００～３２０	３４～３６	３．５～４．５×１度打ち
	９mm以上	３００～３２０	３４～３６	４．０～４．５×２度打ち

注１．デッキプレート　板厚１．０mm　表面条件：Ｚ１２、Ｚ２７、裏面塗装
２．ＣＯ２ガス流量：２０ﾘｯﾄﾙ/分以上

検　　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ．Ｐ．Ｗ）】
□事前検査
ＳＰＷ：適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
1) 検流計での計測
2) 溶接棒の消費長さによる確認―― 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３mmに保持し、１０m程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５～５３mmであること。
Ａ．Ｐ．Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
1) 溶接箇所の確認　2) 焼き切れ、余盛り不足の有無
3) 標準余盛り径　SPW：18mm以上　A.P.W：25mm±3
□不良部の補修
ＳＰＷ　の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不良台箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ．Ｐ．Ｗの場合：重ね溶接して補修する。
【そ の 他】
(1)ＱＬデッキ相互の嵌合状況　(2)ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況　(3)開口部の補強状況

その他の納まり・参考例等については、ＱＬデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

2021/11/01

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録　東京本部一級建築士事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二
設計者　一級建築士　登録第339311号　構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	縮尺 NO SCALE	図面No. S-010 確S-10
作成 2024 年 11 月 20 日	承認	部長　課長　担当　製図		設計No.	

ISベース柱脚工法設計・施工標準図
(SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ)1/3

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定－ST0282-02（2022年12月16日）

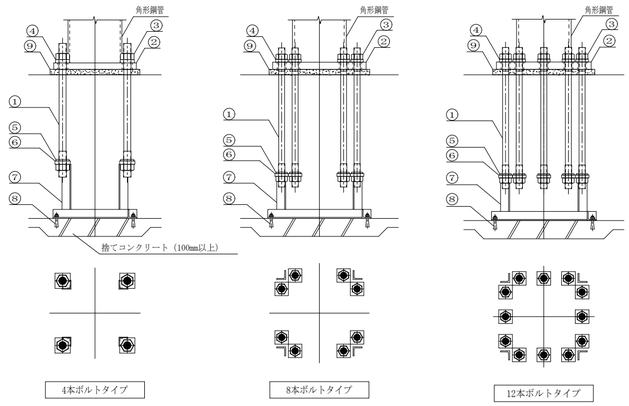
国土交通大臣認定番号（アンカー用ボルトセット）		※（ ）はミルメーカーと加工工場を示す。	
MBLT-0116	M24～M48（朝日工業・アイエスケー中島工場）	MBLT-0180	M24～M48（朝日工業・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0144	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー中島工場）	MBLT-0181	M30～M48（JFEスチール・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0164	M52～M76（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）		

適用柱材
F値=235N/mm², 275N/mm², 295N/mm², 325N/mm²

2023年11月 作成

アイエスケー株式会社
（大阪本社） TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
（東京支店） TEL 03-3433-0844
FAX 03-3433-0847

1. 構造概要

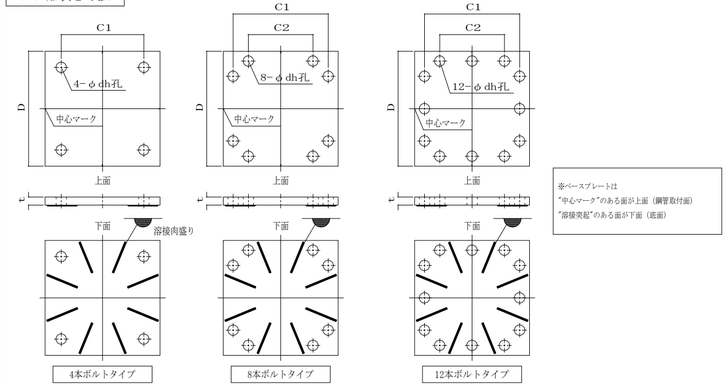


① アンカーボルト　② ベースプレート
③ 一種ナット（シングルナット）　… 土間コンクリート等で被覆する場合は、シングルナットを標準仕様とする。被覆されない場合は、ダブルナット又は六角リングにて緩み止めを行う。
④ 丸座金　⑦ セットフレーム
⑤ 六角リング　⑧ セットアンカー
⑥ 定着板　⑨ モルタル（30～50mm）

2. ベースプレート

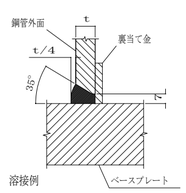
2-1. 材質　JIS G 3136 SN490B（t=40mm以下の場合のみ使用）
建築構造用認定鋼板　TMCP325B（板厚の制限なしで使用）

2-2. 形状と寸法



※ベースプレートは
"中心マーク"のある面が上面（鋼管取付面）
"溶接突起"のある面が下面（底面）

2-3. 柱材との溶接



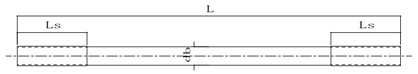
柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。

※溶接施工に関しては、
「日本建築学会；建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」に準じる。

※柱材のめっき仕様について
柱材をめっきする場合は、弊社までご相談ください。

3. アンカー用ボルトセット

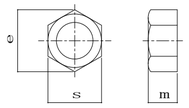
3-1. アンカーボルト
材料：　大臣認定材料（ISB740C, ISB740E, ISB800B）



(mm)

品番	呼び径	ピッチ	db			L	Ls
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	－	－	595	100
A21	M30	3.5	28.0		－	605	115
A31	M36	4.0	33.15	33.0	－	675	130
A34						825	
A41	M42	4.5	38.92	38.8	－	745	145
A42						845	
A43						945	
A44						1045	
A52	M48	5.0	45.0		－	1015	160
A53						1115	
A61	M52	5.0	－		49.0	1100	185
A62						1200	
A71	M56	5.5	－		52.0	1165	195
A72						1265	
A81	M60	5.5	－		56.0	1230	205
A91	M64	6.0	－		60.0	1295	215
A92						1395	
AA1	M68	6.0	－		64.0	1360	225
AA2						1460	
AB1	M72	6.0	－		67.8	1425	235
AC1	M76	6.0	－		71.8	1490	245

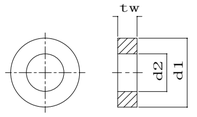
3-2. ナット
種類：　1種六角ナット　JIS B 1181
強度区分：　JIS B 1052　8（M48以下）
強度区分：　JIS B 1052　10（M52以上）



(mm)

呼び径	m	s	e
M24	19	36	41.6
M30	24	46	53.1
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0
M48	38	75	86.5
M52	42	80	92.4
M56	45	85	98.1
M60	48	90	104.0
M64	51	95	110.0
M68	54	100	115.0
M72	58	105	121.0
M76	61	110	127.0

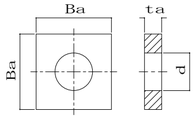
3-3. 丸座金
材質：　一般構造用圧延鋼材　SS400



(mm)

呼び径	品番	d1	d2	tw
M24	C1	52	25	9
M30	C2	58	31	12
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19
M48	C5	90	50	19
M52	C6	100	54	25
M56	C7	108	58	28
M60	C8	114	62	32
M64	C9	120	66	36
M68	CA	128	70	36
M72	CB	134	74	36
M76	CC	140	78	36

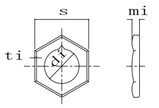
3-4. 定着板
材質：　一般構造用圧延鋼材　SS400（M48以下）
溶接構造用圧延鋼材　SM490A（M52以上）



(mm)

呼び径	品番	Ba	ta	d
M24	P1	50	9	26
M30	P2	65	12	32
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44
M48	P5	95	22	50
M52	P6	115	25	54
M56	P7	120	25	58
M60	P8	130	28	62
M64	P9	135	32	66
M68	PA	140	32	70
M72	PB	150	36	74
M76	PC	155	36	78

3-5. 六角リング
材質：　JIS G3131 SPHC



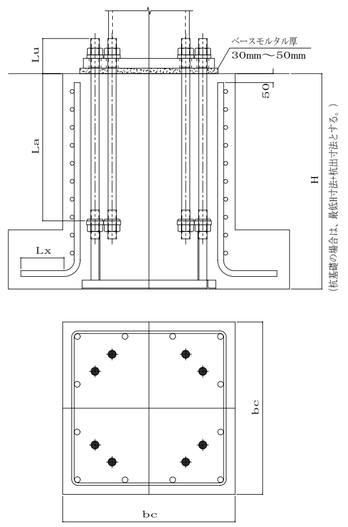
(mm)

呼び径	S	di	mi	ti
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

4. コンクリート柱形

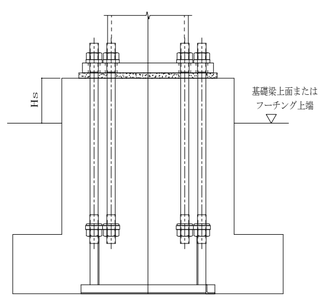
4-1. 使用材料　コンクリート：　Fc=21N/mm²　以上（鋼管サイズ□550以下）
Fc=24N/mm²　以上（鋼管サイズ□600以上）
鉄筋：　JIS G 3112 SD295A（D16以下）
JIS G 3112 SD345（D19～D25）
JIS G 3112 SD390（D29以上）

4-2. 形状・配筋



・主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
・トップフープは、シングルを標準とする。
・Lxは、使用する主筋呼径の10倍以上とする。
・主筋、帯筋の径・本数は、標準柱形の場合を示す。
・柱形の幅（bc）を標準柱形より拡げた場合、検討が必要。
柱形を拡げる場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。

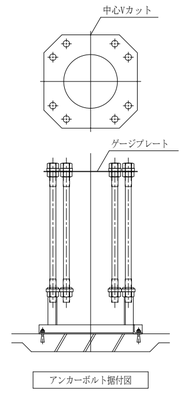
4-3. 基礎立上り部



・柱形の配筋が標準の場合
基礎立上り高さ（Hs）は、250mm以下とする。
・立上り高さ（Hs）が250mmを超える場合は、
検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

5. 施工

※（ ）は、元請施工範囲を示す。
6.［コンクリート打設前検査］は、契約内容による。



1. 施工打合せ
2.（捨てコンクリートの打設）…捨てコン厚さは100mm以上とする。
3.（墨出し）…柱芯を明示する。
4. アンカーボルト据付
5.（配筋・型枠）
ゲージプレートを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
アンカーボルト、セットフレーム等と鉄筋を拘束しない。
アンカーボルトに熱を加えない。
6.［コンクリート打設前検査］
7.（コンクリート打設）
8.（鉄骨建方・アンカーボルトの締）
まんじゅう高さは（30～50mm）とする。
まんじゅうに使用する材料に規定はない。
まんじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
9. ベースモルタルの充てん…ISグラウト以外は使用不可。
10. ナットの緩み確認
11.（充てん型枠脱型・廃棄）

6. 施工管理

・ISベースの施工（アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充てん）は、弊社が認定した施工者が行う。
・施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
・材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
・アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録　東京本部一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二
設計者　一級建築士　登録第339311号
構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	ISベース柱脚工法設計・施工標準図(1)	縮尺 NO SCALE	図面No. S-011 確S-11
作成	2025 年 1 月 29 日	承認	部長 課長 担当 製図	設計No.	

ISベース柱脚工法設計・施工標準図
(SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ)2/3

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定－ST0282-02（2022年12月16日）

国土交通大臣認定番号（アンカー用ボルトセット）		※（ ）はミルメーカーと加工工場を示す。	
MBLT-0116	M24～M48（朝日工業・アイエスケー中島工場）	MBLT-0180	M24～M48（朝日工業・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0144	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー中島工場）	MBLT-0181	M30～M48（JFEスチール・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0164	M52～M76（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）		

適用柱材(F値=235N/mm², 275N/mm², 295N/mm², 325N/mm²)

□150×150～□550×550

2023年11月 作成

アイエスケー株式会社
（大阪本社） TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
（東京支店） TEL 03-3433-0844
FAX 03-3433-0847

採用	柱脚記号	鋼管サイズ（mm）	適用柱サイズ（mm） ※柱材は、指定JIS規格品または大臣認定品とする。 柱材の基準強度（N/mm²）			ベースプレート					アンカーボルト			コンクリート柱形 （標準）					最低H寸法（mm） ※杭基礎の場合は（最低H寸法+杭出寸法）
			235	275・295	325	D（mm）	C1（mm）	C2（mm）	dh（mm）	t（mm）	本数-呼び径（品番）	Lu（mm）	La（mm）	bc（最小～最大）（mm）	主筋	帯筋	Lx（mm）	コンクリート強度（N/mm²）	
	SP151	□150	t ≦ 9	t ≦ 6	－	290	210	－	φ36	25	4-M24 (A1)	125	410	500～540	12-D16	D13@150	160	21以上	550以上
	SP152		t ≦ 12	t ≦ 12	－	310	210	－	φ42	32	4-M30 (A21)	135	400	500～630	16-D16	D13@150	160	21以上	550以上
	SP171	□175	t ≦ 9	t ≦ 6	－	320	230	－	φ42	25	4-M30 (A21)	135	400	500～540	12-D16	D13@150	160	21以上	550以上
	SP172		t ≦ 12	t ≦ 12	－	350	250	－	φ50	36	4-M36 (A31)	155	440	540～630	16-D16	D13@150	160	21以上	600以上
	SP201	□200	t ≦ 9	t ≦ 9	－	350	260	－	φ50	32	4-M36 (A31)	155	440	560～650	12-D19	D13@100	190	21以上	600以上
	SP202		t ≦ 12	t ≦ 12	－	380	280	－	φ50	40	4-M36 (A31)	155	440	570～750	16-D19	D13@100	190	21以上	600以上
	SP203		t ≦ 16	t ≦ 16	－	380	270	－	φ58	45	4-M42 (A41)	175	480	580～840	20-D19	D13@100	190	21以上	650以上
	SP251	□250	t ≦ 6	t ≦ 6	－	400	310	－	φ50	28	4-M36 (A31)	155	440	620～650	12-D19	D13@100	190	21以上	600以上
	SP252		t ≦ 9	t ≦ 9	－	450	340	－	φ50	36	4-M36 (A31)	155	440	650～680	16-D19	D13@100	190	21以上	600以上
	SP253		t ≦ 12	t ≦ 12	－	450	330	－	φ58	40	4-M42 (A41)	175	480	640～840	20-D19	D13@100	190	21以上	650以上
	SP254		t ≦ 16	t ≦ 16	－	480	380	230	φ50	45	8-M36 (A34)	155	590	680～980	20-D22	D13@100	220	21以上	750以上
	SP301	□300	t ≦ 9	t ≦ 9	－	480	370	－	φ58	36	4-M42 (A42)	175	580	680～840	16-D22	D13@100	220	21以上	750以上
	SP302		t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	500	400	250	φ50	40	8-M36 (A34)	155	590	730～840	20-D22	D13@100	220	21以上	750以上
	SP303		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	530	420	250	φ58	45	8-M42 (A43)	175	680	740～840	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上
	SP304		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	570	440	270	φ58	50	8-M42 (A43)	175	680	770～1120	20-D25	D13@100	250	21以上	850以上
○	SP305		t ≦ 19	t ≦ 22	t ≦ 19	600	470	300	φ58	55	8-M42 (A43)	175	680	800～1120	20-D25	D13@100	250	21以上	850以上
	SP351	□350	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	560	460	290	φ58	40	8-M42 (A43)	175	680	780～1070	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上
	SP352		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	620	500	330	φ58	50	8-M42 (A43)	175	680	850～1070	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上
	SP353		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	630	470	280	φ66	50	8-M48 (A52)	195	720	830～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	900以上
	SP354		t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	670	530	340	φ66	60	8-M48 (A52)	195	720	880～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	900以上
	SP355		t ≦ 22	t ≦ 25	t ≦ 22	710	550	360	φ66	65	8-M48 (A52)	195	720	930～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	900以上
	SP401	□400	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	650	540	370	φ58	45	8-M42 (A43)	175	680	860～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	850以上
	SP402		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	670	540	350	φ66	50	8-M48 (A53)	195	820	880～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP403		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	730	590	400	φ66	60	8-M48 (A53)	195	820	960～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP404		t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	780	630	440	φ66	70	8-M48 (A53)	195	820	1020～1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP405		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	740	590	400	φ66	70	12-M48 (A53)	195	820	980～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP406		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	770	600	360	φ74	70	8-M56 (A71)	245	800	1020～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP451	□450	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	730	620	450	φ58	50	8-M42 (A43)	175	680	950～1150	24-D25	D13@100	250	21以上	850以上
	SP452		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	760	630	440	φ66	55	8-M48 (A53)	195	820	990～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP453		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	850	680	490	φ66	70	8-M48 (A53)	195	820	1100～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP454		t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	810	660	470	φ66	70	12-M48 (A53)	195	820	1100～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP455		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	880	680	490	φ66	75	12-M48 (A53)	200	820	1140～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP456		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	850	690	450	φ74	70	8-M56 (A71)	245	800	1150～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP457		t ≦ 28	t ≦ 28	t ≦ 25	860	680	420	φ80	75	8-M60 (A81)	255	850	1130～1260	40-D25	D13@100	250	21以上	1050以上
	SP501	□500	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	750	630	440	φ66	50	8-M48 (A53)	195	820	970～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP502		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	790	660	470	φ66	60	12-M48 (A53)	195	820	1050～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP503		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	810	670	440	φ70	55	8-M52 (A61)	235	750	1050～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	950以上
	SP504		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	870	690	500	φ66	65	12-M48 (A53)	195	820	1130～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP505		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	890	730	500	φ70	70	8-M52 (A61)	235	750	1150～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	950以上
	SP506		t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	880	710	450	φ80	70	8-M60 (A81)	255	850	1140～1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
	SP507		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	920	740	480	φ80	75	8-M60 (A81)	255	850	1200～1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
	SP508		t ≦ 28	t ≦ 28	t ≦ 25	920	720	440	φ88	80	8-M68 (AA1)	275	950	1220～1690	36-D29	D16@100	290	21以上	1200以上
	SP551	□550	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	850	720	530	φ66	55	8-M48 (A53)	195	820	1100～1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP552		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	890	740	550	φ66	65	12-M48 (A53)	195	820	1150～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上
	SP553		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	910	770	540	φ70	65	8-M52 (A61)	235	750	1180～1260	36-D25	D13@100	250	21以上	950以上
	SP554		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	900	740	480	φ80	65	8-M60 (A81)	255	850	1170～1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
	SP555		t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	970	800	540	φ80	75	8-M60 (A81)	255	850	1260～1500	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上
	SP556		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	990	790	520	φ84	80	8-M64 (A91)	265	900	1280～1690	36-D29	D16@100	290	21以上	1100以上
	SP557		t ≦ 28	t ≦ 28	t ≦ 25	980	770	470	φ92	80	8-M72 (AB1)	285	1000	1300～1790	40-D29	D16@100	290	21以上	1250以上

訂正	月 日	事 項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.
事務所登録 東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号
設計者 一級建築士 登録第362390号 星野 康二
設計者 一級建築士 登録第339311号 構造一級建築士 登録第 9542号 益子 拡

工事名称 古谷地区公立保育所新築工事

作成 2024 年 11 月 20 日

承認

図面名称 ISベース柱脚工法設計・施工標準図(2)

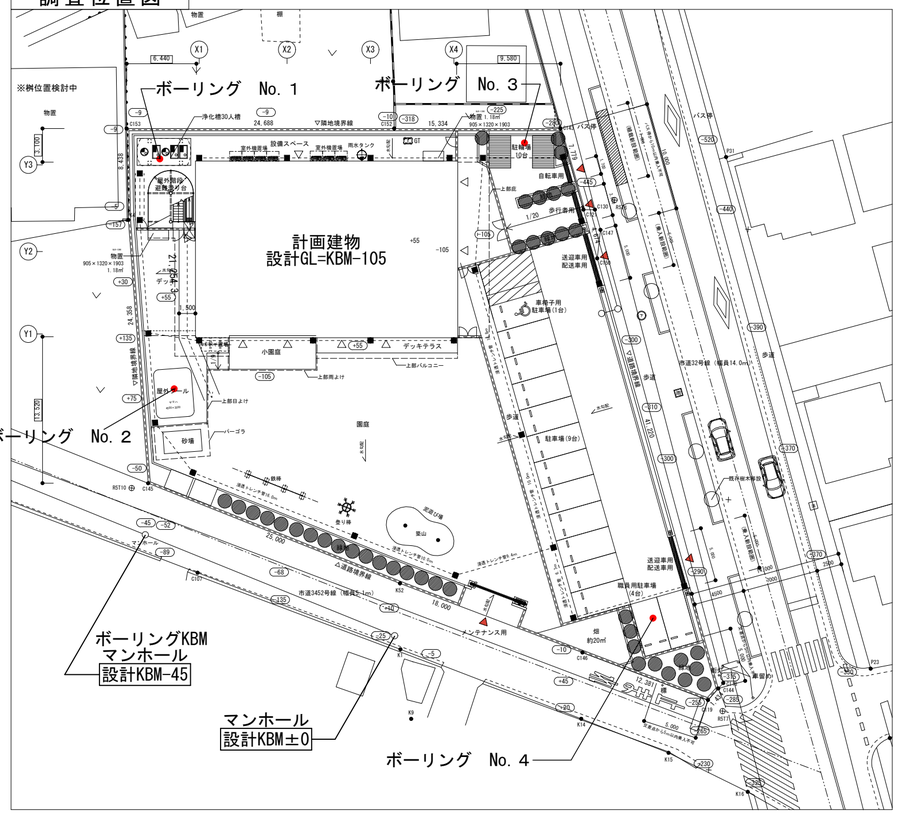
部長 課長 担当 製図

縮尺 NO SCALE

設計No.

図面No. S-012 確S-12

調査位置図

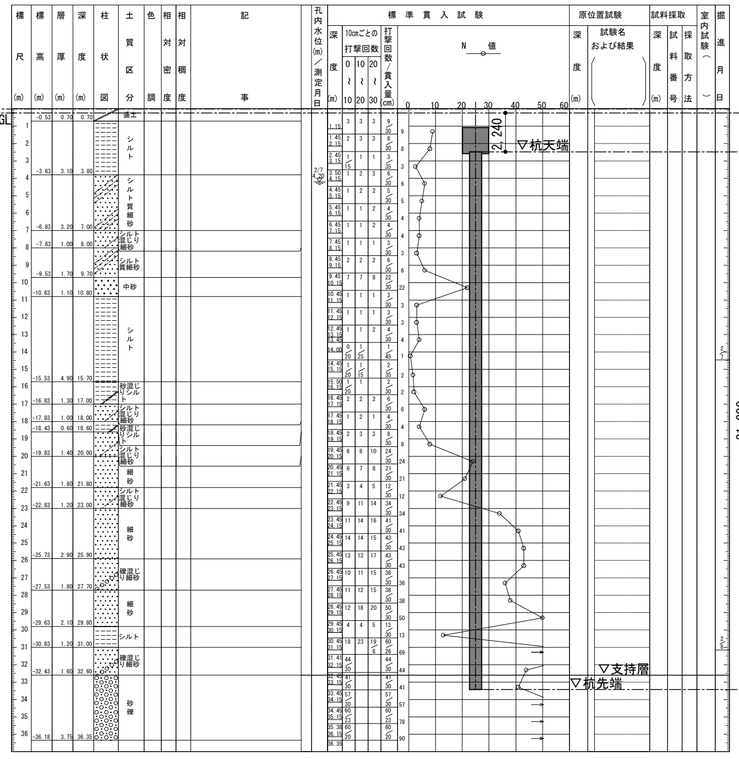

ボーリング No. 1
ボーリング No. 3
ボーリング No. 2
ボーリングKBM
マンホール
設計KBM-45
マンホール
設計KBM±0
ボーリング No. 4
※樹位置検討中
計画建物
設計GL=KBM-105
物置
浄化槽30人槽
24.688
▽隣地境界線
設備スペース
屋外階段
踊り場GL
21.250
デッキ
15.334
物置
905×1220×1903
1.18ml
自転車置
歩行車椅
送迎車用
配送車用
車椅子用
駐車場(1台)
小園庭
デッキテラス
上部バルコニー
上部庇よけ
園庭
屋外プール
砂場
パーゴラ
駐車場(9台)
歩道
既存樹木撤去
築山
鳥かご
ベンチ
ポール
市道3452号線（幅員5.4m）
18.000
16.000
メンテナンス用
既存樹木撤去
畑
約20m²
駐車場
(4台)
既存樹木撤去
9.380
バス停
P21
P22
P23
歩道
上部庇よけ
上部ルーバー
上部ルーバー
上部庇よけ
歩道
歩道
歩道

ボーリング柱状図

調査名　古谷地区公立保育所建設予定地地質調査業務委託　　ボーリングNo 2

事業・工事名　　シートNo 2

ボーリング名	No. 2	調査位置	川越市大字古谷上4009番地ほか				北緯		
発注機関	川越市			調査期間	令和 6年 2月 7日 ～ 年 月 日		東経		
調査業者名	司測量設計調査株式会社 電話 (049-233-2511)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	江川秀男	ボーリング責任者	大竹宏之
孔口標高	KBM +0.172m	角度	90° 上 / 0° 下	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平0° / 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	36.35m			試錐機				ハンマー落下用具	
				エンジン				ポンプ	

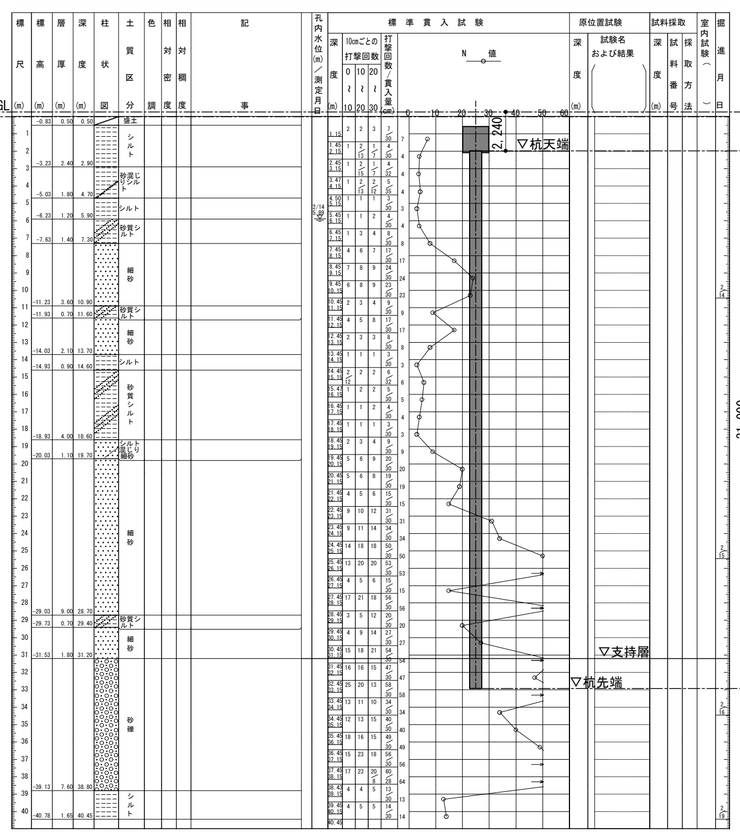


ボーリング柱状図

調査名　古谷地区公立保育所建設予定地地質調査業務委託　　ボーリングNo 3

事業・工事名　　シートNo 3

ボーリング名	No. 3	調査位置	川越市大字古谷上4009番地ほか				北緯		
発注機関	川越市			調査期間	令和 6年 2月 14日 ～ 年 月 日		東経		
調査業者名	司測量設計調査株式会社 電話 (049-233-2511)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	江川秀男	ボーリング責任者	横島慎一
孔口標高	KBM -0.33m	角度	90° 上 / 0° 下	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平0° / 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	40.45m			試錐機				ハンマー落下用具	
				エンジン				ポンプ	

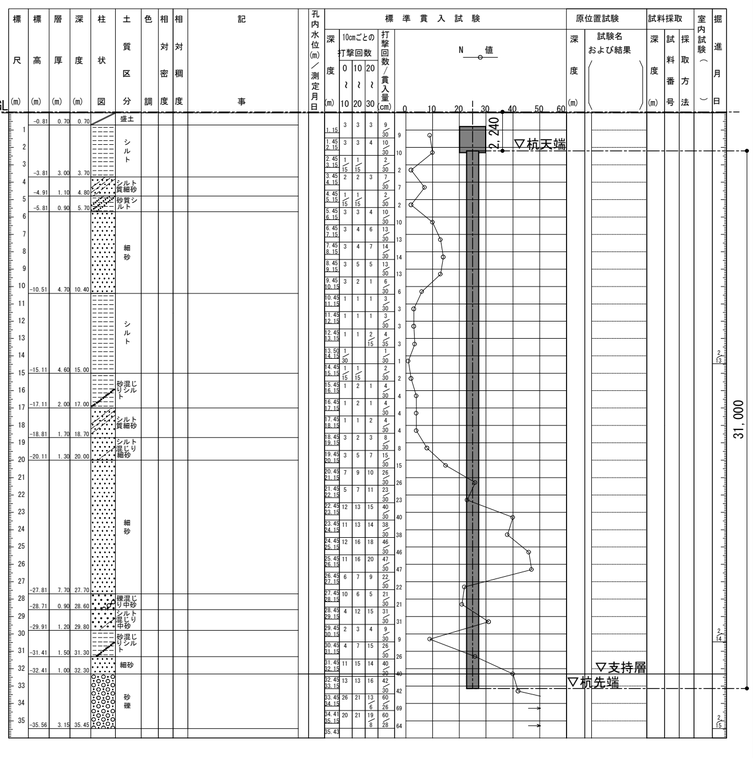


ボーリング柱状図

調査名　古谷地区公立保育所建設予定地地質調査業務委託　　ボーリングNo 4

事業・工事名　　シートNo 4

ボーリング名	No. 4	調査位置	川越市大字古谷上4009番地ほか				北緯		
発注機関	川越市			調査期間	令和 6年 2月 13日 ～ 年 月 日		東経		
調査業者名	司測量設計調査株式会社 電話 (049-233-2511)	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	江川秀男	ボーリング責任者	大竹宏之
孔口標高	KBM -0.11m	角度	90° 上 / 0° 下	方向	北 0° / 90° 東 / 180° 南 / 270° 西	地盤勾配	水平0° / 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	35.45m			試錐機				ハンマー落下用具	
				エンジン				ポンプ	

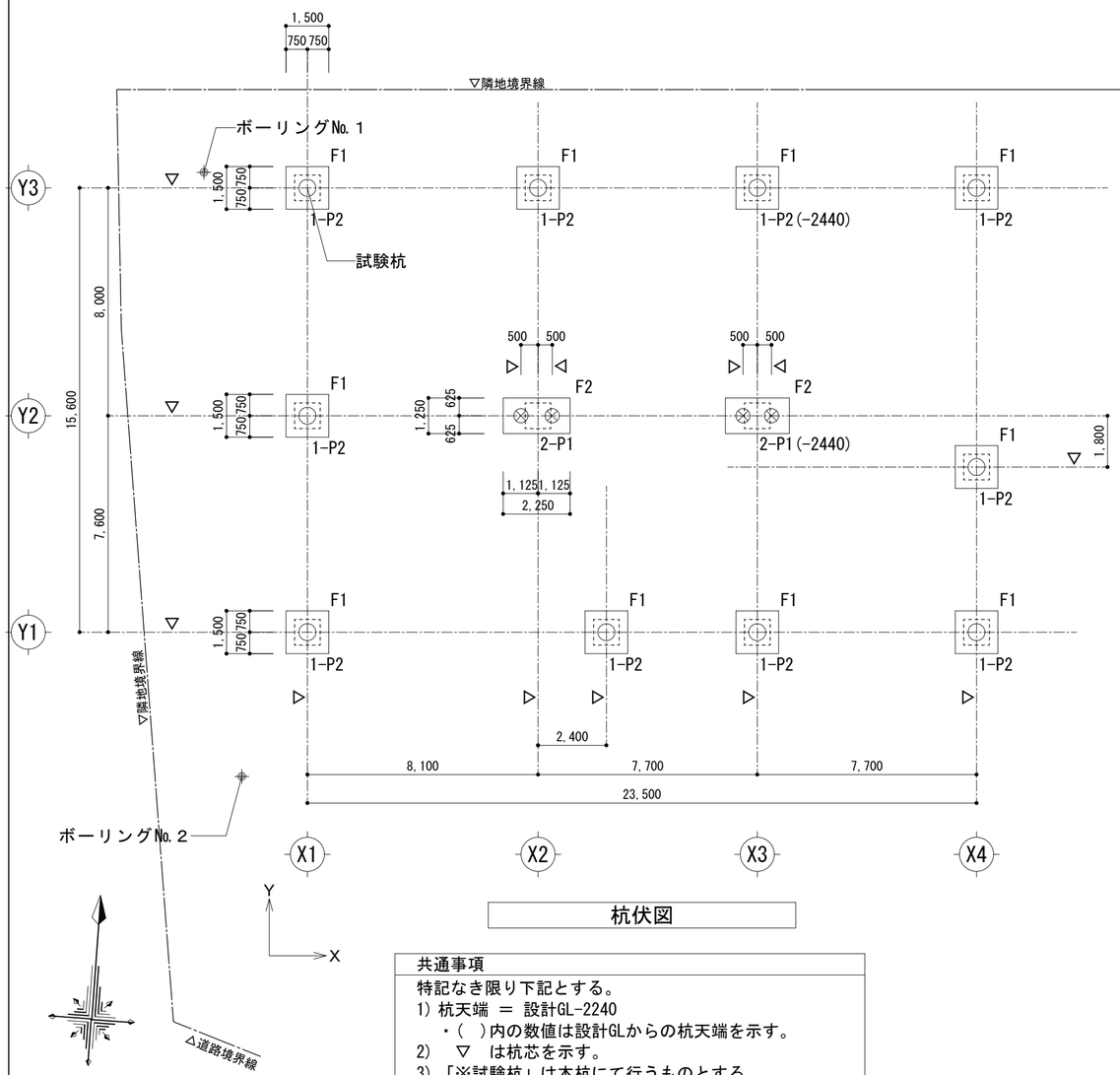


訂正	月　日	事　項	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2024 年 11 月 20 日
				承認	

図面名称	ボーリング柱状図(2)			縮尺	NO SCALE
部長	課長	担当	製図	設計No.	
				図面No.	S-014 確S-14



杭伏図

共通事項

特記なき限り下記とする。

1) 杭天端 ＝ 設計GL-2240
　・(　)内の数値は設計GLからの杭天端を示す。
2)　▽　は杭芯を示す。
3) 「※試験杭」は本杭にて行うものとする。

杭明細

杭仕様

杭種類　－　既製杭
工　法　－　Hyper-ストレート工法　(TACP-0405：礫質地盤)
杭先端　－　設計GL-33.4m以深
支持層　－　砂礫層(設計GL-32.0m)

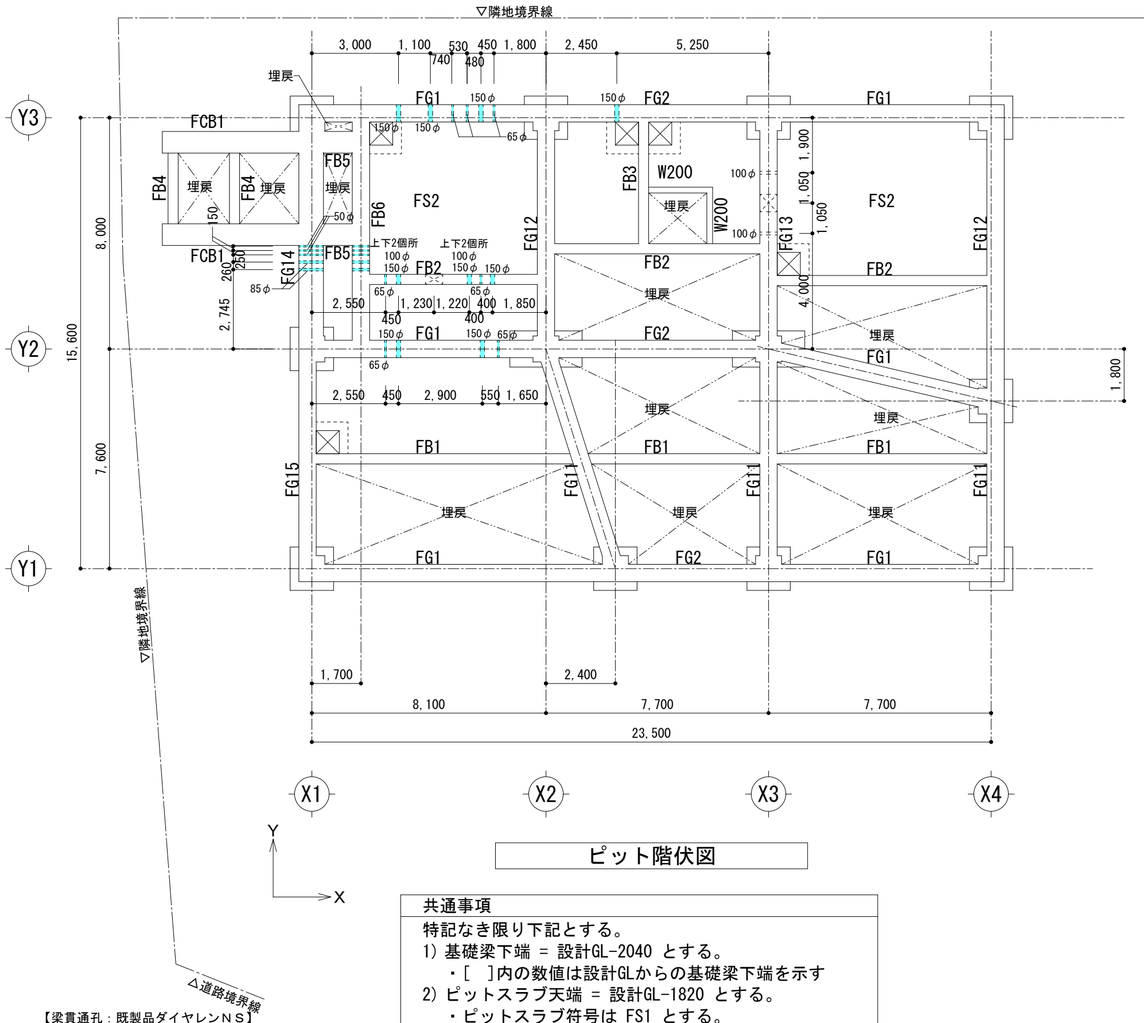
注意事項

・杭長は試験杭を実施し、支持層を確認する。
・支持層レベルに1mを超える誤差が発生した場合は監理者との協議による。
・杭の現場継手は無溶接継手の認定工法とする。
・施工後は杭芯位置を計測し、監理者に報告すること。また、必要に応じて基礎・基礎梁等の補強を行うこと。

杭符号	杭記号	杭径	杭全長 (m)	本数	長期許容支持力(kN/本)	
					設計GL-2240	設計GL-2440
P1	⊗	φ500	31.0	4	1875	1895
P2	○	φ600	31.0	10	2433	2456

訂正	月　日	事　項											

universal	株式会社ユニバァサル設計 UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.	事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	伏図(１)	縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.	S-015 確S-15
		設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡	作成	2024 年 12 月 5 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.	



ピット階伏図

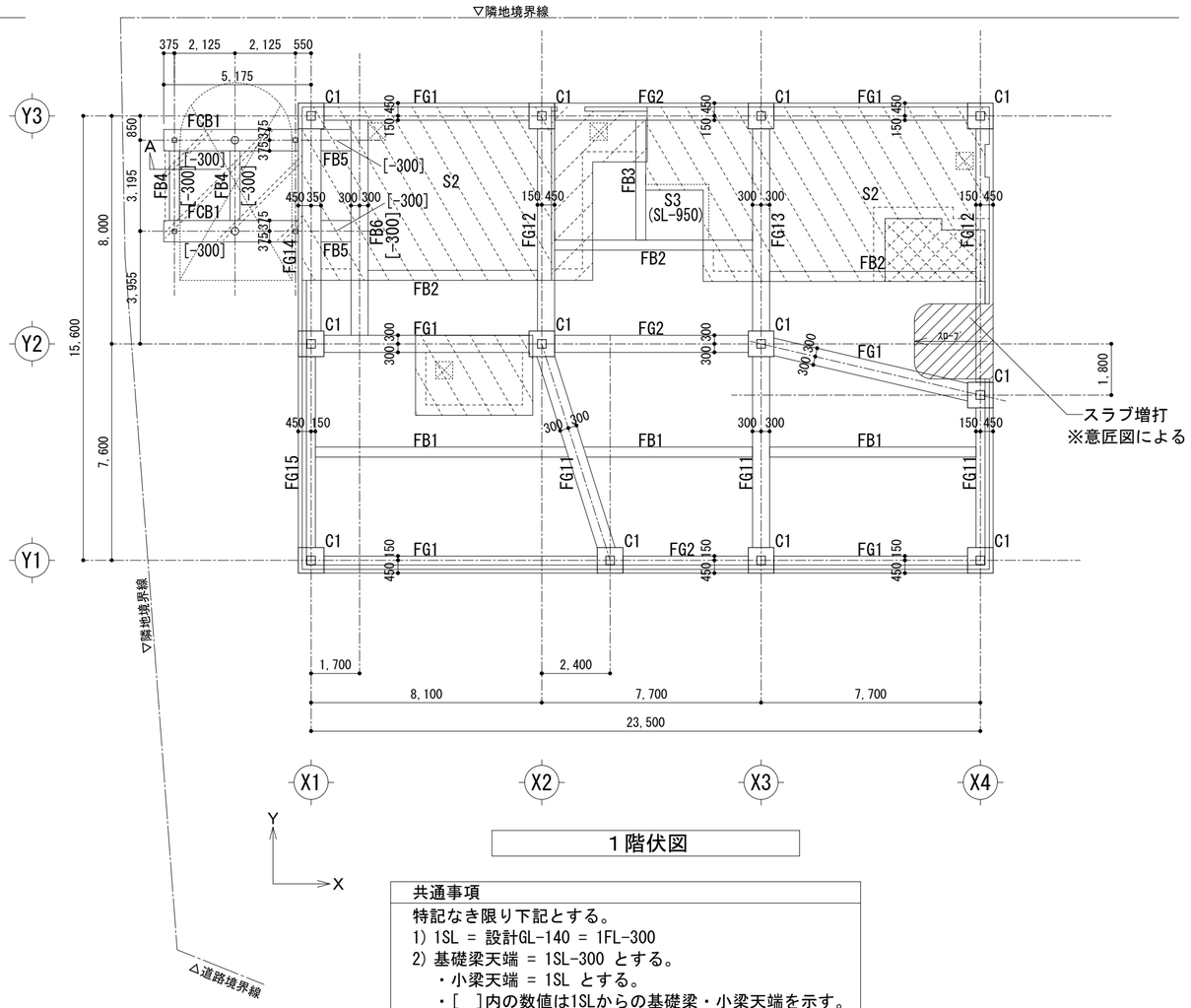
共通事項

特記なき限り下記とする。

1) 基礎梁下端 = 設計GL-2040 とする。
   - [ ]内の数値は設計GLからの基礎梁下端を示す
2) ピットスラブ天端 = 設計GL-1820 とする。
   - ピットスラブ符号は FS1 とする。
   - ( )内の数値は設計GLからのスラブ天端を示す。
3) ⊠ は人通孔 600φ を示す。
   - ▭ は梁貫通孔を示す。(設備配管)
4) ⊠ は釜場を示す。
   (大きさは意匠図による。)

【梁貫通孔：既製品ダイヤレンＮＳ】

径	個数	型番
600φ	2	Ⅱ型 (10-2R)
150φ	9	Ⅰ型 (6-2R)
100φ	4	Ⅰ型 (6-2R)
65φ	7	Ⅰ型 (6-2R)
85φ	4	Ⅰ型 (6-2R)
50φ	6	Ⅰ型 (6-2R)

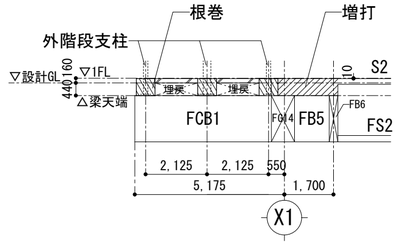


１階伏図

共通事項

特記なき限り下記とする。

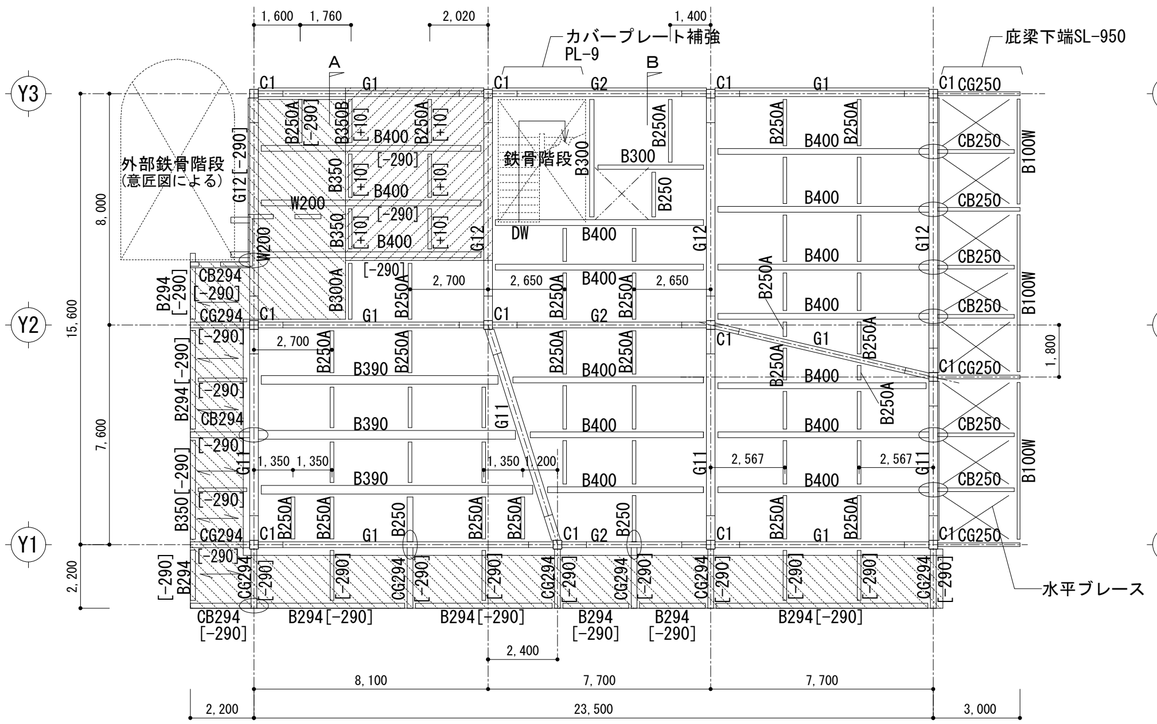
1) 1SL = 設計GL-140 = 1FL-300
2) 基礎梁天端 = 1SL-300 とする。
   - 小梁天端 = 1SL とする。
   - [ ]内の数値は1SLからの基礎梁・小梁天端を示す。
3) スラブ天端 = 1SL±0 とする。
   - スラブ符号は S1 とする。
   - ＼ は主筋方向を示す。
   - ┆ は段差スラブ補強位置を示す。
   - ▨ は床位置 1SL+130 を示す。
   - ▨ は床位置 1SL+290 を示す。
   - ▨ は床位置 1SL+240 を示す。
   - ▨ は土間スラブ (t=150) を示す。
4) 壁符号は W150 とする。
5) スラブ・梁天端のレベル差は、梁上増打ちとする。
6) 同一部材で屋内外となる梁・スラブ・壁は全て屋外としてかぶり厚を確保すること。
7) ⊠ ⊗ は床開口を示す。
   (用途・寸法は意匠図による)



A　断面図

打	月　日	事　項			事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	伏図(2)	縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.	S-016
正					設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡	作成	2025 年 1 月 29 日	承認		部長	課長	担当	製図	設計No.	確S-16

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.



２階伏図

共通事項

特記なき限り下記とする。

1) 2SL = 2FL-150

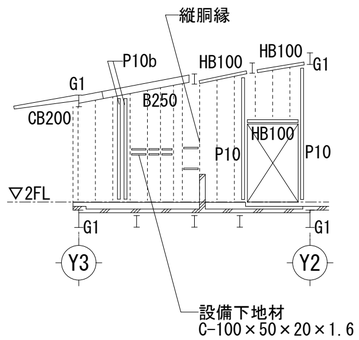
2) 大梁天端 = 2SL-130 = 2FL-280とする。
- 小梁符号は B250 とする。
- 小梁天端レベルは大梁天端とする。
- [ ]内の数値は2SLからの大梁・小梁天端を示す。
- スラブと梁天端に差がある場合、嵩上げを行う

3) スラブ天端 = 2SL±0 とする。
- スラブ符号は DS1 とする。
- をデッキの標準方向とする。
- はデッキ方向を示す。
- は床位置 2SL+140 を示す。
- は床位置 2SL-160 を示す。 (水勾配増打)

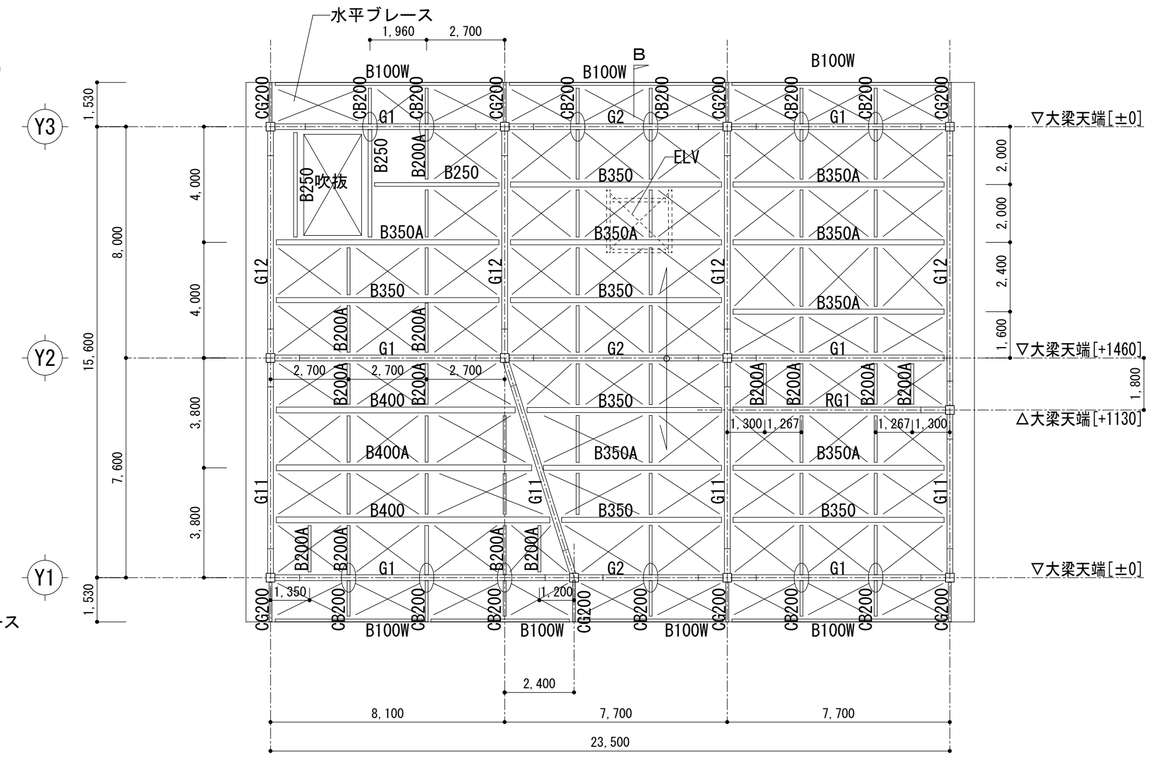
4) は剛接合を示す。

5) 水平ブレース符号は HV2 とする。
HV2： TB付 1-M16

6) ELV設置用の鉄骨部材についてはELV図を参照すること。



A 断面図



Ｒ階伏図

共通事項

特記なき限り下記とする。

1) 軒天(水下) = 大梁天端±0

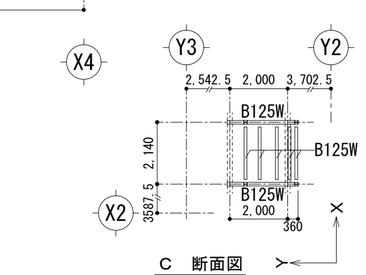
2) Y方向の大梁天端は水勾配による
- 小梁符号は B200 とする。
- 小梁天端レベルは大梁天端+50とする。
- [ ]内の数値はRSLからの大梁・小梁天端を示す。

3) は剛接合を示す。

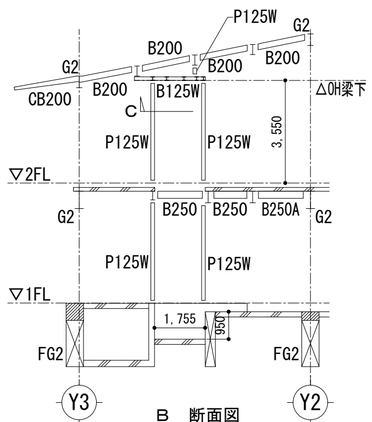
4) は水勾配を示す。

5) 水平ブレース符号は HV1 とする。
HV1： TB付 1-M18

6) 母屋：意匠図による



C 断面図



B 断面図

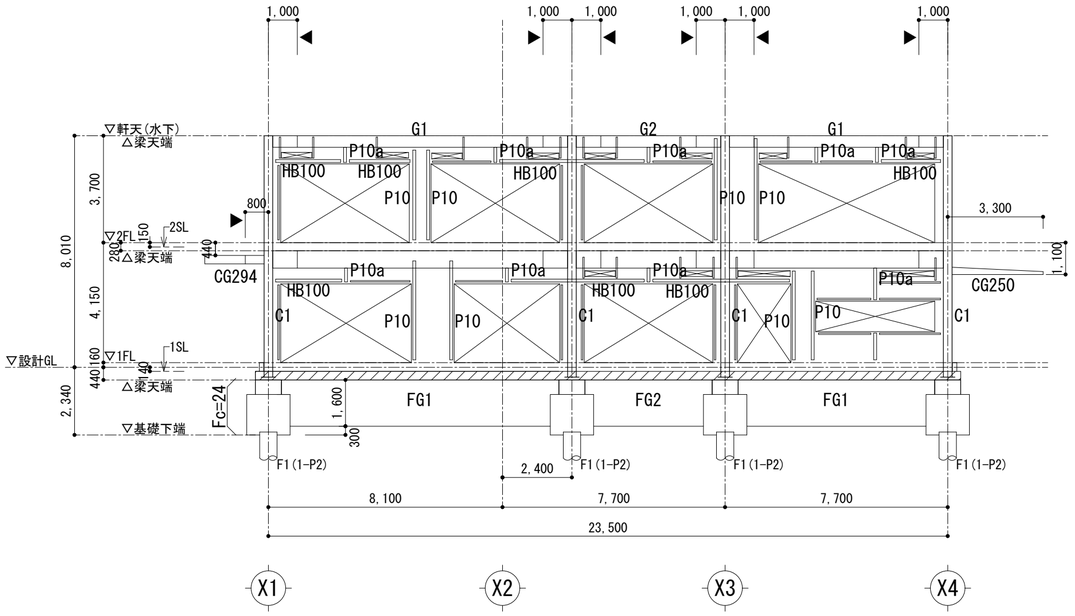
※ELV詳細位置は意匠図による

打 正	月 日	事 項		

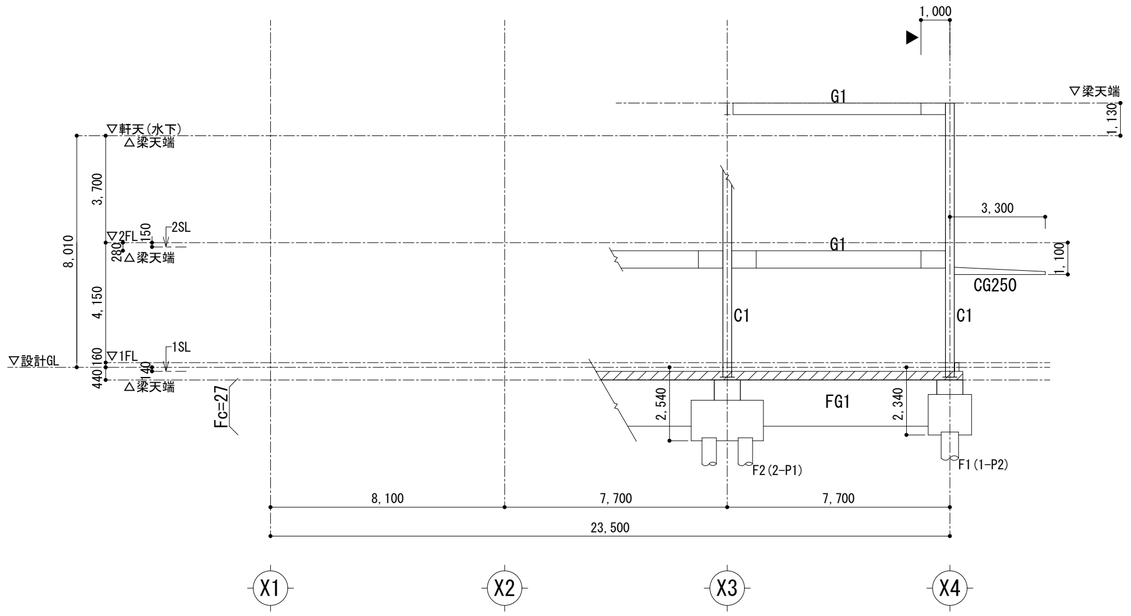
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	設計者	一級建築士 登録第339311号 構造一級建築士 登録第 9542号 益子 拡	作成	2025 年 1 月 29 日
				承認	

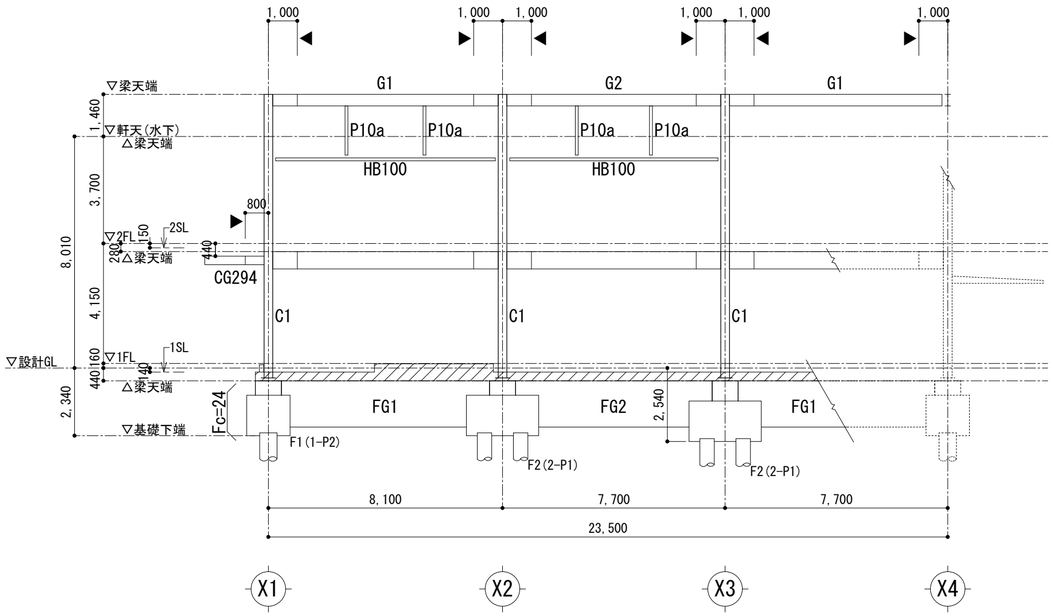
図面名称	伏図(3)	縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.
部長	課長	担当	製図	設計No.	S-017 確S-17



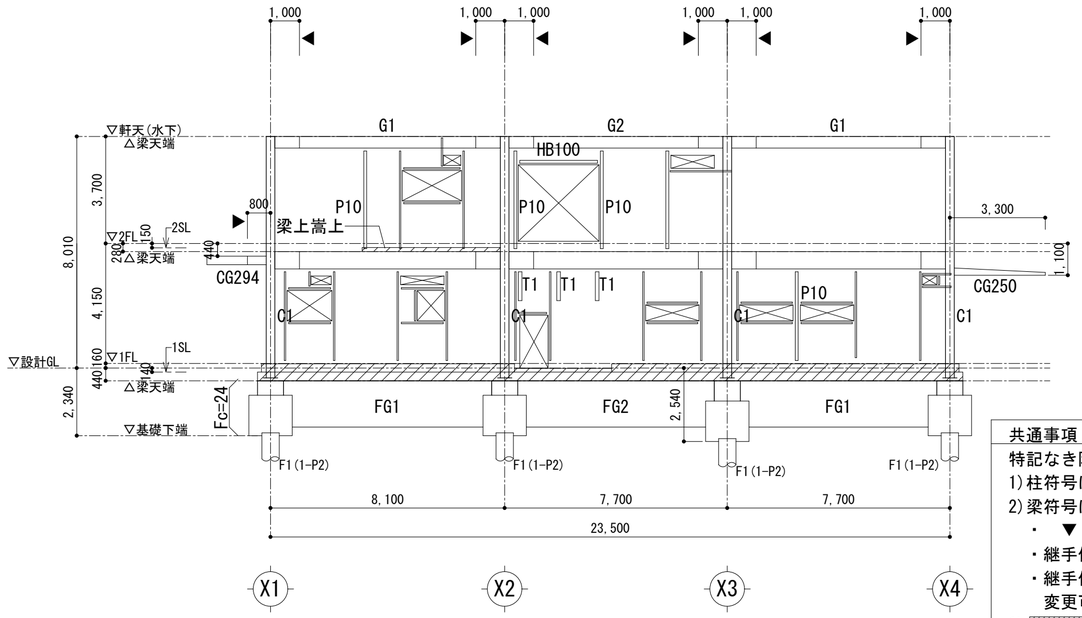
Y 1 通り軸組図



Y2-1800通り軸組図



Y２通り軸組図



Y３通り軸組図

共通事項

特記なき限り下記とする。

1) 柱符号は下階に倣う。

2) 梁符号は上階に倣う。

- ▼ は継手位置を示す。
- 継手位置は上階に倣う。
- 継手位置は監理者に報告の上、変更可能とする。

3) ▨ はフカシを示す。

4) 部材符号無き開口補強は C-100×50×2.3とする。

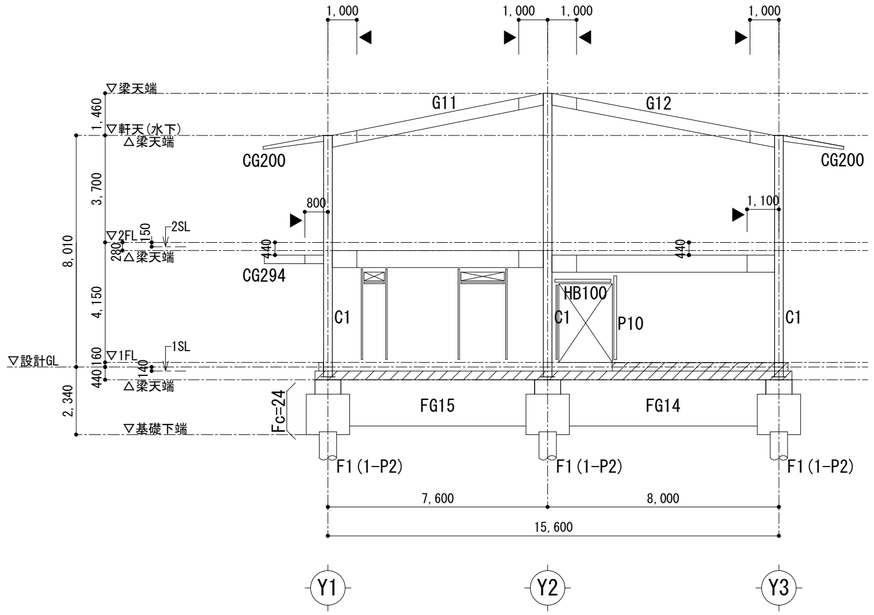
5) 外装材縦胴縁は C-100×50×2.3@606とする。

訂正	月 日	事 項										

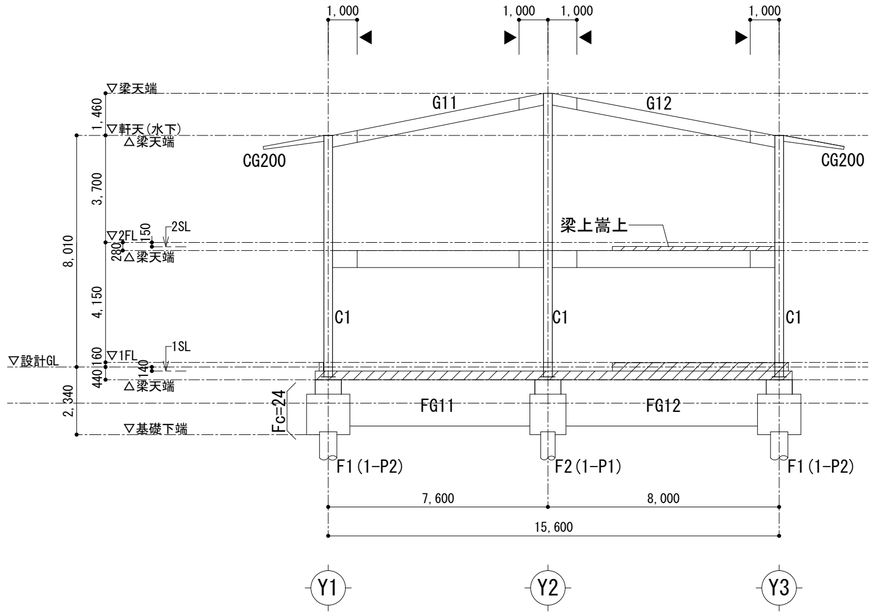
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	軸組図(１)
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	設計者	一級建築士 登録第339311号 構造一級建築士 登録第 9542号 益子 拡	作成	2024 年 12 月 5 日	承認	
						部長	課長 担当 製図

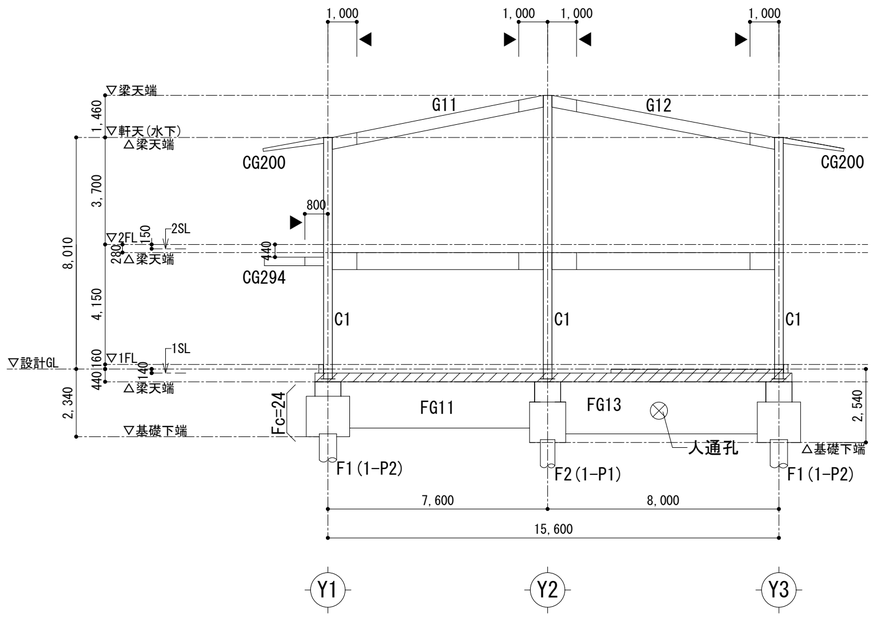
縮尺	図面No.
A2:1/150 A3:1/210	S-018 確S-18
設計No.	



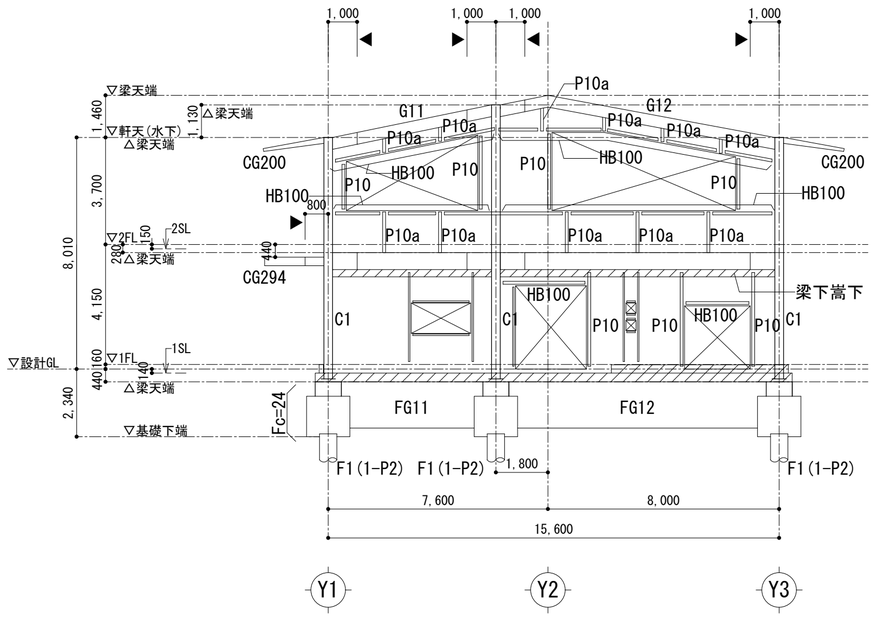
Ｘ１通り　軸組図



Ｘ２通り　軸組図



Ｘ３通り　軸組図



Ｘ４通り　軸組図

共通事項

特記なき限り下記とする。

1) 柱符号は下階に倣う。

2) 梁符号は上階に倣う。

- ▼ は継手位置を示す。
- 継手位置は上階に倣う。
- 継手位置は監理者に報告の上、変更可能とする。

3) ▨ はフカシを示す。

4) 部材符号無き開口補強は C-100×50×2.3とする。

5) 外装材縦胴縁は C-100×50×2.3@606とする。

訂正	月 日	事項	

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	軸組図(2)
作成	2024 年 12 月 6 日	承認	
縮尺	A2:1/150 A3:1/210	図面No.	S-019 確S-19
部長	課長	担当	製図
設計No.			

杭リスト

・無溶接継手
TPJ継手 ⇒ トリプルプレートジョイント【BCJ評定-FD0183-08】

杭符号	杭径	杭種別		杭長 (m)	杭全長 (m)	本数	杭継手	杭頭補強筋
P1	φ500	上杭	105CPRC Ⅱ	6.0	31.0	4	TPJ継手	NCPアンカー 10-D22
		中杭	105PHC A	7.0				
			105PHC A	9.0				
		下杭	105PHC A	9.0				
P2	φ600	上杭	105PHC C	6.0	31.0	10	TPJ継手	NCPアンカー 12-D22
		中杭	105PHC A	7.0				
			105PHC A	9.0				
		下杭	105PHC A	9.0				

共通事項

特記無き限り下記とする。

1) 杭工法　Hyper-ストレート工法とする。（TACP-0405：礫質地盤）
2) 施工後は、杭芯位置を計測し監理者に報告すること。
3) 杭施工前に敷地内にて試掘を行い地盤性状の確認をすると共に、根固め部の未固結試料を採取し、強度試験を行うこと。

基礎リスト

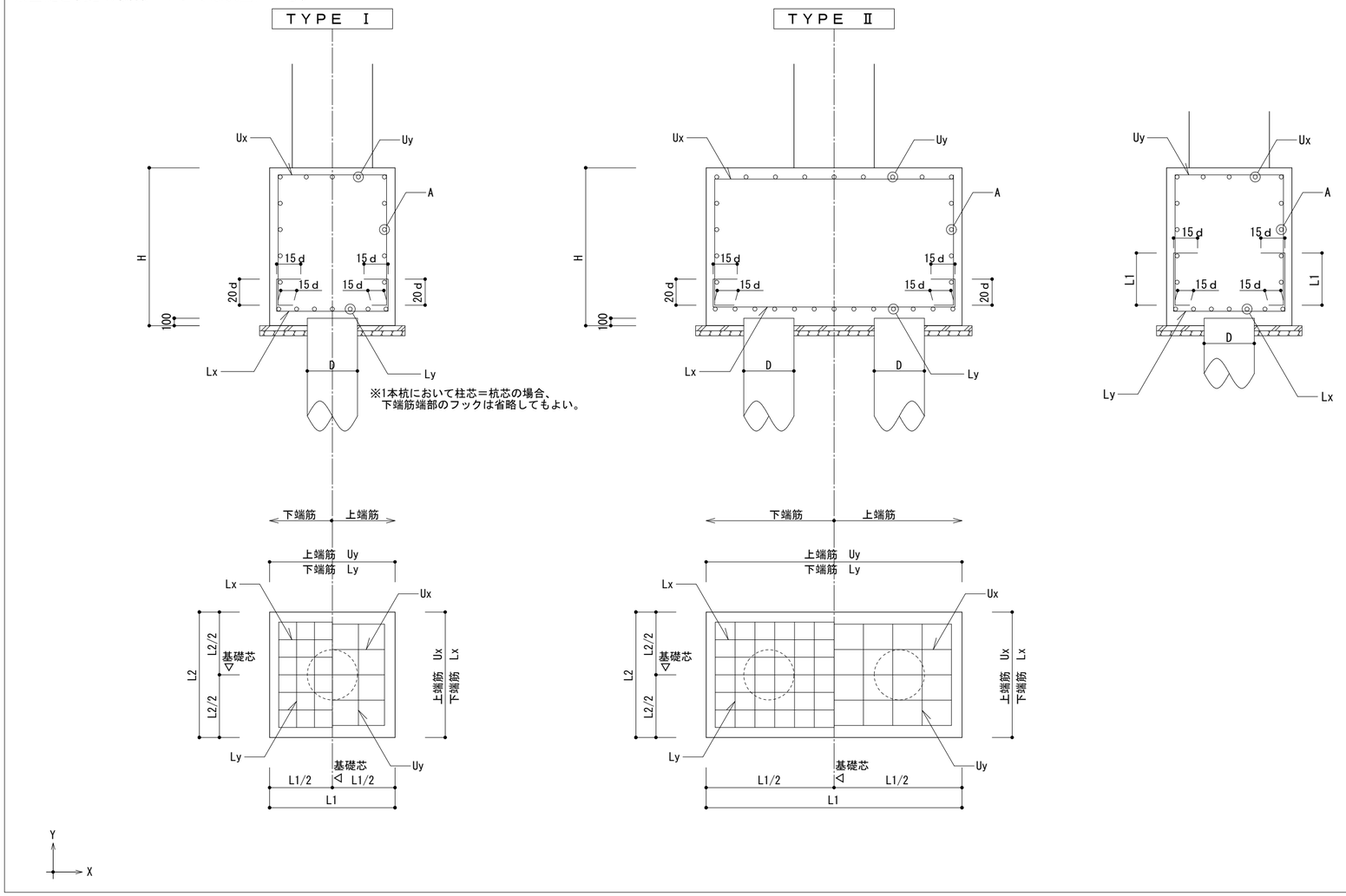
符　号	杭　径 D	TYPE	基礎サイズ L1	基礎サイズ L2	基礎サイズ H	上端筋 Ux	上端筋 Uy	下端筋 Lx	下端筋 Ly	腹筋 A	備　考
F1	600φ	Ⅰ	1500	1500	1400	D13@300	D13@300	D16@200	D16@200	D13@300	
F2	500φ	Ⅱ	2250	1250	1400	6-D19	[ ]-D16@200	6-D19	[ ]-D16@200	D16@200	

共通事項

特記無き限り下記とする。

1) 杭の施工偏心が50以上あった場合は、偏心距離が50を超えるごとに基礎を50以上移動、もしくは増打ちし、杭面と基礎面間のへりあきを確保する。

※基礎と杭芯の関係については伏図による。



鉄　筋
- ▨ SD295 ：D10 － D16
- ▨ SD345 ：D19 － D25
- □ SD390 ：D29 －

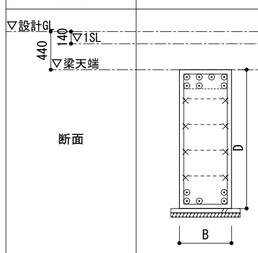
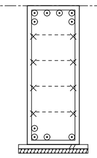
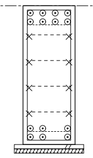
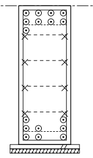
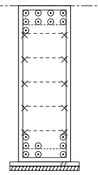
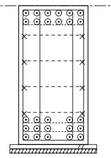
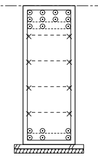
訂	月　日	事　項		
正				

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

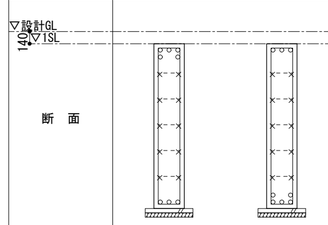
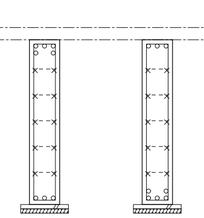
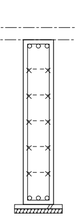
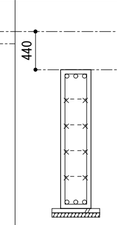
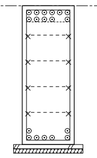
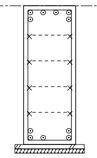
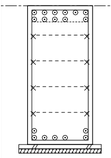
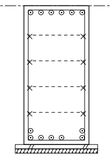
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2025 年 1 月 29 日
				承認	

図面名称	杭・基礎リスト	縮尺	NO SCALE	図面No.
部長	課長	担当	製図	設計No.	S－０２０ 確S－２０

基礎梁リスト　S=1/50

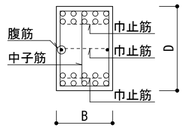
符号	FG1	FG2	FG11	FG12	FG13	FG14	FG15
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面							
B x D	600x1600	600x1600	600x1600	600x1600	600x1800	800x1600	600x1600
上端筋	7-D25	6-D25	8-D25	9-D25	9-D25	12-D25	11-D25
下端筋	5-D25	4-D25	6-D25	8-D25	8-D25	15-D25	6-D25
スタラップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	Ⅲ-D13@100	□-D13@200
腹筋	8-D13	8-D13	8-D13	8-D13	10-D13	8-D13	8-D13
備考							

基礎小梁リスト　S=1/40

符号	FB1		FB2		FB3	FB4	FB5	FB6	FCB1	
位置	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	基端	先端
断面										
B x D	350x1900		350x1900		350x1900	350x1600	750x1600	600x1600	750x1600	
上端筋	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	11-D25	6-D25	11-D25	6-D25
下端筋	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	7-D25	5-D25	7-D25	7-D25
スタラップ	□-D13@200		□-D13@200		□-D13@200	□-D13@200	□-D13@150	□-D13@200	□-D13@150	
腹筋	10-D13		10-D13		10-D13	10-D13	8-D13	8-D13	8-D13	
備考										

共通事項　※特記無き限り下記とする。

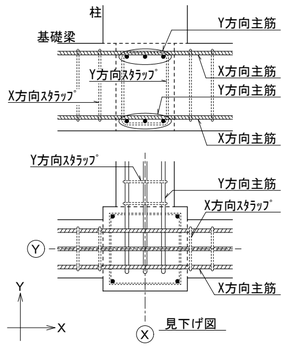
1) 巾止筋D10@1000以内とする。



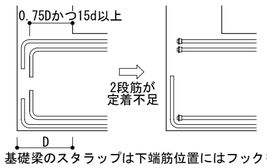
2) 地業：土に接する梁の地業は下記とする。

捨てコンクリート	(ア)	50
砕石	(ア)	60

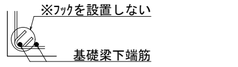
3) 基礎梁主筋の上下関係に注意すること。
・スタラップ形状に注意する。
・ただし、逆梁等、直交の梁主筋と干渉しない時はこの限りではない。



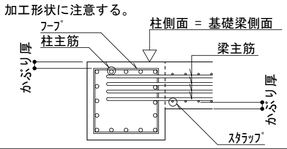
4) 地中梁主筋定着は0.75Dかつ15d以上とすること。
2段筋、3段筋にて定着長が確保出来ない場合は、機械式定着板への変更を検討すること



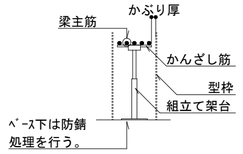
5) 基礎梁のスタラップは下端筋位置にはフックを設置しないこと。



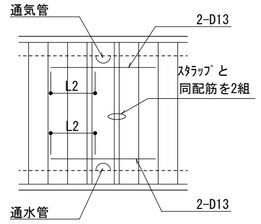
6) 基礎梁と柱が同面に納まる場合、スタラップの加工形状に注意する。



7) 鉄筋組立て架台を使用する際は、かんざし筋のかぶり厚に注意すること。組立架台のベース下は防錆処理を施すこと。

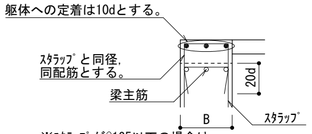


8) ピット部の基礎梁に通水管を設置する場合は、下記のように補強筋を設置すること。



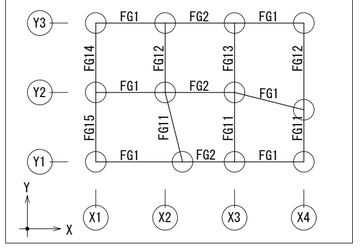
9) 梁上増打ち部は、下記とする。
ただし、増打ち100mm以下は補強不要とする。

軸筋：D19@200(基礎梁)
軸筋：D16@200(基礎小梁)
躯体への定着は10dとする。

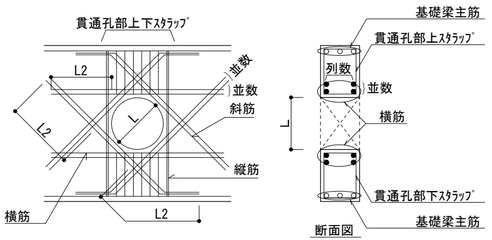


※ｽﾀﾗｯﾌﾟが@125以下の場合は、
増打ち部は倍ﾋﾟｯﾁでも可とする。

基礎梁キープラン



人通孔開口補強筋要領図

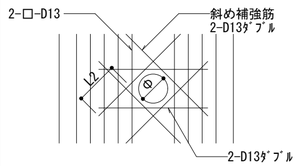


貫通孔部上下ｽﾀﾗｯﾌﾟ：設計ｽﾀﾗｯﾌﾟと同径・同本数　@100(設計ﾋﾟｯﾁ以下)

※表記は　鉄筋方向：鉄筋組数-並数-列数-鉄筋径　を示す。

符号	縦筋	横筋	斜筋	貫通孔部スタラップ	L
FG13	※既製品による				600
FB2	※既製品による				600

梁貫通孔補強筋要領図

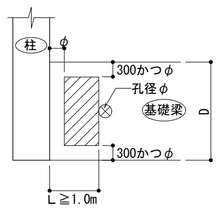


※1. Φ≦250 とする。
※2. 既製品を使用するときは、日本建築センター評価取得品とし、施工前に計算書を提出すること。

梁貫通孔補強要領図

基礎階（1階床梁含）
・水平位置について
　・梁貫通孔は、柱面から1m以内に設けてはならない。
　　ただし、▨の範囲は、孔径φがD/10以下（Dは梁せい）かつ150mm未満であれば設けてもよい。
・鉛直位置について
　・梁面から300mmかつ孔径φ以上を原則とすること。
　　ただし、▨の範囲は、孔径φがD/10以下（Dは梁せい）かつ150mm未満であれば設けてもよい。
　・100mm未満の貫通孔を鉛直方向に連続させる場合は設計者または監理者と協議すること。
・上記が困難な場合は設計者または監理者と協議すること。

・孔径φがD/10以上、もしくは150mm以上の場合は全て補強すること。
　ただし、▨の範囲に設けた場合は孔径φに関わらず全て補強すること。
・既製品（認定取得品）を使用するときは監理者に確認すること。（リング型またはプレート型とする）



鉄　筋

▨ SD295　：D10 - D16
▨ SD345　：D19 - D25
□ SD390　：D29 -
□ U13：高強度せん断補強筋 685N/mm²級

訂正	月　日	事　項		

unlversal 株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

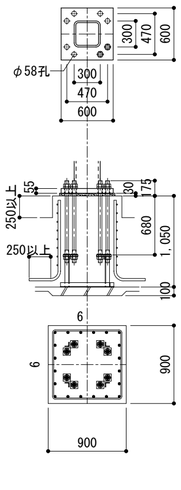
事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	基礎梁リスト
作成	2024 年 12 月 6 日	承認	
縮尺	A2:1/50 A3:1/70	図面No.	S-021 確S-21
部長	課長	担当	製図
設計No.			

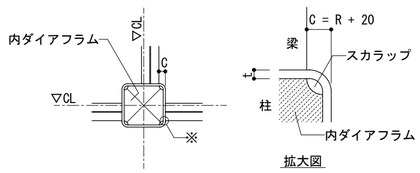
柱リスト　S=1/50

階	符号	C1	
		部材	鋼種
2	断面	□-300×300×16	BCR295
1	断面	□-300×300×19	BCR295

柱脚リスト　S=1/50

柱脚	柱符号	C1
	柱脚記号	ISベース　SP305
	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	8-M42
	ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	PL-600×600×55
	柱形断面	900×900
	柱主筋	20-D25
	帯筋	D13@100
【柱脚要領図】		
備考		

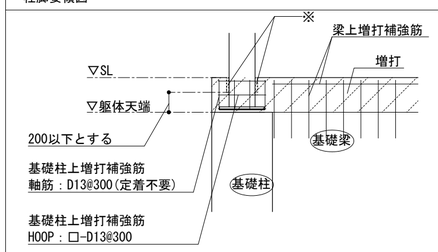
仕口部要領図(水平部材寄せ)



※梁フランジの取付き位置は、
内ダイアフラムから外れない
ようにする

R:角形鋼管のアール
BCR　2.5t(外径)
BCP　3.5t(外径)
STKR 2.0t(外径)
t:角形鋼管の板厚

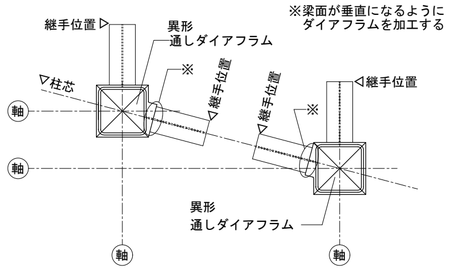
柱脚要領図



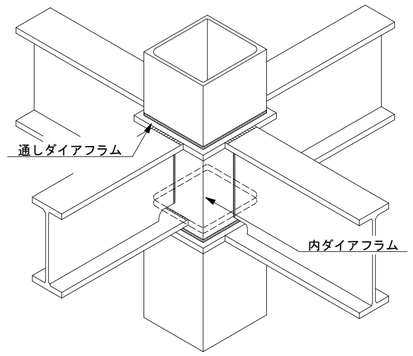
※躯体天端から200mm以上の部分は柱から縁を切ること

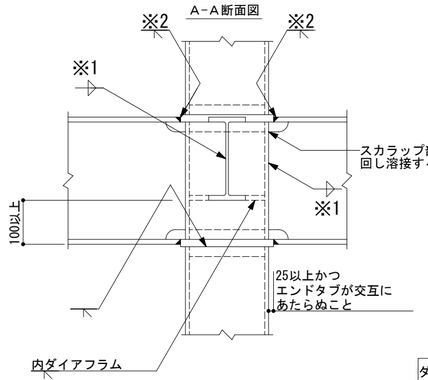
仕口部要領図(水平部材斜め設置)

平面上梁材に角度があるフレームは異形ダイアフラムを使用する



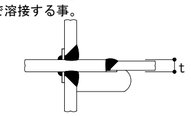
仕口部溶接標準図（角型鋼管通しダイアフラム）

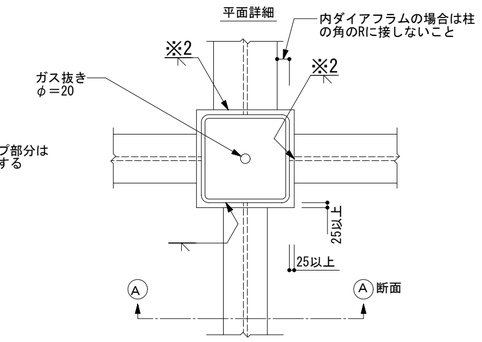




※1 t＞16mmの場合の溶接は、部分溶け込み溶接
又は完全溶け込み溶接とする。

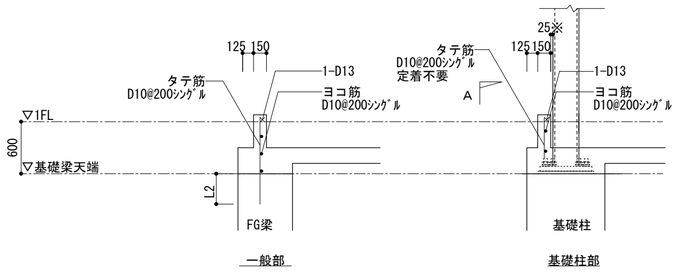
※2 はりフランジは、通しダイアフラムの厚み(t)の
内部で溶接する事。

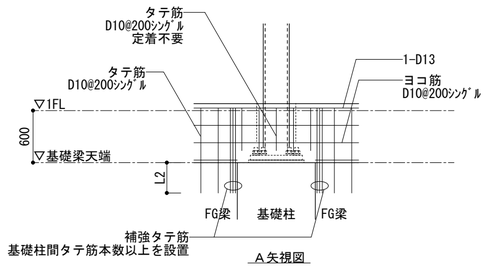




ダイアフラム厚は、接合する梁の最大厚の２サイズアップ以上とする。
〈柱材料：BCR295、BCP325を使用する場合〉
ダイアフラムは、柱フランジ厚16mm未満の場合　SN490C　SN490B
柱フランジ厚16mm以上の場合　SN490C　を使用する。
ダイアフラム厚が40mmを超える場合　TMCP325C　を使用する。

外壁受け立上り壁 (W15)　［詳細寸法は意匠図により確認］





訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡

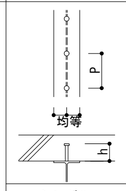
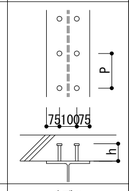
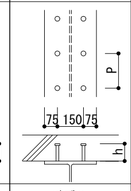
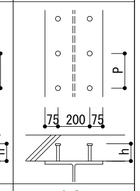
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	柱リスト
作成	2025 年 1 月 29 日	承認	
部長	課長	担当	製図

縮尺　A2:1/50　A3:1/70
設計No.
図面No.　S-022　確S-22

大梁リスト

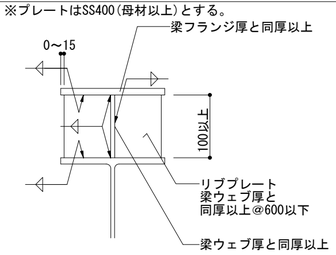
階	符号	位置	部材	鋼種	スタッド	備考
R	G1	全断面	H-400×200×8×13	SN400B		ピン接合部　GPL-12　4-M20
	G2	全断面	H-400×200×8×13	SN400B		
	G11	全断面	H-400×200×8×13	SN400B		
	G12	全断面	H-400×200×8×13	SN400B		
2	G1	全断面	H-600×200×11×17	SN400B	16φ (h=100) @200ｼﾝｸﾞﾙ	
	G2	全断面	H-600×200×11×17	SN400B	16φ (h=100) @200ｼﾝｸﾞﾙ	
	G11	全断面	H-588×300×12×20	SN400B	16φ (h=100) @200ﾀﾞﾌﾞﾙ	
	G12	全断面	H-588×300×12×20	SN400B	16φ (h=100) @200ﾀﾞﾌﾞﾙ	

スタッド取付基準

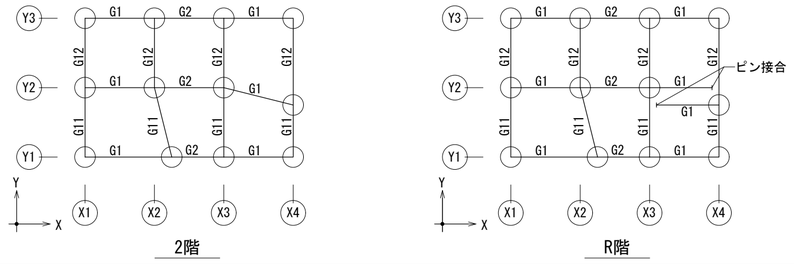
フランジ幅	200以下	250	300	350
フランジ				
	シングル	ダブル	ダブル	ダブル
スタッド	16φ　h=100	16φ　h=100	16φ　h=100	16φ　h=100
P	200	200	200	200

梁の嵩上げ(嵩下げ)

※プレートはSS400(母材以上)とする。



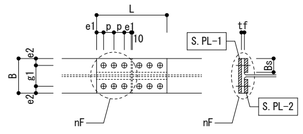
大梁キープラン



梁継手基準

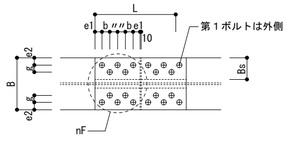
梁フランジプレート継手

タイプ　F1



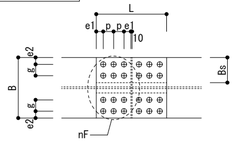
※1　e1，p は標準寸法とする。
※2　e2=Bs/2 とする。

タイプ　F2



※1　e1，b は標準寸法とする。
※2　e2=(Bs-g)/2 とする。
※3　B=300のとき g=40 とする。
※4　チドリの第１ボルトは外側とする。

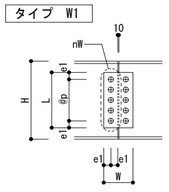
タイプ　F3



※1　e1，p は標準寸法とする。
※2　e2=(Bs-g)/2 とする。
※3　B=350のとき g=70 とし、
　　B=400のとき g=90 とする。

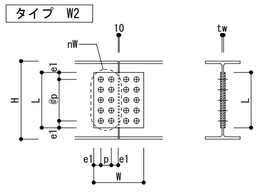
梁ウェブプレート継手

タイプ　W1



※1　e1 は標準寸法とする。
※2　@p は均等割りとする。

タイプ　W2



※1　e1，p は標準寸法とする。
※2　@p は均等割りとする。

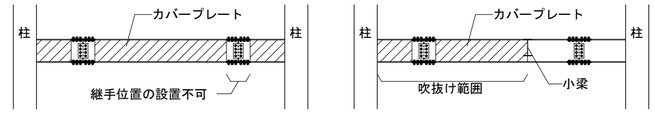
梁継手の高力ボルト標準寸法

ボルト径	標準ピッチ P　(b)	はしあき へりあき e1
M16	60　(45)	40
M20	60　(45)	40
M22	60　(45)	40
M24	70　(60)	45

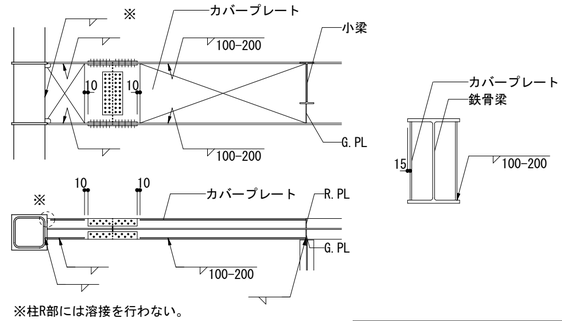
カバープレート横補剛材

(1)　鉄骨梁をカバープレートによる補強で横補剛材とする場合に適用する。
(2)　カバープレートはSS400とする。
(3)　カバープレートは隅肉溶接とし、溶接長100mm、間隔200mmとする。

【設置範囲】



【溶接詳細要領】



※柱R部には溶接を行わない。

共通事項　　※特記無き限り下記とする。

1) 鋼種は下記とする。
　ダイヤフラム　：　SN490C，TMCP325C
　ベースプレート　：　SN490C
　GPL,その他のPL　：　母材と同じ

2) ボルトは下記とする。
　高力ボルト HTB　：　S10T，F10T，F8T(めっき部)

3) 屋外の鉄部は溶融亜鉛めっき仕上げとする。

梁継手表

中央断面	鋼種	フランジ継手					ウェブ継手			備考
		HTB	フランジスプライスPL			形状タイプ	HTB	ウェブスプライスPL	形状タイプ	
		nF-径	S.PL-1	S.PL-2	L		nW-径	2PL-t×W×L		
			PL-t×B	2PL-t×Bs						
H-400×200×8×13	SN400B	3×2-M20	PL-9×200	2PL-9×80	410	F1	4×1-M20	2PL-9×170×260	W1	
H-600×200×11×17	SN400B	3×2-M20	PL-12×200	2PL-12×80	410	F1	4×2-M20	2PL-9×290×440	W2	ウェブボルト　ピッチ@p=120mm
H-600×200×11×17	SN400B	3×2-M20	2PL-16×80	2PL-12×80	410	F1	4×2-M20	2PL-9×290×440	W2	2階Y3ﾌﾚｰﾑ X1-X2軸　X2軸側 ウェブボルト　ピッチ@p=120mm
H-588×300×12×20	SN400B	4×2-M22	PL-12×300	2PL-16×110	440	F2	7×1-M22	2PL-9×170×440	W1	
H-588×300×12×20	SN400B	4×2-M22	2PL-19×110	2PL-16×110	440	F2	7×1-M22	2PL-9×170×440	W1	2階X2ﾌﾚｰﾑ Y2-Y3軸　Y3軸側
H-200×100×5.5×8	SS400	2×2-M16	PL-16×100	—	290	F1	2×1-M16	2PL-6×170×140	W1	
H-250×125×6×9	SS400	3×2-M16	PL-12×125	—	410	F1	2×2-M16	2PL-6×290×170	W2	ウェブボルト　ピッチ@p=90mm
H-350×175×7×11	SS400	2×2-M20	PL-9×175	2PL-9×70	290	F1	3×1-M20	2PL-6×170×260	W1	ウェブボルト　ピッチ@p=90mm
H-390×300×10×16	SS400	3×2-M22	PL-12×300	2PL-12×110	350	F2	3×1-M22	2PL-9×170×260	W1	ウェブボルト　ピッチ@p=90mm
H-294×200×8×12	SS490	3×2-M20	PL-9×200	2PL-9×80	410	F2	2×2-M20	2PL-6×290×200	W2	ウェブボルト　ピッチ@p=120mm

UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.　株式会社ユニバァサル設計
事務所登録　東京本部一級建築士事務所　一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号
設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二
設計者　一級建築士　登録第339311号　構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡

訂正	月　日	事　項		

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	大梁リスト	縮尺	NO SCALE	図面No.
作成	2025 年 1 月 29 日	承認		部長　課長　担当　製図		設計No. S-023 確S-23

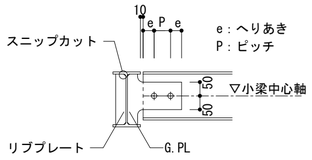
小梁リスト

※継手は S-23 による
鋼種　小梁：SS400

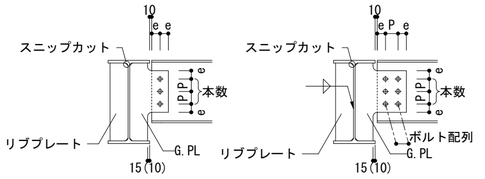
階	符号	部材	接合部 径	本数	配列	ピッチ	GPL	接合部(小梁部接合・他端)※ 径	本数	配列	ピッチ	GPL	スタッド	備考
全階	B400・B400A	H-400×200×8×13	M20	4本	1列	60mm	PL-9						2F：16φ(h=100)@200ｼﾝｸﾞﾙ	B400A　は横補剛材
	B390	H-390×300×10×16	M20	4本	1列	60mm	PL-12						16φ(h=100)@200ﾀﾞﾌﾞﾙ	
	B350・B350A	H-350×175×7×11	M20	3本	1列	90mm	PL-9						2F：16φ(h=100)@200ｼﾝｸﾞﾙ	B350A　は横補剛材
	B350B	H-350×175×7×11	M20	6本	2列	90mm	PL-9	M20	3本	1列	90mm	PL-9	2F：16φ(h=100)@200ｼﾝｸﾞﾙ	横補剛材
	B300A	H-300×150×6.5×9	M20	4本	2列	90mm	PL-9	M20	3本	1列	60mm	PL-9	2F：16φ(h=100)@200ｼﾝｸﾞﾙ	横補剛材
	B250	H-250×125×6×9	M20	3本	1列	60mm	PL-6						2F：16φ(h=100)@200ｼﾝｸﾞﾙ	
	B250A	H-250×125×6×9	M20	6本	2列	60mm	PL-9	M20	3本	1列	60mm	PL-9	2F：16φ(h=100)@200ｼﾝｸﾞﾙ	横補剛材
	B200	H-200×100×5.5×8	M16	2本	1列	60mm	PL-6							
	B200A	H-200×100×5.5×8	M20	4本	2列	60mm	PL-6	M16	2本	1列	60mm	PL-6		横補剛材
	B300	H-300×150×6.5×9	M20	3本	1列	60mm	PL-9							
	B100W	H-100×100×6×8	M16	2本	2列	60mm	PL-6							
	B125W	H-125×125×6.5×9	M16	2本	2列	60mm	PL-9							

小梁接合部要領

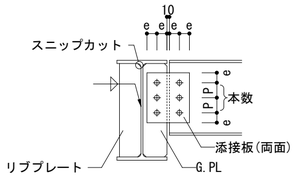
(1) 小梁せいが175mm以下の場合(一面摩擦)



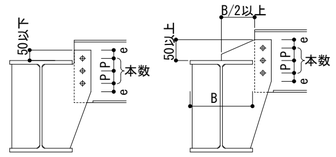
(2) 小梁せいが200mm以上の場合(一面摩擦)



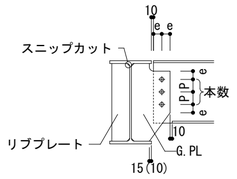
[その他　(二面摩擦)]



(3) 段差がある場合



(4) 下フランジカットの場合



共通事項　　※特記無き限り下記とする。

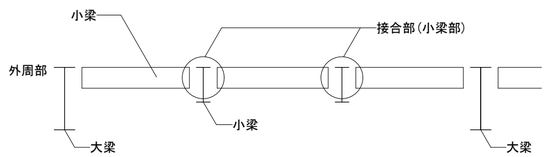
1) 小梁の取付かない側に補強スチフナを設ける場合、板厚はガセットプレートと同厚または１サイズアップとする。
2) ガセットプレートの材質は、板厚が16mm以下の場合はSS400材とし、16mmを超える場合はSN400材とする。ガセットプレートを取り付ける母材がSS400材の場合はいずれもSS400材とする。
3) ２面摩擦接合で、ウェブ厚とガセットプレートの板厚差が1mmを超える場合はフィラーを用いる。
4) 下フランジカットとする場合は監理者に確認すること。

片持ち梁リスト

※継手は S-23 による
鋼種　片持ち梁：SS400

階	符号	部材	スタッド	備考
全階	CG294・CB294	H-294×200×8×12	16φ(h=100)@200ｼﾝｸﾞﾙ	鋼種：SS490
	CG250・CB250	BH-250～100×125×6×9		
	CG200・CB200	BH-200～100×100×6×9		

※接合部(小梁部接合・他端)の接合位置要領は下図とする。



接合位置要領

水平ブレースリスト

鋼種　水平ブレース：　SNR400B

階	符号	部材	接合部	備考
R	HV1	1-M16	標準図による	JISターンバックル付き
2	HV2	1-M16	標準図による	JISターンバックル付き

耐風梁リスト

鋼種　耐風梁：SS400,SSC400,STKR400

階	符号	部材	接合部	備考
全階	HB100	□-100×100×2.3	GPL-6　中ﾎﾞﾙﾄ 2-M16	
	開口補強材	C-100×50×20×2.3	GPL-6　中ﾎﾞﾙﾄ 2-M16	

間柱・胴縁等リスト

鋼種　間柱：SS400,STKR400
　　胴縁：SS400,SSC400

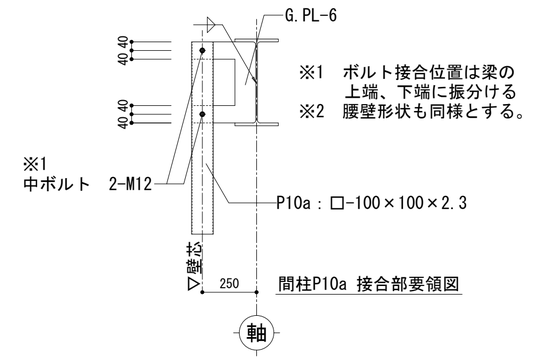
階	符号	部材	接合部	備考
全階	T1	[-125×60×6×8	GPL-9　2-M16	階段受吊り材
	P10/P10a	□-100×100×2.3	GPL-6　中ﾎﾞﾙﾄ 2-M16	
	P10b	C-100×50×20×3.2	GPL-6　中ﾎﾞﾙﾄ 2-M16	タラップ下地材
	縦胴縁	C-100×50×20×2.3	GPL-6　中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12	開口補強材兼用

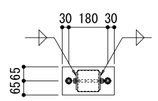
その他の小材リスト

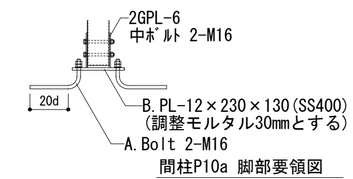
鋼種　小材：SS400,SSC400,STKR400

階	符号	部材	接合部	備考
全階	P125W	H-125×125×6.5×9	GPL-9　2-M16 BPL-12x130x160 A.Bolt 2-M16　(L=20d)	ELV用立柱
	b25	H-250×125×6×9	―	階段受吊り材
	設備下地材	C-100×50×20×1.6	GPL-6　中ﾎﾞﾙﾄ 1-M16	

※その他の鉄骨部材は各詳細図による。







訂正	月　日	事　項

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	小梁・耐風梁・間柱・胴縁リスト
作成	2024 年 12 月 6 日	縮尺	NO SCALE
承認		図面No.	S-024 確S-24
部長　課長　担当　製図		設計No.	

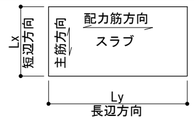
スラブリスト

符号	版厚 t	位置	短辺方向（主筋方向）	長辺方向（配力筋方向）	備考
S1	180	上端筋	D10D13 @ 150	D10D13 @ 200	
		下端筋	D10 @ 150	D10 @ 200	
S2	200	上端筋	D13 @ 150	D13 @ 150	
		下端筋	D10D13 @ 150	D10D13 @ 150	
S3	180	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	ELVピット
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	
DS1	80	QL99-50 t=1.2 D10@200 床1時間耐火			
FS1	220	上端筋	D13 @ 200	D13 @ 200	設備ピット
		下端筋	D13 @ 200	D13 @ 200	
FS2	220	上端筋	D13 @ 150	D13 @ 150	設備ピット
		下端筋	D13 @ 150	D13 @ 150	

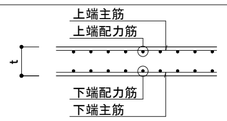
共通事項　※特記無き限り下記とする。

1) スラブには、設備配管を埋め込まないこと。
やむを得ず一般階のスラブに配管類を埋め込む場合は、配管類はスラブ上下配筋の中間に納め、配管類間のあきは50㎜以上とする。
2) スラブが土に接する場合は、かぶり厚を50㎜以上確保すること。
3) ピット内スラブの上端筋は、屋外に接する場合としてかぶり厚を40㎜以上（超長期の場合は50㎜以上）確保すること。
4) FSの下端筋は、上端筋と同等の定着を行うこと。
5) スラブ増打ち厚さが100㎜を超える場合は、D10@250（主筋・配力筋共）の補強筋を追加するか、鉄筋をかさ上げして配筋すること。
6) デッキスラブに用いるスペーサーは鋼製またはコンクリート製を使用し、プラスチック製のものは使用不可とする。

領域区分



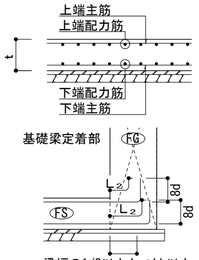
スラブ配筋要領図



デッキスラブ配筋要領図

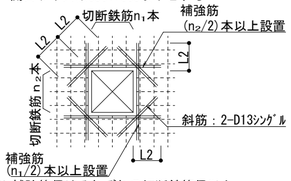
t ：コンクリート厚さ
h_d：デッキ高さ

基礎スラブ配筋要領図



床開口補強筋要領図

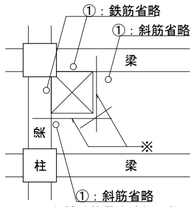
・ 開口サイズは600×600以下とする



※ 補強筋径はそれぞれの切断鉄筋径以上かつD13以上とする。
※ t>180の場合はﾀﾞﾌﾞﾙ配筋とする。
※ 各補強筋のかぶり厚に注意する。
※ 仮設開口の場合も同様とする。

・ 梁際に開口が開いている場合
(50㎜未満を含む)

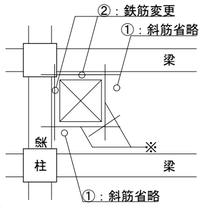
①補強筋を省略する。



※必要な補強筋量を片側に設ける

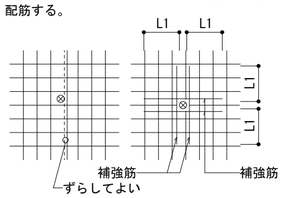
・ 梁際から開口迄が 50-100㎜ 以内の場合

①補強筋を省略する。
②補強筋を 2-D13 に変更する。



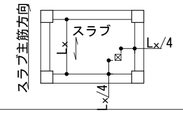
・ 円形小開口（200φ以下）の場合
(小開口を連続して設ける場合は監理者に相談すること)

・ 鉄筋を極端に曲げての配筋は避け、貫通口とのかぶりが確保出来ない際には、切断の上補強筋を配筋する。
・ 鉄筋を切断した場合は切断した鉄筋量以上を開口脇に配筋する。

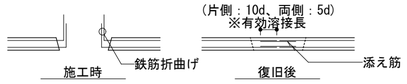


・ 仮設開口の場合

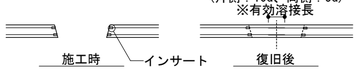
・ 原則として開口により除外される鉄筋量の1/2以上を各々両側に補強すること。（母材と同径以上かつD13以上）
（例：仮設開口により鉄筋間隔3本分が除外される場合、4本分の1/2以上を両側に配置する）
・ L_x/4付近の、目立たない位置に設置すること。
・ 水回りへの設置は避けること。
・ 復旧方法は右図のいずれかによる。



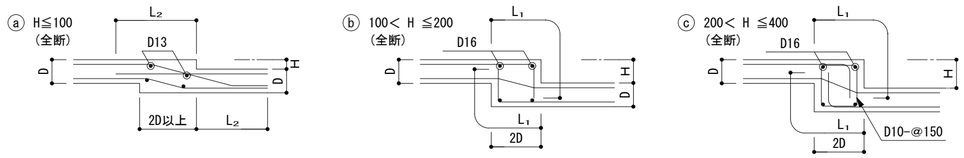
復旧方法A ： 鉄筋を残しておき、構造図の通りに復旧する。
(片側：10d、両側：5d)
※有効溶接長



復旧方法B ： 鉄筋は切断し、インサートにて定着する。
(片側：10d、両側：5d)
※有効溶接長

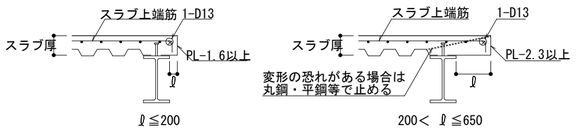


床板段差

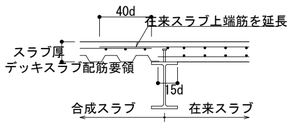


デッキスラブ配筋要領

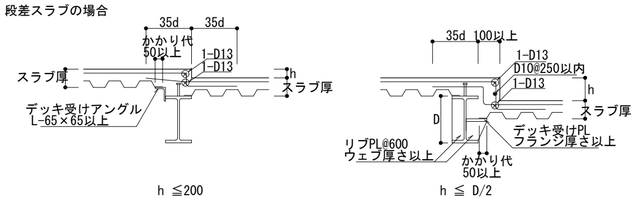
外端部の跳ね出しの場合



在来スラブに隣接する場合

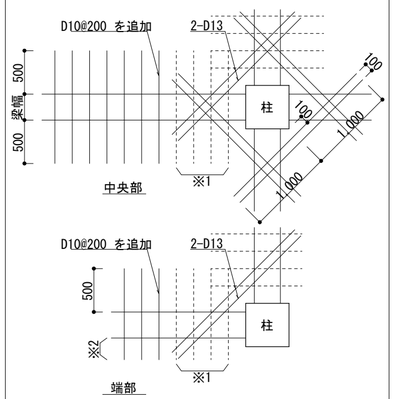


段差スラブの場合



デッキスラブひび割れ補強筋要領図

・ ひび割れの生じやすい大梁上や柱まわりには適切に補強筋を追加すること。
・ 必要に応じてその他の施工上のひび割れ対策を行うこと。
・ 補強筋についても、かぶり厚さは30㎜以上確保すること。



※1 補強筋が重複しかぶり不足となる場合は、ひび割れ補強は柱まわりの斜め補強筋のみとしてよい。
※2 外周部や開口等に面する場合は、かぶり厚を確保できる端部までで鉄筋を止めてよい。

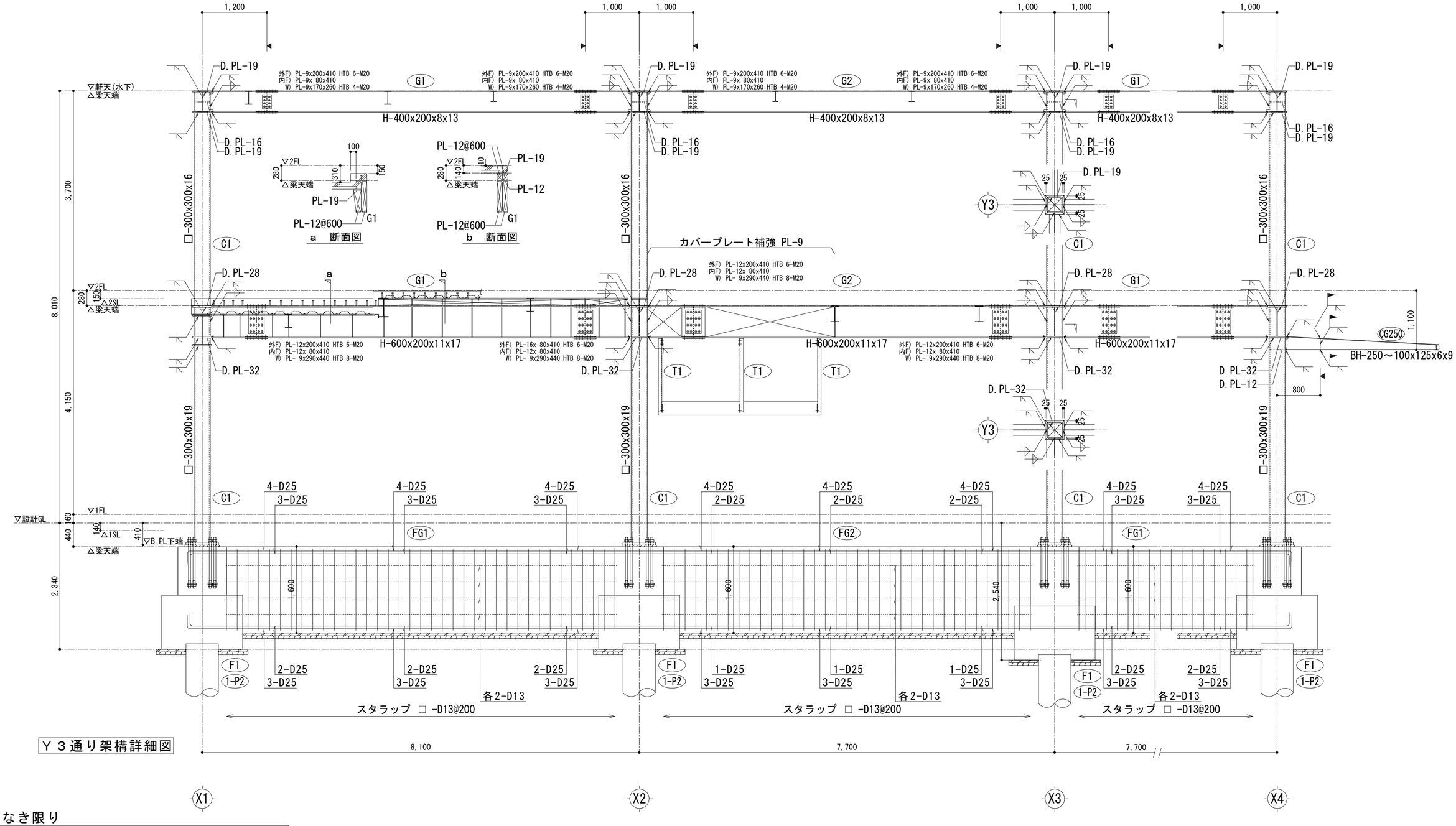
鉄　筋
▨ SD295 ：D10 - D16
▨ SD345 ：D19 - D25
□ SD390 ：D29 -
□ U13：高強度せん断補強筋 685N/㎟級

訂正	月 日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士 登録第362390号 星野 康二	設計者	一級建築士 登録第339311号 構造一級建築士 登録第 9542号 益子 拡	作成	2024 年 11 月 20 日
				承認	

図面名称	スラブリスト	縮尺	NO SCALE	図面No.	S-025 確S-25
部長	課長 担当 製図	設計No.			



Y３通り架構詳細図

特記なき限り

1. 柱脚仕様は別途　柱リスト,柱脚リストによる。
2. 基礎仕様は別途　杭リスト,基礎リストによる。
3. 梁ふかし等その他の配筋は別途とする。
4. ▽は継手位置を示す。

訂正	月 日	事項		
訂				
正				

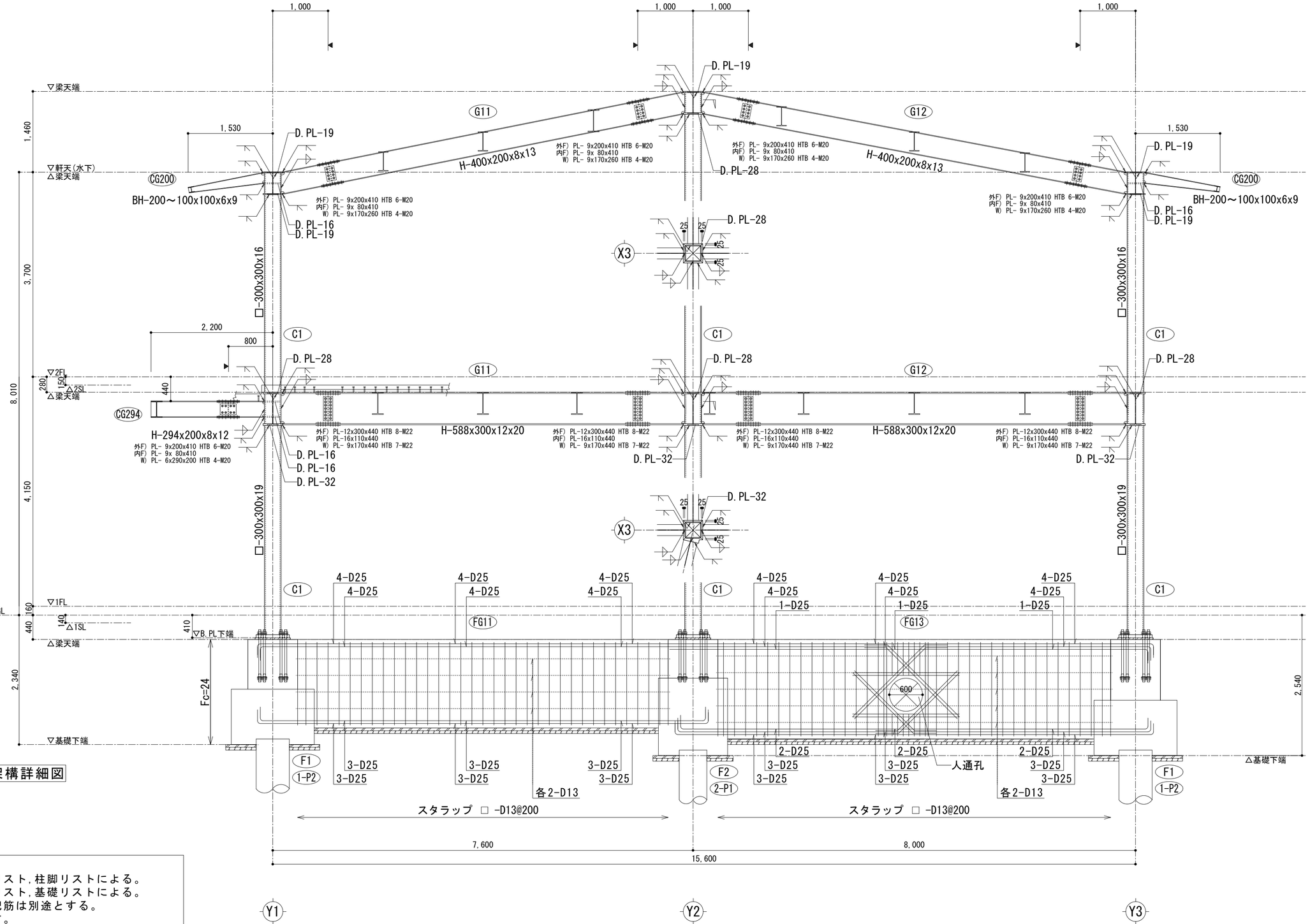
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録　東京本部一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号

設計者　一級建築士　登録第362390号　星野　康二

設計者　一級建築士　登録第339311号
構造一級建築士　登録第　9542号　益子　拡

工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
図面名称	架構詳細図(１)
縮尺	A2:1/50 A3:1/70
作成	2024 年 11 月 21 日
承認	
部長	課長 担当 製図
設計No.	
図面No.	S-026 確S-26



X３通り架構詳細図

特記なき限り

1. 柱脚仕様は別途　柱リスト,柱脚リストによる。
2. 基礎仕様は別途　杭リスト,基礎リストによる。
3. 梁ふかし等その他の配筋は別途とする。
4. ▽ は継手位置を示す。

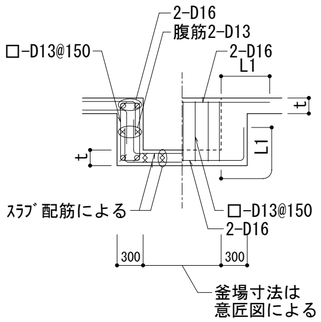
訂正	月日	事項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号		
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡

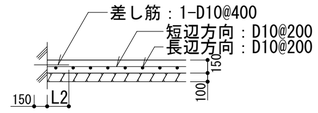
工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	架構詳細図(２)
作成	2024 年 11 月 21 日	縮尺	A2:1/50 A3:1/70
承認		部長　課長　担当　製図	
		設計No.	
		図面No.	S-027 確S-27

釜場配筋要領図

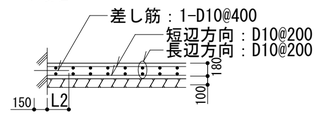


土間スラブ配筋要領図

・t=150の場合

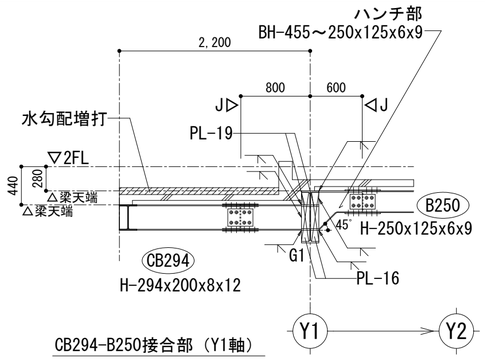


・t=180の場合

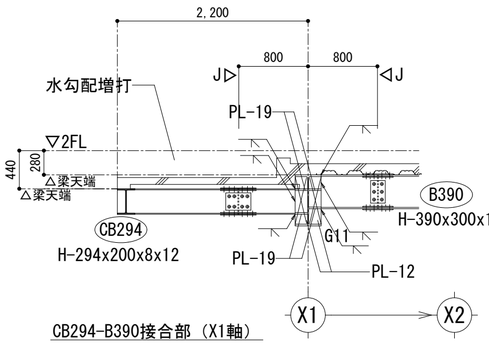


※充分に転圧した後施工すること。

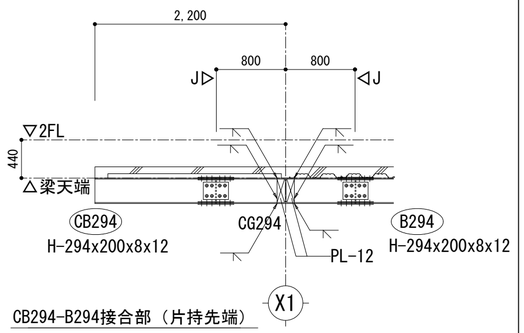
片持梁接合部要領図(バルコニー部)　S=1/50



CB294-B250接合部（Y1軸）

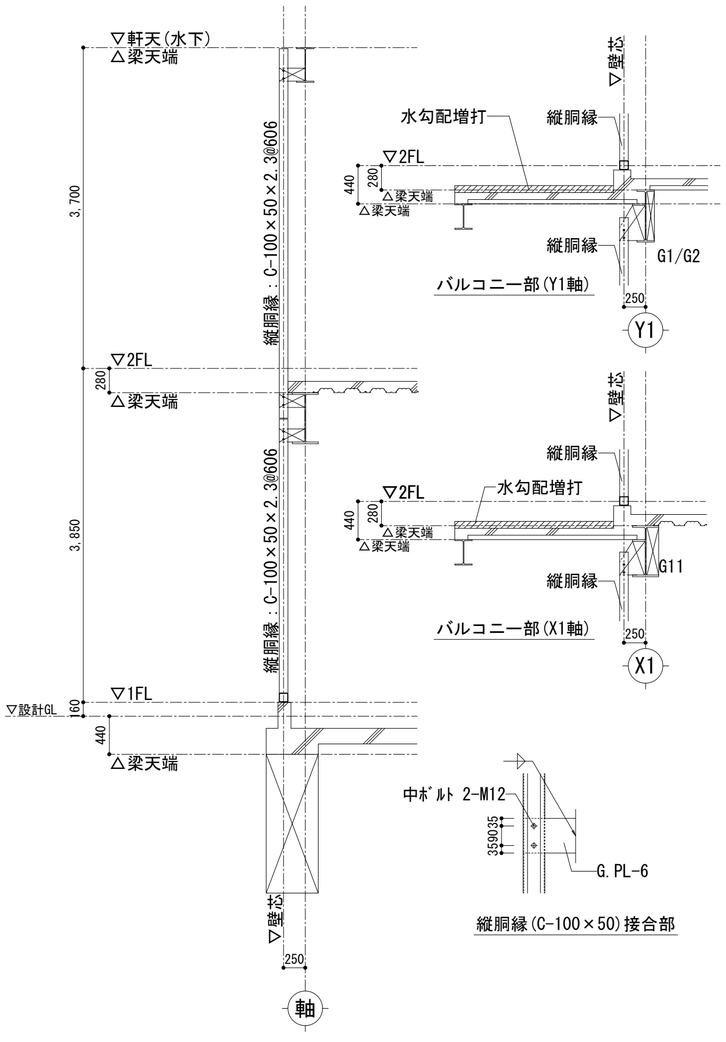


CB294-B390接合部（X1軸）

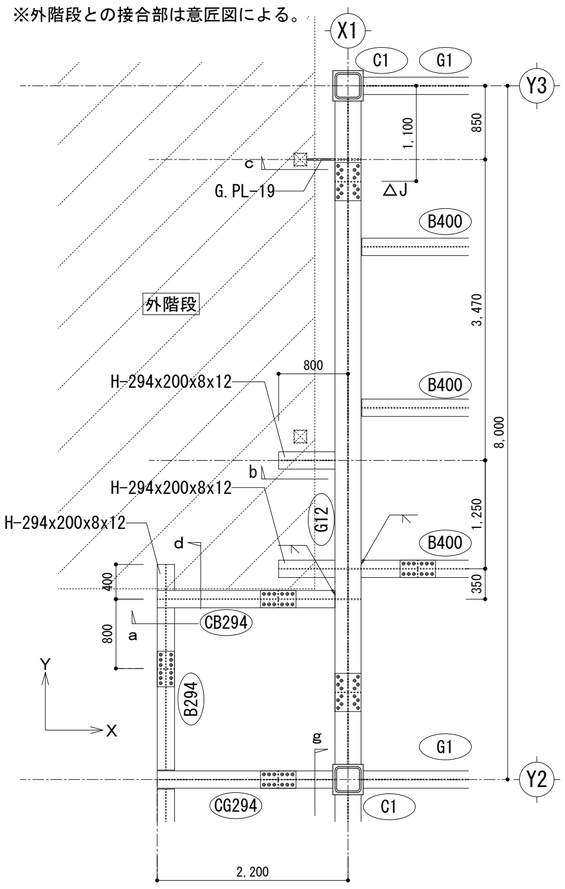


CB294-B294接合部（片持先端）

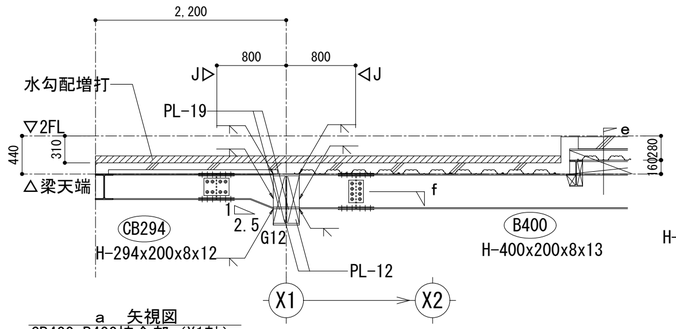
縦胴縁接合部要領図　S=1/50



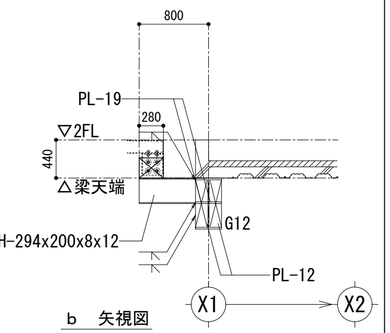
※外階段との接合部は意匠図による。



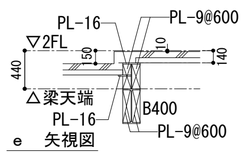
バルコニー部(外階段部)伏図詳細



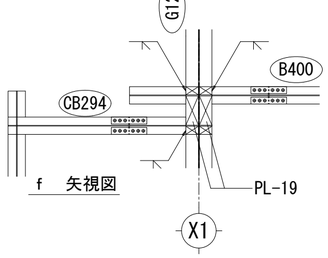
a　矢視図
CB400-B400接合部（X1軸）



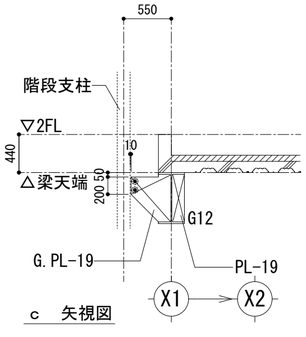
b　矢視図



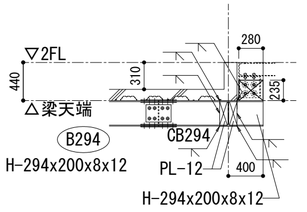
e　矢視図



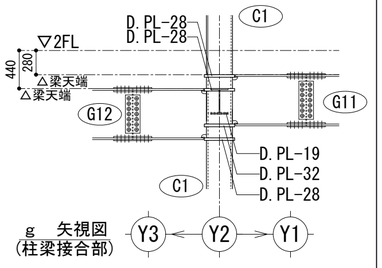
f　矢視図



c　矢視図



d　矢視図



g　矢視図
(柱梁接合部)

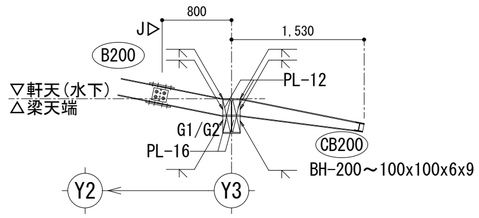
訂正	月　日	事　項		

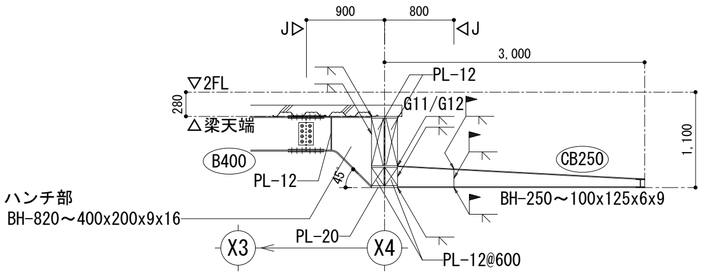
株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2025 年 1 月 29 日
				承認	

図面名称	各部詳細図(1)	縮尺	図示	図面No.
部長	課長	担当	製図	S-028
			設計No.	確S-28

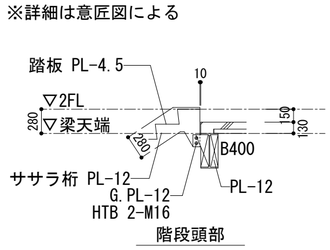
片持梁接合部要領図(庇部)　S=1/50



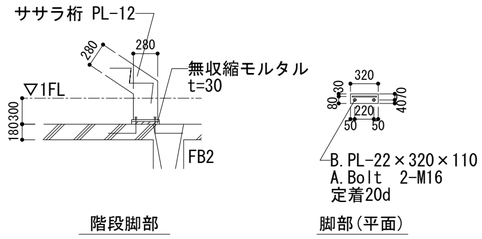


内部鉄骨階段要領図　S=1/50

※詳細は意匠図による

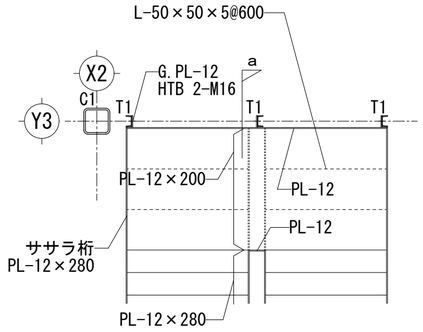


階段頭部

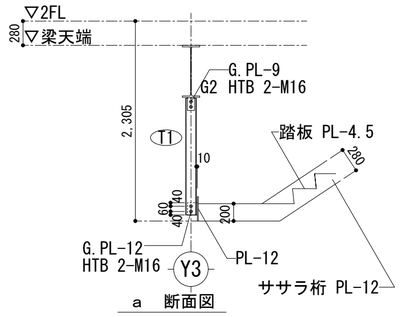


階段脚部

脚部(平面)



階段踊場部(平面)

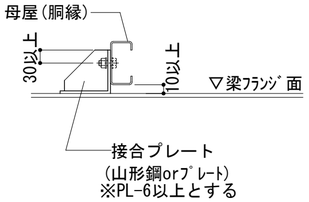


a　断面図

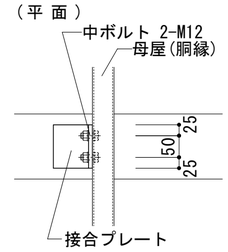
母屋接合部要領図

※接合プレートはSS400とする。

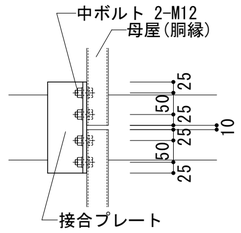
（立 断 面）



（平 面）

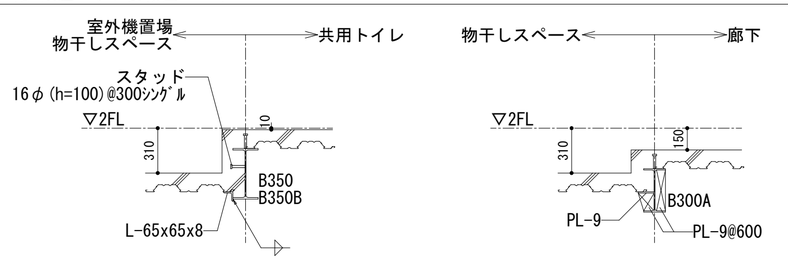


母屋(胴縁)を引き通す場合

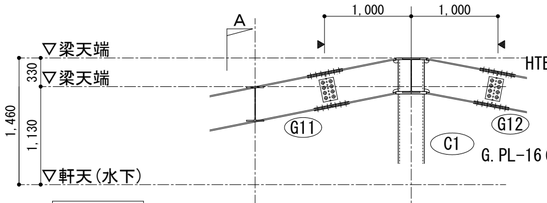


母屋(胴縁)継手部の接合

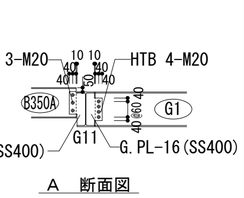
２階 段差スラブ要領図　S=1/30



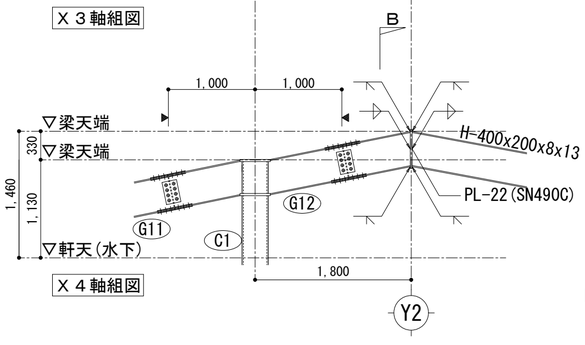
折曲げ梁接合部要領図　S=1/50



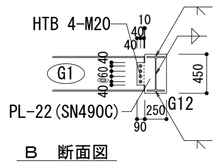
Ｘ３軸組図



A　断面図

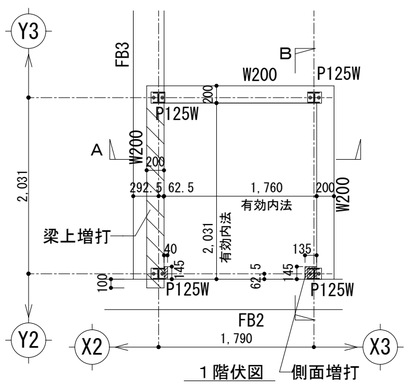


Ｘ４軸組図

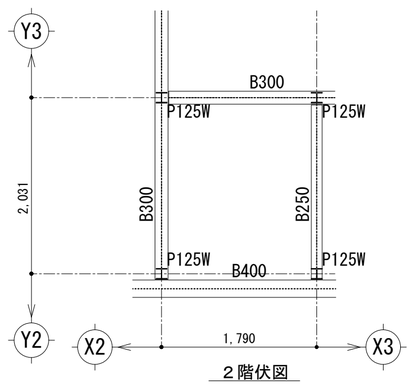


B　断面図

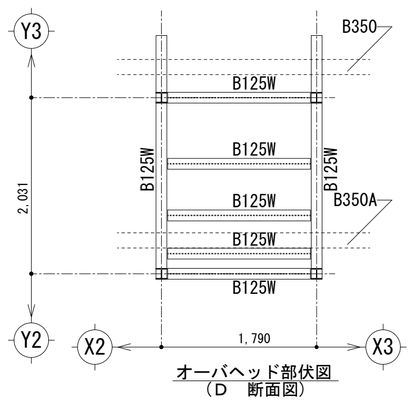
ELV取付要領図　S=1/50　※詳細は意匠図による。



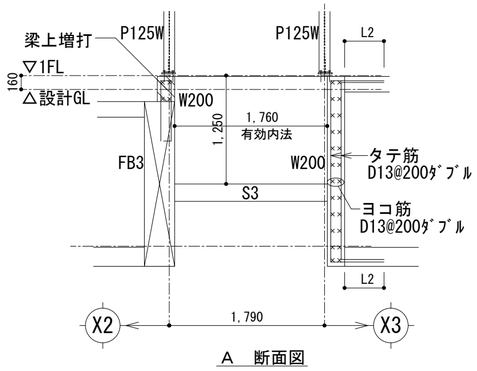
１階伏図　側面増打



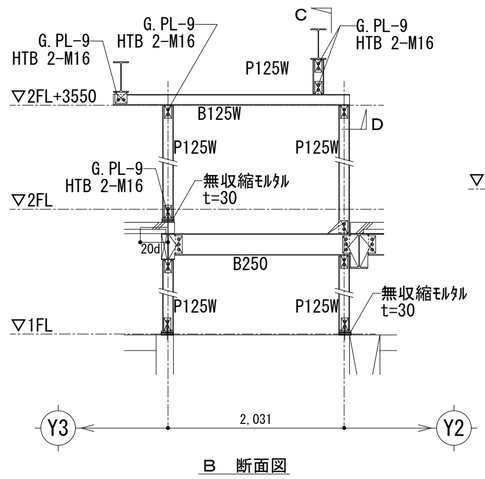
２階伏図



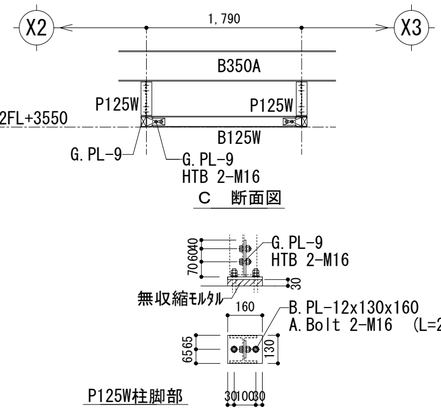
オーバヘッド部伏図
（D　断面図）



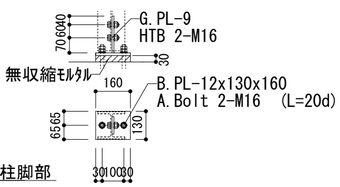
A　断面図



B　断面図



C　断面図



P125W柱脚部

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2025 年 1 月 29 日
				承認	

図面名称	各部詳細図(2)	縮尺	図示	図面No.
部長	課長	担当	製図	設計No.
				S-029 確S-29

梁貫通孔補強材　ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書　BCJ評定-RC0124-08，BCJ評定-SS0056-01

コーリョー建販株式会社

2023.11.1作成

１．一般事項

（１）　本仕様書は、ダイヤレンＮＳの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。

（２）　本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、（一財）日本建築センター及び（一社）日本建築学会の関連する諸指針や諸規準、ダイヤレンＮＳ技術マニュアルによる。

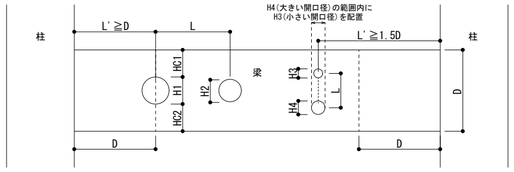
２．使用材料・貫通孔の適用範囲

（１）　各評定の適用範囲

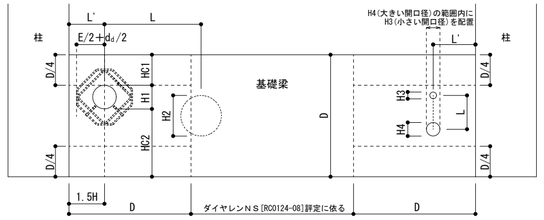
	ダイヤレンＮＳ	ダイヤレンＮＳを用いた基礎梁端部小開口補強
評定番号	[RC0124-08]	[SS0056-01]
対象とする部材	ＲＣ造及びＳＲＣ造の梁	有効な柱梁接合部に接続する非降伏のＲＣ造の基礎梁
コンクリート	Fc＝21N/mm²～100N/mm²	Fc＝21N/mm²～45N/mm²
鉄筋	主筋　　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え685N/mm²以下の大臣認定品 あばら筋　：基準強度295～490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm²以下の大臣認定品 ダイヤレンＮＳ：KSS785-K（MSRB-0004）、MK785（MSRB-0067）	
梁せい（D）	－	D≧750mm
開口形状	円形または多角形とする（多角形の場合はその外接円を開口とみなす）	
開口径(外径)（H）	H≦750mm　かつ　H≦D/3	H<350mm　かつ　H≦D/5
上下に複数開口を設ける場合の合計径（ΣH）	ΣH≦D/3	ΣH≦D/3.75
柱際から開口中心までの距離（L'）	L'≧D 上下に複数開口を設ける場合はL'≧1.5D	L'<D　かつ　L'≧1.5H　かつ L'≧E/2+dd/2
隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離（L）	隣接する開口径の平均値の3倍以上	
へりあき（HC1,HC2）	HC1,HC2≧(E-H)/2+dd/2+dw+tc	HC1,HC2≧(E-H)/2+dd/2+dw+tc　かつ HC1,HC2≧D/4

E：ダイヤレンＮＳのE寸法　　dw：あばら筋の呼び径
dd：ダイヤレンＮＳの鉄筋の呼び径　　tc：コンクリートのかぶり厚さ(40mm以上)

【RC0124-08】



【SS0056-01】



３．開口部あばら筋の配筋要領

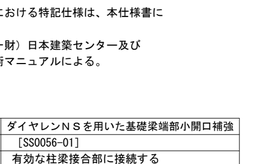
（１）　開口部に配筋されるあばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。

（２）　孔際あばら筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とする。［SS0056-01］

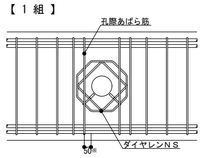
（３）　孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】

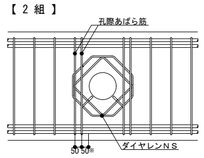
開口径	一般部あばら筋比（pw）	
	1%未満	1%以上
H<150	1組	2組
150≦H<300	2組	3組
300≦H	3組	3組



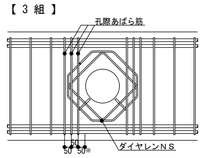
【１組】



【２組】



【３組】

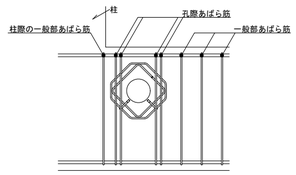


※必要なかぶり厚さを確保した位置とし、標準は50mmとする。

４．仕様規定

（１）　ダイヤレンＮＳの使用枚数は、開口１箇所当たり２枚以上とする。

（２）　柱際には、孔際あばら筋の他、少なくとも１組の一般部あばら筋（第一あばら筋）を配筋する。［SS0056-01］



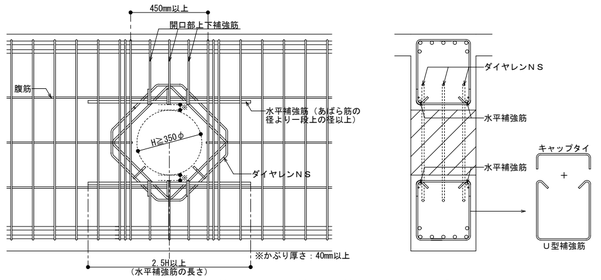
５．開口部上下補強要領（350φ以上の場合）

（１）　開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上（開口径で350mm以上）になる場合は、開口部上下補強筋と水平補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。
ただし、水平力による応力を負担しない梁（小梁等）の場合は梁せいの1/2は考慮しなくともよい。

（２）　開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。（丸鋼及びインデントは不可）

（３）　形状にはコ型・Ｕ型・Π型等があり、コ型補強筋の梁主筋側の重ね長さは「梁幅-2×かぶり厚さ」または35d以上とし、水平補強筋側（梁内側）の重ね長さは12d以上とする。ただし、梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側重ね長さが25d（dは鉄筋の呼び径）以下の場合は、Ｕ型またはΠ型の形状で補強を行う。

（４）　水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし（SD295A程度）、開口径の2.5倍以上の長さとする。



【開口上下部分の補強要領（Ｕ型補強筋で補強する場合の例）】

６．施工要領例

（１）　型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。

（２）　補強設計上必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。

（３）　孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、東ね配筋にすることができる。
（東ね配筋は、2組までは東ねることができるが、3組以上は東ねてはならない。）

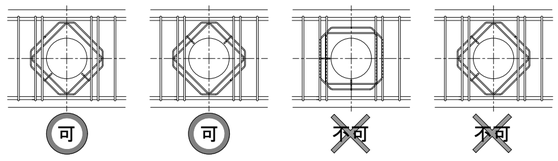
（４）　ダイヤレンＮＳを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。

（５）　スリーブをダイヤレンＮＳのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。

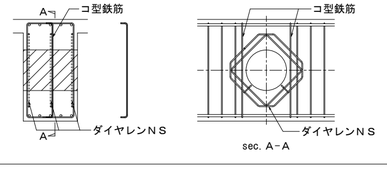
（６）　開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

７．施工における注意事項

（１）　ダイヤレンＮＳはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」の向きになるように施工すること。



（２）　補強設計によって中子筋が無い梁に対して3枚以上のダイヤレンＮＳが必要になった場合は、下図のようにコ型鉄筋等を開口の左右にそれぞれ1本以上配筋し、この鉄筋にダイヤレンＮＳを結束して固定する。



８．ダイヤレンＮＳ標準製品寸法表

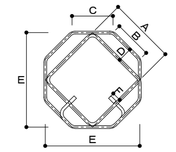
（特記外単位：mm）

スリーブ径（対応径）	型	サイズ	寸法 A	B	C	D	E	F	形状	重量(kgf/枚)	Ho
100φ (H≦115)	Ⅰ	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	Ⅱ	8	205	115	127	45	289	45	①	0.85	205
	Ⅲ	10	205	95	155	55	289	45	②	1.14	206
	Ⅳ	13	210	80	183	65	296	48	②	2.01	211
	Ⅴ	16	230	100	183	65	325	55	③	3.46	227
	Ⅴ-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑤	6.14	292
125φ (H≦141)	Ⅰ	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	Ⅱ	8	230	140	127	45	325	45	①	0.94	223
	Ⅲ	10	235	125	155	55	332	48	②	1.27	227
	Ⅳ	13	240	110	183	65	339	50	②	2.26	232
	Ⅴ	16	240	110	183	65	339	50	③	3.57	234
	Ⅴ-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑤	6.31	299
150φ (H≦166)	Ⅰ	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	Ⅱ	8	255	165	127	45	360	45	①	1.03	240
	Ⅲ	10	260	150	155	55	367	47	②	1.38	245
	Ⅳ	13	260	130	183	65	367	47	②	2.41	246
	Ⅴ	16	265	135	183	65	374	50	③	3.88	251
	Ⅴ-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑤	6.78	316
175φ (H≦191)	Ⅰ	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	Ⅱ	8	280	190	127	45	395	45	①	1.12	258
	Ⅲ	10	285	175	155	55	403	47	②	1.50	263
	Ⅳ	13	285	155	183	65	403	47	②	2.61	264
	Ⅴ	16	290	160	183	65	410	50	③	4.19	269
	Ⅴ-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑤	7.25	334
200φ (H≦216)	Ⅰ	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	Ⅱ	8	305	215	127	45	431	45	①	1.20	276
	Ⅲ	10	310	200	155	55	438	47	②	1.61	280
	Ⅳ	13	310	180	183	65	438	47	②	2.81	282
	Ⅴ	16	320	190	183	65	452	50	③	4.57	290
	Ⅴ-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑤	7.82	355
250φ (H≦270)	Ⅰ	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	Ⅱ	8	360	270	127	45	509	45	①	1.40	315
	Ⅲ	10	360	250	155	55	509	45	②	1.83	316
	Ⅳ	13	370	240	183	65	523	50	②	3.29	324
	Ⅴ	16	370	210	226	80	523	50	②	5.31	326
	Ⅴ-3R	16	370	276	292	80	683	50	④	9.11	406
300φ (H≦320)	Ⅰ	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	Ⅱ	8	410	320	127	45	579	45	①	1.57	350
	Ⅲ	10	410	300	155	55	579	45	②	2.05	351
	Ⅳ	13	420	290	183	65	593	50	②	3.69	359
	Ⅴ	16	420	260	226	80	593	50	②	5.93	361
	Ⅴ-3R	16	420	326	292	80	753	50	④	10.04	441
350φ (H≦370)	Ⅰ	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	Ⅱ	8	460	370	127	45	650	45	①	1.75	385
	Ⅲ	10	460	350	155	55	650	45	②	2.28	386
	Ⅳ	13	470	340	183	65	664	50	②	4.09	395
	Ⅴ	16	470	310	226	80	664	50	②	6.55	396
	Ⅴ-3R	16	470	376	292	80	824	50	④	10.98	476
400φ (H≦420)	Ⅰ	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	Ⅱ	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	Ⅲ	13	520	390	183	65	735	50	②	4.48	430
	Ⅳ	16	530	370	226	80	749	55	②	7.31	439
	Ⅳ-3R	16	530	436	292	80	909	55	④	12.11	519
450φ (H≦470)	Ⅰ	8	560	470	127	45	791	45	①	2.10	456
	Ⅱ	10	560	450	155	55	791	45	②	2.73	457
	Ⅲ	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	Ⅳ	16	580	420	226	80	820	55	②	7.94	474
	Ⅳ-3R	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
500φ (H≦520)	Ⅱ	10	610	500	155	55	862	45	②	2.95	492
	Ⅲ	13	620	490	183	65	876	50	②	5.28	501
	Ⅳ	16	630	470	226	80	890	55	②	8.56	509
	Ⅳ-3R	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
550φ (H≦570)	Ⅱ	10	660	550	155	55	933	45	②	3.17	528
	Ⅲ	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	Ⅳ	16	680	520	226	80	961	55	②	9.18	545
	Ⅳ-3R	16	680	586	292	80	1121	55	④	14.92	625
600φ (H≦630)	Ⅱ	10	720	610	155	55	1018	45	②	3.44	570
	Ⅲ	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
	Ⅳ	16	750	590	226	80	1060	60	②	10.07	594
	Ⅳ-3R	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
650φ (H≦680)	Ⅱ	10	770	660	155	55	1088	45	②	3.67	605
	Ⅲ	13	780	650	183	65	1103	50	②	6.55	614
	Ⅳ	16	800	640	226	80	1131	60	②	10.69	630
	Ⅳ-3R	16	800	706	292	80	1291	60	④	17.17	710
700φ (H≦730)	Ⅱ	10	820	710	155	55	1159	45	②	3.89	641
	Ⅲ	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
	Ⅳ	16	850	690	226	80	1202	60	②	11.32	665
	Ⅳ-3R	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
750φ (H≦750)	Ⅱ	10	870	760	155	55	1230	45	②	4.11	676
	Ⅲ	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	Ⅳ	16	900	740	226	80	1272	60	②	11.94	700
	Ⅳ-3R	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780

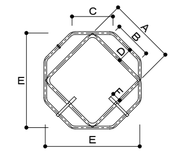
※対応径は、スリーブ面とダイヤレンＮＳ内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径
※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋16mmとした場合の梁上下端から開口芯までの距離
※寸法は、鉄筋の芯－芯間とする

【ダイヤレンＮＳ　標準形状】

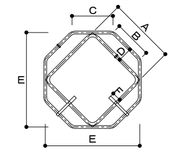
①一筆型（2重リング）



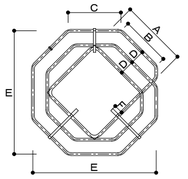
②1箇所溶接型（2重リング）



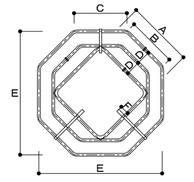
③2箇所溶接型（2重リング）



④1箇所溶接型（3重リング）

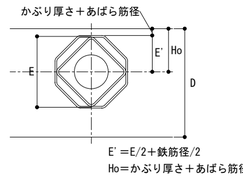


⑤3箇所溶接型（3重リング）



【へりあきの最小寸法】

ダイヤレンＮＳを使用した場合の梁上下端から開口芯までの距離（Ho）を左表に示す。
（かぶり厚さ40mm、あばら筋径を16mmと仮定した数値）



【型式の表記について】

V-3R　⇒　V（型式）-3R（リング形状※）
※リング形状は「2R（2重リング）」と「3R（3重リング）」（上記の形状①～⑤）があり、3Rの表記以外は2Rとする。

訂正	月　日	事　項		

株式会社ユニバァサル設計
UNIVERSAL DESIGN OFFICE INC.

事務所登録	東京本部一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第22736号			工事名称	古谷地区公立保育所新築工事	図面名称	ダイヤレンＮＳ設計・施工標準仕様書	縮尺 NO SCALE	図面No. S-030 確S-30
設計者	一級建築士　登録第362390号　星野　康二	設計者	一級建築士　登録第339311号 構造一級建築士　登録第 9542号　益子　拡	作成	2024 年 11 月 20 日	承認	部長　課長　担当　製図	設計No.	